HM700Std/HM700Pro

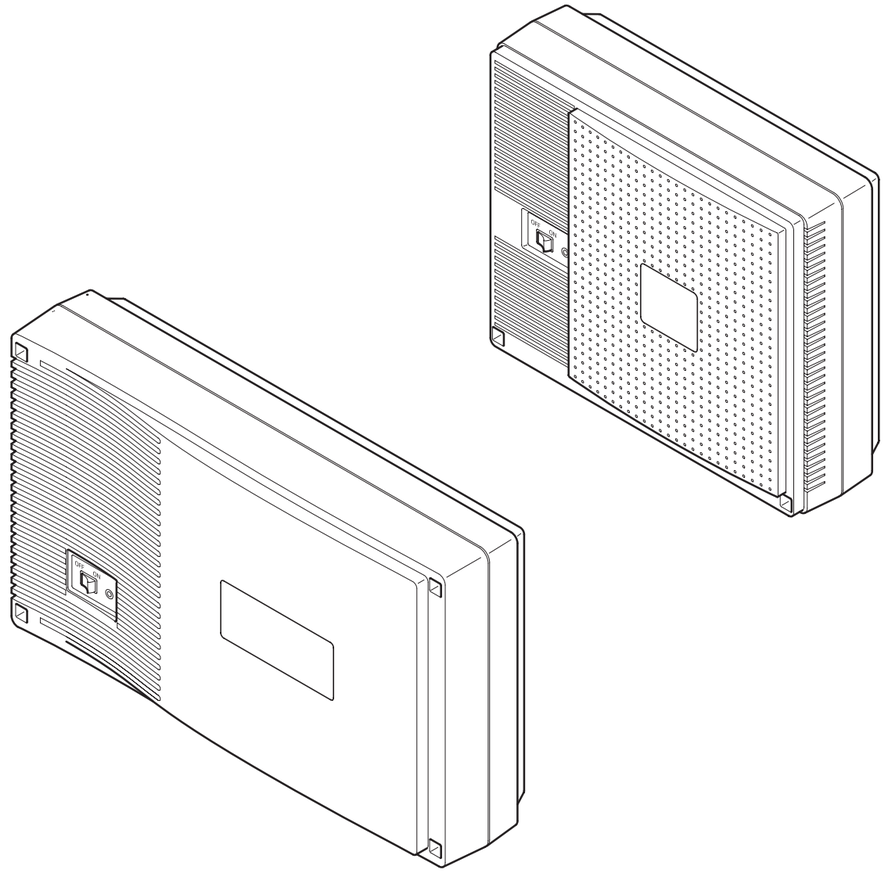
工事マニュアル

ビジネスコミュニケーションシステム

AGREA

HM700

このマニュアルに掲載の商品および取付調整費、消耗品、オプション（別売品）などについてご購入および有料修理の際、消費税が別途付加されますのでご承知おき願います。



お願い

このマニュアルは、主装置に同梱しておりません。
設置工事の際は、このマニュアルを持参してください。

HM700Std/HM700Pro 工事マニュアル ビジネスコミュニケーションシステム

サクサ株式会社

874BM | 089-3 | M
4294063400

この資料は再生紙を使用しています。

サクサ株式会社

この資料の内容は平成 21 年 5 月現在のものです。

はじめに

この工事マニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。
本書は大切に保存し、必要なときにお読みください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

⃠	この表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
❗	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

●本製品は絶対改造しないでください。記載されていない改造、回路変更などを行った場合、当社は一切の責任を負いません。

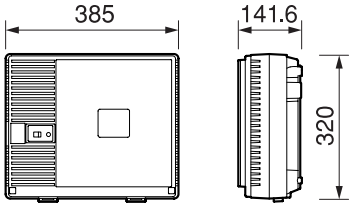
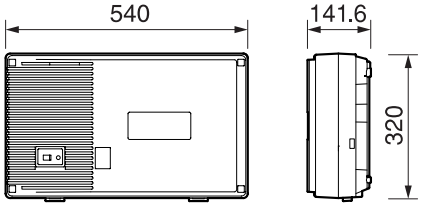
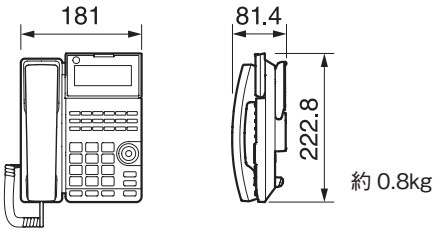
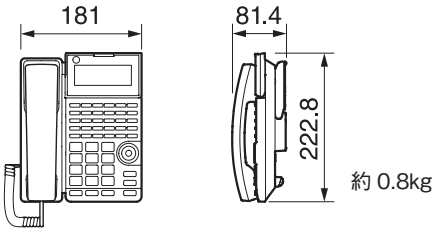
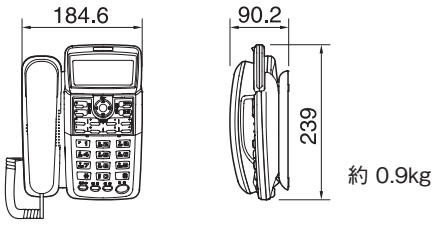
目次

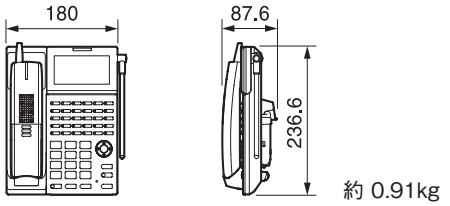
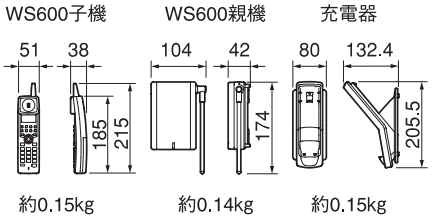
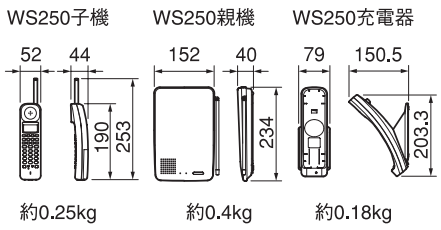
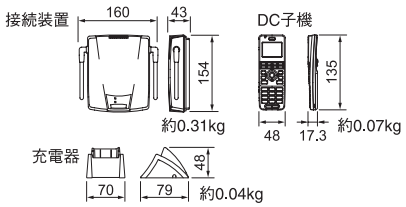
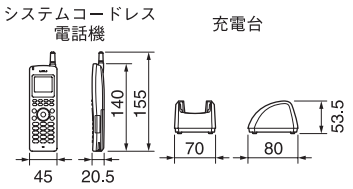
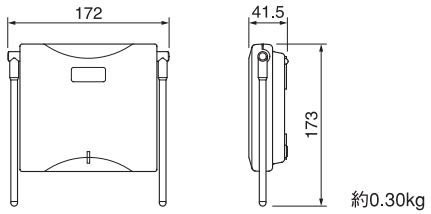
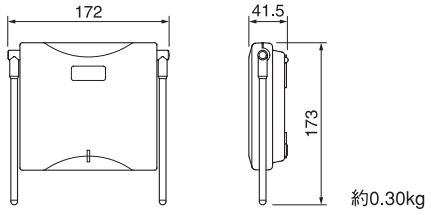
ページ

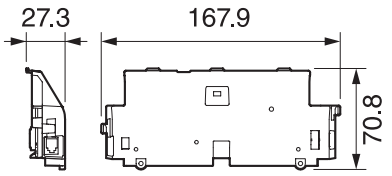
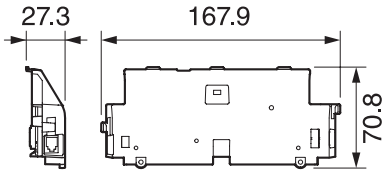
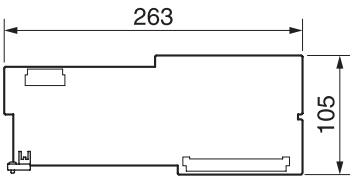
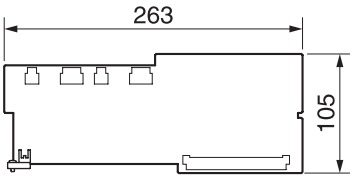
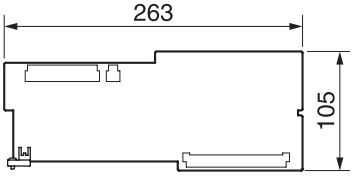
1 構成品 ····· 1
2 システム構成図 ····· 12
(1) HM700Std 主装置 ····· 12
(2) HM700Pro 主装置 ····· 14
3 工事のまえに ····· 16
(1) 工事上の注意 ····· 16
(2) 設置上の注意 ····· 17
(3) 配線・接続上の注意 ····· 18
(4) CL620 電話機、WS600 電話機、WS250 電話機、システムコードレス電話機、DC600 電話機の設置上の注意 ·· 18
(5) 無線に関する注意 ····· 20
(6) 電源投入時の注意 ····· 20
4 主装置の工事 ····· 21
(1) 主装置の壁掛取り付け方法 ····· 21
(2) 主装置の据置方法 ····· 25
(3) 主装置の初実装機能 ····· 26
(4) 専用電話機接続用端子板と端子箱の接続方法 ····· 31
5 オプションユニットの接続 ····· 33
(1) ユニットの取り付け／取り外し ····· 33
(2) アナログ局線ユニット【2CO710 /4CO710】 ····· 36
(3) デジタル局線ユニット【1BRI700 /2BRI700】 ····· 39
(4) ドア・ページングユニット【DRPG700】 ····· 41
(5) 内線増設ユニット【8ST700】 HM700Pro 専用 ····· 43
(6) 単独電話増設ユニット【4SLI700】 HM700Pro 専用 ····· 44
(7) ブロードバンドルータユニット【IPR700 】 ····· 45
(8) VoIP ユニット【IPFU710 /IPNT710/IPHO710】 ····· 47
(9) IP 端末接続ユニット【IPST710】 ····· 49
(10) VoIP 増設ユニット【IPAD710】 ····· 51
(11) システムコードレス基地局ユニット【2CDLC700 /4CDLC700】 HM700Pro 専用 ····· 52
6 電話機の工事 ····· 53
(1) 停電ユニットの取り付け方法【TD615、TD625 専用】 ····· 53
(2) ISDN 停電ユニット【ADI605】 ····· 54
(3) アナログ停電ユニット【ADA605】 ····· 55
(4) ISDN 停電用電話機の接続方法 ····· 56
(5) アナログ停電用電話機の接続方法 ····· 58
(6) コールスピーカの接続 ····· 60
(7) TD615、TD625 電話機の角度調節方法 ····· 62
(8) LD600 電話機の角度調節方法 ····· 62
(9) CL620 電話機の設置方法 ····· 62
(10) TD615、TD625 電話機のパネルとシートの交換方法 ····· 63
(11) CL620 電話機のパネルの取り外し方法 ····· 63
7 電話機の壁掛取り付け方法 ····· 64
(1) TD615、TD625 電話機 ····· 64
(2) LD600 電話機 ····· 66
(3) WS250 親機 ····· 68
(4) 充電器（WS250 子機用） ····· 69
(5) DC600 電話機接続装置 ····· 71
(6) WS600 親機 ····· 72
(7) 充電器（WS600 子機用） ····· 73
(8) CS600 基地局 ····· 75
8 ドアホン・カラーテレビドアホンの工事 ····· 76
8-1 ドアホンの工事 ····· 76
8-2 カラーテレビドアホンの工事 ····· 77
(1) カラーテレビドアホン（DR63C）、カラーモニタユニット（TM-23）各部の名称 ····· 77
(2) カラーテレビドアホン（DR63C）の設置 ····· 78
(3) カラーモニタユニット（TM-23）の設置 ····· 79

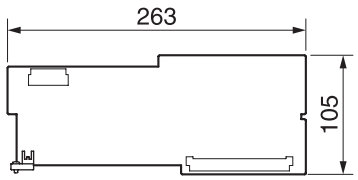
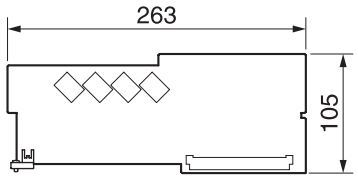
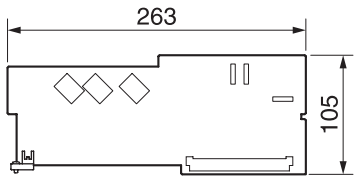
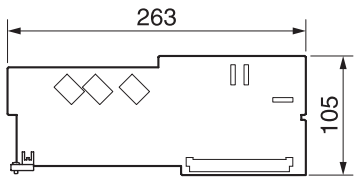
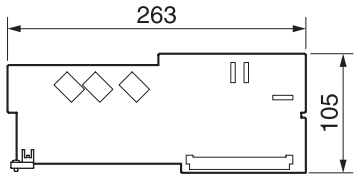
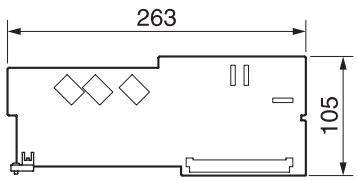
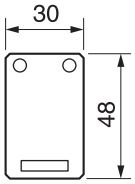
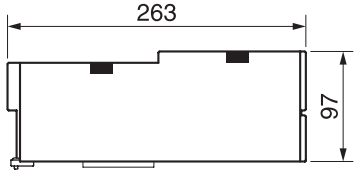
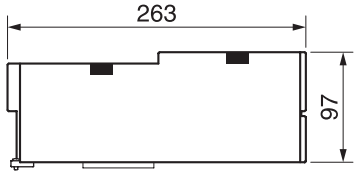
ページ
(4) カラーテレビドアホン(DR63C)、カラーモニタユニット(TM-23)、ドア・ページングユニット(DRPG700)の接続方法 ‥ 81
9 CL620 電話機の接続 ‥‥ 82
10 WS600 電話機の接続 ‥‥ 87
11 WS250 電話機の接続 ‥‥ 92
12 DC600 電話機の接続 ‥‥ 94
13 システムコードレス電話機の接続 ‥‥ 96
14 セーフティ機能 ‥‥ 108
(1) TD615、TD625 電話機設置について ‥‥ 108
(2) 外部センサの接続 ‥‥ 112
(3) ネットワークカメラの接続 ‥‥ 115
(4) セーフティログの採取について ‥‥ 116
15 いらっしゃいまセンサ機能 ‥‥ 117
16 ブロードバンドルータユニットの設定 ‥‥ 118
(1) 設定前に用意するもの ‥‥ 119
(2) LAN ケーブルの接続 ‥‥ 120
(3) ブロードバンドルータユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備 ‥‥ 121
(4) ブロードバンドルータユニットの設定 ‥‥ 121
17 VoIP ユニットの設定 ‥‥ 126
(1) 設定前に用意するもの ‥‥ 127
(2) LAN ケーブルの接続 ‥‥ 128
(3) VoIP ユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備 ‥‥ 129
(4) VoIP ユニットの設定 ‥‥ 129
(5) ひかり電話オフィスを使用するための手順 ‥‥ 139
(6) 設定前に用意するもの ‥‥ 141
(7) LAN ケーブルの接続 ‥‥ 142
(8) VoIP ユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備 ‥‥ 144
(9) VoIP ユニットの設定 ‥‥ 144
(10) 主装置の設定 ‥‥ 151
18 IP 端末接続ユニット利用時の設定 ‥‥ 154
(1) 設定前にご用意いただくもの ‥‥ 155
(2) LAN ケーブルの接続 ‥‥ 156
(3) IP 端末接続ユニット利用時の Web 設定を行うためのパソコンの準備 ‥‥ 157
(4) SIP 端末利用時の設定 ‥‥ 158
(5) システム間接続利用時の設定 ‥‥ 161
(6) IP 端末接続ユニット（IPST710）の Web 設定 ‥‥ 162
19 受付システム（WelGuide）の接続 ‥‥ 164
20 緊急地震速報の設定 ‥‥ 166
21 誤動作防止機能 ‥‥ 169
22 停電用電源の接続 ‥‥ 170
(1) 主装置に内蔵タイプ ‥‥ 170
(2) 主装置に外付けタイプ ‥‥ 172
23 停電時の動作 ‥‥ 176
24 HM700Std 主装置のプログラムの設定 ‥‥ 177
24-1 プログラムの設定 ‥‥ 177
24-2 プログラムの設定方法 ‥‥ 217
24-3 機能別プログラムの設定 ‥‥ 285
25 HM700Pro 主装置のプログラムの設定 ‥‥ 315
25-1 プログラムの設定 ‥‥ 315
25-2 プログラムの設定方法 ‥‥ 357
25-3 機能別プログラムの設定 ‥‥ 427
26 工事終了後の試験 ‥‥ 458
27 保守メニュー ‥‥ 459
28 緊急地震速報のエリアコード一覧 ‥‥ 468

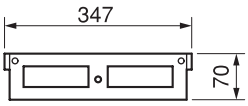
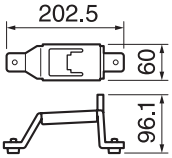
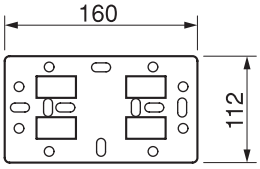
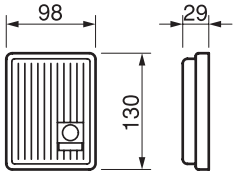
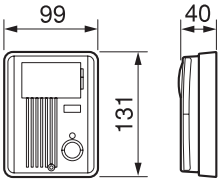
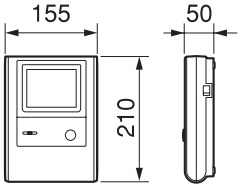
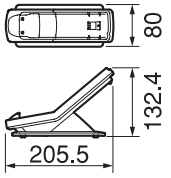
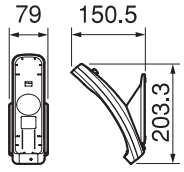
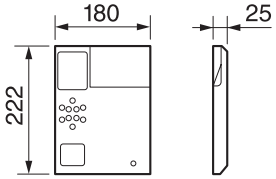
1 構成品

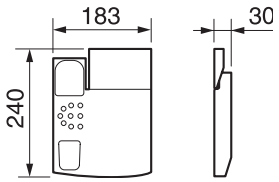
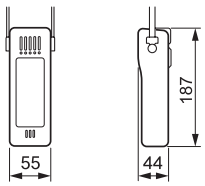
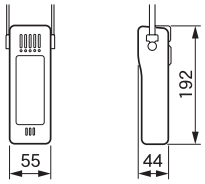
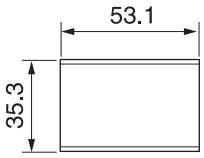
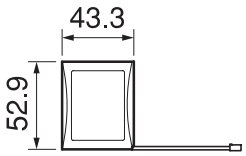
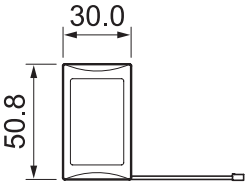
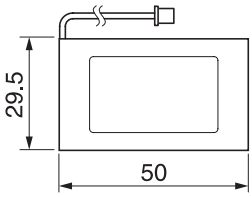
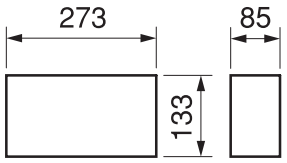
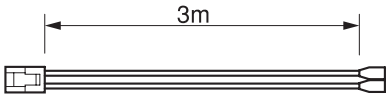
品名		外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
HM700Std主装置（HM700Std ME）		 約 3.4kg	1	—	初実装は専用電話機 8 台、（実装番号 01 ～ 08）、単独電話機 2 台までと外部保留音源装置（または BGM 音源装置）が実装できる。 [付属品] 取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・1 操作早見表ガイド・・・・・・・・・・・・1 ステッカ・・・・・・・・・・・・・・・・1 ご愛用者シート・・・・・・・・・・・・・1 データシート・・・・・・・・・・・・・・1 テンプレート・・・・・・・・・・・・・・1 ※ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・11 （ブルー） 木ネジ (4.1 × 25) ・・・・・・・・・・・4 木ネジ (3.8 × 28) ・・・・・・・・・・・8 バッテリ交換ラベル・・・・・・・・・・・1 注意ラベル・・・・・・・・・・・・・・・1 ※ソケットは、第一電子工業株式会社製です。
HM700Pro 主装置（HM700Pro ME）		 約 4.7kg	—	1	初実装は専用電話機 8 台、（実装番号 01 ～ 08）、単独電話機 2 台までと外部保留音源装置（または BGM 音源装置）が接続できる。 [付属品] 取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・1 操作早見表ガイド・・・・・・・・・・・・1 ステッカ・・・・・・・・・・・・・・・・1 ご愛用者シート・・・・・・・・・・・・・1 データシート・・・・・・・・・・・・・・1 テンプレート・・・・・・・・・・・・・・1 ※ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・11 （ブルー） 木ネジ (4.1 × 25) ・・・・・・・・・・・4 木ネジ (3.8 × 28) ・・・・・・・・・・・8 バッテリ交換ラベル・・・・・・・・・・・1 注意ラベル・・・・・・・・・・・・・・・1 ※ソケットは、第一電子工業株式会社製です。
電話機の種類	TD615 電話機	 約 0.8kg	最大合計 8	最大合計 32	●バックライト人感センサ付・ハンズフリー通話電話機 [付属品] 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 シートセット・・・・・・・・・・・・・・2
	TD625 電話機	 約 0.8kg			●バックライト人感センサ付・ハンズフリー通話電話機 [付属品] 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 シートセット・・・・・・・・・・・・・・2
	LD600 電話機	 約 0.9kg			●バックライト付・ハンズフリー通話電話機 [付属品] 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・ 1 カード・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ステッカ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 カバー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

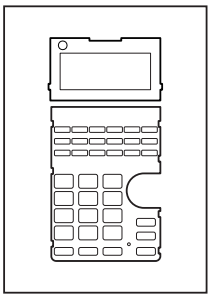
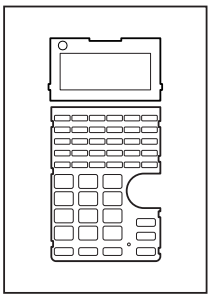
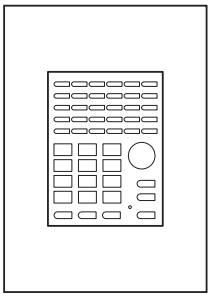
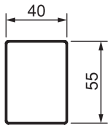
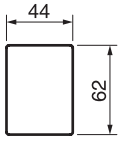
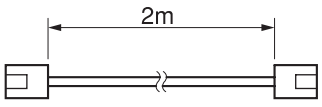
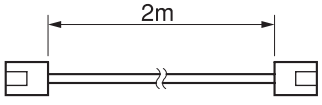
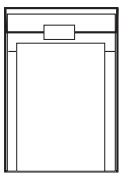
	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
電話機の種類	CL620 電話機		最大4 最大合計8	最大8 最大合計32	●バックライト付・カールコードレス電話機 [付属品] 電池パック (BP3711L-A) ・・・・・・・・1 注意シート・・・・・・・・・・・・・・・1 ステッカ（BT600）・・・・・・・・・・・・1 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 電池カバー・・・・・・・・・・・・・・・・1
	WS600 電話機		最大7		● Bluetooth コードレス電話機 [付属品] 電池パック (BP3711L-A) ・・・・・・・・・1 AC アダプタ (SS-920L)・・・・・・・・・・1 注意シート・・・・・・・・・・・・・・・1 ステッカ (BT600) ・・・・・・・・・・・・1 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 ストッパ・・・・・・・・・・・・・・・・・4 電池カバー・・・・・・・・・・・・・・・・1
	WS250 電話機		最大4	最大4	●小電力コードレス電話機 【付属品】 取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・1 壁掛用品・・・・・・・・・・・・・・・・1 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 ステッカ (WS) ・・・・・・・・・・・・・1 AC アダプタ (TP-920L) ・・・・・・・・・1 ストッパ・・・・・・・・・・・・・・・・・4 注意シート・・・・・・・・・・・・・・・1 木ネジ (3.5 × 16) ・・・・・・・・・・・4 電池パック (BP3610NM-A) ・・・・・・・1 壁掛取付用紙・・・・・・・・・・・・・・1
	DC600 電話機		最大7	最大8	●デジタルコードレス電話機 [付属品] ハンドストラップ・・・・・・・・・・・・1 電池パック (BP3772L-A) ・・・・・・・・1 AC アダプタ（A50-007604）・・・・・・1 電話機コード（2m）・・・・・・・・・・・1 注意シート・・・・・・・・・・・・・・・1 木ネジ (4.1 × 25) ・・・・・・・・・・・2
	PS601 電話機		ー	最大16	●システムコードレス電話機 [付属品] ストラップ・・・・・・・・・・・・・・・1 機能シール・・・・・・・・・・・・・・・1 電池カバー・・・・・・・・・・・・・・・1 PS601 充電台 ・・・・・・・・・・・・・1 PS601 電池パック ・・・・・・・・・・・1
	CS600[ID] 基地局		ー	最大1	●システムコードレス基地局（システム用） [付属品] 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 壁掛ピン・・・・・・・・・・・・・・・・2 木ネジ（3.5 × 20）・・・・・・・・・・・2 ID 番号紙 ・・・・・・・・・・・・・・・1
	CS600[ND] 基地局		ー	最大3	●システムコードレス基地局（増設用） [付属品] 電話機コード (2m) ・・・・・・・・・・・・1 壁掛ピン・・・・・・・・・・・・・・・・2 木ネジ（3.5 × 20）・・・・・・・・・・・2 ID 番号紙 ・・・・・・・・・・・・・・・1

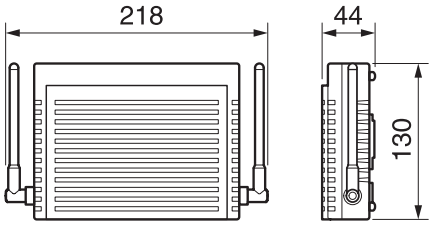
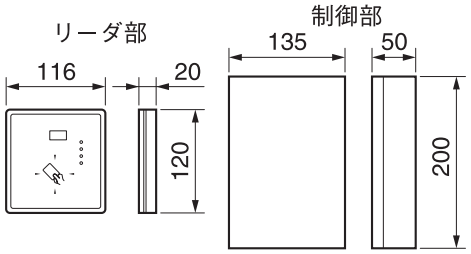
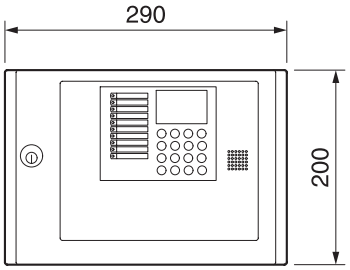
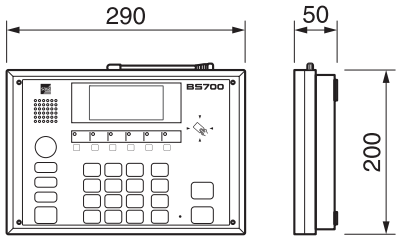
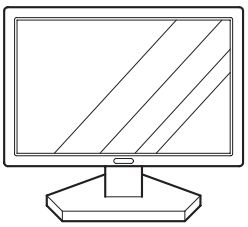
	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
オプション（別売品）	ISDN 停電ユニット【ADI605】	 約 0.08kg	最大 2	最大 6	TD615 ／ 625 電話機用 ISDN 停電ユニット 1 枚でデジタル局線を 1 局線収容可能 [付属品] 停電用切替 BOX Ⅱ ・・・・・・・・・・・・1 停電表示用ラベル・・・・・・・・・・・・1 ケーブルタイ PLT1M ・・・・・・・・・・1 ケーブルタイ PRT-4S・・・・・・・・・・1 ネジ (2.6 × 8) ・・・・・・・・・・・・2
	アナログ 停電ユニット【ADA605】	 約 0.08kg	最大 4	最大 12	TD615 ／ 625 電話機用アナログ停電ユニット 1 枚でアナログ局線を 1 局線収容可能 [付属品] 停電用切替 BOX Ⅱ ・・・・・・・・・・・・1 停電表示用ラベル・・・・・・・・・・・・1 ケーブルタイ PLT1M ・・・・・・・・・・1 ケーブルタイ PRT-4S・・・・・・・・・・1 ネジ (2.6 × 8) ・・・・・・・・・・・・2
	アナログ (4) 局線ユニット【4CO710】		最大 1	最大 3	1 枚でアナログ局線を 4 局線収容可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・4 (ブルー)
	アナログ (2) 局線ユニット【2CO710】		最大 2	最大 6	1 枚でアナログ局線を 2 局線収容可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・2 (ブルー)
	デジタル (2) 局線ユニット【2BRI700】		最大 1	最大 3	1 枚でデジタル局線を 2 局線収容可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・2 (ブルー) ソケット (232D-02S1A2-DA5) ・・・・・2 (ブラック)
	デジタル (1) 局線ユニット【1BRI700】		最大 2	最大 6	1 枚でデジタル局線を 1 局線収容可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・1 (ブルー) ソケット (232D-02S1A2-DA5) ・・・・・1 (ブラック)
	ドア・ページングユニット【DRPG700】		最大 1		●ドアホン (DR71)、カラーテレビドアホン (DR63C) の接続用（合計 3 台） ●構内放送設備 (コントロール信号付き)、電気錠が合計 3 台まで接続できる [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・9 (ブルー)
	内線 (8) 増設ユニット【8ST700】		—	最大 3	1 枚で専用電話機を 8 台まで接続可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・8 (ブルー) ステッカ (8ST)・・・・・・・・・・・・・1 枚 (A4 サイズ)

	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
オプション（別売品）	単独電話 (4) 増設ユニット【4SLI700】		—	最大5	1 枚で単独電話機を 4 台まで接続可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ・・・・・・4 (ブルー)
	ブロードバンドルータユニット【IPR700】		最大1		[付属品] LAN ケーブル ・・・・・・・・・・・・・ 1 本 (40cm)
	FUSION IP-Phone 対応 VoIP ユニット【IPFU710】		最大1	最大2	VoIP ユニット 1 枚で IP 電話チャンネルを 4ch 収容可能 VoIP 増設ユニットを追加することにより IP チャンネルを最大 16ch 収容可能 [付属品] LAN ケーブル（カテゴリー 5）・・・・・・1 本 (40cm)
	OCN.Phone Office 対応 VoIP ユニット【IPNT710】		最大1		VoIP ユニット 1 枚で IP 電話チャンネルを 4ch 収容可能 VoIP 増設ユニットを追加することにより IP チャンネルを最大 16ch 収容可能 [付属品] LAN ケーブル（カテゴリー 5）・・・・・・1 本 (40cm)
	ひかり電話 オフィスタイプ対応 VoIP ユニット【IPHO710】		最大1		VoIP ユニット 1 枚で IP 電話チャンネルを 4ch 収容可能 VoIP 増設ユニットを追加することにより ひかり電話チャンネルを最大 8ch 収容可能 [付属品] LAN ケーブル（カテゴリー 5）・・・・・・1 本 (40cm)
	IP 端末接続ユニット【IPST710】		最大1	最大2	IP 端末接続ユニット 1 枚で IP 電話チャンネルを 4ch 収容可能 VoIP 増設ユニットを追加することにより IP 電話チャンネルを最大 16ch 収容可能 [付属品] LAN ケーブル（カテゴリー 5）・・・・・・1 本 (40cm)
	VoIP 増設ユニット【IPAD710】		必要数		VoIP 増設ユニット 1 枚で IP 電話チャンネルを 4ch 増設可能 （VoIP ユニットまたは IP 端末接続ユニットに増設）
	システムコードレス基地局 (4) ユニット【4CDLC700】		—	最大1	1 枚でシステムコードレス基地局を 4 台まで接続可能 [付属品] PS601 電話機用取扱説明書 ・・・・ 1 PS601 電話機用操作早見表 ・・・・ 1 注意シート・・・・・・・・・・・・ 1 ソケット（232D-02S1A-DA5)・・・ 4（ブラック）
	システムコードレス基地局 (2) ユニット【2CDLC700】		—	最大1	1 枚でシステムコードレス基地局を 2 台まで接続可能 [付属品] PS601 電話機用取扱説明書 ・・・・ 1 PS601 電話機用操作早見表 ・・・・ 1 注意シート・・・・・・・・・・・・ 1 ソケット（232D-02S1A-DA5)・・・ 2（ブラック）

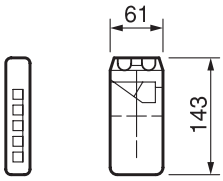
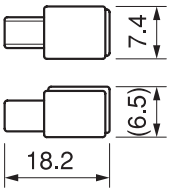
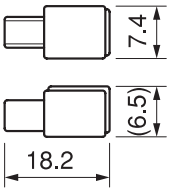
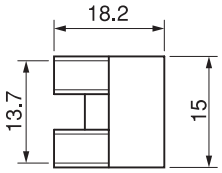
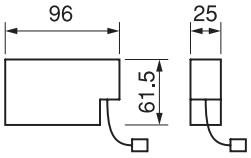
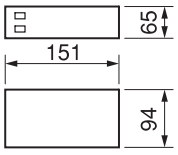
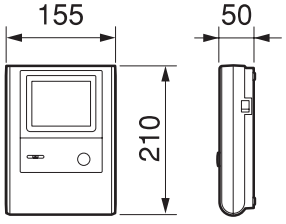
	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
オプション（別売品）	主装置 壁掛用品		最大1		主装置の壁掛用 [付属品] 木ネジ (4.1 × 25) ・・・・・・・・・・・・3
	主装置 据置用品 SU02		最大1		主装置の据置用 2 個入り [付属品] 取付ネジ・・・・・・・・・・・・・・・・・2
	壁掛用品 WU-08		必要数		電話機をスイッチボックスや柱に取り付けるときに使用する [付属品] ストッパ・・・・・・・・・・・・・・・・・2 ゴム足・・・・・・・・・・・・・・・・・4 木ネジ (3.8 × 32) ・・・・・・・・・・・・2 取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1
	ドアホン (DR71)		最大3		標準タイプ（600 Ω型） [付属品] ネジ (4 × 25) ・・・・・・・・・・・・・2 木ネジ (4.1 × 15) ・・・・・・・・・・・・2
	カラー テレビドアホン (DR63C)		最大3		カラーモニタユニット (TM-23) と組み合わせる [付属品] ネジ (4 × 25) ・・・・・・・・・・・・・2 木ネジ (4.1 × 15) ・・・・・・・・・・・・2 専用ドライバ・・・・・・・・・・・・・・・1
	カラーモニタ ユニット (TM-23)		最大3		カラーテレビドアホン (DR63C) と組み合わせる [付属品] ネジ (4 × 25) ・・・・・・・・・・・・・4 木ネジ (4.1 × 15) ・・・・・・・・・・・・4 ※ AC コードは添付されておりませんのでご販売店様でご用意願います。
	充電器セット BC510	 約 0.15kg	必要数		CL620 子機、WS600 子機用 [付属品] AC アダプタ (SS-920L) ・・・・・・・・・1 ストッパ・・・・・・・・・・・・・・・・2
	充電器セット BC250 (WS250 充電器)	 約 0.18kg	必要数		WS250 電話機用 [付属品] 壁掛用品・・・・・・・・・・・・・・・・1 ストッパ・・・・・・・・・・・・・・・・2 木ネジ (3.5 × 16) ・・・・・・・・・・・・2 AC アダプタ (TP-920L) ・・・・・・・・・1
	TD615 電話機 防塵カバー		必要数		TD615、TD625 電話機用 1 袋 3 枚入り

	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
オプション（別売品）	LD500 電話機 防塵カバー		必要数		LD600 電話機用 1 袋 3 枚入り ※TD615、TD625 電話機には使用しないでください。
	キャリング ケース (CC500)		必要数		WS600 子機の持ち運び用
	キャリング ケース (CC10)		必要数		WS250 子機の持ち運び用
	電池パック (Li-ion 電池 BP3711L-A)		必要数		CL620 子機・WS600 子機用
	WS250 電池パック (Ni-MH 電池 BP3610NM-A)		必要数		WS250 電話機用
	DC600 電池パック (Li-ion 電池 BP3772L-A)		必要数		DC600 子機用
	PS601 電池パック (Li-ion 電池)		必要数		PS601 電話機用
	電源 キャビネット		最大 1		停電用電源（外付けタイプ）の収納ケース（2 個入り ） ※電源キャビネット 1 個で停電用電源を 1 個収納 ※日本電気株式会社製 [付属品] ケーブル (1m) ・・・・・・・・・・・・・・1 コードブッシュ・・・・・・・・・・・・・・1 ネジ (4 × 6) ・・・・・・・・・・・・・・4 木ネジ (4.1 × 16) ・・・・・・・・・・・・4
	ケーブル (3m)		最大 1		停電用電源（外付けタイプ）と主装置の間の接続ケーブル (2 本入り) ※ 1 本：停電用電源 1 個を接続

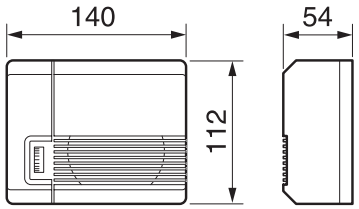
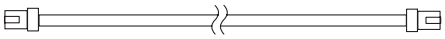
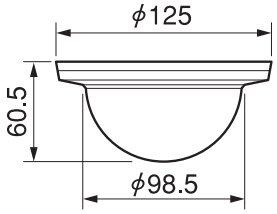
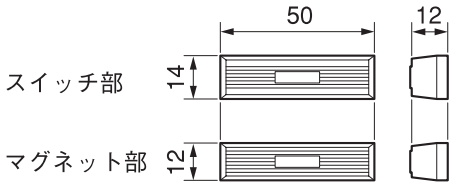
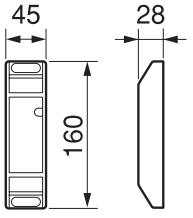
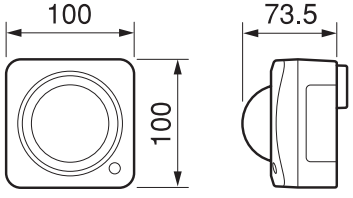
	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
オプション（別売品）	TD615 用 プリンタシート		必要数		TD615 電話機用 1 袋 10 枚入り
	TD625 用 プリンタシート		必要数		TD625 電話機用 1 袋 10 枚入り
	TD520 用 プリンタシート		必要数		CL620 電話機用 1 袋 10 枚入り
	端子箱 MJ-4S(M)		必要数		色：白色 1 個用ネジ端子・モジュラー
	端子箱 MJ-8SR-MG		必要数		色：白色 1 個用ネジ端子・8 芯モジュラー
	ラインコード 6-6		必要数		6 芯モジュラーコード
	ラインコード 8-4		必要数		8 芯モジュラーコード
	BSS 専用 CF ／取説 セット		最大 1		セーフティ機能を使用する場合に必要となります。 [付属品] 取扱説明書～セーフティ機能編・・・・・・ 1 CF カード（64M）・・・・・・・・・・・・ 1 盗難見舞金申込用紙・・・・・・・・・・・ 1 盗難見舞金申込セット・・・・・・・・・・ 1 （・ID 付防犯シール・・・・・・・・・ 5 ・セーフティリモコンカード ・・・・ 5 ・BSS 使用同意書・・・・・・・・・ 1）

	品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
オプション（別売品）	VoIP 対応 無線 LAN アクセスポイント (WAP-1000)		必要数		[付属品] ・取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・ 1 ・注意ラベル ・・・・・・・・・・・・ 1 ・木ネジ (3.5 × 19)・・・・・・・・・ 2 ・ワッシャ ・・・・・・・・・・・・ 2
	入退管理 システム (IcGate)		最大 1		[付属品] ・取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・ 1 ・IC カードリーダー ・・・・・・・・ 1 ・電源 ・・・・・・・・・・・・・・ 1 ・CD-ROM ・・・・・・・・・・・・ 1
	オフィス セキュリティ 送信機 (TS-MT0802C 送信機)		最大 1		[付属品] ・AC コード ・・・・・・・・・・・・ 1 ・蓄電池 ・・・・・・・・・・・・・ 1 ・示名条 ・・・・・・・・・・・・・ 1 ・ケーブルタイ ・・・・・・・・・・ 2 ・木ネジ (3.5 × 19)・・・・・・・・・ 2 ・差し込み紙 ・・・・・・・・・・・ 1
	キーテレホン 連動型 オフィス セーフティ 送信機 (BS700)		最大 1		[付属品] ・取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・ 1 ・BSS セキュリティ送信機用セット・・ 1 ・AC コード ・・・・・・・・・・・・ 1 ・蓄電池 ・・・・・・・・・・・・・ 1 ・ケーブルタイ ・・・・・・・・・・ 2 ・木ネジ (3.5 × 19)・・・・・・・・・ 2 ・センサルートシール・・・・・・・ 1 ・シート ・・・・・・・・・・・・・ 1
	受付システム (WelGuide)		最大 1		[付属品] ・パソコン ・・・・・・・・・・・・ 1 ・タッチパネル付き液晶モニタ ・・・ 1 ・アクティベート USB〈Safe Net〉・・ 1

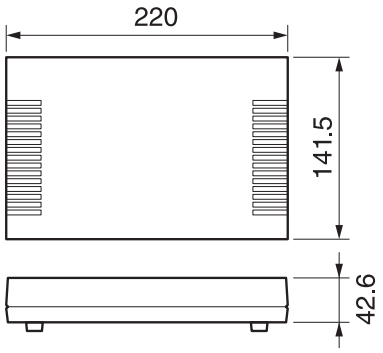
推奨品一覧表

品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
端子箱		必要数		5 個用クリップ端子・モジュラー 色：ワームグレー ※ヒロセ電機株式会社製の端子箱（CTB-20TB-M5）をご使用ください。
ソケット	 ※（ ）の寸法は、圧縮後の寸法を示す。	必要数		電話機および各機器接続用　色：ブルー ※第一電子工業株式会社製のソケット（232D-02S1B-DA5）をご使用ください。
ソケット	 ※（ ）の寸法は、圧縮後の寸法を示す。	必要数		システムコードレス基地局接続用　色：ブラック ※第一電子工業株式会社製のソケット（232D-02S1A-DA5）をご使用ください。
ソケット		必要数		デジタル局線接続用　色：ブラック ※第一電子工業株式会社製のソケット（232D-02S1A2-DA5）をご使用ください。
停電用電源		最大2		主装置内蔵タイプ ※下記のどちらかを2個をご使用ください。 ・古河電池株式会社製の FML1208 ・GS YUASA 製の NP0.8-12
		最大2		主装置外付けタイプ ※下記のどちらか2個をご使用ください。 ・古河電池株式会社製の FML1270 ・GS YUASA 製の NP7-12
増設カラーモニタユニット (JB-HU)		最大2		カラーモニタユニット (TM-23) の増設用 TM-23　1 台に対して最大 2 台 ※アイホン株式会社製の増設カラーモニタユニット（JB-HU）をご使用ください。 ※AC コードは添付されておりませんのでご販売店様でご用意願います。

推奨品一覧表

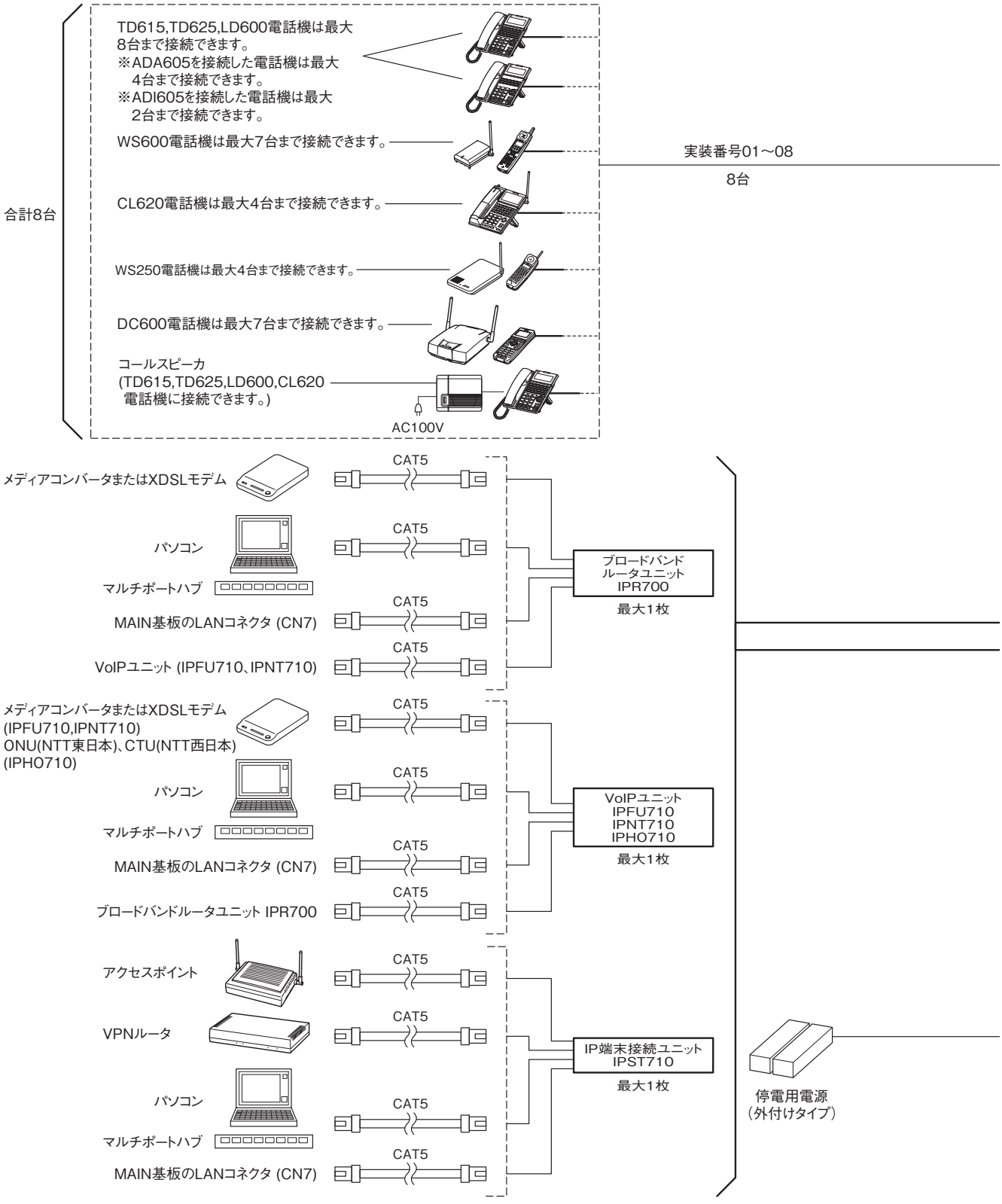
品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
コールスピーカ (BS-191)		必要数		TD615、TD625、LD600、CL620 電話機に接続するとスピーカから出る音が拡声される ※ノボル電機製
ヘッドセット		必要数		TD615、TD625、LD600 電話機接続用 ※下記のいずれか 1 つをご使用ください。 ・PLANTRONICS 製 (住商エレクトロニクス販売) スープラ NC モジュラー H51N-M12 ・ジーエヌネットコム製 GN2120-NC-APJ PACK GN9120Flex (ワイヤレスタイプ)
LAN ケーブル 【CAT5】		最大 1		初実装基板の LAN コネクタと接続するケーブル パソコンと直接接続する場合は、クロスケーブル、ハブを介して接続する場合は、クロスもしくはストレートを使用します。
パッシブセンサ (PA-6612)		必要数		外部センサ用 ※ パッシブセンサまたはマグネットスイッチのどちらかを使用します。 ※ 竹中エンジニアリング株式会社製です。
マグネット スイッチ (MG-103S)		必要数		外部センサ用 ※マグネットスイッチまたはパッシブセンサのどちらかを使用します。 ※竹中エンジニアリング株式会社製です。
電源ユニット (DC-200 (DC12V200mA))		必要数		パッシブセンサ用 ※外部センサとしてパッシブセンサをご利用の際、使用します。 ※竹中エンジニアリング株式会社製です。
ネットワーク カメラ BB-HCM311		必要数		セーフティ用 ※パナソニックコミュニケーションズ株式会社製です。

推奨品一覧表

品名	外観寸法（mm）	数量 Std	数量 Pro	備考
イーサアクセス VPN ルーター (RT107e)		必要数		システム間接続用 ※ YAMAHA 製です。

2 システム構成図

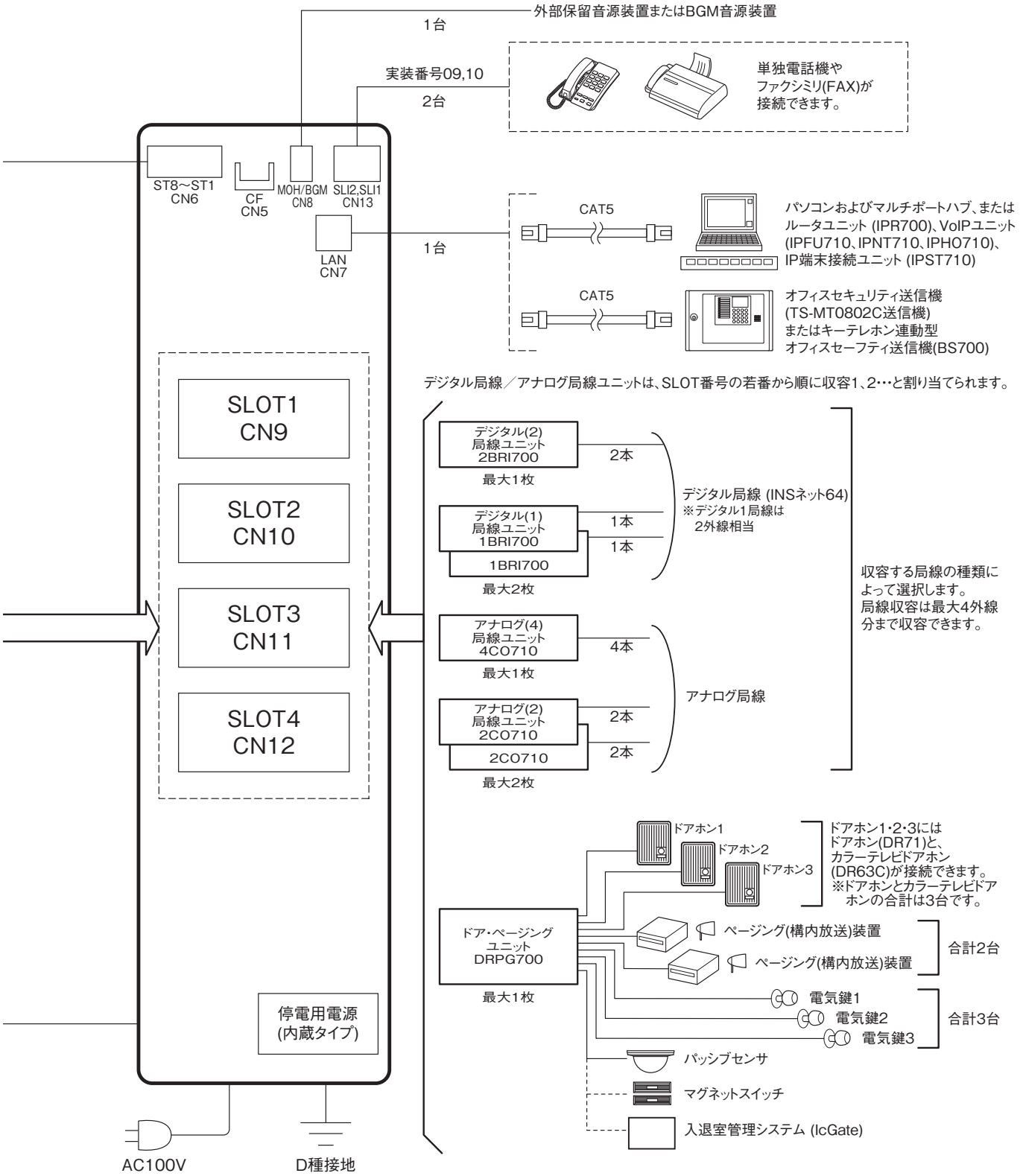
(1) HM700Std 主装置



メモ

- ●出荷時は、実装番号01～26が内線番号10～35に割り当てられています。
- ●プログラム設定P201内線番号指定で内線番号を変更することができます。
- ●ユニット構成を変更した場合は、プログラム設定を変更する必要があります。

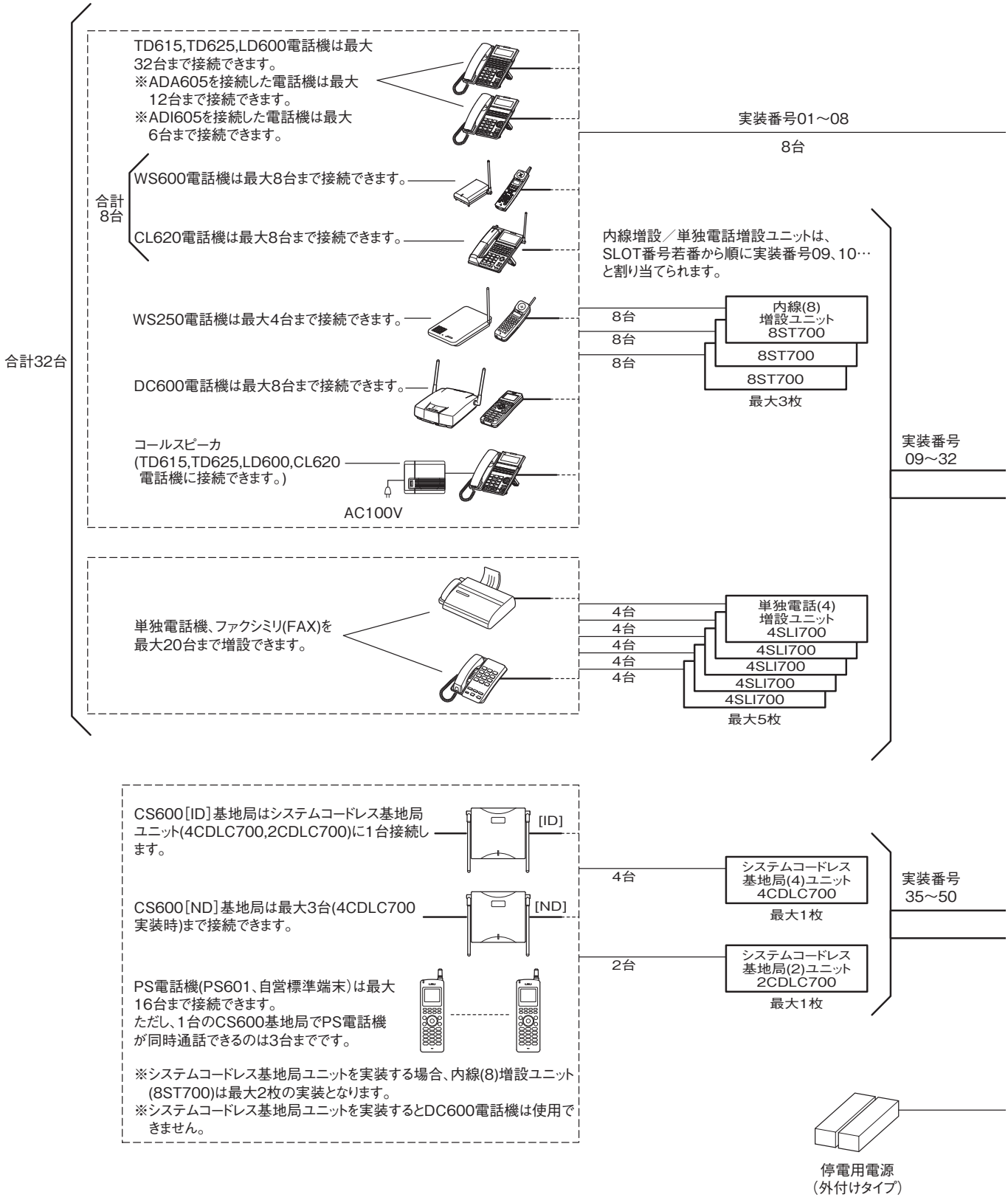
実装番号	内線番号
01	10
02	11
～	～
24	33
25	34
26	35



※電気錠の代わりにネットワークカメラでも接続可。
※IcGateはDR1～DR3またはSENSポートのうち2ポートを使用します。

ご注意 ●誤動作防止のため、必ずD種接地工事を行ってください。

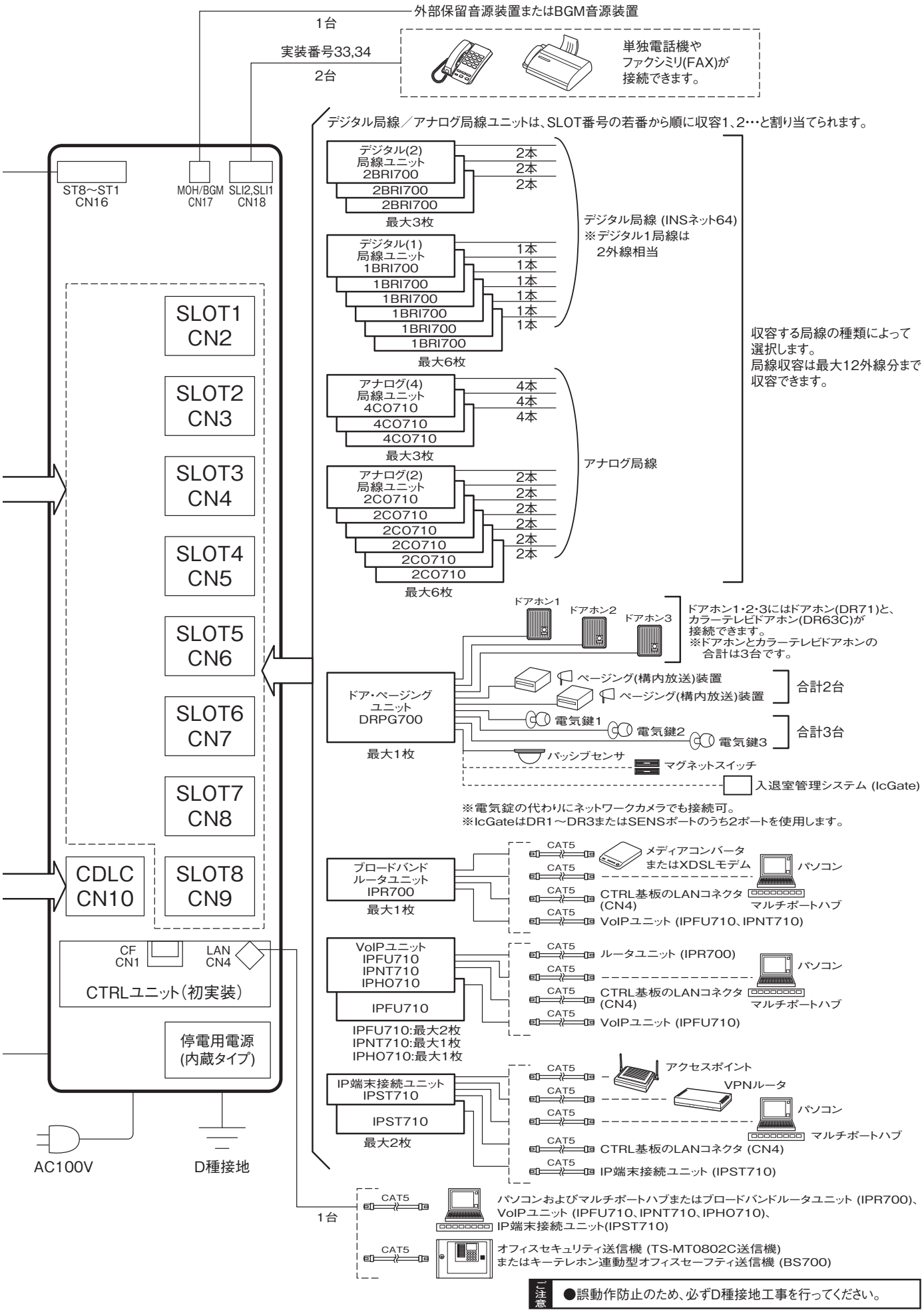
(2) HM700Pro 主装置



メモ

- ●出荷時は、実装番号01～80が内線番号10～89に割り当てられています。
  - ※実装番号81、82を利用するためにはプログラム設定P061内線番号桁数指定で内線番号を3桁にする必要があります。
- ●プログラム設定P201内線番号指定で内線番号を変更することができます。
- ●ユニット構成を変更した場合は、プログラム設定を変更する必要があります。

実装番号	内線番号
01	10
02	11
～	～
78	87
79	88
80	89


外部保留音源装置またはBGM音源装置
1台
実装番号33,34
2台
単独電話機や
ファクシミリ(FAX)が
接続できます。
デジタル局線／アナログ局線ユニットは、SLOT番号の若番から順に収容1、2…と割り当てられます。
ST8～ST1
CN16
MOH/BGM
CN17
SLI2,SLI1
CN18
SLOT1
CN2
SLOT2
CN3
SLOT3
CN4
SLOT4
CN5
SLOT5
CN6
SLOT6
CN7
SLOT7
CN8
SLOT8
CN9
CDLC
CN10
CF
CN1
LAN
CN4
CTRLユニット(初実装)
停電用電源
(内蔵タイプ)
AC100V
D種接地
デジタル(2)
局線ユニット
2BRI700
2BRI700
2BRI700
最大3枚
2本
2本
2本
デジタル(1)
局線ユニット
1BRI700
1BRI700
1BRI700
1BRI700
1BRI700
1BRI700
最大6枚
1本
1本
1本
1本
1本
1本
デジタル局線 (INSネット64)
※デジタル1局線は
2外線相当
アナログ(4)
局線ユニット
4CO710
4CO710
4CO710
最大3枚
4本
4本
4本
アナログ(2)
局線ユニット
2CO710
2CO710
2CO710
2CO710
2CO710
2CO710
最大6枚
2本
2本
2本
2本
2本
2本
アナログ局線
収容する局線の種類によって
選択します。
局線収容は最大12外線分まで
収容できます。
ドアホン1
ドアホン2
ドアホン3
ドアホン1・2・3にはドアホン(DR71)と、
カラーテレビドアホン(DR63C)が
接続できます。
※ドアホンとカラーテレビドアホンの
合計は3台です。
ドア・ページング
ユニット
DRPG700
最大1枚
ページング(構内放送)装置
ページング(構内放送)装置
合計2台
電気鍵1
電気鍵2
電気鍵3
合計3台
パッシブセンサ
マグネットスイッチ
入退室管理システム (IcGate)
※電気錠の代わりにネットワークカメラでも接続可。
※IcGateはDR1～DR3またはSENSポートのうち2ポートを使用します。
ブロードバンド
ルータユニット
IPR700
最大1枚
CAT5
メディアコンバータ
またはXDSLモデム
パソコン
CTRL基板のLANコネクタ
(CN4)
マルチポートハブ
VoIPユニット (IPFU710、IPNT710)
VoIPユニット
IPFU710
IPNT710
IPHO710
IPFU710
IPFU710:最大2枚
IPNT710:最大1枚
IPHO710:最大1枚
ルータユニット (IPR700)
VoIPユニット (IPFU710)
IP端末接続ユニット
IPST710
IPST710
最大2枚
アクセスポイント
VPNルータ
IP端末接続ユニット (IPST710)
1台
パソコンおよびマルチポートハブまたはブロードバンドルータユニット (IPR700)、
VoIPユニット (IPFU710、IPNT710、IPHO710)、
IP端末接続ユニット(IPST710)
オフィスセキュリティ送信機 (TS-MT0802C送信機)
またはキーテレホン連動型オフィスセーフティ送信機 (BS700)
ご注意
●誤動作防止のため、必ずD種接地工事を行ってください。

3 工事のまえに

▶(1) 工事上の注意

⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。
- ⃠ 停電用電源、CL620 子機の電池パック、WS600 子機の電池パック、WS250 子機の電池パック、システムコードレス電話機の電池パック、DC 子機の電池パックは絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。
- ❗ 停電用電源の極性・配列を間違えないように設置してください。誤った接続をした場合、爆発・発火の危険があります。
- ⃠ 濡れた手で電源プラグの抜き差し、オプションユニットの取り付け、配線工事はしないでください。感電する危険があります。

⚠ 警告

- ⃠ 指定された電圧以外の電源を使用しないでください。感電・発火・故障の危険があります。
- ⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。
- ❗ WS600 充電器、WS250 充電器、システムコードレス充電台、DC 子機充電器の AC アダプタは、それぞれ専用のものを使用してください。
- ⃠ WS600 充電器、WS250 充電器、システムコードレス充電台、DC 子機充電器の AC アダプタを他の用途に利用しないでください。
- ⃠ 電源延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、発火する恐れがあります。
- ❗ 電源プラグをコンセントに差す場合は、確実に根元まで差し込んでください。
- ⃠ 装置の開口部から内部にドライバなどの金属類を差し込まないでください。また、ネジなどを落とさないでください。

⚠ 注意

- ❗ 漏電による感電等を避けるため、アース線は必ず接続してください。
- ⃠ 電源コードの上に重いものをのせないでください。
- ⃠ 熱器具の近くに電源コードを配置しないでください。
- ❗ 電源プラグは必ずプラグ本体を持って抜いてください。
- ⃠ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。
  けがや故障の原因になります。
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶ (2) 設置上の注意

安定した場所に設置し、次のような所には設置しないでください。

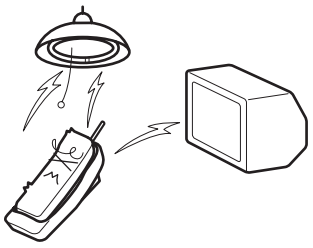
① 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度の上がる場所。(40℃以上)

② 著しく温度が下がる場所。(0℃以下)
(CL620 電話機、WS600 電話機を使用時は、5℃以下に温度が下がる場所)

③ 湿度が高い場所、水や油がかかる場所。

④ ホコリが多い場所。

⑤ テレビ、ラジオなどに近い場所。
(受信障害の原因になることがあります。2m 以上離して設置してください。)



⑥ 電気雑音を受けやすい場所。
(通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。)
- OA 機器、テレビ、電気コタツ、蛍光灯、工作機械などの近く。
- 放送局や無線局(アマチュア無線、CB 無線)などの近く。
- 車やオートバイが近くを通ったとき。

⑦ ハンズフリー通話をする電話機は、次のような場所を避けてください。
- 周囲の騒音が大きい場所。
- 音が反響しやすい場所。

ご注意

- **電源は、エアコン、工作機械、OA 機器と共用する電源コンセントを使用しないでください。**
- **電源の延長コードは使用しないでください。**
  (発熱・発火の危険があります)
- **電源は AC100V ± 10V 50/60Hz 以外の電源コンセントに接続しないでください。**
  (火災・感電・故障の原因となります)

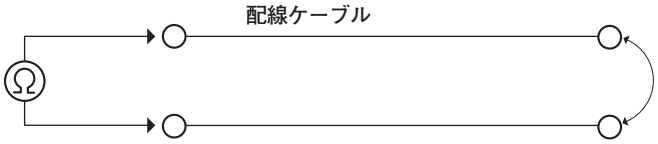
▶(3) 配線・接続上の注意

※配線工事をするときは、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いてください。

※何も接続されていない配線ケーブルをコネクタに接続しないでください。

① 本装置のアナログ局線ユニットの直流抵抗は 285 Ω です。本装置と線路抵抗の合計が 1700 Ω以下で使用してください。
② 本装置のデジタル局線ユニットの直流抵抗は 750 Ω です。本装置と線路抵抗の合計が 1560 Ω以下で使用してください。
③ 配線は必ず電子ボタン電話機用ケーブルを使用してください。
ETI ケーブル（沖電線）　　ICT ケーブル（富士電線）
④ 主装置と TD・PF 電話機など（電話機コードを含む）までの許容ループ抵抗は 20 Ω以下です。(2 線ループ)

■ 2 線ループ



■ 配線ケーブルの芯線径と配線距離

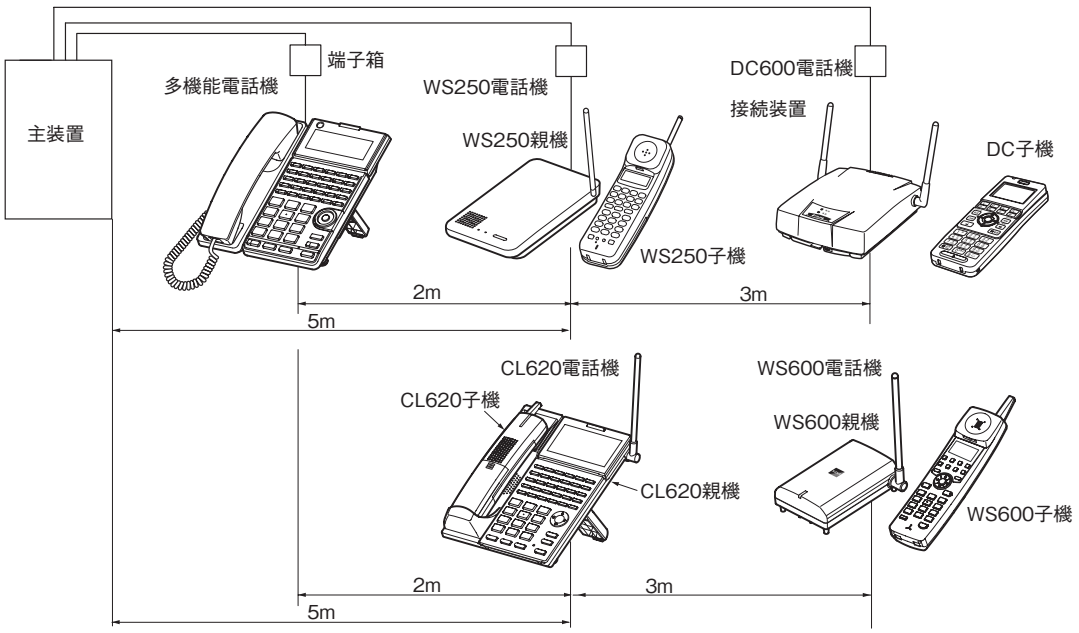
ループ抵抗の最大値	φ 0.4mm	φ 0.5mm	φ 0.65mm
20 Ω	68m	107m	177m

※電話機コード（2m）のループ抵抗は約 5 Ω。

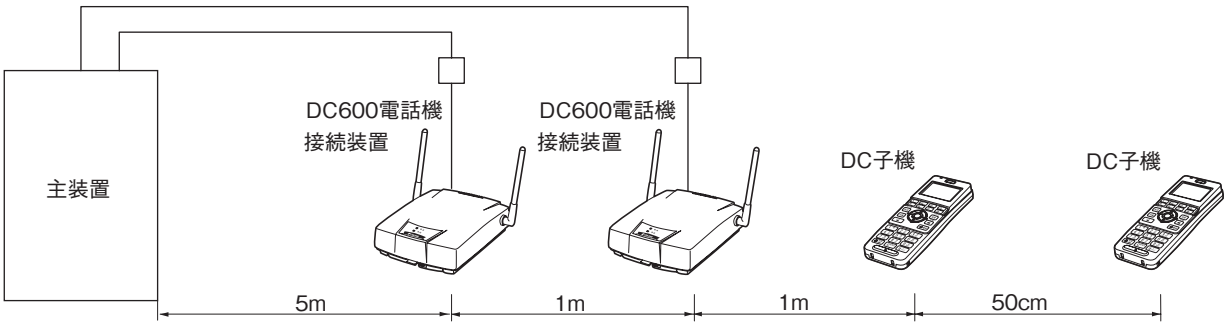
⑤ 主装置と単独電話機または単独電話増設ユニットと単独電話機の許容ループ抵抗は単独電話機の内部抵抗を含め 500 Ω以下です。(2 線ループ)
⑥ 配線が屋外に及ぶ場合は、両端に保安装置を取り付けてください。
⑦ 屋外配線を行う場合のケーブルは、架線用（屋外）配線ケーブルを使用するか屋外用カバーをかぶせてください。
架空用シールド付配線ケーブルを使用するときは、大地アースをとってください。
⑧ 電力線、テレビアンテナ線および FM アンテナ線との並行配線は避けてください。
⑨ 配線ケーブルをステップルで強くとめないでください。配線がショートすることがあります。
⑩ ジュウタンの下への配線は避けてください。
⑪ 机やロッカーなどで、配線ケーブルをはさまないでください。
⑫ 床上配線をして踏まれる恐れがある場合は、ワイヤプロテクタなどにより保護してください。

▶(4) CL620 電話機、WS600 電話機、WS250 電話機、システムコードレス電話機、DC600 電話機の設置上の注意

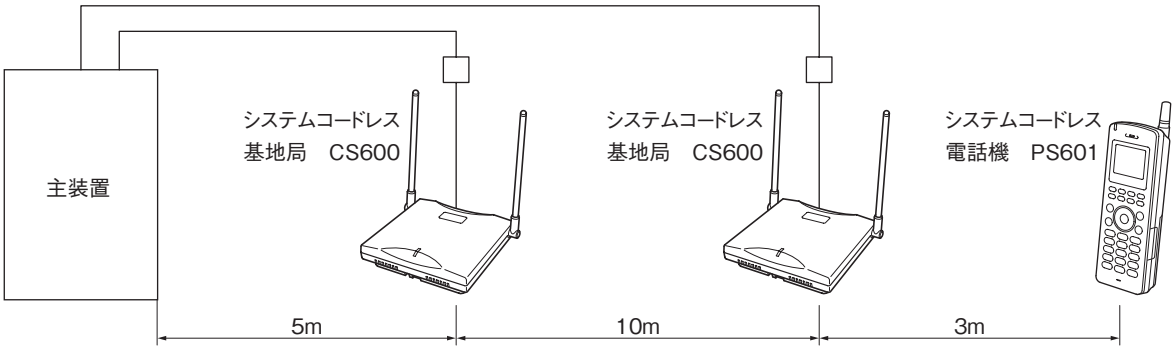
① CL620 親機、WS600 親機、WS250 親機は主装置から 5m 以上、多機能電話機から 2m 以上、他の親機または接続装置から 3m 以上離してください。(通話中に雑音が入ったり、着信ができなくなることがあります)



② DC600 電話機接続装置は主装置から 5m 以上、他の接続装置および DC 子機から 1m 以上離してください。また、DC 子機は他の DC 子機から 50cm 以上離してください。



③ システムコードレス基地局（CS600[ID] /CS600[ND]）は主装置から 5m 以上、他の基地局から 10m 以上離してください。また、システムコードレス電話機（PS601、自営標準端末）は、基地局から 3m 以上離してください。



④ DC600 電話機接続装置を壁掛けにする場合は、天井および両側面の壁から 15cm 以上離してください。
⑤ CL620 親機、WS600 親機を設置する場合は、天井および両側面の壁から 15cm 以上離してください。
⑥ 高周波を発生する機械設備のある場所には設置しないでください。
⑦ ラジオ・テレビ・ファクシミリ（FAX）・複写機（コピー機）などから 2m 以上離して設置してください。
⑧ CL620 親機、WS600 親機のアンテナは、垂直に立てて使用してください。
⑨ システムコードレス基地局のアンテナは垂直に立てて使用してください。
⑩ WS250 親機のアンテナは、垂直に立てて伸ばした状態で使用してください。
⑪ WS250 電話機、DC600 電話機は、通話中に保留を押したときや通話を終了するときなどに相手に「シュボ」という音が聞こえることがありますが、故障ではありません。
⑫ CL620 子機、WS600 子機、WS250 子機、システムコードレス電話機、DC 子機は、お使いになる前に充電してください。
※ CL620 子機、WS600 子機：約 8 時間以上の充電で連続通話が約 8 時間できます。
※ WS250 子機：約 16 時間以上の充電で連続通話が約 8 時間できます。
※ システムコードレス：約 7 時間以上の充電で連続通話が約 4.5 時間できます。
※ DC 子機：約 3 時間以上の充電で連続通話が約 8 時間できます。
⑬ 子機の充電を完全に行うために、次のことを守ってください。
・ CL620 親機には同一製造番号の CL620 子機以外は置かないこと。
・ システムコードレス充電器にはシステムコードレス電話機以外は置かないでください。
・ WS250 充電器には WS250 子機以外は置かないこと。
・ CL620 子機、WS600 子機、WS250 子機、システムコードレス電話機、DC 子機を他の充電器に置かないこと。
なお、WS600 充電器には CL620 子機を置いても問題ありません。
⑭ CL620 子機・WS600 子機・WS250 子機・システムコードレス電話機・DC 子機の電池パックは、専用のものを使用してください。
⑮ CL620 親機、WS600 親機、WS250 親機、システムコードレス基地局、DC600 電話機接続装置の上に、物を載せないでください。雑音が入ることがあります。
⑯ CL620 親機、CL620 子機、WS600 子機、WS600 充電器、WS250 子機、WS250 充電器、システムコードレス電話機、システムコードレス充電器、DC 子機、DC 子機充電器の充電端子を金属などでショートさせないでください。

▶ (5) 無線に関する注意

① 電波を使用している CL620 電話機、WS600 電話機、WS250 電話機、システムコードレス電話機、DC600 電話機の通話は、以下の技術により傍受されにくくなっておりますが、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する可能性があります。この点について十分配慮して使用してください。機密が必要な通話は、有線の TD615、TD625、LD600 電話機のいずれかを使用することをおすすめします。

- WS250 電話機：アナログ信号（マルチチャンネルアクセス（複数の電波を利用する技術）、および盗聴防止機能（スクランブル機能：音声を特殊加工したのち電波を送信する技術））
- CL620 電話機、WS600 電話機：デジタル信号
- DC600 電話機、システムコードレス電話機：デジタル信号

② 移動しながら使用するときは、位置や向きによって雑音が入ることがあります。

③ CL620 電話機、WS600 電話機、WS250 親機、DC600 電話機は、通常半径 100m(見通し距離) 以内で使用できますが、親機と子機間に下記の障害物などがあると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使えなくなることがあります。
設置環境を確認のうえ、CL620 親機、WS600 親機、WS250 親機、DC600 電話機接続装置の設置場所を決めてください。

- 金属製のドア
- アルミはく入りの断熱材が入っている壁
- コンクリートやトタン製の壁

④ システムコードレス電話機（PS601、自営標準端末）は、通常半径 100m（見通し距離）以内で使用できますが、基地局と電話機間に下記の障害などがあると、通話中に雑音が入り、使えなくなることがあります。
設置環境を確認のうえ、システムコードレス基地局（CS600[ID] /CS600[ND]）の設置場所を決めてください。

- 金属製のドア
- アルミはく入りの断熱材が入っている壁
- コンクリートやトタン製の壁

⑤ 同一室内で無線 LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。

▶ (6) 電源投入時の注意

① 電源投入はシステムに接続されている、単独電話機・FAX 等がオンフック状態であることを確認してから行ってください。
オフフック状態で電源を投入した場合、一度オンフック（約 1 秒間）するまで単独電話機・FAX 等は使用できません。

② 電源ランプは、電源スイッチ ON から約 3 秒後に点灯します。
3 秒以上経過しても点灯しない、またはすぐに消灯してしまう場合は電源ユニットの保護回路が動作している可能性があります。電源スイッチを OFF にし、原因を取り除き約 1 分間放置後、再度電源スイッチを ON してください。（放置時間が短いと立ち上がりません。）

③ 電源の再投入は 1 分間以上の間隔を取って行ってください。

④ システムが起動するまで電源ランプが点灯後、約 20 秒間かかります。

4 主装置の工事

※主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント（AC100V）から抜いて工事してください。

⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

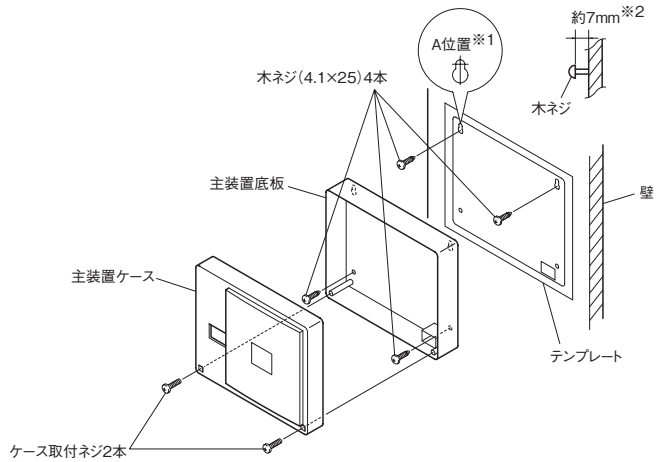
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶（1）主装置の壁掛取り付け方法

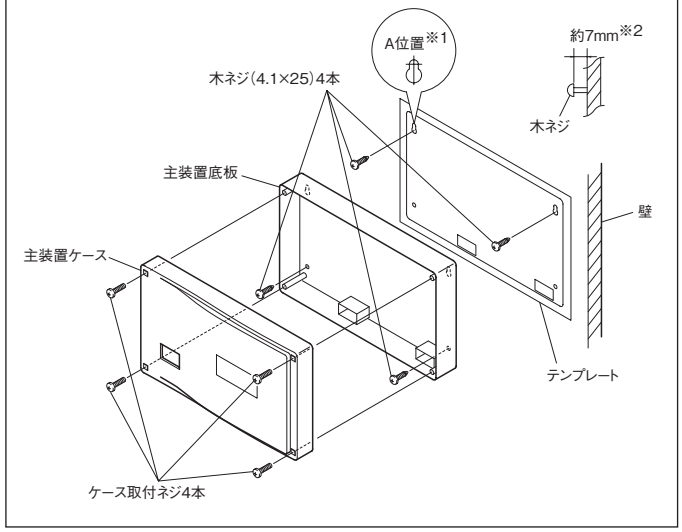
●取り付け方法 1（テンプレートを使用する場合）

① テンプレートを壁に貼り付けます。
② テンプレート A 位置※1 に付属の木ネジ（4.1 × 25）2 本を取り付けます。そのとき、木ネジの首下を壁より約 7mm※2 残してください。
③ 主装置ケースをケース取付ネジで緩めて取り外します。
④ 主装置底板を木ネジにはめ込みます。
⑤ 主装置底板を木ネジ 4 本で固定します。
⑥ 主装置ケースをケース取付ネジで固定します。

HM700Std の場合



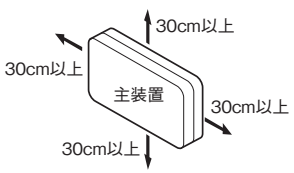
HM700Pro の場合



ご注意

● 土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

● 主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。
（誤動作の原因となります）

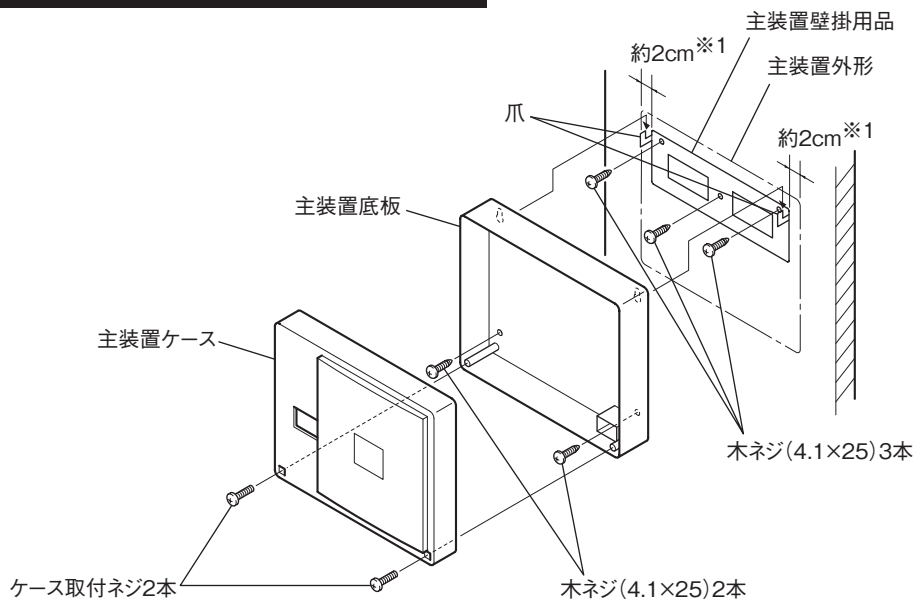


●取り付け方法 2（別売品の主装置壁掛用品を使用する場合）

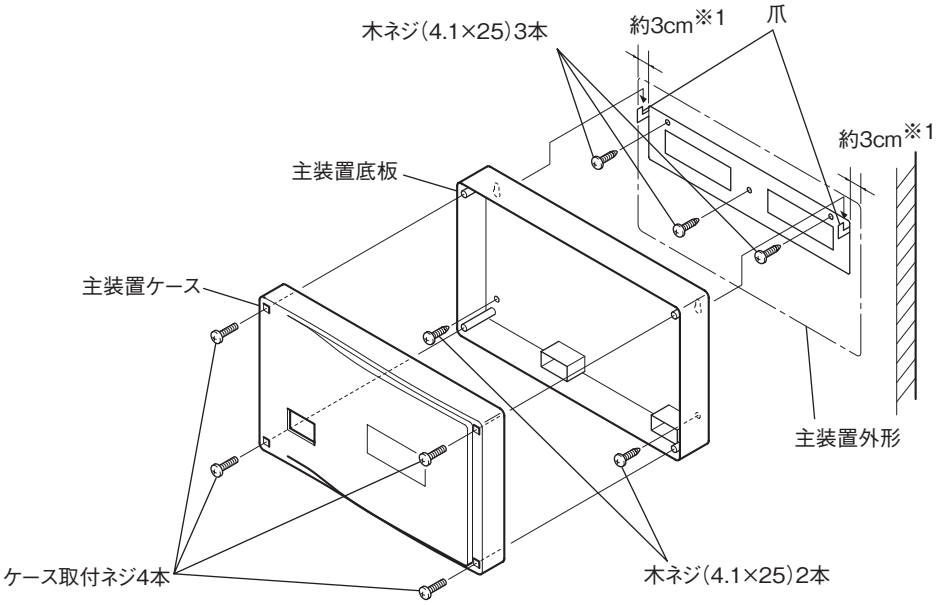
※ 主装置は、主装置壁掛用品より両側に約 2 ～ 3cm※1 外側に出ます。
主装置壁掛用品取り付け時、注意してください。

① 主装置壁掛用品を付属の木ネジ（4.1 × 25）3 本で壁に取り付けます。
② 主装置ケースをケース取付ネジで緩めて取り外します。
③ 主装置底板を主装置壁掛用品の爪 2 ヵ所に引掛けて、下側を木ネジ（4.1 × 25）2 本で固定します。
④ 主装置ケースをケース取付ネジで固定します。

HM700Std の場合



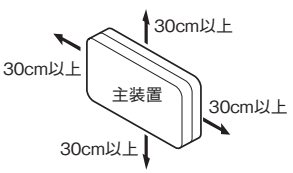
HM700Pro の場合



ご注意

● 土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

● 主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。
（誤動作の原因となります）

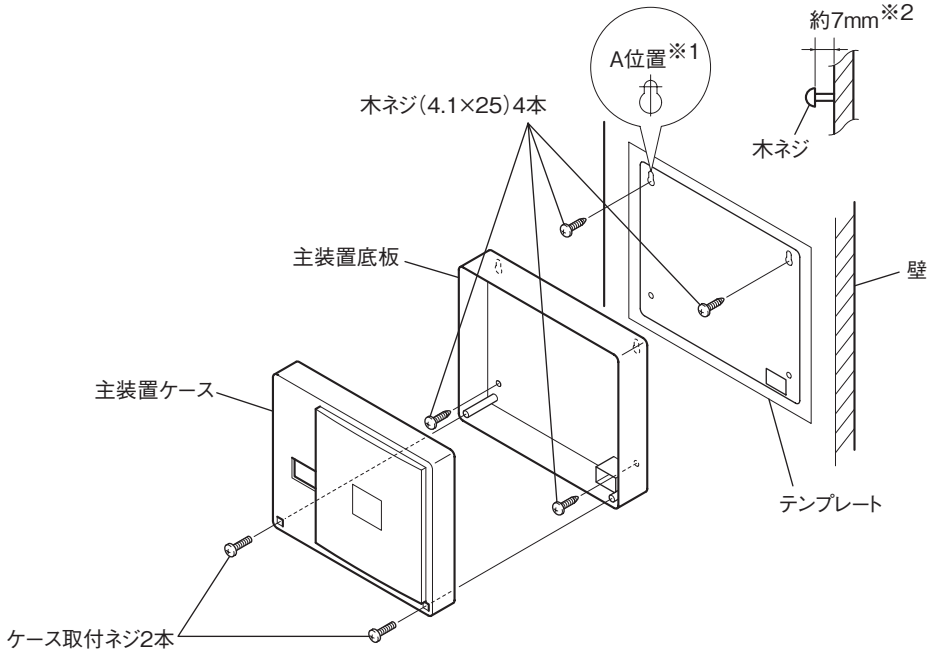


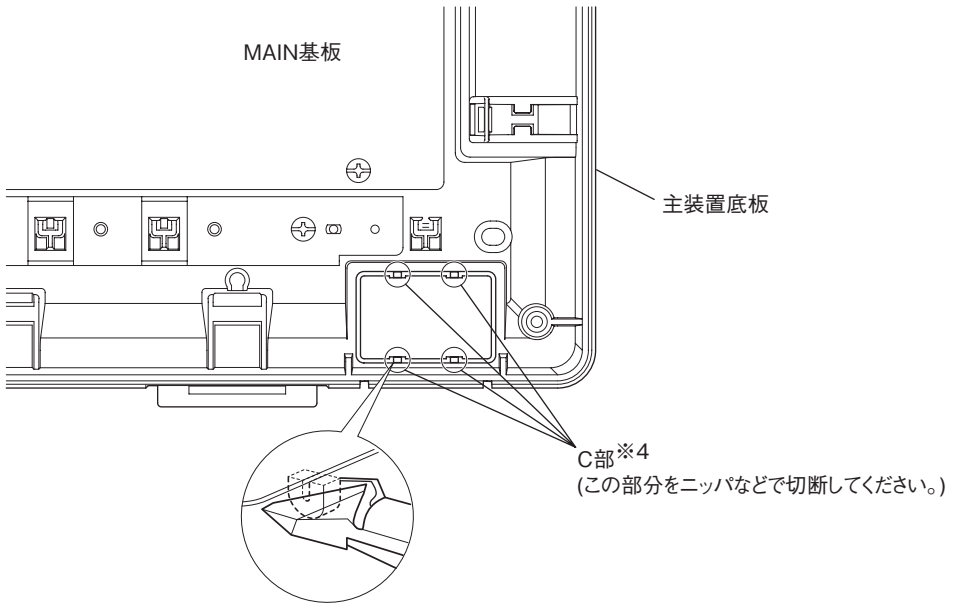
●取り付け方法３（スイッチボックスなどの穴を利用する場合）

HM700Std の場合

※主装置の C 部※4 をニッパなどで切断し、配線ケーブルを通して配線してください。

① テンプレートを壁に貼り付けます。そのとき、B 部※3 とスイッチボックスなどの穴の位置を合わせます。
② テンプレート A 位置※1 に付属の木ネジ（4.1 × 25）２本を取り付けます。そのとき、木ネジの首下を壁より約 7mm※2 残してください。
③ 主装置ケースをケース取付ネジ２本を緩めて取り外します。
④ 主装置底板の C 部※4 をニッパなどで切断します。
⑤ 主装置底板を木ネジにはめ込みます。
⑥ 主装置底板を木ネジ４本で固定します。
⑦ 主装置ケースをケース取付ネジ２本で固定します。

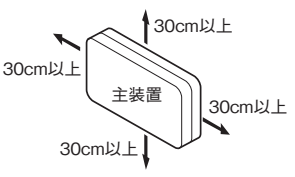




ご注意

● 土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

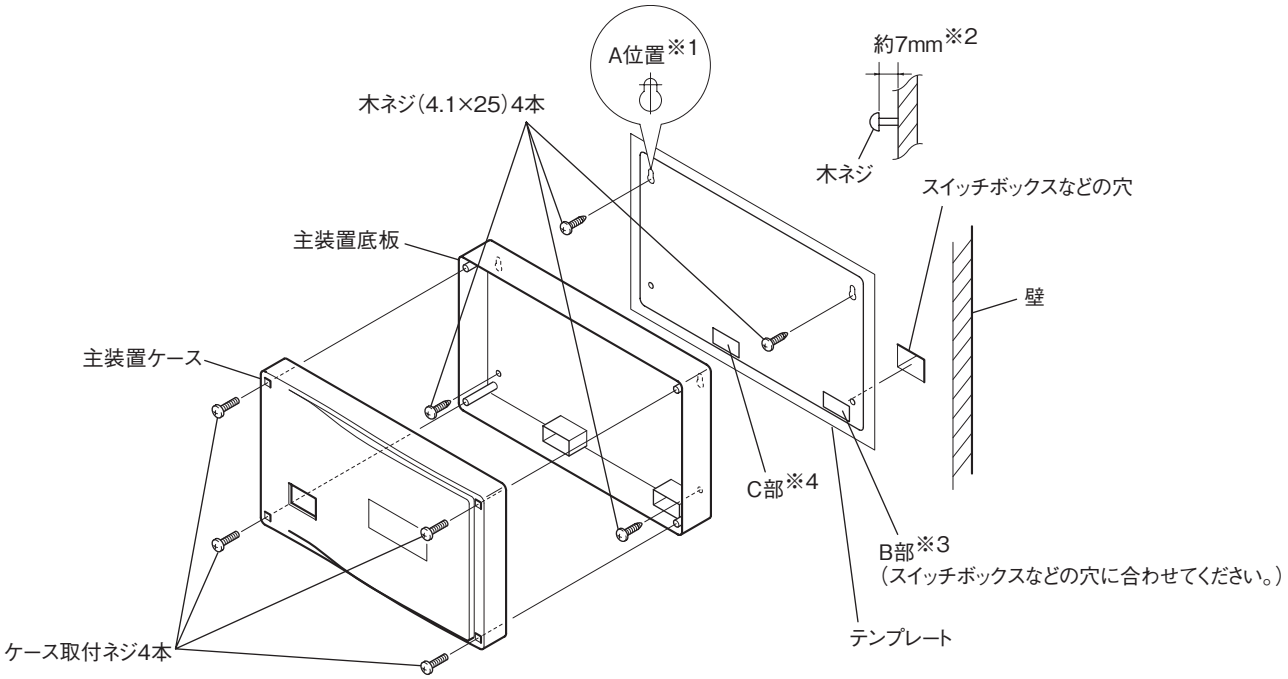
● 主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。
（誤動作の原因となります）

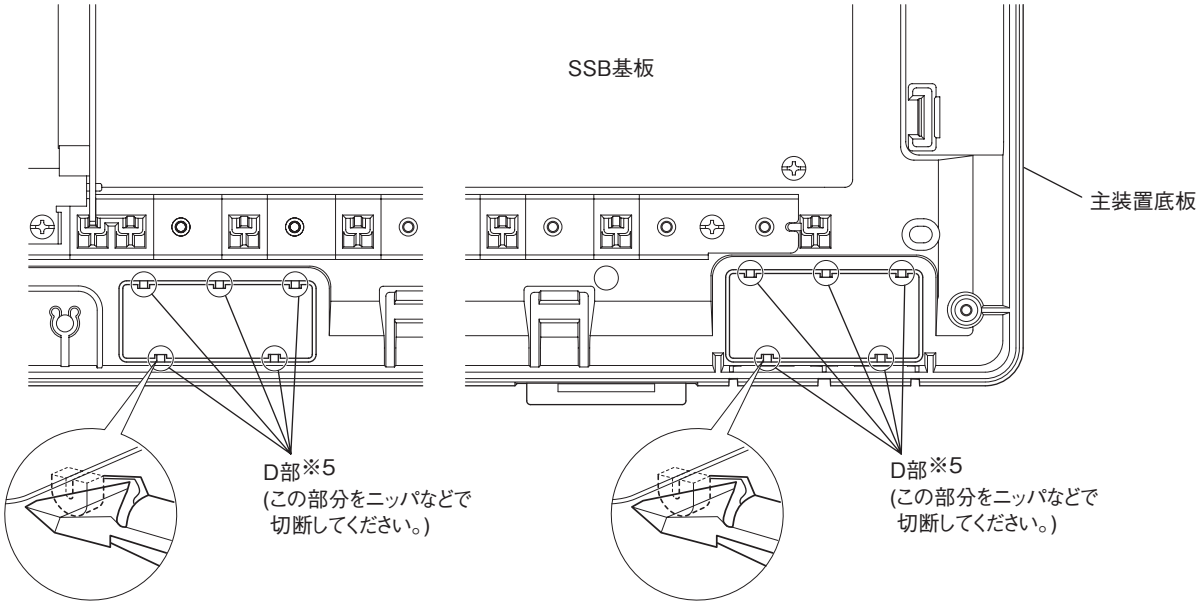


HM700Pro の場合

※主装置の D 部※5 をニッパなどで切断し、配線ケーブルを通して配線してください。

① テンプレートを壁に貼り付けます。そのとき、B 部※3 または C 部※4 とスイッチボックスなどの穴の位置を合わせます。
② テンプレート A 位置※1 に付属の木ネジ（4.1 × 25）2 本を取り付けます。そのとき、木ネジの首下を壁より約 7mm※2 残してください。
③ 主装置ケースをケース取付ネジ 4 本を緩めて取り外します。
④ 主装置底板の D 部※5 をニッパなどで切断します。
⑤ 主装置底板を木ネジにはめ込みます。
⑥ 主装置底板を木ネジ 4 本で固定します。
⑦ 主装置ケースをケース取付ネジ 4 本で固定します。

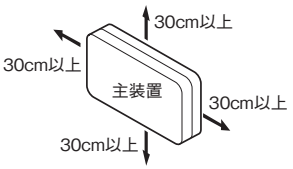




ご注意

● **土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。**

● **主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。**
（誤動作の原因となります）



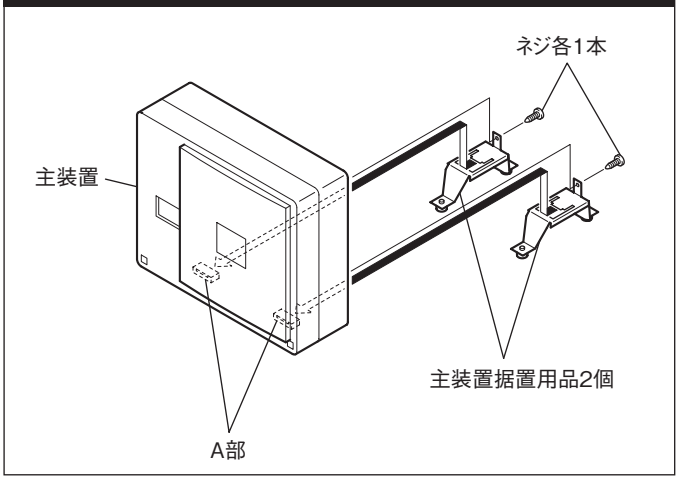
▶ (2) 主装置の据置方法

●据置方法（別売の主装置据置用品を使用する場合）

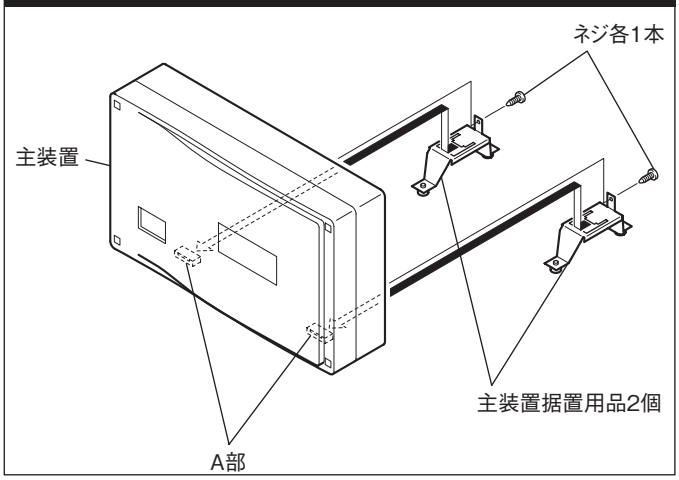
※主装置据置用品の取り付けは、主装置への配線工事終了後行ってください。

① 主装置ケースをケース取付ネジ（Std:2 本、Pro:4 本）を緩めて取り外します。
② 主装置への配線工事を行います。
③ 主装置ケースをケース取付ネジ（Std:2 本、Pro:4 本）で固定します。
④ 主装置底板および主装置ケースの A 部に主装置据置用品 2 個を取付ネジ（各 1 個）にて固定します。

HM700Std の場合

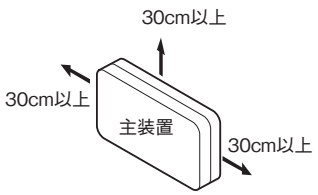


HM700Pro の場合



ご注意

- **主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。（誤動作の原因となります）**
- **据置用品取り付け後、再工事をする場合は、一度主装置を倒した状態で工事をしてください。（転倒のおそれがあります）**

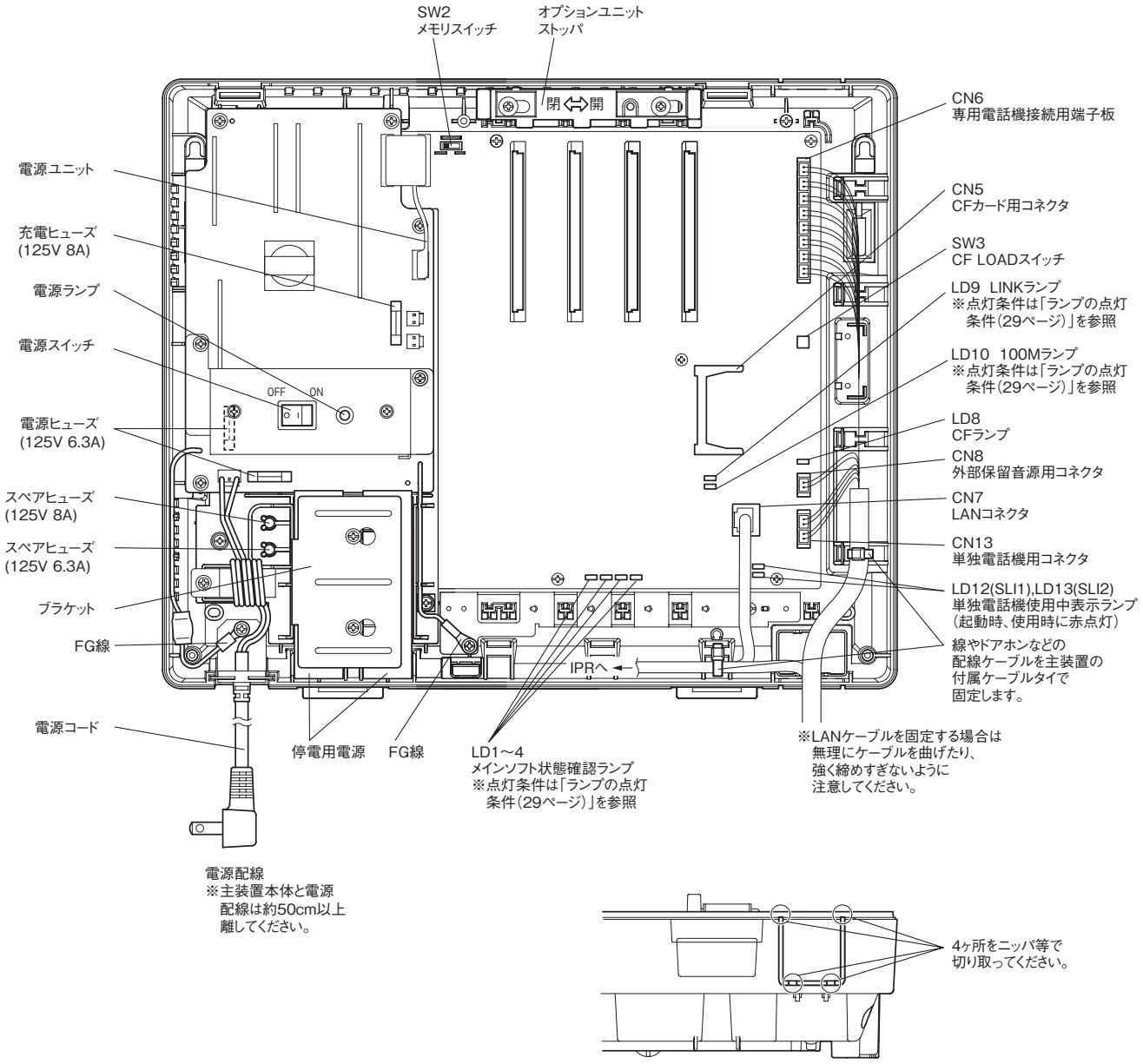


▶ (3) 主装置の初実装機能

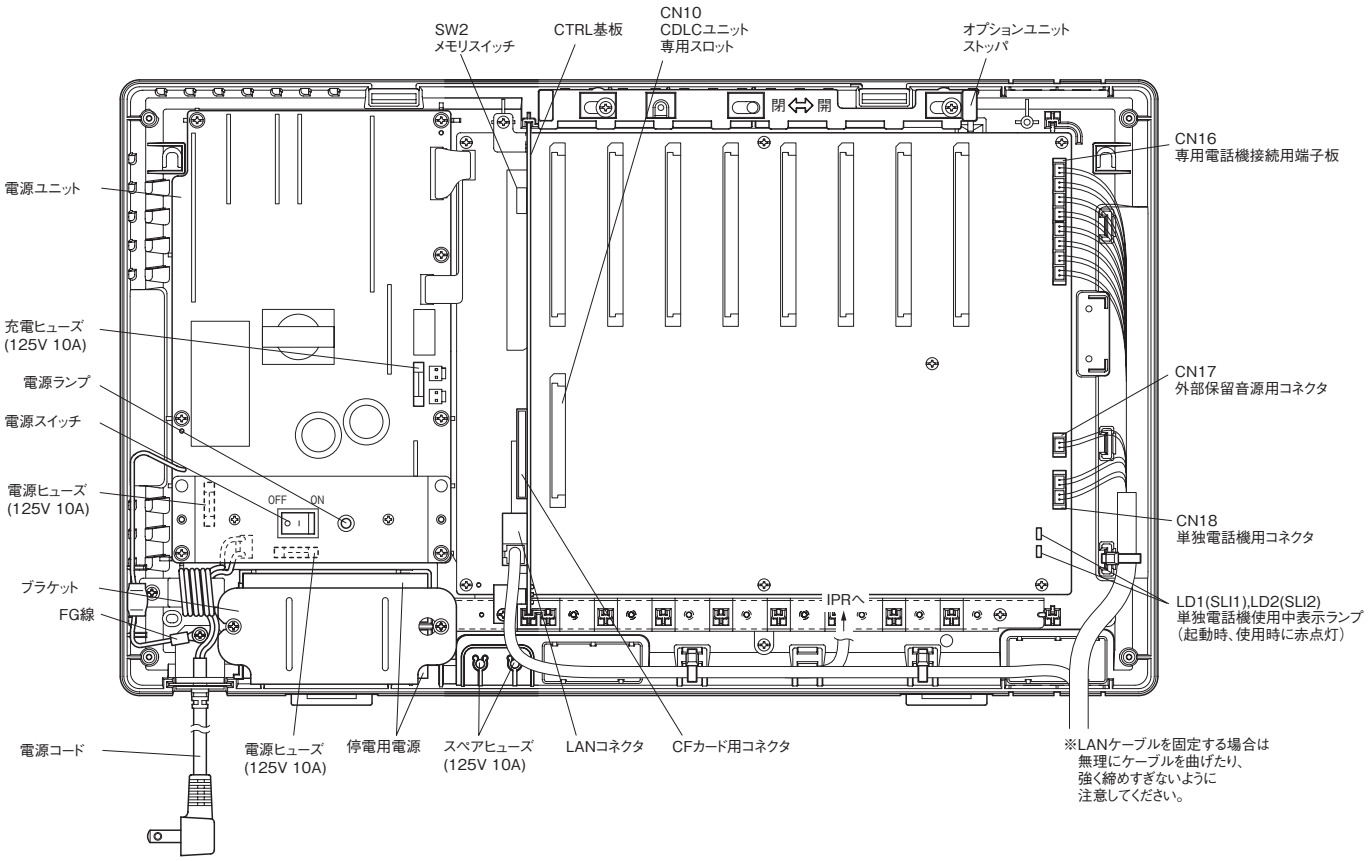
●初実装の HM700Std 主装置と HM700Pro 主装置で下記のものを接続することができます。

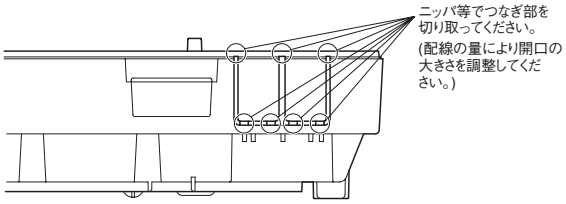
- 専用電話機：8 台（実装番号 01 ～ 08）
- 外部保留音源または BGM 音源装置：1 台
- 単独電話機または FAX：2 台（HM700Std：実装番号 09、10、HM700Pro：実装番号 33、34）
- パソコンまたはマルチポートハブ：1 台
- メンテナンス用 CF カード：1 枚

HM700Std の場合

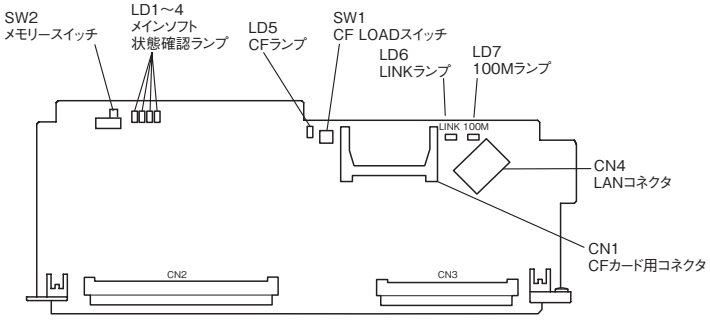


HM700Pro の場合





●CTRL基板



※メインソフト状態確認ランプ(LD1～4)、LINKランプ(LD6)および
100Mランプ(LD7)の点灯条件は、「ランプの点灯条件(29ページ)」参照

ご注意

- 誤動作防止のため、D 種接地工事を行ってください。
- システムが起動するまで電源ランプが点灯後、約 20 秒かかります。
- 主装置の各ユニット（基板）の脱着は、必ず電源スイッチを「OFF」に切り替え、電源ランプの消灯を確認後、行ってください。
  （感電・故障の原因となります）
- 電源ランプは、電源スイッチ ON から約 3 秒後に点灯します。
- 電源スイッチを ON し 3 秒以上経過しても、電源ランプが点灯しない、またはすぐに消灯してしまう場合、電源ユニットの保護回路が動作している可能性があります。電源スイッチを「OFF」に切り替え原因を取り除き約 1 分間放置後、電源スイッチを「ON」に切り替えてください。（放置時間が短いと立ち上がりません）
- 電源の再投入は、1 分間以上の間隔を取って行ってください。

●初実装の LAN コネクタにパソコンまたはマルチポートハブを接続した際には、下記の機能を使用することができます。

- オンサイトメンテナンス
  LAN を介してパソコンを接続することで、主装置の設定データの変更などを行います。
- CTI 機能
  LAN を介してパソコンを接続することで、CTI 環境を構築することができます。

●必要な機器
- パソコン
  Windows Me / 2000 / XP / VISTA で動作しているパソコン
- ソフトウェア
  オンサイトメンテナンス･･･ Web ブラウザ（インターネットエクスプローラ 6 以上）
  CTI 機能･･･････････････････ CTI 用アプリケーション各種

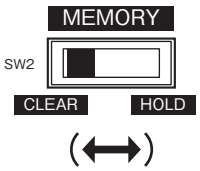
●操作方法
- オンサイトメンテナンス操作方法については、サクサホームページ内 (http://www.saxa.co.jp) から操作資料をダウンロードのうえ、ご確認ください
- CTI 操作方法については、CTI 用アプリケーションに添付の資料をご確認ください。

● HM700Std/ HM700Pro 主装置のメモリスイッチ

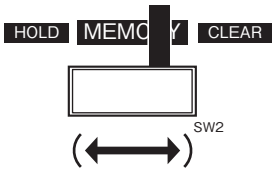
SW2 は出荷時、「CLEAR」側に設定してあります。
電源コードを AC100V コンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてから 30 秒以上経過後に「HOLD」側に切り替えます。

メモリクリアが必要な場合は、下記の手順で行います。
① 電源スイッチを「OFF」にします。
② SW2 を「CLEAR」側に切り替えます。
③ 電源スイッチを「ON」にします。
④ 30 秒以上経過後に、SW2 を「HOLD」側に切り替えます。

HM700Std主装置 (MAIN基板のSW2)



HM700Pro主装置 (CTRL基板のSW2)



ご注意

- 「CLEAR」側のままにしておくと、停電時にプログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて初期に戻り、消えてしまいます。
  必ず「HOLD」側に切り替えてください。
- メモリスイッチを中途半端な位置で止めると、電話機に「メモリバックアップ電池交換」が表示されてしまうことがありますのでご注意ください。

●ランプの点灯条件

● LINK ランプおよび 100M ランプ

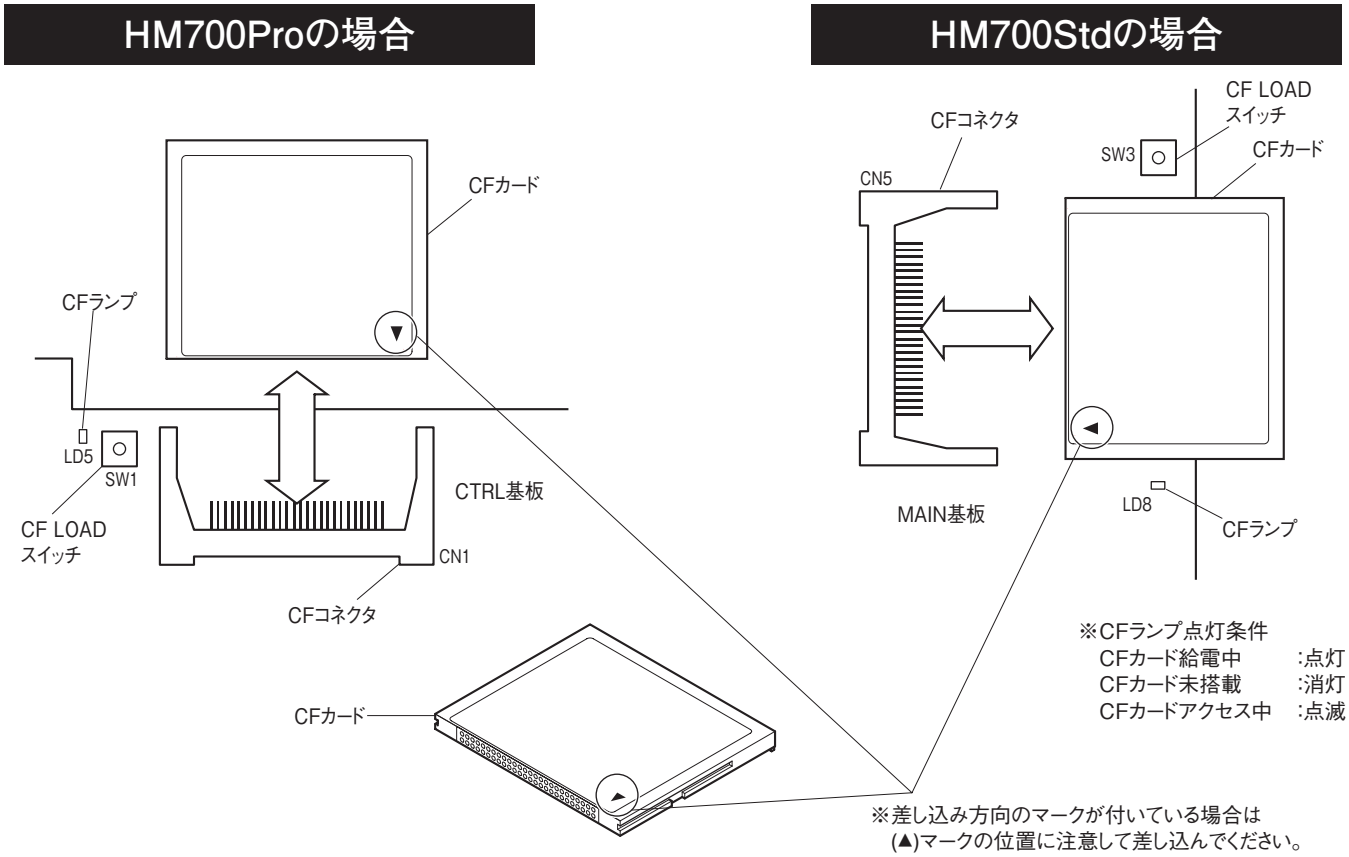
ランプ状態		操作状態
LINK ランプ	100M ランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-T で通信している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TX で通信している。
点灯	—	データの送受信を行っている。

●メインソフト状態確認ランプ

○：消灯　●：点灯　◎：点滅（ON 時間／ OFF 時間）

状態		LED1	LED3	LED4	LED2	備考
AC 電源動作状態					●	
バッテリ動作状態（停電検出）					◎ 50/1950ms	停電中
正常動作	[メモリスイッチ] HOLD 側	◎ 1950/50ms			● （又は停電中）	
	[メモリスイッチ] CLEAR 側	◎ 50/50ms			● （又は停電中）	
	システムアイドル		○		● （又は停電中）	
	アイドル以下		●		● （又は停電中）	
	CF カードアクセス中			◎ 50/50ms	● （又は停電中）	CF カード引き抜き禁止
プログラムダウンロード	プログラムダウンロード中	●	○	◎ 50/50ms	●	
	プログラムダウンロード 正常終了	○	○	○	◎ 100/100ms	

●メンテナンス用 CF カードの使用方法



● CF カード
・ 推奨品を使用してください。

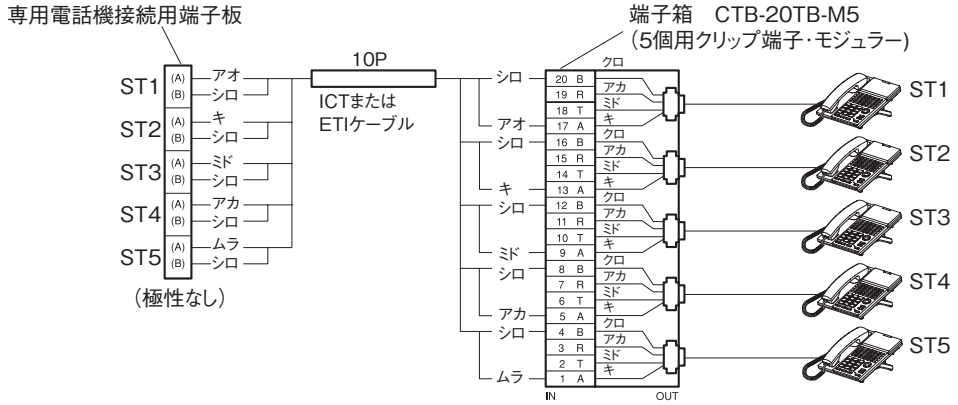
● CF カードの使用方法
※ CF カードの挿抜は、必ず主装置の電源スイッチを OFF の状態で行ってください。

・プログラムダウンロード
下記の手順で、主装置プログラムを CF カードからダウンロードができます。
① CF カードを CF コネクタに装着し、CF LOAD スイッチを押しながら、電源スイッチを ON にします。
② CF ランプが点滅状態に移行したことを確認し（電源スイッチを ON にしてから 6 ～ 7 秒後）、CF LOAD スイッチを離します。
③ プログラムのダウンロードは、数分間かかります。CF ランプが消灯し、メインソフト状態確認ランプが「プログラムダウンロード正常終了」状態（29 ページ参照）にあることを確認し、電源スイッチを OFF にします。
④ CF カードを抜き、電源スイッチを ON にすることでダウンロードされたプログラムでの起動となります。

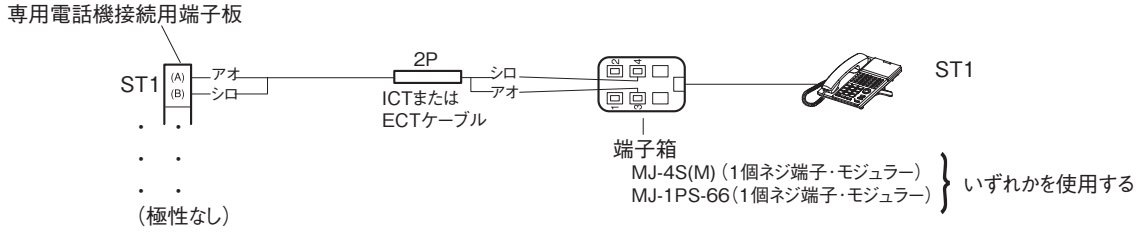
▶(4) 専用電話機接続用端子板と端子箱の接続方法

初実装および内線増設ユニットの専用電話機接続用端子板と 5 個用端子箱（CTB-20TB-M5）または 1 個用端子箱（MJ-4S(M) または、MJ-1PS-66）との接続方法を示します。

● 5 個用端子板の場合



● 1 個用端子板の場合



●配線ケーブルは、付属のソケットにカシメ作業（32 ページ）後、電話機接続用端子板にソケットを「カチ」音がするまで差し込む。
●ソケットを端子板から抜くときは、基板を押さえながら、ソケットをペンチなどではさんで抜いてください。（配線ケーブルを持って抜くと接触不良などの原因となる）

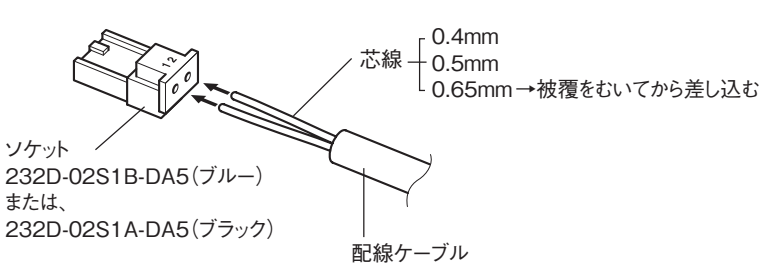
●専用電話機接続用端子板と端子箱の配線

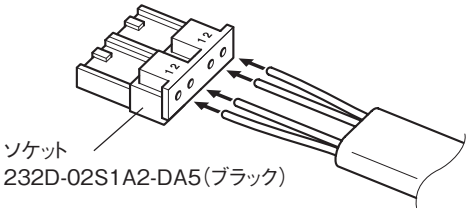
専用電話機接続用端子板		端子箱		備考
		5 個用	1 個用	
HM700Std MAIN 基板 CN6	（A）　（極性なし）	A	L3	通電動作時の端子電圧は約 -28V
HM700Pro MAIN 基板 CN16	（B）	B	L4	
8ST700 ユニット CN3				

ソケットのカシメ作業

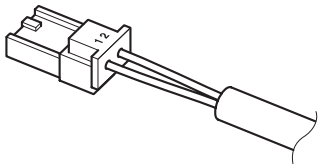
※ ソケットは第一電子工業株式会社製の232D-02S1B-DA5(ブルー)、232D-02S1A-DA5(ブラック)、
232D-02S1A2-DA5(ブラック)を使用します。

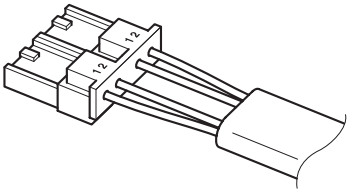
① ソケットに芯線の先端をそろえて差し込みます。



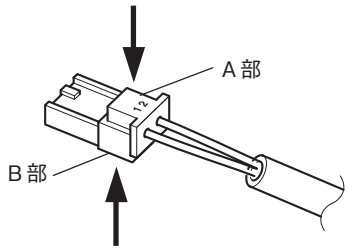


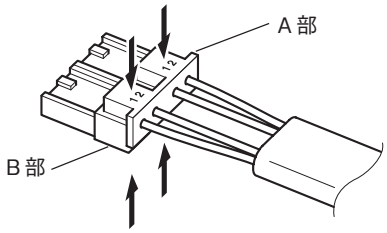
② 芯線を奥まで、押し込みます。





③ ペンチなどでソケット A・B 部をはさんで、強く押し込んでください。





ご注意

- ソケットの再カシメ（再使用）はしないでください。(接触不良の原因になります)
- ソケットを各ユニットから抜くときは、ユニットを押さえながら、ソケットをペンチなどで、はさんで抜いてください。(芯線を持って抜くと接触不良の原因になります)

5 オプションユニットの接続

▶(1) ユニットの取り付け／取り外し

ご注意

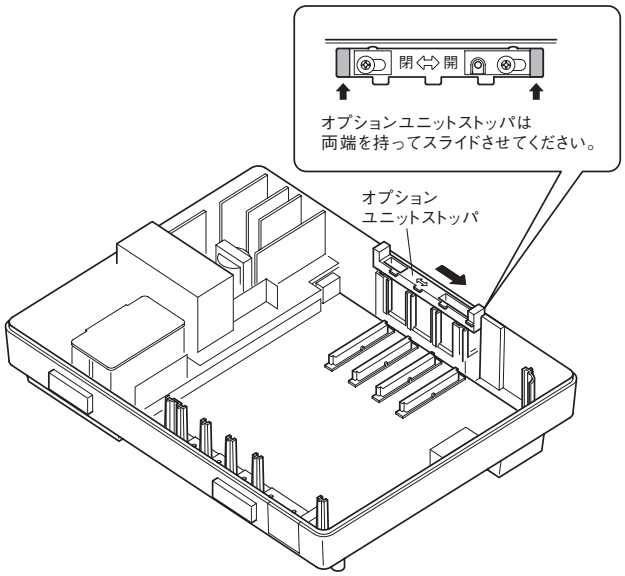
● ユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源が OFF の状態で行ってください。

(1) ユニットの取り付け

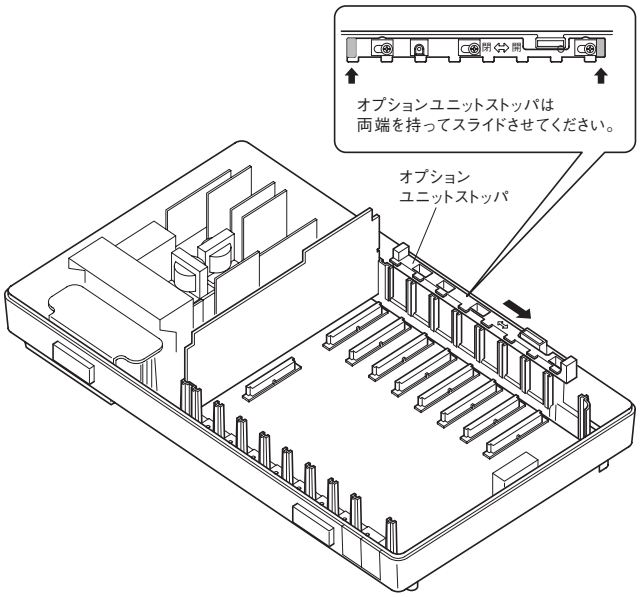
ユニットは、スイッチ設定などの調整を行ってから、主装置のスロットに取り付けます。

① オプションユニットストッパを、“カチッ”と音がするまで右方向にスライドさせます。
オプションユニットストッパのネジはゆるめないでください。

HM700Std の場合

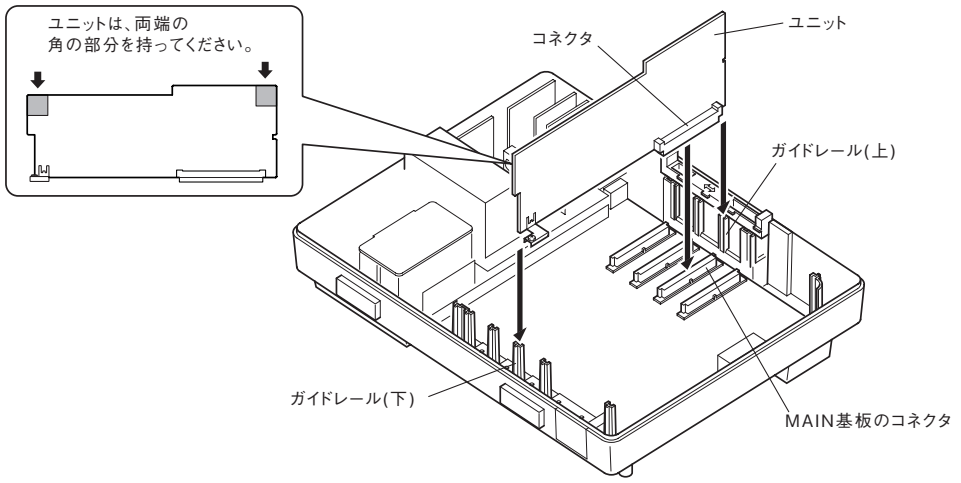


HM700Pro の場合

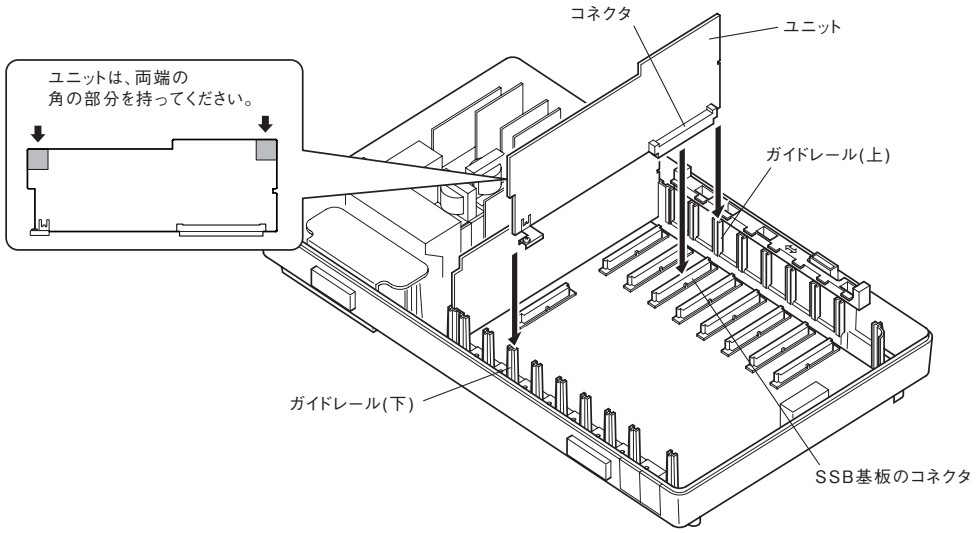


② ユニットをガイドレールに沿って挿入し、ユニットのコネクタを HM700Std MAIN 基板または HM700Pro SSB 基板コネクタにしっかり差し込みます。

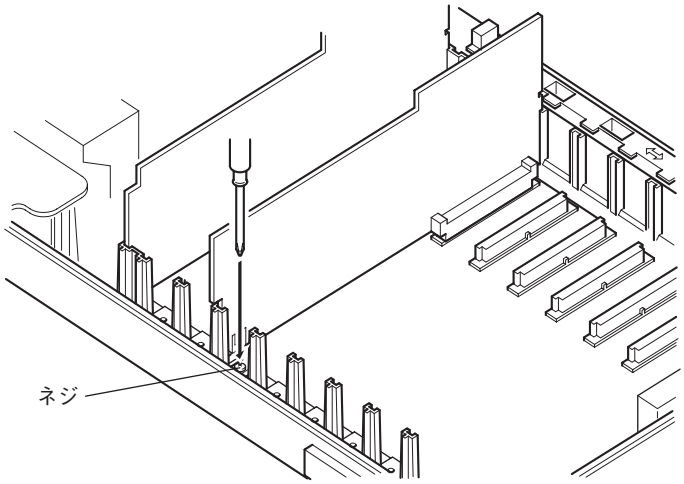
HM700Std の場合



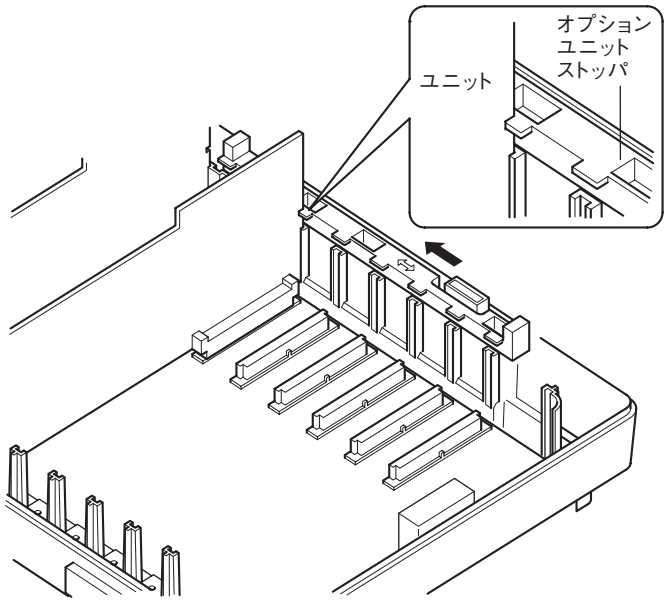
HM700Pro の場合



③ ユニットに付いているネジで、ユニットを主装置内部の FG ブラケットに固定します。



④ユニットを全て取り付けた後、オプションユニットストッパの両端を持って、左方向に“カチッ”と音がするまでスライドさせます。
オプションユニットストッパがユニットの切り欠きに入り、ユニットが固定されます。



オプションユニットストッパが完全にロックされていないと主装置ケースが取り付けられません。

以上で、ユニットの取り付けは完了です。

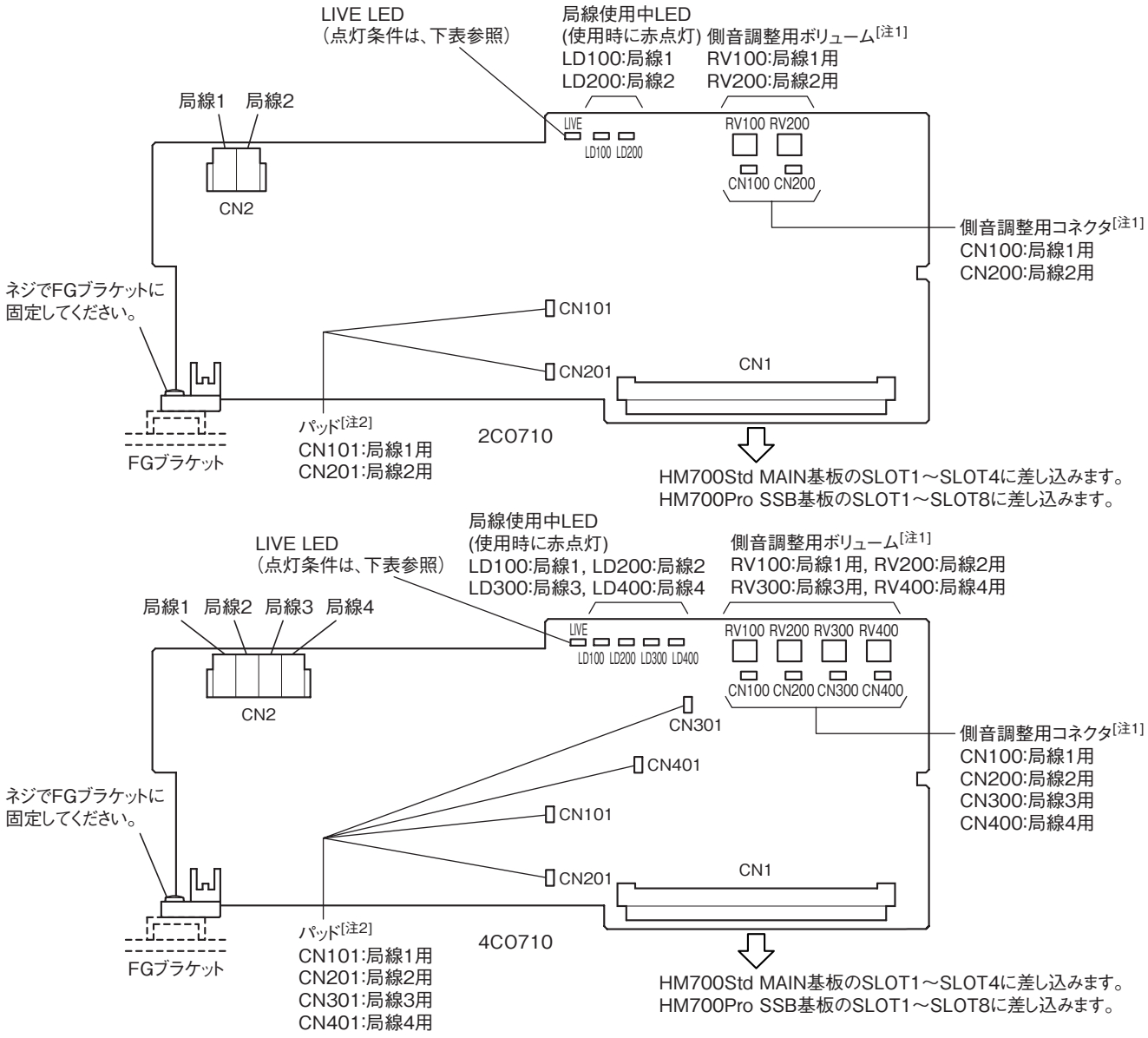
(2) ユニットの取り外し

ユニットの取り外し手順は、取り付け手順を逆に行ってください。

▶ (2) アナログ局線ユニット【2CO710/4CO710】

- アナログ (2) 局線ユニット [2CO710]1 枚でアナログ局線 2 本 (2 外線相当)、アナログ (4) 局線ユニット [4CO710]1 枚でアナログ局線 4 本 (4 外線相当) を収容することができます。
- HM700Std に実装時は、デジタル局線ユニットと合わせて 4 外線相当まで収容できます。
- HM700Pro に実装時は、デジタル局線ユニットと合わせて 12 外線相当まで収容できます。
- 電話機外線ボタンへの局線の割付けは、主装置メモリスイッチが CLEAR(出荷時設定) の場合、デジタル局線ユニットと合わせて SLOT 番号の若番からになります。

※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業（32 ページ）後 CN2 に接続します。



［注1］各局線の側音調整方法は、38ページを御覧ください。
［注2］各局線のパッド切替方法は、38ページを御覧ください。

LIVE LED 点灯条件について

起動中 ↓	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）
動作中	点灯
ユニット実装数制限外	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）

ご注意

● 誤動作防止のため必ずアナログ局線ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。

⚠ 危険

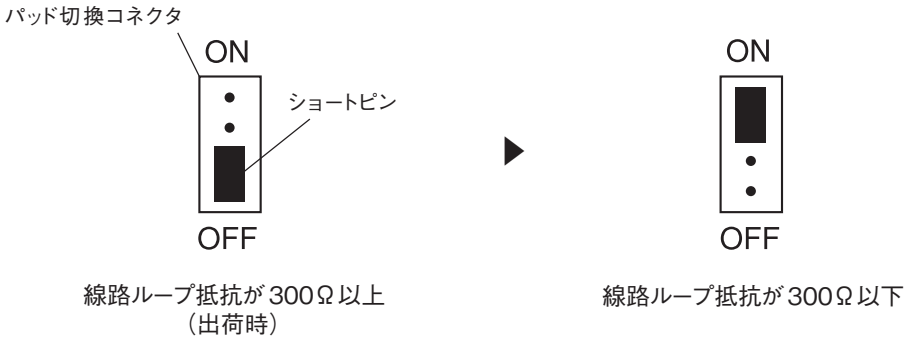
オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

■パッドの切替

● PBX 内線、または局線の線路ループが 300 Ω以下（線路損失約 3dB 以下）のときは、各局線に対応したパッドのショートピンを「ON」側に差し替えてください。
※ 出荷時は、「OFF」側です。



線路ループ抵抗が 300Ω以上
（出荷時）

線路ループ抵抗が 300Ω以下

メモ	● 線路ループ抵抗が 300 Ω以上のときでも、側音が気になる場合はパッドを「ON」に切り替えると側音が小さくなります。

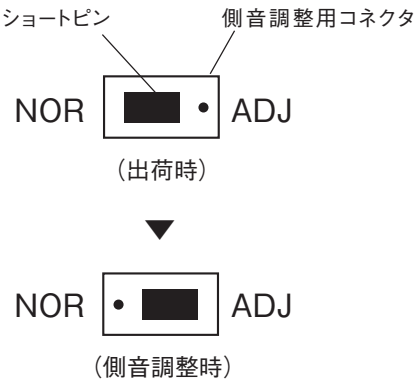
■良好な側音調整の方法

● 最小の側音を必要とする場合、各局線ごとに調整します。
※ 周囲騒音が非常に大きい場合（工場など）は、下記の側音調整を行ってから使用してください。

メモ	● 側音とは通話中のとき、送話器に入った音声や騒音が電話機内の回路を通り受話器から自分の耳に入ってくる音のことです。

■ 側音調整方法
・側音調整は各局線で通話中（受話器を耳に当てた状態）のときに行います。

① 側音調整用コネクタのショートピンを「ADJ」側に切り替える。
※ 出荷時は、「NOR」側です。



② 側音調整用ボリュームを左・右に ⊕ドライバで回しながら良好な位置に調整する。

▶ (3) デジタル局線ユニット【1BRI700/2BRI700】

● デジタル (1) 局線ユニット［1BRI700］1 枚でデジタル 1 局線、デジタル (2) 局線ユニット［2BRI700］1 枚でデジタル 2 局線収容することができます。
● 本ユニットは終端抵抗 100 Ω が付いています。
● 電話機外線ボタンへの局線の割付は、主装置メモリスイッチが CLEAR(出荷時設定) の場合、アナログ局線ユニットと合わせ SLOT 番号の若番からになります。
● HM700Std に実装時は、アナログ局線ユニットと合わせて 4 外線相当まで収容できます。
● HM700Pro に実装時は、アナログ局線ユニットと合わせて 12 外線相当まで収容できます。
※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業 (32 ページ) 後 CN2，CN102、CN3、CN103 に接続します。

終端抵抗 ON/OFF スイッチ（SW2, SW102）
終端抵抗の ON/OFF を設定します。
出荷時は ON です。

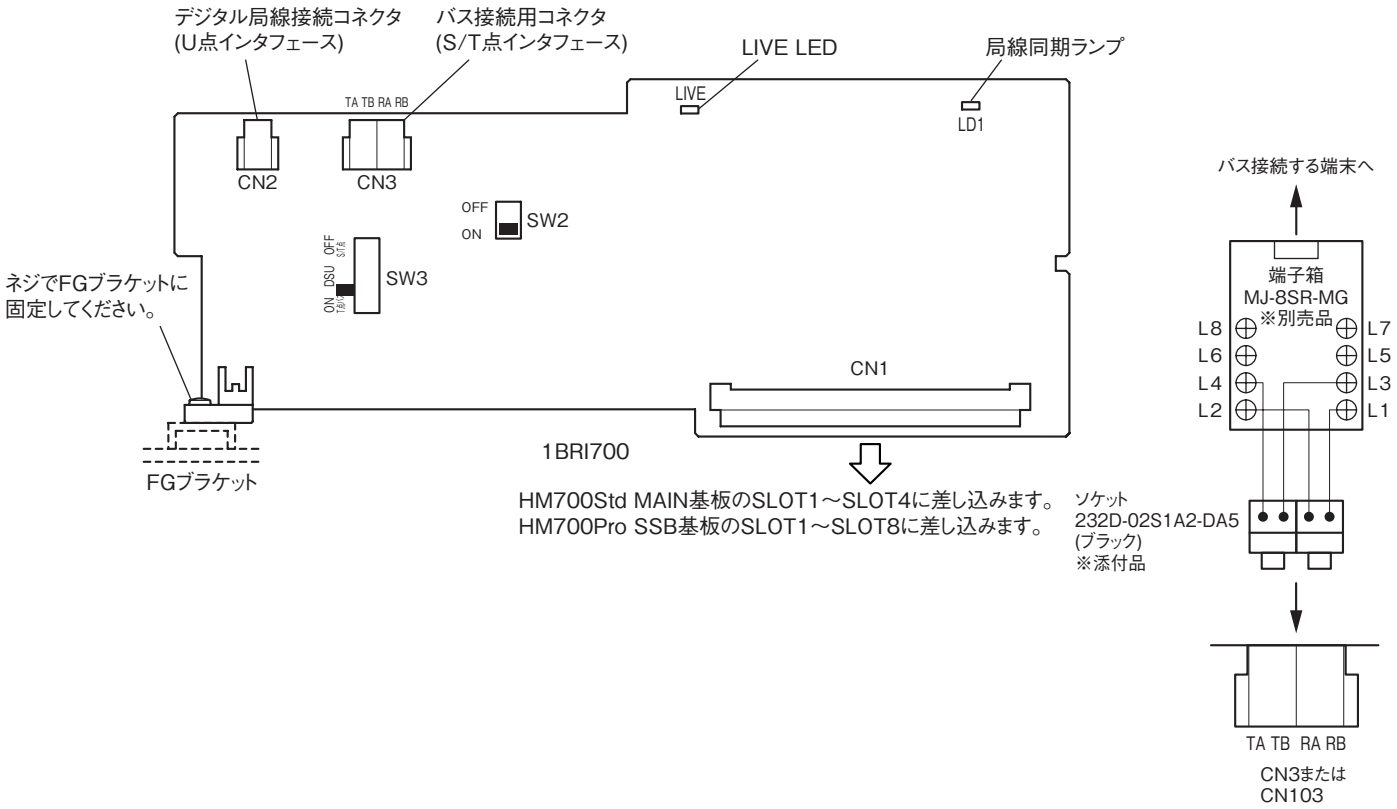
DSU ON/OFF スイッチ（SW3, SW103）
本ユニットの DSU 機能を使用せず、外付け DSU を使用する場合は OFF にします。また、S/T バスの切替も同時に行います。
出荷時は ON です。
ON：T 点バス
OFF：S/T 点

局線同期ランプ（LD1, LD101）
デジタル局線の同期が確立したとき、点灯します。

LIVE LED（LD200）
点灯条件は、下表の通りとします。

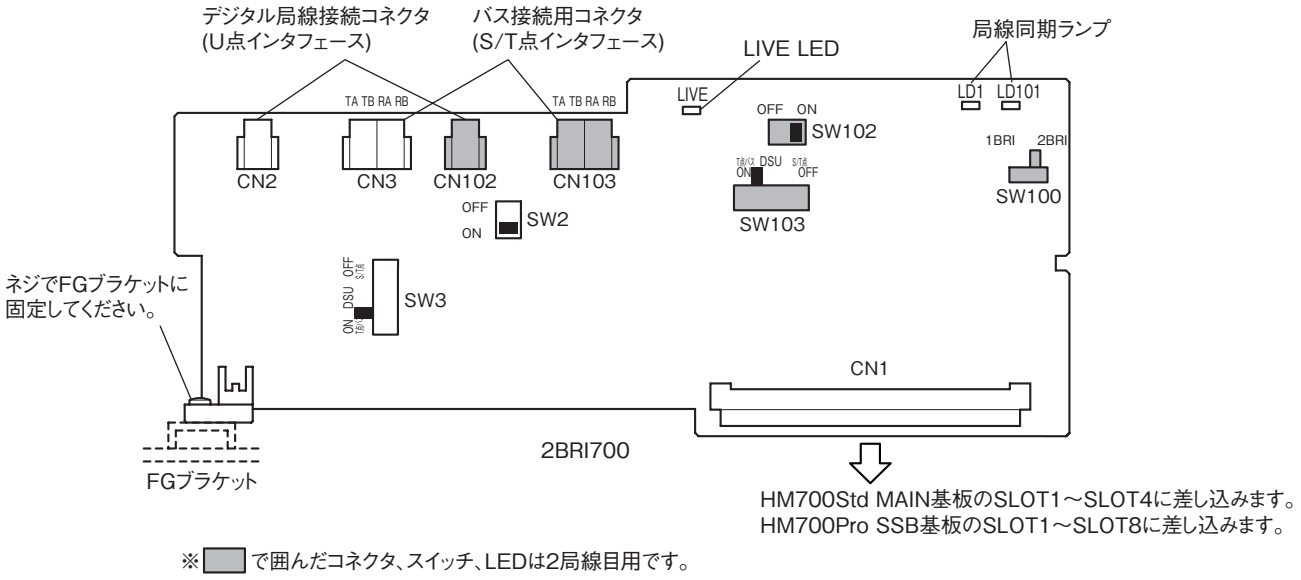
起動中 ↓	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）
動作中	点灯
ユニット実装数制限外	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）

メモ
● 契約回線のインタフェース形態およびレイヤ 1 起動種別は、「P-MP 常時起動」で申し込んでください。



BRI モード切替スイッチ（SW100）［2BRI700 のみ実装］

2BRI700 基板において切替操作が可能です。
2BRI：デジタル 2 局線収容することができます。
1BRI：デジタル 1 局線収容することができます。
出荷時は 2BRI です。



※ で囲んだコネクタ、スイッチ、LEDは2局線目用です。

ご注意

● **誤動作防止のため必ずデジタル局線ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。**

⚠ 危 険

オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

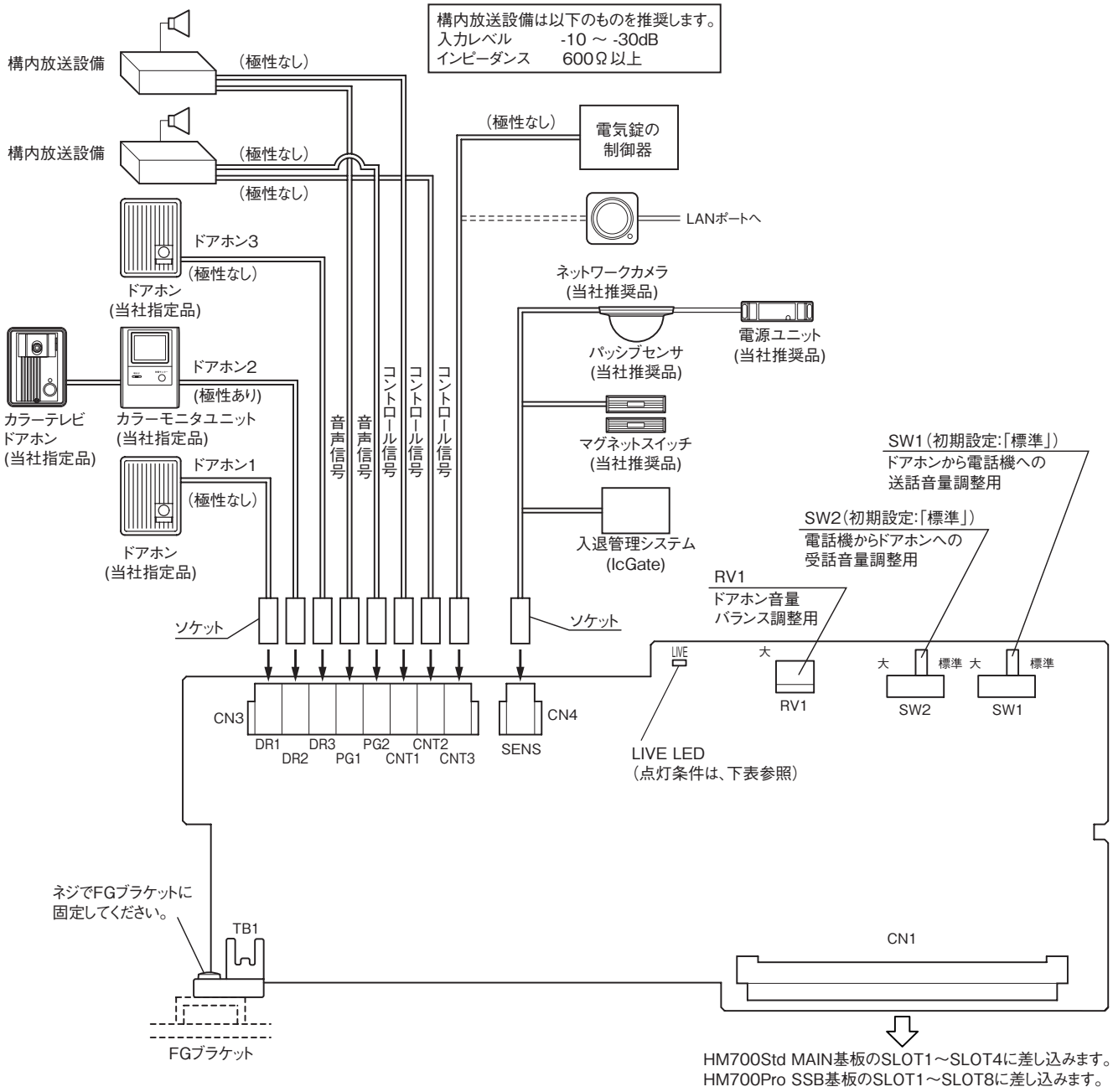
⚠ 注 意

オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶(4) ドア・ページングユニット【DRPG700】

● ドアホン（DR71）とカラーテレビドアホン（DR63C）を合わせて 3 台接続できます。
● 構内放送設備は、2 台接続できます。
● 電気錠は、構内放送設備 (コントロール信号付) と合わせて 3 台接続できます。(電気錠の代わりにネットワークカメラも接続可)
● 外部センサとして、パッシブセンサやマグネットスイッチなどが接続できます。パッシブセンサは PA-6612（竹中エンジニアリング製）、マグネットスイッチは MG-103S（竹中エンジニアリング製）を推奨しています。
● 警備出力、発報出力機能として入退管理システム（IcGate）が接続できます。

※ 配線ケーブルのカシメ作業については 32 ページをご覧ください。
※ パッシブセンサ、マグネットスイッチの接続は、「セーフティ機能」をご覧ください。
※ 入退管理システム（IcGate）の接続については 113 ページをご覧ください。



LIVE LED 点灯条件について

起動中 ↓	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）
動作中 ↓	点灯
ユニット実装数制限外	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）

■接続のしかた

構内放送設備の接続
・構内放送設備を接続するときは、プログラム設定 P035 リレー制御指定を「外部スピーカ 1」または「外部スピーカ 2」に変更します。
・構内放送設備から BGM を送出するときは、プログラム設定 P031-1 外部スピーカ 1 の BGM 送出、P031-2 外部スピーカ 2 の BGM 送出を「送出する」に変更します。
・構内放送時、予告音を流す場合はプログラム設定 P032 ドアホン着信音および外部スピーカ呼び出し時の予告音種別指定を設定します。

電気錠の接続
・電気錠を接続するときは、プログラム設定 P035 リレー制御指定を「電気錠 1」「電気錠 2」または「電気錠 3」のいずれかに変更します。
※ドアホン通話中のドアロック解除が可能な組み合わせは、次の通りです。
・ドアホン 1 通話中は、プログラム設定 P035 リレー制御指定の「電気錠 1」に指定された電気錠のみ、ドアロック解除が可能。
・ドアホン 2 通話中は、プログラム設定 P035 リレー制御指定の「電気錠 2」に指定された電気錠のみ、ドアロック解除が可能。
・ドアホン 3 通話中は、プログラム設定 P035 リレー制御指定の「電気錠 3」に指定された電気錠のみ、ドアロック解除が可能。

ご注意

● 誤動作防止のため必ずドア・ページングユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。

⚠ 危険

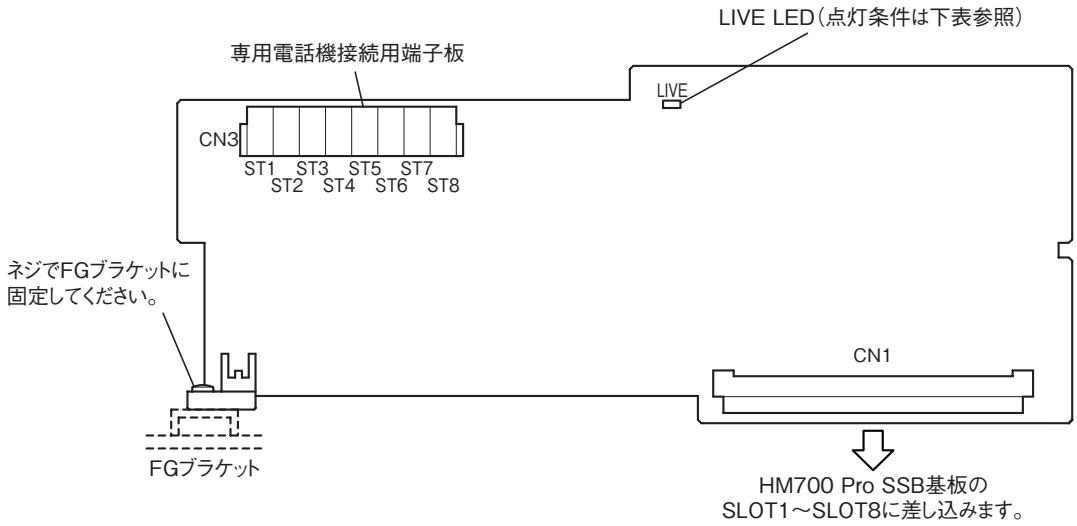
オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ (5) 内線増設ユニット【8ST700】　HM700Pro 専用

● 本ユニット 1 枚で専用電話機を 8 台まで増設できます。
● 実装番号は、主装置メモリスイッチが CLEAR(出荷時設定) の場合、単独電話増設ユニットと合わせて SLOT 番号の若番から、実装番号 09、10…と割り付けられます。
● システムコードレス基地局ユニット（2CDLC700/4CDLC700）を実装する場合、本ユニットは 2 枚までの実装となります。
※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業 (32 ページ) 後 CN3 に接続します。



LIVE LED 点灯条件について

起動中	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）
動作中	点灯
ユニット実装数制限外	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）

ご注意

● **誤動作防止のため必ず内線増設ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。**

⚠ 危 険

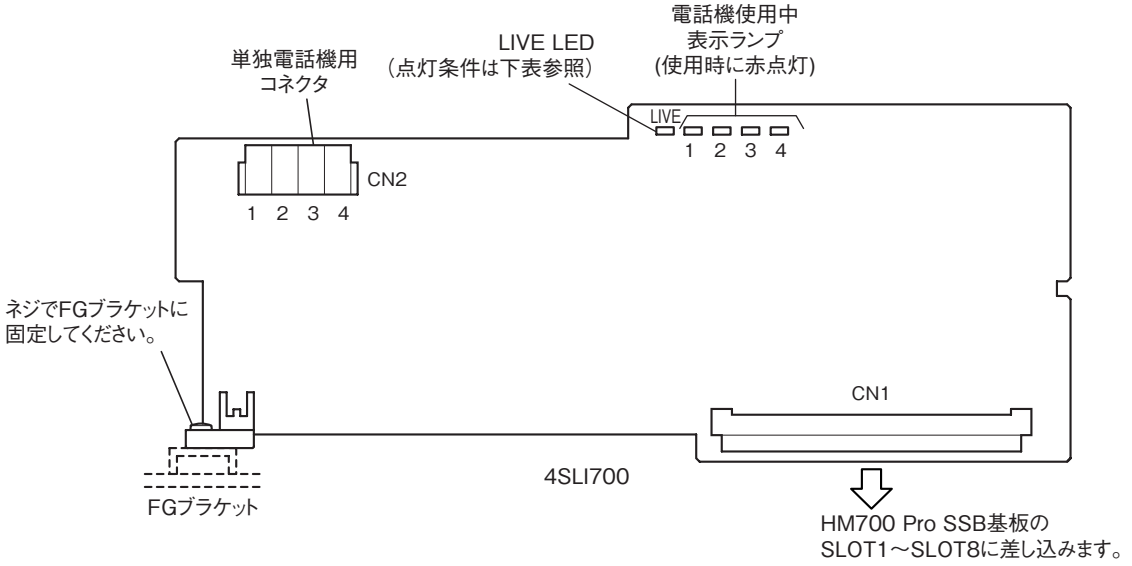
● オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注 意

⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ (6) 単独電話増設ユニット【4SLI700】 HM700Pro 専用

● 単独電話 (4) 増設ユニット [4SLI700] は 1 枚で 4 台の単独電話機 (G3 FAX などを含む) を増設することができます。
● 実装番号は、主装置メモリスイッチが CLEAR(出荷時設定) の場合、内線増設ユニットと合わせて SLOT 番号の若番から、実装番号 09、10…と割り付けられます。
※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業 (32 ページ) 後 CN2 に接続します。



LIVE LED 点灯条件について

起動 ↓	点灯
起動中 ↓	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）
動作中 ↓	点灯
ユニット実装数制限外	早点滅（100ms ON ／ 100ms OFF）

ご注意

● **誤動作防止のため必ず単独電話増設ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。**

⚠ 危険

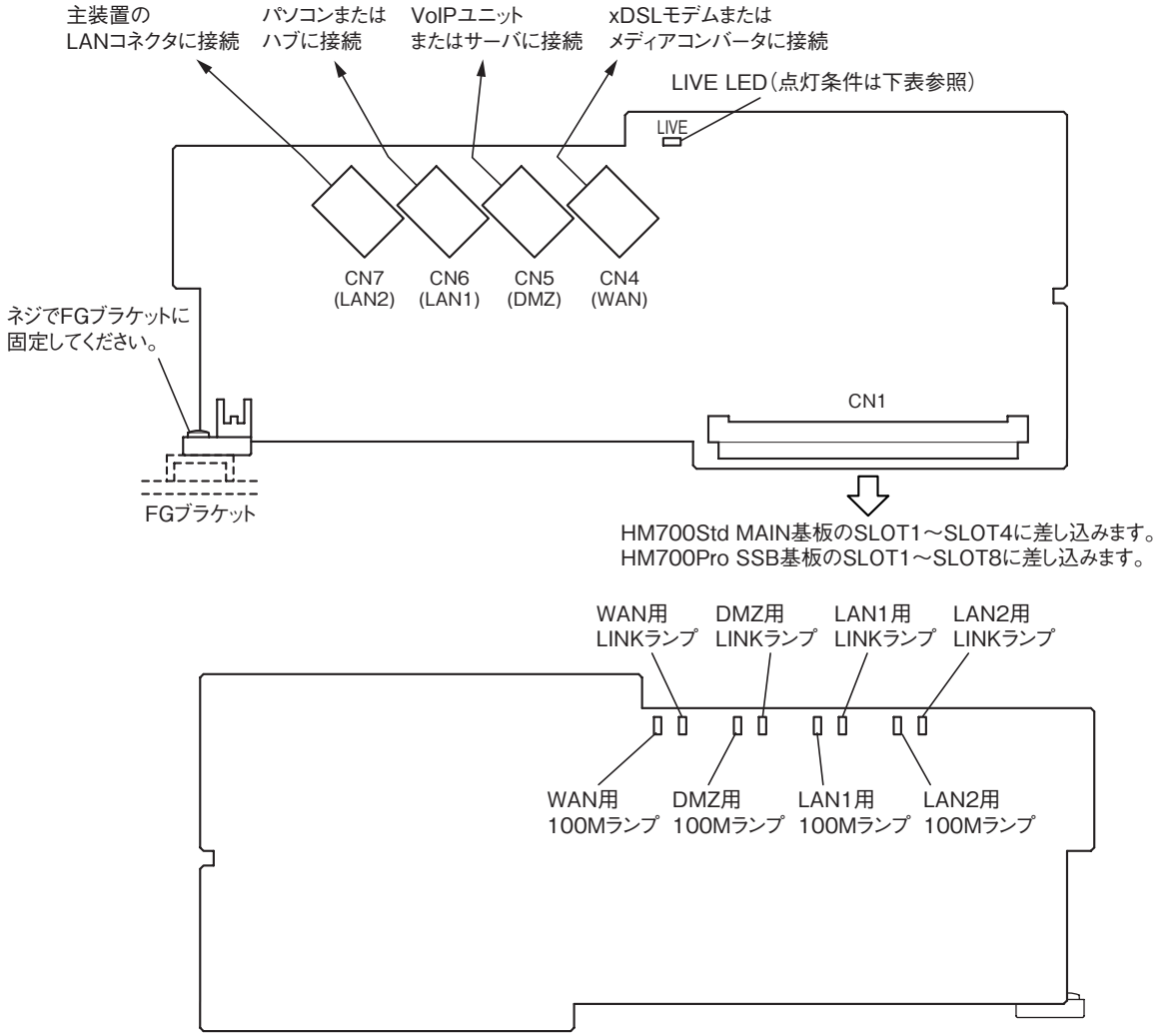
● オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ (7) ブロードバンドルータユニット【IPR700】

● ブロードバンドルータユニットを使用することにより、プロバイダに接続してホームページの閲覧などのインターネットが利用できるようになります。（ただし、別途回線契約、プロバイダ契約が必要になります。）詳細は「ブロードバンドルータユニット利用手引」を参照ください。
● ブロードバンドルータユニットは主装置に 1 枚のみ追加可能です。



LIVE LED の点灯条件について

電源投入直後	消灯
初期化中	消灯
起動中	点灯

CN4, CN5, CN6, CN7 コネクタの LAN 関連のランプ点灯条件について

ランプ状態		操作状態
LINK ランプ	100M ランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-T で通信している。※注 1
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TX で通信している。
点滅	—	データの送受信を行っている。

＊注 1････ CN4 が 10BASE-T 通信の場合は、IP 電話の音声品質は保証されません。xDSL モデムもしくはメディアコンバータとブロードバンドルータユニット間にオート・ネゴシエーション有りの 100M ハブを設置してください。

ご注意

● **誤動作防止のため必ずブロードバンドルータユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。**

⚠ 危険

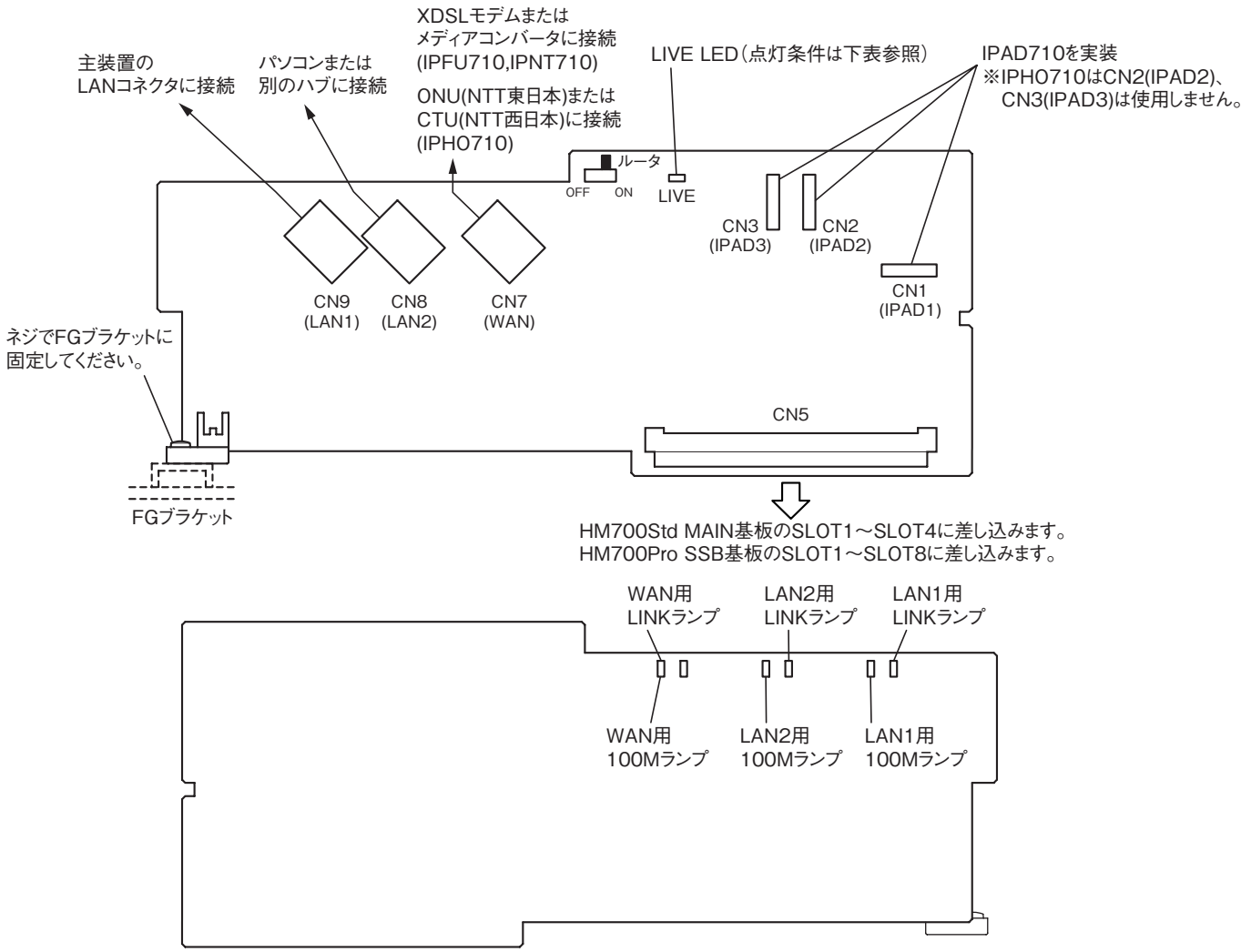
● オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

⃠ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ (8) VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPHO710】

- IPFU710 は、FUSION-Phone 対応 VoIP ユニットです。また、IPNT710 は、OCN.Phone office 対応 VoIP ユニット、IPHO710 は、ひかり電話オフィスタイプ対応 VoIP ユニットです。
- VoIP ユニットには、カテゴリー 5 の LAN ケーブルが添付されます。



LIVE LED の点灯条件について

電源投入直後	点灯
初期化中	消灯
正常起動中	点灯
異常動作	速い点滅（100mS 周期）SDRAM 異常
	点滅（500mS 周期）エコーキャンセラ機能異常
	遅い点滅（1S 周期）VoIP 増設ユニット実装異常

WAN,LAN1,LAN2 用のランプの点灯条件について

ランプ状態		操作状態
LINK ランプ	100M ランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-T で動作している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TX で動作している。
点滅	—	データの送受信を行っている。

■ VoIP ユニットの取り付け

※ 主装置の電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
※ VoIP 増設ユニットを実装する場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、VoIP ユニットの CN1（IPAD1）、CN2（IPAD2）、CN3（IPAD3）の順に実装してください。

ルータ ON/OFF スイッチ
※ ルータ機能の ON/OFF を設定します。（IPR700 との組み合わせ時にルータ機能を OFF にします）
※ 出荷時は ON 側に設定されます。
※ ルータスイッチの設定は電源投入前に行い、電源投入後はルータスイッチの ON/OFF を切り替えないでください。
※ ルータスイッチの切り替え後は、Web 設定にて各機能の設定を行ってください。
※ IPH0710 のルータスイッチは使用しません。

VoIP 増設ユニットの実装について

VoIP 増設ユニットの実装箇所		実装なし	CN1（IPAD1）	CN1（IPDA1） CN2（IPDA2）	CN1（IPAD1） CN2（IPAD2） CN3（IPAD3）
使用可能 IP 電話チャンネル数		4ch	8ch	12ch	16ch
収容外線	HM700Std	外線 05 ～ 08	外線 05 ～ 12	外線 05 ～ 16	外線 05 ～ 20
	HM700Pro	外線 13 ～ 16	外線 13 ～ 20	外線 13 ～ 24	外線 13 ～ 28

ルータ機能の ON/OFF にかかわらず、16ch まで対応可能。ただし IPH0710 は 8ch まで対応可能。

VoIP 増設ユニットの実装異常について
下記の組み合わせで VoIP ユニットを実装すると、「VoIP 増設ユニット実装異常」となります。

VoIP 増設ユニットの実装箇所	CN2（IPAD2）	CN3（IPAD3）	CN1（IPDA1） CN3（IPAD3）	CN2（IPAD2） CN3（IPAD3）
HM700Std	実装異常（LIVE LED 遅い点滅）			
HM700Pro	実装異常（LIVE LED 遅い点滅）			

ご注意

● 誤動作防止のため必ず VoIP ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。

⚠ 危険

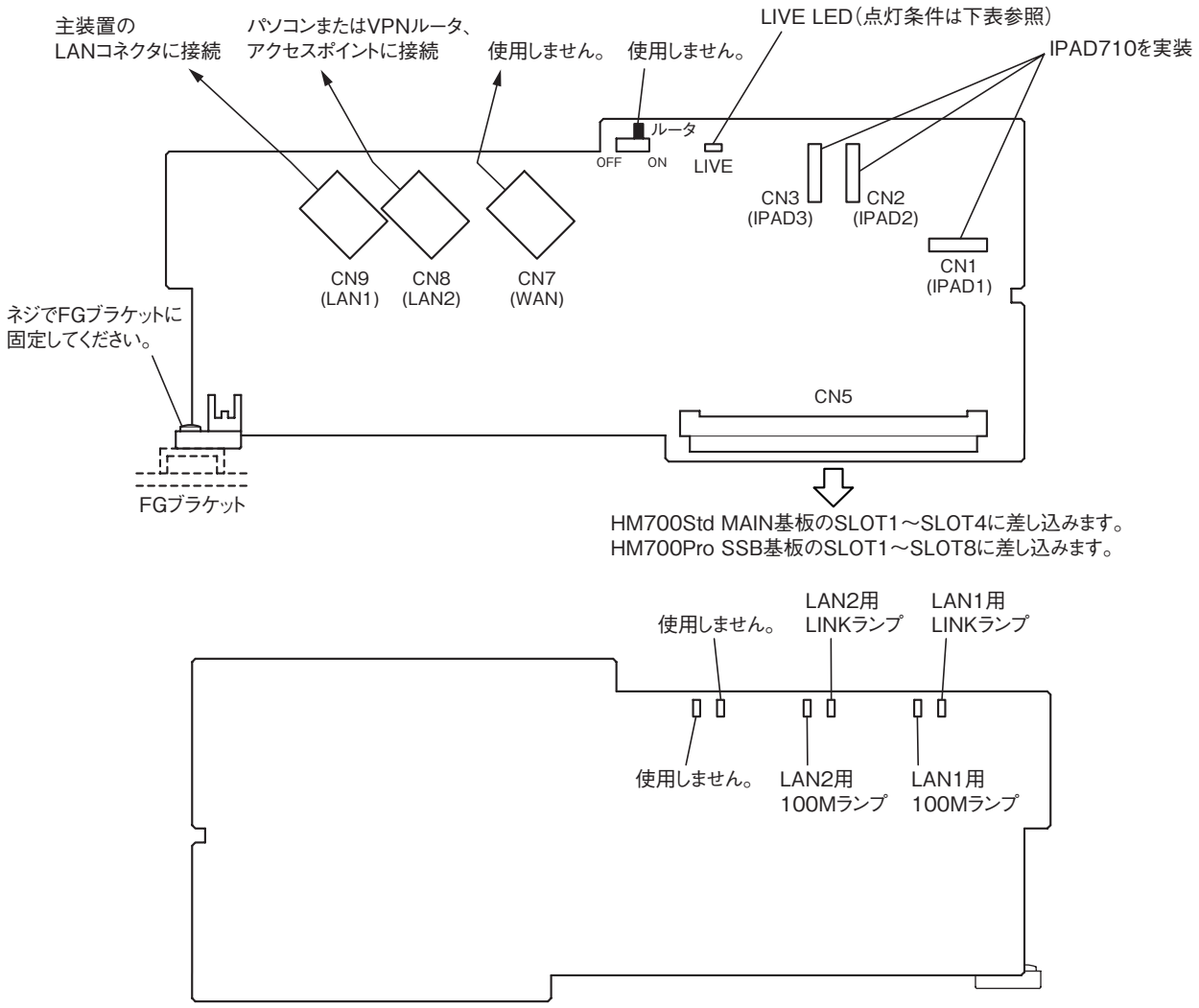
オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ (9) IP 端末接続ユニット【IPST710】

● IP 端末接続ユニット［IPST710］はシステム間接続を行ったり、IP 端末を収容することが可能なユニットです。
● IP 端末接続ユニットには、カテゴリー 5 の LAN ケーブルが添付されます。



LIVE LED の点灯条件について

電源投入直後	点灯
初期化中	消灯
正常起動中	点灯
異常動作	速い点滅（100mS 周期）SDRAM 異常
	点滅（500mS 周期）エコーキャンセラ機能異常
	遅い点滅（1S 周期）VoIP 端末接続ユニット実装異常

LAN1,LAN2 用のランプの点灯条件について

ランプ状態		操作状態
LINK ランプ	100M ランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-T で動作している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TX で動作している。
点滅	—	データの送受信を行っている。

■ IP 端末接続ユニットの取り付け

※ 主装置の電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
※ VoIP 増設ユニットを実装する場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、IP 端末接続ユニットの CN1（IPAD1）、CN2（IPAD2）、CN3（IPAD3）の順に実装してください。

VoIP 増設ユニットの実装について

VoIP 増設ユニットの実装箇所	実装なし	CN1（IPAD1）	CN1（IPDA1） CN2（IPDA2）	CN1（IPAD1） CN2（IPAD2） CN3（IPAD3）
使用可能 IP 電話チャンネル数	4ch	8ch	12ch	16ch

VoIP 増設ユニットの実装異常について
下記の組み合わせで IP 端末接続ユニットを実装すると、「VoIP 増設ユニット実装異常」となります。

VoIP 増設ユニットの実装箇所	CN2（IPAD2）	CN3（IPAD3）	CN1（IPDA1） CN3（IPAD3）	CN2（IPAD2） CN3（IPAD3）
HM700Std	実装異常（LIVE LED 遅い点滅）			
HM700Pro	実装異常（LIVE LED 遅い点滅）			

ご注意

● **誤動作防止のため必ず IP 端末接続ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。**

⚠ 危 険

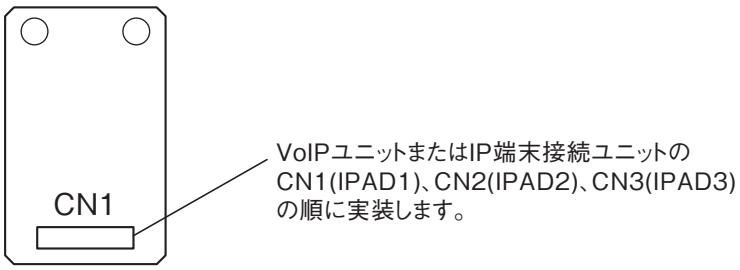
オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注 意

オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶（10）VoIP 増設ユニット【IPAD710】

● VoIP 増設ユニット［IPAD710］は VoIP ユニットまたは IP 端末接続ユニットに接続される IP 電話チャンネル増設用ユニットです。
● VoIP 増設ユニット 1 枚で 4 チャンネルの増設が可能です。



■ VoIP 増設ユニットの取り付け

※ 主装置の電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
※ VoIP 増設ユニットを実装する場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、VoIP ユニットまたは IP 端末接続ユニットの CN1（IPAD1）、CN2（IPAD2）、CN3（IPAD3）の順に実装してください。

⚠ 危 険

オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

⚠ 注 意

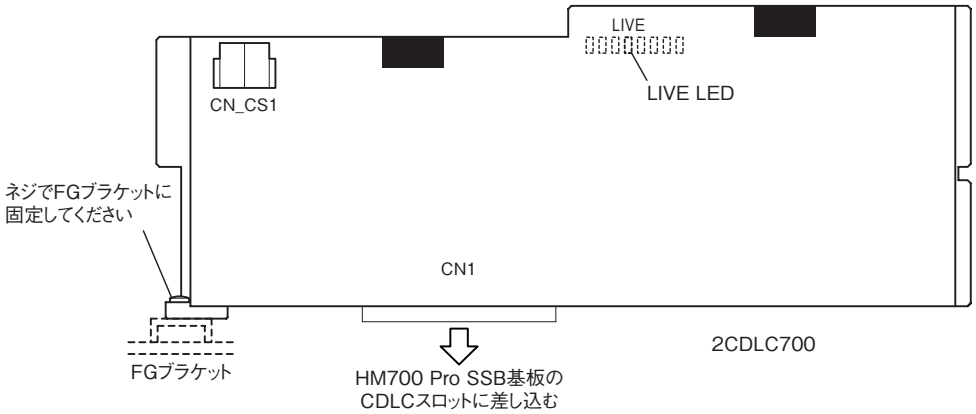
オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

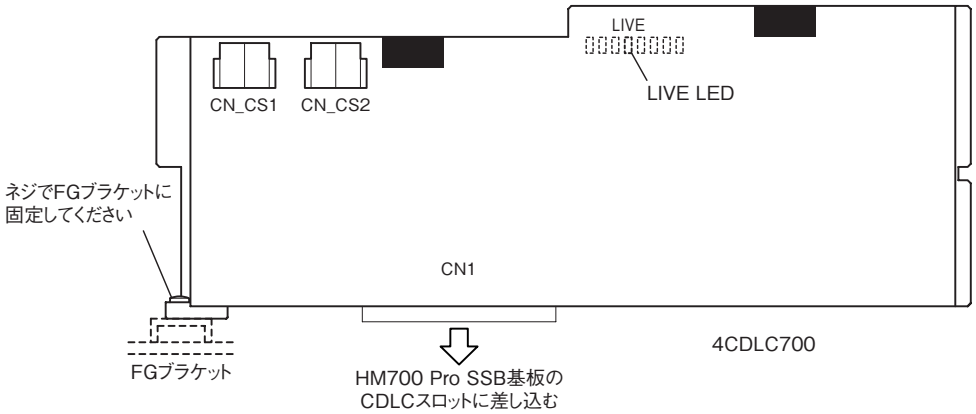
▶（11）システムコードレス基地局ユニット【2CDLC700/4CDLC700】

HM700Pro 専用

- 本ユニットには、システムコードレス基地局（CS600）を 2 台まで接続可能な 2CDLC700 と 4 台まで接続可能な 4CDLC700 があります。
- 本ユニット実装により、最大 16 台まで PS 電話機（PS601、自営標準端末）を収容可能になります。実装番号は、35 ～ 50 が割り当てられます。
- 本ユニットは、HM700Pro 主装置に 1 枚のみ実装することができます。
- 本ユニットを実装する場合、内線増設ユニット（8ST700）は 2 枚までに制限されます。
- 本ユニットを実装すると DC600 電話機は、使用できません。

※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業 (32 ページ) 後 CN_CS1 または CN_CS2 に接続します。





LIVE LED 点灯条件について

起動中	↓	遅点滅（500ms ON ／ 500ms OFF）
動作中		点灯

ご注意

- **誤動作防止のため必ずシステムコードレス基地局ユニットは、ネジで FG ブラケットに固定し、主装置を接地してください。**

⚠ 危険

- オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをＯＦＦにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

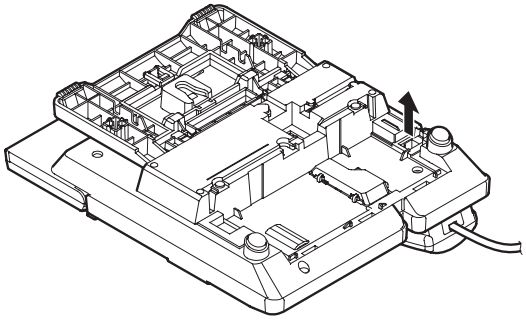
⚠ 注意

- オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

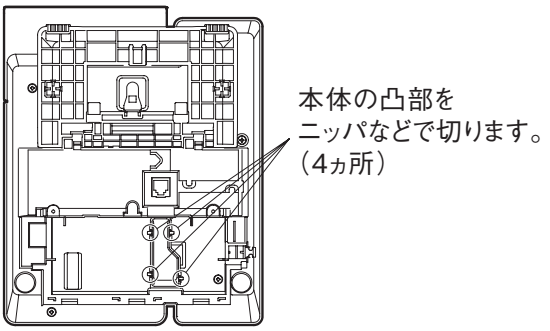
6 電話機の工事

▶(1) 停電ユニットの取り付け方法【TD615、TD625 専用】

① ハンドセットを取り外します。

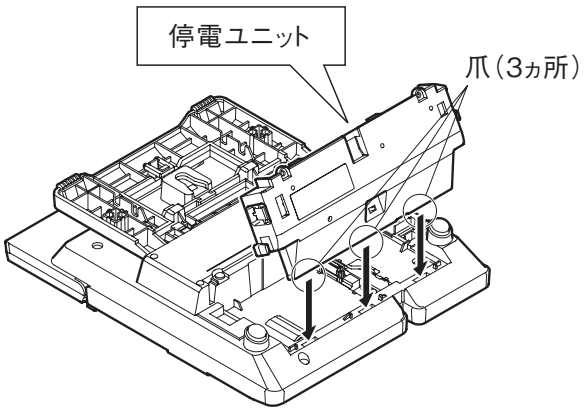


② カバーを取り外します。

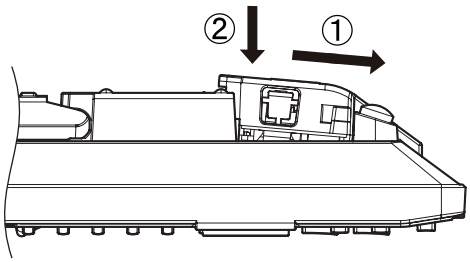


③ 停電ユニットを接続します。

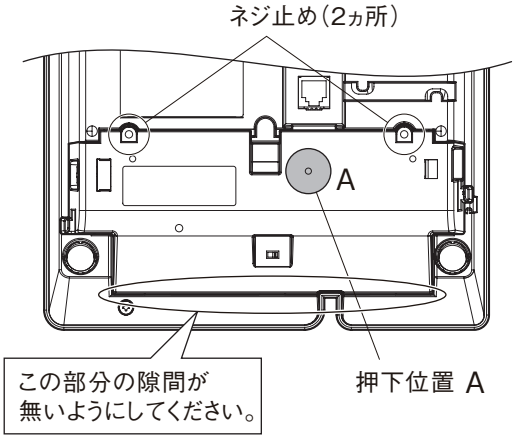
③-1 停電ユニットの下部の爪を本体に合わせ引っ掛けます。



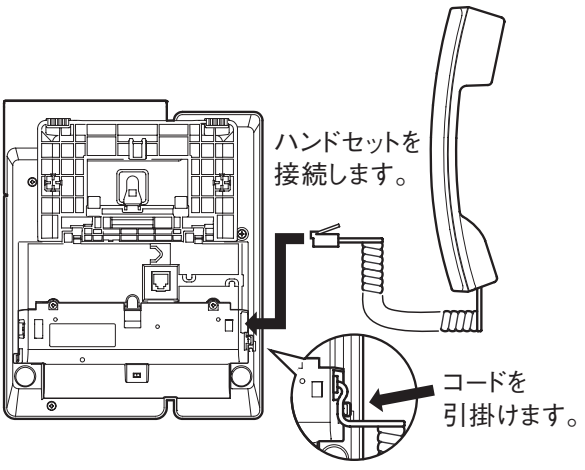
③-2 停電ユニットを下図位置までセットし、矢印①の方向へ押し付けながら矢印②の方向に取り付けます。



③-3 停電ユニット下部と本体に隙間が無いことを確認後、下図 A の位置を押下し、コネクタが確実に固定されていることを確認し、ネジ止め (2 ヵ所) します。
(停電ユニットに添付のネジをご使用ください)



④ ハンドセットを接続します。

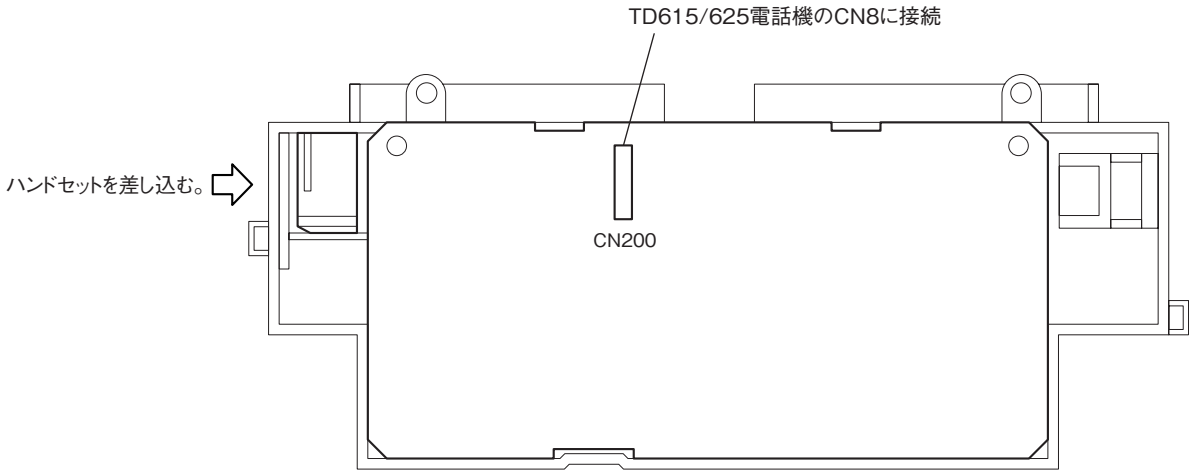


ご注意

● オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

▶ (2) ISDN 停電ユニット【ADI605】

● ISDN 停電ユニット (ADI605) は TD615/625 電話機に接続される ISDN 停電ユニットです。



ご注意

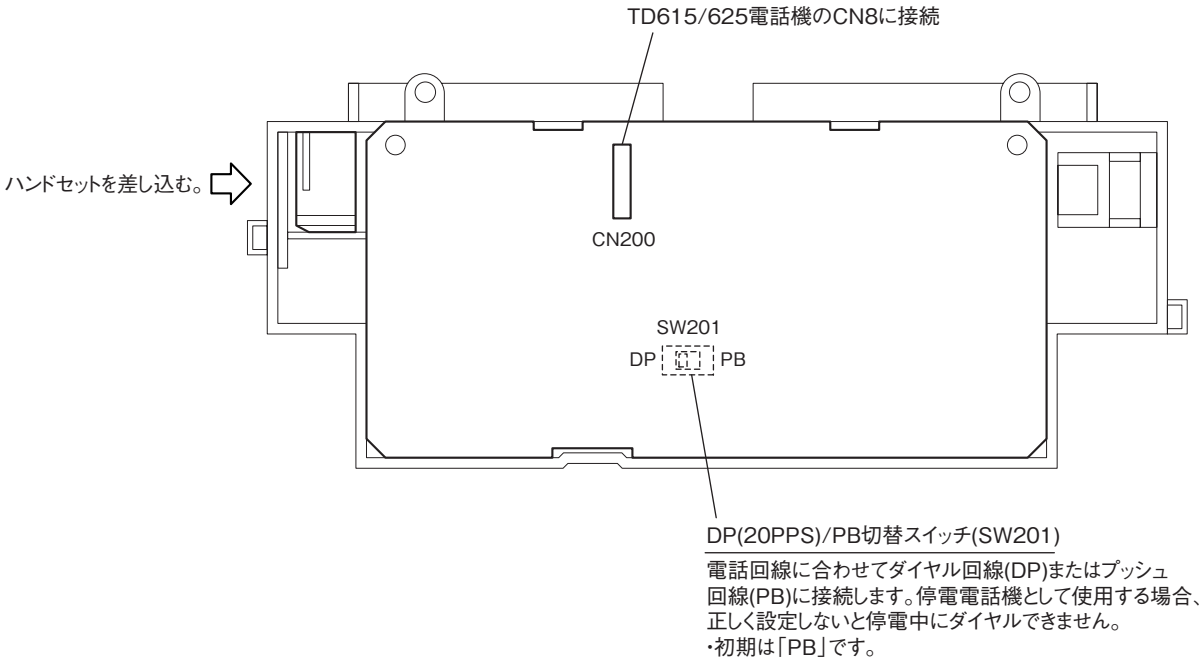
● オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

⚠ 注 意

⃠ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

▶ (3) アナログ停電ユニット【ADA605】

●アナログ停電ユニット (ADA605) は TD615/625 電話機に接続されるアナログ停電ユニットです。



ご注意

● オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

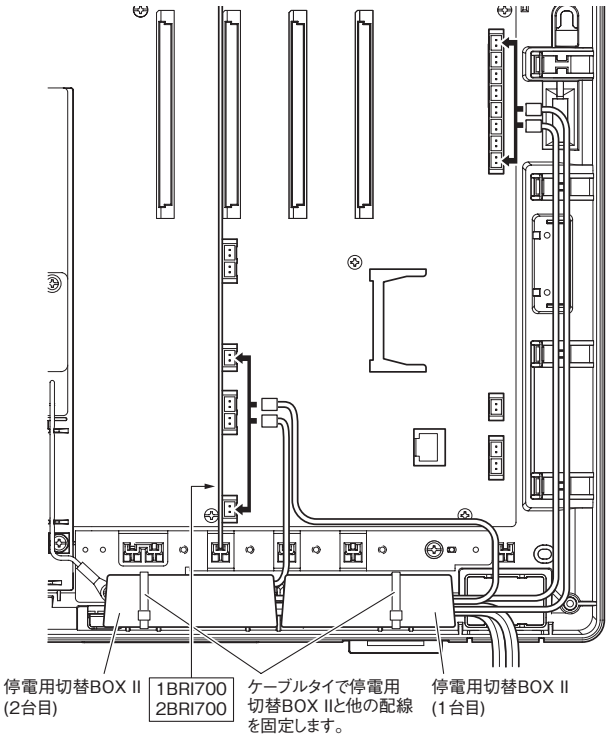
⚠ 注 意

⃠ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

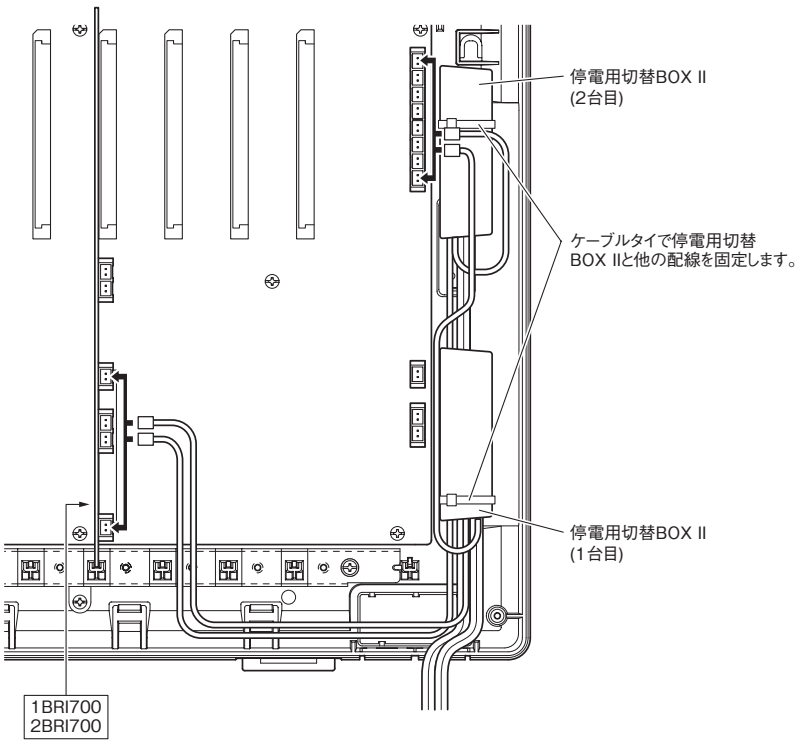
▶ (4) ISDN 停電用電話機の接続方法

● ISDN 停電用電話機（2 台接続の場合）

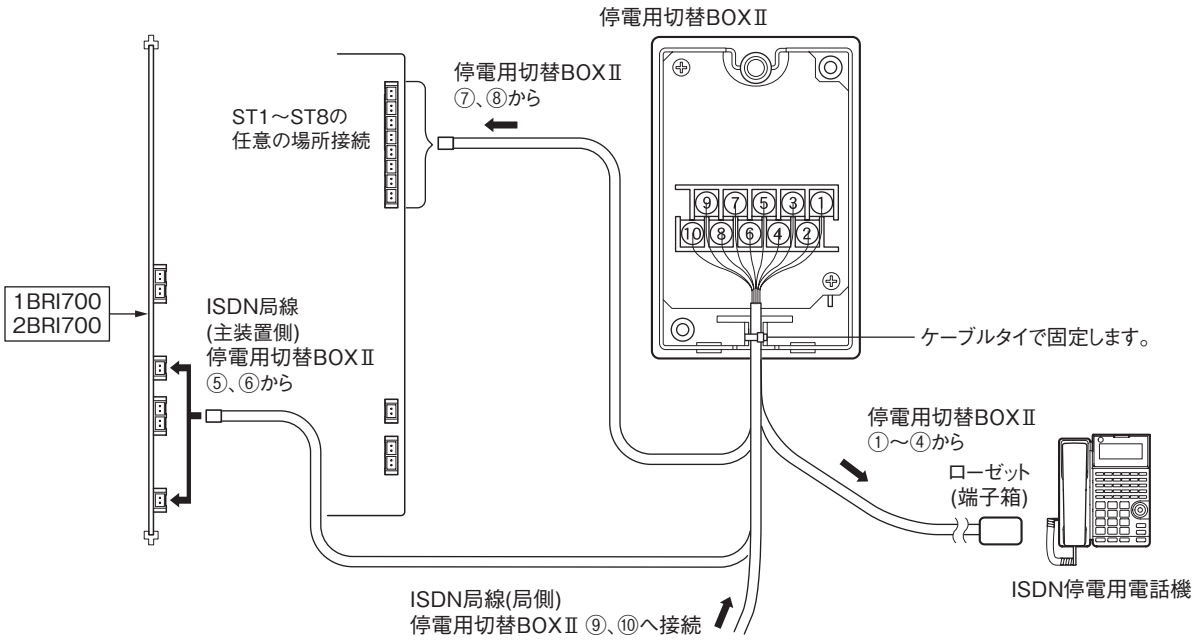
HM700Std の場合



HM700Pro の場合



●停電用切替 BOX 配線図

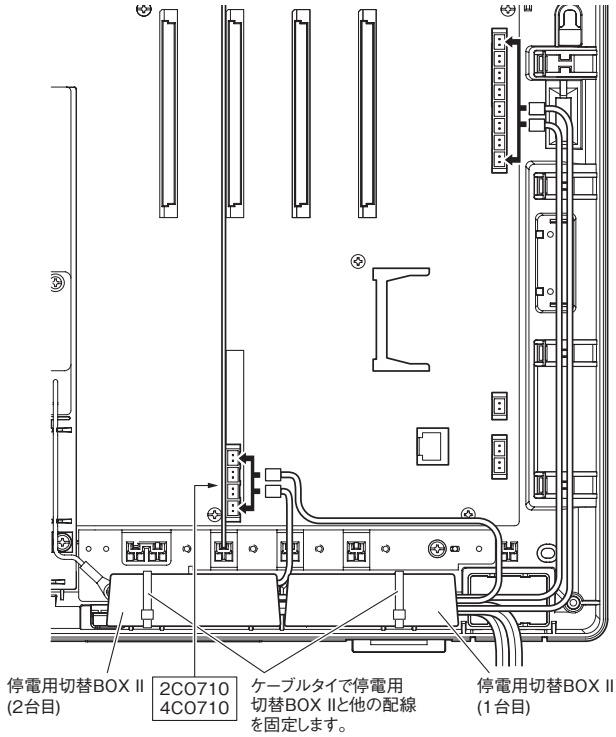


停電用切替 BOXⅡの端子番号	停電用切替 BOXⅡからの接続先	
①	L1	ISDN 停電用電話機ローゼット
②	L2	
③	L3	
④	L4	
⑤	1BRI700/2BRI700 のデジタル局線接続用端子（DIGITAL）	
⑥		
⑦	初実装の専用電話機接続用端子（ST1 ～ ST8） 内線増設ユニットの専用電話機接続用端子（ST9 ～ ST32） ※ HM700Pro のみ	
⑧		
⑨	ISDN 局線	
⑩		

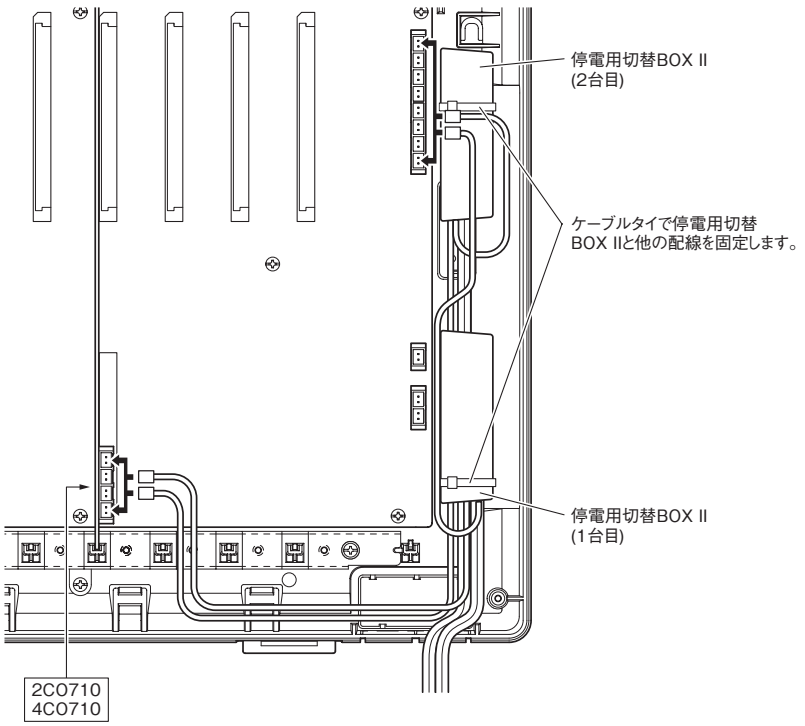
▶ (5) アナログ停電用電話機の接続方法

●アナログ停電用電話機（2 台接続の場合）

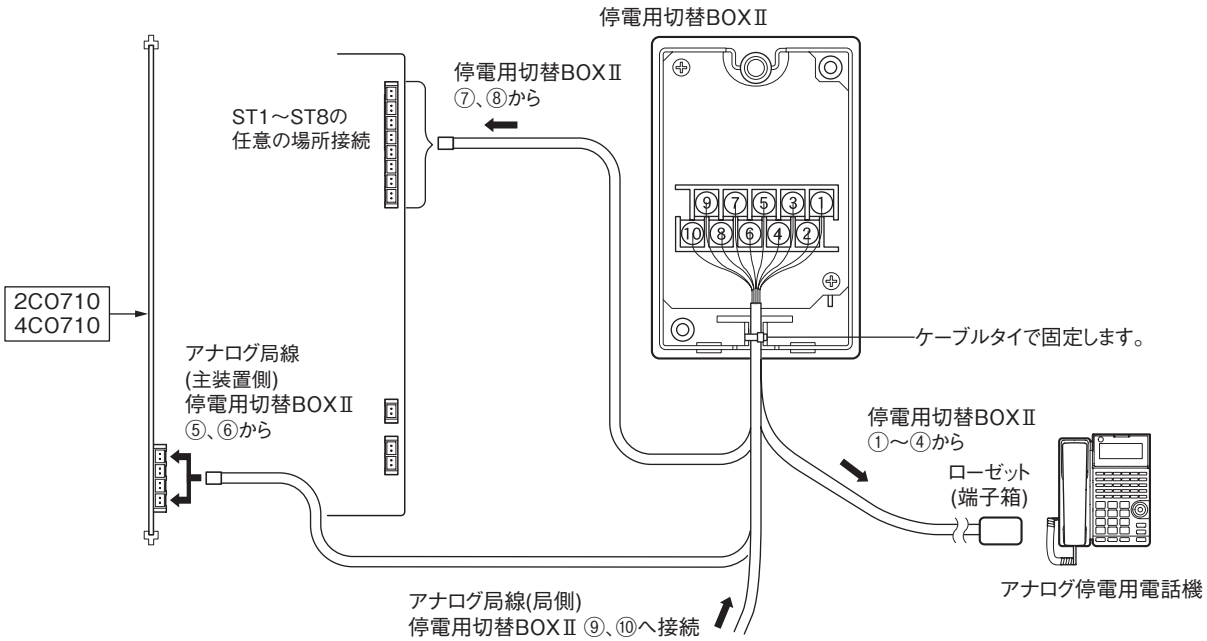
HM700Std の場合



HM700Pro の場合

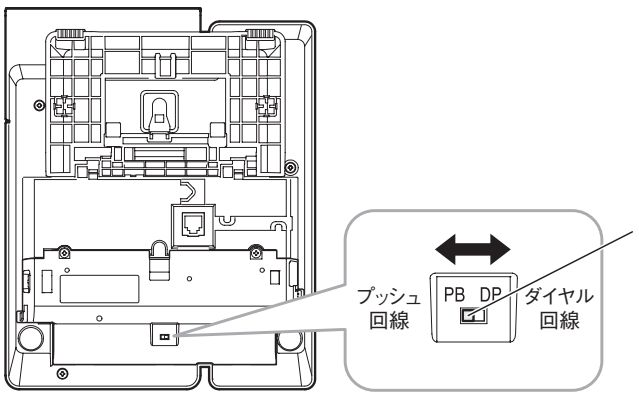


●停電用切替 BOX 配線図



停電用切替 BOXⅡの端子番号	停電用切替 BOXⅡからの接続先	
①	L1	アナログ停電用電話機ローゼット
②	L2	
③	L3	
④	L4	
⑤	2C0710/4C0710 のアナログ局線接続用端子	
⑥		
⑦	初実装の専用電話機接続用端子（ST1 ～ ST8） 内線増設ユニットの専用電話機接続用端子（ST9 ～ ST32） ※ HM700Pro のみ	
⑧		
⑨	アナログ局線	
⑩		

●アナログ停電用電話機



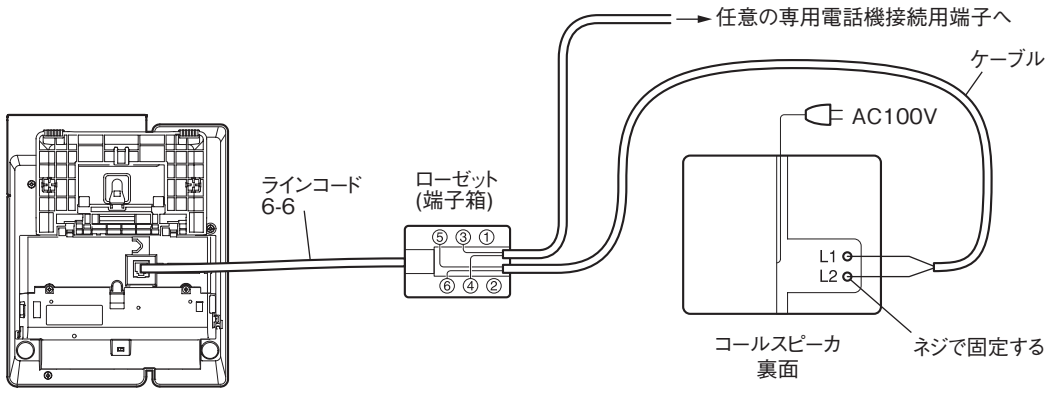
DP（20PPS）/PB 切替スイッチ
電話回線に合わせてダイヤル回線（DP）またはプッシュ回線（PB）に設定します。停電用電話機として使用する場合、正しく設定しないと停電中にダイヤルできません。
・初期は「PB」です。

▶ (6) コールスピーカの接続

TD615 電話機、TD625 電話機、LD600 電話機、CL620 電話機に接続できます。
コールスピーカ（BS-191）を使用します。

■ TD615、TD625 電話機の場合

・コールスピーカを下図のように接続します。



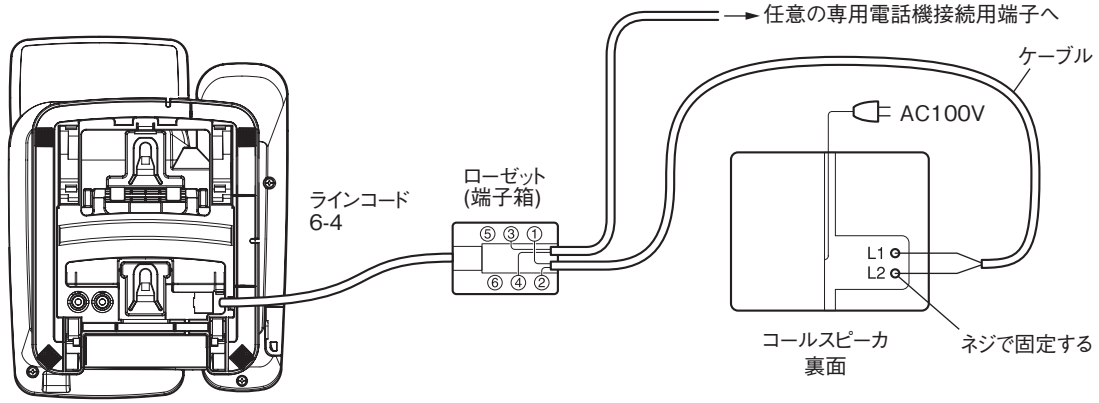
●端子箱とコールスピーカの端子接続を示します。

端子箱	コールスピーカ
①	未使用
②	未使用
③	主装置　内線ポート
④	主装置　内線ポート
⑤	L1
⑥	L2

・配線に注意してください。

■ LD600 電話機の場合

・コールスピーカを下図のように接続します。



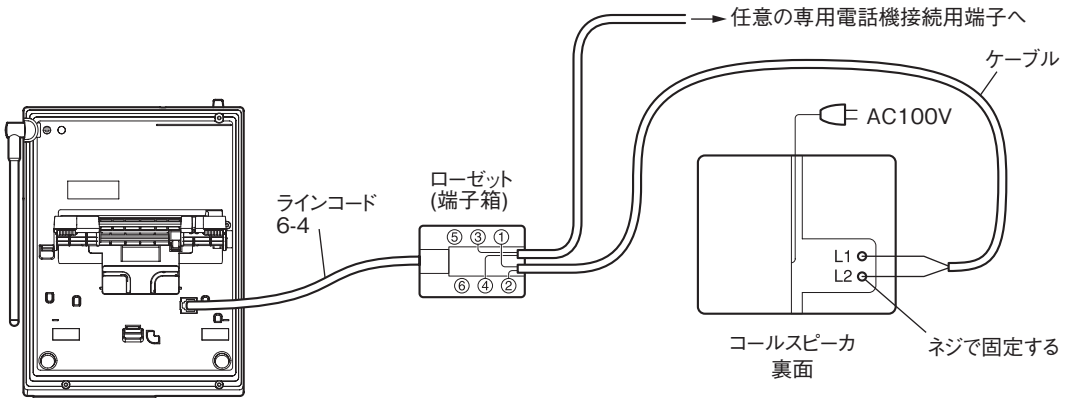
●端子箱とコールスピーカの端子接続を示します。

端子箱	コールスピーカ
①	L1
②	L2
③	主装置　内線ポート
④	主装置　内線ポート
⑤	未使用
⑥	未使用

・配線に注意してください。

■ CL620 電話機の場合

・コールスピーカを下図のように接続します。



●端子箱とコールスピーカの端子接続を示します。

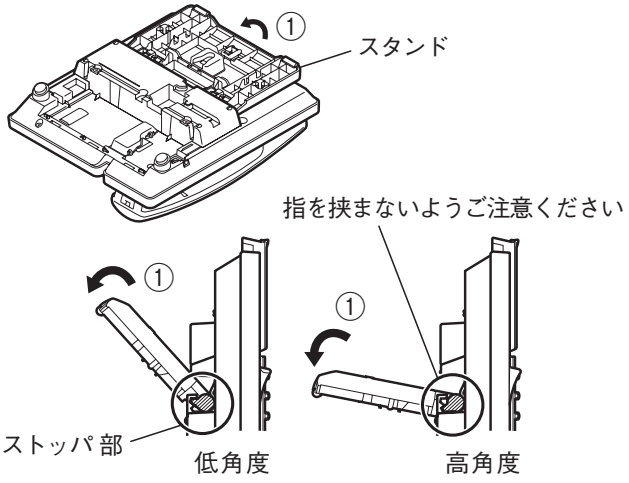
端子箱	コールスピーカ
①	L1
②	L2
③	主装置　内線ポート
④	主装置　内線ポート
⑤	未使用
⑥	未使用

・配線に注意してください。

▶（7）TD615、TD625 電話機の角度調整方法

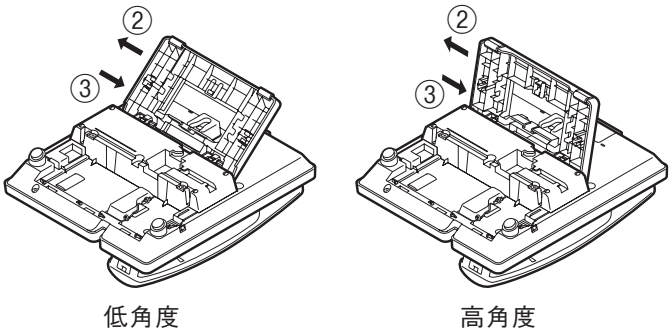
高角度スタンドの軸をベースの溝に入れて、2 段階に角度調節ができます。

(1) スタンドの角度を合わせます。



● ご使用状況に合わせ、スタンドを①の方向に引き上げ、ストッパ部を上図の位置に合わせます。
（無理に引き上げると破損する恐れがあります。）

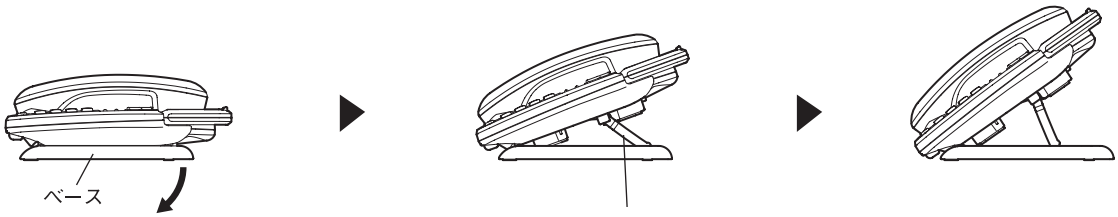
(2) スタンドを固定します。



● スタンドを②の方向にスライドさせ、固定します。
スタンドを戻すときは、スタンドを③の方向にスライドさせて引き上げます。

▶（8）LD600 電話機の角度調整方法

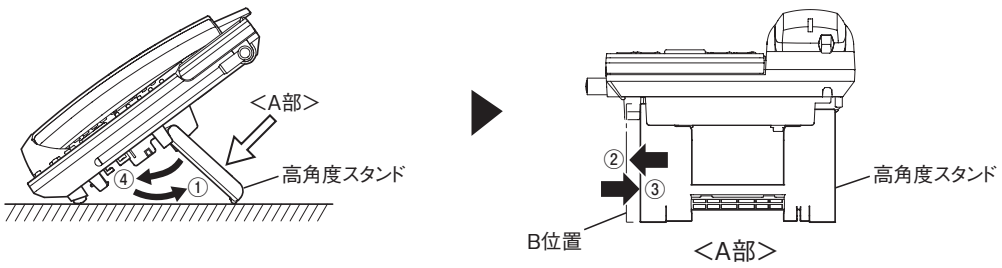
高角度スタンドの爪をベースの溝に入れて、2 段階に角度調節ができます。



▶（9）CL620 電話機の設置方法

※充電不良の原因となるので、必ず高角度スタンドを立てて使用してください。

（CL620 電話機は、壁掛けとして設置することができません。）



（1）高角度スタンドがストップするまで①方向に引き上げます。

（2）高角度スタンドを B 位置まで②方向に移動させます。

※ 高角度スタンドを戻すときは、最初に手順（2）で高角度スタンドを③方向に移動させ、次に手順 (1) で④に戻します。

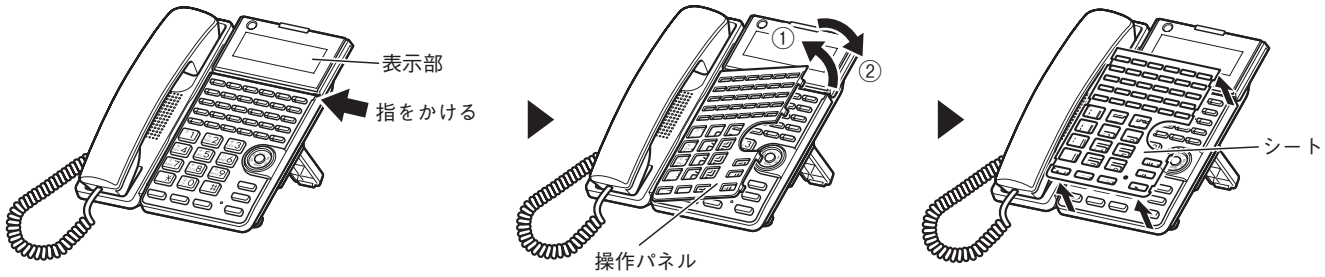
▶（10）TD615、TD625 電話機のパネルとシートの交換方法

●操作パネル

(1) 表示部の角度は現状のままにして、操作パネルのツメに指をかけます。

(2) 操作パネルを①の方向に持ち上げて取り外します。

(3) シートを取り外します。



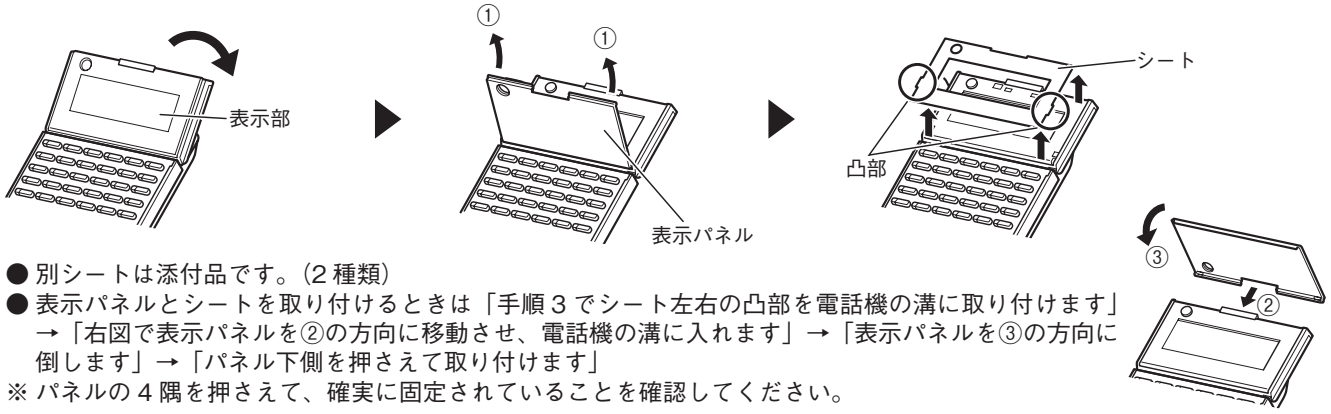
● 操作パネルとシートを取り付けるときは「手順３でシートをかぶせます」→「手順２で操作パネルを②の方向に倒します」→「カチッ音がするまで押さえます」

●表示パネル

(1) 表示部を倒します。

(2) 表示パネルを①方向（1 ヵ所でも良い）に持ち上げて取り外します。

(3) シートを取り外します。

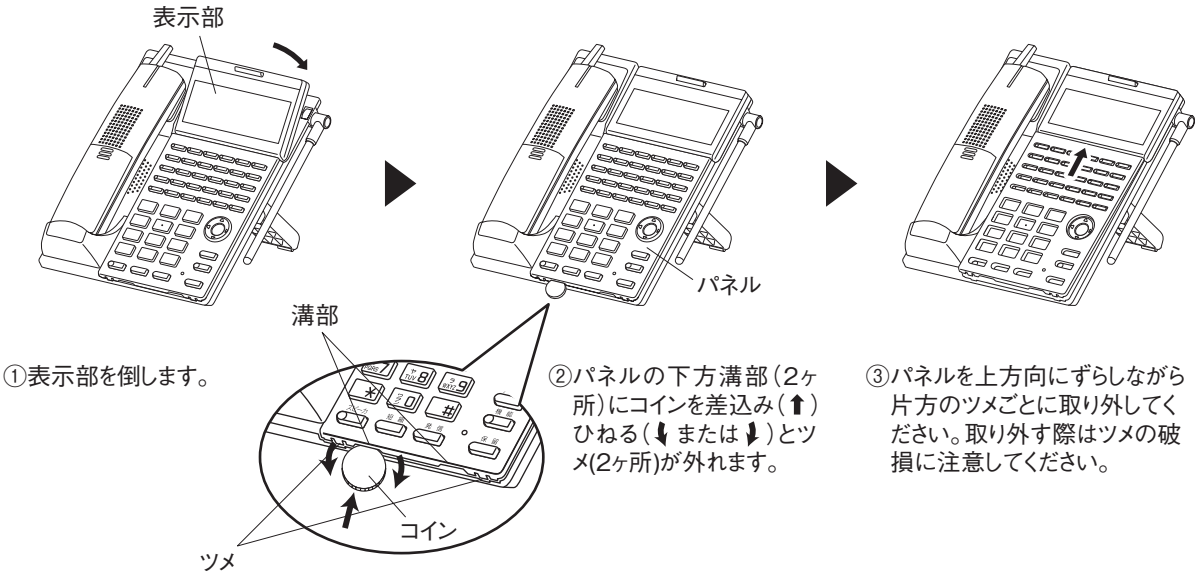


● 別シートは添付品です。（2 種類）
● 表示パネルとシートを取り付けるときは「手順３でシート左右の凸部を電話機の溝に取り付けます」→「右図で表示パネルを②の方向に移動させ、電話機の溝に入れます」→「表示パネルを③の方向に倒します」→「パネル下側を押さえて取り付けます」
※ パネルの４隅を押さえて、確実に固定されていることを確認してください。

ご注意

● パネルとシートを取り外す際は、必ずラインコードを抜いてから行ってください。

▶（11）CL620 電話機のパネルの取り外し方法



①表示部を倒します。

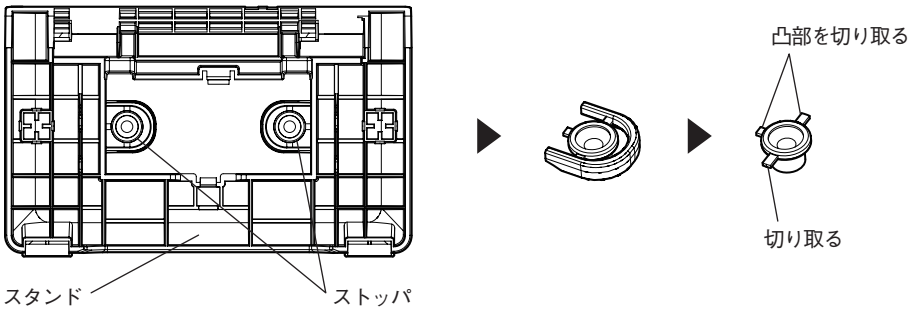
②パネルの下方溝部（2ヶ所）にコインを差込み（⬆）ひねる（⬇または⬇）とツメ(2ヶ所)が外れます。

③パネルを上方向にずらしながら片方のツメごとに取り外してください。取り外す際はツメの破損に注意してください。

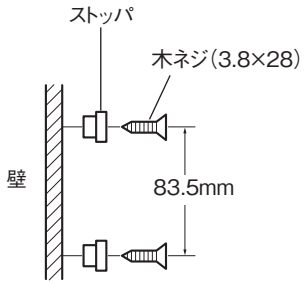
7 電話機の壁掛取り付け方法

▶（1）TD615、TD625 電話機

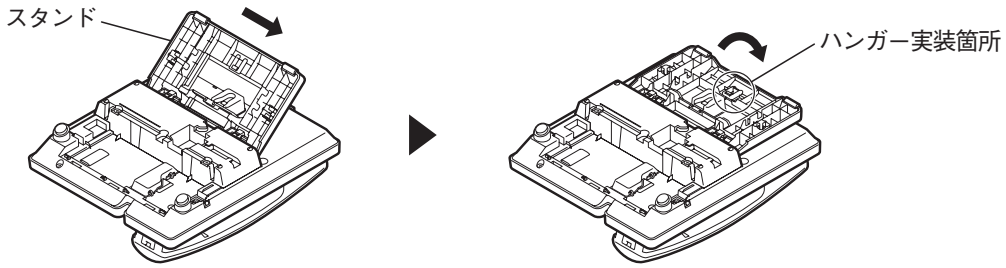
① ニッパなどでストッパとスタンドを切り離します。
※ 切り残しがありますと怪我をする可能性がありますのでご注意ください。



② ストッパ２個を主装置に付属の木ネジ（3.8 × 28）２本で壁に固定します。
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。



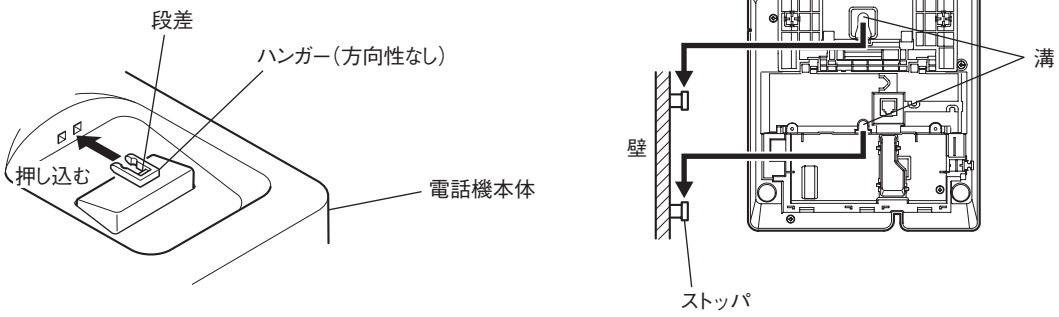
③ スタンドを折りたたみ、ハンガーを取り外してください。



スタンドをスライドさせます。

④ ハンガーを矢印の方向へ押し込みます。
※ ハンガーを外すときは、ハンガーの段差に ㊀ドライバを差し込み、外してください。

⑤ 電話機本体の溝をストッパに沿って引き下げます。
※ 電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

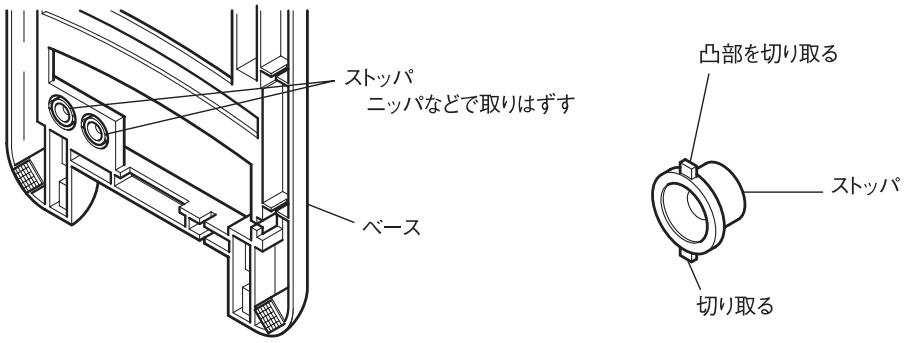
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

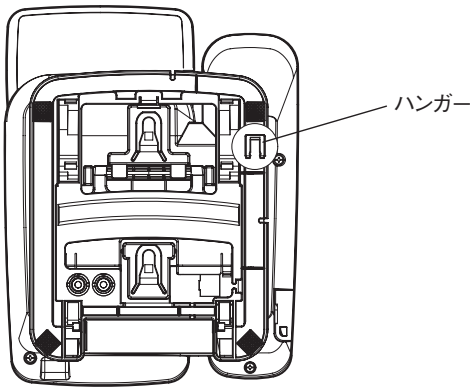
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶ (2) LD600 電話機

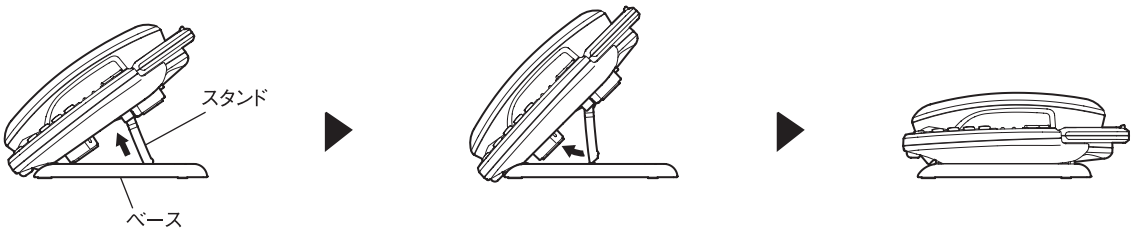
① ベースに付いているストッパ２個を取り外し、ストッパの凸部２ヵ所をニッパなどで切断します。



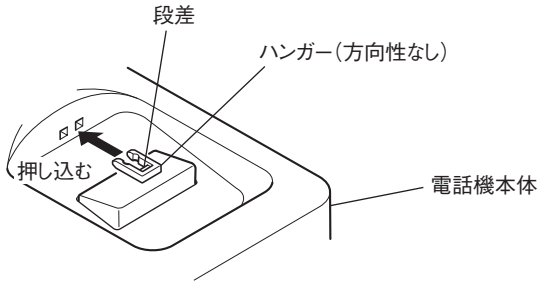
② 電話機本体に実装されているハンガーを外してください。



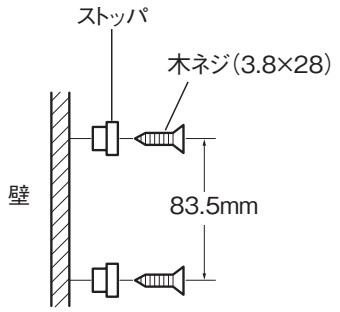
③ スタンドとベースを折りたたんでください。



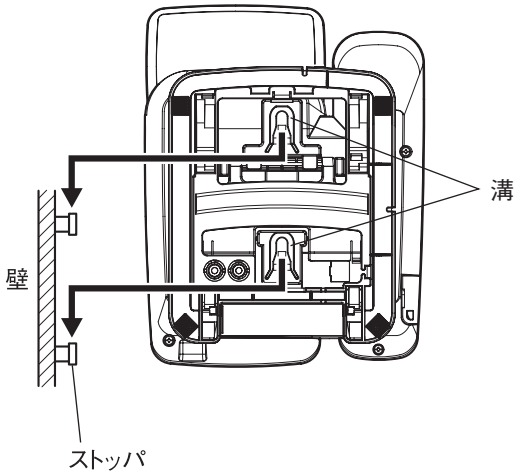
④ ハンガーを矢印方向に押し込みます。
※ ハンガーを外すときは、ハンガーの段差に ㊀ドライバを差し込み、外してください。



⑤ 付属のストッパ２個を主装置に付属の木ネジ（3.8 × 28）２本で壁に固定します。
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。



④ 電話機本体の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。
※ 電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

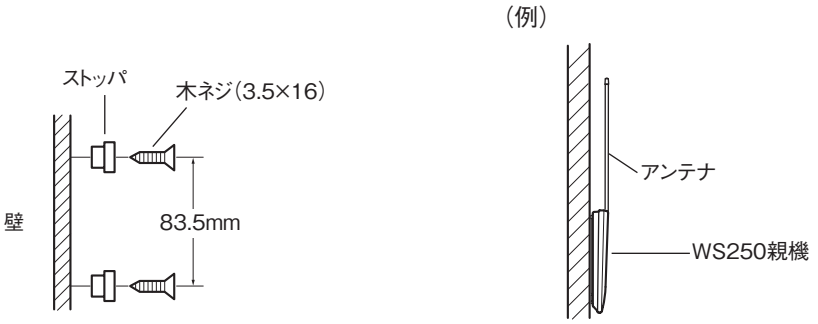
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

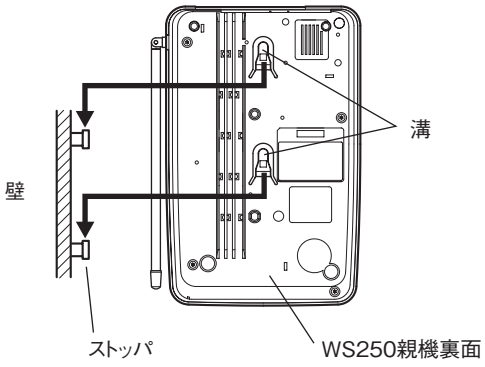
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶ (3) WS250 電話機

① ストッパ２個を付属の木ネジ（3.5 × 16）２本で壁に固定します。
※ WS250 電話機の付属品の「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、WS250 親機が落下しやすいので注意してください。
※ 電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面に設置した場合、雑音が入ることがありますので、避けてください。
※ アンテナを最大に伸ばした状態で天井などに当たらない位置に設置してください。



② WS250 親機裏面の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。
※ アンテナの向きにより雑音が入る場合があります。その場合は、アンテナの向きを変えてください。
※ WS250 親機を外すときは、WS250 親機を引き上げます。



⚠ 警 告

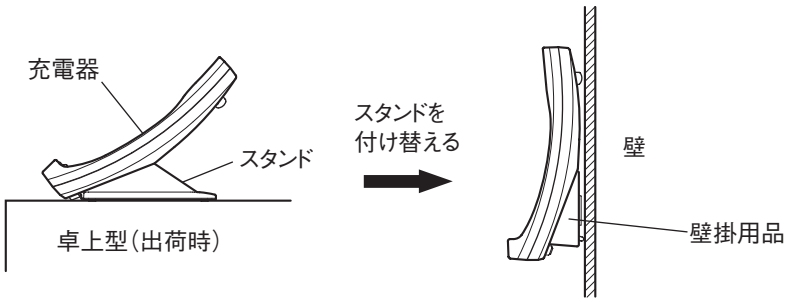
⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

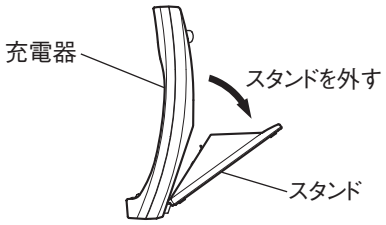
❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶（4）充電器（WS250 子機用）

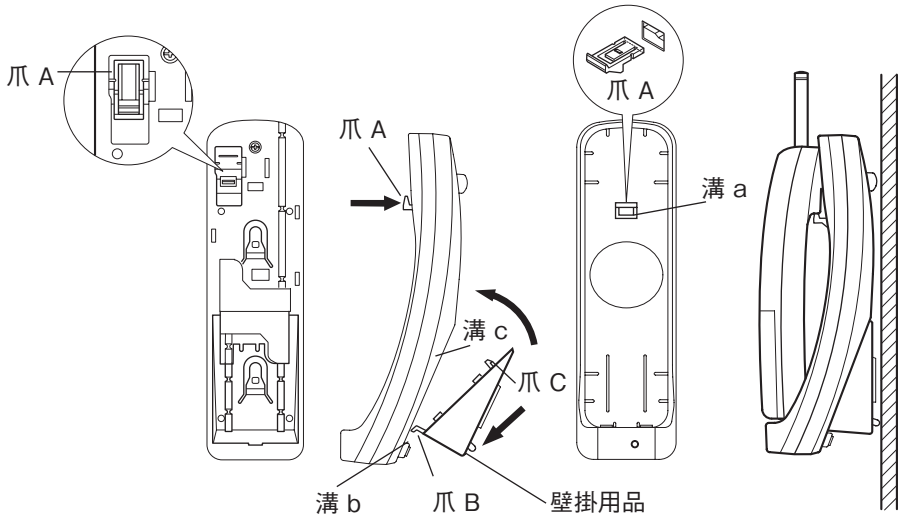
充電器を壁に掛ける場合、スタンドを取り外し壁掛用品（付属品）に付け変えます。



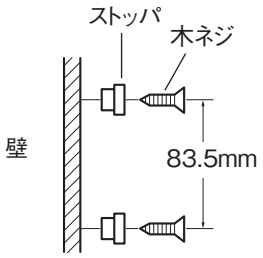
① スタンドを矢印方向に取り外します。



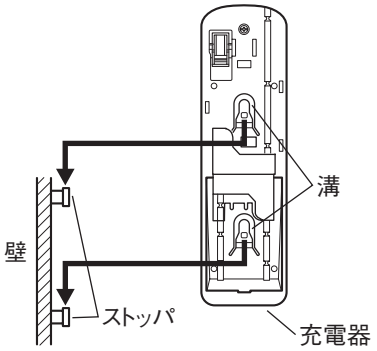
② 爪 A を充電器から外したあと、溝 a に爪 A をはめ込み、溝 b に壁掛用品の爪 B をはめ込んでから、溝 c に爪 C をはめ込みます。
※ 爪 A は溝 a に一方向のみ入ります。



③ 付属のストッパ２個を付属の木ネジ（3.5 × 16）２本で壁に固定します。
※ WS250 電話機の付属品の「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、充電器が落下しやすいので注意してください。



④ 充電器裏面の溝 をストッパにはめ込み、引き下げます。
※ 充電器を外すときは、充電器を引き上げます。



⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

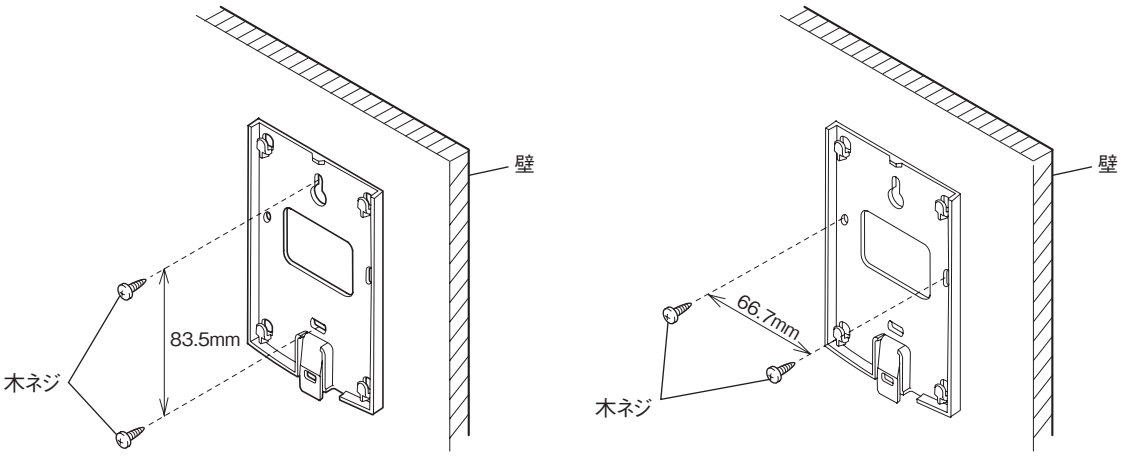
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

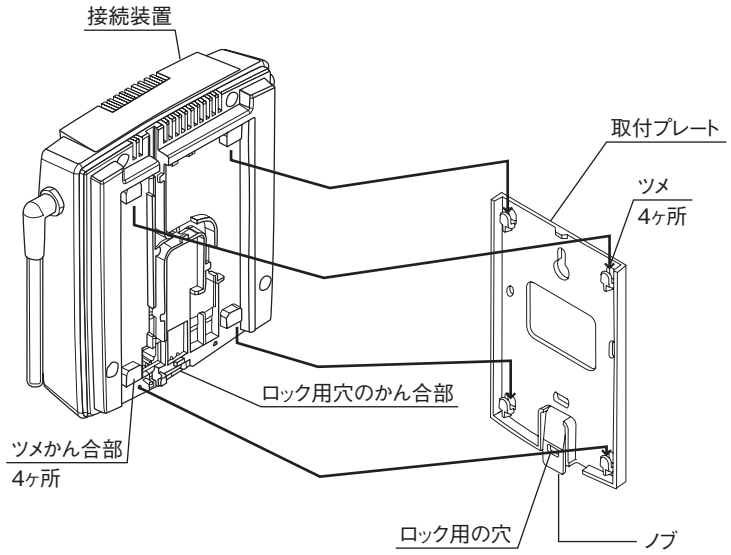
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶ (5) DC600 電話機接続装置

① 取付プレートを付属の木ネジ（4.1 × 25）２本で下図のいずれかの寸法に従って壁に取り付けます。
※ 主装置の付属品「データシート」内の「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、接続装置が落下しやすいので注意してください。
※ 電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面に設置した場合、雑音が入ることがありますので、避けてください。



② 下図の要領で接続装置を取付プレートに取り付けます。
※ 接続装置のアンテナが天井などに当たらない位置に設置してください。



③ 取り外す場合は取付プレートのノブを押しながら接続装置を上にスライドさせます。

⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

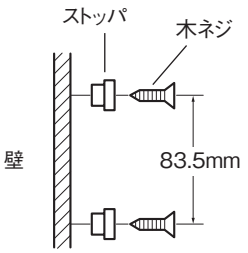
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

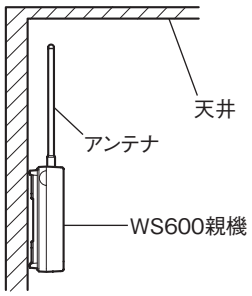
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶（6）WS600 親機

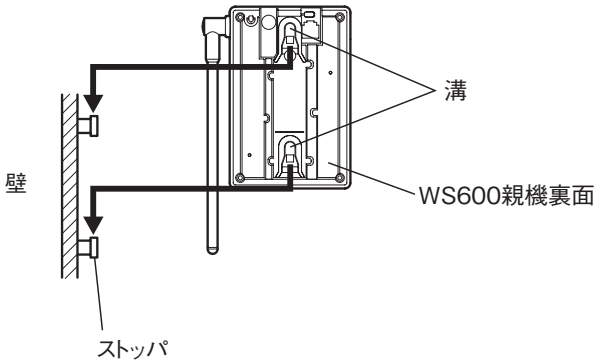
① 付属のストッパ２個を木ネジ２本で壁に固定します。
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、WS600 親機が落下しやすいので注意してください。
※ 電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面には設置しないでください。
※ アンテナを立てた状態で天井などに当たらない位置に設置してください。
※ WS600 電話機には壁掛け用の木ネジは付属していません。
主装置付属の木ネジ（3.8 × 28）などを利用してください。



（例）



② WS600 親機裏面の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。
※ アンテナの向きにより雑音が入る場合があります。その場合は、アンテナの向きを変えてください。
※ WS600 親機を外すときは、WS600 親機を引き上げます。



⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

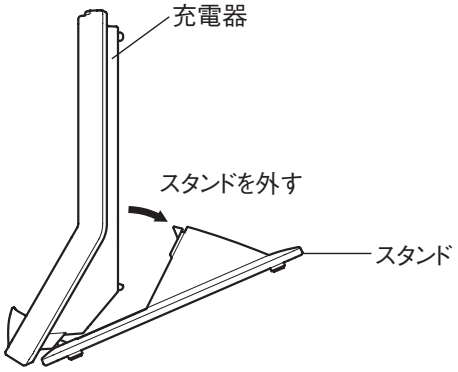
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

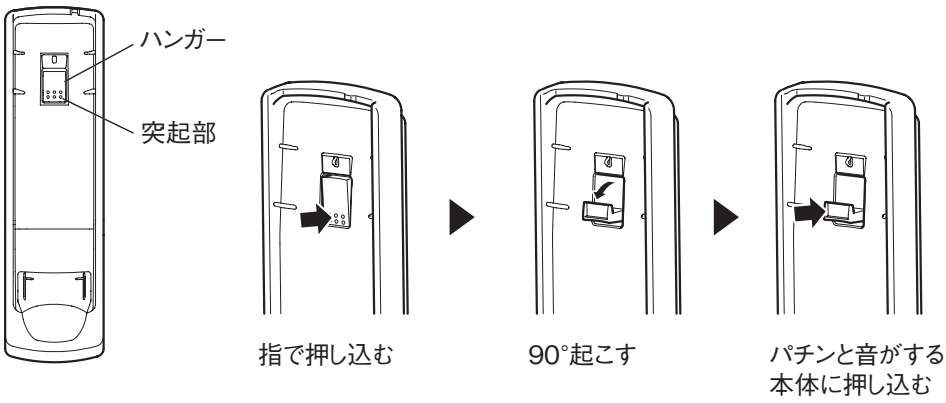
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶(7) 充電器（WS600 子機用）

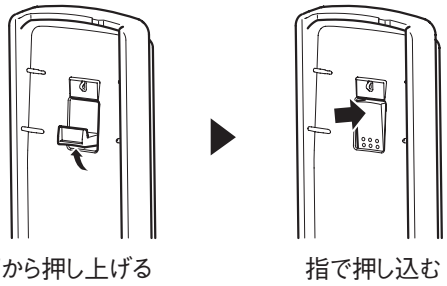
① スタンドを矢印方向に外します。



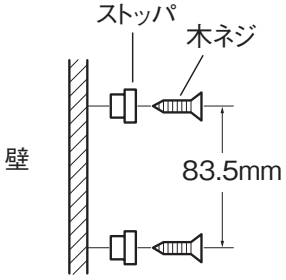
② 充電器本体のハンガーの突起部を指で押し込みハンガーを 90° 起こしパチンと音がするまで本体に押し込みます。



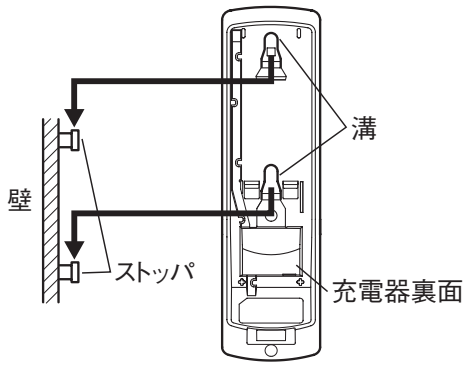
※ ハンガーを元に戻すときは、ハンガーを下から押し上げてロックを外したあと、指で押し込んでください。



③ 付属のストッパ２個を木ネジ２本で壁に固定します。
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、充電器が落下しやすいので注意してください。
※ WS600 電話機には壁掛け用の木ネジは付属していません。
主装置付属の木ネジ（3.8 × 28）などを利用してください。



④ 充電器裏面の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。
※ 充電器を外すときは、充電器を引き上げます。



⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。

⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。

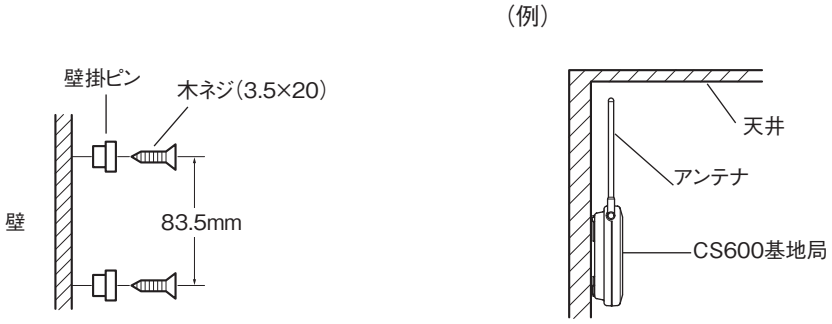
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。

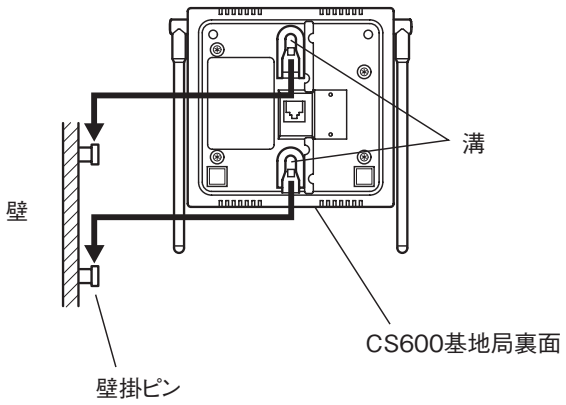
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶（8）CS600 基地局

① 壁掛ピン２個を付属の木ネジ（3.5 × 20）２本で壁に固定します。
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、CS600 基地局が落下しやすいので注意してください。
※ 電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面に設置した場合、雑音が入ることがありますので、避けてください。
※ アンテナを立てた状態で天井などに当たらない位置に設置してください。



② CS600 基地局裏面の溝を壁掛ピンにはめ込み、引き下げます。
※ CS600 基地局を外すときは、CS600 基地局を引き上げます。



⚠ 警 告

⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

8 ドアホン・カラーテレビドアホンの工事

ドアホン（DR71）とカラーテレビドアホン（DR63C）を合わせて 3 台まで接続できます。
（ドア・ページングユニットの DR1・2・3 に接続可能）

8-1 ドアホンの工事

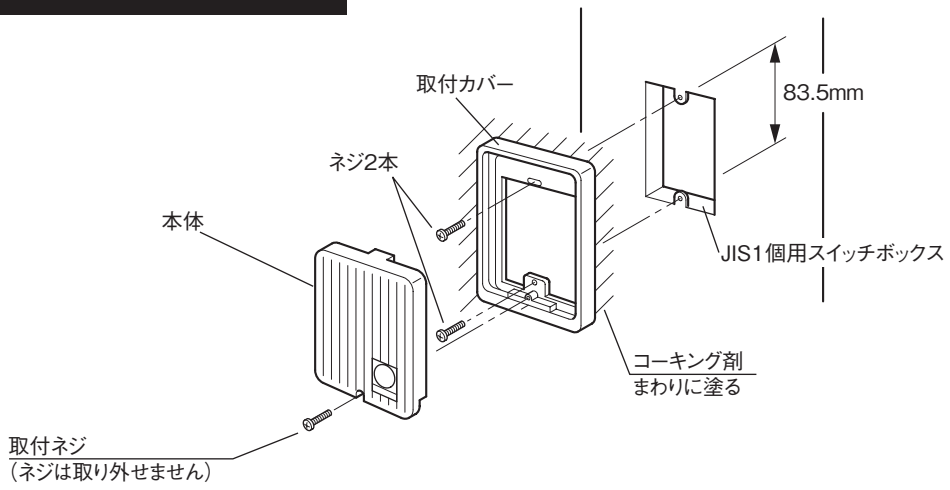
▶ ドアホン（DR71）の設置

ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。
ドア・ページングユニットからドアホンまでの許容ループ抵抗は 20 Ω以下です。

■ドアホンの取り付け方法

※ スイッチボックス以外でも壁、柱などに直接取り付けられます。
※ 直接、雨水がかかる場所にドアホンを取り付ける場合、下図のように取付カバーの縁のまわりにシリコンなどのコーキング剤（耐水用）を塗ってください。（故障の原因を防ぎます）ただし、取付カバー下部の水抜き穴、入線口はふさがないでください。

スイッチボックスに取り付ける場合



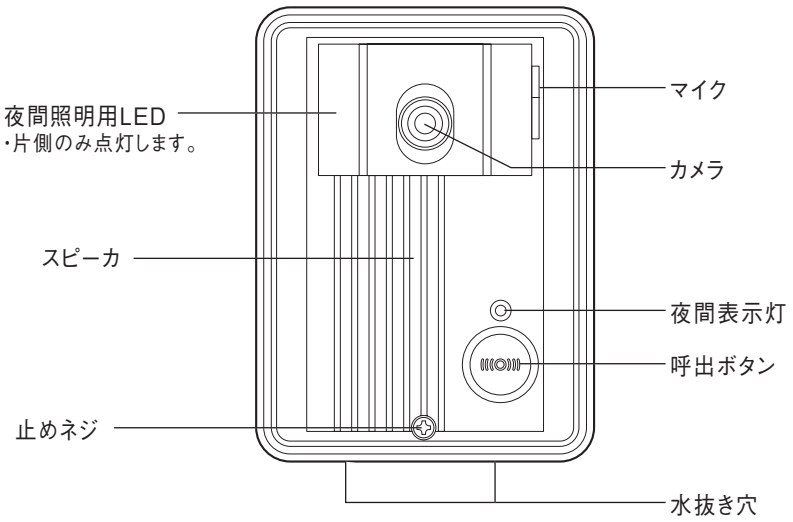
お願い

● 汚れは布、プラスチック用クリーナー、および中性洗剤でふいてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
表面を傷めたり、変質することがあります。

8-2 カラーテレビドアホンの工事

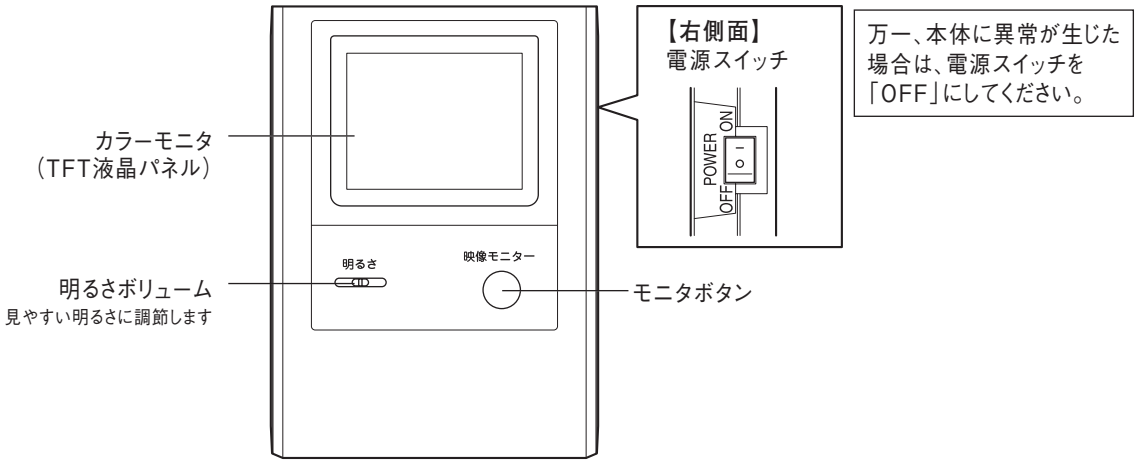
▶(1) カラーテレビドアホン(DR63C)、カラーモニタユニット(TM-23) 各部の名称

＜カラーテレビドアホン (DR63C) ＞



仕様
・電源電圧 ： カラーモニタユニット（TM-23）から供給
・撮像素子 ： 固体撮像素子（CCD）
・夜間撮像 ： 内蔵照明（白色 LED）
・寸法 (mm)： 99（幅）× 131（高さ）× 40（奥行）
・質　　量 ： 約 200g

＜カラーモニタユニット (TM-23) ＞



仕様
・電源電圧 ： AC100V
・モ ニ タ ： 4 型 TFT カラー液晶
・画 素 数 ： 11 万画素
・形　　状 ： 壁取付形
・寸法 (mm)： 155（幅）× 210（高さ）× 50（奥行）
・質　　量 ： 約 600g

・映像表示時間

状　況	最大表示時間	映像の消し方
呼出後応答しない場合	約 45 秒間	・最大表示時間後自動
通話中の場合	通話開始後 2 分 30 秒間	・最大表示時間後自動 （モニタボタンを押すと再度表示） ・最大表示時間内は終話による
モニタ中の場合	モニタ開始後 2 分 30 秒間	・最大表示時間後自動 ・最大表示時間内はモニタボタンを押す

お願い

● カラーテレビドアホン（DR63C）、カラーモニタユニット（TM-23）の汚れは布、プラスチック用クリーナー、および中性洗剤でふいてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
表面を傷めたり、変質することがあります。

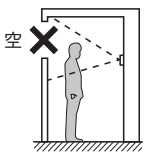
▶(2) カラーテレビドアホン（DR63C）の設置

ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。
カラーモニタユニット（TM-23）と組み合わせて使用します。
※ドア・ページングユニットからカラーモニタユニットまでの許容ループ抵抗は 5 Ω以下です。

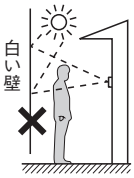
お願い

● カラーテレビドアホンに内蔵されているカメラの性質上、外部の光や周囲環境によりテレビモニタの映り具合に影響を与えることがありますので、下記のような場所へは設置しないでください。

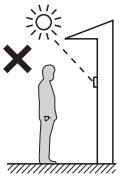
背景に空がよく映るマンションなどの階上にある玄関



人物の背面が白いところ

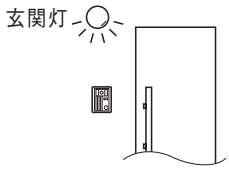


直接日光や強い光が当たるところ



・極端に寒い・暑い場所
・ゴミやほこりの多い場所
・浴室などの湿度の高い場所
・直接、湯気や油煙のあたる場所
・硫化水素の発生する場所（温泉地）

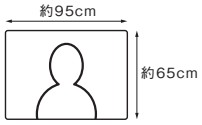
● 夜間の映りをさらによくするため、照明の設置をおすすめします。



■カラーテレビドアホンの設置高さと映像範囲

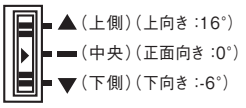
※ 設置の高さは、地面より 145cm の位置をおすすめします。

●カメラ前50cmで映る範囲

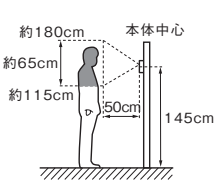


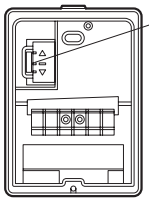
映る範囲は目安であり設置環境により変化する場合があります。

●取り付け時カメラの角度を上下3段階に調節できます。カラーテレビドアホン裏面の角度調節スイッチで調節します。



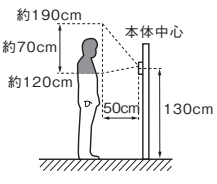
上下方向ーカメラ角度0°

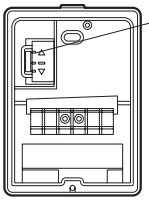




角度調節スイッチは「中央」のまま（出荷時設定）

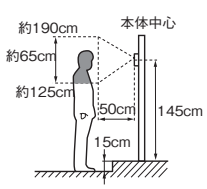
上下方向ーカメラ角度16°

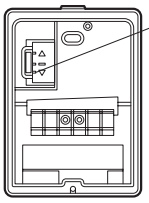




角度調節スイッチは「上側」

上下方向ーカメラ角度-6°:段差などで高くなる場合





角度調節スイッチは「下側」

■取り付け方法

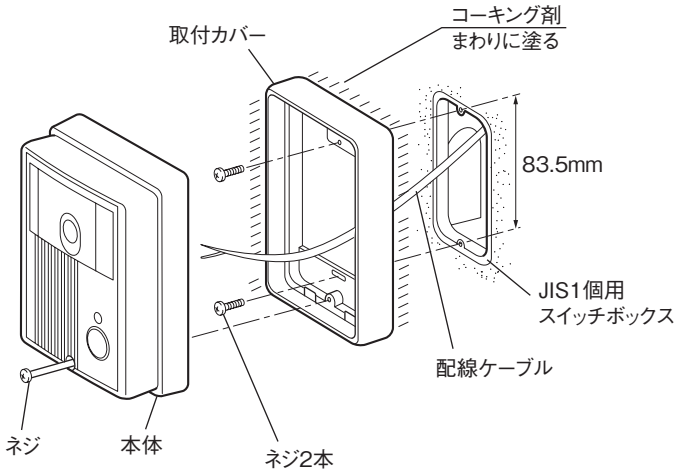
※ スイッチボックス以外でも壁、柱などに直接取り付けられます。
※ 直接、雨水がかかる場所にカラーテレビドアホンを取り付ける場合、下図のように取付カバーの縁のまわりにシリコンなどのコーキング剤（耐水性）を塗ってください。（故障の原因を防ぎます）ただし、取付カバー下部の水抜き穴、入線口はふさがないでください。

スイッチボックスに取り付ける場合

① ⊕ドライバで本体の止めネジをゆるめ、取付カバーを外します。

② 取付カバーを付属のネジ２本でスイッチボックスに取り付けます。

③ 配線ケーブルを本体の A1、A2 端子に接続後、本体をネジで取付カバーに固定します。



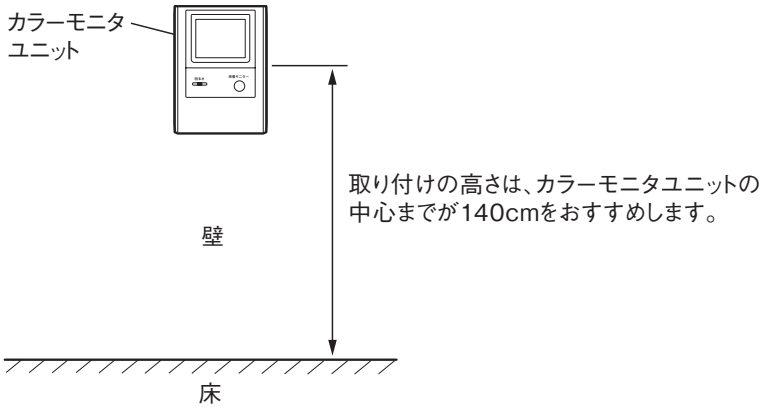
お願い

● 交流電源が 50Hz 地区では、蛍光灯の光がカメラに入ると映像にチラツキがでることがあります。蛍光灯の光をさえぎるか、インバータ蛍光灯を使用するなどしてチラツキを防止してください。

▶ (3) カラーモニタユニット（MT-23）の設置

カラーテレビドアホン（DR63C）と組み合わせて使用します。

■設置位置について



■設置上のご注意

● 次のようなところへは設置しないでください。故障の原因となります。

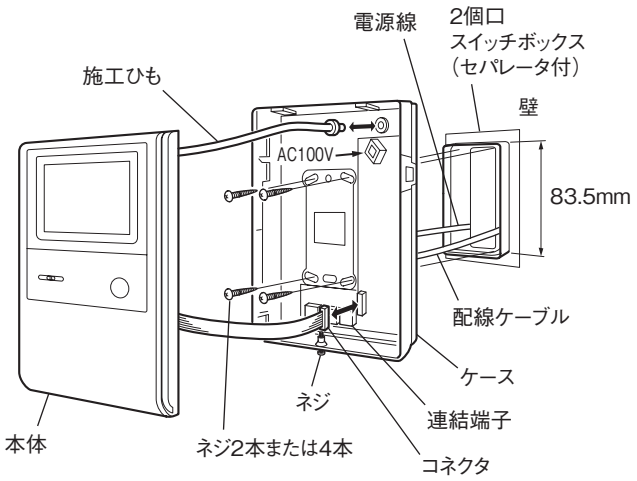
① 温度が上昇するところ‥‥直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど。
② 霜が付着するところ‥‥‥製氷倉庫など。
③ 高温、湯気、水、鉄粉、薬品などが発生または、かかる恐れのあるところなど。
④ テレビ、ラジオなどから 1m 以内のところ。

■取り付け方法

スイッチボックスを使用する場合の手順

※ スイッチボックスは、JIS1 個用スイッチボックスか JIS2 個用スイッチボックス･四角アウトレットボックス（スイッチカバー付）を用い、必ず電源線と配線ケーブルの間にセパレータを設けてください。

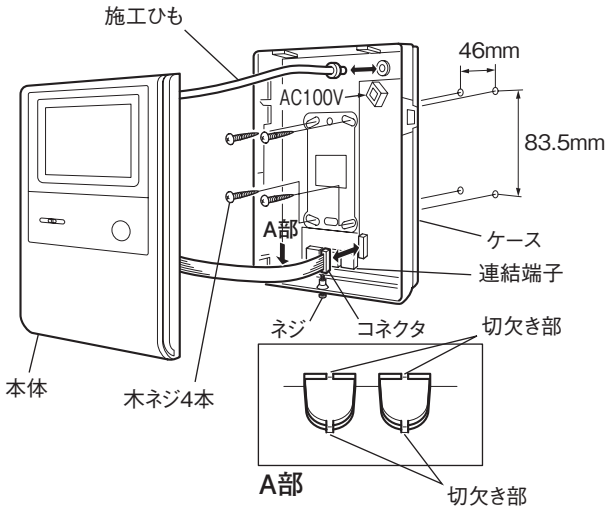
① ケース下面のネジ１本を外します。
② 本体下部を持ち上げて、本体をケースから外します。
③ 本体とケース間のコネクタを外します。
④ 施工ひもを外します。
⑤ ケースを付属のネジ２本または４本でスイッチボックスに取り付けます。
⑥ 各配線を連結端子に接続し、コネクタを差し込みます。
⑦ 施工ひもをはめます。
⑧ 本体をケースに組み込み、ケース下面のネジ１本で固定します。



露出配線する場合の手順

※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、落下する恐れがあるので注意してください。
※ ケース下部の切欠き部分（2 ヵ所）をニッパなどで切断し、配線ケーブルを通して配線してください。
※ 電源線と配線ケーブルは、別々の切り欠き部分を通してください。

① ケース下面のネジ１本を外します。
② 本体下部を持ち上げて、本体をケースから外します。
③ 本体とケース間のコネクタを外します。
④ 施工ひもを外します。
⑤ ケースの下部の切欠き部分（2 ヵ所）をニッパなどで切断します。
⑥ ケースを付属の木ネジ４本で壁に取り付けます。
⑦ 各配線を連結端子に接続し、コネクタを差し込みます。
⑧ 施工ひもをはめます。
⑨ 本体をケースに組み込み、ケース下面のネジ１本で固定します。



⚠ 警 告

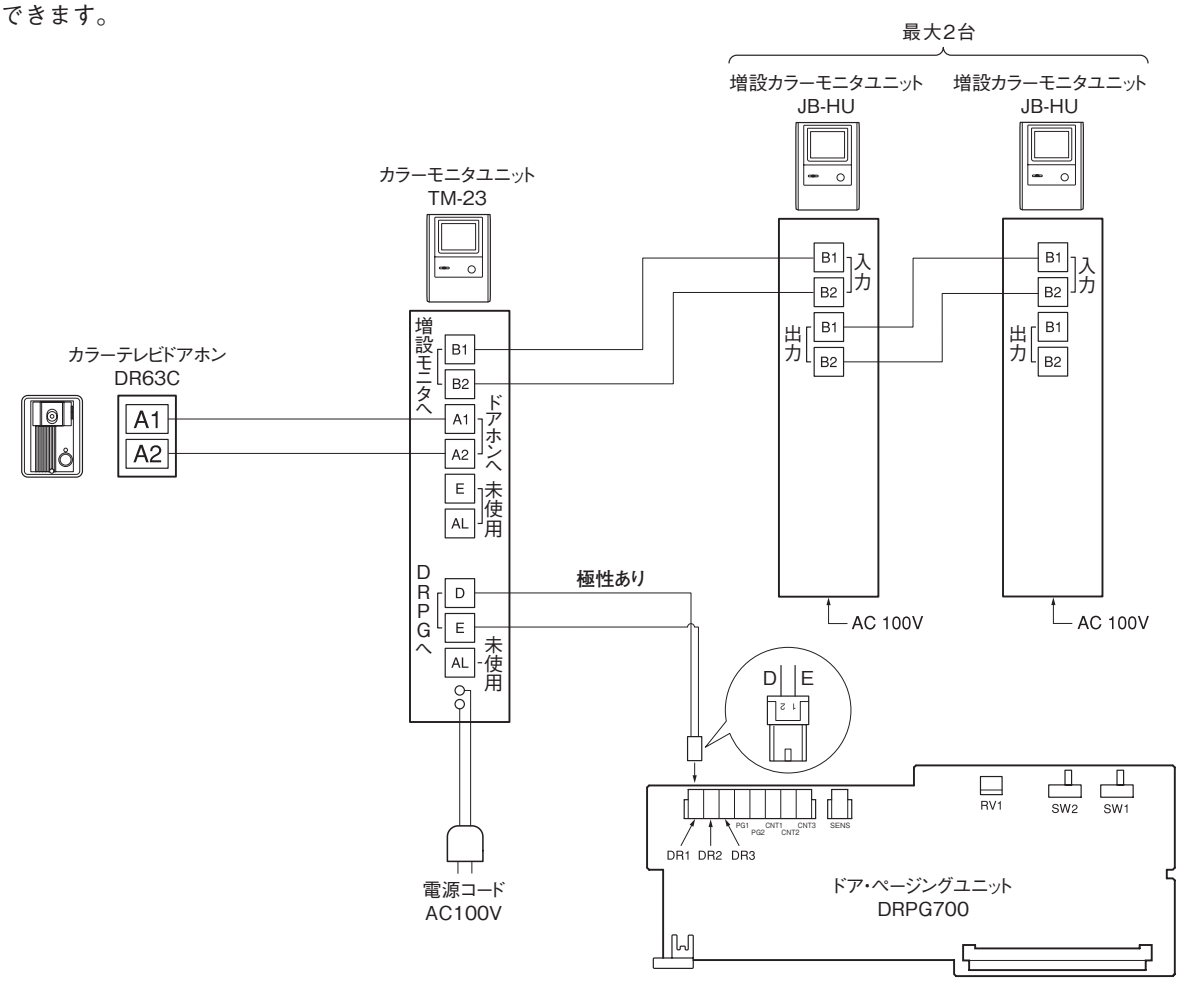
⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶(4) カラーテレビドアホン（DR63C)、カラーモニタユニット（TM-23)、ドア・ページングユニット（DRPG700）の接続方法

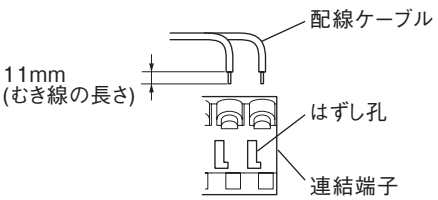
●カラーテレビドアホン（DR63C）1 台とカラーモニタユニット（TM-23）1 台の組合せで接続できます。
●カラーモニタユニットを増設したいときは、アイホン株式会社製の増設カラーモニタユニット（ JB-HU）をご利用ください。
●カラーテレビドアホン（DR63C）を 2 台接続する場合は、もう 1 台カラーモニタユニット（TM-23）が必要となります。
●ドア・ページングユニット（DRPG700）1 枚にドアホン（DR71)、カラーテレビドアホン（DR63C）を合わせて 3 台まで接続できます。



配線距離	●「ドア・ページングユニット【DRPG700】」と「カラーモニタユニット（TM-23)」間 ▶2 芯ケーブル ▶φ 0.65mm ケーブルで 45m 以下、φ 0.9mm ケーブルで 90m 以下 ●「カラーモニタユニット（TM-23)」と「カラーテレビドアホン（DR63C)」間 ▶2 芯ケーブル ▶φ 0.65mm ケーブルで 50m 以下、φ 0.9mm ケーブルで 100m 以下

■カラーモニタユニット（TM-23）接続上のご注意

● 連結端子について
連結端子は、差し込み式となっています。配線ケーブルを差し込み、または抜く場合には、「はずし孔」を押しながら行ってください。



● 配線ケーブルは他の電源線（AC100V、AC200V）から 30cm 以上離してください。近接して配線すると、ノイズや誤動作の発生原因となることがあります。

● カラーテレビドアホン（DR63C）との配線は、2 芯の平行ケーブルを使用してください。配線ケーブルに未使用の線があると映像の映りが悪い場合があります。

● ドア・ページングユニット（DRPG700）との許容ループ抵抗は 5 Ω以下です。

■カラーテレビドアホン（DR63C）接続後の確認

● 連夜間照明用 LED の確認について
DR63C の周辺を暗くして夜間照明用 LED がドアホンを終話するまで点灯していることを確認してください。

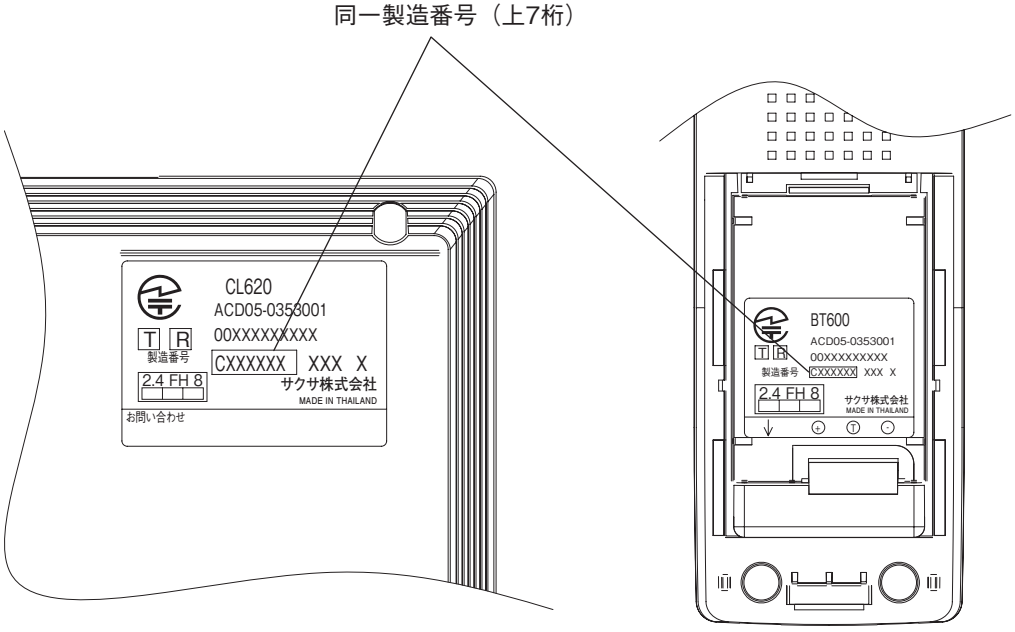
9 CL620 電話機の接続

- CL620 電話機は、親機と子機の構成です。
- CL620 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、CL620 親機に接続するだけで使用できます。
- CL620 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを CL620 子機にはめ込み、CL620 親機または WS600 充電器で約 8 時間以上充電してください。
  ※ 電池パック（型名：BP3711L-A）は付属品です。
- HM700Std 主装置の場合、CL620 電話機は最大 4 台まで接続できます。
- HM700Pro 主装置の場合、CL620 電話機は WS600 電話機と組み合わせて最大 8 台まで接続できます。
- CL620 子機を別の CL620 親機に置くと、注意音「ピッ」が 2 秒間隔でなりますが故障ではありません。CL620 子機を同一製造番号の CL620 親機に置いてください。

電話機コードを接続する前に

▶ CL620 親機と CL620 子機の組み合わせは、下図のように製造番号 (上 7 桁) が同じものを必ず使用してください。

同梱のCL親機とCL子機は、製造番号（上 7 桁）が同じです



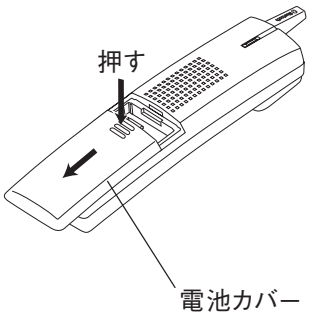
CL620親機（底面）　　CL620子機（電池パック収納部）

お願い

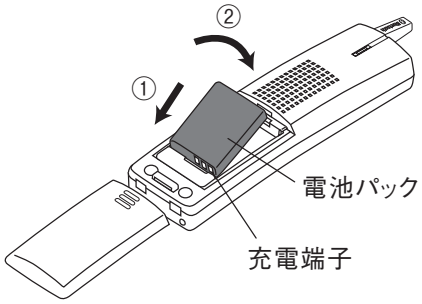
- CL620 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プープー（10 秒毎）」が鳴り使用できません。
  この場合は、CL620 親機、または WS600 充電器に置いて充電するか、充電されている他の CL620 子機、または WS600 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた

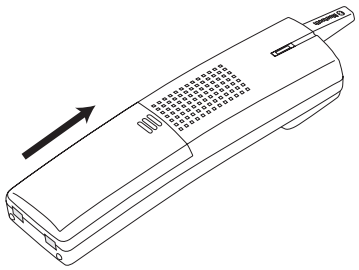
(1) CL620 子機の電池カバーを押しながらスライドさせて電池カバーを取り外します。



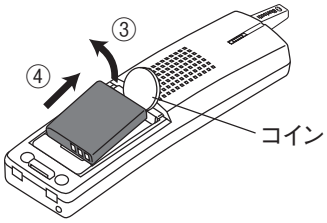
(2) 電池パックのラベル面を上にして、①方向に差し込みながら②方向にはめこみます。
※ CL620 子機と電池パックの充電端子が接触します。



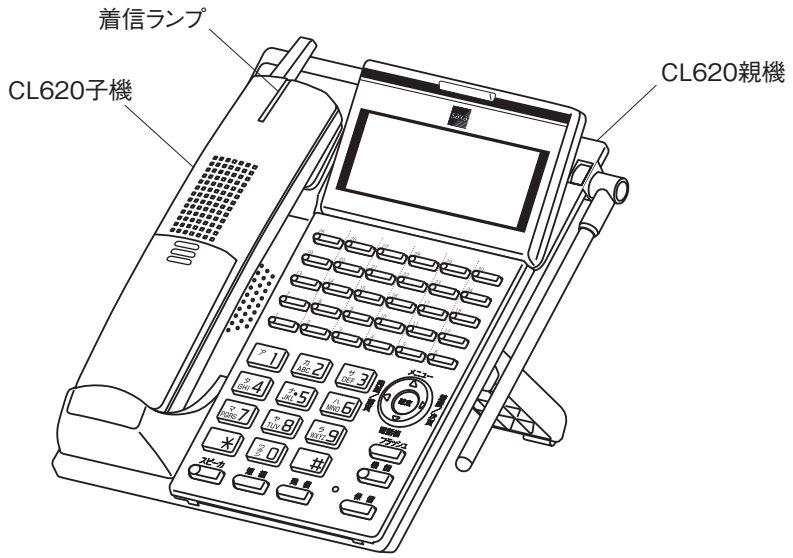
(3)「カチッ」音がするまで電池カバーを押し込みます。



※電池パックを取り外すときは電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。(下図参照)



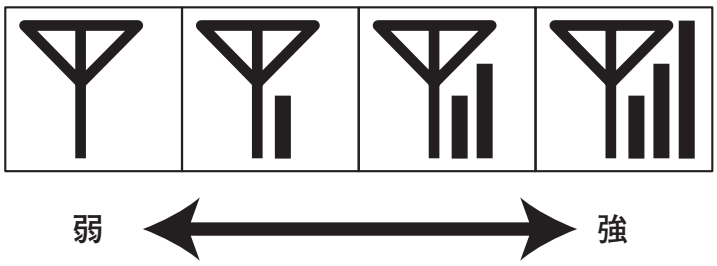
充電のしかた



・ CL620 子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にして CL620 親機に置いてください。
・ CL620 子機を CL620 親機に置いている時、CL620 子機充電中は着信ランプが赤点灯します。
・ 満充電になると CL620 子機の着信ランプは緑点灯に変わります。
※ CL620 子機を CL620 親機に置いたとき、CL620 子機の着信ランプが赤点灯後、すぐに緑点灯に切り替わる場合には、充電端子の接触不良が考えられます。CL620 親機・CL620 子機の充電端子および電池パックの充電端子を綿棒などで拭いて確認してください。
※ CL620 子機を CL620 親機に置いたとき、CL620 子機の着信ランプが赤点滅する場合には、電池パックの不良（劣化など）が考えられます。電池パック（BP3711L-A）を交換して確認してください。

電波強度

CL620 子機は、CL620 親機からの電波状態を 4 段階で表します。
※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



（強）…… 受信状態が良好です。
（弱）…… 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。
（電波状態の良い場所へ移動してください）
（圏外）…… 電話をかけることも受けることもできません。
※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。
圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

電話機の工事設定

次の場合は CL620 子機、WS600 子機で RF 制御設定をしてください。
・電波干渉により CL620 電話機にノイズが入る場合
・CL620 子機待機中に省電力モードで使用する場合

(1) 電波干渉により CL620 電話機にノイズが入る場合（AFH 使用 CH 設定）

無線 LAN や他の Bluetooth 利用機器を使用の場合、電波干渉により CL620 電話機にノイズが入るときには、以下のように使用チャンネルを分割することができます。

① CL620 子機で、通話 と 確定 ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1：AFH 使用 CH
2：SNIFF 設定

② 確定 ボタンを押します。（初期値：0-78CH）

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-78CH]

③ ◯ ボタンを操作し、AFH 使用 CH を選択します。

【分割上位チャンネル選択時】：[0-39CH]
【分割下位チャンネル選択時】：[40-78CH]

表示例

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-39CH]

④ 確定 ボタンを押し、AFH 使用 CH を決定します。

◇ RF 制御設定
1：AFH 使用 CH
2：SNIFF 設定

⑤ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切換ります。

(2) CL620 子機待機中に省電力モードで使用する場合（SNIFF 設定）

① CL620 子機で、通話 と 確定 ボタンを同時に押しながら、
電池パックをはめ込みます。



② ◎ ボタンを押します。



③ 確定 ボタンを押します。（初期値：無効）



④ ◎ ボタンを操作し、SNIFF 設定の [有効] を選択します。



⑤ 確定 ボタンを押し、SNIFF 設定を決定します。



⑥ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、
再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切換ります。

ご注意

1. SNIFF 設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。
   有効：約 48 時間
   無効：約 24 時間
2. SNIFF 設定を [有効] にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

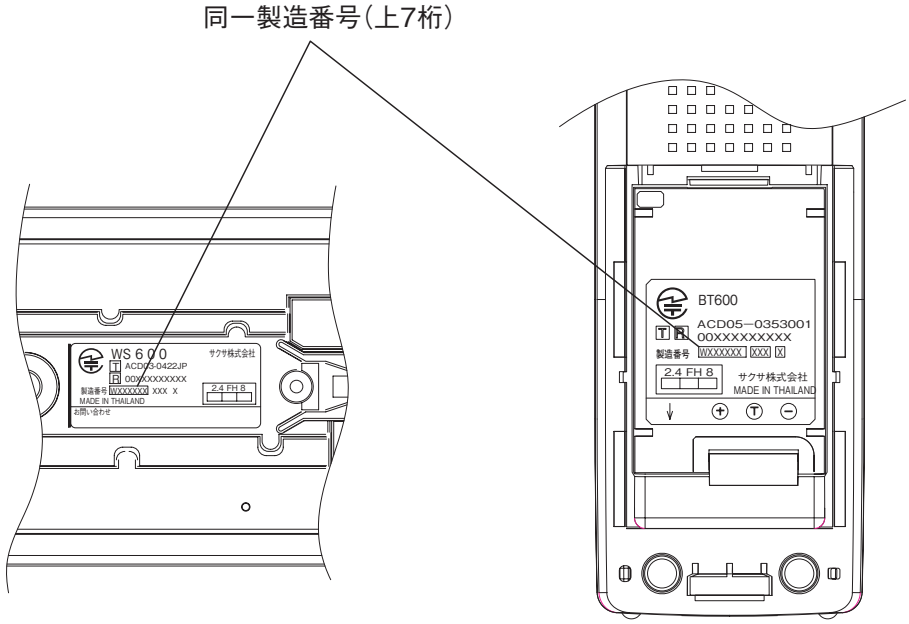
10 WS600 電話機の接続

- WS600 電話機は、親機と子機と充電器の構成です。
- WS600 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、WS600 親機に接続するだけで使用できます。
- WS600 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを WS600 子機にはめ込み、WS600 充電器で約 8 時間以上充電してください。
  ※電池パック（BP3711L-A）、AC アダプタ（SS-920L）は付属品です。
- HM700Std 主装置の場合、WS600 電話機は、最大 7 台まで接続できます。
- HM700Pro 主装置の場合、WS600 電話機は、CL620 電話機と組み合わせて最大 8 台まで接続できます。

電話機コードを接続する前に

▶ WS600親機とWS600子機の組み合わせは、下図のように製造番号(上7桁)が同じものを必ず使用してください。

同梱のWS600 親機とWS600 子機は、製造番号（上 7 桁）が同じです



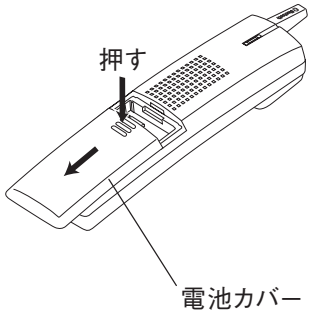
WS600親機（底面）　　WS600子機（電池パック収納部）

ご注意

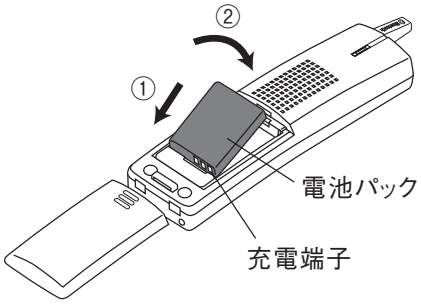
- WS600 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プープー（10 秒毎）」が鳴り使用できません。
  この場合は、WS600 充電器に置いて充電するか、または充電されている他の CL620 子機、または WS600 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた

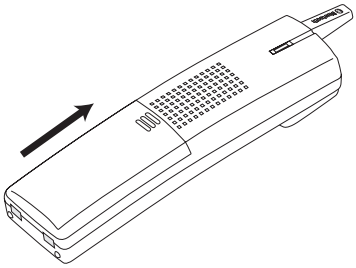
(1) WS600 子機の電池カバーを
押しながらスライドさせて
電池カバーを取り外します。



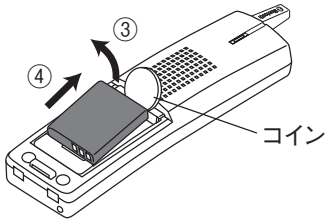
(2) 電池パックのラベル面を上にして、①方向
に差し込みながら②方向にはめこみます。
※ WS600 子機と電池パックの充電端子が接触
します。



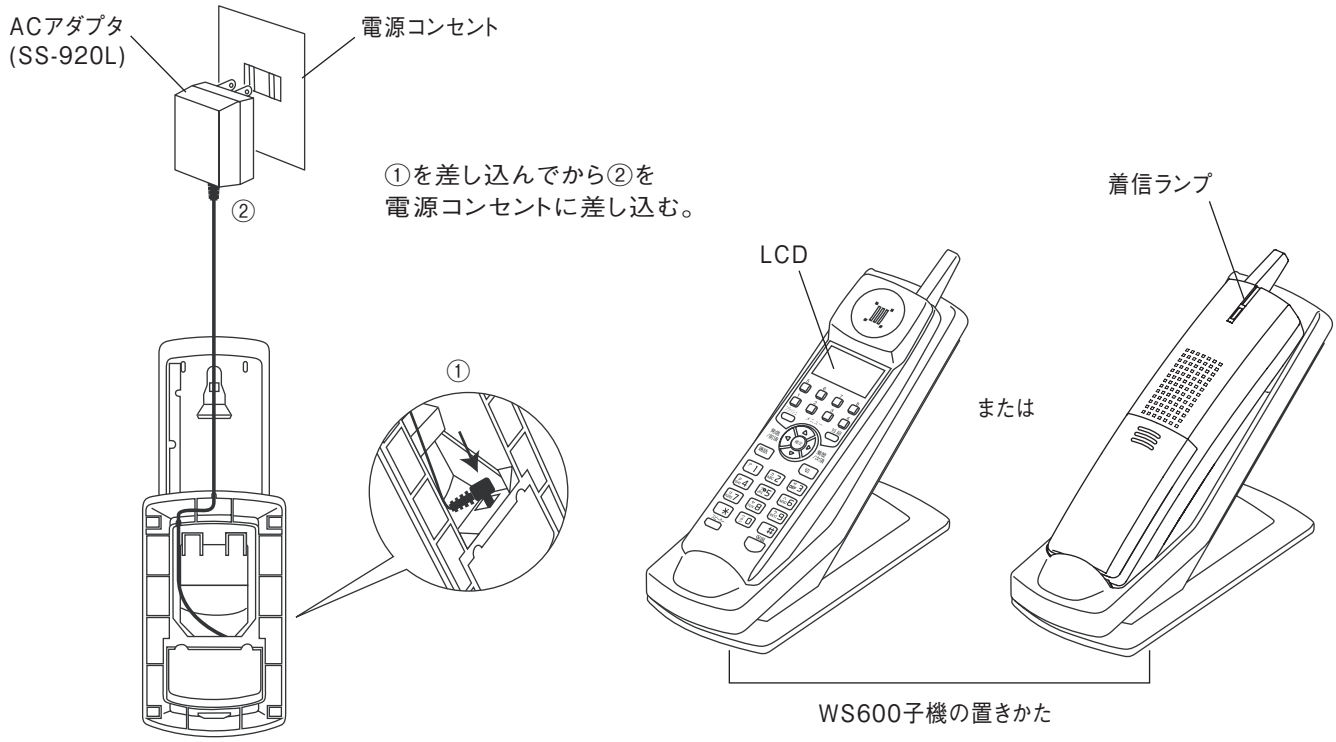
(3)「カチッ」音がするまで
電池カバーを押し込みます。



※電池パックを取り外すときは電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。(下図参照)



充電のしかた



・ WS600 子機は、ダイヤル面が表裏のどちらでも充電器に置くと充電できます。
・ WS600 子機の充電中は、LCD に《充電中》を表示し、着信ランプが赤点灯します。
・ 満充電になると WS600 子機の LCD は《満充電》表示に切り替わり、着信ランプが緑点灯に変わります。
※ WS600 子機を充電器に置いたとき、WS600 子機の着信ランプが赤点灯後、すぐに緑点灯に切り替わる場合には、充電端子の接触不良が考えられます。WS600 子機・充電器の充電端子および電池パックの充電端子を綿棒などで拭いて確認してください。
※ WS600 子機を充電器に置いたとき、WS600 子機の着信ランプが赤点滅する場合には、電池パックの不良（劣化など）が考えられます。電池パック（BP3711L-A）を交換して確認してください。

電波強度

WS600 子機は、WS600 親機からの電波状態を 4 段階で表します。
※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



(強)‥‥‥‥ 受信状態が良好です。
(弱)‥‥‥‥ 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。
(電波状態の良い場所へ移動してください)
(圏外)‥‥‥ 電話をかけることも受けることもできません。
※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。
圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

電話機の工事設定

次の場合は WS600 子機で RF 制御設定をしてください。
・電波干渉により WS600 電話機にノイズが入る場合
・WS600 子機待機中に省電力モードで使用する場合

(1) 電波干渉により WS600 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)

無線 LAN や他の Bluetooth 利用機器を使用の場合、電波干渉により WS600 電話機にノイズが入るときには、以下のように使用チャンネルを分割することができます。

① WS600 子機で、通話 と 確定 ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1：AFH 使用 CH
2：SNIFF 設定

② 確定 ボタンを押します。(初期値：0-78CH)

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-78CH]

表示例

③ ◯ ボタンを操作し、AFH 使用 CH を選択します。

【分割上位チャンネル選択時】：[0-39CH]
【分割下位チャンネル選択時】：[40-78CH]

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-39CH]

④ 確定 ボタンを押し、AFH 使用 CH を決定します。

◇ RF 制御設定
1：AFH 使用 CH
2：SNIFF 設定

⑤ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切換ります。

(2) WS600 子機待機中に省電力モードで使用する場合（SNIFF 設定）

① WS600 子機で、通話 と 確定 ボタンを同時に押しながら、
電池パックをはめ込みます。



② ◎ ボタンを押します。



③ 確定 ボタンを押します。（初期値：無効）



④ ◎ ボタンを操作し、SNIFF 設定の [有効] を選択します。



⑤ 確定 ボタンを押し、SNIFF 設定を決定します。



⑥ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、
再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切換ります。

ご注意

1. SNIFF 設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。
   有効：約 48 時間
   無効：約 24 時間
2. SNIFF 設定を [有効] にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

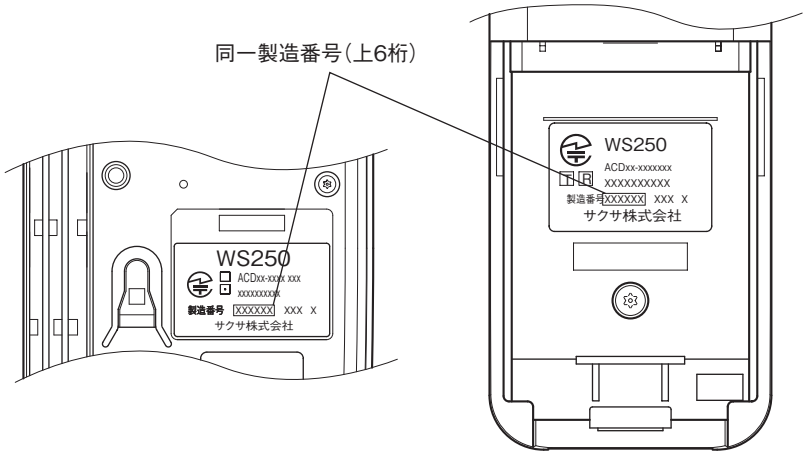
11 WS250 電話機の接続

● WS250 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、WS250 親機に接続するだけで使用できます。
● WS250 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを接続し、約 16 時間以上充電してください。
※ 電池パック (BP3610NM-A)、AC アダプタ (TP-920L) は付属品です。
● WS250 電話機は最大 4 台まで接続できます。
※ 各制御チャンネルごとに、WS250 電話機が 2 台使用できます。
（制御チャンネルは、出荷時に WS250 電話機に設定されています）
※ WS250 電話機を 3 台以上接続する場合は、各制御チャンネル 2 台までの接続をしてください。
（同じ制御チャンネルの電話機を 3 台以上接続すると、外線・内線からの着信時、着信鳴動するまでの時間が遅れる、または発着信できないことがあります）
※ WS250 電話機の制御チャンネルの確認・変更方法は、93 ページを参照してください。

電話機コードを接続する前に

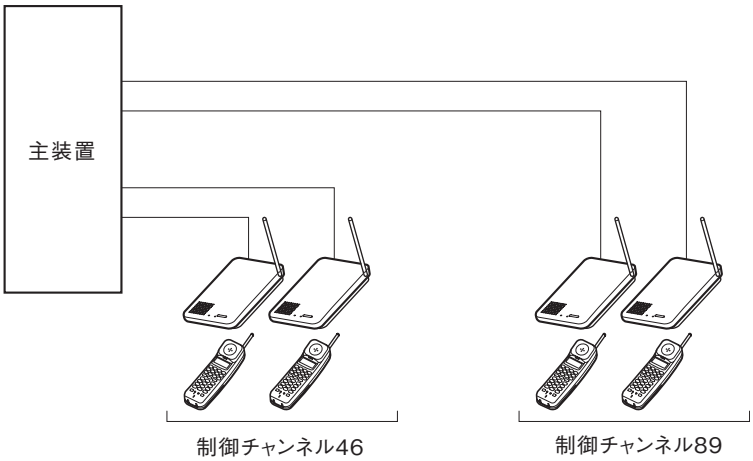
▶ WS250親機とWS250子機の組み合わせは、下図のように製造番号(上6桁)が同じものを必ず使用してください。

同梱のWS250 親機とWS250 子機は、製造番号（上 6 桁）が同じです



WS250親機（底面）　　WS250子機（電池パック収納部）

▶ WS250 電話機の接続例

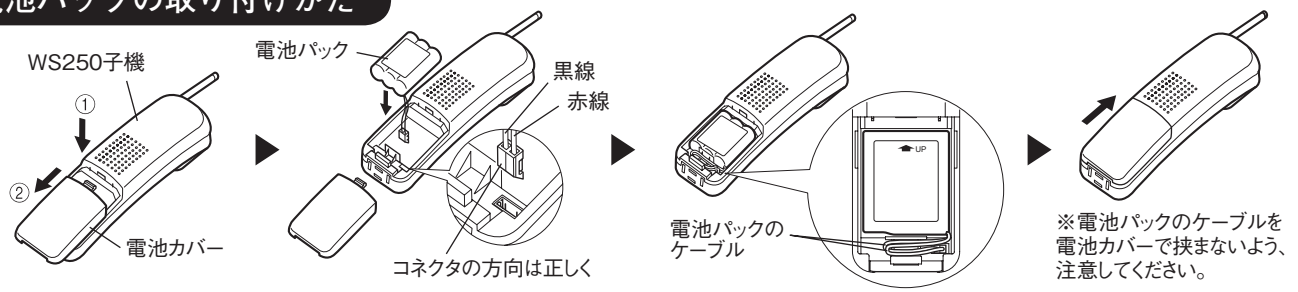


▶ 制御チャンネルの確認、変更は WS250 子機と同一製造番号 (上 6 桁) の WS250 親機の近くで行ってください。(電波の届く距離内で行ってください)

ご注意

● WS250 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プープー（10 秒毎）」が鳴り使用できません。
この場合は、WS250 充電器に置いて充電するか、または充電されている他の WS250 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた



(1)電池カバーを開ける　(2)電池パックを差し込む　(3)電池パックのケーブルを収納する　(4)電池カバーを閉じる

充電のしかた



制御チャンネルの確認方法

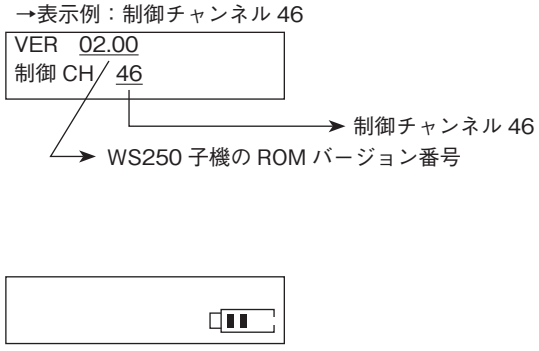
下記の②の操作後、10 秒以内に制御チャンネルを確認してください。
※下記の操作は、WS250 子機で行ってください。

① (電源が入っていて、各ランプ消灯状態を確認) 保留を押しながら、リダイヤルと 5 を同時に押す。

②「ピッ」音が鳴ったら保留とリダイヤルと 5 を離す。
→内線ランプ：赤（点滅）
→制御チャンネル表示

③ 制御チャンネルを確認する。

④ 10 秒後に初期状態に戻る。



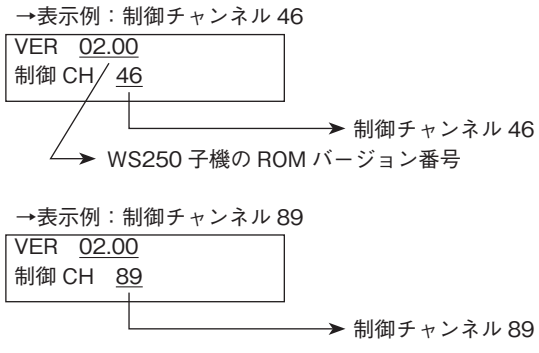
制御チャンネルの変更方法

下記の設定は各時間内に行ってください。各時間を経過すると設定変更できません。
※下記の操作は、WS250 子機で行ってください。

① (電源が入っていて、各ランプ消灯状態を確認) 保留を押しながら、リダイヤルと 5 を同時に押す。

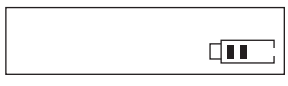
②「ピッ」音が鳴ったら保留とリダイヤルと 5 を離す。
→内線ランプ：赤（点滅）
→制御チャンネル表示

③ ②の操作後、10 秒以内に変更する制御チャンネル
(1 または 2) を押す。
1：制御チャンネル 89
2：制御チャンネル 46
→内線ランプ：赤（点灯）



④ ③の操作後、60 秒以内に同一製造番号（上 6 桁）の WS250 親機の電話機コードを抜き差しする。

⑤ 登録受付音の「ピッピッ」音が鳴る。
→内線ランプ：赤（消灯）



※ WS250 親機の通話ランプが消灯していることを確認してください。

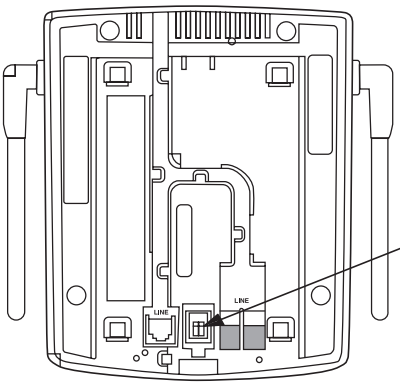
※ 操作を途中で間違えた場合や設定できなかった場合は、WS250 親機は電話機コードを差し込んだままで WS250 子機の電池パックを抜いて、①の操作からやり直してください。

12 DC600 電話機の接続

- DC600 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、接続装置に接続するだけで使用できます。
- DC600 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを接続し、約 3 時間以上充電してください。
  ※ 電池パック (BP3772L-A)、AC アダプタ (A50-007604) は付属品です。
- DC600 は HM700Std では最大 7 台、HM700Pro では最大 8 台接続できます。
- 接続装置と DC600 子機の組み合わせは、下図のように製造番号（上 6 桁）が同じ物を必ず使用してください。
- DC600 電話機は、HM700Pro 主装置にシステムコードレス基地局ユニット (2CDLC700/4CDLC700) を実装した場合、使用できません。

ディップスイッチの設定

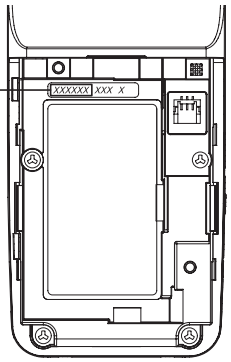
接続装置背面



ディップスイッチ
出荷時の設定のままご使用下さい。
出荷時：1＝ON ,2＝OFF

製造番号（親機）の確認

同一製造番号（上6桁）

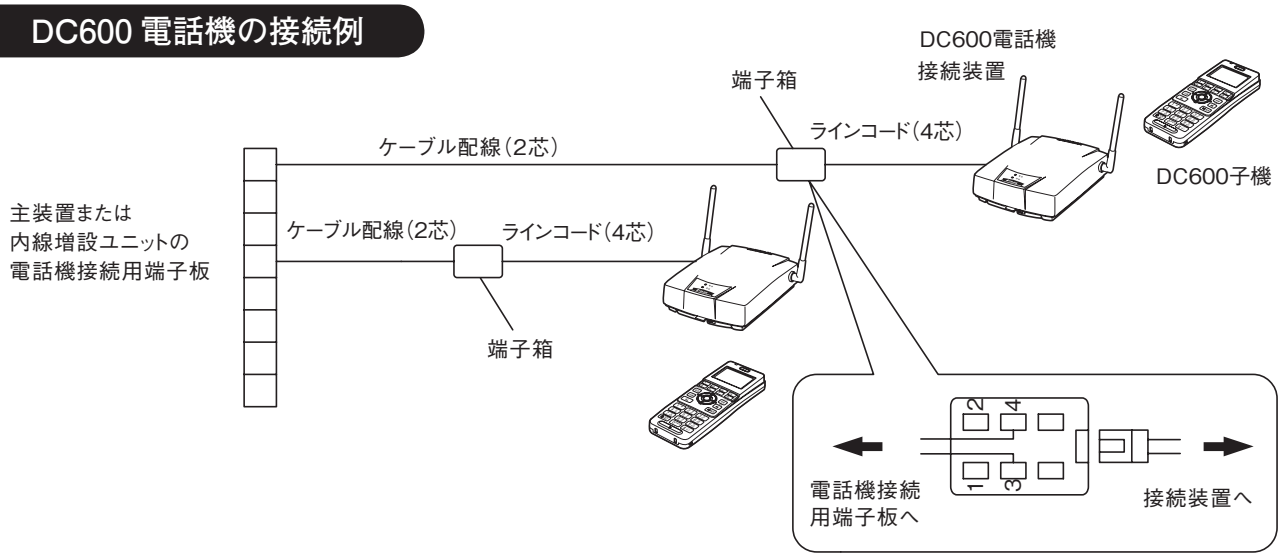


DC600子機
（電池パック収納部）

接続装置(底面)



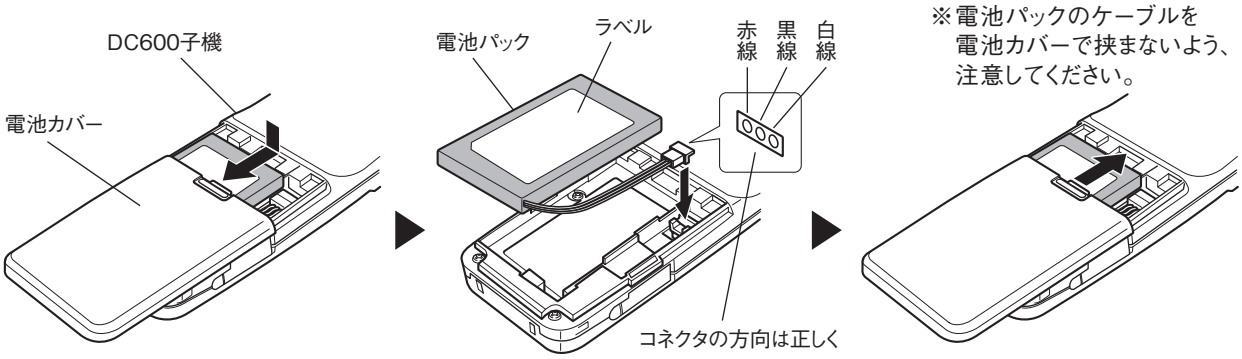
DC600 電話機の接続例



ご注意

- DC600 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「ピーッ ピーッ（30 秒毎）」が鳴り使用できません。この場合は、充電器に置いて充電するか、または充電されている他の DC600 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた

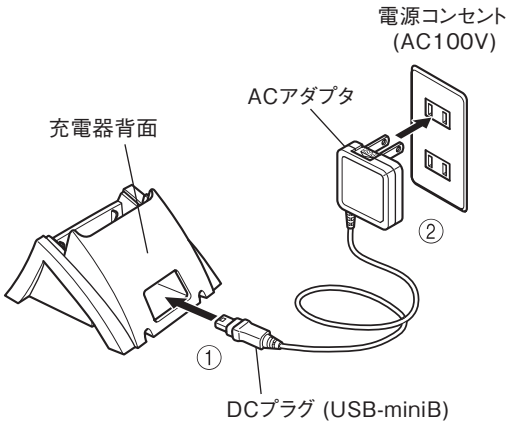


(1)電池カバーを押しながら
スライドさせて取り外す

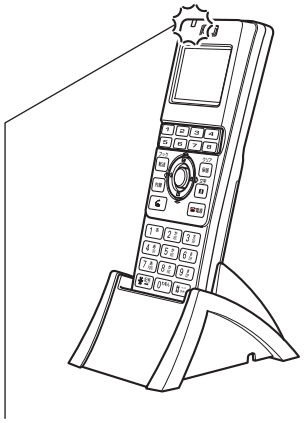
(2)ラベルを上面にして電池パックを
差し込む

(3)電池カバーを取り付ける

充電のしかた



①を差し込んでから
②を電源コンセント(AC100V)に差し込む。



充電器の充電ランプが赤点灯すると
充電を開始します。

※充電時間は約3時間です。
満充電になると自動的に充電を停止して
充電ランプが緑に変わります。

⚠ 注 意

- 充電器には添付の専用 AC アダプタを使用してください。
- 充電器は直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用は避けてください。
- 周囲温度 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください。
- AC アダプタの DC プラグ(USB-miniB) を直接電話機の通信コネクタに差し込むことで電池パックの充電が可能です。
- PC と USB ケーブルで接続することで電池パックの充電が可能です。

13 システムコードレス電話機の接続

● システムコードレス電話機は HM700Pro 主装置にのみ収容されます。
● システムコードレス電話機（PS 電話機）をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックをシステムコードレス電話機にはめ込み、システムコードレス充電台で約 7 時間以上充電してください。
※ 電池パック（型名：PS601 電池パック）は付属品です。
● トラフィックによっては同時通話数が少なくなる場合があります。
● DC600 電話機との併用はできません。
● 着信形式ごとに鳴動させる PS 電話機は 8 台まで指定できます。ただし、同時に鳴動する PS 電話機は CS1 台につき 3 台までです。尚、システムとしての最大同時鳴動数は 12 台です。

【一般系着信】
工事設定の P302：着信音鳴動指定 (昼)、P303：着信音鳴動指定 (夜間 A)、P304：着信音鳴動指定 (夜間 B) により、着信鳴動および着信表示を行う PS 電話機を、各テナントの外線ボタン 1 個に対し、8 台まで指定できます。
※ 台数制限は PS 電話機に対してのみ行います。

工事設定の P306：ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼)、P307：ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 A)、P308：ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 B) により、着信鳴動および着信表示を行う PS 電話機を、ダイヤルイン番号ごとに 8 台まで指定できます。
※ 台数制限は PS 電話機に対してのみ行います。

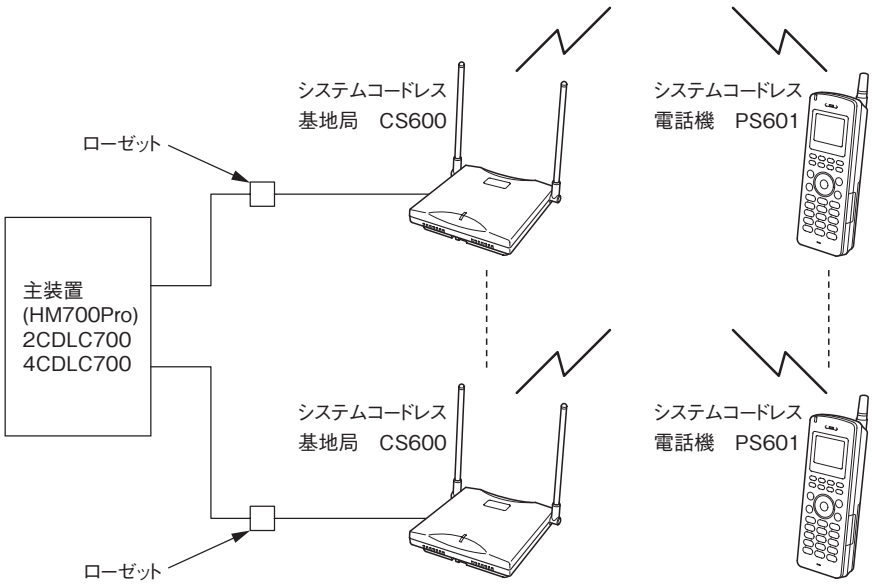
【コールバック着信】
工事設定の P312：コールバック着信音鳴動指定により、着信鳴動および着信表示を行う PS 電話機を、各テナントの外線ボタン 1 個に対し、8 台まで指定できます。
※ 台数制限は PS 電話機に対してのみ行います。

【一斉呼出】
工事設定の P232：PS 一斉呼出指定により、着信を行う PS 電話機を、8 台まで指定できます。
※ 台数制限は PS 電話機に対してのみ行います。

【グループ呼出】
工事設定の P203：電話機グループ呼出指定により、着信を行う PS 電話機を、各内線グループに対して 8 台まで指定できます。
※ 台数制限は PS 電話機に対してのみ行います

【ドアホン着信】
工事設定の P215：ドアホン着信音鳴動指定 (昼)、P216：ドアホン着信音鳴動指定 (夜間 A)、P217：ドアホン着信音鳴動指定 (夜間 B)、により、着信鳴動および着信表示を行う PS 電話機を、ドアホンごとに 8 台まで指定できます。
※ 台数制限は PS 電話機に対してのみ行います。
※ PS 電話機を鳴動なしに指定した場合、着信時に内線オートボタン（内線特番ドアホンモニタが設定されているオートボタン）のみ点滅する。

接続例



お願い

● システムコードレス電話機（PS 電話機）の電池残量が少ない場合、要充電警報音「ピ.... ピ... ピ.... ・・・・」が鳴り使用できません。この場合、システムコードレス充電台に置いて充電するか、システムコードレス電話機の電池を交換して発着信の確認を行ってください。

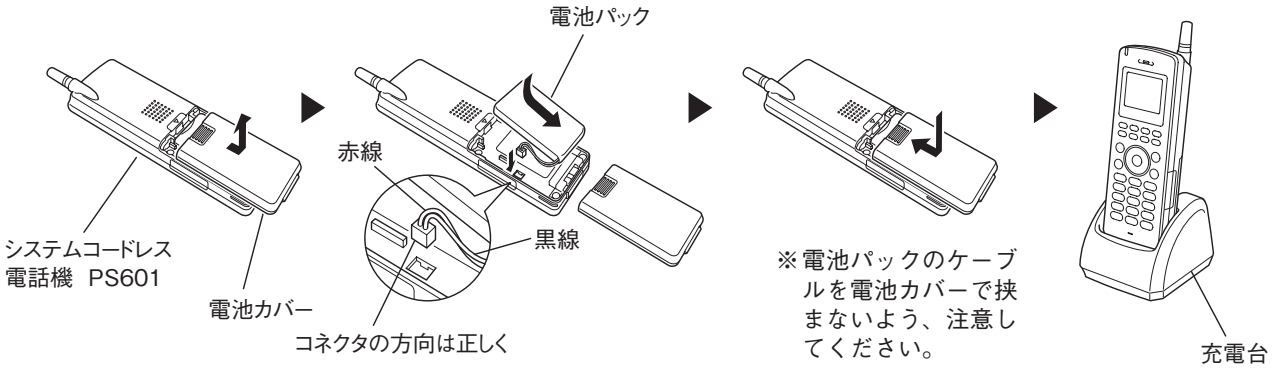
PS601 電池パックの取り付けかた

(1) 電池カバーを押しながらスライドさせて電池カバーを取り外します。

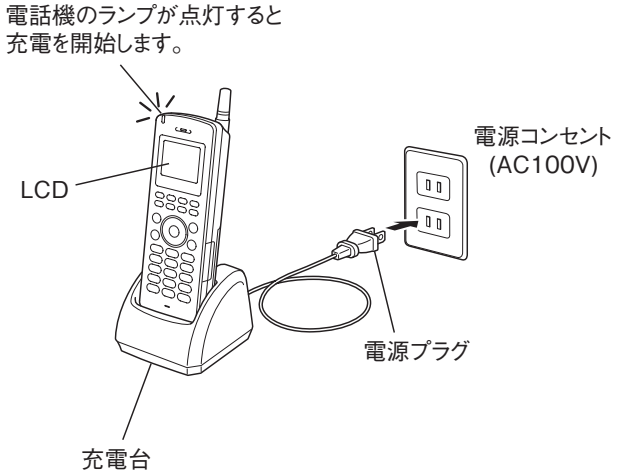
(2) 電池パックのコネクタを差し込み電池パックを取り付けます。

(3)「カチッ」音がするまで電池カバーを押し込みます。

(4) 約 7 時間以上、充電します。



充電のしかた



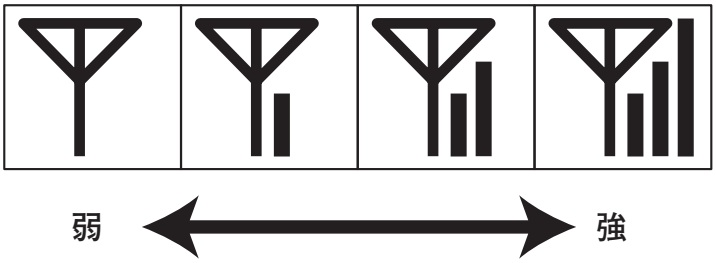
・ PS601 は、ダイヤル面を手前にして、充電台に置くと充電できます。
・ PS601 の充電中は、充電ランプが赤点灯します。
・ 満充電になると充電ランプが緑点灯に変わります。

※ PS601 を充電台に置いたとき、PS601 の充電ランプが赤点滅する場合には、電池パックの不良（劣化など）が考えられます。PS601 電池パック（Li-ion 電池）を交換して確認してください。

※ 電池残量が極めて少ない場合は、充電台に置いても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ約 5 分ほどで充電ランプが点灯します。

電波強度

システムコードレス電話機は、システムコードレス基地局からの電波状態を４段階で表示します。
※ 電話をかける前に電波の強さを確認してください。



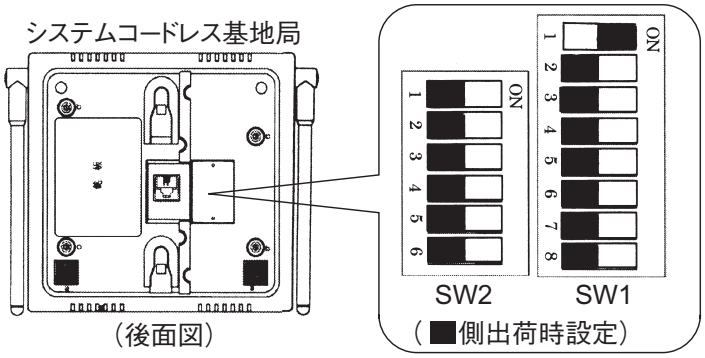
(強)‥‥‥‥ 受信状態が良好です。
(弱)‥‥‥‥ 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。
(電波状態の良い場所へ移動してください)
(圏外)‥‥‥ 電話をかけることも受けることもできません。
※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」がなり、アンテナピクトが全て消灯します。
圏外にでると、通話が切れます。

システムコードレス電話機の設置について

1. 基地局番号の設定

システムコードレス基地局（CS600）ごとに異なった論理番号を SW1-1 ～ 3 で設定します。
このシステムではシステムコードレス基地局（CS600）を 4 台まで設置できるので次の設定をします。

【ディップ SW の位置】



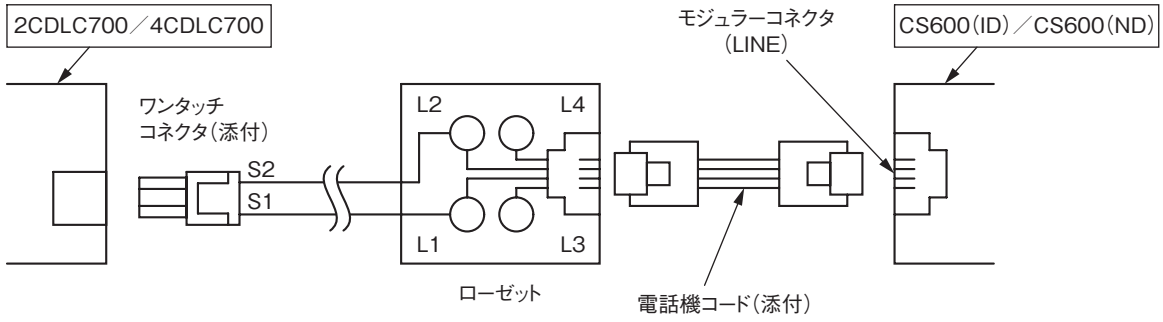
注：SW1、SW2は黒いカバーの下にあります。

【設定方法】

CS 論理番号	SW1		
	1	2	3
1 （初期値）	ON	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON

お願い	1. システムコードレス基地局（CS600）を複数台設置する場合は、論理番号が重複しないようにしてください。 2. ディップスイッチは SW1-1 ～ 3 以外は出荷時の状態で使用してください。 3. システムコードレス基地局（CS600）に添付の白い紙（番号紙）は、必要に応じて論理番号等を記入し、システムコードレス基地局（CS600）後面銘板近くに貼り付けてください。

2. 配線工事



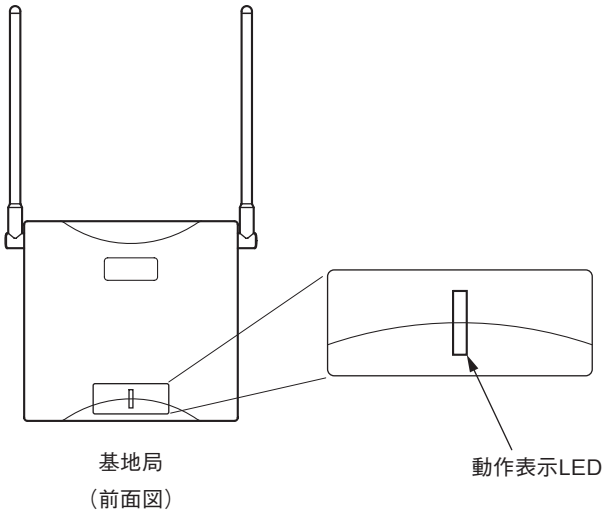
使用ケーブルと最大配線距離

屋内用 ICT ／ ETI ケーブル			記事
ケーブル線径	ケーブルペア数	最大配線距離 (m)	
0.4mm φ	1	80	ケーブルのシールド不要
0.5mm φ	1	150	ケーブルのシールド不要
0.65mm φ	1	300	ケーブルのシールド不要

3. システムコードレス基地局（CS600）ランプ（LED）表示

電源表示と動作表示を行います。

表示	内容
赤点灯	待機中
緑点灯	PS 電話機との通信中



1. システム立ち上げ手順

(1) ボタン電話機システムとの同時立ち上げ手順

基地局インターフェースユニット (2CDLC700 ／ 4CDLC700) を主装置 (CDLC 専用ｽﾛｯﾄ) に実装する。

↓

基地局 (CS600[ID] ／ CS600[ND]) の CS 論理番号を重複しないように設定する。（初期値 1 ）

↓

基地局を基地局インターフェースユニットに接続する。

↓

主装置の Memory スイッチを「CLEAR」側にして電源を ON する。

↓

基地局立ち上がり（LED 赤点灯）

↓

主装置の Memory スイッチを「HOLD」側にする。

↓

プログラム設定をする。
（P504：PS 無線書き込み CS 指定）
（P508：PS 端末種別指定）

↓

PS 電話機の登録設定（子機登録）をする。

(2) ボタン電話機システム運用後の立ち上げ手順

主装置の電源を OFF する。

↓

基地局インターフェースユニット (2CDLC700 ／ 4CDLC700) を主装置 (CDLC 専用ｽﾛｯﾄ) に実装する。

↓

主装置の電源を ON する。

↓

基地局 (CS600[ID] ／ CS600[ND]) の CS 論理番号を重複しないように設定する。（初期値 1 ）

↓

基地局を基地局インターフェースユニットに接続する。

↓

主装置の電源を OFF ／ ON する。

↓

基地局立ち上がり（LED 赤点灯）

↓

プログラム設定をする。
（P504：PS 無線書き込み CS 指定）
（P508：PS 端末種別指定）

↓

PS 電話機の登録設定（子機登録）をする。

(3) 基地局 (CS600[ND]) の増設

基地局 (CS600[ND]) の CS 論理番号を重複しないように設定する。（初期値１）

↓

基地局を基地局ｲﾝﾀﾌｪｰｽﾕﾆｯﾄに接続する。

↓

主装置の電源を OFF ／ ON する。

↓

基地局立ち上がり。（LED 赤点灯）

(4) 基地局 (CS600[ID]) の交換

プログラム設定 P505 システム呼出符号のデータを消去する。

↓

基地局 (CS600[ID]) の CS 論理番号を重複しないように設定する。（初期値１）

↓

基地局を基地局ｲﾝﾀﾌｪｰｽﾕﾆｯﾄに接続する。

↓

主装置の電源を OFF ／ ON する。

↓

基地局立ち上がり。（LED 赤点灯）

↓

全ての PS の子機登録（再書き込み）を行う。

2. データ設定

(1) プログラム設定

No	設定項目	内　　容	データの意味 （下線は初期値を表す）
P203	電話機グループ呼出指定	電話機グループ呼出を行うときのグループを指定する。 ※同一グループに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。 ※自営標準端末は鳴動しない。	0：無所属 1：グループ A 2：グループ B 3：グループ C 4：グループ D 5：グループ E 6：グループ F 7：グループ G 8：グループ H 9：グループ I
P215 P216 P217	ドアホン着信音指定（昼） ドアホン着信音指定（夜間A） ドアホン着信音指定（夜間B）	各モード（昼、夜間 A、夜間 B）のときにドアホンの着信に対し、着信表示および着信音の鳴る電話機を指定する。 ※同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P232	PS 一斉呼出指定	多回線 PS ごとに一斉呼出 (全電話機) 着信時、着信動作させる多回線 PS を指定する。 ※ PS 電話機を 8 台まで指定することができる。 ※自営標準は鳴動しない。	数字：指定する “ー”：指定しない
P302 P303 P304	着信音鳴動指定（昼） 着信音鳴動指定（夜間A） 着信音鳴動指定（夜間B）	各モード（昼、夜間 A、夜間 B）のときに外線からの着信に対し、着信表示および着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 ※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P306 P307 P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼） ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A） ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）	各モード（昼、夜間 A、夜間 B）のときにダイヤルインの着信に対し、着信表示および着信音の鳴る電話機を指定する。 ※同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P312	コールバック着信音鳴動指定	外線転送コールバックならびに REC 手動応答コールバックおよびリモートコールバック機能時に着信する電話機を外線ごとに指定する。 ※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P504	PS 無線書き込み CS 指定	PS 電話機を子機登録する際、利用する CS を論理番号で指定する。（CS 番号は CS の Dip-SW による設定）	0：指定なし 1：CS 番号 1 2：CS 番号 2 3：CS 番号 3 4：CS 番号 4 ※主装置電源立ち上げ時「0」にクリアされる。 ※子機登録モードから抜けると、指定は自動的に「0：指定なし」になる。
P505	システム呼出符号	CS から読み出したシステム呼出符号 (SYS-ID）が自動的に登録される。	初期：空白（未登録） ※消去のみ可
P506	PS ー ID	PS 電話機ごとに PS-ID が自動的に登録される。	初期：空白（未登録） ※消去のみ可

No	設定項目	内　　容	データの意味 （下線は初期値を表す）
P507	CS ポート状態表示	CS ごとに CDLC ユニットに接続している CS ポートの状態及び CS のタイプ（ID もしくは ND）と論理番号（1 ～ 4、範囲外）を表示する。	※表示のみ可
P508	PS 端末種別指定	電話機ごとに、PS 電話機の実装番号に多回線 PS（PS600、PS601）を子機登録するのか自営標準を子機登録するのかを指定する。 ※電話機標準ポートおよび SLI への指定は無効。	数字：多回線 PS “ー”：自営標準

(2) PS 電話機（PS600、PS601、自営標準）の子機登録
PS 電話機の登録は無線書き込み指定の基地局（CS600）（プログラム設定 P504：PS 無線書き込み CS 指定による）と PS 電話機間で、無線 SO 登録手順により PS 電話機のデータ登録を行います。

① 登録手順
次の手順は、PS 電話機を実装番号 35 の子機として新規登録する例です。
多機能電話機より、以下の登録操作を行います。

【多機能電話機の操作手順】

手順	[多機能電話機の操作手順]	[多機能電話機操作後の LCD 表示]	備考
1	プログラム設定 P504：PS 無線書込み CS 指定により、子機登録に使用する CS を設定し、プログラム設定を抜ける	カレンダ : 時計表示	PS 電話機の電源は OFF にしておくこと。 登録に使用するＣＳのランプが赤点灯していることを確認すること。
2	機能、#、8 を押す	カレンダ : 時計表示	機能ボタン：赤点滅
3	◉を押す	《PS データ登録》 登録モード切替中	◉を押した後、”登録モード切替中”が表示されている間は操作をしない。
4		《PS データ登録》 登録モード　OK 処理種別：2 （初期書き込み）	登録処理種別を変更する場合は、多機能電話機のダイヤルボタンで選択する。 0：消去 1：読み出し 2：初期書き込み 3：再書き込み ※ PS 運用中の主装置データをクリアした場合に、（読み出し）を行うと、PS 電話機を利用することができるようになります。 ※他の主装置で運用していた PS 電話機を別の主装置で利用する場合には（再書き込み）を行うと、PS 電話機を利用することができるようになります。
5	◉を押す	《PS データ登録》 PS 番号：35 暗証番号：1234	PS 番号は実装番号を意味し、デフォルトで未登録の実装番号が割り振られる。 実装番号 35 ～ 50 の範囲内で任意の実装番号を指定することも可能。 MF キーの◎を押すことで暗証番号にカーソルが移動し、ダイヤルを入力することにより子機登録時の暗証番号 4 桁を変更することが可能。
6	◉を押す	《PS データ登録》 PS 番号：35 暗証番号：1234 PS データ登録中	PS データ登録中が表示されている間（PS データ登録中）に、PS 電話機の子機登録操作を行うこと。3 分以内に子機登録操作を行わないと、エラーになります。

【PS 電話機（PS600、PS601）の操作手順】

手順	[PS 電話機の操作手順]	[PS 電話機の LCD 表示] 備考
7	＃＋8＋電源 を同時に押しながら電源を入れます。	自営無線設定 V＊.＊＊XXXXXX ←バージョン表示
8	PS 電話機無線書き込み CS の制御チャンネルに同期がとれます。	
9	自営システム番号(初期値1)を入力し、保留 を押します。 システム番号は、PS 電話機初期設置時には必ず 1 を入力してください。 ※システム番号は順番に利用してください。 ※同一主装置に対して、同一の PS 電話機を異なるシステム番号で子機登録しないでください。	システム No. 暗証番号 ：
10	手順 5 で設定した暗証番号 (1234) を入力し 保留 を開始します。	暗証番号 ：1234
11	PS 電話機は書き込み CS との通信を自動的に開始します。	
12	無線書き込み設定終了。 PS 電話機の電源を OFF ／ ON することにより PS 電話機登録モードが解除されます。	書き込み終了
13	【多機能電話機】 書き込み終了後、多機能電話機の◉を押すことで、手順 4 から再度登録を行うことが可能です。 【PS 電話機】 書き込み終了後、PS 電話機の保留ボタンを押すことで、手順 10 から再度登録を行うことが可能です。	

【電話機（自営標準）の操作手順】

手順	[PS 電話機の操作手順]	[PS 電話機の LCD 表示] 備考
7	＃＋5＋6＋電源 を同時に押しながら電源を入れます。	
8	電話機（自営標準）無線書き込み CS の制御チャンネルに同期がとれます。	PS 番号
9	PS 番号（実装番号）を入力し、＃ を押します。	
10	手順 5 で設定した暗証番号 (1234) を入力し＃ を押します。 オフィス番号 1 を入力し＃ を押します。	暗証番号
11	電話機（自営標準）は書き込み CS との通信を自動的に開始します。	オフィス番号
12	無線書き込み設定終了。電話機（自営標準）の電源を OFF ／ ON することにより PS 電話機登録モードが解除されます。	登録終了

お願い

- P506 PS-ID に登録済みの実装番号に別の PS 電話機を登録する場合は、その実装番号の PS-ID を消去してから PS 登録操作を行ってください。
- PS データ登録中に主装置側が登録に失敗した場合は、手順 1 から開始し、手順 4 で消去操作を行ってから再度（初期書き込み）し直してください。
- 消去操作が完了している PS 電話機に対して、消去操作を行うとエラーになりますので、その場合は初期書き込みを行ってください。
- PS 電話機側が登録に失敗した場合、PS 電話機の保留ボタンを押すと、暗証番号入力画面まで戻ることができます。ただし、「同期確立不成功」の表示がされた場合は、PS の操作を最初からやり直してください。
- エラーコード（PS 電話機登録モードエラー、登録実行エラー）は表 1，2 を参照してください。

表 1：PS 電話機データ登録モード失敗時、以下のエラー番号を表示します。

エラーコード	エラー内容	リアクション
1	基地局 (CS600) 使用中	基地局 (CS600) のランプが赤点灯か確認。
2	非活性又は基地局 (CS600) 不一致	基地局 (CS600) が活性化しているか、また CS 論理番号と電話機 (PS600) 無線書き込み CS が一致しているか確認。
3	活性化 T.O	基地局 (CS600) が活性化しているか確認。
4	CS 状態不一致	3 分待ってから再登録。
5	登録モード解除	3 分待ってから再登録。

※エラーが表示された場合、リアクション内容を確認してから再登録してください。

表 2：PS 電話機登録実行失敗時、以下のエラー番号を表示します。

エラーコード	エラー内容	リアクション
1	PS-ID 不一致	主装置側、PS 電話機側の PS-ID が一致しているか確認。
2	暗証番号不一致	登録時の主装置側、PS 電話機側の暗証番号が一致しているか確認。
3	情報要素不足	PS 電話機登録モード解除してから再登録。
4	チェックサムエラー	PS 電話機登録モード解除してから再登録。
5	認証エラー	主装置側、PS 電話機側の認証鍵が一致しているか確認。
6	SO 登録状態エラー	PS 電話機の登録状態と指定操作が合っているか確認。
7	SO タイムアウトエラー	PS 電話機の電源が入っているか確認。
8	SO データ伝送不完了	PS 電話機の電源が入っているか確認。
9	無線チャンネル切断完了受信	PS 電話機の電源が入っているか確認。
10	TX-off 検出	基地局 (CS600) が活性しているか確認。
11	RC リセット	基地局 (CS600) が活性しているか確認。
12	CS 状態不一致	PS 電話機データ登録モードを一旦解除してから再登録。
13	登録モード解除中	3 分まってから再登録。

※エラーが表示された場合、リアクション内容を確認してから再登録してください。

② 登録モード解除
多機能電話機側：「スピーカ」、または「機能」、「発信」、「オフフック」、「外線」ボタンを押します。
PS 電話機側：電源 OFF ／ ON します。

電話機の保守について

1. システムコードレス基地局（CS600）の増設・減設・交換の手順

(1) 増設手順
① 基地局インタフェースユニット（2CDLC700 ／ 4CDLC700）と同時に設置する場合には、主装置の電源を OFF にします。
② ユニットを主装置の CDLC 専用スロットに挿入し、主装置の電源を ON にします。
③ 増設基地局（CS600[ND]）の CS 論理番号を既設 CS の論理番号と重複しないように設定します。
④ 増設基地局（CS600[ND]）を 2CDLC700 ／ 4CDLC700 に接続します。
⑤ 主装置の電源を OFF ／ ON します。

ユニット実装済の場合は、③、④、⑤の手順となります。

(2) 減設手順
増設基地局（CS600[ND]）の減設は、2CDLC700 ／ 4CDLC700 ユニットからケーブルを取り外します。

(3) 交換手順
① システム基地局（CS600[ID]）の交換立ち上げ
a) 交換する基地局をはずします。
b) プログラム設定（P505）でシステム呼出符号を消去します。
c) 新しい基地局を接続します。
d) 取り外した基地局と同じ CS 論理番号を設定します。
e) 主装置の電源を OFF ／ ON します。
・交換した基地局は自動的に立ち上がります。
② 増設基地局（CS600[ND]）の交換立ち上げ
a) 交換する基地局をはずします。
b) 新しい基地局を接続します。
c) 取り外した基地局と同じ CS 論理番号を設定します。
d) 主装置の電源を OFF ／ ON します。
・交換した基地局は自動的に立ち上がります。

2. システムコードレス電話機（PS 電話機）の増設・減設・交換の手順

(1) 増設手順
子機登録します。

(2) 減設手順
① PS 電話機側の消去
PS データ登録で処理種別 0：消去を選択し、減設する PS 電話機の実装を指定し設定データを消去します。

(3) 交換手順
(2)PS 減設手順を実行後、(1)PS 増設手順を実行し交換します。

14 セーフティ機能

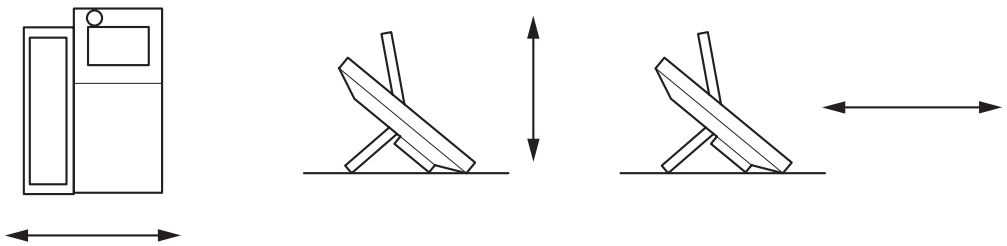
(1) TD615、TD625 電話機設置について

本装置は盗難防止器・災害防止器ではありません。万一発生した盗難事故・人身事故・災害事故および機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変（誘導雷サージ含む）などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 人感センサ検知の注意事項

≪人体以外の熱源などを検知する場合≫
- 犬、猫や小動物が検知範囲に入った場合
- 太陽光、自動車のヘッドライト、白熱灯などの赤外線が人感センサに直射する場合
- 冷暖房機器の温風、冷風や加湿器の水蒸気などにより、検知範囲の温度が急激に変化した場合
- 検知範囲にある FAX・コピー機が動作した場合
- 強い振動がある場所
- 強い電磁波がある場所

≪熱源を検知しにくい場合≫
- 人感センサ正面に対して左右の横切りを検知するような仕組みのため、上下の横切りや正面からの前後移動については検知できないことがあります

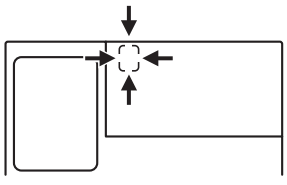


○ 左右移動　　× 上下移動　　× 前後移動

- 周囲環境温度と人体表面温度の差が小さい場合（4℃未満）
- ガラスやアクリルなど赤外線を透過しにくい物体が人感センサと目標の間にある場合
- 検知範囲内の熱源がほとんど動かない場合
- 検知範囲内の熱源が高速で移動する場合

≪検知エリアが大きくなる場合≫
- 周囲環境温度と人体表面温度の差が大きい場合（約 20℃）、指定した検知範囲以外でも検知するエリアが存在することがあります

≪防塵カバーを使用する場合≫
- 防塵カバーを使用する場合は、ご使用前に防塵カバーのセンサ部を切り取りご使用ください。
（切り取らない場合、センサの仕組み上検知することができません。）



切り取り箇所（4ヵ所）

■ 人感センサについて

≪センサ種類≫
人感センサは、自然界のものから放射されている赤外線をとらえ、その温度変化を検出する焦電型赤外線センサです。

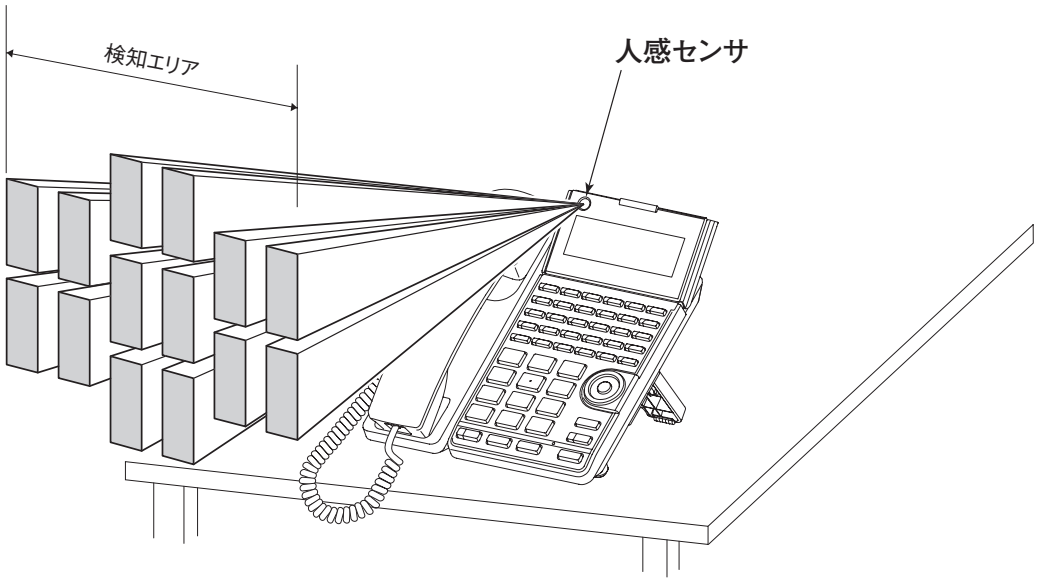
≪センサ検知能力≫

項目	能力値
有効検知距離	強：4m 以下 弱：2m 以下
検知範囲	縦：最大 60° 横：最大 53°
検知方式	焦電型
検知エリア数	14 本
検知動作速度	1m/s
検知温度差	4℃以上

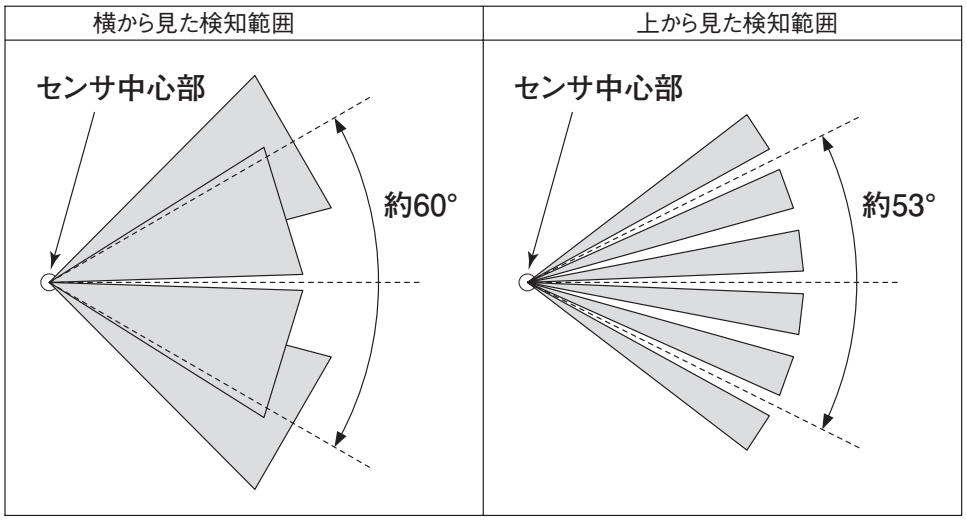
■ 人感センサの検知範囲

センサ検知範囲は、レンズ表面を起点として、パネル面に対して垂直に放射状に広がります。そのため、表示面が侵入者検知をしたいエリアの方向を向くように設置する必要があります。表示面が天井や床を向いていたりすると侵入者を検知することができません。卓上で使用する場合は高角度スタンドと表示面を立て、壁掛けの場合は表示面に水平方向を向かせることをお奨めします。また、検知範囲内でも検知できない場合がありますので注意してください。

イメージ図



検知範囲（断面図）

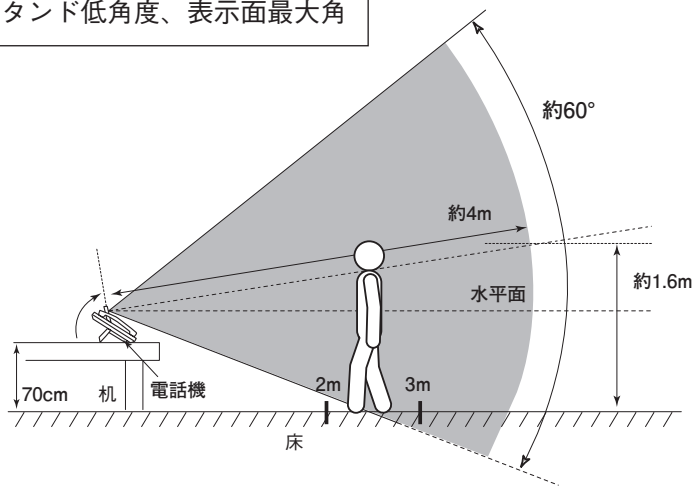


① 卓上で使用する場合

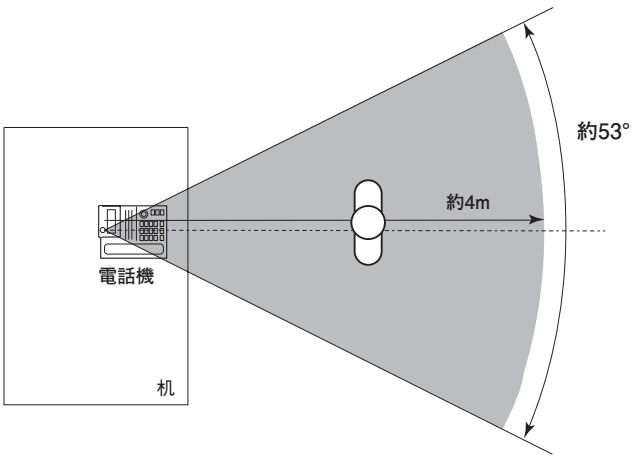
表示面が水平方向を向いた場合の検知エリアが最も広くなるため、スタンドは低角度に設置し、表示面はひっかかるところ以上起こすようにしてください。

横から見た図

推奨角度
スタンド低角度、表示面最大角

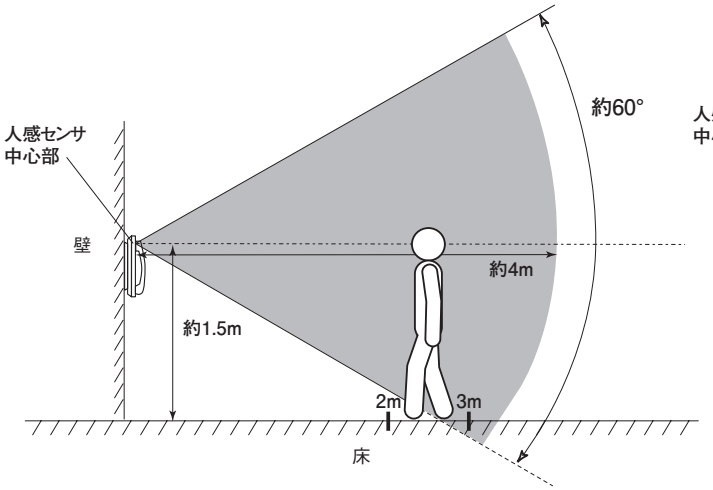


上から見た図

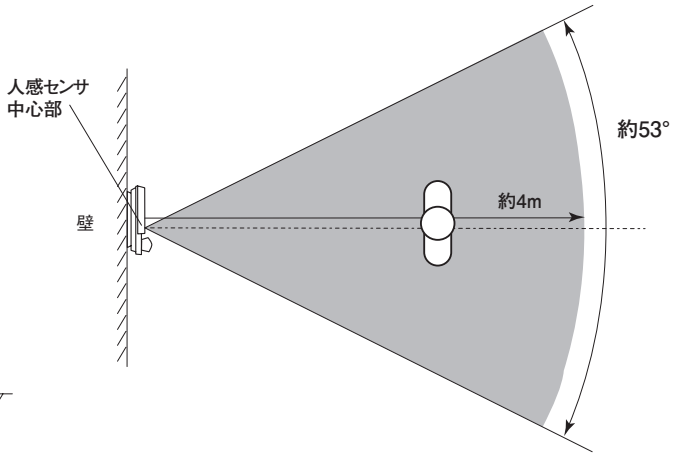


② 壁掛けで使用する場合

横から見た図



上から見た図



■TD615、TD625 電話機でのセンサテスト方法

※ センサ検出テストは、TD615、TD625 電話機がセーフティグループに登録されていないと確認できませんので、ご注意願います。

≪人感センサ検出テスト≫

本システムは、センサで異常を検知し電話機から音と光による威嚇と通報を行います。
必ず電話機設置後に全ての TD615、TD625 電話機でセンサ検出テストを実施願います。

保守メニュー:《機能＃＊＊》→《9: その他》→《5: センサ関係》→《1: センサ検出テスト》

※ 人感センサ感度は、保守メニューにて変更することができます。詳細は「27 保守メニュー」を参照ください。

≪センサ検出テストのやり方≫

TD615、TD625 電話機の前を横方向に歩いて、どの程度の範囲で検出するのか確認して下さい。(歩く速度の目安は、秒速 1 m)
人感センサ ON を検出した場合は、着信ランプ赤点灯します。人感センサ OFF 時には、着信ランプは消灯します。

■ センサ感度等の調整方法

① 設置現場でセンサの誤検出が発生した場合の対応として、人感センサの感度および検出回数を調整することができます。
本調整は、TD615、TD625 電話機のいずれか 1 台で行って下さい。

【検出感度の調整】
以下の方法で、センサの感度を 2 段階切替えることができます。

保守メニュー:《機能＃＊＊》→《9: その他》→《5: センサ関係》→《2: センサ感度設定》

※ 詳細は「27 保守メニュー」を参照ください。

【検出回数の調整】
人感センサの検出回数は、プログラム設定にて以下のパラメータを調整することで変更することができます。

P081(センサ ON 連続検出回数指定)・・・・・ (初期値:1 回)
(推奨値:1 回～ 3 回)

② 人感センサが異常を検出し威嚇状態になると、威嚇警報音を約 20 分間(初期値:20 分間　最小 1 分～最大 60 分)鳴動すると同時に通報動作に入ります。通報先が応答し＃ボタンを押した後、通話を終了すると再威嚇状態になります。
通報先が終話した時点で威嚇警報音を鳴動しないように設定する場合は以下の設定をします。

P072-2(通報先終話時の威嚇継続指定)・・・・・(初期値:威嚇を継続する)

詳細は、「24 HM700Std 主装置のプログラム設定」の「24 -3 機能別プログラムの設定 (7) セーフティ機能編(305 ページ参照)」、または、「25 HM700Pro 主装置のプログラム設定」の「25 -3 機能別プログラムの設定 (7) セーフティ機能編(449 ページ参照)」を参照ください。

■人感センサのお手入れ

人感センサのレンズの傷や汚れは光学特性を劣化させ、感度が落ちることがありますので、いつもきれいに保つようにしてください。レンズ上に溜まったホコリや汚れは傷をつけないようにやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。(ベンジン、シンナーなどの有機溶剤やアルコールは使用しないでください)

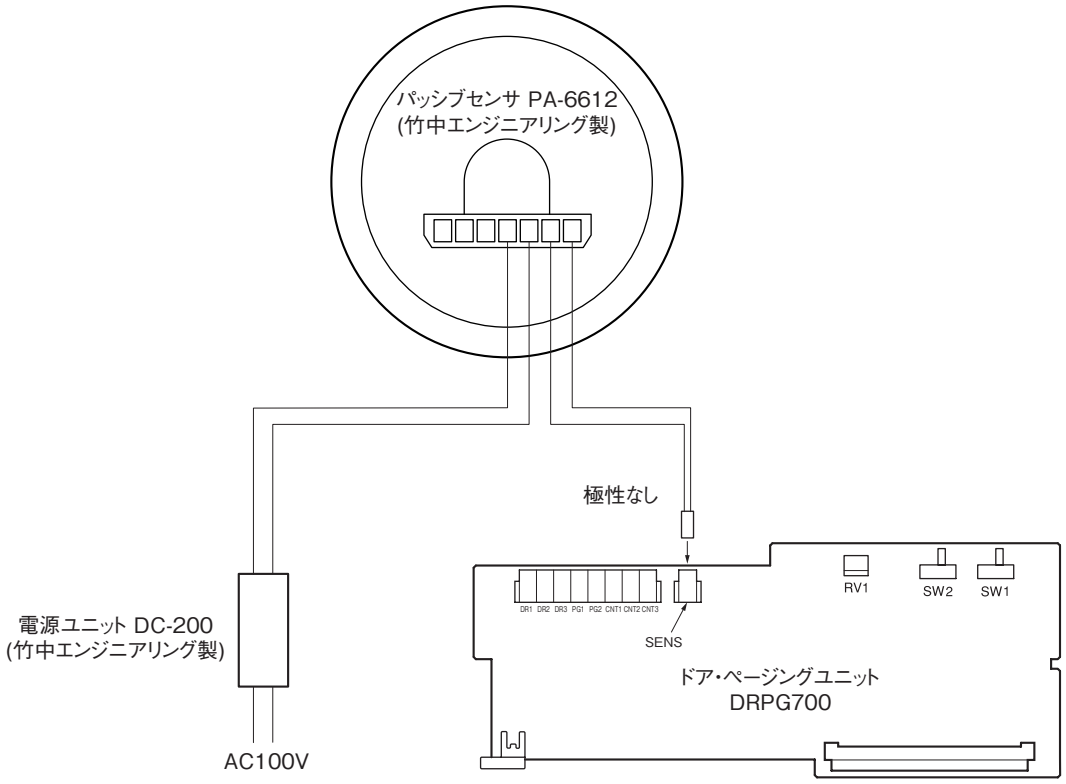
(2) 外部センサの接続

外部センサはドア・ページングユニット【DRPG700】のセンサ（SENS）またはドアホン（DR1 ～ DR3）に接続できます。
外部センサの接続は P076 で変更します。
接続できる外部センサとしては、以下の範囲のものが使用できます。

項　目	規　格
接点 OFF 時の開放電圧	DC12V ± 0.5V
接点 ON 時電流	約 10mA
ON 抵杭	300 Ω以下
OFF 抵抗	100 k Ω以上

■ パッシブセンサの接続

【接続方法】
パッシブセンサ（PA-6612：竹中ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ製）を利用して、セーフティ機能を実現します。

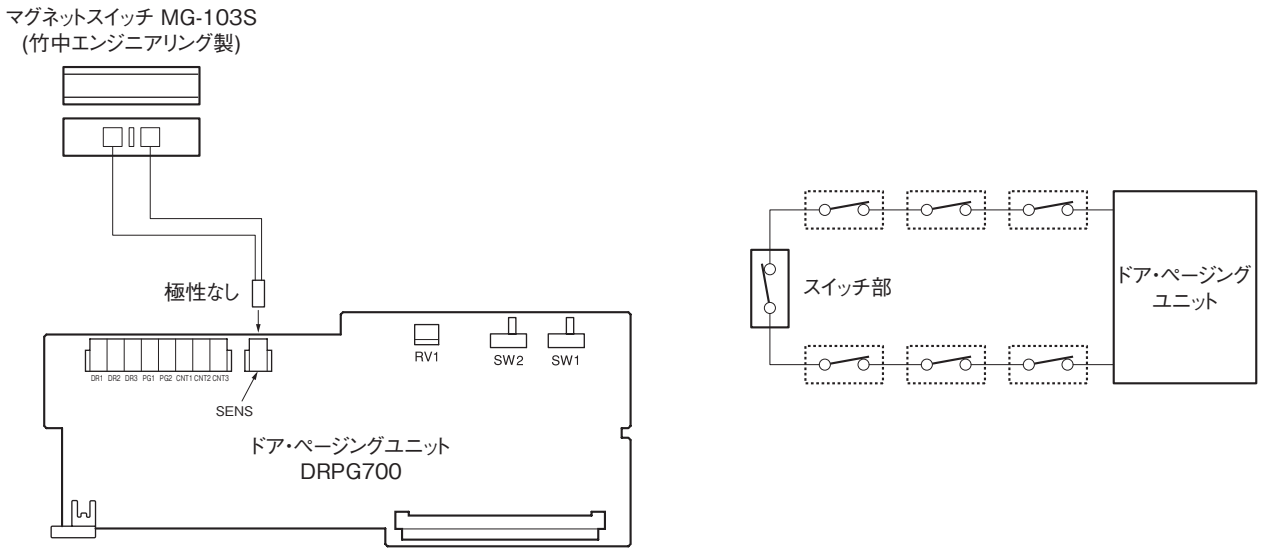


※ 詳しくはパッシブセンサの取扱説明書をお読みください。

【設　定】
センサ（SENS）にパッシブセンサ（PA-6612）を接続するときは、プログラム設定 P076 を「外部センサ（ワンショット:メーク）」に変更します。

■ マグネットスイッチの接続

【接続方法】
マグネットスイッチ MG-103S（竹中エンジニアリング製）を利用して、セーフティ機能を実現します。



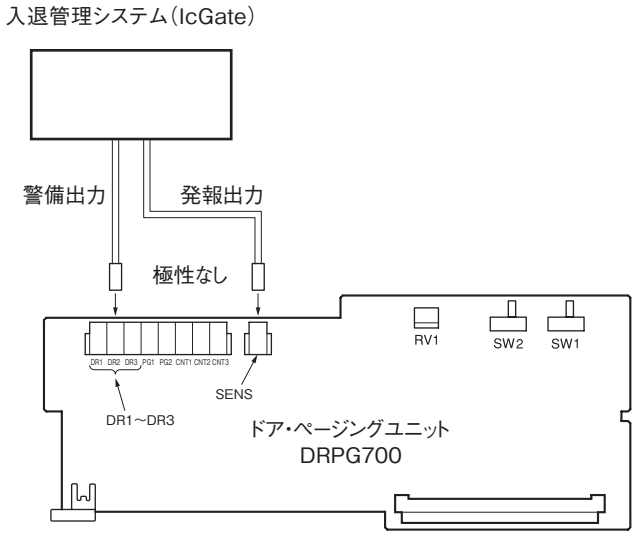
マグネットスイッチの使用個数は、配線抵抗及び接点の接触抵抗の合計が 100 Ω以下になるようにしてください。

※ 詳しくはマグネットスイッチの取扱説明書をお読みください。

【設　定】
センサ (SENS) にマグネットスイッチを接続するときは、プログラム設定 P076 を「外部センサ（ブレーク）」に変更します。

■ 入退管理システム（IcGate）の接続

【接続方法】
入退管理システム（IcGate）を利用してドア・ページングユニット【DRPG700】のセンサ（SENS）またはドアホン（DR1 ～ DR3）に接続することで警備出力、発報出力機能が使用できます。（警備出力、発報出力は、センサとドアホンのどちらでも利用できます。）

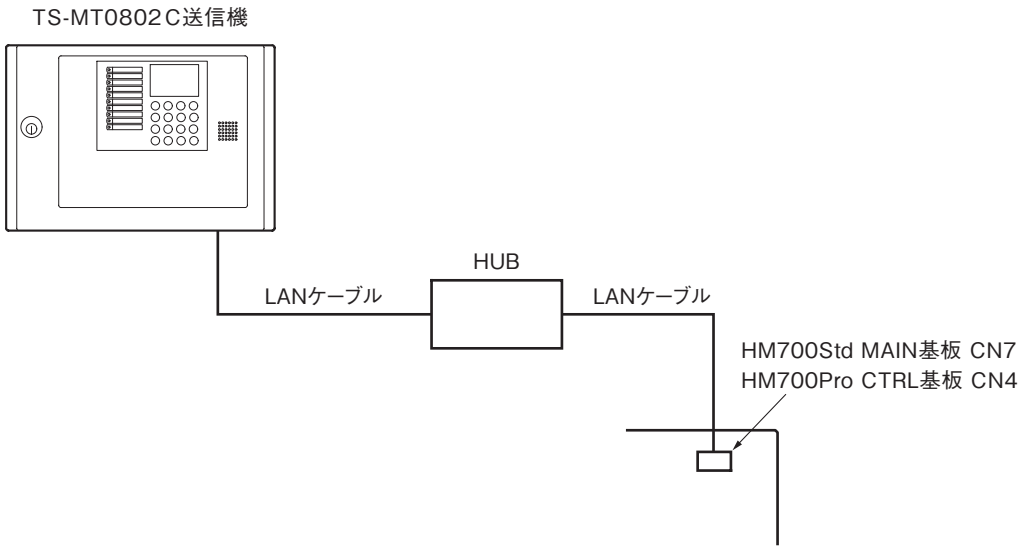


発報出力機能を使用する場合は、IcGate の「こじ開け異常モード」を有効にしてください。
※ 詳しくは入退管理システム（IcGate）の取扱説明書をお読みください。

【設　定】
入退管理システム（IcGate）で警備出力を使用する場合は、プログラム設定 P076 を「警備入力（警備中 ON）」に変更します。
また、入退管理システム（IcGate）で発報出力を使用する場合は、プログラム設定 P076 を「外部センサ（メイク）」に変更します。

■ オフィスセキュリティ送信機（TS-MT0802C 送信機）の接続

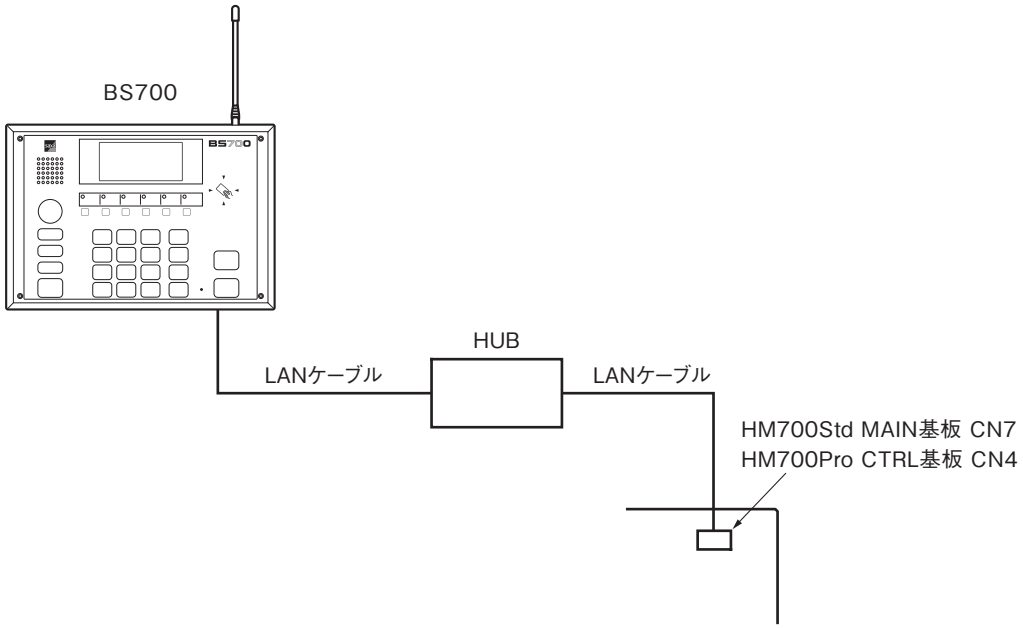
【接続方法】
オフィスセキュリティ送信機は本システムと LAN 接続することにより、セーフティ機能と連携することができます。



【設　定】
TS-MT0802C 送信機を接続するときは、プログラム設定 P516 警備装置エリアセーフティグループ指定が必要です。
また、設備環境によりプログラム設定 P517 警備装置ポートや IP アドレスの変更が必要です。

■ キーテレホン連動型オフィスセーフティ送信機（BS700）の接続

【接続方法】
オフィスセーフティ送信機は本システムと LAN 接続することにより、セーフティ機能と連携することができます。

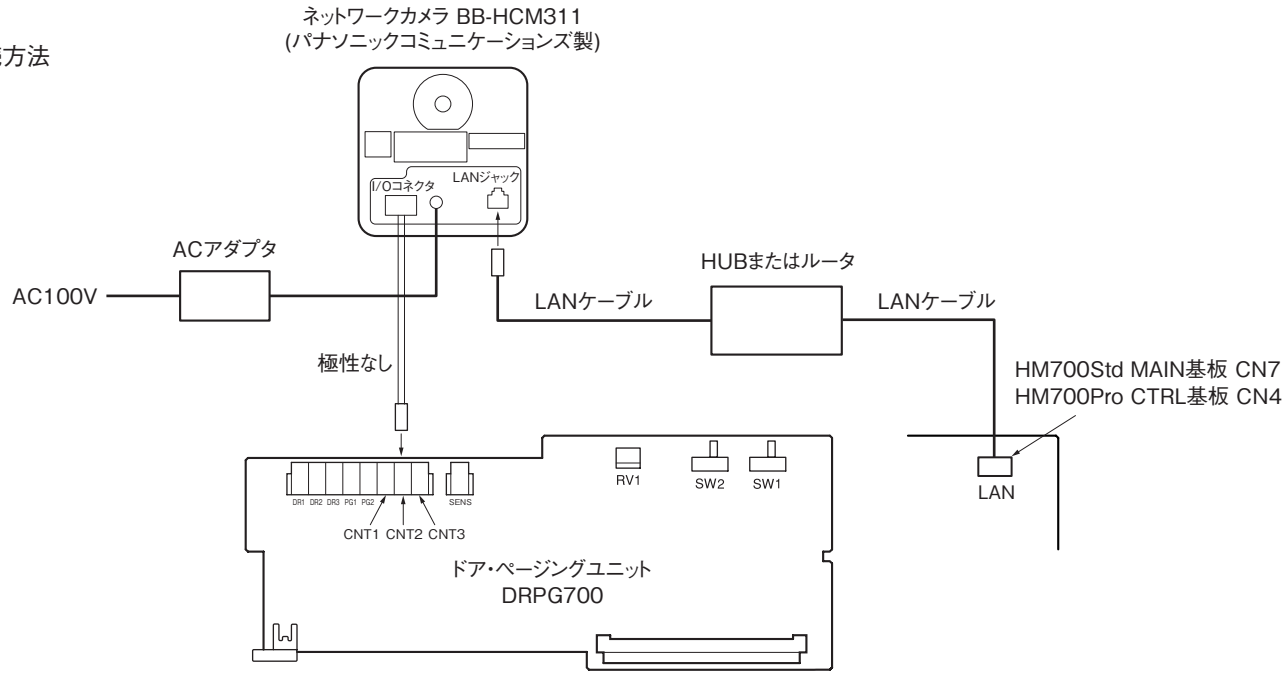


【設　定】
BS700 を接続するときは、プログラム設定 P516 警備装置エリアセーフティグループ指定が必要です。
また、設備環境によりプログラム設定 P517 警備装置ポートや IP アドレスの変更が必要です。

(3) ネットワークカメラの接続

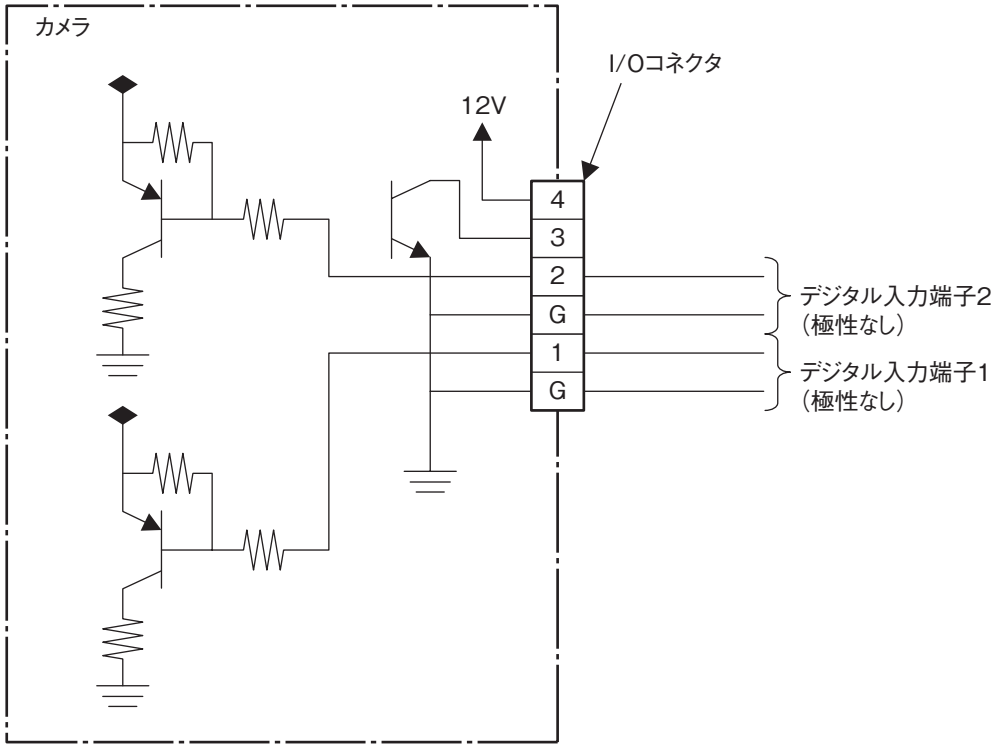
ネットワークカメラ（BB-HCM311：パナソニックコミュニケーションズ製）はシステムと LAN 接続することにより、セーフティモード中に TD615 電話機 /TD625 電話機の人感センサまたは外部センサが異常を検知すると、室内のモニタまたは撮影を開始することができます。

■ 接続方法



■ I/O コネクタについて

ドア・ページングユニットのコントロール端子 (CNT1、CN2 または CNT3) への接続は、I/O コネクタのデジタル入力端子 1 もしくはデジタル入力端子２に接続ください。



※ 詳しくはネットワークカメラの取扱説明書をお読みください。

■ 設定

ネットワークカメラを接続するときは、プログラム設定 P035 リレー制御指定を「Web カメラ（セーフティ A に連動)」、「Web カメラ（セーフティ B に連動)」または「Web カメラ（セーフティ A・B の両方に連動)」に変更します。

(4) セーフティログの採取について

TD615､TD625 電話機の人感センサまたは外部センサが異常を検出した場合､主装置に専用 CF カードを装着していればセーフティログが採取できます。必ず設置時に CF カードを装着願います。
どのセンサが検出したか等のログを残すことができます。

【ログ出力例】

```
2007/11/22 14:34:11    ユーザ設定変更      A    内線 10        通報先 1 変更
2007/11/22 14:34:50    モードセット        A    内線 14
                       【グループ内線】14,15
                       【閉塞内線】15
                       【威嚇内線】14
                       【Web カメラ】リレー 1: オン , リレー 2: オフ , リレー 3: オフ
                       【警備装置】オン
                       【外部入力】外部センサ : オン , ドアホン 1: メーク , ドアホン 2: ブレーク , ドアホン 3: ワンショット
2007/11/22  14:35:03   モード解除          A    内線 14
2007/11/22  14:35:17   センサ検知          A    内線 14
2007/11/22  14:35:18   センサ検知          A    警備装置       エリア :01 チャネル :02
2007/11/22  14:35:19   威嚇開始            A
2007/11/22  14:35:22   威嚇終了            A
2007/11/22  14:35:24   強制切断                 テナント 1     05：0398765432   発信
2007/11/22  14:35:25   通報発信            A    テナント 1     05：09012345678
2007/11/22  14:35:35   通報応答            A    テナント 1     05：09012345678
2007/11/22  14:36:18   通報解放            A    テナント 1     05：09012345678   応答
2007/11/22  14:40:11   ハンズフリー開始    A    内線 14
2007/11/22  14:41:06   ハンズフリー終了    A    内線 14
2007/11/22  14:41:35   警報音停止          A
2007/11/22  14:45:25   リモコン開始             テナント 1     05：09012345678
2007/11/22  14:45:48   リモコン操作             モード A 解除
2007/11/22  14:45:56   リモコン終了             テナント 1     05：09012345678
2007/11/22  14:46:51   ﾘﾓｺﾝﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ開始    A    内線 14
2007/11/22  14:46:54   ﾘﾓｺﾝﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ終了    A    内線 14
2007/11/22  14:49:39   外部リレー制御      A    リレー 1
2007/11/22  14:52:32   バッテリ動作開始         エコ
2007/11/22  14:52:34   電話機オフライン         内線 10
2007/11/22  14:52:37   バッテリ動作終了         エコ
2007/11/22  14:55:20   システム起動
2007/11/22  14:57:13   コネクション確立
2007/11/22  14:57:18   コネクション切断
```

15 いらっしゃいまセンサ機能

TD615、TD625 電話機設置について

■人感センサ検知の注意事項

詳細は14セーフティ機能の■人感センサ検知の注意事項（108 ページ）を参照ください。

■人感センサについて

詳細は14セーフティ機能の■人感センサについて（109 ページ）を参照ください。

■人感センサの検知範囲

詳細は14セーフティ機能の■人感センサの検知範囲（109 ページ）を参照ください。

■TD615、TD625 電話機でのセンサテスト方法

※ センサ検出テストは、いらっしゃいまセンサモードをセットして確認してください。

≪センサ検出テストのやり方≫

TD615、TD625 電話機の前を横方向に歩いて、どの程度の範囲で検出するのか確認して下さい。（歩く速度の目安は、秒速 1 m）

■センサ感度等の調整方法

① 設置現場でセンサの誤検出が発生した場合の対応として、人感センサの感度を調整することができます。

※ 人感センサ感度は、プログラム設定にて以下のパラメータを調整することで変更することができます。

P081（センサ ON 連続検出回数指定）・・・・・（初期値：1 回）
（推奨値：1 回～ 3 回）

※ 人感センサ感度は、保守メニューにて変更することができます。詳細は「27保守メニュー」を参照ください。
保守メニュー：《機能＃＊＊》→《9: その他》→《5: センサ関係》→《2: センサ感度設定》

② 人感センサ検知時のガイダンスを音にかえることができます。
※ガイダンスはプログラム設定にて変更することができます。

P240（いらっしゃいまセンサ鳴動音種別）

詳細は、「24 HM700Std 主装置のプログラム設定」の「24-3 機能別プログラムの設定 (9) いらっしゃいまセンサ機能編（311 ページ参照）」、または、「25 HM700Pro 主装置のプログラム設定」の「25-3 機能別プログラムの設定 (9) いらっしゃいまセンサ機能編（455 ページ参照）」を参照下さい。

■人感センサのお手入れ

人感センサのレンズの傷や汚れは光学特性を劣化させ、感度が落ちることがありますので、いつもきれいに保つようにしてください。レンズ上に溜まったホコリや汚れは傷をつけないようにやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。（ベンジン、シンナーなどの有機溶剤やアルコールは使用しないでください）

16 ブロードバンドルータユニットの設定

- 本ユニットは、カテゴリー５の LAN ケーブルが添付されます。
- 本ユニットを使用することにより、プロバイダに接続してホームページの閲覧などのインターネットが利用できるようになります。(ただし、別途回線契約、プロバイダ契約が必要になります。) 詳細は「ブロードバンドルータユニット利用手引」を参照ください。
- 本ユニットは主装置に 1 枚のみ追加可能です。
- 本ユニットを使用する場合に必要な設定を FUSION GOL を利用する場合を例として本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。本ユニットを使用する場合に必要な機器、接続、設定はプロバイダ毎に異なりますので、プロバイダが提供する取扱説明書および「ブロードバンドルータユニット利用手引」を参照ください。

FUSION GOL を例としたブロードバンドルータユニットの設定例

回線の準備

FUSION GOL を利用してインターネットに接続する場合は、FUSION GOL のアカウント契約と、NTT 東日本、NTT 西日本が提供する B フレッツまたはフレッツ ADSL への加入が必要です。B フレッツまたはフレッツ ADSL の加入、設定の詳細は NTT 東日本、NTT 西日本にお問い合わせください。

↓

設定前に用意するもの

「(1) 設定前に用意するもの」(119 ページ) を参照し、設定前に準備が整っているか確認ください。

↓

ブロードバンド ルータユニットの実装 およびケーブル接続

主装置の電源が切れていることを確認して、ブロードバンドルータユニットを実装し（実装については、5 (7)「ブロードバンドルータユニット【IPR700】」(45 ページ）および「(2) LAN ケーブルの接続」(120 ページ）を参照)、ケーブルを接続してください。

↓

主装置の電源を入れる

主装置の電源を入れて、ブロードバンドルータユニットが正常に立ち上がることを確認ください。(5 (7)「ブロードバンドルータユニット【IPR700】」(45 ページ) を参照してください。)

↓

パソコンの設定

パソコンの電源を入れて、ブロードバンドルータユニットの設定を行う前に、パソコンの設定内容等を確認します。*注意、パソコンの電源は主装置の電源より必ず後に入れてください。*
「(3) ブロードバンドルータユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備」(121 ページ）を参考にパソコンの設定をします。

↓

インターネット接続の設定

「(4) ブロードバンドルータユニットの設定」(121 ページ) に従って、FUSION GOL に接続します。

↓

インターネット接続の確認

Microsoft Internet Explorer Ver6.0 (以降 IE6) を別に立ち上げ IE6 のアドレス欄に http://www.saxa.co.jp を入力し、インターネットに接続できるかどうか確認してください。

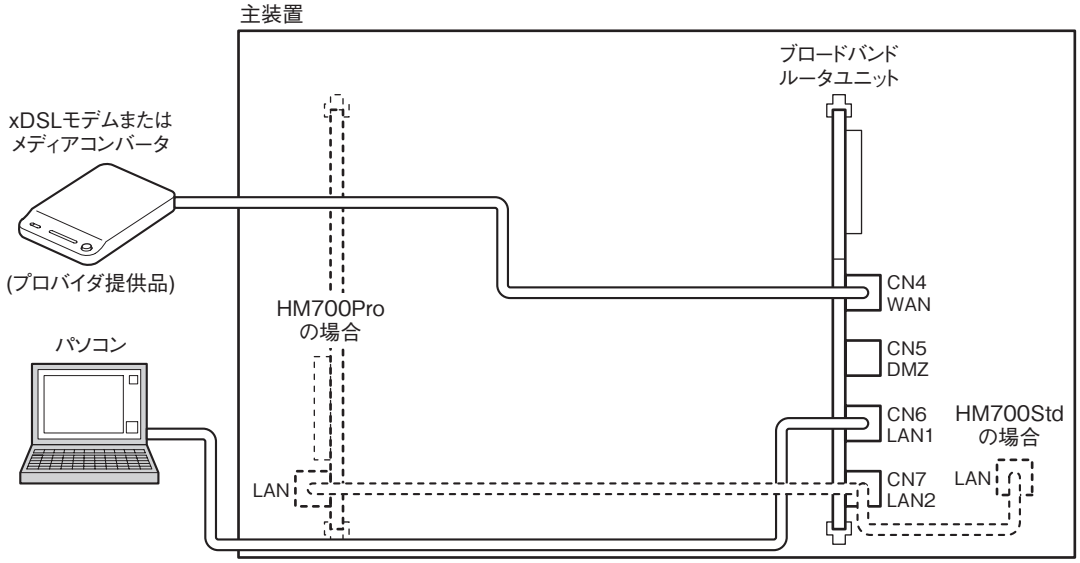
(1) 設定前に用意するもの

FUSION GOL を利用してブロードバンドルータユニットでインターネットをご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

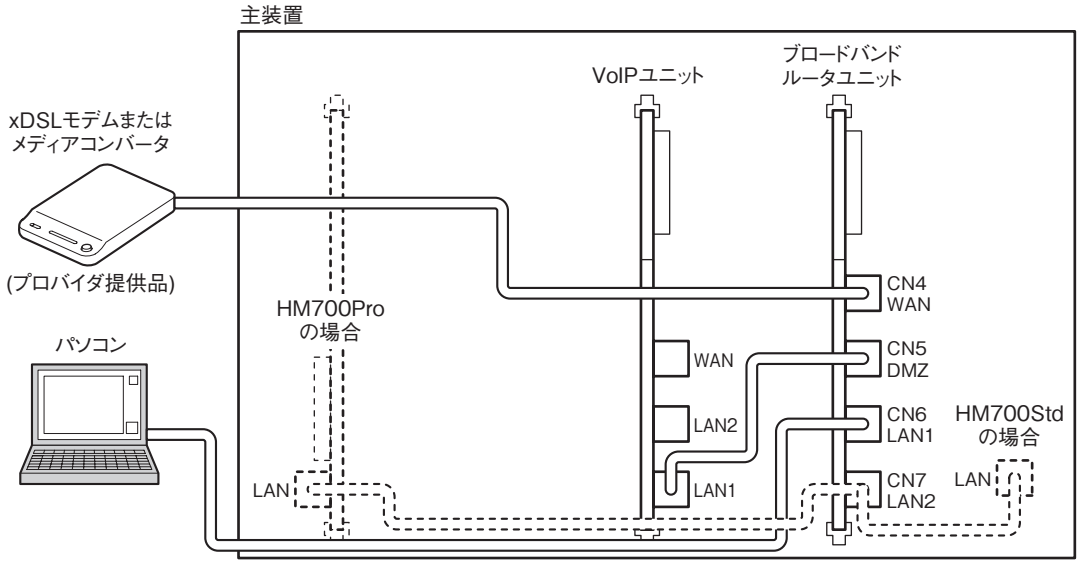
① パソコン： Windows® 98SE /Me /2000 /XP の OS を搭載したもの、およびパソコンとブロードバンドルータユニットを接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル
② 設定ソフト： Microsoft Internet Explorer® (Ver. 6.0)
③ ブロードバンドルータユニットおよび添付のカテゴリー 5 の LAN ケーブル
④ FUSION GOL から通知された「接続用 ID、パスワード」が記載された用紙

(2) LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。



a. ブロードバンドルータユニットのみ実装する場合の接続図



b. ブロードバンドルータユニットと VoIP ユニットを実装する場合の接続図

※ 主装置とブロードバンドルータユニットとの接続には、ブロードバンドルータユニットに添付のカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ ブロードバンドルータユニットと VoIP ユニットの接続には、VoIP ユニットに添付しているカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンとブロードバンドルータユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。(ストレート / クロス可)
※ xDSL モデムまたはメディアコンバータとブロードバンドルータユニットの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブル (ストレート) をご使用ください。(CN4 の LINK ランプが点灯しない場合は、xDSL モデムなどの MDI/MDI-X 切替スイッチを確認してください)
※ xDSL モデムまたはメディアコンバータとブロードバンドルータユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、IP 電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。
※ 外部の装置（パソコン、ハブ、xDSL モデム、メディアコンバータ等）とブロードバンドルータユニットをつなぐ際は、電源ケーブルと離して敷設してください。通信エラーを引き起こす原因となります。

(3) ブロードバンドルータユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備

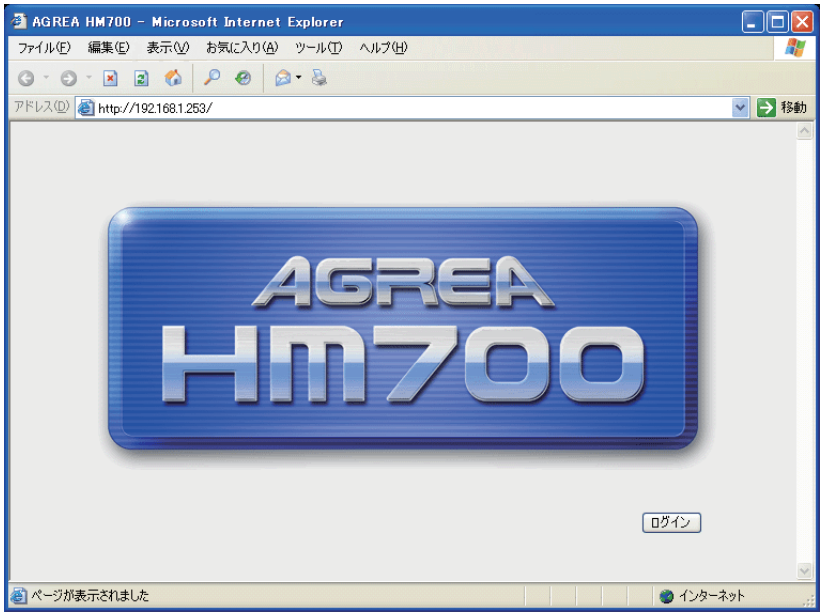
本ユニットを Web 設定する前に、パソコンの設定内容を確認します。

① LAN アダプタが正常に動作する。
② TCP/IP プロトコルがインストールされている。
③ IP アドレスが自動取得に設定されている。
④ ブラウザ（IE6）がインストールされている。
⑤ IE6 の設定で、プロキシを設定してないこと。

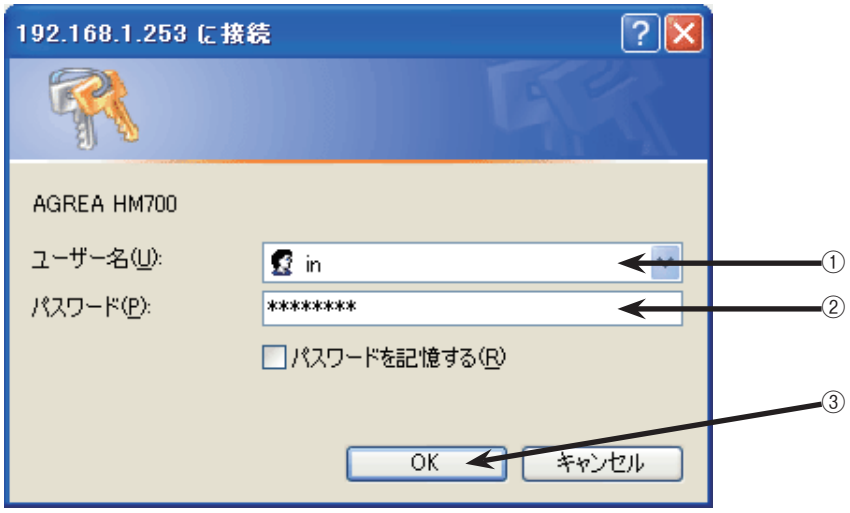
(4) ブロードバンドルータユニットの設定

前項の準備が終了した後、Web ブラウザを起動します。以降の画面はブラウザが IE6.0、主装置が Pro の場合です。

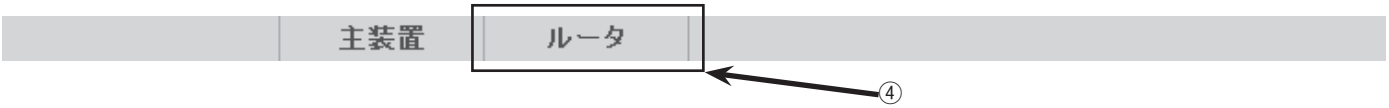
<1> ブラウザアドレスを入力する欄に主装置のデフォルト IP アドレス「http://192.168.1.253」を入力し、Enter キーを押してください。主装置の初期画面が表示されます。



<2> ログイン ボタンをクリックすると、主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。

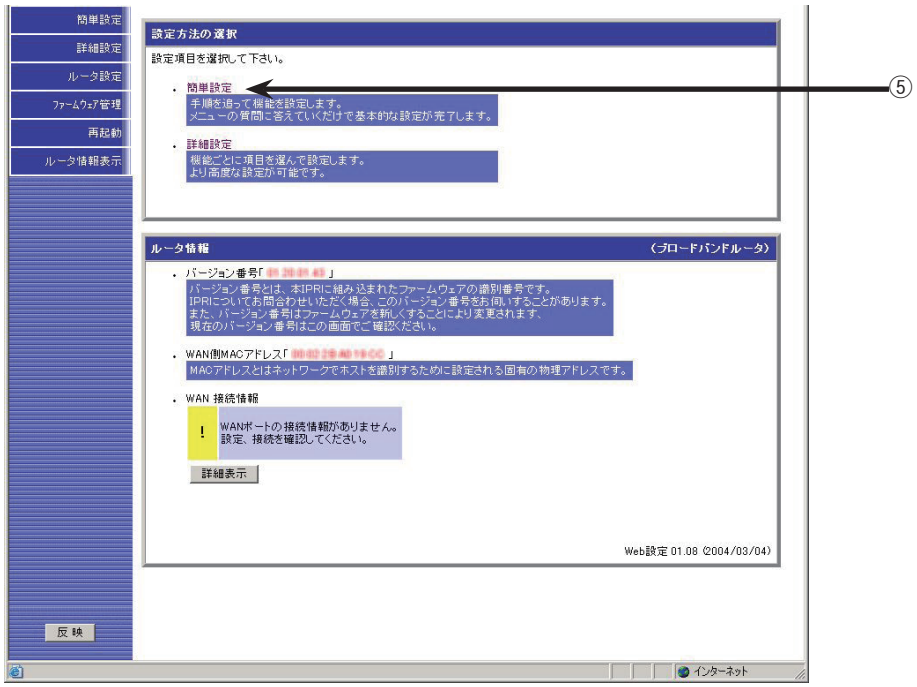


<3> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ OK ボタンをクリックしてください。

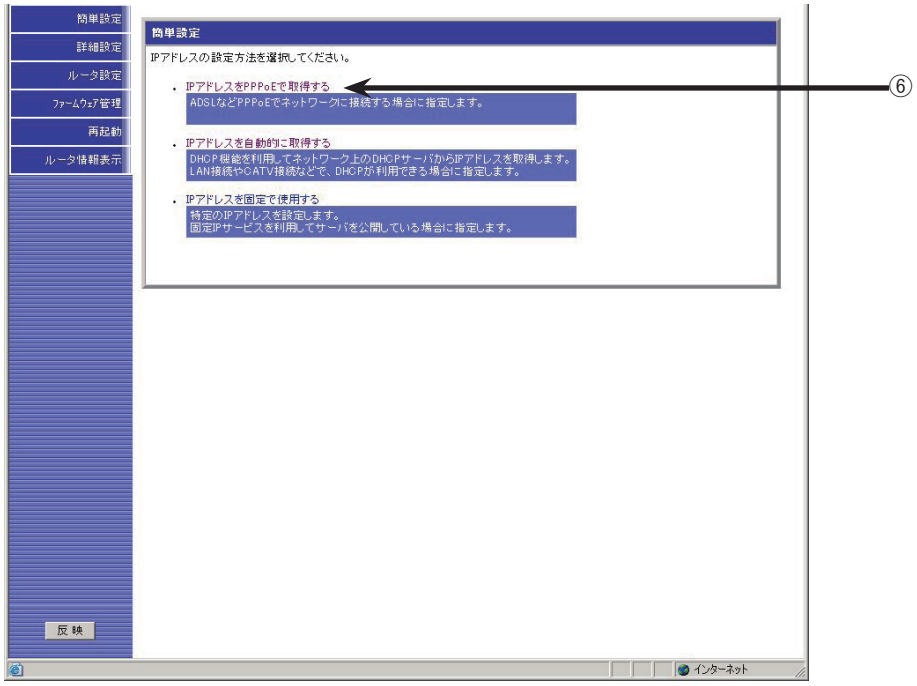


<4> 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている④ ルータ をクリックしてください。

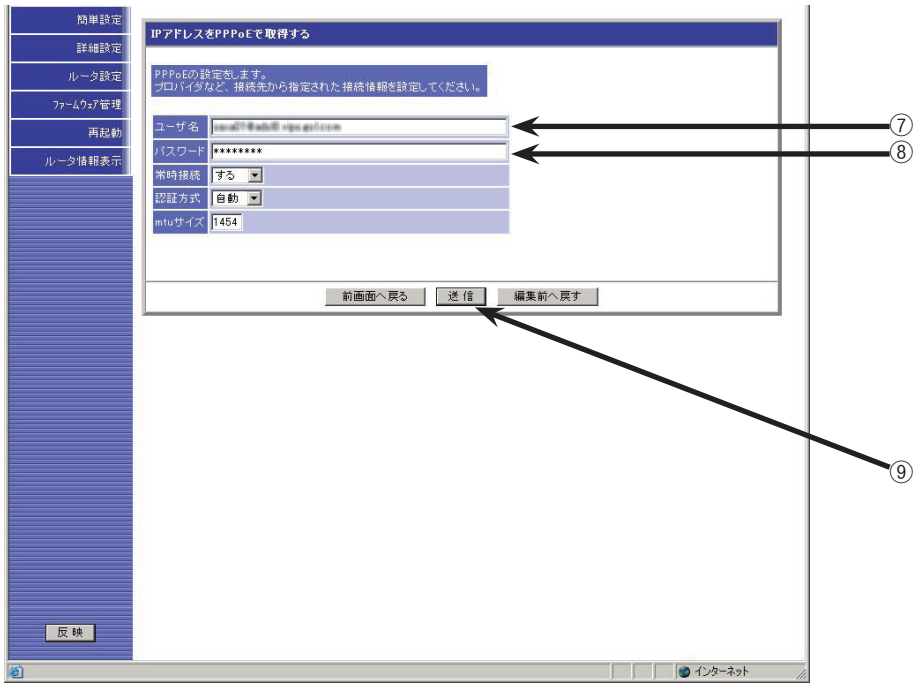
<5> ブロードバンドルータユニットの Web 設定画面が表示されます。さらに⑤ 簡単設定 をクリックしてください。



<6> ブロードバンドルータユニットの簡単設定画面が表示されます。さらに、⑥ IP アドレスを PPPoE で取得する をクリックしてください。

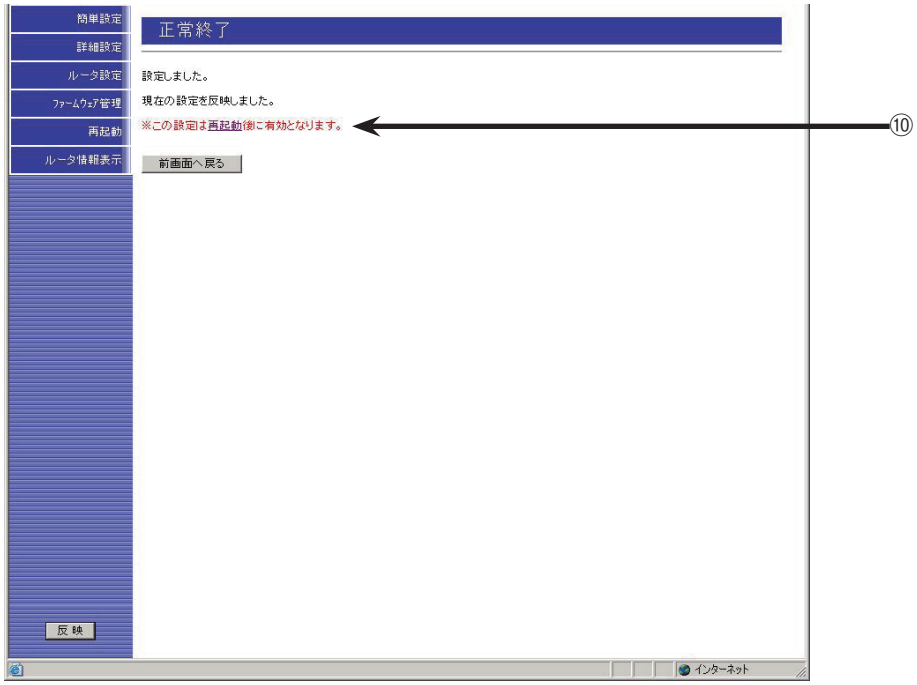


<7> IP アドレスを PPPoE で取得する画面が表示されます。

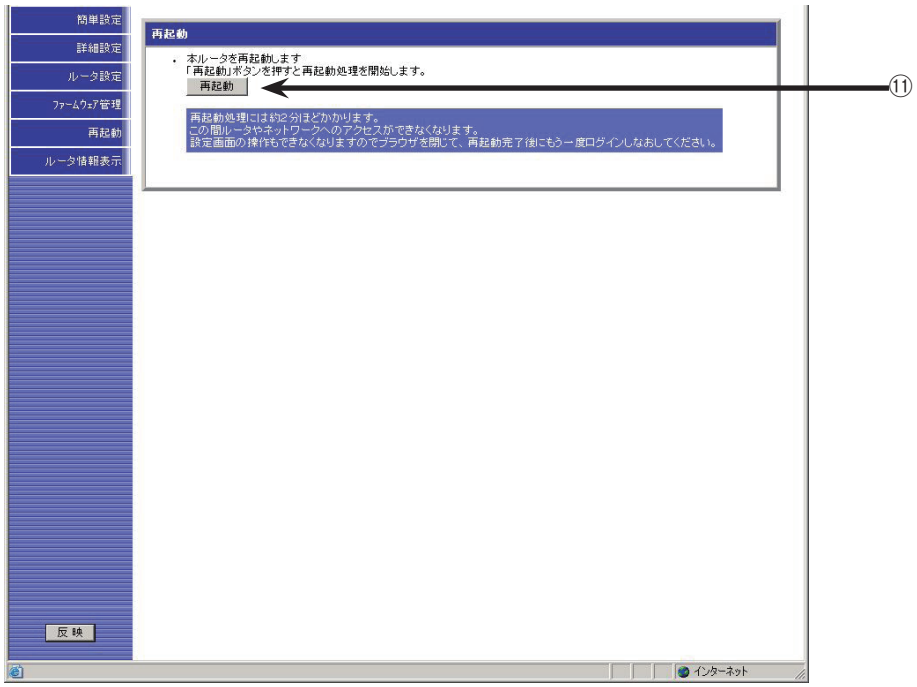


<8> ⑦ユーザ名、⑧パスワードに FUSION GOL から通知された接続用 ID、パスワードを入力し、⑨送信ボタン をクリックします。 (IPNT710 を利用する場合、OCN から通知された認証用 ID、認証パスワードを入力します。)
（例）接続用 ID： XXXXX ･･･ @XXXXX.svips.gol.com

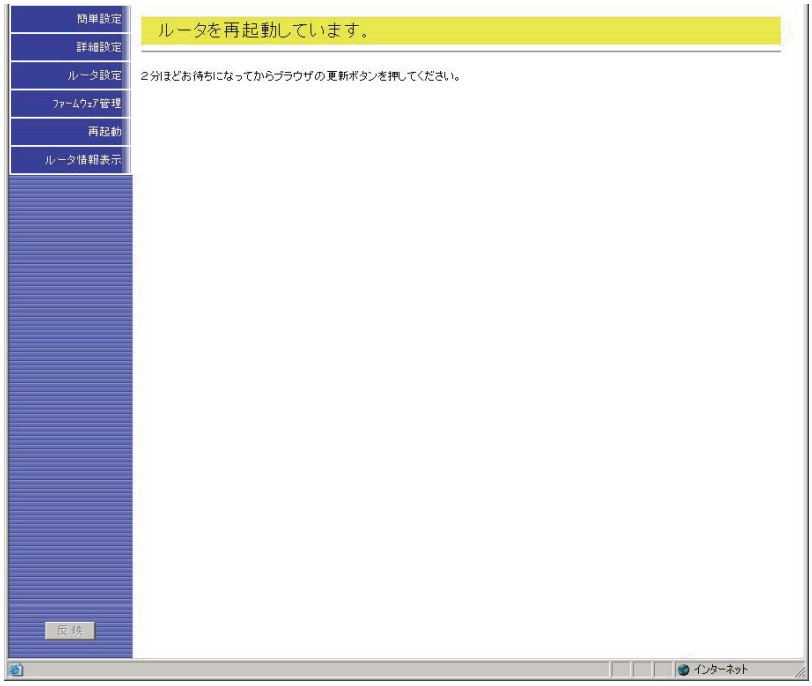
<9> 設定完了画面を確認し、⑩ 再起動 をクリックします。



<10> 再起動確認画面を確認し、⑪再起動ボタンをクリックします。

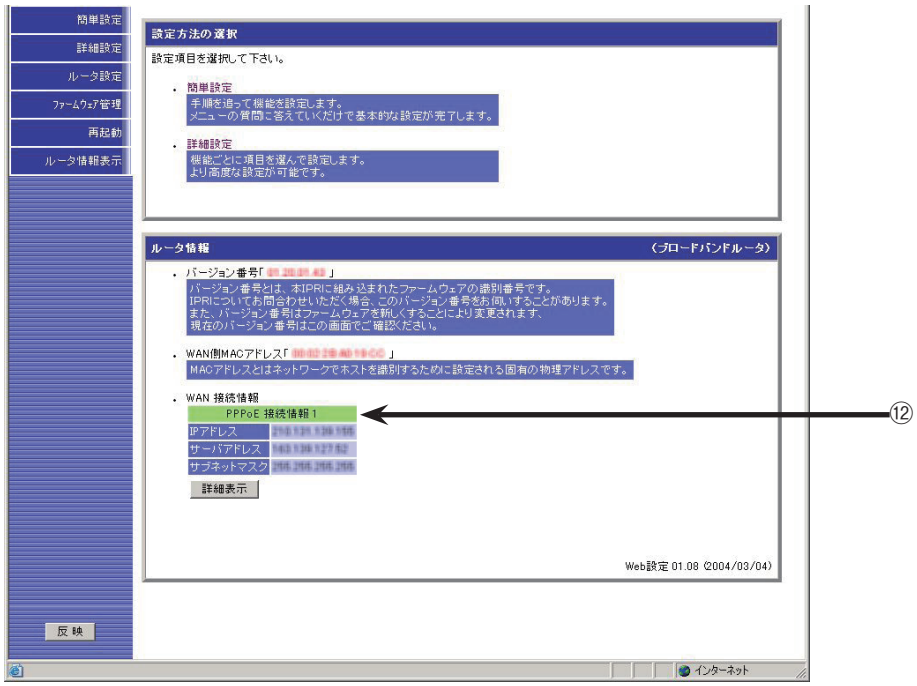


<11> ブロードバンドルータユニットが再起動されます。



<12> IE6 の更新をクリックし、ルータ をクリックします。

⑫ PPPoE 接続情報 が正しく表示されることを確認します。



● 接続できない場合：

接続 ID、パスワードが誤っている場合、「WAN ポートの接続情報がありません。設定、接続を確認してください。」のメッセージが表示されます。

● 確認事項：

以下の確認事項をチェックし、再度やり直してください。

- ブロードバンドルータユニットの LIVE LED は点灯していますか。点灯していない ＝> ユニットを SLOT にきちんと挿入してください。
- ブロードバンドルータユニットの LINK LED は点灯していますか。点灯していない ＝> ケーブルの接続を確認し直してください。
- FUSION GOL から通知された接続用ID、パスワードは合っていますか。合っていない ＝> 再度、入力し直してください。

17 VoIP ユニットの設定

● VoIP ユニットは、VoIP ユニット基板と付属のカテゴリー 5 の LAN ケーブルで構成されます。
● VoIP ユニットを使用する場合に必要な設定を本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。詳細および最新の情報は「IPFU710 利用の手引」、「IPNT710 利用の手引」、および「IPHO710 利用の手引」を参照ください。
● 下記に FUSION IP-Phone を利用する場合の設定例を記述します。

FUSION GOL を例とした VoIP ユニットの設定例

回線の準備

FUSION IP-Phone を利用する場合、FUSION GOL のアカウント契約と、NTT 東日本・NTT 西日本が提供する B フレッツまたはフレッツ ADSL への加入が必要になります。詳細は、NTT 東日本・NTT 西日本にお問い合わせください。

↓

設定前に用意するもの

127 ページの「(1) 設定前に用意するもの」をお読みいただき、設定前に準備が整っているかをご確認ください。

↓

VoIP ユニットの実装 およびケーブル接続

主装置の電源が入っていないことを確認して、VoIP ユニットを実装し（実装については 5 (8)「VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPHO710】」(47 ページ）および「(2) LAN ケーブルの接続」(128 ページ）を参照)、ケーブルを接続してください。

↓

主装置の電源を入れる

主装置の電源を入れて、VoIP ユニットが正常に立ち上がることをご確認ください。(5 (8)「VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPHO710】(47 ページ）を参照してください。)

↓

パソコンの設定

VoIP ユニットの設定を行う前に、パソコンの電源を投入し、パソコンの設定内容を確認します。129 ページの「(3) Web 設定を行うためのパソコンの準備」をお読みいただき、パソコンの設定内容をご確認ください。

↓

インターネットおよび IP 電話の接続

129 ページの「(4) VoIP ユニットの設定」をお読みいただき、FUSION IP-Phone およびインターネットを使用できる状態（ISP アカウントの登録および IP 電話アカウントの登録）にします。

↓

主装置のプログラム設定

151 ページの「(10) 主装置の設定」をお読みいただき、主装置のプログラム設定を行い、任意の外線から IP 電話が発信および着信できる状態にします。

↓

IP 電話の接続確認 インターネット接続の確認

IP 電話（およびインターネット）が利用できることを確認します。インターネットの接続確認は「http://www.saxa.co.jp」にアクセス可能かご確認ください。

(1) 設定前に用意するもの

FUSION IP-Phone を利用して VoIP ユニットで IP 電話をご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

① パソコン：Windows® XP/Vista の OS を搭載したパソコンおよびパソコンと VoIP ユニットを接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル
※ IPNT710 の場合、Windows® XP の OS を搭載したパソコンおよびパソコンと VoIP ユニットを接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル

② Web ブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver. 6.0（以降 IE6.0）以上の Web ブラウザ
※ IPNT710 の場合、Microsoft Internet Explorer® Ver. 6.0（以降 IE6.0）の Web ブラウザ

③ VoIP ユニットおよび付属のカテゴリー 5 の LAN ケーブル

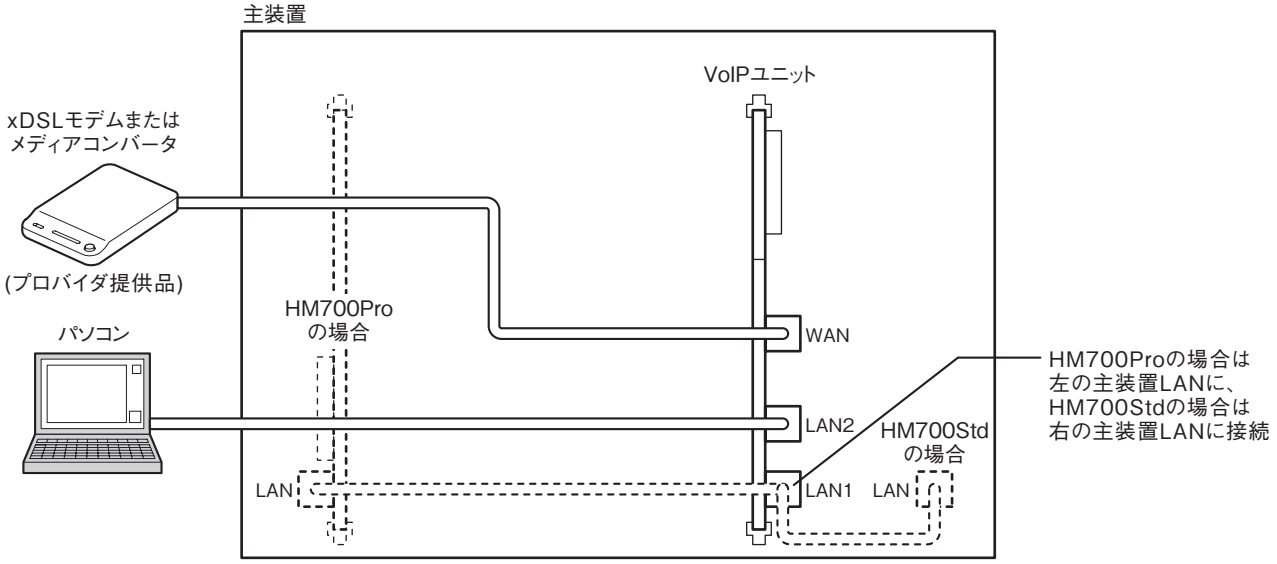
④ FUSION GOL から通知された「接続用 ID・パスワード」が記載された用紙

⑤ フュージョン・コミュニケーションズから通知された「SIP プロシキサーバ・SIP ドメイン」、「IP 加入電話番号・アカウント ID・IP 加入電話パスワード」が記載された用紙

(2) LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。

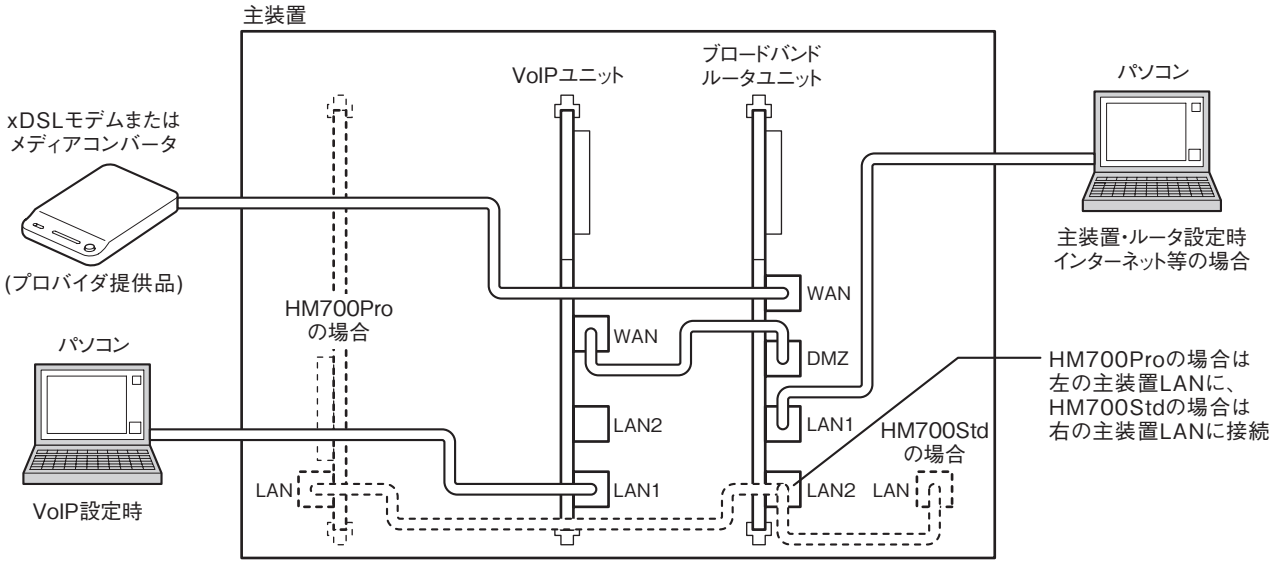
・VoIP ユニット（ルータスイッチ ON）を実装する場合



VoIP ユニットを実装する場合の接続図

※ 主装置と VoIP ユニットとの接続には、VoIP ユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンと VoIP ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ xDSL モデムまたはメディアコンバータと VoIP ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、IP 電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

・ブロードバンドルータユニットと VoIP ユニット (ルータスイッチ OFF）を実装する場合



ブロードバンドルータユニットと VoIP ユニットを実装する場合の接続図

※ 主装置とブロードバンドルータユニットとの接続には、ブロードバンドユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンとブロードバンドルータユニットまたは VoIP ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ ブロードバンドルータユニットと VoIP ユニットは、ブロードバンドルータの DMZ ポートと VoIP ユニットの WAN ポートを接続してください。
※ xDSL モデムまたはメディアコンバータとブロードバンドルータユニットとの間に 10M ハブを接続すると、IP 電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください
※ VoIP ユニットの Web 設定画面にアクセスするには VoIP ユニットの LAN ポートにパソコンを接続してください。
※ ブロードバンドルータユニットと VoIP ユニット（ルータスイッチ OFF）2 枚を実装する場合は、ブロードバンドルータユニットの DMZ ポートから 2 枚の VoIP ユニットの WAN ポートに接続するため、スイッチングハブを使用し接続してください。この場合、2 枚の VoIP ユニットの使用するポート番号が重複しないよう変更してください。（138 ページ <9> を参照）
※ VoIP ユニットの設定を行うには、それぞれ設定を行いたい VoIP ユニットの LAN ポートにパソコンを接続してください。

(3) VoIP ユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備

VoIP ユニット Web の設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

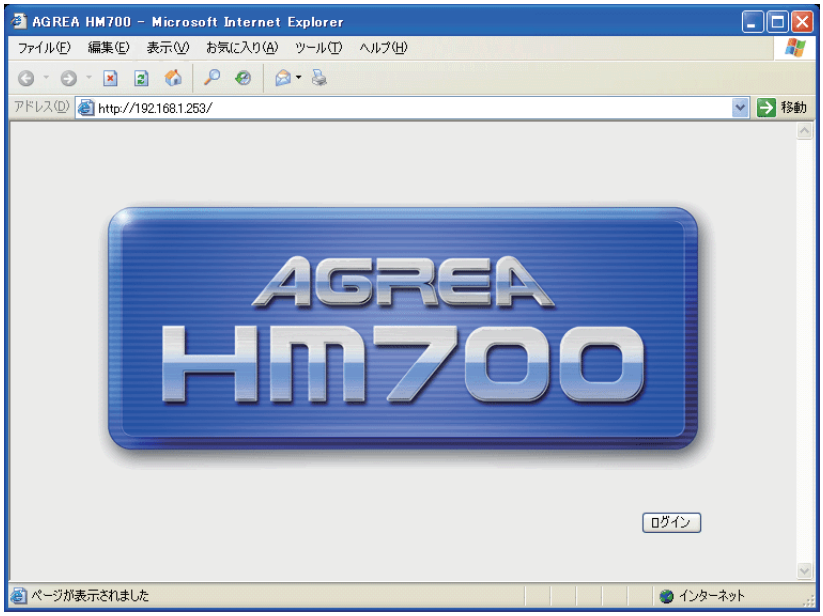
① LAN アダプタが正常に動作すること。
② TCP/IP プロトコルがインストールされていること。
③ IP アドレスを自動的に取得するように設定していること。
④ Web ブラウザがインストールされていること。
⑤ ブラウザ設定で、プロキシを設定していないこと。

(4) VoIP ユニットの設定

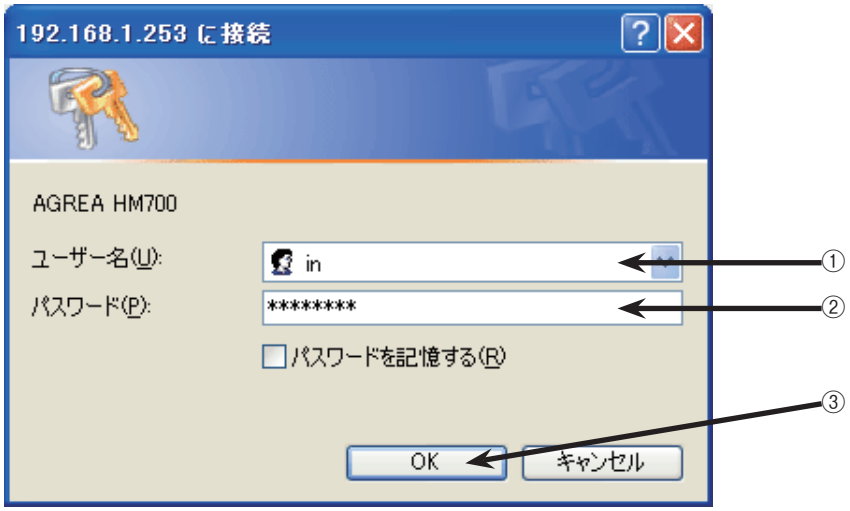
前項の準備が終了した後、Web ブラウザを起動します。以降の画面はブラウザが IE6.0 の場合です。

(4)-1 ルータスイッチ ON 時の設定

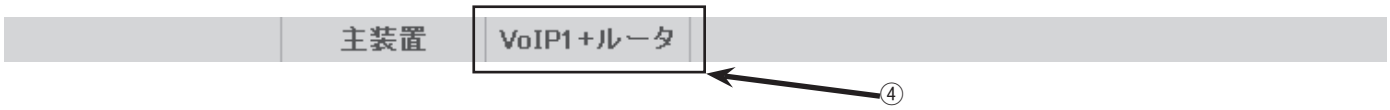
<1> ブラウザのアドレスを入力する欄に主装置のデフォルト IP アドレス「http://192.168.1.253/」を入力し、Enter キーを押してください。主装置の初期画面が表示されます。



<2> ログイン ボタンをクリックすると、主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。

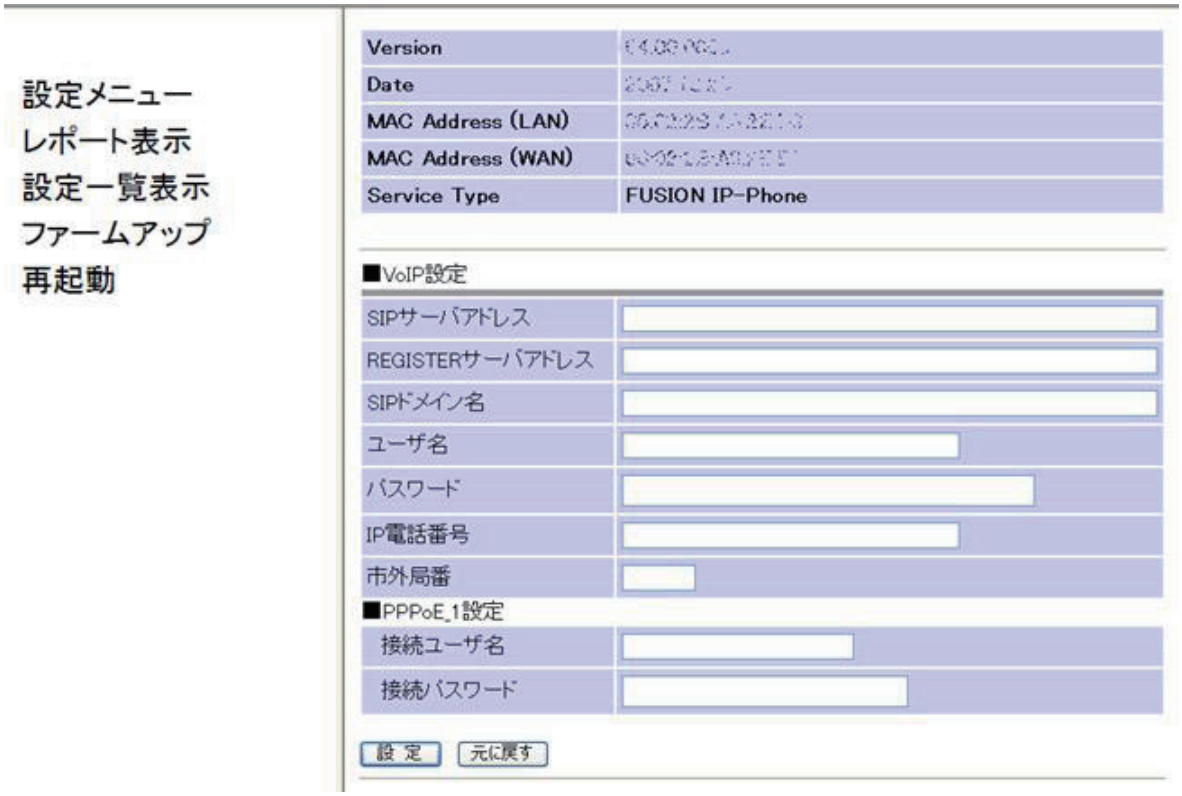


<3> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ OK ボタンをクリックしてください。



<4> 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている④ VoIP1+ ルータ をクリックしてください。

<5> VoIP ユニットの初期設定画面（標準設定）が表示されます。下記の項目を入力してください。



= VoIP 設定 =

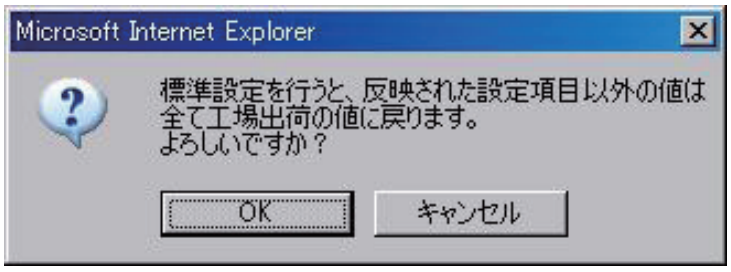
設定項目	説　　明
SIP サーバアドレス	SIP サーバの IP アドレス、またはドメイン名を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP サーバ」（SIP プロキシサーバ）を入力します。（※１）
REGISTER サーバアドレス	REGISTER サーバの IP アドレス、またはドメイン名を入力します。 （基本的に SIP サーバアドレスと同じアドレスを入力します） フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP サーバ」（SIP プロキシサーバ）を入力します。（※１）
SIP ドメイン名	SIP のドメイン名を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「サービスドメイン」（SIP ドメイン）を入力します。（※２）
ユーザ名	ユーザ名を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザ ID」（アカウント ID）を入力します。（※３）
パスワード	パスワードを入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザパスワード」（IP 加入電話パスワード）を入力します。（※４）
IP 電話番号	IP 電話の電話番号を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP 電話番号」（IP 加入電話番号）を入力します。（※５）
市外局番	固定電話の市外局番を入力します。　　例　東京：03、大阪：06 （※６）

= PPPoE_1 設定 =

設定項目	説　　明
接続ユーザ名	PPPoE 接続を行うための接続ユーザ名を入力します。 FUSION GOL から通知された用紙に記載されている「接続用 ID」を入力します。 （※７）
接続パスワード	PPPoE 接続を行うための接続パスワードを入力します。 FUSION GOL から通知された用紙に記載されている「パスワード」を入力します。 （※８）

※１ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP サーバ」（ホスト名）を入力します。
※２ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「サービスドメイン」（メタドメイン）を入力します。
※３ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザ ID」（ユーザ ID）を入力します。
※４ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザパスワード」（パスワード）を入力します。
※５ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP 電話番号」（利用電話番号）を入力します。
※６ IPNT710 の場合は、標準設定に市外局番の登録がないので、必要な場合は VoIP 設定メニューのサービス設定（138 ページ <10> を参照）より市外局番の設定を行ってください。
※７ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「認証 ID」を入力します。
※８ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「認証パスワード」を入力します。

<6> 全ての項目を入力したら 設定 ボタンをクリックします。



※ 標準設定を行うと、反映された設定項目以外は全て初期値（工場出荷値）となります。
※ 追加・変更で設定するときに、設定項目の初期化をさける場合、標準設定は使用せず、ルータ設定または VoIP 設定から各項目の設定を行ってください。

<7> OK ボタンをクリックします。自動的に初期設定画面に戻ります。（設定内容を仮登録した状態となります）

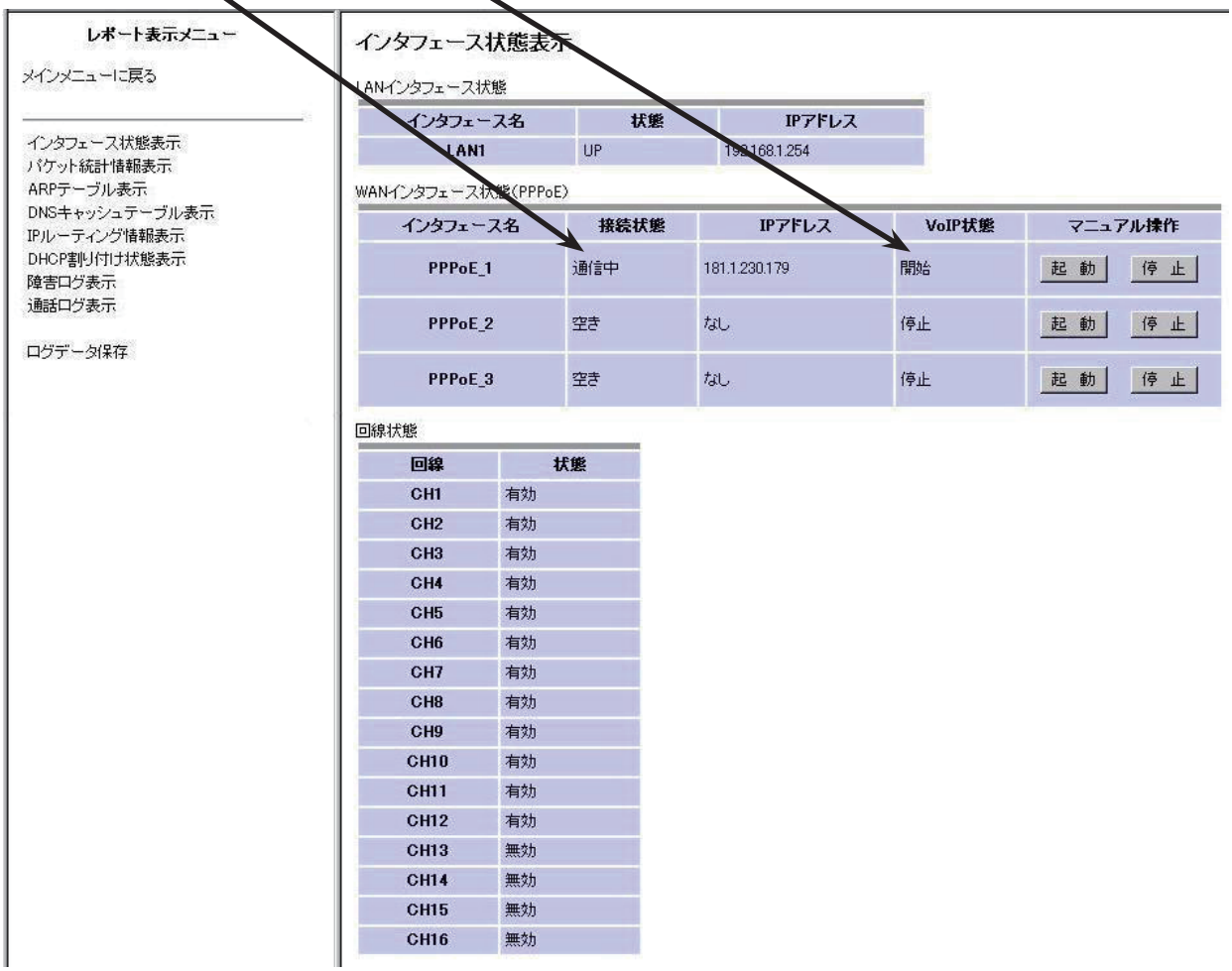
<8> 再起動 ボタンををクリックします。



<9> OK ボタンをクリックします。（VoIP ユニットを再起動することで、設定内容が反映されます）

<10> VoIP ユニットの再起動が終了すると、自動的に初期設定画面（<5>の画面）に戻ります。

メインメニューから [レポート表示] ー [インタフェース状態表示] を選択して、WAN インタフェース（PPPoE_1）の接続状態が「通信中」、VoIP 状態が「開始」となっていることを確認します。



※ 接続ユーザ名または接続パスワードに誤りがある場合、PPPoE_1 の接続状態が「空き」（又は「接続中」）と表示されます。
また、VoIP 設定項目に誤りがある場合は、VoIP 状態が「異常」と表示されます。

※ 回線状態は、以下の通り表示されます。

「有効」 … VoIP が使用可能なチャンネル
「無効」 … VoIP が使用不可能なチャンネル
「通話中」 … VoIP 通話を行っているチャンネル

※ 確認事項

以下の確認項目をチェックし、あてはまる項目があれば再度設定を行ってください。

・VoIP ユニットの LIVE LED は点灯していますか？
⇒点灯していない … ユニットをスロットにきちんと挿入してください。

・VoIP ユニットの LINK LED は点灯していますか？
⇒点灯していない … ケーブルの接続を確認し直してください。

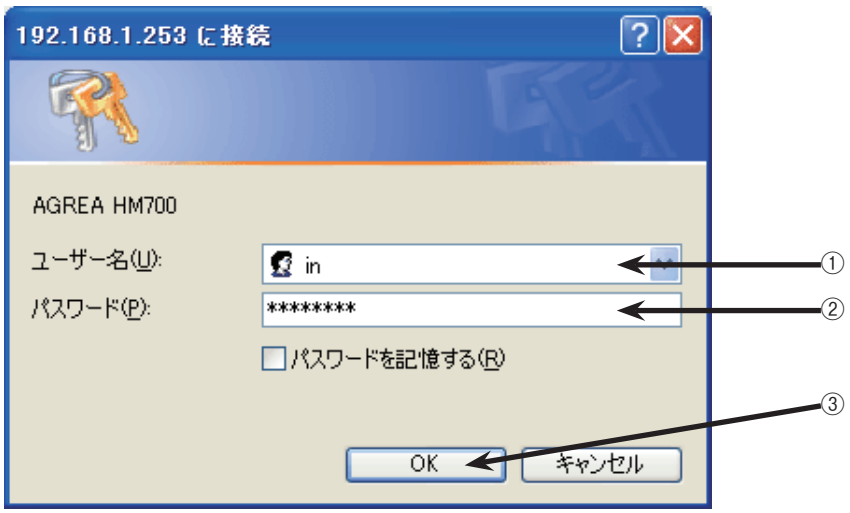
・FUSION GOL から通知された接続ユーザ名・接続パスワードは正しく設定されていますか？
⇒正しく設定されていない … 再度入力し直してください。

・フュージョン・コミュニケーションズから通知された SIP 設定の内容は正しく設定されていますか？
⇒正しく設定されていない … 再度入力し直してください。

(4)-2 ルータスイッチ OFF 時の設定

<1> ブラウザのアドレスを入力する欄に VoIP ユニットのデフォルト IP アドレス「http://192.168.1.254/」を入力し、Enter キーを押してください。VoIP ユニットにログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。

※ 主装置「http://192.168.1.253」経由では、IPFU710（ルータ OFF 時）の設定画面に入れません。



<2> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ OK ボタンをクリックしてください。

<3> VoIP ユニットの初期設定画面（標準設定）が表示されます。下記の項目を入力してください。



= VoIP 設定 =

設定項目	説　　明
SIP サーバアドレス	SIP サーバの IP アドレス、またはドメイン名を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP サーバ」（SIP プロキシサーバ）を入力します。（※１）
REGISTER サーバアドレス	REGISTER サーバの IP アドレス、またはドメイン名を入力します。 （基本的に SIP サーバアドレスと同じアドレスを入力します） フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP サーバ」（SIP プロキシサーバ）を入力します。（※１）
SIP ドメイン名	SIP のドメイン名を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「サービスドメイン」（SIP ドメイン）を入力します。（※２）
ユーザ名	ユーザ名を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザ ID」（アカウント ID）を入力します。（※３）
パスワード	パスワードを入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザパスワード」（IP 加入電話パスワード）を入力します。（※４）
IP 電話番号	IP 電話の電話番号を入力します。 フュージョン・コミュニケーションズから通知された用紙に記載されている「VoIP 電話番号」（IP 加入電話番号）を入力します。（※５）
市外局番	固定電話の市外局番を入力します。　　例　東京：03、大阪：06 （※６）

= インタフェース設定 =

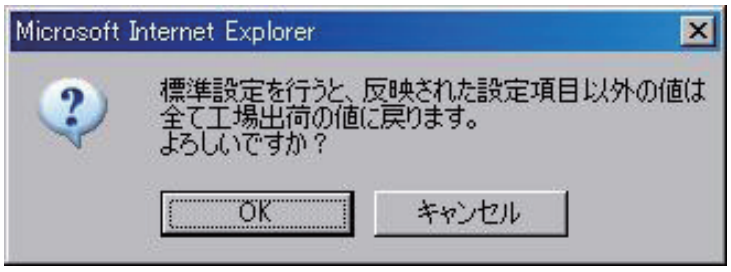
設定項目	説　　明	設定値
使用インタフェース	WAN 側で使用するインタフェースを設定します。 「DHCP」または「StaticIP」のどちらかを選択します。	DHCP（推奨）
IP アドレス	WAN 側 IP アドレスを設定します。	ー ※使用インタフェースを「StaticIP」に設定した場合のみ、設定できます。
サブネットマスク	WAN 側サブネットマスクを設定します。	
デフォルトゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。	
DNS サーバアドレス	問い合わせを行う DNS サーバアドレスを設定します。	

= UPnP 設定 =

設定項目	説　　明	設定値
UPnP 機能（CP）	UPnP 機能（CP）の「有効／無効」を設定します。（※７）	有効

※１ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP サーバ」（ホスト名）を入力します。
※２ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「サービスドメイン」（メタドメイン）を入力します。
※３ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザ ID」（ユーザ ID）を入力します。
※４ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP ユーザパスワード」（パスワード）を入力します。
※５ IPNT710 の場合は、OCN から通知された用紙に記載されている「VoIP 電話番号」（利用電話番号）を入力します。
※６ IPNT710 の場合は、標準設定に市外局番の登録がないので、必要な場合は VoIP 設定メニューのサービス設定（138 ページ <10> を参照) より市外局番の設定を行ってください。
※７ IPNT710 の場合は、UPnP 機能（CP）の初期設定が「無効」となっているので必ず「有効」としてください。
IPFU710 の初期設定は「有効」となっています。

<4> 全ての項目を入力したら 設定 ボタンをクリックします。



※ 標準設定を行うと、反映された設定項目以外は全て初期値（工場出荷値）となります。
※ 追加・変更で設定するときに、設定項目の初期化をさける場合、標準設定は使用せず、ルータ設定または VoIP 設定から各項目の設定を行ってください。

<5> OK ボタンをクリックします。自動的に初期設定画面に戻ります。（設定内容を仮登録した状態となります）

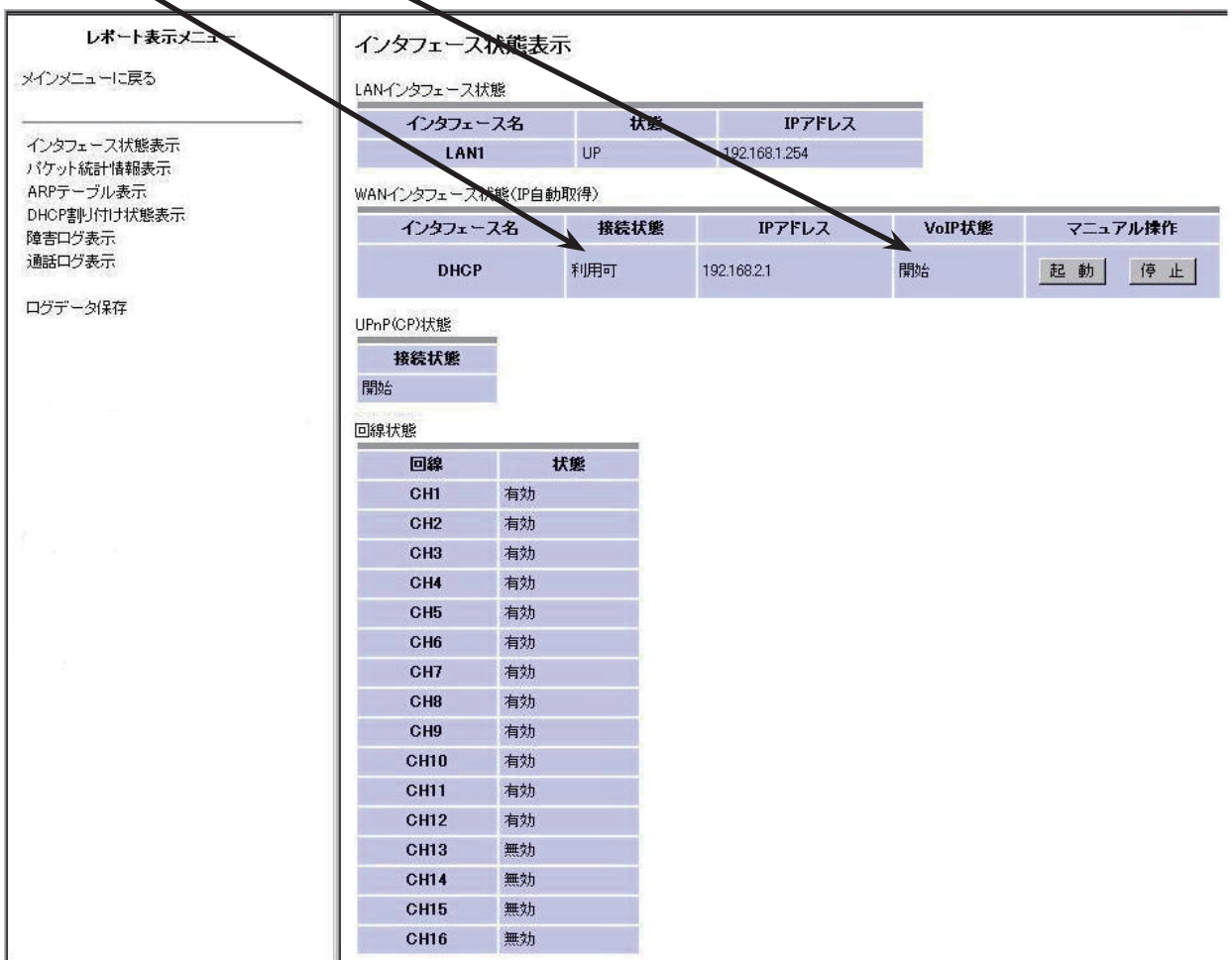
<6> 再起動 ボタンををクリックします。



<7> OK ボタンをクリックします。（VoIP ユニットを再起動することで、設定内容が反映されます）

<8> VoIP ユニットの再起動が終了すると、自動的に初期設定画面（<3>の画面）に戻ります。

メインメニューから [レポート表示] － [インタフェース状態表示] を選択して、DHCP インタフェースの接続状態が「利用可」、VoIP 状態が「開始」となっていることを確認します。



※ 回線状態は、以下の通り表示されます。

「有効」 … VoIP が使用可能なチャンネル
「無効」 … VoIP が使用不可能なチャンネル
「通話中」 … VoIP 通話を行っているチャンネル

※ 確認事項

以下の確認項目をチェックし、あてはまる項目があれば再度設定を行ってください。

・VoIP ユニットの LIVE LED は点灯していますか？
⇒ 点灯していない … ユニットをスロットにきちんと挿入してください。

・VoIP ユニットの LINK LED は点灯していますか？
⇒ 点灯していない … ケーブルの接続を確認し直してください。

・フュージョン・コミュニケーションズから通知された SIP 設定の内容は正しく設定されていますか？
⇒ 正しく設定されていない … 再度入力し直してください。

<9> VoIP ユニット（ルータスイッチ OFF）を 2 枚実装する場合は 2 枚目の VoIP の下記設定項目を変更します。
－ SIP 端末ポート番号：5060（初期値）から 5061
－ RTP/RTCP 開始ポート番号：5100（初期値）から 5200

メインメニューから 設定メニュー － VoIP 設定メニュー － 詳細設定 を選択すると VoIP 詳細設定が表示されます。

④ SIP 端末ポート番号を 5061 に変更します。
⑤ RTP/RTCP 開始ポート番号を 5200 に変更します。



<10> 市外局番号の設定を行います。（IPNT710 の場合）

メインメニューから 設定メニュー － VoIP 設定メニュー － サービス設定 を選択するとサービス設定が表示されます。

⑥ 市外局番に固定電話の市外局番を入力します。



(5) ひかり電話オフィスを使用するための手順

・NTT 東日本の場合

ひかり電話およびインターネットを使用するための設定例

回線の準備

ひかり電話（NTT 東日本）を利用する場合、NTT 東日本が提供する「B フレッツ　ハイパーファミリータイプ」への申し込みが必要です。詳細は、NTT 東日本にお問い合わせください。

↓

設定前に用意するもの

141 ページの「(6) 設定前に用意するもの」をお読みいただき、設定前に準備が整っているかをご確認ください。

↓

VoIP ユニットの実装 およびケーブル接続

主装置の電源が切れていることを確認して、VoIP ユニットを実装し（実装については 5 (8)「VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPHO710】」(47 ページ) および「(7) LAN ケーブルの接続」(142 ページ) を参照)、ケーブルを接続してください。

↓

主装置の電源を入れる

主装置の電源を入れて、VoIP ユニットが正常に立ち上がることをご確認ください。(5 (8)「VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPHO710】(47 ページ) を参照してください。)

↓

パソコンの設定

VoIP ユニットの設定を行う前に、パソコンの電源を投入し、パソコンの設定内容を確認します。144 ページの「(8) Web 設定を行うためのパソコンの準備」をお読みいただき、パソコンの設定内容をご確認ください。

↓

ひかり電話の接続 およびインターネットの接続

144 ページの「(9) VoIP ユニットの設定」をお読みいただき、ひかり電話およびインターネットを使用できる状態（ISP アカウントの登録）にします。
(ISP アカウントの登録を行わないと自動ファームアップができなくなります)

↓

主装置のプログラム設定

151 ページの「(10) 主装置の設定」をお読みいただき、主装置のプログラム設定を行い、任意の外線から IP 電話が発信および着信できる状態にします。

↓

ひかり電話の接続確認 (インターネットの接続確認)

ひかり電話（およびインターネット）が利用できることを確認します。
インターネットの接続確認は「http://www.saxa.co.jp」にアクセス可能かご確認ください。

・NTT 西日本の場合

ひかり電話およびインターネットを使用するための設定例

回線の準備

ひかり電話（NTT 西日本）を利用する場合、NTT 西日本が提供する光「フレッツ光プレミアム」の申し込みが必要です。詳細は、NTT 西日本にお問い合わせください。

↓

設定前に用意するもの

141 ページの「(6) 設定前に用意するもの」をお読みいただき、設定前に準備が整っているかをご確認ください。

↓

VoIP ユニットの実装およびケーブル接続

主装置の電源が切れていることを確認して、VoIP ユニットを実装し（実装については 5 (8)「VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPH0710】」(47 ページ) および「(7) LAN ケーブルの接続」(142 ページ) を参照)、ケーブルを接続してください。

↓

主装置の電源を入れる

主装置の電源を入れて、VoIP ユニットが正常に立ち上がることをご確認ください。(5 (8)「VoIP ユニット【IPFU710/IPNT710/IPH0710】(47 ページ) を参照してください。)

↓

パソコンの設定

VoIP ユニットの設定を行う前に、パソコンの電源を投入し、パソコンの設定内容を確認します。144 ページの「(8) Web 設定を行うためのパソコンの準備」をお読みいただき、パソコンの設定内容をご確認ください。

↓

ひかり電話の設定

144 ページの「(9) VoIP ユニットの設定」をお読みいただき、ひかり電話を使用できる状態にします。

↓

CTU の設定

CTU に ISP アカウントの登録を行います。
(ISP アカウントの登録を行わないと自動ファームアップができなくなります)
設定方法は CTU ガイドブックを参考にしてください。
http://flets-w.com/hikari-p/download/index.html

↓

主装置のプログラム設定

151 ページの「(10) 主装置の設定」をお読みいただき、主装置のプログラム設定を行い、任意の外線から IP 電話が発信および着信できる状態にします。

↓

ひかり電話の接続確認

ひかり電話が利用できることを確認します。

(6) 設定前に用意するもの

・NTT 東日本の場合

ひかり電話をご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

① パソコン：Windows® 98se/ME/2000/XP の OS を搭載したパソコンおよびパソコンと VoIP ユニットを接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル
② Web ブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver. 6.0（以降 IE6.0）の Web ブラウザ
③ VoIP ユニットおよび付属の LAN ケーブル
④ NTT 東日本から通知された用紙
⑤ プロバイダから通知された「認証 ID・認証パスワード」が記載された用紙

・NTT 東日本の場合

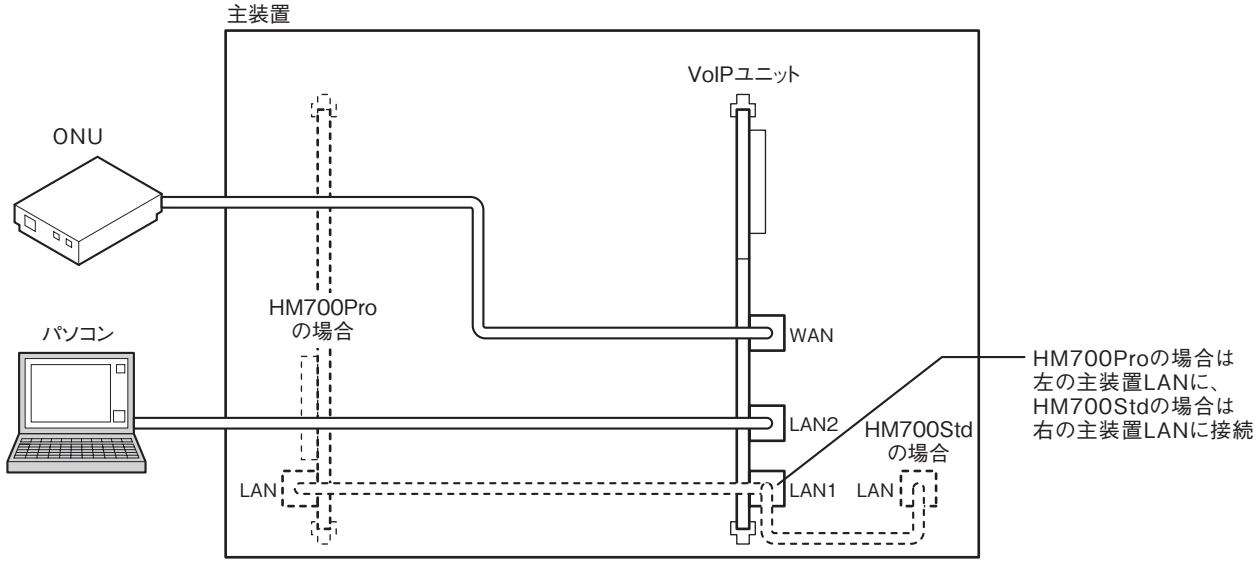
ひかり電話をご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

① パソコン：Windows® 98se/ME/2000/XP の OS を搭載したパソコンおよびパソコンと VoIP ユニットを接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル
② Web ブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver. 6.0（以降 IE6.0）の Web ブラウザ
③ VoIP ユニットおよび付属の LAN ケーブル
④ NTT 西日本から通知された用紙
⑤ プロバイダから通知された「認証 ID・認証パスワード」が記載された用紙

(7) LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。

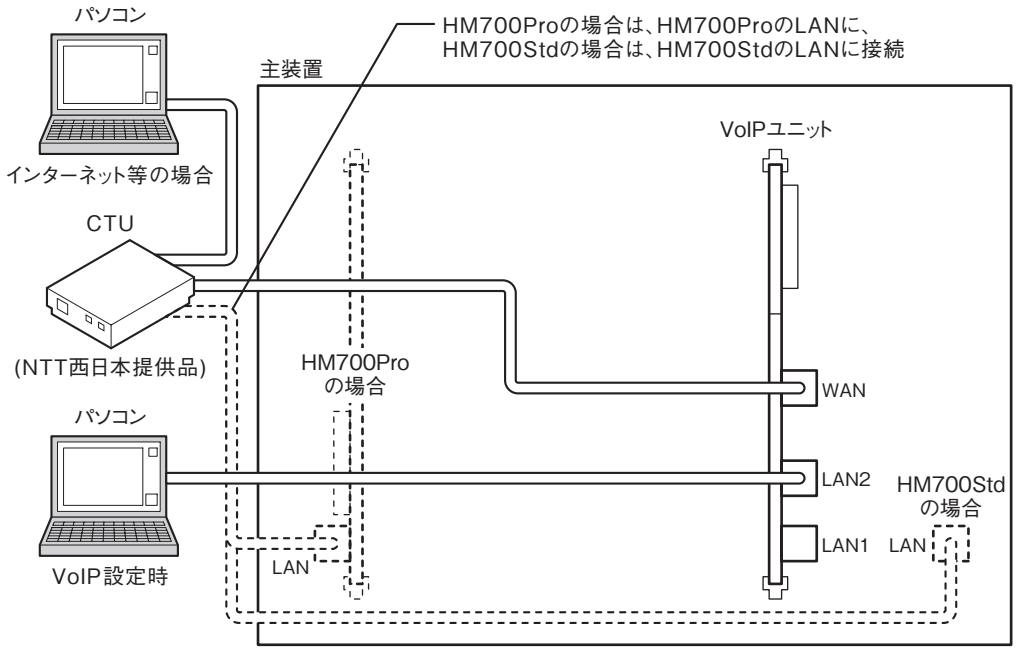
・NTT 東日本の場合



NTT 東日本の場合の接続図

※ 主装置と VoIP ユニットとの接続には、VoIP ユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンと VoIP ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ ONU と VoIP ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、ひかり電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

・NTT 西日本の場合

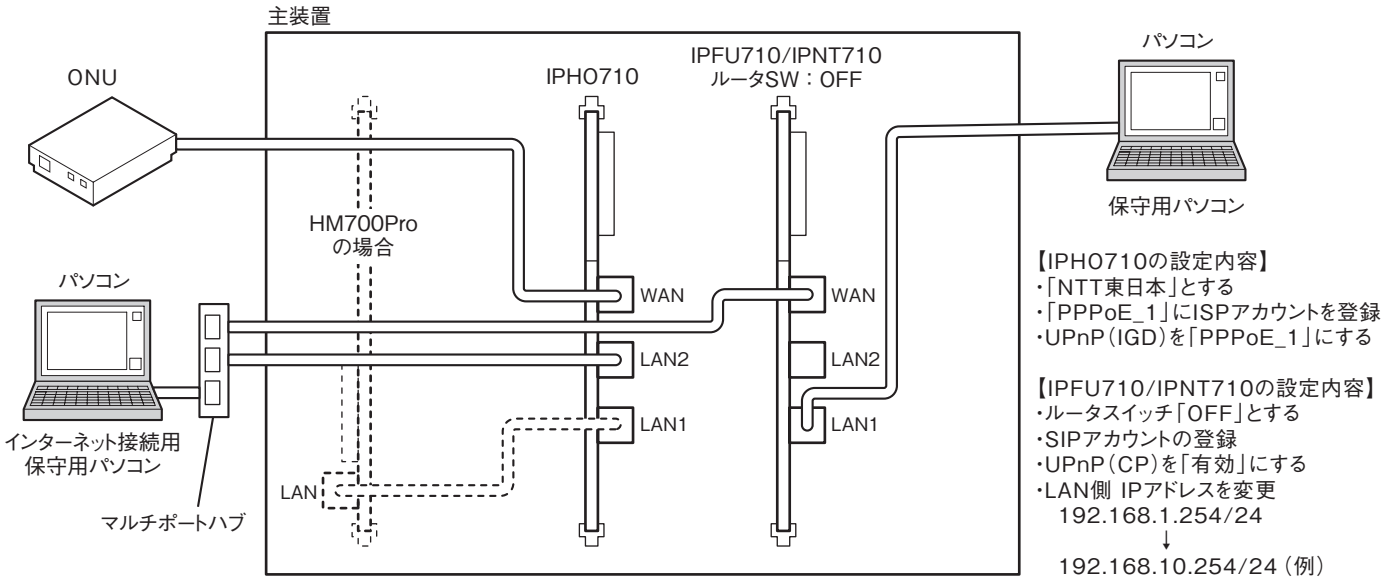


NTT 西日本の場合の接続図

※ 主装置と VoIP ユニットとの接続には、VoIP ユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンと VoIP ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ CTU と VoIP ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、ひかり電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。
※ インターネット、メール等を PC で行う場合は、CTU の空きポートに PC を接続します。

IPH0710 ユニットと他の VoIP ユニットを混在収容する場合、LAN ケーブルの結線は以下の接続図に従って行ってください。
（HM700Std の場合は、他の VoIP ユニットとの混在収容はありません）

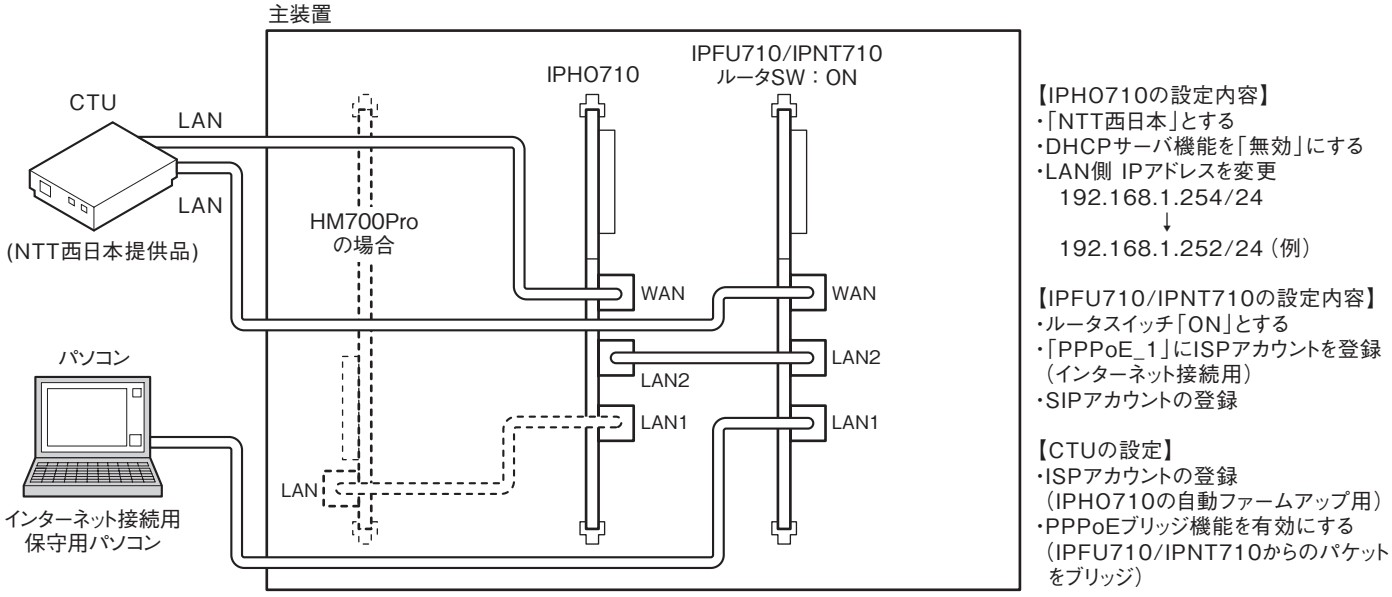
・NTT 東日本の場合



NTT 東日本の場合の接続図

※ 主装置と VoIP ユニットとの接続には、VoIP ユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンと VoIP ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ ONU と VoIP ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、ひかり電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

・NTT 西日本の場合



NTT 西日本の場合の接続図

※ 主装置と VoIP ユニットとの接続には、VoIP ユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ パソコンと VoIP ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ CTU と VoIP ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、ひかり電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

(8) VoIP ユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備

VoIP ユニット Web の設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

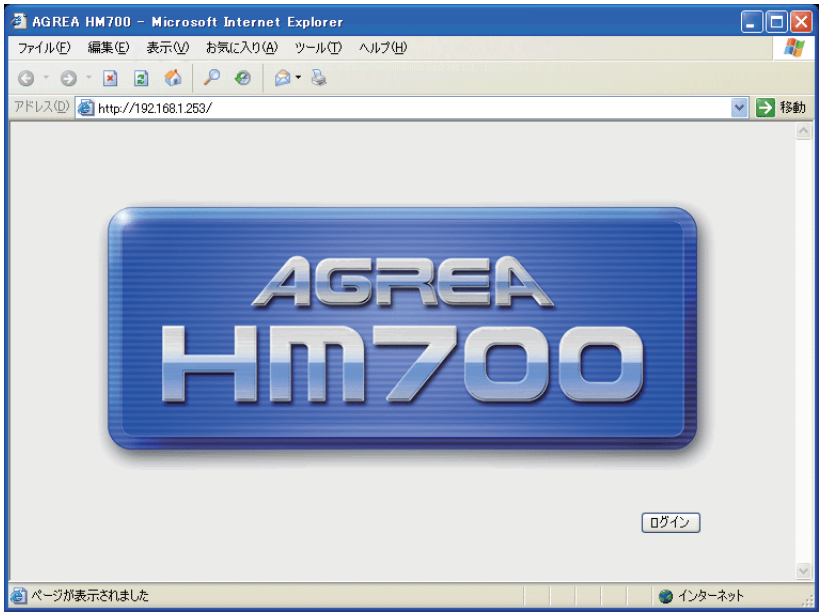
① LAN アダプタが正常に動作すること。
② TCP/IP プロトコルがインストールされていること。
③ IP アドレスを自動的に取得するように設定していること。
④ Web ブラウザがインストールされていること。
⑤ ブラウザ設定で、プロキシを設定していないこと。

(9) VoIP ユニットの設定

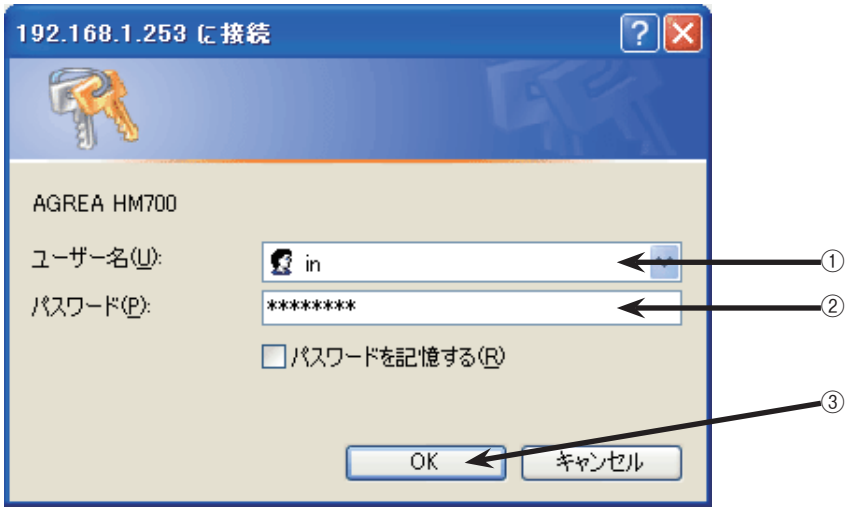
前項の準備が終了した後、Web ブラウザを起動します。以降の画面はブラウザが IE6.0 の場合です。

(9)-1 NTT 東日本時の設定

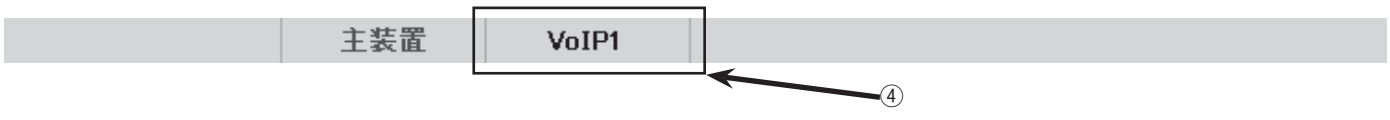
<1> ブラウザのアドレスを入力する欄に主装置のデフォルト IP アドレス「http://192.168.1.253/」を入力し、Enter キーを押してください。主装置の初期画面が表示されます。



<2> ログイン ボタンをクリックすると、主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。

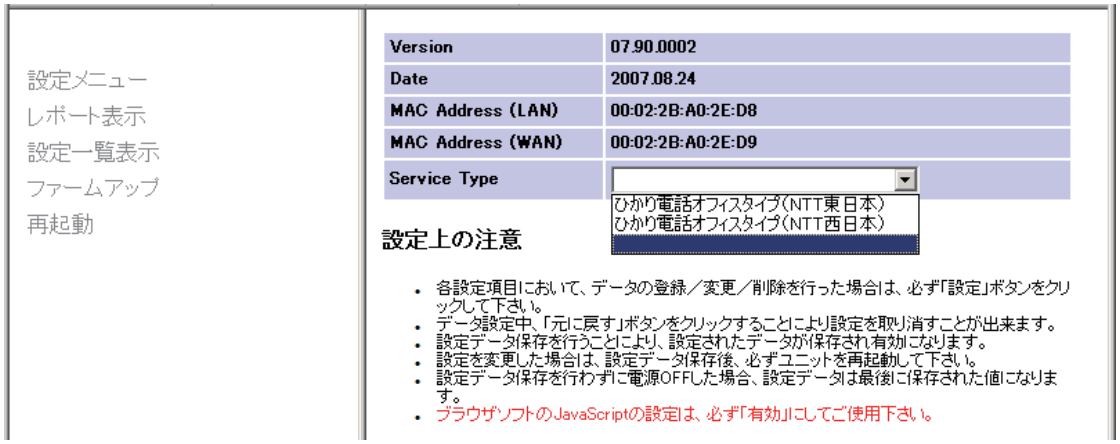


<3> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ OK ボタンをクリックしてください。

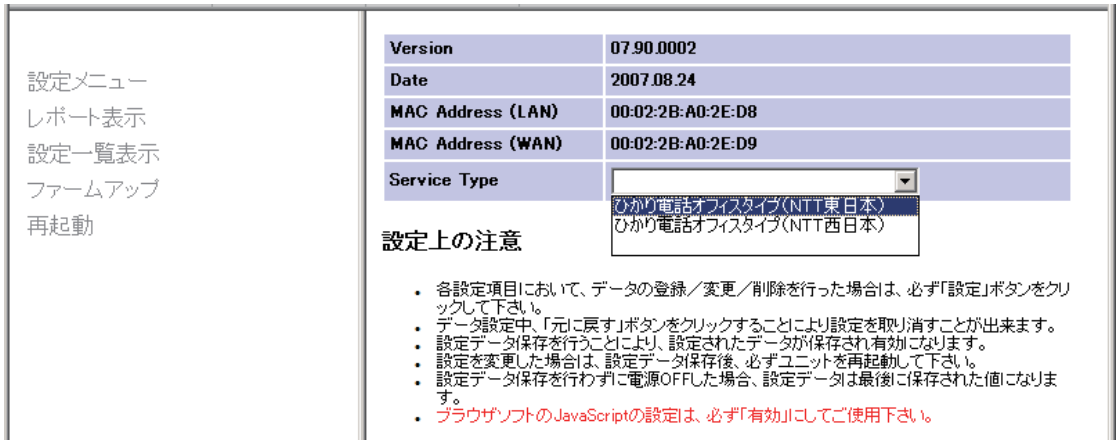


<4> 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている④ VoIP1 をクリックしてください。

<5> VoIP ユニットの初期設定画面が表示されます。



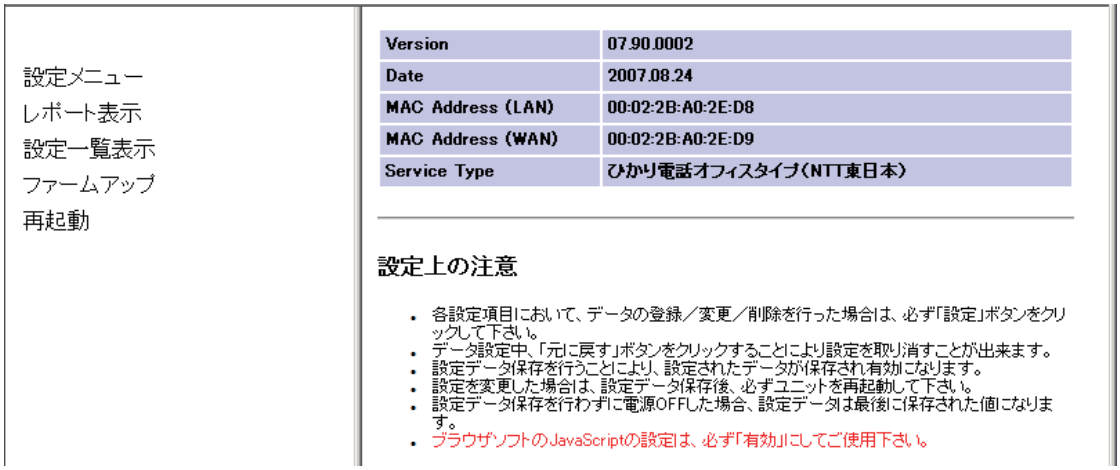
<6> VoIP ユニットの初期設定画面で NTT 東日本を選択してください。



<7> サービスタイプを選択すると、使用されるサービスの確認ダイアログボックスが表示されます。



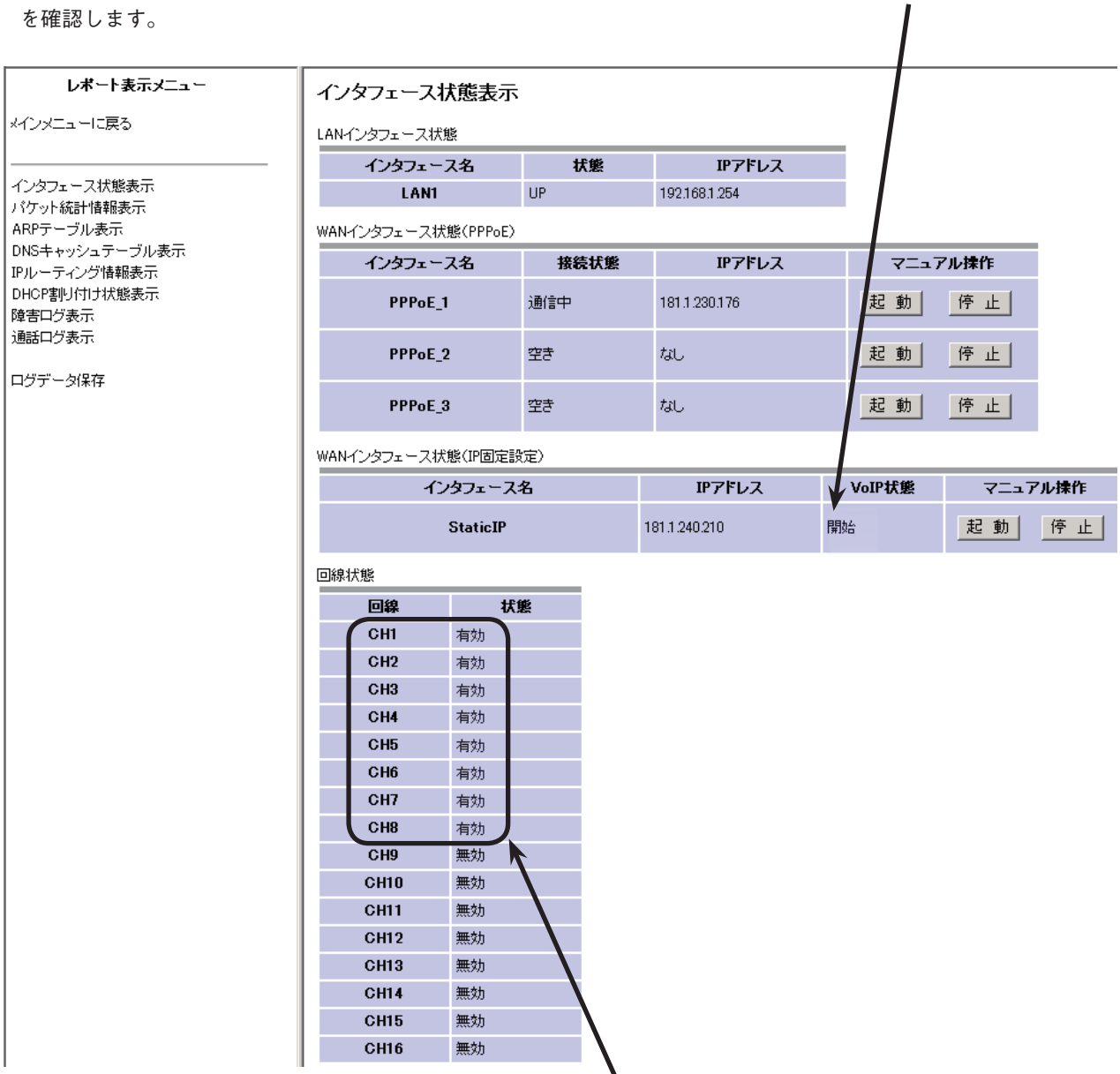
<8> OK ボタンをクリックし、サービスタイプを決定した後に、メインメニューから再起動を行ってください。



<9> VoIP ユニットの再起動が終了すると、自動的に初期設定画面（<8>の画面）に戻ります。

<10> 状態表示画面で VoIP 状態を確認します。

メインメニューから [レポート表示] ー [インタフェース状態表示] を選択して、VoIP 状態が「開始」と表示されていることを確認します。



※ VoIP 増設ユニット（CN1）が未実装の場合は、CH1 ～ CH4 が「有効」と表示されます。
VoIP 増設ユニット（CN1）を実装している場合は、CH1 ～ CH8 が「有効」と表示されます。
（CH9 ～ CH16 は常に「無効」と表示されます）

※ 回線状態は、以下の通り表示されます。

「有効」 … VoIP が使用可能なチャンネル
「無効」 … VoIP が使用不可能なチャンネル
「通話中」 … VoIP 通話を行っているチャンネル

※ 確認事項

以下の確認項目をチェックし、あてはまる項目があれば再度設定を行ってください。

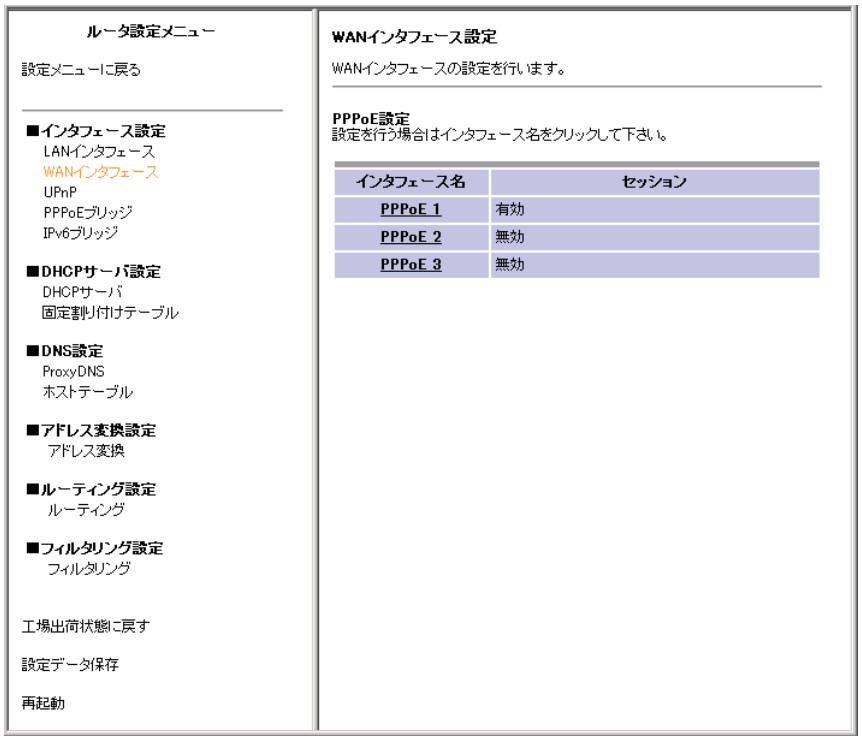
・VoIP ユニットの LIVE LED は点灯していますか？
⇒ 点灯していない … ユニットをスロットにきちんと挿入してください。

・VoIP ユニットの LINK LED は点灯していますか？
⇒ 点灯していない … ケーブルの接続を確認し直してください。

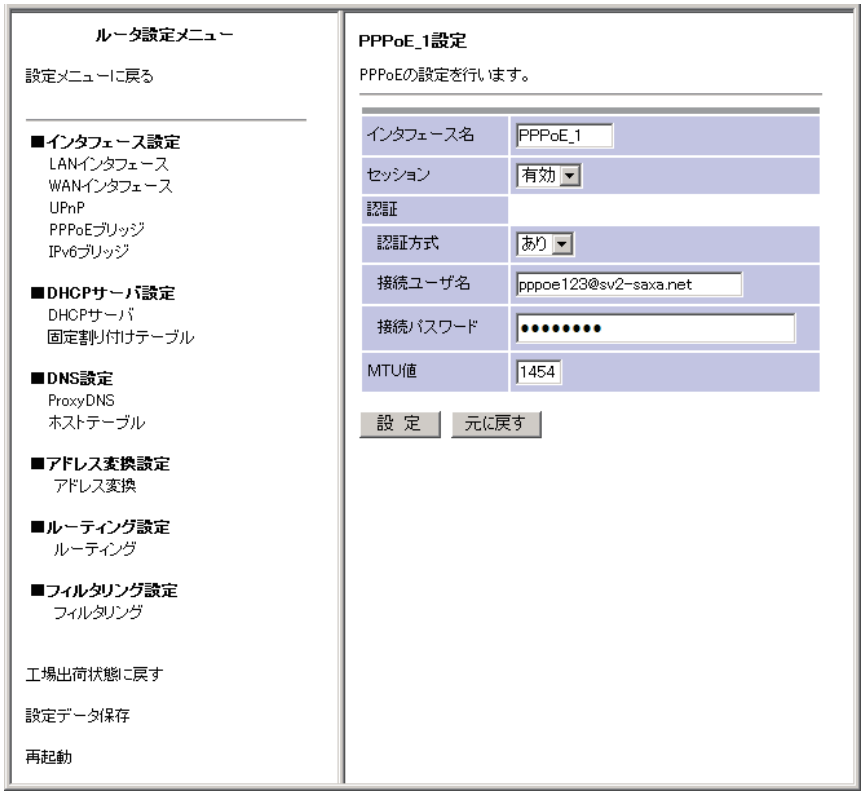
※ 工事者確認画面

自動設定サーバから取得した情報を確認したい場合は、以下の URL にアクセスしてください。
取得した情報を表示します。
「http://192.168.1.254/dbug」（LAN の IP アドレスがデフォルト値の場合）

<11> インターネットを利用するため、また自動ファームアップを利用可能とするため、PPPoE_1 に ISP のアカウント登録を行います。メインメニューから 設定メニュー ー ルータ設定メニュー ー WAN インタフェース を選択します。



<12> PPPoE_1 をクリックし、全ての項目を入力したら 設定 ボタンをクリックします。



= PPPoE_1 設定 =

設定項目	説　　明
接続ユーザ名	PPPoE 接続を行うための接続ユーザ名を入力します。 プロバイダから通知された用紙に記載されている「認証 ID」を入力します。
接続パスワード	PPPoE 接続を行うための接続パスワードを入力します。 プロバイダから通知された用紙に記載されている「認証パスワード」を入力します。

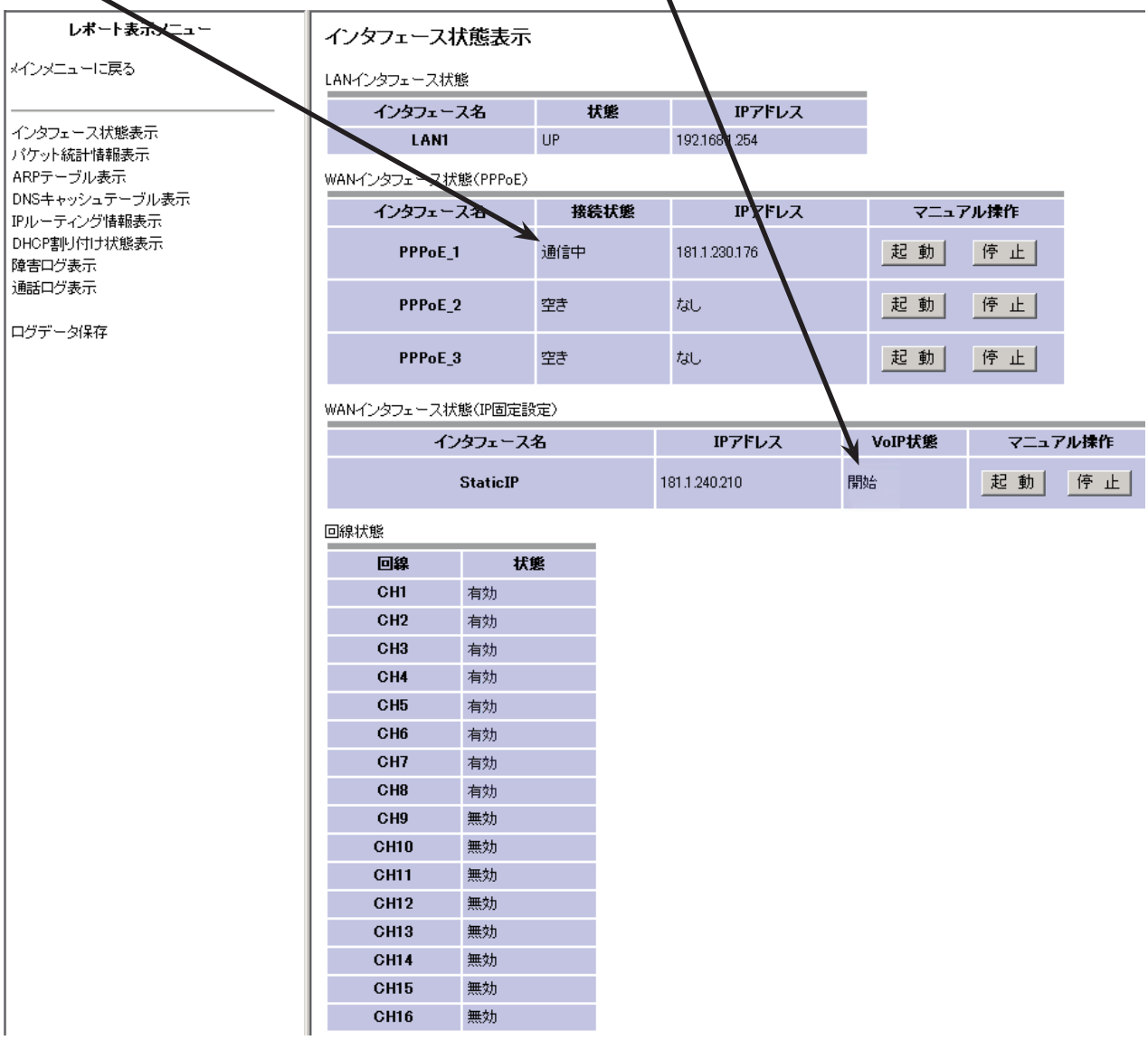
<13> 設定データ保存 をクリックし、OK ボタンをクリックして設定データを保存します。

<14> 再起動 ボタンををクリックします。



<15> OK ボタンをクリックします。（VoIP ユニットを再起動することで、設定内容が反映されます）

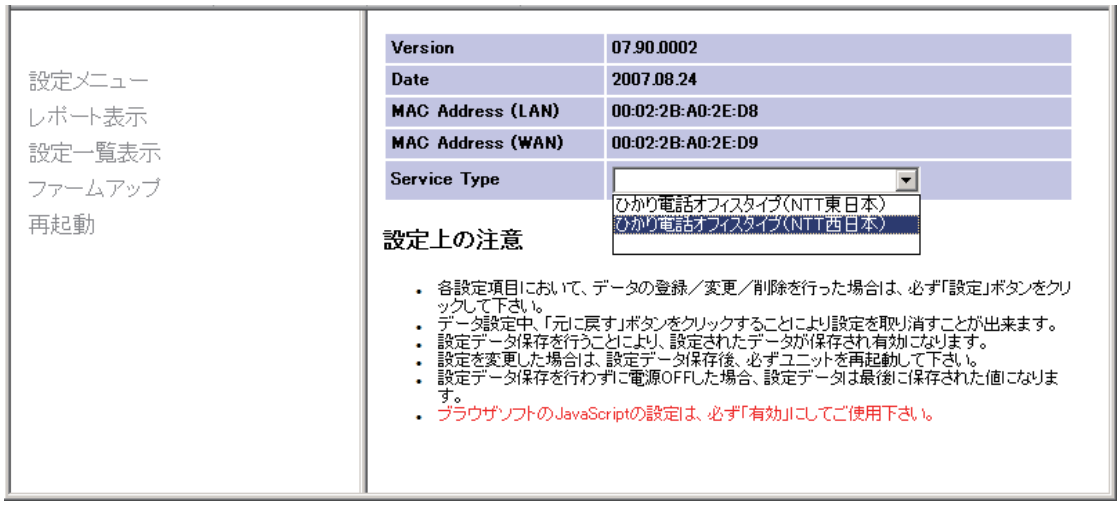
<16> VoIP ユニットの再起動が終了すると、自動的に初期設定画面（<3> の画面）に戻ります。
戻りましたら、状態表示画面（<5> の画面）で VoIP 状態が「開始」、PPPoE_1 の接続状態が「通信中」と表示されていることを確認します。



(9)-2 NTT 西日本時の設定

(4)-2 <1> ～ <2>(134 ページ) の操作を行います。VoIP ユニットの初期設定画面が表示されます。

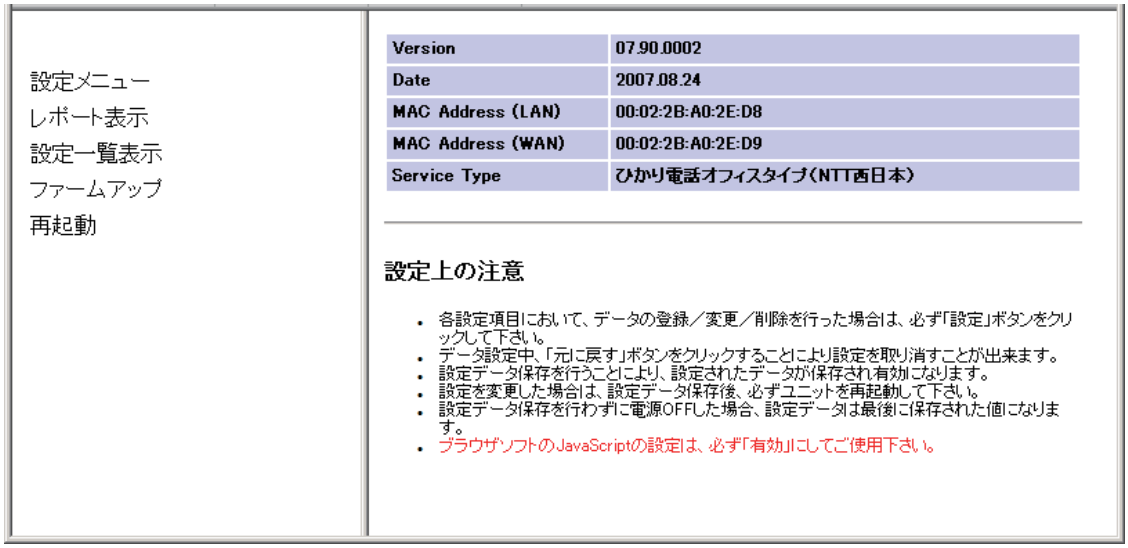
<1> VoIP ユニットの初期設定画面で NTT 西日本を選択してください。



<2> サービスタイプを選択すると、使用されるサービスの確認ダイアログボックスが表示されます。



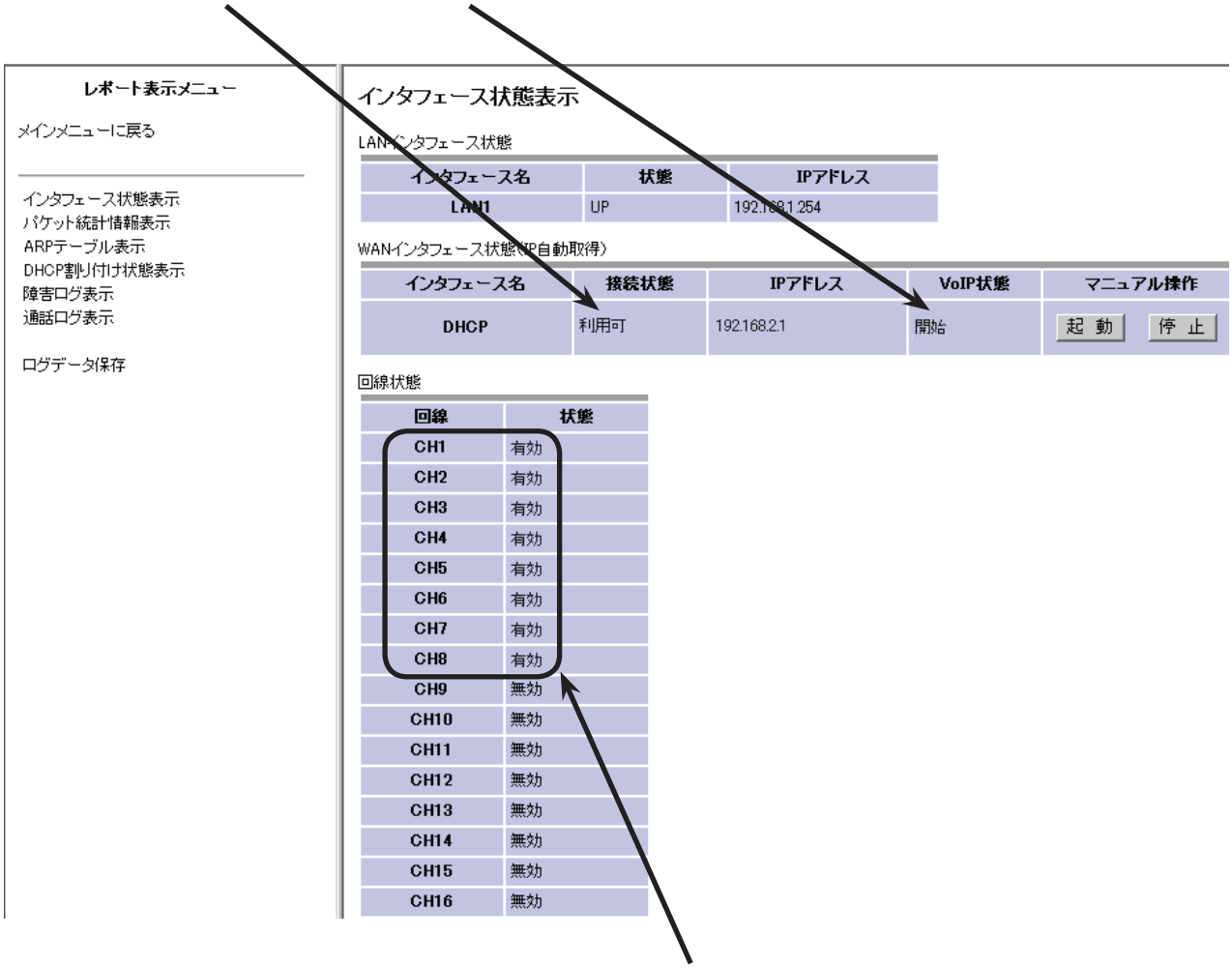
<3> OK ボタンをクリックし、サービスタイプを決定した後、メインメニューから再起動を行ってください。



<4> VoIP ユニットの再起動が終了すると、自動的に初期設定画面（<3> の画面）に戻ります。

<5> 状態表示画面で VoIP 状態を確認します。

メインメニューから [レポート表示] ー [インタフェース状態表示] を選択して、WAN インタフェース状態（IP 自動取得）の接続状態が「利用可」、VoIP 状態が「開始」となっていることを確認します。



※ VoIP 増設ユニット（CN1）が未実装の場合は、CH1 ～ CH4 が「有効」と表示されます。
VoIP 増設ユニット（CN1）を実装している場合は、CH1 ～ CH8 が「有効」と表示されます。
（CH9 ～ CH16 は常に「無効」と表示されます）

※ 回線状態は、以下の通り表示されます。

「有効」 … VoIP が使用可能なチャンネル
「無効」 … VoIP が使用不可能なチャンネル
「通話中」 … VoIP 通話を行っているチャンネル

※ 確認事項

以下の確認項目をチェックし、あてはまる項目があれば再度設定を行ってください。

・VoIP ユニットの LIVE LED は点灯していますか？
⇒ 点灯していない … ユニットをスロットにきちんと挿入してください。

・VoIP ユニットの LINK LED は点灯していますか？
⇒ 点灯していない … ケーブルの接続を確認し直してください。

※ 工事者確認画面

自動設定サーバから取得した情報を確認したい場合は、以下の URL にアクセスしてください。
取得した情報を表示します。
「http://192.168.1.254/dbug」（LAN の IP アドレスがデフォルト値の場合）

（10）主装置の設定

主装置の基本設定を以下に記述します。

《着信させるためのプログラム設定》

【P039：ダイヤルイン番号】

ダイヤルイン番号を登録します。最大３２番号登録できます。

＜操作＞ダイヤルイン番号を変更したい場合は、十字キー［↑］または［↓］を押下

指定のダイヤルイン番号に自局番号を入力（最大 13 桁）

例：０５０５５０００００１

入力したダイヤルイン番号を削除したい場合は、［＊］ボタンを押下

【P415：テナント１ダイヤルイン着信　着信外線】

ダイヤルイン着信を許可する外線ボタンを指定します。

＜設定値＞数字：指定しない／ー：指定する

＜操作＞ダイヤルイン番号を変更したい場合は、十字キー［↑］または［↓］を押下

ダイヤルイン着信を許可するボタンを指定する場合は、外線ボタンの番号（01 ～ 30）を押下

例：外線ボタン５～８を着信許可にしたい場合

［0］［5］，［0］［6］，［0］［7］，［0］［8］を押下

指定されている外線ボタンを指定から外したい場合は、外したい外線ボタンの番号（01 ～ 30）を押下

例：外線ボタン６～８に変更したい場合（上例からの続き）

［0］［5］を押下

※ テナントはデフォルト（テナント 1）を使用します。

《発信させるためのプログラム設定》

【P402：テナント外線ボタン割付】

外線ボタンに VoIP 外線を割り付けます。

＜設定値＞0：オートダイヤル／1：外線（局線／ ISDN）／2：VoIP ／3：PBX 内線／4：ひかり／5：PHS

＜操作＞外線ボタンに VoIP 外線を割り付ける場合は、外線ボタンの番号（01 ～ 30）を押下

続けて、[2]（※1）を押下（表示が“2”（※1）になれば、VoIP 外線が割り付けられたことになります。）

例：外線ボタン 5 ～ 8 を VoIP 外線として使用（発信）したい場合

[0] [5] ＋ [2]（※1），[0] [6] ＋ [2]（※1），[0] [7] ＋ [2]（※1），[0] [8] ＋ [2]（※1）を押下

（※1）ひかり電話の場合は「4」になります。

※ テナントはデフォルト（テナント 1）を使用します。

【P403：テナント 1 外線発信時の収容外線】

発信を許可する外線ボタンに VoIP の収容外線を指定します。

＜設定値＞数字：指定しない／ー：指定する

＜操作＞外線ボタン番号を変更したい場合は、十字キー [↑] または [↓] を押下

発信を許可する外線ボタンに VoIP の収容外線を指定する場合は、収容外線の番号を押下

（収容外線の番号は、HM700Pro の場合は 13 ～ 28、29 ～ 44、HM700Std の場合は 05 ～ 20）

例：外線ボタン 05 を VoIP 外線として発信したい場合（HM700Std）

十字キー [↑] または [↓] を押下し、外線ボタン番号を 05 にした後、[0] [5] を押下

※ VoIP の収容外線は、主装置のユニット構成を参照してください

例 : 主装置（HM700Std）のユニット構成

SLOT3：IPFU710（1）F04 [C005 － 20]

※ テナントはデフォルト（テナント 1）を使用します。

《発信時の発信者番号を指定する設定》

【P419：外線捕捉時／発信者番号】

発信時の発信者番号を外線ボタンごとに指定します。指定しない場合は、自局番号が発信者番号となります。

＜操作＞外線ボタン番号を変更したい場合は、[発信（昇順）] または [短縮（降順）] を押下

指定の発信者番号を入力（最大 13 桁）

例：０５０５５０００００２

入力した発信者番号を削除したい場合は、[＊] ボタンを押下

IP 系ユニットの組み合わせ表

ブロードバンドルータユニット（IPR700）、VoIP ユニット（IPFU710/IPNT710/IPHO710）、IP 端末接続ユニット（IPST710）の組み合わせは、下表を参照してください。

主装置	IPR700	IPHO710（東日本）	IPHO710（西日本）	IPFU710（ルータON）	IPFU710（ルータOFF）	IPNT710（ルータON）	IPNT710（ルータOFF）	IPST710
HM700 Pro	○							
	○				○			
	○				○○			
	○						○	
	○							○
	○				○			○
	○						○	○
	○							○○
		○						
		○			○			
		○			○			○
		○					○	
		○					○	○
		○						○
		○						○○
			○					
			○	○				
			○	○				○
			○			○		
			○			○		○
			○					○
			○					○○
				○				
				○				○
				○				○○
						○		
						○		○
						○		○○
								○
								○○
HM700 Std	○							
	○				○			
	○				○			○
	○						○	
	○						○	○
	○							○
		○						
		○						○
			○					
			○					○
				○				
				○				○
						○		
						○		○
								○

18 IP 端末接続ユニット利用時の設定

● IP 端末接続ユニット（IPST710）は、IP 端末接続ユニット基板と付属のカテゴリー 5 の LAN ケーブルで構成されます。
● IP 端末接続ユニットを利用することで SIP 端末の収容や、システム間接続が可能になります。
※ システム間接続を行う主装置ごとに IP 端末接続ユニットが必要です。
※ システム間接続を行うためには主装置のプログラム設定「P061 内線番号桁数指定」を 3 桁に指定する必要があります。
※ Pro 主装置の場合、実行番号 81、82 をご利用になるためにはプログラム設定「P061 内線番号桁数指定」を 3 桁に指定する必要があります。
※ WAN ポートは利用しません。（LAN ケーブルを接続してもリンクしません）

IP 端末接続ユニットの設定例

設定前にご用意いただくもの

155 ページの「(1) 設定前にご用意いただくもの」をお読みいただき、設定前に準備が整っているかをご確認ください。

IP 端末接続ユニットの実装およびケーブル接続

主装置の電源が入っていないことを確認した上で、49 ページの 5 (9)「IP 端末接続ユニット【IPST710】」および 156 ページの「(2) LAN ケーブルの接続」をお読みいただき、IP 端末接続ユニットの実装、ケーブルの接続を行ってください。

主装置の電源を入れる

主装置の電源を投入し、49 ページの 5 (9)「IP 端末接続ユニット【IPST710】」をお読みいただき、IP 端末接続ユニットが正常に立ち上がることをご確認ください。

ユニット IP アドレスの設定および主装置 IP アドレスの設定

IP 端末接続ユニットの IP アドレスおよび主装置の IP アドレスの設定を主装置のボタン電話機から行います。設定方法は 459 ページの「27 保守メニュー」を参照してください。
※主装置の IP アドレスは主装置を再起動するまで反映されません。ご注意ください。
※ IP 端末接続ユニットは固定の IP アドレスを設定する必要があります。
※ IP 端末接続ユニットは主装置と同一のネットワークに存在する必要があります。
※システム間接続を行う場合、接続相手装置のネットワーク接続機器（主装置および IPST を含む）の IP アドレスと重複しないように十分注意してください。

パソコンの設定

IP 端末接続ユニットの設定を行う前に、パソコンの電源を投入し、パソコンの設定内容を確認します。157 ページの「(3) IP 端末接続ユニット利用時の Web 設定を行うためのパソコンの準備」をお読みいただき、パソコンの設定内容をご確認ください。

主装置の設定

SIP 端末の収容 / **システム間接続**

● SIP 端末の収容の場合
158 ページの「(4) SIP 端末利用時の設定」をお読みいただき、SIP 端末を利用できる状態にします。(SIP 端末のユーザ ID の登録､SIP 端末の共通パスワードの登録､ライセンスファイルの登録)
※ライセンスファイルの登録は本装置の初期ライセンス台数（2 ライセンス）を超えて SIP 端末を接続する場合に必要です。

●システム間接続の場合
161 ページの「(5) システム間接続利用時の設定」をお読みいただき、システム間接続を利用できる状態にします。(システム間接続情報ファイルの登録)

IP 端末接続ユニットの Web 設定

SIP 端末の収容 / **システム間接続**

162 ページの「(6) IP 端末接続ユニット (IPST710) の Web 設定」をお読みいただき、IP 端末もしくはシステム間接続がユニットに正しく登録されていることを確認してください。
システム間接続の動作確認は、接続相手システムにも自システム同様の設定を行った後、取扱説明書を参照して行ってください。

※ システム間接続の概要および操作につきましては取扱説明書を参照してください。

(1) 設定前にご用意いただくもの

IP 端末接続ユニットをご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

・パソコン： Windows® XP/Vista の OS を搭載したパソコンおよびパソコンと IPST ユニットを接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル
・Web ブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver. 6.0（以降 IE6.0）以上の Web ブラウザ
・IPST ユニットおよび添付のカテゴリー 5 の LAN ケーブル
※上記のものに加え、ユニットの利用目的別に以下のものをご用意いただく必要があります。

● SIP 端末の収容の場合

・SIP 端末（FOMA【N902iL/N906iL】もしくは AU【E02SA】）
※別冊の工事マニュアル IPST 機能利用編の入手方法に関しては弊社営業担当にお問い合わせください。
・無線アクセスポイントおよびカテゴリー 5 の LAN ケーブル
・SIP 端末接続ライセンスファイル（2 台以下の場合は不要です）
※本装置の初期ライセンス台数（2 ライセンス）を超えて SIP 端末を接続する際には、追加の接続ライセンス契約を行い、主装置に読み込ませる為のライセンスファイルをご用意いただく必要があります。
※ライセンス契約及びライセンスファイルに関しては弊社営業担当にお問い合わせください。

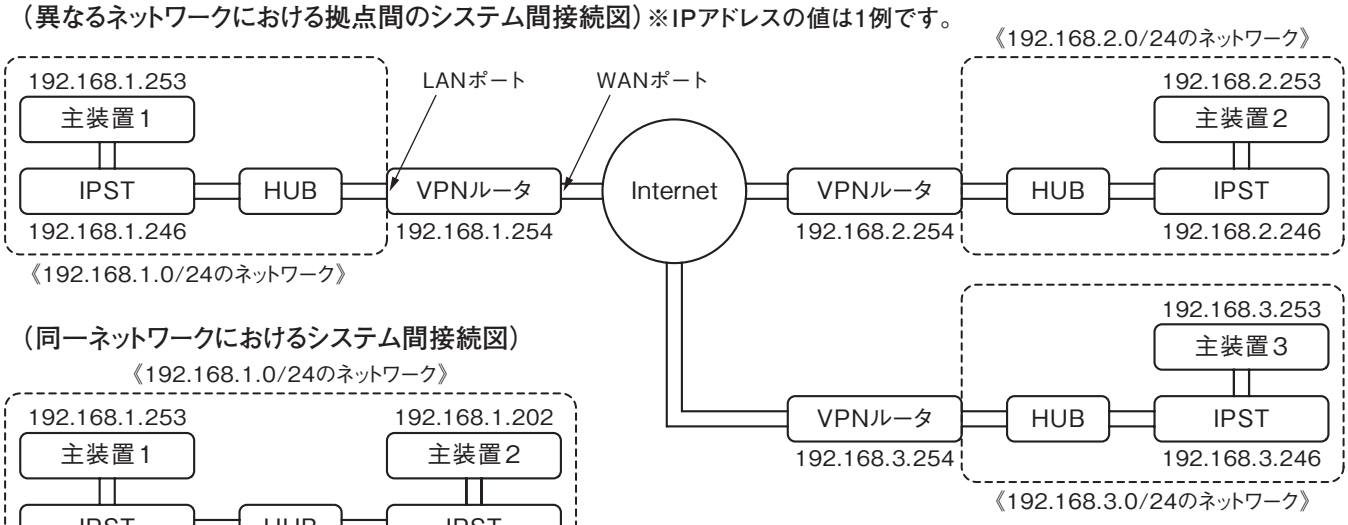
（SIP端末接続図）



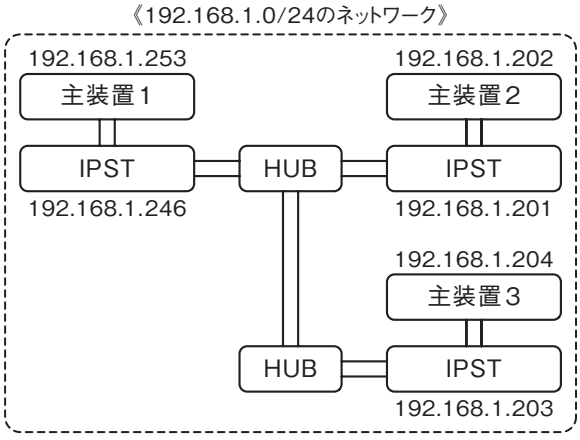
●システム間接続の場合

・システム間接続を行うための相手主装置
・VPN ルータおよびカテゴリー 5 の LAN ケーブル
※異なるネットワークにおいて拠点間のシステム間接続を行う場合、VPN を構築する必要があるため、VPN 対応ルータを必要数分ご用意いただく必要があります。VPN の構築方法については VPN ルータの取扱説明書を参照してください。
・システム間接続情報ファイル作成テンプレート
※システム間接続情報ファイル作成テンプレートおよび別冊の工事マニュアル IPST 機能利用編の入手方法に関しては弊社営業担当にお問い合わせください。

（異なるネットワークにおける拠点間のシステム間接続図）※IPアドレスの値は1例です。



（同一ネットワークにおけるシステム間接続図）



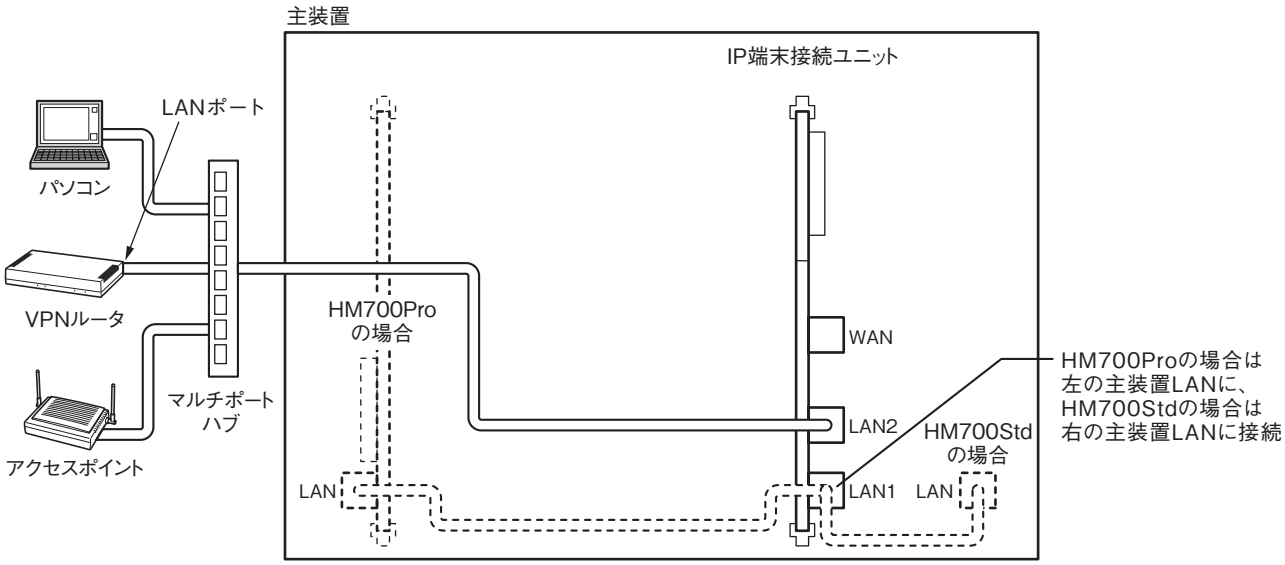
●システム間接続を行うネットワーク全体において、IP アドレスの値が重複すると主装置および IPST を含むネットワークに接続している機器が正しく動作しなくなります。IP アドレスの値が重複しないように十分ご注意ください。

●ネットワークに接続している機器間をループ状に配線しないでください。ネットワークに異常が発生する恐れがあります。十分ご注意ください。

(2) LAN ケーブルの接続

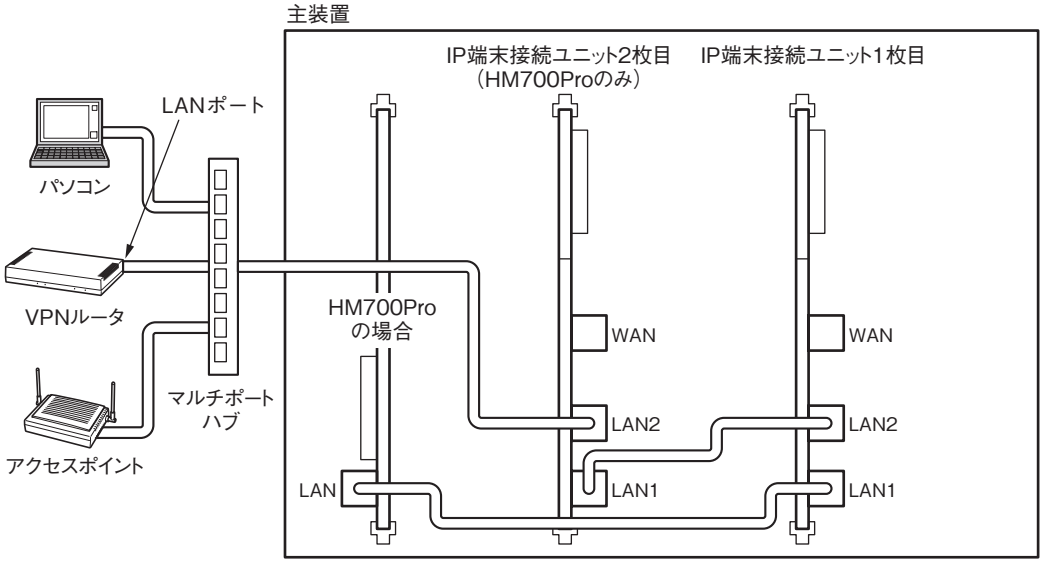
LAN ケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。

・ユニット 1 枚実装時



IP 端末接続ユニットを実装する場合の接続図

・ユニット 2 枚実装時



IP 端末接続ユニットを 2 枚実装する場合の接続図

※ 主装置と IP 端末接続ユニットとの接続には、IP 端末接続ユニットに付属されている LAN ケーブルをご使用ください。
※ マルチポートハブと IP 端末接続ユニットとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ マルチポートハブと VPN ルータ、アクセスポイントとの接続にはカテゴリー 5 の LAN ケーブルをご使用ください。
※ アクセスポイントまたは VPN ルータと IP 端末接続ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、IP 電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。
※ WAN ポートは利用しません。(LAN ケーブルを接続してもリンクしません)

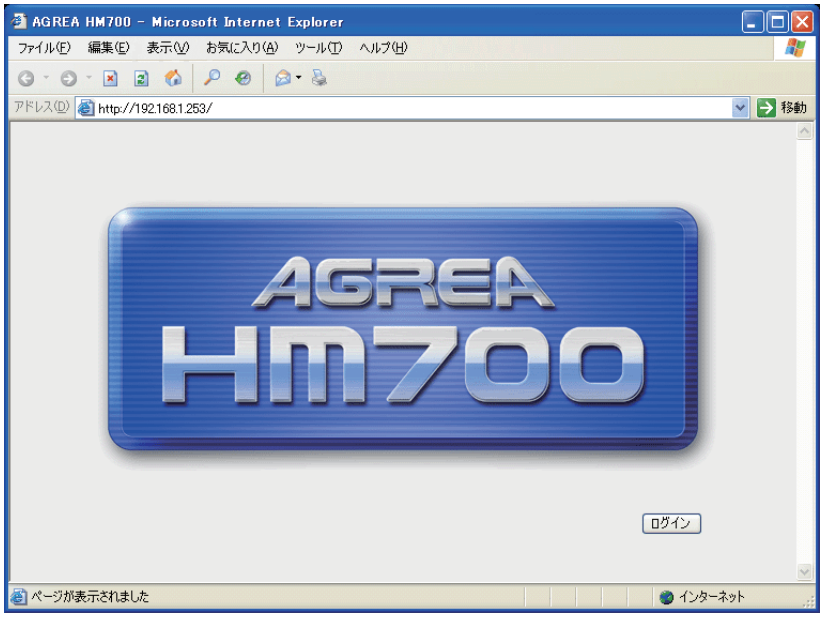
(3) IP 端末接続ユニット利用時の Web 設定を行うためのパソコンの準備

IP 端末接続ユニットのＷｅｂ設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

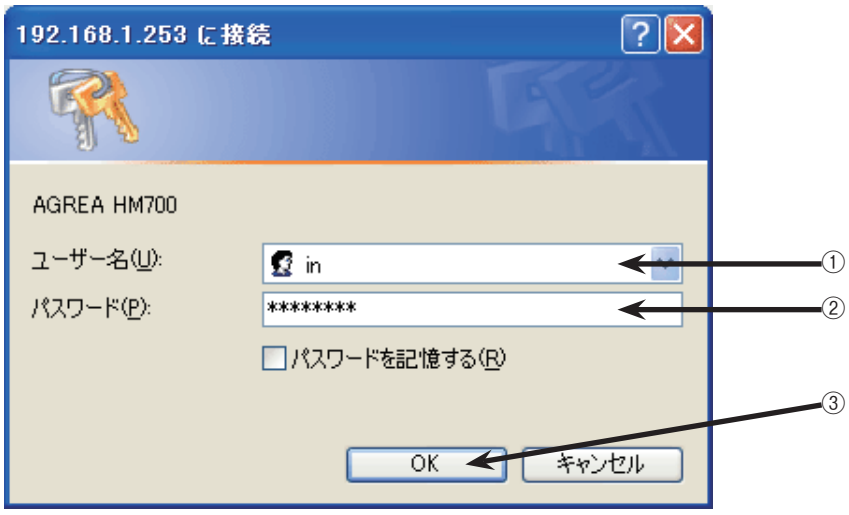
① LAN アダプタが正常に動作すること。
② TCP/IP プロトコルがインストールされていること。
③ IP アドレスが固定的に設定されていること。
　※ 192.168.1.XXX（XXX は他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 244 の任意の値）
　※ 以降ネットワークの構成により 192.168.1. の部分を読みかえてください。
④ Web ブラウザがインストールされていること。
⑤ ブラウザ設定で、プロキシを設定していないこと。

前項の準備が終了した後、Web ブラウザを起動します。以降の画面はブラウザが IE6.0 の場合です。

<1> ブラウザのアドレスを入力する場所に主装置のデフォルト IP アドレス「http://192.168.1.253/」を入力し、Enter キーを押してください。主装置の初期画面が表示されます。



<2> ログイン ボタンをクリックすると、主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。

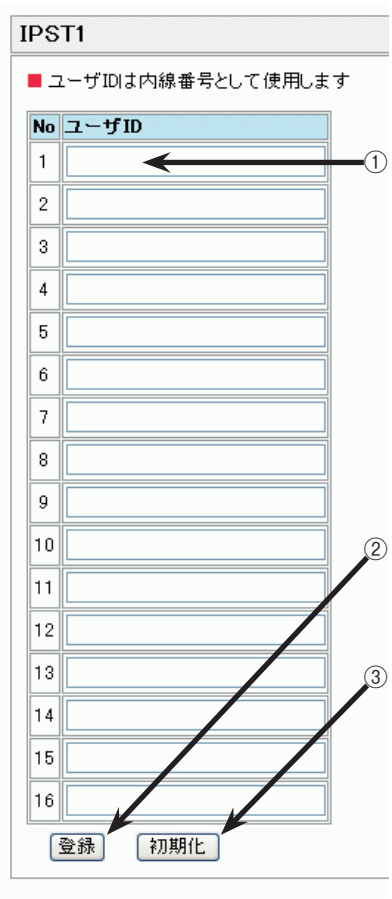


<3> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ OK ボタンをクリックしてください。

(4) SIP 端末利用時の設定

<1> 主装置にて SIP 端末の接続設定を行う。

[1] 主装置 Web 設定画面左端のリストの SIP 端末登録 をクリックすると【SIP 端末登録】画面が表示されます。



[2] あらかじめ SIP 端末用に利用する内線番号を主装置プログラム設定「P201 内線番号指定」にて指定しておきます。(ボタン電話機の操作で変更します。)

※ IP 端末接続ユニットに割り当てられている実装番号は下記の【IP 端末接続ユニットに割り当てられている実装番号一覧表】をご覧下さい。

[3] IP 電話機を実装する台数分の内線番号をユーザ ID として① ユーザ ID 入力欄 に半角で入力した後、② 登録 ボタンを押します。入力欄左端の No. と端末実装番号の関連は、下記の【IP 端末接続ユニットに割り当てられている実装番号一覧表】をご覧ください。

※ 登録可能なユーザ ID は、159 ページの【IP 端末接続ユニットに登録可能なユーザ ID】をご覧ください。

※ 登録に失敗した場合、入力中の値をご確認下さい。または SIP 端末登録 をクリックし、設定を再表示させ再度登録操作を行ってください。

※ Pro 主装置において内線番号桁数が 2 桁の場合、No.31、No.32 には登録できません。

※ 本設定に従って P201 内線番号設定も入れ替わり、プログラム設定「P201 内線番号指定」が変更されます。

※ ユーザ ID が未登録の場合、プログラム設定の「P201 内線番号設定」を変更しても、ユーザ ID は何も変化しません。

ユーザ ID が登録済みの場合、「P201 内線番号設定」を変更するとユーザ ID も入れ替わります。

※ システムがアイドル状態になると IP 端末接続ユニットが再起動します。ユニットが起動するまでしばらくお待ちください。システムがアイドルになるまで「プログラム設定データ　登録中」画面がボタン電話機の 1 行目に表示され、仮登録状態を保持します。

※ ユーザ ID を未登録にする場合は、ユーザ ID を消去した後、登録ボタンを押してください。

※ ③ 初期化 ボタンは、全てのユーザ ID を消去する際に利用します。

※ ユーザ ID は CF へのデータ書き込み時、プログラム設定として保存されます。

【IP 端末接続ユニットに割り当てられている実装番号一覧表】

IPST1

NO.	HM700Pro	HM700Std
1	実装番号 51	実装番号 11
2	実装番号 52	実装番号 12
3	実装番号 53	実装番号 13
4	実装番号 54	実装番号 14
5	実装番号 55	実装番号 15
6	実装番号 56	実装番号 16
7	実装番号 57	実装番号 17
8	実装番号 58	実装番号 18
9	実装番号 59	実装番号 19
10	実装番号 60	実装番号 20
11	実装番号 61	実装番号 21
12	実装番号 62	実装番号 22
13	実装番号 63	実装番号 23
14	実装番号 64	実装番号 24
15	実装番号 65	実装番号 25
16	実装番号 66	実装番号 26

IPST2

NO.	HM700Pro
17	実装番号 67
18	実装番号 68
19	実装番号 69
20	実装番号 70
21	実装番号 71
22	実装番号 72
23	実装番号 73
24	実装番号 74
25	実装番号 75
26	実装番号 76
27	実装番号 77
28	実装番号 78
29	実装番号 79
30	実装番号 80
31	実装番号 81
32	実装番号 82

【IP 端末接続ユニットに登録可能なユーザ ID】

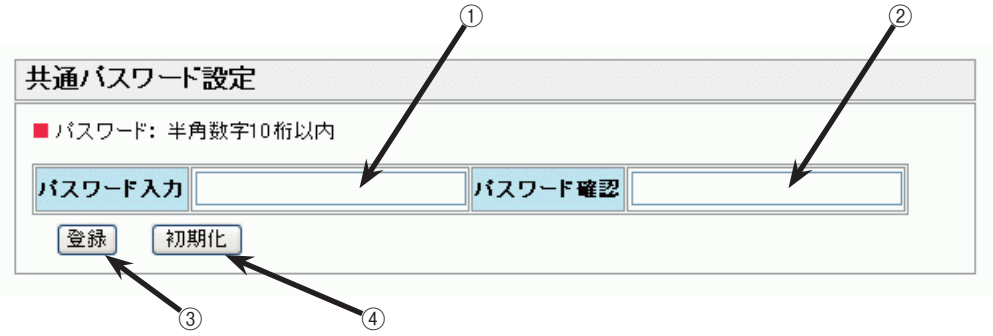
※ 以下の表は「P 201 内線番号指定」を変更していないときの内容です。

HM700Pro	「P061 内線番号桁数指定」が 2 桁の場合	P061 内線番号桁数指定」が 3 桁の場合
IPST1 (IP 端末接続ユニット 1)	60 ～ 75 ・実装番号 51 ～ 66 に登録されている内線番号 ・どの実装番号にも登録されていない内線番号	150 ～ 165 ・実装番号 51 ～ 66 に登録されている内線番号 ・どの実装番号にも登録されていない内線番号
IPST2 (IP 端末接続ユニット 2)	76 ～ 89 ・実装番号 67 ～ 80 に登録されている内線番号 ・どの実装番号にも登録されていない内線番号 ※「P061 内線番号桁数指定」が 2 桁の場合、実装番号 81、82 はご利用できません。	166 ～ 181 ・実装番号 67 ～ 82 に登録されている内線番号 ・どの実装番号にも登録されていない内線番号

HM700Std	「P061 内線番号桁数指定」が 2 桁の場合	P061 内線番号桁数指定」が 3 桁の場合
IPST1 (IP 端末接続ユニット 1)	20 ～ 35 ・実装番号 11 ～ 26 に登録されている内線番号	110 ～ 125 ・実装番号 11 ～ 26 に登録されている内線番号

[4]【SIP 端末登録】画面下部の【共通パスワード設定】にて共通パスワードを任意の半角数字 10 桁以内で設定します。

[5] ① パスワード入力 に入力した内容と同じパスワードを② パスワード確認 にも入力し、③ 登録 ボタンを押してください。



※ システムがアイドル状態になると全ての IP 端末接続ユニットが再起動します。ユニットが起動するまでしばらくお待ちください。
システムがアイドルになるまでは「プログラム設定データ 登録中」画面がボタン電話機の 1 行目に表示され、仮登録状態を保持します。

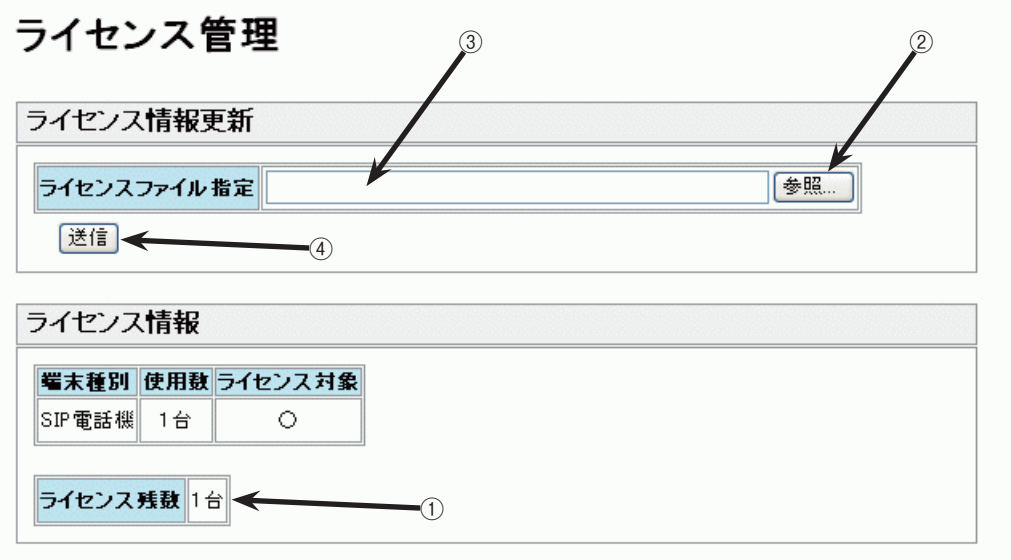
※ ④ 初期化 ボタンは、パスワードを消去する際に利用します。

※ 共通パスワードは CF へのデータ書き込み時、プログラム設定として保存されます。

<2> ライセンスの設定を行う。

※ 本装置の初期ライセンス台数（２ライセンス）を超えて SIP 端末を接続する際には、追加の接続ライセンス契約を行い、主装置に読み込ませるためのライセンスファイルをご用意いただく必要があります。

[1] 主装置 Web 設定画面左端のリストの ライセンス管理 をクリックすると【ラインセンス管理】画面が表示されます。



[2] 現在の① ライセンス残数 を確認してください。

[3] ② 参照 ボタンを押しライセンスファイルを選択します。

[4] ③ ライセンスファイル指定 にファイルのパスが表示されたことを確認した後、④ 送信 ボタンを押してください。

[5]【ライセンス管理】画面下部の【ライセンス情報】にてライセンス数が正しく更新されたことを確認してください。

・ライセンスファイルはライセンス契約を行った主装置に対してのみご利用いただくことができます。紛失した場合は再度手続が必要になります

・主装置の追加ライセンスファイルを CF の DATA フォルダ内に保存しておくと、保守メニュー操作（ライセンス情報更新）によりライセンス数の更新を行うことが可能です。

・主装置のメモリをクリアした場合、ラインセンスファイルを再度主装置に読み込ませる必要があります。

※ ユーザ ID とパスワードが正しく登録されると、内線一覧にて端末の状態を確認することができるようになります。

<3> SIP 端末の接続設定を行う。

※ SIP 端末とアクセスポイントの接続設定はご利用になる SIP 端末とアクセスポイントの取扱説明書を参照下さい。

※ アクセスポイントは IP 端末接続ユニットと同一のネットワーク内に設置する必要があります。

※ SIP 端末と IP 端末接続ユニットの接続設定は別紙の SIP 端末設定マニュアルを参照してください。
別紙の SIP 端末設定マニュアルの入手方法に関しては弊社営業担当にお問い合わせください。

単語	本主装置における意味合い
移動機 SIP アドレス	XXX@XXX. XXX. XXX. XXX. @ の前には SIP 端末のユーザ ID を設定 @ の後には IP 端末接続ユニットの ID アドレスを設定
IP-PBX サーバの IP アドレス	IP 端末接続ユニットの IP アドレス
SIP-URI ドメイン	
Proxy サーバアドレス	
SIP サーバアドレス	
Register サーバの IP アドレス	
レジストラサーバアドレス	
IP-PBX サーバのポート番号	IP 端末接続ユニットの Proxy ポート番号（初期 5060） ※ IPST ユニット内の設定です。
Proxy サーバポート番号	
レジストラサーバポート番号	
SIP ユーザ ID	SIP 端末のユーザ ID
SIP サーバ認証 ID	
SIP パスワード	SIP 端末の共通パスワード ※ 159 ページで登録したパスワードです。
SIP サーバ認証 PW	

※ IPST2 に接続する SIP 端末の場合、IPST2 の IP アドレスおよびポート番号を利用します。

(5) システム間接続利用時の設定

<1> システム間情報ファイルを作成する。

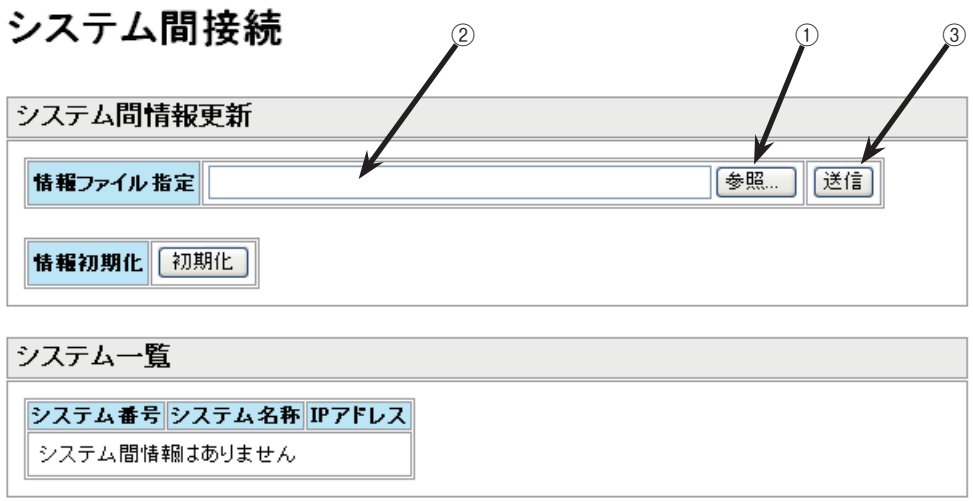
※ システム間情報ファイルの作成方法は別紙のシステム間情報ファイル作成マニュアルを参照してください。
システム間情報ファイル作成ツールおよび別紙のシステム間情報ファイル作成マニュアルの入手方法に関しては弊社営業担当にお問い合わせください。

※ システム番号として 100 以降の番号および 0 はご利用できません。

※ システム間接続を行う場合、接続相手装置のネットワーク接続機器の IP アドレスと重複しないように十分注意してください。

<2> 主装置にてシステム間接続の接続設定を行う。

[1] 主装置 Web 設定画面左端のリストの システム間接続 をクリックすると【システム間接続】画面が表示されます。



[2] ① 参照 ボタンを押しシステム間情報ファイルを選択します。

[3] ② 情報ファイル指定 にファイルのパスが表示されたことを確認した後、③ 送信 ボタンを押してください。

※ システム間接続を行うためには主装置のプログラム設定「P061 内線番号桁数指定」を 3 桁に指定する必要があります。

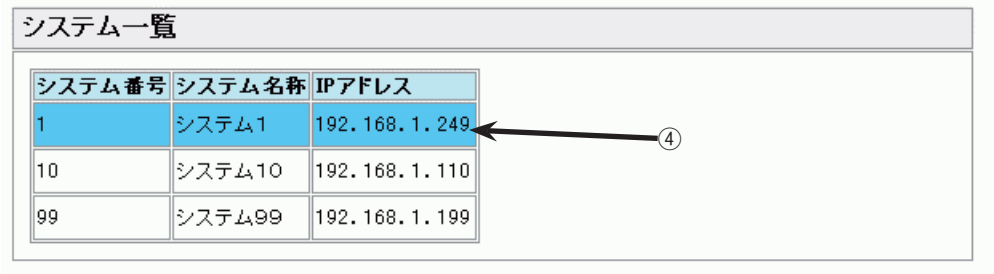
※ システム間情報ファイルを主装置に読み込ませた後、主装置のプログラム設定「P061 内線番号桁数指定」を 2 桁にした場合、システム間情報ファイルは有効になりません。

[4]【システム間接続】画面下部の ④【システム一覧】が正しく更新され、自分のシステムが水色で表示されていることを確認してください。

※ 自分のシステムの IP 端末接続ユニット 1 の IP アドレスと、システム間情報ファイルに登録した IP アドレスが一致している必要があります。

[5] 接続するシステム台数分の設定（手順 [1] ～ [4]）を行います。

※ 全てのシステムに同一のシステム間情報ファイルを読み込ませてください。



※ IP 端末接続ユニットがアイドル状態になると自分のシステムの IP 端末接続ユニットが再起動します。
しばらくお待ちください。

※ システム間情報は CF へのデータ書き込み時、その他設定として保存されます。

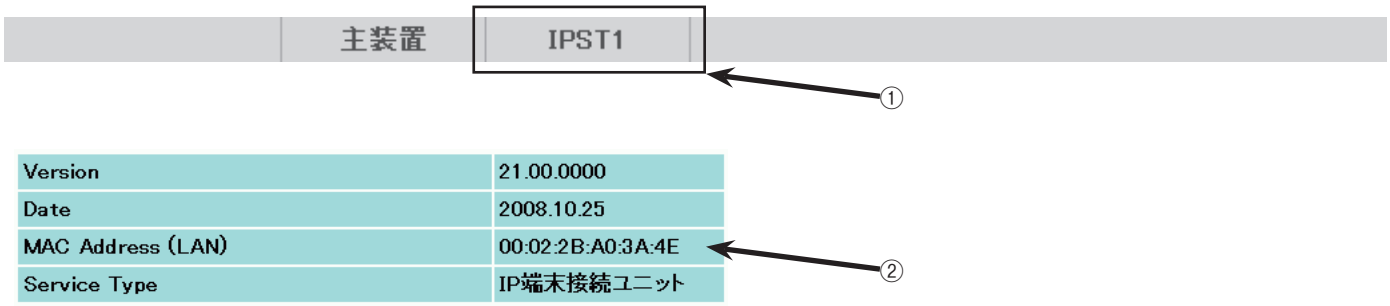
(6) IP 端末接続ユニット（IPST710）の Web 設定

<1> IP 端末接続ユニットの Web 設定を表示する。

[1] 主装置 Web 設定画面上部のリンク① IPST1 をクリックすると IP 端末接続ユニットの Web 画面が表示されます。

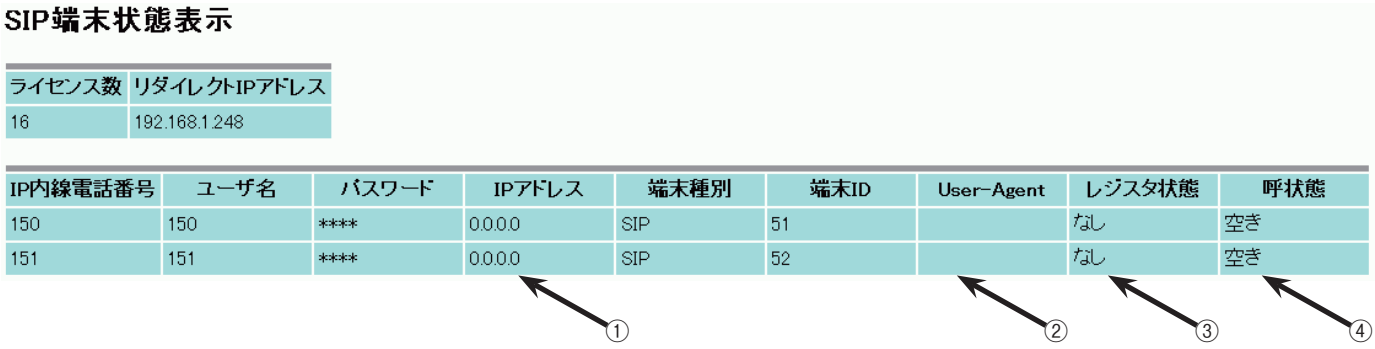
※ メインメニューの右側の画面でユニットの ② MAC アドレスが表示されます。

※ IPST2 の場合、IPST2 をクリックします。（画面上に表示されない場合、該当するユニットが起動していることを確認してください。）



<2> SIP 端末の状態を確認する。

[1] ユニットの画面左端のリストの SIP 端末状態表示 をクリックすると【SIP 端末状態表示】画面が表示されます。



[2] SIP 端末の状態を確認することができます。

[3] SIP 端末がログインすると① IP アドレス と② User-Agent と③ レジスタ状態 が変化します。

※ 端末ログインしているとレジスタ状態に「あり」と表示されます。

※ User-Agent には接続している端末（DoCoMo/x.x N902iL など）が表示されます。

[4] ④ 呼状態 で SIP 端末の呼状態を確認することができます。

※「空き」の他に、「着信中」、「通話中」、「保留中」、「発信中」、「被保留中」が表示されます。

<3> システム間接続の状態を確認する。

[1] ユニットの画面左端のリストの システム間状態表示 をクリックすると【システム間状態表示】画面が表示されます。



[2] システム間情報ファイルが正しく認識されていることを確認することができます。

※ 相手システムの接続状態に関わらずレジスタ状態はありになります。

※ システム間情報が表示されない場合、以下の内容を確認してください。

・ 主装置の内線番号桁数が３桁になっている。
・ 主装置の Web 設定にてシステム間情報が正しく表示されている。
・ 現在 Web 画面から確認可能な IPST ユニットの MAC アドレスと、主装置のボタン電話機からの保守メニューで確認可能な IPST の MAC アドレスが一致している。一致していない場合、他のシステムに搭載されている IPST の Web 画面を開いている可能性があります。

※ 操作方法は「27保守メニュー」を参照してください。

※ ① User-Agent には何も表示されません。

※ ② レジスタ状態 には「あり」が表示されます。

<4> 自動バージョンアップ設定

[1] ユニットの画面左端のリストの 自動バージョンアップ設定 をクリックすると【自動バージョンアップ設定】画面が表示されます。



■自動バージョンアップ設定	
自動バージョンアップ機能	自動バージョンアップ機能を使用する場合は有効、使用しない場合は無効を選択してください。
取得間隔	サーバにバージョンアップの問い合わせを行う日にちの間隔を入力してください。
取得開始時間	サーバにバージョンアップの問い合わせを行う時刻を入力してください。
サーバアドレス	自動バージョンアップ機能を行う相手先サーバアドレスを入力します。

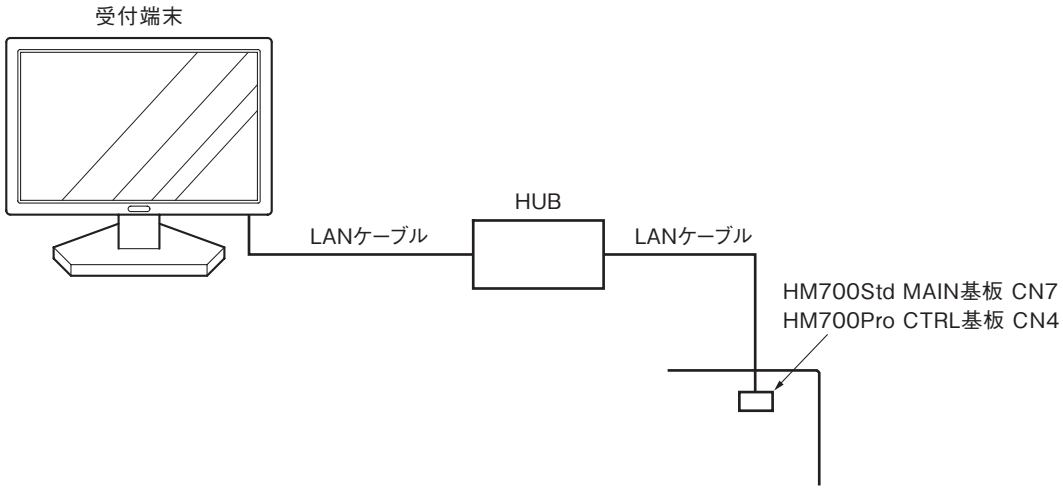
※ 設定の変更を行う場合は、必要な項目を変更後、① 設定 ボタンをクリックし、ユニットの画面左端のリストの 設定データ保存 をクリックしてください。

※ 自動ファームアップは、設定された取得開始時間から２時間以内に実行されます。

※ 毎日主装置の電源を OFF にするユーザの場合、取得間隔は「１日」に設定してください。取得開始時間は、主装置の電源を OFF にする２時間以上前に設定してください。

19 受付システム（WelGuide）の接続

【接続方法】
受付システムは本システムと LAN 接続することにより利用できます。



【設　定】
（1）発信元電話機に関する設定
● 発信元電話機は発信専用端末に設定することをお推めします。
※ 多機能電話機 /CL620 電話機 /WS600 子機 /DC600 電話機の場合、キーロック状態にします。

No	設定項目	内容	データの意味 （下線は初期値を表す）	推奨値
P203	電話機グループ呼出指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）に、電話機グループ呼出を行うときのグループを指定する。 ※自営標準、SLI、IP 電話機は鳴動しない。	0：無所属　5：グループ E 1：グループ A　6：グループ F 2：グループ B　7：グループ G 3：グループ C　8：グループ H 4：グループ D　9：グループ I 初期： 電話機標準ポート（グループ A） 初実装 SLI（グループ A）、PS 電話機（無所属）、IP 電話機（グループ A） ※同一グループに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。	グループ呼出ができない電話機グループに変更します。 ※「無所属」を推奨
P214	ドアホン着信自動応答指定	ドアホンごとに、ドアホンから着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる電話機（初実装 SLI、PS 電話機を含む）を指定する。 ※指定に関係なく自営標準、SLI の場合は「有」で動作する。 ※多回線 PS（PS601 など）の場合は、通話ボタンを押すだけで応答できるかどうかを指定する。 ※自営標準、SLI への指定は無効。	数字：有 “–”：無	着信に自動応答できないように変更します。
P215 P216 P217	ドアホン着信音鳴動指定（昼） ドアホン着信音鳴動指定（夜間 A） ドアホン着信音鳴動指定（夜間 B）	ドアホンごとに、各モード（昼、夜間 A、夜間 B）のときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）を指定する。 ※多回線 PS（PS601 など）の場合、指定を「鳴動なし」にすると、着信時にオートボタン（内線特番ドアホンモニタが設定されているオートボタン）のみ点滅する。	数字：鳴動あり “–”：鳴動なし 初期： P215 の場合、電話機標準ポート（鳴動あり）、P216 と P217 の場合、実装番号 01、02 のみ（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動なし）、PS 電話機（鳴動なし）、IP 電話機（鳴動なし） ※同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。 ※フラッシュボタンによる指定の一括反転操作は無効。	着信音が鳴動しないように変更します。

<table>
<tr><th>No</th><th>設定項目</th><th>内容</th><th>データの意味
（下線は初期値を表す）</th><th>推奨値</th></tr>
<tr><td>P401</td><td>電話機の所属テナント指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録を含む）に、所属するテナントを指定する。</td><td><u>1：テナント1</u>
2：テナント2
3：テナント3
4：テナント4</td><td rowspan="4">通常使用しないテナントに変更します。
※テナント2～4のいずれかを推奨</td></tr>
<tr><td>P402</td><td>テナント外線ボタン割付指定</td><td>各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。</td><td>0：オートダイヤル
1：外線（局線／ ISDN）
2：VoIP（内蔵／外付けアダプタ）
3：PBX 内線
4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ）
5：PHS（外付けアダプタ）
6：ナースコール（外付けアダプタ）
初期：
テナント1：
外線番号 01 ～ 12：1（外線）
外線番号 13 ～ 30：0（オートダイヤル）
テナント2～4：全て：0（オートダイヤル）</td></tr>
<tr><td>P404
P405
P406</td><td>テナント2外線発信時の収容外線指定
テナント3外線発信時の収容外線指定
テナント4外線発信時の収容外線指定</td><td>各テナントの外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。
※1つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。</td><td><u>数字：許可しない</u>
“–”：許可する</td></tr>
<tr><td colspan="4">※ P402 テナント外線ボタン割付指定で「1:外線（局線／ ISDN）」もしくは「3:PBX 内線」に指定されている外線ボタンには HM700Pro の場合は収容外線 01 ～ 12、HM700Std の場合は収容外線 01 ～ 04 のみ指定可。
※ P402 テナント外線ボタン割付指定で「2：VoIP（内蔵／外付けアダプタ）」もしくは「4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ）」に指定されている外線ボタンには HM700Pro の場合は収容外線 01 ～ 12、HM700Std の場合は収容外線 01 ～ 04（外付けアダプタ）、HM700Pro の場合は収容外線 13 ～ 44、HM700Std の場合は収容外線 05 ～ 36（内蔵）が指定可。</td></tr>
</table>

(2) 相手先電話機に関する設定

● 相手先が内線や他システム内線の場合、その電話機が使用中でも他の電話機へ呼び出しができるように、転送設定をすることをお推めします。

※ 相手先電話機に話中／不応答転送設定、内線代表設定にします。

● 相手先が内線や他システム内線の場合は、電話機でスピーカ受話状態にならない設定にすることをお推めします。

※ 内線呼出しは信号呼設定にします。

No	設定項目	内容	データの意味 （下線は初期値を表す）
P001	2：一斉／グループ呼出指定	一斉呼出またはグループ呼出を行うときに「音声」で呼び出すか「信号音」で呼び出すかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機の場合は信号音での呼び出しになる。 ※ SLI、IP 電話機は鳴動しない。	<u>数字：音声呼</u> “–”：信号呼
P202	内線代表番号指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）に、内線呼出されたときに話中の場合、次に呼び出す電話機を内線番号で指定する。	10 ～ 89 の範囲で指定。 100～899の範囲で指定。(内線3桁モード時) 初期：指定なし
P231	内線呼出優先順位指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、内線で呼び出されるとき、「音声」で呼び出されるか「信号音」で呼び出されるかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機、自営標準、SLI の場合は信号音での呼び出しになる。 ※ DC 子機、自営標準、SLI への指定は無効。 ※ IP 電話機は常に信号呼。	数字：音声呼 “–”：信号呼 初期： 電話機標準ポート（音声呼） PS 電話機（信号呼）

20 緊急地震速報の設定

● 緊急地震速報を利用する場合、プロバイダに接続してホームページの閲覧などのインターネットが利用できる環境が必要です。その場合、VoIP ユニット（IPFU710、IPNT710、IPHO710 のいずれか）、ブロードバンドルータユニット（IPR700）または、VPN ルータ（推奨品：ヤマハ製 RT107e）が必要となります。

● 緊急地震速報を利用する場合の「ユーザー登録」について

	主装置	概　　要	
※1	V1.0 V1.1 V1.2	緊急地震速報を利用する前に主装置の「ユーザー登録」を行ってください。	既に「ユーザー登録」が完了している場合でも、再度「ユーザー登録」が必要です。
	V1.3 以降		既に「ユーザー登録」が完了している場合は、再度「ユーザー登録」は必要ありません。

※1：V1.0 ～ 1.2 は V1.3 以降にバージョンアップしてから、上記内容を行ってください。

(1) 設定前に用意するもの

① パソコン　：Windows® XP/Vista の OS の OS を搭載したもの、およびパソコンと装置を接続するためのカテゴリー 5 の LAN ケーブル
② 設定ソフト：Microsoft Internet Explorer® Ver6.0（以降 IE6.0）以上の Web ブラウザ

(2) LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルの接続およびインターネットへの接続は、本工事マニュアルの 16「ブロードバンドルータユニットの設定」（118 ページ）または 17「VoIP ユニットの設定」（126 ページ）を参照ください。

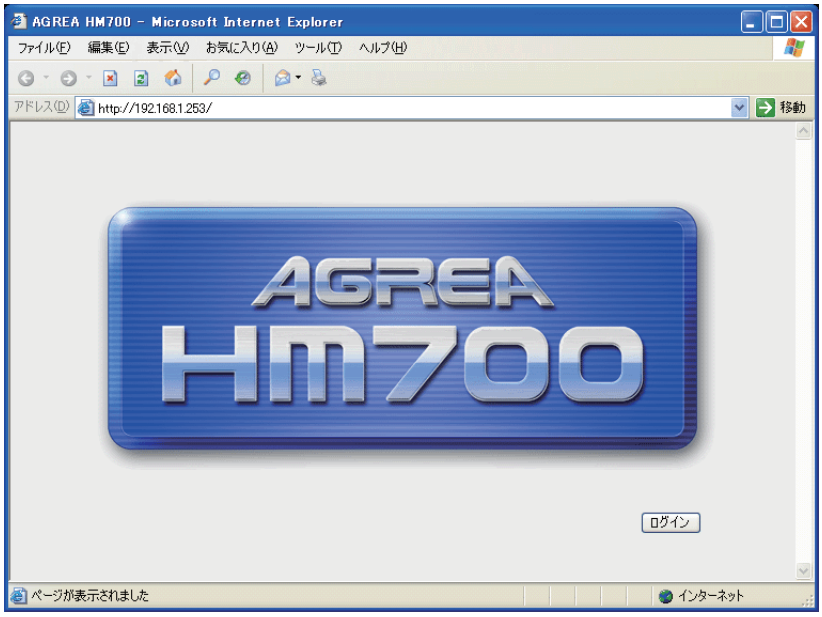
(3) 緊急地震速報の Web 設定を行うためのパソコンの準備

Web 設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。
① LAN アダプタが正常に動作すること。
② TCP/IP プロトコルがインストールされていること。
③ IP アドレスを自動的に取得できるように設定していること。
④ Web ブラウザがインストールされていること。
⑤ ブラウザ設定で、プロキシを設定していないこと。

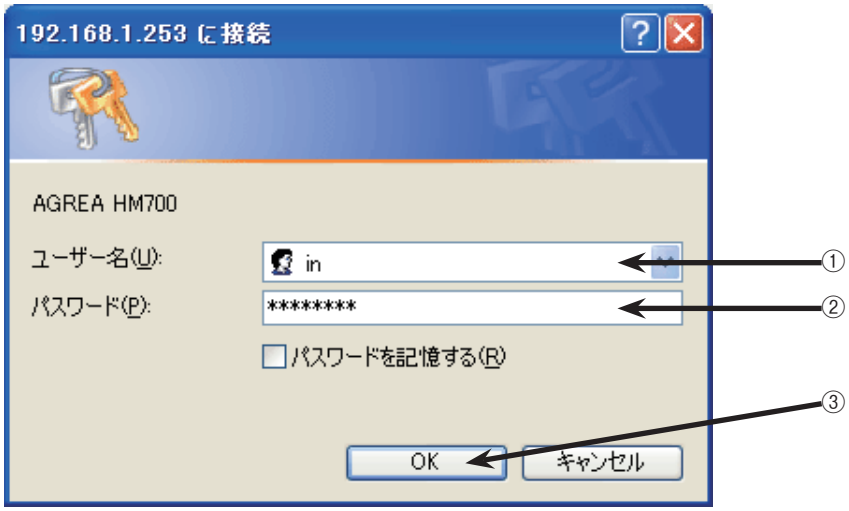
(4) 緊急地震速報の Web 設定

前項の準備が終了した後、Web ブラウザを起動します。以降の画面はブラウザが IE6.0、主装置が Pro の場合です。

<1> ブラウザアドレスを入力する欄に主装置のデフォルト IP アドレス「http://192.168.1.253」を入力し、Enter キーを押してください。主装置の初期画面が表示されます。



<2> ログイン ボタンをクリックすると、主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。



<3> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ OK ボタンをクリックしてください。

<4> 主装置 Web 設定画面左端のリストの 緊急地震速報 をクリックすると【緊急地震速報】の画面が表示されます。



緊急地震速報に関する主装置 Web 設定の内容を以下に記述します。

＝ 地震速報受信設定 ＝

設定項目	説　　明
受信動作	緊急地震速報をサーバから受信するかどうかの設定です。 受信する場合は「ON」を選択します。
エリアコード	主装置を設置した地域の番号を入力します。 入力可能なエリア番号は、28「緊急地震速報のエリアコード一覧」（468 ページ）をご覧ください。 またエリア番号に『東京都 23 区』の番号を指定した場合には、設置した場所に合わせた区番号を入力してください。
受信ポート番号	サーバとの接続に使用するポート番号の設定です。 初期「60050」のまま変更する必要はありません。
接続チェック間隔	サーバと接続後、定期的に接続が継続しているかどうかチェックする間隔を指定します。 初期「120 秒」のまま変更する必要はありません。
許容震度	設定した震度以上の速報データをサーバから受信した場合、緊急地震速報機能が動作します。 初期から変更する場合は、震度「4」以上を設定してください。（地震速報は震度「4」以上を配信します。）

(5) 主装置の設定

緊急地震速報に関する主装置の設定を以下に記述します。

No.	設定項目		内　　容	データの意味(下線は初期値を表す)
P243	地震速報動作指定		電話機ごとに、地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：指定あり “－”：指定なし
P519	地震速報システム設定	1：地震速報夜間A動作指定	夜間モード（夜間A）に、地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：動作する “－”：動作しない
		2：地震速報夜間B動作指定	夜間モード（夜間B）に、地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：動作する “－”：動作しない
		3：外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）	昼間モードのときに外部スピーカで地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
		4：外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間A）	夜間モード（夜間A）のときに外部スピーカで地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
		5：外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間B）	夜間モード（夜間B）のときに外部スピーカで地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
		6：未使用		
		～		
		0：未使用		
P520	外部スピーカ　地震速報警報鳴動テナント指定		外部スピーカから緊急地震速報音を鳴動させる場合、どのテナントの夜間モード（昼／夜間モードA／夜間モードB）に従うかを指定する。	1：テナント1　3：テナント3 2：テナント2　4：テナント4
P521	外部スピーカゲイン2指定(地震)		緊急地震速報音の外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。	0：－12dB　5：＋3dB 1：－9dB　6：＋6dB 2：－6dB　7：＋9dB 3：－3dB　8：＋12dB 4：0dB

21 誤動作防止機能

(1) 誤動作防止機能について

初実装または内線増設ユニット（8ST700）の専用電話機接続用端子板または端子箱に一定時間（※ 1）電話機が接続されていないと、誤動作防止機能が自動的に働きます。
誤動作防止機能が自動的に働くのは、多機能電話機、CL620 電話機、WS600 電話機、DC600 電話機、WS250 電話機です。
この機能が働くと電話機を専用電話機接続用端子板または端子箱に接続しても動作しません。
電話機をご使用になりたいときは、主装置の電源スイッチをいったん切るか、他の電話機から解除操作を行ってください。
※1:電源スイッチを入れてから約24時間または､電話機を端子箱から外して24時間以上経過すると誤動作防止機能が働きます。



(2) 誤動作防止機能の解除のしかた

メニューの内線一覧から解除します。
誤動作防止機能の解除は多機能電話機、CL620 親機のみ操作できます。

① ● を押す。

② ◇ を押して［内線一覧］を選択し、● を押す。

③ ◇ を押してご使用になりたい内線番号を選択し、● を押す。

④ ◇ を押して［子機給電］を選択し、● を押す。

⑤ ◇ を押して［はい］を選択し、● を押す。

22 停電用電源の接続

※ 主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント（AC100V）から抜いて工事をしてください。
※ 停電用電源は、23 停電時の動作（176 ページ）の「停電用電源仕様」に記載のバッテリーをご利用ください。
※ 停電用電源の交換は、２個同時に行ってください。（新・旧１個ずつの接続は不可）

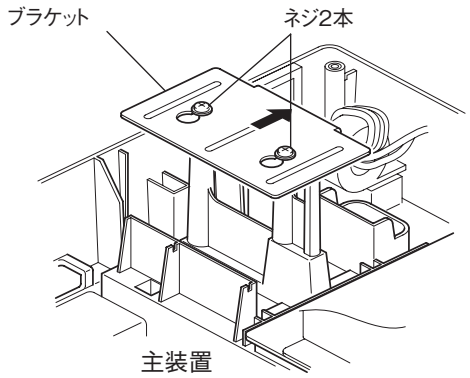
▶（1）主装置に内蔵タイプ

接続は、下記の手順で行います。
※ 接続する停電用電源（FML1208 または相当品）は、同一メーカのものを２個一組で使用してください。
※ 停電用電源は、必ず２個接続してください。

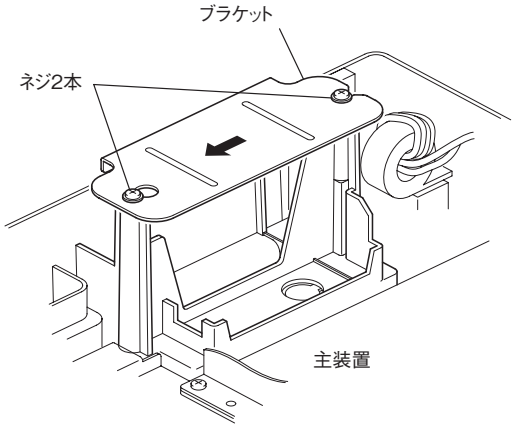
主装置への接続方法

① ブラケット固定用のネジ２本を緩め、ブラケットを矢印の方向にスライドさせてから外します。

HM700Std の場合

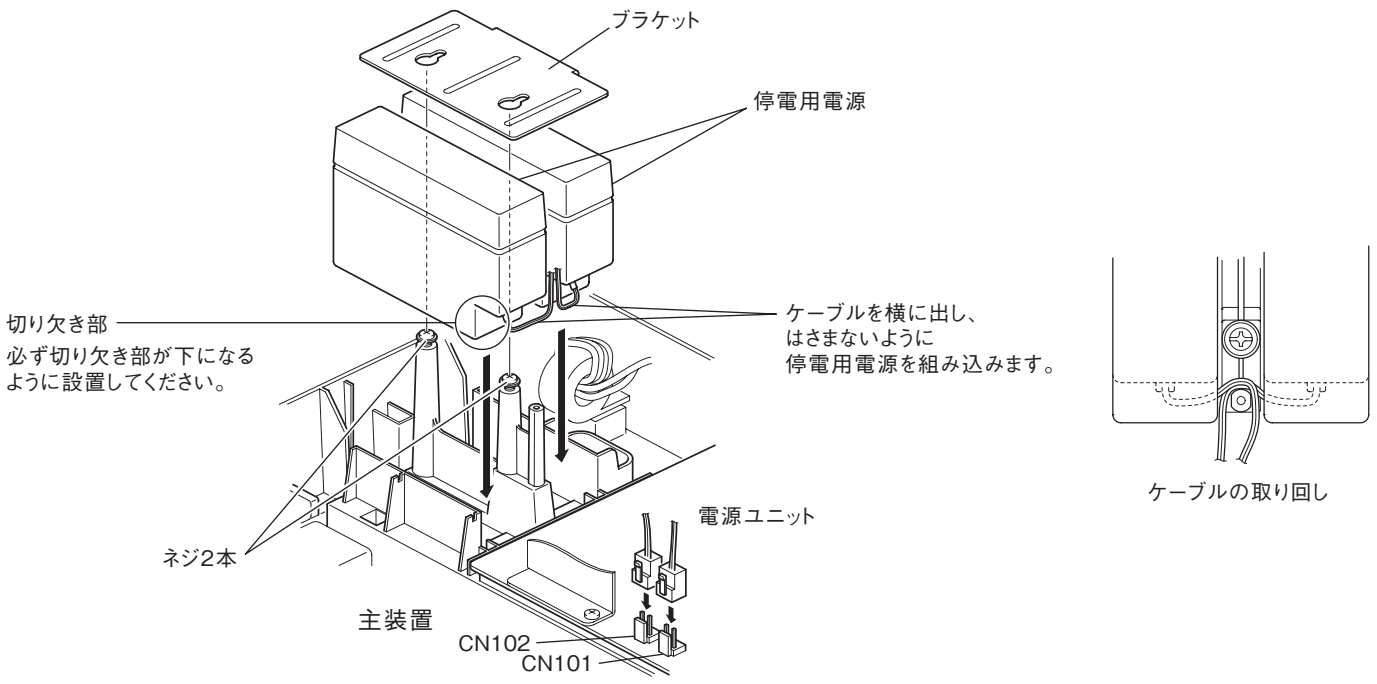


HM700Pro の場合

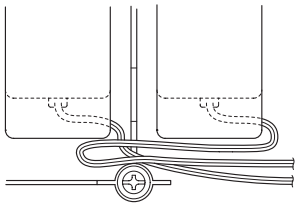


② 停電用電源のケーブルを電源ユニットの CN101、CN102 に接続します。
③ 停電用電源を主装置に組み込みます。
④ ブラケットをネジ２本で元の位置に固定します。

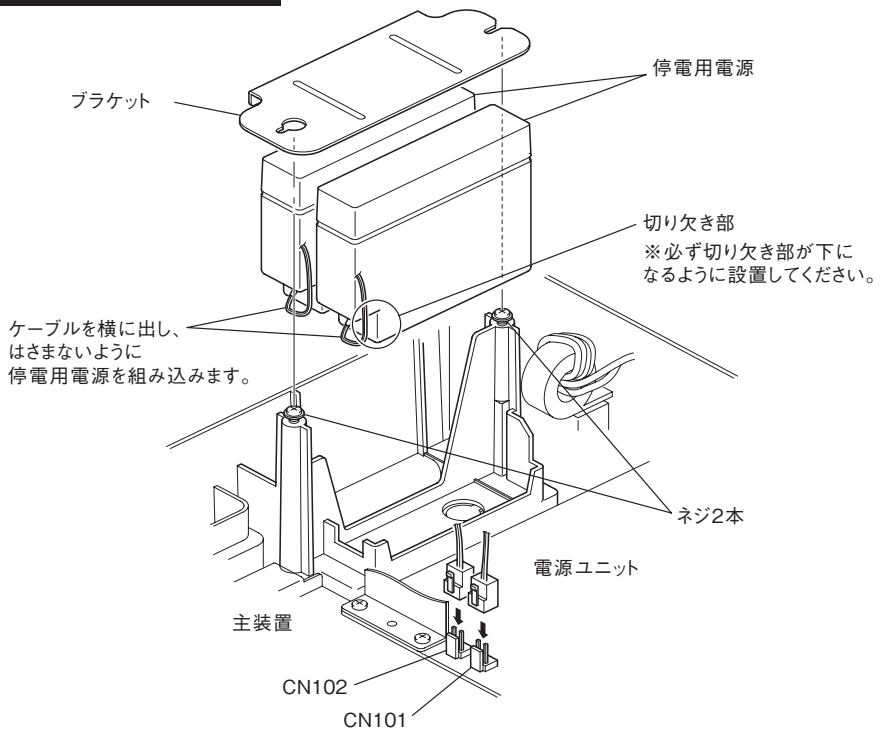
HM700Std の場合



HM700Pro の場合



ケーブルの折り返し



ご注意

● **停電用電源は、天地を逆に設置しないでください。**
(停電用電源が劣化します)

⚠ 危険

⃠ 停電用電源は絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。

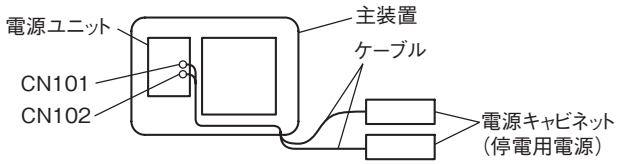
❗ 停電用電源の極性・配列を間違えないように設置してください。誤った接続をした場合、爆発・発火の危険があります。

▶ (2) 主装置に外付けタイプ

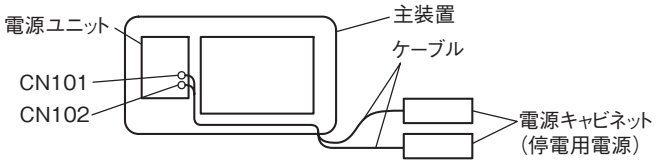
停電用電源（FML1270 または相当品）は、電源キャビネットに収納し、ご利用ください。
※ 停電用電源は、必ず同一メーカーのものを２個一組で接続してください。
※ 電源キャビネット１個で停電用電源を１個収納できます。

● 電源キャビネットのケーブルを電源ユニットの CN101、CN102 に接続します。

HM700Std の場合



HM700Pro の場合

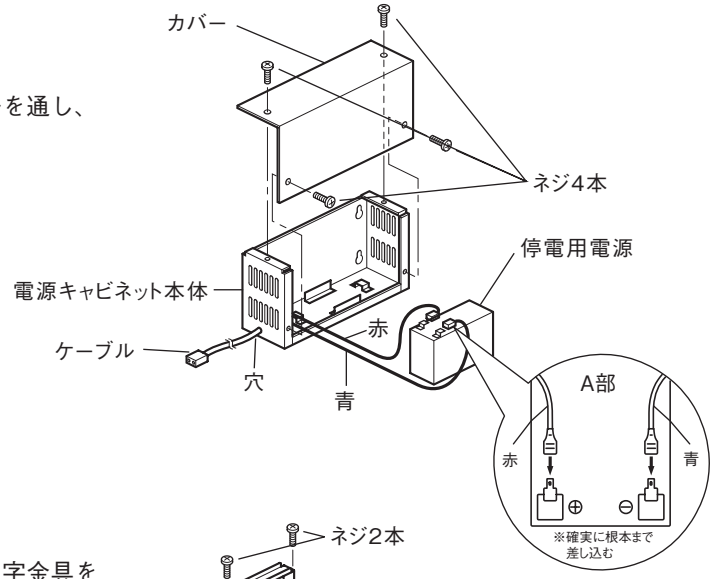


※ 電源キャビネットに付属のケーブルが短い場合は別売品のケーブル（3m）をご利用ください。

電源キャビネットへの収納方法

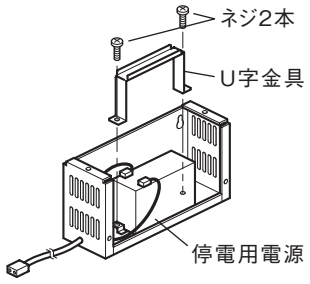
① カバーのネジ４本を外し、カバーを外します。
② 電源キャビネット本体左側の穴から付属のケーブルを通し、
停電用電源 A 部に接続します。
※接続は、極性にご注意ください。

停電用電源		ケーブル色
極性	（＋）	赤
	（－）	青

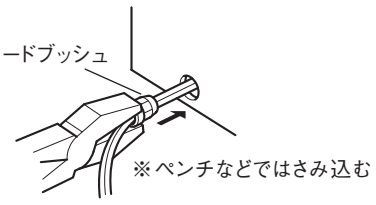


※ショートさせないように注意

③ 停電用電源を電源キャビネット本体に組み込み、U 字金具を
ネジ２本で固定します。

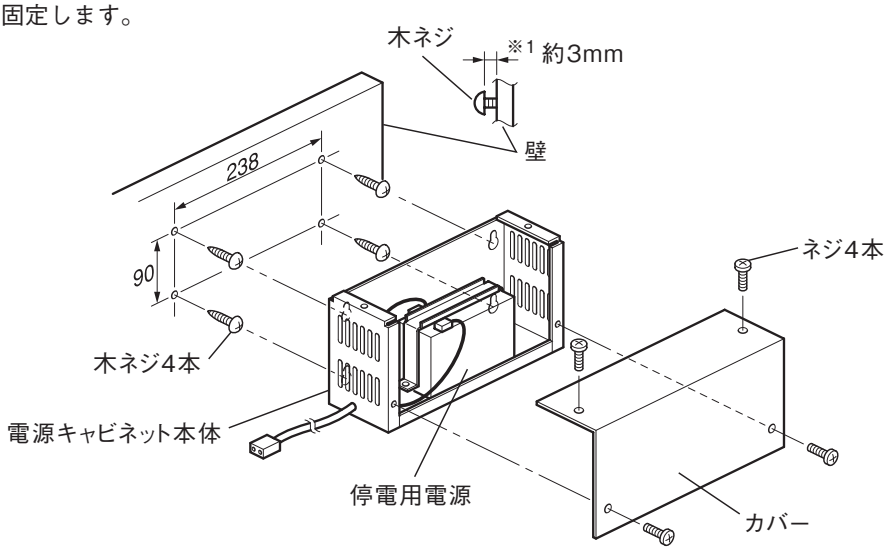


④ 付属のコードブッシュで、ケーブルを固定します。
⑤ カバーをネジ４本で固定します。



● 壁掛用として使用するときは、電源キャビネットに付属の木ネジ４本で壁に取り付けます。
※土壁、ボードへの取り付けは、電源キャビネットが落下しやすいのでおやめください。

① 壁に付属の木ネジ４本を取り付けます。
そのとき、木ネジの首下を壁より約 3mm※1 残してください。
② 電源キャビネット本体を木ネジにはめ込み、木ネジ４本で固定します。
③ カバーをネジ４本で元の位置に固定します。



ご注意

● **停電用電源は、天地を逆に設置しないでください。**
(停電用電源が劣化します)



⚠ 危険

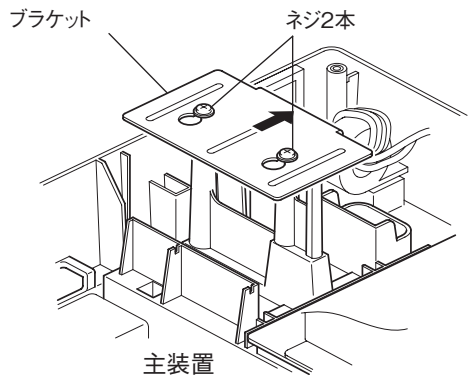
⃠ 停電用電源は絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。

❗ 停電用電源の極性・配列を間違えないように設置してください。誤った接続をした場合、爆発・発火の危険があります。

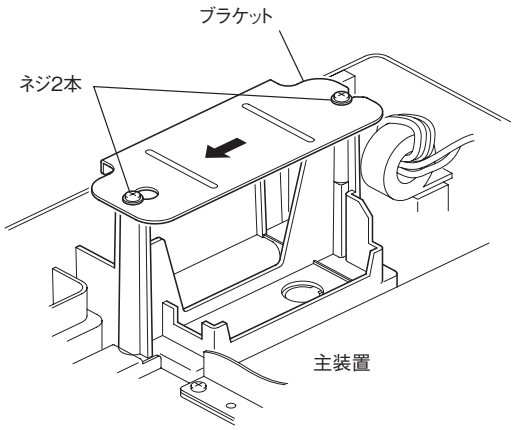
主装置への接続方法

① ブラケット固定用のネジ２本を緩め、ブラケットを矢印の方向にスライドさせてから外します。

HM700Std の場合

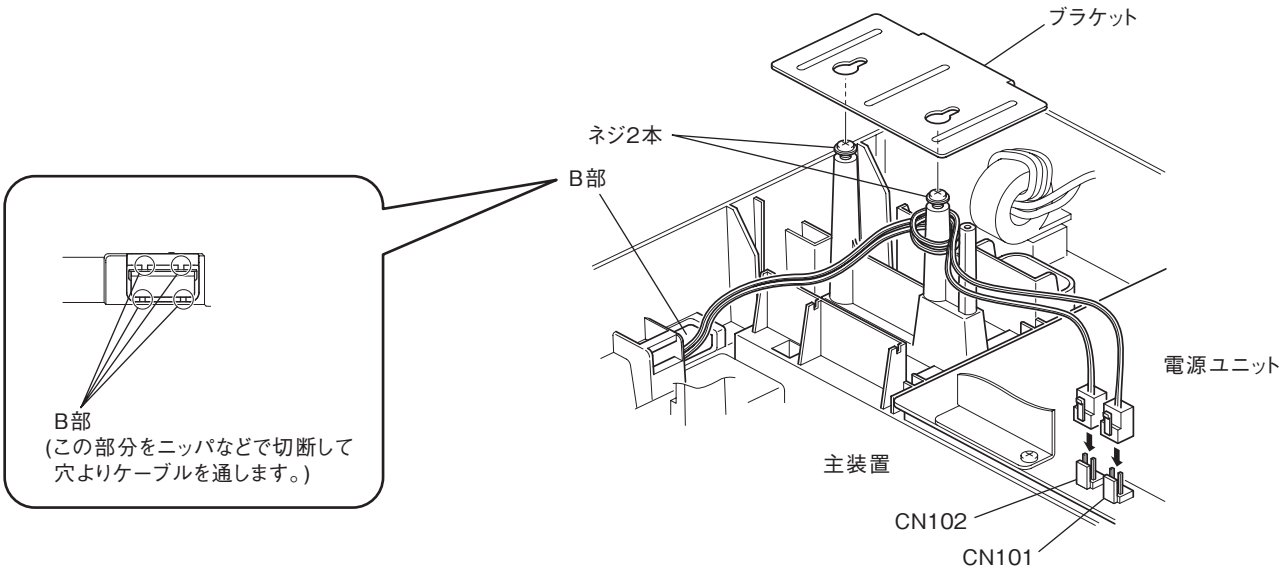


HM700Pro の場合

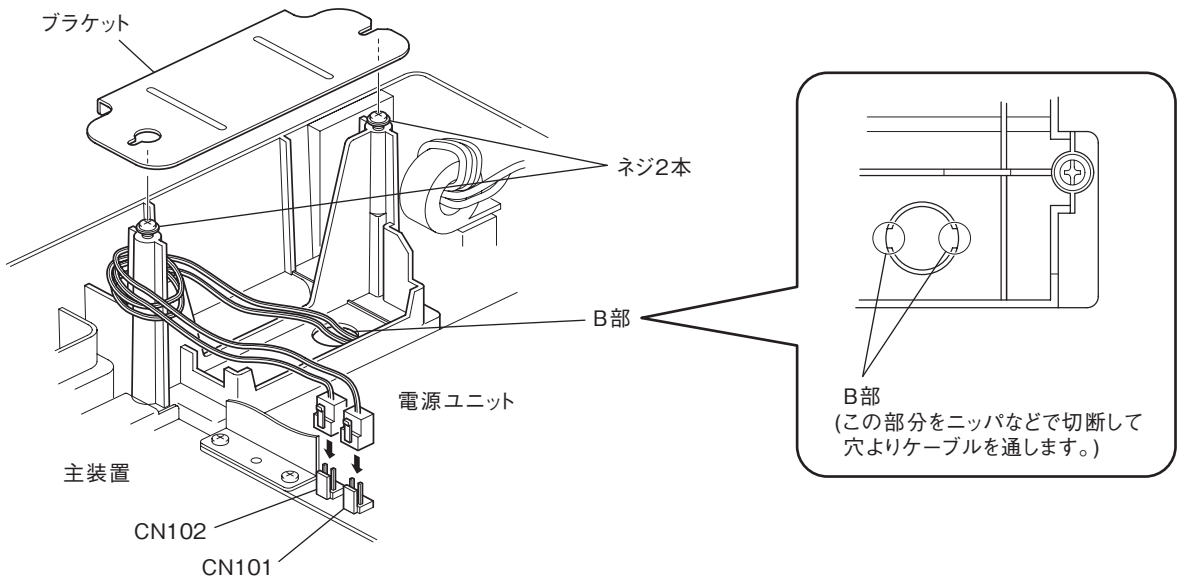


② B 部からケーブルを通し、ボスに２～３回巻き付け電源ユニットの CN101、CN102 に接続します。

HM700Std の場合



HM700Pro の場合



③ブラケットをネジ２本で元の位置に固定します。

23 停電時の動作

▶停電用電源がある場合

● 停電用電源が接続してあると、停電になっても通常と同様に全電話機が使用できます。
※ ブロードバンドルータユニット [IPR700] と VoIP ユニット [IPFU710/IPNT710/IPHO710]、IP 端末接続ユニット [IPST710] は使用できません。
※ プログラム設定で、バッテリパワーセーブモードに設定できます。（実装番号 01、02 の電話機のみ使用できます。ただし通話中の電話機は通話終了まで使用できます）
※ バッテリパワーセーブモード設定時は、実装番号 01、02 に TD、IPF、APF 電話機などの有線電話機を接続してください。

停電用電源仕様

電源の型番	電源の種類	満充電時間	使用可能時間の目安		寿命による交換時期の目安	収納方法	使用個数
			HM700Std	HM700Pro			
FML1208（古河電池） NP0.8-12(GS YUASA)	鉛蓄電池	約 20 時間	約 20 分 （バッテリパワーセーブモード 約 65 分）	約 7 分 （バッテリパワーセーブモード 約 60 分）	約 3 年	主装置に内蔵	いずれかを 2 個
FML1270（古河電池） NP7-12(GS YUASA)		約 80 時間	約 6 時間 （バッテリパワーセーブモード 約 17 時間）	約 2 時間 （バッテリパワーセーブモード 約 11 時間）	約 2 年	主装置に外付け	

※ 内蔵タイプの停電用電源と外付けタイプの停電用電源を同時に接続することはできません。
※ 使用時間はシステム構成や使用環境で大きく変動します。

▶停電用電源がない場合、停電用電源の残量がない場合

停電になると

● デジタル局線、アナログ局線使用中の全電話機の通話が切れます。

停電中は

● デジタル局線に接続されている ADI605（ISDN 停電ユニット）付き TD615 電話機 /TD625 電話機、IPF610（デジタル局線用停電電話機）または、アナログ局線に接続されている ADA605（アナログ停電ユニット）付き TD615 電話機 /TD625 電話機、APF610 電話機（アナログ局線用停電電話機）のみ使用できます。
● 電話をかけるとき（発信）
受話器を上げて、発信音「ツー」を確認してからダイヤルします。
● 電話を受けるとき（着信）
着信音が鳴ったら、受話器をあげて通話します。
● ADA605（アナログ停電ユニット）付き TD615 電話機 /TD625 電話機または APF610 電話機（アナログ局線停電電話機）はアナログ回線の付加サービス（ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイなど）を契約されている場合、応答は最初の着信音鳴動から 6 秒経過後に行ってください。それ以前に応答すると、電話を受けることができないことがあります。

停電復旧すると

● システムは自動的に復旧します。
※ ADI605（ISDN 停電ユニット）付き TD615 電話機 /TD625 電話機、IPF610 または、ADA605（アナログ停電ユニット）付き TD615 電話機 /TD625 電話機、APF610 電話機で通話中のとき、停電から復旧すると通話は切れてしまいます 。

24 HM700Std 主装置のプログラムの設定

24 -1 プログラムの設定

● プログラムの登録はメモリスイッチが「HOLD」側のときのみ設定できます。
● プログラムの登録、確認、および変更は、実装番号１～８に接続された TD・LD・CL（親機）から設定します。また、外線通話中でも設定できます。
● プログラムの登録、更新は、設定方法による操作で仮登録され、すべての電話機が使用されていないときに本登録されます。したがって、仮登録では旧データのままで動作します。
● プログラムの登録・確認・変更中でも、他の電話機の機能はすべて使用できます。

ご注意

● **プログラム設定の前にメモリスイッチを「HOLD」側に切り替えてください。**
● **TD・LD・CL（親機）に「プログラム設定データ　エラー」が表示された場合、プログラム設定に異常が発生しています。この場合、プログラム設定を確認してください。**
※プログラム設定確認後も「プログラム設定データ　エラー」表示が消えない場合はメモリクリアを行ってください。（プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて「初期設定」に戻ります）
● **外来ノイズを受けて電話機が正しく動作しない場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、1 分以上経過後「ON」に戻してください。**
※プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容は、保持されます。

▶ 設定項目

●本装置は、出荷時（初期設定）次のように設定されています。
① 全電話機が、すべての外線に対し発着信ができます。
② すべての外線からの着信に対し、全電話機が着信音鳴動します。
③ すべての外線からの着信に対し、受話器をあげるだけで着信応答できます。（ダイヤルイン、i・ナンバー、VoIP 着信を除く）
④ 発信者番号通知は、回線の申し込みによります。
※ 初期設定のままでよい場合は、プログラムを変更する必要はありません。

●プログラムは、次のように区分けされています。

プログラム区分	プログラム番号
システム対応	P001 ～ P099
収容外線対応	P101 ～ P111
電話機対応	P201 ～ P243
メニュープログラミング対応	P301 ～ P329
テナント対応	P401 ～ P452
システム対応２	P501 ～ P521

●本装置のユニット構成を変更した場合は、下記メッセージが表示されます。

ユニット構成が変更されました。
【更新】確定【キャンセル】電源 OFF
更新する場合は、プログラム設定の見直しが必要です。

※実装番号１～８に接続された TD・LD・CL（親機）に表示されます。

●プログラム設定一覧

システム対応

プログラム番号			内容
P001	システム設定その1	1	未使用
		2	一斉／グループ呼出指定
		3	共通短縮ダイヤル発信規制解除指定
		4	強制転送指定
		5	自動転送指定
		6	オンフック転送指定
		7	ワンタッチ発信機能指定
		8	通話中の CNG 信号検出継続指定
		9	外線自動選局順位指定
		0	自動 PB 信号切り替え指定
P002	システム設定その2	1	ポーズ時間指定
		2	迷惑電話一覧表示指定
		3	外線発信規制指定 100 番（準特甲、甲）
		4	外線発信規制指定 110 番、119 番（PBX 内準甲）
		5	一般電話機（保留／フッキング）指定
		6	バッテリパワーセーブ指定
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	通話料金表示フォーマット指定
P003	システム設定その3	1	個別着信（DIT）の着信拒否指定
		2	個別着信（DIT）動作指定
		3	未使用
		4	BGM 指定
		5	ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定
		6	着信履歴表示指定（着歴ボタン）
		7	システム着信履歴表示指定（メニュー）
		8	アナログ外線の発信電話番号切替指定
		9	オンフックリモート転送指定
		0	CNG 信号検出中の着信音鳴動指定

システム対応

プログラム番号			内容
P004			保留警報タイマ指定
P005			オートリピートタイマ指定（呼出 / 待ち / 回数）
P006 [A]			フックフラッシュ時間指定
P007			オートリピート発信指定
P008			夜間モード CNG 信号検出指定
P009			コード 0 選局指定
P010			発信選局指定
P011 [A]			PBX 外線発信コード指定
P012			外線通話表示指定
P013			課金係数指定
P014			１××特番登録指定
P015			１××特番ポーズ指定
P016			特定市外発信番号指定 （準特甲の電話機に対してのみ適用する）
P017			外線発信規制番号指定 （特甲以外の電話機に対して適用する）
P018			留守番在宅自動応答時間指定
P019			外線転送自動応答時間指定
P020			NTT 強制接続コード指定
P021	外線転送システム設定	1	外線転送１通知音（転送先）指定
		2	外線転送２通知音（転送先）指定
		3	外線転送３通知音（転送先）指定
		4	外線転送４通知音（転送先）指定
		5	外線転送発信時の ACR 許可指定
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P023			外線転送転送先不応答切断タイマ指定
P024			外線転送終話時コールバック時間指定
P025			外線転送最大通話時間指定
P026			外線自動転送中の着信音鳴動指定
P027	RECシステム設定	1	用件自動消去指定
		2	通話メモ再生指定
		3	迷惑電話登録指定
		4	追っかけ転送発信時の ACR 許可指定
		5	REC お待たせ動作指定
		6	公衆電話迷惑拒否指定
		7	表示圏外迷惑拒否指定
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用

システム対応

プログラム番号			内容
P028			REC 使途指定
P029			留守番機能指定
P030			REC お待たせ時間指定
P031	DR・PGシステム設定	1	外部スピーカ 1 への BGM 送出指定
		2	外部スピーカ 2 への BGM 送出指定
		3	未使用
		4	外部スピーカ呼出時の電話機鳴動指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P032			ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定
P033			ドアホン通話ゲイン指定（送話／受話）
P034			ドアホン着信音周期指定
P035			リレー制御指定
P036			外部スピーカゲイン指定 （外線着信、音声、BGM、威嚇）
P037 [D]	ISDNシステム設定	1	無効サブアドレス指定
		2	発サブアドレス通知指定
		3	経過表示指定
		4	理由表示指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P038 [D]			ISDN 契約者回線番号指定
P039			ダイヤルイン番号指定
P040			ダイヤルイン着信音周期指定
P041			ダイヤルイン着信音種別指定
P042 [D]			グローバル着信ダイレクト自動転送指定
P043			ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定
P044 [D]			グローバル着信ダイレクトリモコン指定
P045			ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定
P046 [D]			グローバル着信擬似コールウェイティング指定
P047			ダイヤルイン着信擬似コールウェイティング指定
P048 [D]			グローバル個別着信（DIT）指定（昼）
P049 [D]			グローバル個別着信（DIT）指定（夜間A）
P050 [D]			グローバル個別着信（DIT）指定（夜間B）
P051 [D]			グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

システム対応

プログラム番号			内容
P052			ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）
P053			ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間A）
P054			ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間B）
P055			ダイヤルイン個別着信（DIT）の遅延応答時間指定
P056			識別グループ着信時の動作指定
P057			内線個別信号呼出音種別指定
P058			グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定
P059			VoIP 外線自動選局禁止番号指定
P060			VoIP 外線アクセス表示指定
P061			内線番号桁数指定
P062			PB 信号送出パターン指定（送出／ポーズ）
P063			話中／不応答転送タイマ指定
P064			IP 電話自動交換グループ指定
P065			外部スピーカ ドアホン着信音鳴動テナント指定
P066 [D]			グローバル着信 CNG 信号検出指定
P067			ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定
P068			CNG 信号検出時間指定
P069			オンフックリモート転送有効時間指定
P070 [D]			CNG 信号検出終了後の開放時間指定
P071			CNG 信号検出禁止番号指定
P072	セーフティシステム設定	1	威嚇警報音の音量指定
		2	通報先終話時の威嚇継続指定
		3	リレー出力タイミング指定
		4	外部スピーカ威嚇音鳴動指定
		5	通報発信時の ACR 許可指定
		6	威嚇時発光指定
		7	威嚇警報音鳴動指定
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P073			モードセット遅延時間指定
P074			威嚇遅延時間指定
P075			威嚇警報音鳴動時間指定
P076			ドア・ページングユニットポート使途指定
P077			ドア・ページングユニットポート対応セーフティグループ指定
P078			通報発信外線強制切断指定
P079			センサ入力信号 ON 確定時間指定
P080			センサ入力信号 OFF 確定時間指定
P081			センサ ON 連続検出回数指定
P082			センサ OFF 確定時間指定
P083			一般電話機着信音周期指定
P084			オフフック内線自動発信遅延時間指定
P085			外線自動転送発信時の動作指定
P086			外線転送通話ゲイン指定
P087			内線保留音源指定
P088			自動 FW 更新定期チェック間隔指定
P089			自動 FW 更新時間指定

システム対応

プログラム番号			内容
P090	リモートコールバックシステム設定	1	リモートコールバック発信回線指定
		2	リモートコールバック PB 未検出時動作指定
		3	リモートコールバック発信時の ACR 許可指定
		4	リモートコールバック着信動作指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P091 [D]			リモートコールバックグローバル着信検出指定
P092			リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定
P093			リモートコールバック検出タイマ指定
P094			リモートコールバック呼出時間指定
P096			リモートコールバックテナント指定
P097			REC 録音時間指定
P098			メール通知指定
P099			パーク保留音源指定

収容外線対応

プログラム番号	内容
P101	外線収容および外線種別指定
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定
P103	NCC 回線指定
P105 [A]	アナログ外線 NTT 付加サービス指定
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定
P107	外線通話ゲイン指定
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定
P109 [A]	アナログ外線着信 CNG 信号検出指定
P110 [A]	アナログ外線キャッチホン契約サービス指定
P111 [A]	リモートコールバックアナログ着信検出指定

電話機対応

プログラム番号	内容
P201	内線番号指定
P202	内線代表番号指定
P203	電話機グループ呼出指定
P204	サービスクラス指定
P205	話中着信指定
P206	外線通話割込指定
P207	通話警告音鳴動指定
P208	ハンズフリー通話制御指定
P209	ヘッドセット接続指定
P210	留守番電話機指定（REC）
P211	オフフック発信指定
P212	発信優先モード指定
P213	一般電話機の種別指定
P214	ドアホン着信自動応答指定
P215	ドアホン着信音鳴動指定（昼）
P216	ドアホン着信音鳴動指定（夜間A）
P217	ドアホン着信音鳴動指定（夜間B）
P218 [D]	発信者番号選択指定
P219	発信者番号表示指定
P220	着信順次分配グループ内線番号指定
P221	着信順次分配グループ代表番号指定
P222	通話メモ使用 REC 指定
P223	ドアホン着信指定
P224	着信履歴指定
P225	オフフック内線自動発信指定
P226	セーフティグループ指定
P228	音声威嚇電話機指定
P229	センサ動作指定
P230	ワンショット留守番機能使用 REC 指定
P231	内線呼出優先順位指定
P233	チャイム音鳴動指定
P234	いらっしゃいまセンサ指定
P235	いらっしゃいまセンサ間隔時間指定
P236	いらっしゃいまセンサゲイン指定
P237	不応答着信お知らせ表示指定
P238	FAX 着信お知らせ表示指定
P239	いらっしゃいまセンサグループ指定
P240	いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定
P241	掲示板更新お知らせ表示指定
P242	一般電話機ディスプレイ指定
P243	地震速報動作指定

メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容
P301	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定（昼）
P303	着信音鳴動指定（夜間A）
P304	着信音鳴動指定（夜間B）
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P309	発信規制指定（昼）
P310	発信規制指定（夜間A）
P311	発信規制指定（夜間B）
P312	コールバック着信音鳴動指定
P313	自動選局指定（発信）
P314	自動選局指定（応答）
P315	外部スピーカ１　ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P316	外部スピーカ１　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P317	外部スピーカ１　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P318	外部スピーカ２　ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P319	外部スピーカ２　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P320	外部スピーカ２　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P321	ドアホン着信メロディ指定
P322	外部スピーカ１ドアホン着信音指定（昼）
P323	外部スピーカ１ドアホン着信音指定（夜間A）
P324	外部スピーカ１ドアホン着信音指定（夜間B）
P325	外部スピーカ２ドアホン着信音指定（昼）
P326	外部スピーカ２ドアホン着信音指定（夜間A）
P327	外部スピーカ２ドアホン着信音指定（夜間B）
P328	外部スピーカ チャイム音鳴動指定
P329	ドアホン側呼出ゲイン指定

テナント対応

プログラム番号	内容
P401	電話機の所属テナント指定
P402	テナント外線ボタン割付指定
P403	テナント１外線発信時の収容外線指定
P404	テナント２外線発信時の収容外線指定
P405	テナント３外線発信時の収容外線指定
P406	テナント４外線発信時の収容外線指定
P407 [A]	テナント１アナログ着信　着信外線指定
P408 [A]	テナント２アナログ着信　着信外線指定
P409 [A]	テナント３アナログ着信　着信外線指定
P410 [A]	テナント４アナログ着信　着信外線指定
P411 [D]	テナント１グローバル着信　着信外線指定
P412 [D]	テナント２グローバル着信　着信外線指定
P413 [D]	テナント３グローバル着信　着信外線指定
P414 [D]	テナント４グローバル着信　着信外線指定
P415	テナント１ダイヤルイン着信　着信外線指定
P416	テナント２ダイヤルイン着信　着信外線指定
P417	テナント３ダイヤルイン着信　着信外線指定
P418	テナント４ダイヤルイン着信　着信外線指定
P419	外線捕捉時／発信者番号指定
P420 [D]	発信者番号通知指定
P421	外線着信音周期指定
P422	着信音種別指定
P423	非通知着信音周期指定
P424	非通知着信音種別指定
P425	外線転送テナント (自動／手動) 指定
P426	外線自動転送（発信側）指定
P427	外線自動転送（着信側）指定
P428	留守番自動応答指定
P429	テナント１発信許可／規制ダイヤル指定
P430	テナント２発信許可／規制ダイヤル指定
P431	テナント３発信許可／規制ダイヤル指定
P432	テナント４発信許可／規制ダイヤル指定
P433	テナント１発信許可／規制指定
P434	テナント２発信許可／規制指定
P435	テナント３発信許可／規制指定
P436	テナント４発信許可／規制指定
P437 [A]	個別着信（DIT）指定（昼）
P438 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間A）
P439 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間B）
P440 [A]	個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

テナント対応

プログラム番号	内容
P441	外部スピーカ１　着信音鳴動指定（昼）
P442	外部スピーカ１　着信音鳴動指定（夜間Ａ）
P443	外部スピーカ１　着信音鳴動指定（夜間Ｂ）
P444	外部スピーカ２　着信音鳴動指定（昼）
P445	外部スピーカ２　着信音鳴動指定（夜間Ａ）
P446	外部スピーカ２　着信音鳴動指定（夜間Ｂ）
P447	外部スピーカ１　コールバック着信音鳴動指定
P448	外部スピーカ２　コールバック着信音鳴動指定
P449	通報発信外線テナント指定
P450	通報発信外線指定
P451	外線保留音源指定
P452	FAX 転送先指定

システム対応 2

プログラム番号			内容
P501			キャリアアクセスコード指定
P502			キャリア選択識別番号指定
P503			キャリアアクセス表示指定
P509			ひかり外線自動選局禁止番号指定
P510			ひかり外線アクセス表示指定
P511			リモートコールバック PB 待ち時間指定
P512			リモートコールバック未応答時間指定
P513	システム設定その4	1	省エネルギー指定
		2	外線一斉着信ランプ制御指定
		3	ハンズフリー外線発信マイク制御指定
		4	外線ボタン種別表示指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P514			PHS 外線自動選局番号指定
P515			PHS 外線アクセス表示指定
P516			警備装置エリアセーフティグループ指定
P517			警備装置ポート指定
P518			システム間接続公開テナント指定
P519	地震速報システム設定	1	地震速報夜間 A 動作指定
		2	地震速報夜間 B 動作指定
		3	外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）
		4	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 A）
		5	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 B）
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
P520			外部スピーカ　地震速報警報鳴動テナント指定
P521			外部スピーカゲイン２指定（地震）

名称ごとの設定範囲一覧

名称	設定項目数
テナント	1 ～ 4
外線番号（外線ボタン）	01 ～ 30
収容外線	1 ～ 4
収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）	01 ～ 36
ISDN 回線	1 ～ 2
ダイヤルイン番号	01 ～ 32
内線グループ	A ～ I
識別グループ	0 ～ 9（10 個）
REC	1 ～ 3
REC（RECBusy を含む）	1 ～ 4
ドアホン	1 ～ 3
外部スピーカ	1 ～ 2
電話機	1 ～ 8
電話機（初実装 SLI を含む）	01 ～ 10
電話機（初実装 SLI、IP 電話機を含む）	01 ～ 26
電話機（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）	01 ～ 28
セーフティグループ	A ～ B
警報鳴動グループ（セーフティグループ A、B に対応）	A ～ B
リレー	1 ～ 3
初実装 SLI	1 ～ 2
夜間モード	A ～ B
外線自動転送	1 ～ 4
いらっしゃいまセンサ	A ～ B

※ プログラム設定データー覧において設定番号の後ろに記述されている [A] および [D] はそれぞれアナログ専用の設定、デジタル専用の設定を意味する。

システム対応

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P001	システム設定　その1	1：未使用		
		2：一斉／グループ呼出指定	一斉呼出またはグループ呼出を行うときに「音声」で呼び出すか「信号音」で呼び出すかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機の場合は信号音での呼び出しになる。 ※ SLI、IP 電話機は鳴動しない。	数字：音声呼 “ー”：信号呼
		3：共通短縮ダイヤル発信規制解除指定	P204 サービスクラス指定で「準特甲」、「甲」に指定された電話機が共通短縮ダイヤル発信を行った場合、サービスクラスに従った規制をする（解除しない）か、否（解除する）かを指定する。	数字：解除しない（規制する） “ー”：解除する（規制しない）
		4：強制転送指定	強制転送機能（外線保留中の通話を内線呼出操作後に直接転送する機能）の可否を指定する。 ※指定に関係なく SLI への転送は可。	数字：可 “ー”：不可
		5：自動転送指定	外線保留自動転送機能（外線保留中の通話を内線通話後に自動的に転送する機能）の可否を指定する。 ※指定に関係なく SLI への転送は可。	数字：可 “ー”：不可
		6：オンフック転送指定	強制転送機能、外線保留自動転送または内線自動転送機能を行う場合、オンフックによる転送の可否を指定する。 ※不可に指定した場合、フラッシュボタンを押すことで転送可	数字：可（受話器を置き転送する） “ー”：不可（フラッシュを押し転送する）
		7：ワンタッチ発信機能指定	オートダイヤルに外線の電話番号が登録されているとき、オンフック状態でオートダイヤルボタンを押した場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。	数字：不可 “ー”：可
		8：通話中の CNG 信号検出継続指定	CNG 信号検出中の着信音鳴動ありの場合、CNG 信号検出中に電話機が着信応答したときに CNG 信号の検出を継続するか否かを指定する。	数字：継続する “ー”：継続しない
		9：外線自動選局順位指定	外線自動選局を行う場合、空き外線の若番から選局するか、空き外線の老い番から選局するかを指定する。	数字：老番から “ー”：若番から
		0：自動ＰＢ信号切り替え指定	DP 外線で発信した場合、相手応答（転極検出）により、その後のダイヤルを自動的に PB 信号送出モードに切り替えるか否かを指定する。 ※主装置と電話回線の間に FAX、電話／ FAX 自動切換装置などの機器を接続するときは、「無」に変更すること。（外線発信や通話中の FAX 転送ができないことがあるため） ※「有」指定時に、ダイヤル回線で通話中に DP ダイヤルの送出が必要なときは、リダイヤルまたは「発歴」ボタンを押すと、その通話に限り DP ダイヤルが送出される。	数字：有 “ー”：無

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P002	システム設定その2	1：ポーズ時間指定	短縮ダイヤル、オートダイヤル登録時のダイヤル桁間のポーズおよびPBX発信コード等のポーズコードや任意ポーズ挿入によるポーズの時間を指定する。	数字：3.0秒 “ー”：1.0秒
		2：迷惑電話一覧表示指定	迷惑電話一覧表示時、電話番号順に表示を行うか登録順に表示を行うかを指定する。	数字：電話番号順 “ー”：登録順
		3：外線発信規制指定100（準特甲、甲）	P204サービスクラス指定で「準特甲」と「甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号、100番へ発信することを規制するか否かを指定する。	数字：規制あり “ー”：規制なし
		4：外線発信規制指定110番、119番（PBX内準甲）	P204サービスクラス指定で「PBX内準甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号110番、119番へ発信することを規制するか否かを指定する。	数字：規制なし “ー”：規制あり
		5：一般電話機（保留／フッキング）指定	一般電話機が外線通話中にフッキングした場合、外線を保留するか、外線にフックフラッシュ信号を送出するかを指定する。	数字：保留 “ー”：フッキング
		6：バッテリーパワーセーブ指定	バッテリ動作時に、動作させる電話機を制限するか否かを指定する。	数字：全電話機動作する “ー”：実装番号01、02のみ動作する
		7：未使用		
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：通話料金表示フォーマット指定	通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定する。	数字：小数点以下は表示しない “ー”：小数点第1位まで表示する
P003	システム設定その3	1：個別着信（DIT）の着信拒否指定	電話機に個別着信（DIT）が入るように指定していて、電話機が待機状態でないときに個別着信もしくはグループ着信が入った場合、着信を拒否するか一斉着信にするかを指定する。 ※アナログ回線には適用しない。	数字：着信拒否する “ー”：一斉着信にする
		2：個別着信（DIT）動作指定	個別着信（DIT）の動作を一斉着信から個別着信とするか、個別着信から一斉着信とするかを指定する。	数字：一斉着信→個別着信 “ー”：個別着信→一斉着信
		3：未使用		
		4：BGM指定	BGM音源を接続しているか否かを指定する。	数字：未接続 “ー”：接続
		5：ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定	非通知理由情報を含む着信を着信履歴に記録するか否かを指定する。	数字：記録する “ー”：記録しない
		6：着信履歴表示指定（着歴ボタン）	「着歴」ボタンを押したとき、システム全体の着信履歴を表示するか、自子機の着信履歴を表示するかを指定する。	数字：すべて表示する “ー”：自子機の履歴のみ表示
		7：システム着信履歴表示指定	メニュー操作から「システム着信履歴」を選択したときに、システム全体の着信履歴を表示するか、着信応答した履歴を除いて着信履歴を表示するかを指定する。	数字：すべて表示する “ー”：着信応答した履歴を除く
		8：アナログ外線の発信電話番号切替指定	アナログ外線捕捉時の発信電話番号切り替え機能を利用するか否かを指定する。	数字：利用する “ー”：利用しない
		9：オンフックリモート転送指定	外線の着信に応答した後、指定された時間以内に受話器を置くだけでＦＡＸに対する着信音転送を行うか否かを指定する。	数字：転送不可 “ー”：転送可
		0：CNG信号検出中の着信音鳴動指定	CNG信号の検出中に電話機の着信音を鳴動させるか否かを指定する。	数字：鳴動しない “ー”：鳴動する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P004	保留警報タイマ指定	外線を保留している場合に、保留状態を知らせるための警告音が送出されるまでの時間を指定する。 ※「無制限」を指定した場合は、保留警報音は鳴らない。	0：1 分　　3：4 分 1：2 分　　4：無制限 2：3 分
P005	オートリピートタイマ指定 (呼出／待ち／回数)	オートリピート（自動再発信）での呼出時間、待ち時間、回数を指定する。	呼出時間／待ち時間／回数 0：120 秒／ 3 秒／ 15 回 1：120 秒／ 10 秒／ 15 回 2：120 秒／ 30 秒／ 15 回 3：120 秒／ 60 秒／ 100 回
P006 [A]	フックフラッシュ時間指定	電話機のフラッシュボタンを押したとき、または一般電話機でフッキングしたときに捕捉中のアナログ外線に送出するフックフラッシュ信号（外線直流ループを瞬断し、PBX で通話を保留する）の瞬断時間を指定する。	0：(設定不可)　　5：600 m s 1：(設定不可)　　6：800 m s 2：(設定不可)　　7：1. 0 s 3：200 m s　　8：1. 5 s 4：400 m s　　9：2. 0 s
P007	オートリピート発信指定	ワンタッチリダイヤル発信、確かめダイヤル発信、プリセット発信、および、ワンタッチオートダイヤルの各操作ごとに、発信時にオートリピート動作を許可するか規制するかを指定する。 ※プリセットおよびワンタッチの指定は外線にのみ適用される。	数字：オートリピートする “－”：オートリピートしない 初期値： ワンタッチリダイヤル：オートリピートする 確かめダイヤル：オートリピートする プリセットダイヤル：オートリピートしない ワンタッチオートダイヤル：オートリピートしない
P008	夜間モード CNG 信号検出指定	夜間モードごと（夜間A、夜間B、昼）に、着信に対して CNG 信号の検出を行うか否かを指定する。 ※以下の設定において、「検出する」に指定されている着信に対して適用する P066 グローバル着信 CNG 信号検出 P067 ダイヤルイン着信 CNG 信号検出 P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出	数字：検出しない “－”：検出する
P009	コード 0 選局指定	内線捕捉状態でダイヤル「0」を押したときに、自動捕捉する外線の種別を指定する。 ※「未使用」指定時は、自動捕捉しない。	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線
P010	発信選局指定	発信ボタン、メニュー操作からの短縮発信、リダイヤルボタン、オートダイヤルボタンを押したときに、自動捕捉する外線の種別を指定する。 ※「未使用」指定時は、自動捕捉しない。	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線
P011 [A]	PBX 外線発信コード指定	外線として PBX 内線が収容されている場合、局線発信をするために、PBX での外線発信コードをポーズと共に指定する。ポーズが指定されている場合、発信時に PBX 外線発信コードをダイヤルした後に自動的に設けられる。 ※ポーズ時間は、P002-1 ポーズ時間指定で変更可。 ※構内交換機（PBX）の外線発信コードと設定値が異なる場合、「PBX 内線」に指定した外線からの外線発信の際に、サービスクラスなどの機能が正常に働かなくなる。	アクセスコード 3 桁まで登録可。 ポーズ（P）は 3 桁まで登録可。 ポーズ（P）は連続指定不可。 ポーズ（P）はフラッシュボタンで入力。 初期：OP ※ダイヤル 1 ～ 9、0、(P）のみ登録可。

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P012</td><td>外線通話表示指定</td><td>外線通話中の表示を、通話「時間」、「料金」、「時間と料金」のいずれか一つから指定する。
※通話料金は発信通話終了後に表示される。
※通話料金の表示は ISDN 回線のみ可。</td><td>0：時間（通話時間を表示）
1：料金（通話料金を表示）
2:時間、料金（通話時間と通話料金を表示）</td></tr>
<tr><td>P013</td><td>課金係数指定</td><td>単位通話料金に対する課金の割合を指定する。
<table><tr><th>指定</th><th>通話料金表示</th></tr><tr><td>10(1 倍)</td><td>10 円</td></tr><tr><td>15(1.5 倍)</td><td>15 円</td></tr></table>※ 1 度数当たりの通話料金を 10 円とした場合</td><td>01 ～ 99 の範囲で指定。
01 は 0.1 倍、99 は 9.9 倍
初期：10（1 倍）</td></tr>
<tr><td>P014</td><td>1××特番登録指定</td><td>発信時に発信規制判定、及び ACR 判定の対象外となる番号をシステムで 10 個まで（特番 01 ～特番 10) 登録可。特番以降の番号から判定の対象となる。</td><td>発信規制判定及び ACR 判定の対象外となる番号を最大 10 桁で指定。
初期：
特番 01：184
特番 02：186
特番 03：122
特番 04 ～ 10：指定なし</td></tr>
<tr><td>P015</td><td>1××特番ポーズ指定</td><td>1××特番ダイヤル送出後の 2DT(第 2 ダイヤルトーン）までの待ち時間を 0.5 秒単位で指定する。</td><td>00 ～ 99 の範囲で指定。
01 は 0.5 秒
99 は 49.5 秒
初期：00（0 秒）</td></tr>
<tr><td>P016</td><td>特定市外発信番号指定（準特甲の電話機に対してのみ適用する）</td><td>P204 サービスクラス指定で「準特甲」に指定された電話機から発信できる市外局番をシステムで 20 個まで（指定番号 01 ～指定番号 20）登録可。</td><td>市外局番の上 1 桁目の「0」を除いた最大 4 桁で指定。
初期：指定番号 01 ～ 20：指定なし
例）
東京 03　→　3　を指定
横浜 045　→　45 を指定</td></tr>
<tr><td>P017</td><td>外線発信規制番号指定（特甲以外の電話機に対して適用する）</td><td>P204 サービスクラス指定で「特甲」以外に指定された電話機で発信規制する番号をシステムで 20 個まで（規制番号 01 ～規制番号 20）登録可。</td><td>市外局番を含め最大 4 桁で指定。
初期：規制番号 01 ～ 20：指定なし</td></tr>
<tr><td>P018</td><td>留守番在宅自動応答時間指定</td><td>REC 在宅モード時(留守番セットされていないとき）にリモコンが応答するまでの秒数を指定する。
※ P428 留守番自動応答で「自動応答」に指定された外線に適用。</td><td>000 ～ 180 秒の範囲で指定。
000 は自動応答しない。
初期：045（45 秒）</td></tr>
<tr><td>P019</td><td>外線転送自動応答時間指定</td><td>外線自動転送の自動着信リモコンを行う場合に、外線自動転送指定（発信側）した外線に着信が入ったときにリモコンが応答するまでの秒数を指定する。
※ P426 外線自動転送（発信側）指定で指定された外線ボタンに適用される。</td><td>000 ～ 180 秒の範囲で指定。
000 は自動応答しない。
初期：042（42 秒）</td></tr>
<tr><td>P020</td><td>NTT 強制接続コード指定</td><td>ACR 稼動中に強制的に NTT を選択させる為のコードを指定する。</td><td>4 桁で指定
0000 ～ 9999 の範囲で指定。
初期：0000</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P021	外線転送システム設定 1:外線転送1通知音(転送先)指定	外線転送1の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピピピピピピピ」(高い音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
	2:外線転送2通知音(転送先)指定	外線転送2の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(中位の音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
	3:外線転送3通知音(転送先)指定	外線転送3の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ポー」(低い音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
	4:外線転送4通知音(転送先)指定	外線転送4の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(高い音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
	5:外線転送発信時のACR許可指定	外線転送発信時、ACRの利用を許可するか否かを指定する。	数字:ACR禁止 “ー”:ACR許可
	6:未使用		
	7:未使用		
	8:未使用		
	9:未使用		
	0:未使用		
P023	外線転送転送先不応答切断タイマ指定	外線転送の一次応答で、転送先が応答しない場合、外線切断するまでの時間を指定する。	0:20秒 1:40秒 2:60秒 3:80秒 4:100秒 5:120秒
P024	外線転送終話時コールバック時間指定	転送種別ごと(手動/自動)に、外線転送(手動/自動)の終話時に発信元が終話し、転送先が待機状態のとき、発信外線が着信状態になるまでの時間を指定する。	0:コールバックしない 1:1秒 2:2秒 3:3秒 4:4秒 5:5秒 6:6秒 初期値 外線手動転送:2秒 外線自動転送:コールバックしない
P025	外線転送最大通話時間指定	外線手動/自動転送をしたときの最大通話時間を指定する。 ※指定時間を過ぎると、「ピー」音を出し、30秒後に自動的に外線を終話する。	0:30分 1:1時間 2:2時間 3:3時間
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	ダイレクト自動転送(一次応答なし)の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合、着信音を鳴動させるか否かを指定する。	0:すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1:自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2:鳴動する

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P027	REC システム設定	1：用件自動消去指定	留守応答モードセット時に再生済みの用件を自動的に消去するか否かを指定する。	数字：自動消去あり “ー”：自動消去なし
		2：通話メモ再生指定	通話メモの再生を REC ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。	数字：REC ごとに共通 “ー”：電話機個別
		3：迷惑電話登録指定	迷惑電話番号登録件数が満杯のとき、新たに迷惑電話番号を登録できないようにするか、もしくは、最も古い迷惑電話番号を削除して新規の迷惑電話番号を登録できるようにするかを指定する。	数字：満杯時登録禁止 “ー”：満杯時登録可
		4：追っかけ転送発信時の ACR 許可指定	追っかけ転送発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。	数字：ACR 禁止 “ー”：ACR 許可
		5：REC お待たせ動作指定	REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線に一定時間応答しない場合の動作（外線ボタンを着信状態にする、もしくは時間経過するごとに相手にメッセージを送出する）を指定する。	数字：コールバックする “ー”：ガイダンスを繰り返す
		6：公衆電話迷惑拒否指定	迷惑電話拒否モードセット時、公衆電話の着信を拒否するか否かを指定する。	数字：拒否しない “ー”：拒否する
		7：表示圏外迷惑拒否指定	迷惑電話拒否モードセット時、表示圏外の着信を拒否するか否かを指定する。	数字：拒否しない “ー”：拒否する
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：未使用		
P028	REC 使途指定		REC ごと（RECBusy を含む）に、使用する機能（使途）を指定する。 ※ RECBusy にて拒否を行う場合、電話をしてきた相手に対し、通話中 Busy（話中）拒否を行う。	0：未使用 1：留守／お待たせ／一次応答 2：非通知拒否／迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否 5：通話メモ 初期： REC1：1（留守／お待たせ／一次応答） REC2：0（未使用） REC3：0（未使用） RECBusy：0（未使用） ※ Busy 拒否（RECBusy）には「2：非通知拒否／迷惑電話拒否」「3:非通知拒否」「4:迷惑電話拒否」のみ指定可。 ※ 非通知拒否を指定できる電話機はシステムで 1 台のみ。 ※ 迷惑電話拒否を指定できる電話機はシステムで 1 台のみ。 ※ 非通知拒否／迷惑電話拒否が指定されている場合、他の電話機に非通知拒否もしくは迷惑電話拒否を指定することはできない。
P029	留守番機能指定		REC ごとに、留守番機能のうち応答録音と応答専用の使用可否を指定する。	0：応答録音のみ可　　2：両方可 1：応答専用のみ可

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P030	REC お待たせ時間指定	REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線に応答しない場合、その外線ボタンを着信状態にするまでの時間、もしくは保留相手にお待たせメッセージを繰り返すまでの時間を指定する。 ※お待たせ時間経過後の動作は P027-5REC お待たせ動作指定による。	0：指定なし 1：1 分 2：2 分 <u>3：3 分</u> 4：4 分
P031	DR.PGシステム設定 1：外部スピーカ 1 への BGM 送出指定	外部スピーカ 1 から BGM を送出するか否かを指定する。	<u>数字：送出しない</u> “－”：送出する
	DR.PGシステム設定 2：外部スピーカ 2 への BGM 送出指定	外部スピーカ 2 から BGM を送出するか否かを指定する。	<u>数字：送出しない</u> “－”：送出する
	DR.PGシステム設定 3：未使用		
	DR.PGシステム設定 4：外部スピーカ呼出時の電話機鳴動指定	外部スピーカ呼出もしくは一斉／グループ呼出で外部スピーカを含む「音声」呼び出しを行ったとき、電話機からの呼出音を必ず鳴動させるか外部スピーカ呼出時の予告音種別の指定に従い電話機から呼出音を鳴動させるか否かの動作を判断するかを指定する。	<u>数字：必ず鳴動する</u> “－”:外部スピーカの指定（P032 に従う）
	DR.PGシステム設定 5：未使用		
	DR.PGシステム設定 6：未使用		
	DR.PGシステム設定 7：未使用		
	DR.PGシステム設定 8：未使用		
	DR.PGシステム設定 9：未使用		
	DR.PGシステム設定 0：未使用		
P032	ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定	ドアホンごとに、ドアホン着信時に鳴動させる着信音を指定する。 外部スピーカごとに、外部スピーカ呼出を行ったとき外部スピーカから送出する予告音の種別を指定する。 外部スピーカを一斉に呼出したときに外部スピーカから送出する予告音の種別を指定する。 ※WS(アナログ)､DC 子機､IP 電話機には適用されない。 ※SLIの場合はP083一般電話機着信音周期指定による。	0：送出しない 1：ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン 2：ピンポーン・パンポーン 3：ピロリロリロリロ・・ピロリロリロリロ・・ 4：ピンポンパンポーン 5：ポン 初期： ドアホン 1（1） ドアホン 2（2） ドアホン 3（3） 外部スピーカ 1（4） 外部スピーカ 2（4） 外部スピーカー斉（4） ※ドアホンに「0：送出しない」は指定できない。
P033	ドアホン通話ゲイン指定 （送話／受話）	送話の音量（ゲイン）と、受話の音量ごとに、ドアホン通話における音量をドアホンごとに、指定する。	0：－12 dB　5：＋3 dB 1：－9 dB　6：＋6 dB 2：－6 dB　7：＋9 dB 3：－3 dB　8：＋12 dB 4：0 dB 初期： 送話：4（0dB） 受話：7（+9dB）

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P034	ドアホン着信音周期指定		ドアホンごとに、ドアホン着信時に鳴動する着信音の周期を1回（約4秒）とするか、繰り返し鳴動させるかを指定する。 ※「繰り返し」を指定した場合、ドアホン着信が停止するまで繰り返し鳴動する。 ※指定に関わらず、WS（アナログ）への着信音周期は1回のみ。	数字：繰り返し “ー”：1回（約4秒）
P035	リレー制御指定		リレーごとに、どの外部機器（電気錠、外部スピーカ、外部保留音源「BGM」、Webカメラ、いらっしゃいませンサ連動機器）を接続しているかを指定する。 ※P072-3リレー出力タイミング指定で出力タイミングを指定可。 ※同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Webカメラといらっしゃいませンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能。	00：未使用 01：電気錠1（ドアホン1） 02：電気錠2（ドアホン2） 03：電気錠3（ドアホン3） 04：外部スピーカ1 05：外部スピーカ2 06：外部保留音源＆BGM 07：Webカメラ（セーフティAに連動） 08：Webカメラ（セーフティBに連動） 09:Webカメラ（セーフティA･Bの両方に連動） 10：いらっしゃいませンサAに連動 11：いらっしゃいませンサBに連動 12：いらっしゃいませンサA･Bの両方に連動
P036	外部スピーカゲイン指定 （外線着信、音声、BGM、威嚇）		外線着信、音声、BGM、威嚇の各音ごとに、外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。	0：－12ｄB 1：－9ｄB 2：－6ｄB 3：－3ｄB 4：0ｄB（外線着信／音声／BGM／威嚇） 5：＋3ｄB 6：＋6ｄB 7：＋9ｄB 8：＋12ｄB
P037	ISDNシステム設定	1：無効サブアドレス指定	着サブアドレスが無効番号のとき、「着信拒否する」か「一斉着信にする」かを指定する。	数字：着信拒否する “ー”：一斉着信にする
		2：発サブアドレス通知指定	ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセージに発サブアドレス情報要素を含めるか否かを指定する。	数字：通知しない “ー”：通知する
		3：経過表示指定	ISDN回線からアナログ網へ発信またはアナログ網を経由した発信を行った場合、LCD表示を行うか否かを指定する。	数字：表示しない “ー”：表示する
		4：理由表示指定	網から理由表示情報要素を含むメッセージを受信した場合（発信先ビジーや回線異常等により電話がかけられない場合）にその内容をLCDに表示するか否かを指定する。	数字：表示しない “ー”：表示する
		5：未使用		
		6：未使用		
		7：未使用		
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：未使用		
P038	ISDN契約者回線番号指定		ISDN回線ごとに、契約者回線番号を登録する。	最大13桁で指定。 初期：指定なし
P039	ダイヤルイン番号指定		ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルインの追加番号を登録する。	最大13桁で指定。 初期：指定なし

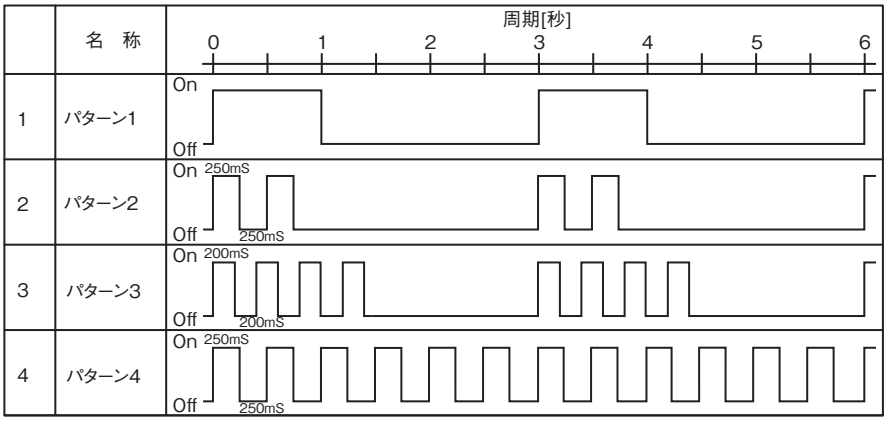
No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	ダイヤルイン番号ごとに、着信音の鳴動周期を指定する。 ※ P041 ダイヤルイン着信音種別指定は「01:着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限り適用する。 ※ DC 子機の着信音は電話機側で指定する。 ※ DC 子機には、着信メロディは出力されない。 ※ WS（アナログ）には着信メロディは出力されず、パターン C で鳴動する。 ※ ダイヤルイン以外のアナログ回線への着信またはグローバル着信は、P 421 外線着信音周期指定を参照。	01：着信音 A　07：着信音 G 02：着信音 B　08：着信音 H 03：着信音 C　09：保留メロディ 1 04：着信音 D　10：保留メロディ 2 05：着信音 E　11：着信メロディ 1 06：着信音 F　12：着信メロディ 2
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	ダイヤルイン番号ごとに、鳴動する着信音の種類を指定する。 ※ P040 ダイヤルイン着信音周期指定で「01：着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限る。 ※ダイヤルイン以外のアナログ回線への着信またはグローバル着信は、P 422 着信音周期指定を参照。	0：低 1：中 2：高
P042 [D]	グローバル着信ダイレクト自動転送指定	ISDN 回線ごとに、グローバル着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する 。	数字：転送可 “－”：転送不可
P043	ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する 。	数字：転送可 “－”：転送不可
P044 [D]	グローバル着信ダイレクトリモコン指定	ISDN 回線ごとに、グローバル着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P046 [D]	グローバル着信擬似コールウェイティング指定	ISDN 回線ごとに、グローバル着信時に擬似コールウェイティング機能を使用するか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P047	ダイヤルイン着信擬似コールウェイティング指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時に擬似コールウェイティング機能を使用するか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P048 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（昼）	ISDN 回線ごとに、昼間モードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P049 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（夜間 A）	ISDN 回線ごとに、夜間モード A のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P050 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（夜間 B）	ISDN 回線ごとに、夜間モード B のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P051 [D]	グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	ISDN 回線ごとに、グローバル個別着信（DIT）指定のある外線ボタンに着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0：0 秒　4：30 秒 1：5 秒　5：40 秒 2：10 秒　6：50 秒 3：20 秒　7：60 秒

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P052	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）	ダイヤルイン番号ごとに、昼間モードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P053	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間 A）	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード A のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P054	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間 B）	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード B のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P055	ダイヤルイン個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン個別着信（DIT）指定のあるダイヤルインに着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0：0 秒　　4：30 秒 1：5 秒　　5：40 秒 2：10 秒　　6：50 秒 3：20 秒　　7：60 秒
P056	識別グループ着信時の動作指定	識別グループごとに、識別グループ着信時に動作を行うか否かを、留守番応答、外線自動転送の各動作ごとに指定する。 ※留守番リモコンの自動応答には適用しない。	数字：指定する “ー”：指定しない 初期：留守番応答　：指定する 外線自動転送　：指定する
P057	内線個別信号呼出音種別指定	内線個別信号呼出時の着信音の種類を指定する。	0：着信音 1 1：着信音 2 2：着信音 3 3：単音
P058	グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定	内線グループごとに、内線グループ呼出時に、外部スピーカを呼び出すか否かを外部スピーカごとに指定する。	数字：呼び出さない “ー”：呼び出す
P059	VoIP 外線自動選局禁止番号指定	VoIP 外線自動選局発信時、VoIP 外線を自動選局しない番号を、システムで 80 個まで（禁止番号 01 ～禁止番号 80）登録可。ただし、#ABCD 特番は VoIP 外線を自動選局しないため登録する必要は無い。	最大 12 桁で指定。 初期： 禁止番号 01：001　禁止番号 15：0570 禁止番号 02：003　禁止番号 16：060 禁止番号 03：004　禁止番号 17：0800 禁止番号 04：005　禁止番号 18：0990 禁止番号 05：006　禁止番号 19：10 禁止番号 06：007　禁止番号 20：11 禁止番号 07：008　禁止番号 21：12 禁止番号 08：0091　禁止番号 22：13 禁止番号 09：010800　禁止番号 23：14 禁止番号 10：0120　禁止番号 24：15 禁止番号 11：0170　禁止番号 25：16 禁止番号 12：0180　禁止番号 26：17 禁止番号 13：0190　禁止番号 27：18 禁止番号 14：020　禁止番号 28：19 禁止番号 29 ～ 80：指定なし ※ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可。
P060	VoIP 外線アクセス表示指定	VoIP 外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を指定する。	最大 16 文字で指定。（全角文字のみ） 初期値：IP 電話サービス　アクセス

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P061	内線番号桁数指定	内線番号の桁数を2桁もしくは3桁から指定する。 ※桁数変更時、内線番号および、内線番号で指定されている設定（DIT関連、内線代表番号、着信順次分配関連、オフフック内線自動発信）および電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化される。	2：2桁（10～89） 3：3桁（100～899）
P062	PB信号送出パターン指定 （送出／ポーズ）	収容外線の種別をPBに指定した場合、またはDP外線でPB信号切り替え時、PB信号の送出時間と次の信号を送出するまでの時間を指定する。	0：80ms／60ms 1：100ms／80ms 2：400ms／100ms 3：600ms／100ms 4：900ms／200ms
P063	話中／不応答転送タイマ指定	話中／不応答転送を設定している場合、個別着信時（内線着信、外線個別（DIT）着信、サブアドレス着信）、不応答のときに転送先へ転送する時間を指定する。	0：10秒　5：35秒 1：15秒　6：40秒 2：20秒　7：45秒 3：25秒　8：50秒 4：30秒　9：55秒
P064	IP電話自動交換グループ指定	IP電話自動交換機能のシステム電話番号を登録する電話帳グループを指定する。	0：指定なし　5：グループ5 1：グループ1　6：グループ6 2：グループ2　7：グループ7 3：グループ3　8：グループ8 4：グループ4　9：グループ9
P065	外部スピーカドアホン着信音鳴動テナント指定	外部スピーカからドアホン着信音を鳴動させる場合、どのテナントの夜間モード（昼／夜間モードA／夜間モードB）に従うかを指定する。	1：テナント1の夜間モードに従う 2：テナント2の夜間モードに従う 3：テナント3の夜間モードに従う 4：テナント4の夜間モードに従う
P066 [D]	グローバル着信 CNG信号検出指定	ISDN回線ごとに、グローバル着信時にCNG信号の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P067	ダイヤルイン着信 CNG信号検出指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時にCNG信号の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P068	CNG信号検出時間指定	CNG信号の検出を行う着信にシステムが一次応答後、CNG信号の検出を行う時間を指定する。	04～30秒の範囲で指定。 初期：09（9秒）
P069	オンフックリモート転送有効時間指定	P003-9 オンフックリモート転送指定を「転送可」に指定している場合、電話機が応答してからオンフックリモート転送を有効とする時間を指定する。	1～9秒の範囲で指定。 初期：5（5秒）
P070 [A]	CNG信号検出終了後の開放時間指定	アナログ外線のCNG信号検出終了により電話の着信と判断した場合、電話機が応答しないときに一次応答中の外線を強制的に開放する時間を指定する。	10～99秒の範囲で指定。 初期：30（30秒）
P071	CNG信号検出禁止番号指定	CNG信号検出を禁止する番号を、システムで20個まで（禁止番号01～禁止番号20）登録可。	最大8桁で指定。 初期： 禁止番号01：050　禁止番号07：0805 禁止番号02：090　禁止番号08：0806 禁止番号03：0801　禁止番号09：0807 禁止番号04：0802　禁止番号10：0808 禁止番号05：0803　禁止番号11：0809 禁止番号06：0804 禁止番号12～20：指定なし ※ダイヤル1～9、0のみ登録可。

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P072	セーフティシステム設定	1：威嚇警報音の音量指定	威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定する。	数字：大 “ー”：小
		2：通報先終話時の威嚇継続指定	通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰（継続）するか否かを指定する。	数字：威嚇を継続する “ー”：威嚇を終了する
		3：リレー出力タイミング指定	P035 リレー制御指定で「Web カメラ」に指定されたリレー端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定する。	数字：センサ検知時 “ー”：威嚇開始時
		4：外部スピーカ威嚇音鳴動指定	外部スピーカで威嚇音を鳴動するか否かを指定する。 ※外部スピーカ 1、2 両方から鳴動する。 ※セーフティ A、B 共通。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
		5：通報発信時の ACR 許可指定	通報発信時、ＡＣＲの利用を許可するか否かを指定する。	数字：ACR 禁止 “ー”：ACR 許可
		6：威嚇時発光指定	威嚇動作に、電話機のバックライトおよび各種ランプの発光を利用するか否かを指定する。	数字：利用する “ー”：利用しない
		7：威嚇警報音鳴動指定	威嚇警報音を鳴動させるか否かを指定する。 ※警報鳴動グループには適用しない。	数字：鳴動する “ー”：鳴動しない
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：未使用		
P073	モードセット遅延時間指定		セーフティモードセット操作をしてからセーフティモードになるまでの時間を指定する。	001 ～ 600 秒の範囲で指定。 初期：060（60 秒）
P074	威嚇遅延時間指定		セーフティモード中にセンサ検知したときに威嚇を開始するまでの時間を指定する。	001 ～ 600 秒の範囲で指定。 初期：060（60 秒）
P075	威嚇警報音鳴動時間指定		威嚇警報音の鳴動時間を指定する。	01 ～ 60 分の範囲で指定。 初期：20（20 分）
P076	ドア・ページングユニットポート使途指定		外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、検知する信号のタイプを指定する。 ※外部センサポートにドアホンを接続することはできない。 ※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON）もしくは警備入力（警備中 OFF）を指定可能。 ※警備中 ON とは、警備中はメーク状態になることを意味し、警備中 OFF とは警備中はブレーク状態になることを意味します。	0：接続なし（外部センサポート） ドアホン（ドアホンポート 1/2/3） 1：外部センサ（ブレーク） 2：外部センサ（メーク） 3：外部センサ（ワンショット：メーク） 4：警備入力（警備中 ON） 5：警備入力（警備中 OFF）
P077	ドア・ページングユニットポート対応セーフティグループ指定		外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、接続した外部センサ反応時に威嚇＆通知および通報を行うセーフティグループを指定する。 ※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（ＸＸＸ）」もしくは「警備入力（ＸＸＸ）」に指定されているときのみ有効。 ※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「警備入力（ＸＸＸ）」が複数指定されている場合、同一のセーフティグループに指定を変更すると P076 の指定がクリアされる。	1：セーフティグループ A 2：セーフティグループ B
P078	通報発信外線強制切断指定		セーフティグループごとに、通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中のときに、その通話を強制的に切断するか否かを指定する。	数字：強制切断しない “ー”：強制切断する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P079	センサ入力信号 ON 確定時間指定	センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要な ON 時間の長さを指定する。 ※ 指定した時間よりも短い検出信号は無視される。	01： 12.5ms　09：112.5ms 02： 25.0ms　10：125.0ms 03： 37.5ms　11：137.5ms <u>04： 50.0ms</u>　12：150.0ms 05： 62.5ms　13：162.5ms 06： 75.0ms　14：175.0ms 07： 87.5ms　15：187.5ms 08：100.0ms　16：200.0ms
P080	センサ入力信号 OFF 確定時間指定	センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、OFF と認めるまでの時間を設定する。	01： 12.5ms　09：112.5ms <u>02： 25.0ms</u>　10：125.0ms 03： 37.5ms　11：137.5ms 04： 50.0ms　12：150.0ms 05： 62.5ms　13：162.5ms 06： 75.0ms　14：175.0ms 07： 87.5ms　15：187.5ms 08：100.0ms　16：200.0ms
P081	センサ ON 連続検出回数指定	システムがセンサ検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号の ON 確定のカウント数を指定する。	1 ～ 8 回の範囲で指定。 初期：1 回
P082	センサ OFF 確定時間指定	センサからの入力信号が ON から OFF に変化してからセンサ入力がなくなったと認めるまでの時間を設定する。	01：　50.0ms　17：2600.0ms 02：　75.0ms　18：2800.0ms 03： 100.0ms　19：3000.0ms 04： 150.0ms　20：3200.0ms 05： 200.0ms　21：3400.0ms 06： 400.0ms　22：3600.0ms 07： 600.0ms　23：3800.0ms 08： 800.0ms　24：4000.0ms 09：1000.0ms　25：4200.0ms 10：1200.0ms　26：4400.0ms 11：1400.0ms　27：4600.0ms 12：1600.0ms　28：4800.0ms 13：1800.0ms　29：5000.0ms <u>14：2000.0ms</u>　30：5500.0ms 15：2200.0ms　31：6000.0ms 16：2400.0ms　32：6500.0ms

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P083</td><td>一般電話機着信音周期指定</td><td>外線着信、外線個別着信、内線着信、ドアホン着信、着信音転送、保留警報の各動作ごとに、一般電話機で着信鳴動させる鳴動パターンを指定する。</td><td>1：パターン 1
2：パターン 2
3：パターン 3
4：パターン 4
初期：
外線着信音：1（パターン 1）
外線個別着信音：1（パターン 1）
内線着信音：2（パターン 2）
ドアホン着信音：3（パターン 3）
着信音転送音：1（パターン 1）
保留警報音：4（パターン 4）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">●一般電話機鳴動パターン
 
</td></tr>
<tr><td>P084</td><td>オフフック内線自動発信遅延時間指定</td><td>オフフック内線自動発信動作を遅延させる時間を指定する。</td><td>000 ～ 180 秒の範囲で指定。
初期：000（0 秒）</td></tr>
<tr><td>P085</td><td>外線自動転送発信時の動作指定</td><td>外線転送ごと（外線転送 1 ～外線転送 4）に、発信時の動作を指定する。
※設定値「1：発信側外線 1、2 同時」「2: 発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「P427 外線自動転送 (着信側) 指定」にて「外線転送 X：一次応答なし」を選択する必要がある。

【発信側外線 1 優先の動作】
発信側外線 1 からの発信を優先し、発信側外線 1 が着信中の場合、または発信側外線 1 の回線が捕捉できない場合に発信側外線 2 から同じ転送先番号に発信する。
※発信側外線を 2 外線指定したときのみ有効。

【発信側外線 1、2 同時の動作】
発信側外線 1、2 から同時に別々の転送先番号に発信する。
※発信側外線を 2 外線指定したときのみ有効。

【発信側外線 1、2 順次】
転送先番号の相手が応答しない場合、別の転送先番号に発信する。</td><td><u>0：発信側外線 1 優先</u>
1：発信側外線 1、2 同時
2：発信側外線 1、2 順次</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P086	外線転送通話ゲイン指定	外線転送時の外線種別の組み合わせごと（A—A ～ V—V）に、通話における音量（ゲイン）を指定する。 ※着信側外線（A)、発信側外線（V）での外線転送が行われた場合、着信回線（A）から発信回線（V）方向への通話ゲインは A-V の指定を利用し、発信回線（V）から着信回線（A）方向への通話ゲインは V-A の指定を利用します。	0：－ 12 ｄＢ　　5：＋３ｄＢ 1：－９ｄＢ　　6：＋６ｄＢ 2：－６ｄＢ　　7：＋９ｄＢ 3：－３ｄＢ　　8：＋ 12 ｄＢ 4：0 ｄＢ 初期： Ａ－Ａ：4（0 ｄＢ） Ａ－Ｄ：4（0 ｄＢ） Ａ－Ｖ：4（0 ｄＢ） Ｄ－Ａ：4（0 ｄＢ） Ｄ－Ｄ：4（0 ｄＢ） Ｄ－Ｖ：4（0 ｄＢ） Ｖ－Ａ：4（0 ｄＢ） Ｖ－Ｄ：4（0 ｄＢ） Ｖ－Ｖ：4（0 ｄＢ） ※Ａ、Ｄ、Ｖ、はそれぞれアナログ、デジタル、VoIP を意味する。
P087	内線保留音源指定	内線保留時に使用する保留音源を指定する。	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外部保留音
P088	自動 FW 更新定期チェック間隔指定	自動 FW（ファームウェア）更新を定期的にチェックする間隔を指定する。	00 ～ 60 日の間で指定。 00 は定期チェックしない 初期値：03（3 日）
P089	自動 FW 更新時間指定	自動 FW（ファームウェア）更新を行う時間を指定する。	00 ～ 23 時の間で指定。 初期値：02（2 時）
P090	リモートコールバックシステム設定 1：リモートコールバック発信回線指定	リモートコールバック発信を、行う回線の選択方法を指定する。 ※自動選局にした場合、発信規制の動作は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：同一回線 “－”：自動選局
	2：リモートコールバック PB 未検出時動作指定	リモートコールバック中、相手からの PB が検出できなかった場合、回線を切断するか一斉着信にするかを指定する。	数字：切断 “－”：一斉着信
	3：リモートコールバック発信時の ACR 許可指定	リモートコールバック発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。	数字：ACR 禁止 “－”：ACR 許可
	4：リモートコールバック着信動作指定	リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定されたとき、指定した内線が着信応答しない、もしくは通話中の場合に一斉着信に切り替えるか否かを指定する。	数字：切替えない “－”：一斉着信に切替える
	5：未使用		
	6：未使用		
	7：未使用		
	8：未使用		
	9：未使用		
	0：未使用		
P091 [D]	リモートコールバックグローバル着信検出指定	ISDN 回線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P092	リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定	ダイヤルイン番号ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P093	リモートコールバック検出タイマ指定	リモートコールバックの検出時間を指定する。 ※外線ボタンへの着信時間が指定した時間を超えた場合、リモートコールバック機能は動作しない。	004 ～ 180 秒の間で指定。 初期値：007（7 秒）
P094	リモートコールバック呼出時間指定	リモートコールバック時、発信先を呼び出す時間を指定する。 ※ リトライは 3 回まで。	0：60 秒（リトライなし） 1：20 秒（リトライあり） 2：40 秒（リトライあり） 3：60 秒（リトライあり）
P096	リモートコールバックテナント指定	リモートコールバックを行うテナントを指定する。	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
P097	REC 録音時間指定	REC ごとに、割り当てる録音時間を指定する。	000 ～ 180 分の間で指定。 初期値： 全 REC：060（60 分） ※ 1 つの REC のみに最大時間を割り当てる場合は、他の REC の割り当て時間を 000 にする必要がある。 ※ 1 の位は自動的に 0 が選択される。 ※録音時間は全 REC を合計して 180 分まで指定可。
P098	メール通知指定	WAN 側グローバル IP アドレスが変更になった場合と、セーフティ機能によるセンサ検知もしくは威嚇動作を行った場合の各動作ごとに、予め登録してある E-Mail アドレスへ通知するか否かを指定する。	ON：通知する OFF：通知しない ※ 1 を押すと“ON”を指定。 ※ 0 を押すと“OFF”を指定。 初期： グローバル IP アドレス変更時：OFF セーフティ動作時：OFF
P099	パーク保留音源指定	パーク番号ごと（パーク 00 ～ 19）に、パーク保留時に使用する保留音源を指定する。	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外部保留音

収容外線対応

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P101	外線収容および外線種別指定	収容外線ごとに、「未収容」、または接続されている回線の種別を指定する。 ※自動選局発信機能などの外線自動捕捉時に、未収容外線も捕捉してしまうため､未収容外線は必ず「未収容」に指定すること。 ※「ひかり電話 (外付け)」および「ひかり電話オフィス（外付け)」は、ひかり電話対応の外付けアダプタを使用する場合に指定する。 ※「PHS（外付け)」は、PHS の外付けアダプタを使用する場合に指定する。	0：未収容 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話オフィス（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け）
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定	収容外線ごとに、ダイヤル種別として、「DP（10PPS)」、「DP（20PPS)」、「PB」のいずれかを指定する。	0：DP（10PPS） 1：DP（20PPS） 2：PB
P103	NCC 回線指定	収容外線ごと（内蔵 VoIP 回線を含む）に、NTT 回線／ NCC 回線の種別を指定する。	数字：NCC 回線 “－”：NTT 回線 初期： 収容外線 01 ～ 04（NCC 回線） 収容外線 05 ～ 36（NTT 回線）
P105 [A]	アナログ外線 NTT 付加サービス指定	収容外線ごとに、ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。	数字：利用しない “－”：利用する
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定	収容外線ごとに、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行なうか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P107	外線通話ゲイン指定	送話の音量（ゲイン）と、受話の音量ごとに、外線通話における音量を収容外線ごと（内蔵 VoIP 回線を含む）に、指定する。	0：－ 12 ｄＢ 1：－ 9 ｄＢ 2：－ 6 ｄＢ 3：－ 3 ｄＢ 4：0 ｄＢ 5：＋ 3 ｄＢ 6：＋ 6 ｄＢ 7：＋ 9 ｄＢ 8：＋ 12 ｄＢ 初期： 送話：4（0 ｄＢ） 受話：4（0 ｄＢ）
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定	収容外線ごとに、発信電話番号の通知状態（通常通知／通常非通知）を指定する。	数字：通常通知 “－”：通常非通知
P109 [A]	アナログ外線着信 CNG 信号検出指定	収容外線ごとに、着信時に CNG 信号の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P110 [A]	アナログ外線キャッチホン契約サービス指定	収容外線ごとに、アナログ外線キャッチホンを契約しているか否かを指定する。	数字：契約なし “－”：契約あり
P111 [A]	リモートコールバックアナログ着信検出指定	収容外線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する

電話機対応

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P201</td><td>内線番号指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、各電話機を内線呼出するための内線番号を指定する。</td><td>10 ～ 89 の範囲で指定。
100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）
初期：
実装番号 01 ～ 26 が内線番号 10 ～ 35 に対応
（内線 3 桁モードの場合実装番号 01 ～ 26 が内線番号 100 ～ 125 に対応）
※重複した内線番号を指定すると内線番号の入れ替えが行われる。</td></tr>
<tr><td>P202</td><td>内線代表番号指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、内線呼出されたときに話中の場合、次に呼び出す電話機を内線番号で指定する。</td><td>10 ～ 89 の範囲で指定。
100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）
初期：指定なし</td></tr>
<tr><td>P203</td><td>電話機グループ呼出指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、電話機グループ呼出を行うときのグループを指定する。
※ SLI、IP 電話機は鳴動しない。</td><td>0：無所属　　5：グループ E
1：グループ A　　6：グループ F
2：グループ B　　7：グループ G
3：グループ C　　8：グループ H
4：グループ D　　9：グループ I</td></tr>
<tr><td rowspan="2">P204</td><td rowspan="2">サービスクラス指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、クラスを指定する。</td><td>0：特甲　　3：準甲
1：準特甲　　4：ＰＢＸ内準甲
2：甲</td></tr>
<tr><td colspan="2">●サービスクラスと外線発信規制
<table><tr><th>サービスクラス</th><th>外線発信規制の内容</th></tr><tr><td>特甲</td><td>全ての対地へ発信可</td></tr><tr><td>準特甲</td><td>市内、特定市外★ 1 のみ発信可</td></tr><tr><td>甲</td><td>市内のみ発信可</td></tr><tr><td>準甲</td><td>全ての収容外線が発信不可</td></tr><tr><td>PBX 内準甲</td><td>全ての収容外線が発信不可（PBX 内線および内線のみ可）</td></tr></table>※★ 1：P016 特定市外発信番号指定で指定された市外局番のみ市外発信可。</td></tr>
<tr><td>P205</td><td>話中着信指定</td><td>電話機ごとに、電話機使用中（話中）に、外線が着信した場合、着信音を鳴らすか鳴らさないかを指定する。
※着信の鳴動指定が「鳴動あり」に指定されている場合に適用。
※ P215 ～ P217 で「鳴動あり」に指定された電話機で内線・外線通話中にドアホンからの呼び出しがあった場合も適用。
※DC 電話機は鳴動しない。</td><td>数字：鳴動あり
“ー”：鳴動なし</td></tr>
<tr><td>P206</td><td>外線通話割込指定</td><td>電話機ごとに、外線と通話中の電話機に割り込むことの可否を指定する。
※割り込みできるのは、外線 1 本に対して電話機 1 台のみ。</td><td>数字：割り込み不可
“ー”：割り込み可</td></tr>
<tr><td>P207</td><td>通話警告音鳴動指定</td><td>電話機ごとに、外線発信通話中に通話警告音（3 分ごと）を鳴動するか否かを指定する。
※ DC 電話機は鳴動しない。</td><td>数字：鳴動なし
“ー”：鳴動あり</td></tr>
<tr><td>P208</td><td>ハンズフリー通話制御指定</td><td>電話機ごとに、内蔵ハンズフリーを動作させるか否かを設定する。
※ハンズフリー通話制御を指定すると、通話中もハンズフリー通話可。
※コードレスはハンズフリー通話不可。</td><td>数字：指定なし
“ー”：指定あり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P209</td><td>ヘッドセット接続指定</td><td>電話機ごとに、ヘッドセットを電話機に接続しているか否かを指定する。</td><td><u>数字：接続なし</u>
“－”：接続あり</td></tr>
<tr><td>P210</td><td>留守番電話機指定（REC）</td><td>REC ごと（RECBusy を含む）に、留守番電話として動作させる電話機を指定する。
※ RECBusy には、通話中 Busy（話中）拒否のセット操作を行うための電話機を指定。</td><td>1 ～ 8 の範囲で指定。
0 は指定なし。
初期：
REC1：1（実装番号 1）
REC2：0（指定なし）
REC3：0（指定なし）
RECBusy：0（指定なし）
※他の REC に指定済みの実装番号を指定することはできない。</td></tr>
<tr><td>P211</td><td>オフフック発信指定</td><td>電話機ごとに、プリセットダイヤルのダイヤル入力後、およびダイヤル確認表示中にオフフックした場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。</td><td><u>数字：指定なし</u>
“－”：指定あり</td></tr>
<tr><td>P212</td><td>発信優先モード指定</td><td>電話機ごと(初実装 SLI を含む)に、電話機でオフフックしたときに「内線」を優先するか「外線」を優先するかを指定する。
※ IP 電話機は常に内線優先モード</td><td>数字：内線優先モード
“－”：外線優先モード
初期：
電話機標準ポート（内線優先モード）
初実装 SLI（外線優先モード）</td></tr>
<tr><td>P213</td><td>一般電話機の種別指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、使用する一般電話機の種別が DP か PB かを指定する。
※ 電話機標準ポートへの指定は無効。</td><td><u>数字：PB</u>
“－”：DP</td></tr>
<tr><td>P214</td><td>ドアホン着信自動応答指定</td><td>ドアホンごとに、ドアホンから着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる電話機を指定する。</td><td><u>数字：有</u>
“－”：無</td></tr>
<tr><td>P215</td><td>ドアホン着信音鳴動指定（昼）</td><td>ドアホンごとに、昼間モードのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、IP 電話機を含む）を指定する。</td><td>数字：鳴動あり
“－”：鳴動なし
初期：
電話機標準ポート（鳴動あり）
初実装 SLI（鳴動なし）
IP 電話機（鳴動なし）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">●ドアホン着信音パターン
<table>
<tr><th></th><th>ドアホン 1</th><th>ドアホン 2</th><th>ドアホン 3</th></tr>
<tr><td>電話機</td><td colspan="3">P032 ドアホン着信音および外部スピーカー呼出時の予告音種別指定</td></tr>
<tr><td>WS（アナログ）</td><td>ピーポー</td><td colspan="2">ピーポー 2 回</td></tr>
<tr><td>DC 子機</td><td>ピーンピーン</td><td colspan="2">ピーンピーン・ピーンピーン</td></tr>
<tr><td>多回線 PS</td><td colspan="3">ピーポーピーポー</td></tr>
<tr><td>SLI</td><td colspan="3">P083 一般電話機着信音周期指定</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>P216</td><td>ドアホン着信音鳴動指定(夜間Ａ)</td><td>ドアホンごとに、夜間モードＡのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、IP 電話機を含む）を指定する。</td><td>数字：鳴動あり
“－”：鳴動なし
初期：
実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
初実装 SLI（鳴動なし）
IP 電話機（鳴動なし）</td></tr>
<tr><td>P217</td><td>ドアホン着信音鳴動指定(夜間Ｂ)</td><td>ドアホンごとに、夜間モードＢのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、IP 電話機を含む）を指定する。</td><td>数字：鳴動あり
“－”：鳴動なし
初期：
実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
初実装 SLI（鳴動なし）
IP 電話機（鳴動なし）</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P218 [D]	発信者番号選択指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、ISDN 回線または VoIP で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を、捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。 ※発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	00：捕捉した外線の電話番号 01 ～ 02：ISDN 回線 1 ～ 2 03 ～ 34：ダイヤルイン番号 01 ～ 32
P219	発信者番号表示指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、外線着信時、発信者番号、ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイを表示するか否かを指定する。	数字：表示する（名前と番号） “ー”：表示しない
P220	着信順次分配グループ内線番号指定	登録テーブル番号ごと（登録テーブル番号 01 ～登録テーブル番号 16）に、分配グループ（グループ 1 ～グループ 4）と内線番号を指定する。 ※着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分ける。	分配グループ： 1 ～ 4 の範囲で指定。 内線番号： 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時) 初期：登録テーブル番号 01 ～ 16：指定なし ※他のグループで既に指定されている内線番号を指定した場合、先に指定されていたグループ番号と内線番号は消去される。
P221	着信順次分配グループ代表番号指定	着信順次分配グループごと（着信順次分配グループ 1 ～着信順次分配グループ 4）に、代表の内線番号を指定する。 ※代表番号は P201 内線番号指定で割り当てられていない内線番号を指定する。 ※内線番号と重複した番号を指定した場合、内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。 ※本指定は外線個別着信（DIT）に対して適用され、内線個別着信および ISDN サブアドレス着信には適用しない。	10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時) 初期：着信順次分配グループ 1 ～ 4：指定なし ※他のグループに既に指定されている内線番号を指定した場合、先に指定されていた内線番号は消去される。
P222	通話メモ使用 REC 指定	電話機ごとに、通話メモ機能を使用する REC 番号を指定する。	0：指定なし　　2：REC2 1：REC1　　3：REC3
P223	ドアホン着信指定	ドアホンごとに、ドアホン着信に対し、着信および表示を行う電話機（初実装 SLI、IP 電話機を含む）を指定する。	数字：指定する “ー”：指定しない
P224	着信履歴指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、着信応答した履歴を残すか残さないかを指定する。	数字：残す “ー”：残さない
P225	オフフック内線自動発信指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、受話器を上げたときに呼び出す内線番号もしくは内線グループを、最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定する。 ※オフフック内線自動発信機能と、スピーカを押して内線発信をすること以外の操作を受け付けなくなる。	10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時) もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P226	セーフティグループ指定	電話機ごとに、セーフティグループもしくは警報鳴動グループを指定する。 ※警報鳴動グループはセーフティグループと同じグループに対応する。 ※セーフティグループがセーフティセンサ検知状態になると、対応する警報鳴動グループに所属する電話機は警報鳴動状態になる。(電話機を使用していない場合のみ)	0：指定なし 1：セーフティグループA 2：セーフティグループB 3：警報鳴動グループA 4：警報鳴動グループB
P228	音声威嚇電話機指定	通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする音声威嚇電話機（音声威嚇電話 1 ～音声威嚇電話 3）を指定する。 ※セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を指定する。 ※音声威嚇電話機に指定できる電話機は標準電話機のみ。	実装番号 1 ～ 8 の範囲で指定。 0 は指定なし。 初期： 音声威嚇電話 1 ～ 3：0（指定なし） ※ P226 セーフティグループ指定で同じグループに属する実装番号のみ指定可。 ※実装番号重複登録不可。
P229	センサ動作指定	電話機ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。 ※センサ付き電話機に対してのみ有効。	数字：許可する “－”：許可しない
P230	ワンショット留守番機能使用 REC 指定	電話機ごとに、ワンショット留守番機能に利用する。	0：指定なし　　2：REC2 1：REC1　　3：REC3 ※ P210 で留守番電話機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできない。(RECBusy を除く)
P231	内線呼出優先順位指定	電話機ごとに、内線で呼び出されるとき、「音声」で呼び出されるか「信号音」で呼び出されるかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機の場合は信号音での呼び出しになる。 ※IP 電話機は常に信号呼。	数字：音声呼 “－”：信号呼
P233	チャイム音鳴動指定	電話機ごとに、チャイムを鳴動させるか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P234	いらっしゃいまセンサ指定	いらっしゃいまセンサごとに、使用するセンサ（電話機もしくはドア・ページングユニットのポート）を指定する。 ※電話機の場合､P229 センサ動作指定で「許可する」に指定されている電話機のみ有効。 ※ドア・ページングユニットのポートの場合、P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（ＸＸＸ)」に指定されているときのみ有効。	00：指定なし 01 ～ 08：実装番号 01 ～ 08 09：外部センサポート 10：ドアホンポート 1 11：ドアホンポート 2 12：ドアホンポート 3 初期： いらっしゃいまセンサ A ～ B：00（指定なし）
P235	いらっしゃいまセンサ間隔時間指定	いらっしゃいまセンサごとに、鳴動音を送出した後、再度センサが有効になるまでの時間を指定する。	00 ～ 99 秒の範囲で指定。 初期：00（0 秒）
P236	いらっしゃいまセンサゲイン指定	いらっしゃいまセンサごとに、鳴動音の音量（ゲイン）を指定する。	0：－ 12dB　3：－ 3dB　6：＋ 6dB 1：－ 9dB　4：0dB　7：＋ 9dB 2：－ 6dB　5：＋ 3dB　8：＋ 12dB
P237	不応答着信お知らせ表示指定	電話機ごとに、不応答のサブアドレス個別着信があったことを知らせる表示およびランプの点滅を行うか否かを指定する。 ※ IP 電話自動交換にも適用する。 ※ DIT 個別着信には適用しない。	数字：行う “－”：行わない

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P238	FAX 着信お知らせ表示指定	電話機ごとに、どの初実装 SLI ポートに接続された FAX に着信があった場合に、着信があったことを知らせる表示およびランプの点滅を行うかを指定する。	0：指定なし 1：SLI1 2：SLI2
P239	いらっしゃいまセンサグループ指定	電話機ごとに、いらっしゃいまセンサグループを指定する。 ※いらっしゃいまセンサがセンサ検知状態になると、対応するいらっしゃいまセンサグループに所属する電話機は鳴動状態になる。(電話機を使用していない場合のみ)	0：指定なし 1：いらっしゃいまセンサグループ A 2：いらっしゃいまセンサグループ B
P240	いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定	いらっしゃいまセンサごとに、センサ検知時に鳴動する音を指定する。	0：いらっしゃいませ 1：ピンポーン 2：ピンポーン・パンポーン 3：ピロリロリロリロ・・
P241	掲示板更新お知らせ表示指定	電話機ごとに、掲示板の内容が更新されたことを知らせるランプの点滅を行うか否かを指定する。	数字：行う “ー”：行わない
P242	一般電話機ディスプレイ指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、一般電話機がナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイに対応しているか否かを指定する。 ※「対応」に指定した電話機は、P083 一般電話機着信音周期指定の指定が無効になる。 ※電話機標準ポートへの指定は無効	数字：対応 “ー”：非対応
P243	地震速報動作指定	電話機ごとに、地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：指定あり “ー”：指定なし

メニュープログラミング対応

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P301	通常着信指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、収容外線に通常着信（グローバル着信含む）があった時、着信および表示を行う外線ボタンを指定する。	数字：指定する “ー”：指定しない
P302	着信音鳴動指定（昼）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、昼間モードのときに収容外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線ボタンを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動あり） IP 電話機（鳴動なし）
P303	着信音鳴動指定（夜間Ａ）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、夜間モードＡのときに収容外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線ボタンを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
P304	着信音鳴動指定（夜間Ｂ）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、夜間モードＢのときに収容外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線ボタンを電話機ごとに指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
P305	ダイヤルイン着信指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、ダイヤルイン番号に着信があった場合、着信および表示を行うダイヤルイン番号を指定する。	数字：指定する “ー”：指定しない
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼)	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動あり） IP 電話機（鳴動なし）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定 （夜間Ａ）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、夜間モードＡのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定 （夜間Ｂ）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、夜間モードＢのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
P309	発信規制指定（昼）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、昼間モードのときに外線発信を規制する外線ボタンを指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “ー”：発信不可
P310	発信規制指定（夜間Ａ）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、夜間モードＡのときに外線発信を規制する外線ボタンを指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “ー”：発信不可
P311	発信規制指定（夜間Ｂ）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、夜間モードＢのときに外線発信を規制する外線ボタンを指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “ー”：発信不可

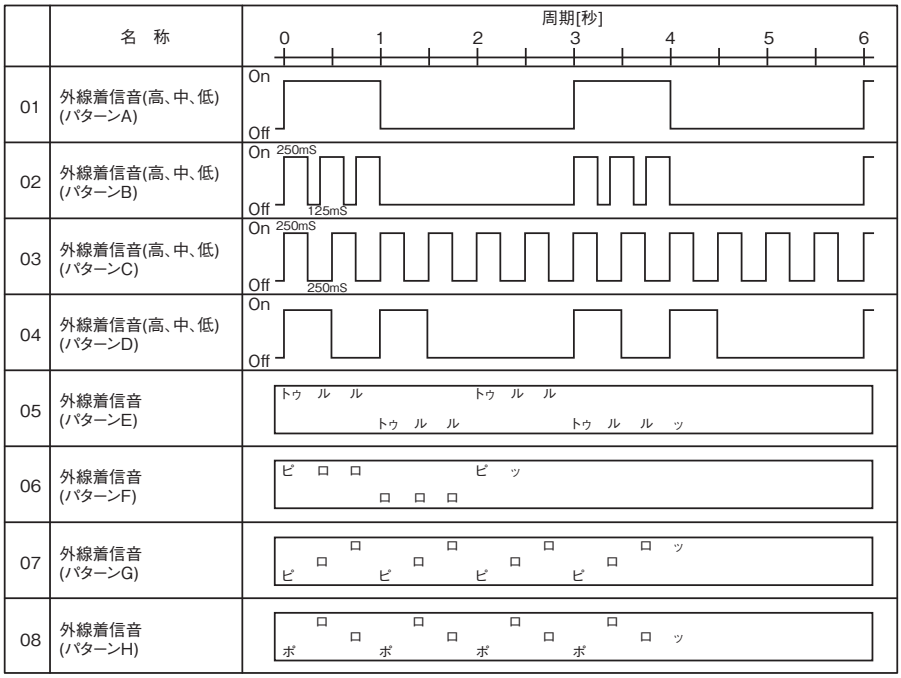
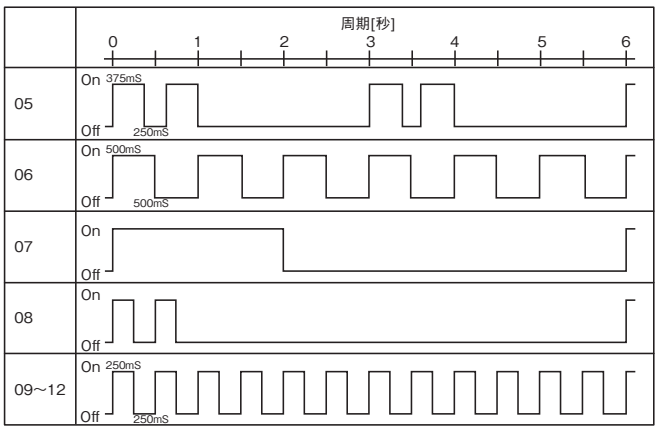
No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P312	コールバック着信音鳴動指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、外線転送コールバックおよび REC お待たせメッセージ応答コールバック、リモートコールバック時に鳴動する外線ボタンを指定する 。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動なし） IP 電話機（鳴動なし）
P313	自動選局指定（発信）	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機を含む）に、外線発信時、発信、リダイヤル、オートダイヤル、ダイヤルアクセス「0」ボタンを押すことにより、自動的に捕捉する外線ボタンを指定する。 ※ 内線捕捉状態でダイヤルアクセス「0」を押したときに自動捕捉する外線ボタンは、P009 および P001-9 で指定した外線ボタンである。また、それ以外の自動選局時は P010 および P001-9 で指定した外線ボタンである。 ※ WS（アナログ）の「クイック通話」および SLI での外線発信時の自動捕捉に対しても適用される。 ※ P309 ～ P311 発信規制指定で「発信不可」に指定した外線ボタンは、本指定に関係なく、外線自動捕捉時に捕捉しない。	数字：自動選局する “ー”：自動選局しない
P314	自動選局指定（応答）	電話機ごとに、外線着信時、オフフックによる着信応答（応答プリセット）を可とする外線ボタンを指定する。 ※ SLI は、着信音が鳴動している電話機で受話器を上げると着信応答できる。	数字：応答可 “ー”：応答不可
P315	外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼)	ダイヤルイン番号ごとに、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P316	外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 A)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード A のときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P317	外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 B)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード B のときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P318	外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼)	ダイヤルイン番号ごとに、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P319	外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 A)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード A のときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P320	外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 B)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード B のときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P321	ドアホン着信メロディ指定	ドアホンごとに、ドアホン着信時、電話機から鳴動させるメロディを指定する。 「0：指定なし（P032 に従う)」を指定した場合、P032 ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定に従う。	0：指定なし（P032 に従う） 1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：着信メロディ 1 4：着信メロディ 2

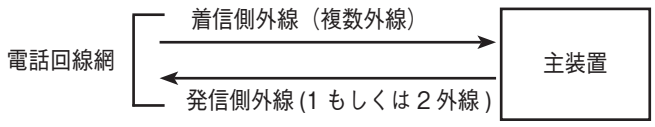
No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P322	外部スピーカ１ ドアホン着信音指定（昼）	ドアホンごとに、昼間モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P323	外部スピーカ１ ドアホン着信音指定（夜間Ａ）	ドアホンごとに、夜間モードＡのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P324	外部スピーカ１ ドアホン着信音指定（夜間Ｂ）	ドアホンごとに、夜間モードＢのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P325	外部スピーカ２ ドアホン着信音指定（昼）	ドアホンごとに、昼間モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P326	外部スピーカ２ ドアホン着信音指定（夜間Ａ）	ドアホンごとに、夜間モードＡのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P327	外部スピーカ２ ドアホン着信音指定（夜間Ｂ）	ドアホンごとに、夜間モードＢのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P328	外部スピーカチャイム音鳴動指定	外部スピーカごとに、チャイムを鳴動させるか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P329	ドアホン側呼出ゲイン指定	ドアホンごとに、ドアホン側の呼出音量（ゲイン）を指定する。	0：－12dB 1：－9dB 2：－6dB 3：－3dB 4：0dB 5：＋3dB 6：＋6dB 7：＋9dB 8：＋12dB

テナント対応

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P401	電話機の所属テナント指定	電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録を含む）に、所属するテナントを指定する。	1：テナント 1　　3：テナント 3 2：テナント 2　　4：テナント 4
P402	外線ボタン割付指定	各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。	0：オートダイヤル 1：外線（局線／ ISDN） 2：VoIP（内蔵／外付けアダプタ） 3：PBX 内線 4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ） 5：PHS（外付けアダプタ） 6：ナースコール（外付けアダプタ） 初期： テナント 1 外線番号 01 ～ 04：1（外線） 外線番号 05 ～ 30：0（オートダイヤル） テナント 2 ～ 4：全て：0（オートダイヤル）
P403	テナント 1 外線発信時の収容外線指定	テナント 1 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する 初期： 外線番号 01：収容外線 01 のみ許可する 外線番号 02：収容外線 02 のみ許可する 外線番号 03：収容外線 03 のみ許可する 外線番号 04：収容外線 04 のみ許可する 外線番号 05 ～ 30：全収容外線：許可しない ※ P402 テナント外線ボタン割付指定で「1：外線（局線／ ISDN)」もしくは「3：PBX 内線」、「5：PHS」に指定されている外線ボタンには収容外線 1 ～ 4 のみ指定可。 ※ P402 テナント外線ボタン割付指定で「2: VoIP（内線／外付けアダプタ)」もしくは「4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ)」に指定されている外線ボタンには収容外線 01 ～ 04（外付けアダプタ)、収容外線 05 ～ 36（内蔵）が指定可。
P404	テナント 2 外線発信時の収容外線指定	テナント 2 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する ※指定方法の注意事項は P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定と同様。
P405	テナント 3 外線発信時の収容外線指定	テナント 3 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する ※指定方法の注意事項は P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定と同様。
P406	テナント 4 外線発信時の収容外線指定	テナント 4 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する ※指定方法の注意事項は P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定と同様。

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P407 [A]	テナント1アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント1での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する 初期： 収容外線1：外線番号01のみ指定する 収容外線2：外線番号02のみ指定する 収容外線3：外線番号03のみ指定する 収容外線4：外線番号04のみ指定する
P408 [A]	テナント2アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント2での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P409 [A]	テナント3アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント3での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P410 [A]	テナント4アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント4での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P411 [D]	テナント1グローバル着信　着信外線指定	ISDN回線ごとに、ISDN回線に対応したグローバル着信のテナント1での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する 初期： ISDN回線1：外線番号01，02のみ指定する ISDN回線2：外線番号03，04のみ指定する
P412 [D]	テナント2グローバル着信 着信外線指定	ISDN回線ごとに、ISDN回線に対応したグローバル着信のテナント2での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P413 [D]	テナント3グローバル着信 着信外線指定	ISDN回線ごとに、ISDN回線に対応したグローバル着信のテナント3での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P414 [D]	テナント4グローバル着信 着信外線指定	ISDN回線ごとに、ISDN回線に対応したグローバル着信のテナント4での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P415	テナント1ダイヤルイン着信 着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント1での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定す
P416	テナント2ダイヤルイン着信 着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント2での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P417	テナント3ダイヤルイン着信 着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント3での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P418	テナント4ダイヤルイン着信 着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント4での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P419	外線捕捉時／発信者番号指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線発信時、表示器に表示する外線ボタンの電話番号を指定する。また、ISDN回線で発信したときの発信者番号としても使用する。	最大13桁で指定。 ハイフン(ー)はフラッシュボタンで入力。 初期：指定なし ※ダイヤル1～9、0、(ー)のみ登録可
P420 [D]	発信者番号通知指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線発信時に発信者番号を通知するか否かの初期値を指定する。外線捕捉後のボタン操作により切り替え可。	数字：通知する “ー”：通知しない

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P421</td><td>外線着信音周期指定</td><td>各テナントの外線ボタンごとに、外線着信音の鳴動周期を指定する。
※ P422 着信音種別指定は「01:着信音 A」～「04:着信音 D」を指定した場合に限り適用する。
※ DC 子機の着信音は電話機側で指定する。
※ DC 子機には、着信メロディは出力されない。
※ WS（アナログ）には着信メロディは出力されず、パターン C で鳴動する。
※ダイヤルインの場合は P040 ダイヤルイン着信音周期指定による。</td><td><u>01：着信音 A</u>　07：着信音 G
02：着信音 B　08：着信音 H
03：着信音 C　09：保留メロディ 1
04：着信音 D　10：保留メロディ 2
05：着信音 E　11：着信メロディ 1
06：着信音 F　12：着信メロディ 2</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">●着信音周期
 
</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">● WS（アナログ）着信音周期
 
</td></tr>
<tr><td>P422</td><td>着信音種別指定</td><td>各テナントの外線ボタンごとに、外線着信時に鳴動する着信音の種類を指定する。
※ P421 外線着信音周期指定で「01：着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限る。
※ダイヤルインの場合は P041 ダイヤルイン着信音種別指定による。</td><td><u>0：低</u>
1：中
2：高</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P423	非通知着信音周期指定	各テナントの外線ボタンごとに、非通知着信時の着信音周期を指定する。 ※「指定なし」に指定した場合、アナログまたはグローバル着信は P421 に従い、ダイヤルイン着信は P040 に従う。 ※ P424 非通知着信音種別指定は「01：着信音 A」～「04:着信音 D」を指定した場合に限り適用する。	00:指定なし(P421 もしくは P040 に従う) 01：着信音 A　07：着信音 G 02：着信音 B　08：着信音 H 03：着信音 C　09：保留メロディ 1 04：着信音 D　10：保留メロディ 2 05：着信音 E　11：着信メロディ 1 06：着信音 F　12：着信メロディ 2
P424	非通知着信音種別指定	各テナントの外線ボタンごとに、非通知外線着信のとき、鳴動する着信音の種類を指定する。 ※ P423 非通知着信音周期指定で「01:着信音 A」～「04:着信音 D」を指定した場合に限る。 ※ P423 で「指定なし」に指定した場合、アナログまたはグローバル着信は P422 に従い、ダイヤルイン着信は P041 に従う。	0：低 1：中 2：高
P425	外線転送テナント（自動／手動）指定	外線転送ごと（外線転送 1 ～外線転送 4）に、外線転送を利用するテナントを指定する。	1：テナント 1　　3：テナント 3 2：テナント 2　　4：テナント 4
P426	外線自動転送（発信側）指定	外線転送ごと（外線転送 1 ～外線転送 4）に、外線自動転送を使用する場合の発信側外線ボタンを指定する。 ※ 指定外線は、外線着信に対し P019 外線転送自動応答時間指定で指定された着信時間で自動応答し、外線転送のリモコン操作ができる状態になる。 ※P085 外線自動転送発信時の動作指定で発信時の動作を指定することができる。	外線番号０１～３０を指定する。 初期： 外線転送 1 －発信側外線 1:00（指定なし） 外線転送 1 －発信側外線 2:00（指定なし） 外線転送 2 －発信側外線 1:00（指定なし） 外線転送 2 －発信側外線 2:00（指定なし） 外線転送 3 －発信側外線 1:00（指定なし） 外線転送 3 －発信側外線 2:00（指定なし） 外線転送 4 －発信側外線 1:00（指定なし） 外線転送 4 －発信側外線 2:00（指定なし） ※PBX 内線を指定することはできない。 ※同一外線転送では発信側外線に外線ボタンを重複して指定することはできない。 ※発信側外線に指定した外線ボタンは、P427 着信側指定において「指定しない」に変更される。
			
P427	外線自動転送（着信側）指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線自動転送を使用する場合の着信側外線を指定する。 ※外線転送一次応答メッセージを利用するには P028REC 使途指定で留守／お待たせ／一次応答に指定する必要がある。 ※「P085 外線自動転送発信時の動作指定」にて「1:発信側外線 1、2 同時」「2：発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「外線転送 X:一次応答なし」を選択する必要がある。	0：指定しない 1：外線転送 1：一次応答なし 2：外線転送 1：一次応答あり 3：外線転送 2：一次応答なし 4：外線転送 2：一次応答あり 5：外線転送 3：一次応答なし 6：外線転送 3：一次応答あり 7：外線転送 4：一次応答なし 8：外線転送 4：一次応答あり ※ PBX 内線を指定することはできない。 ※ 発信側外線に指定している外線ボタンは、着信側外線に指定することはできない。

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P428	留守番自動応答指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線着信時の留守番自動応答機能を指定する。	0：自動応答しない 1：REC1 が自動応答 2：REC2 が自動応答 3：REC3 が自動応答
P429	テナント１発信許可／規制ダイヤル指定	テナント１の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで４０個まで（ダイヤルテーブル０１～ダイヤルテーブル４０）登録可。 ※ 発信を許可するか規制するかは P433 テナント１発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P430	テナント２発信許可／規制ダイヤル指定	テナント２の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで４０個まで（ダイヤルテーブル０１～ダイヤルテーブル４０）登録可。 ※ 発信を許可するか規制するかは P434 テナント２発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P431	テナント３発信許可／規制ダイヤル指定	テナント３の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで４０個まで（ダイヤルテーブル０１～ダイヤルテーブル４０）登録可。 ※発信を許可するか規制するかは P435 テナント３発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P432	テナント４発信許可／規制ダイヤル指定	テナント４の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで４０個まで（ダイヤルテーブル０１～ダイヤルテーブル４０）登録可。 ※ 発信を許可するか規制するかは P436 テナント４発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P433	テナント１発信許可／規制指定	テナント１の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する
P434	テナント２発信許可／規制指定	テナント２の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する
P435	テナント３発信許可／規制指定	テナント３の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する
P436	テナント４発信許可／規制指定	テナント４の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P437 [A]	個別着信（DIT）指定（昼）	各テナントの外線ボタンごとに、昼間モードのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大４桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線３桁モード時) もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P438 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間 A）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＡのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大４桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線３桁モード時) もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P439 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間Ｂ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＢのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大４桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線３桁モード時) もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P440 [A]	個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	各テナントの外線ボタンごとに、個別着信（DIT）指定のある外線ボタンにアナログ着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0：0 秒　　4：30 秒 1：5 秒　　5：40 秒 2：10 秒　　6：50 秒 3：20 秒　　7：60 秒
P441	外部スピーカ１ 着信音鳴動指定（昼）	各テナントの外線ボタンごとに、昼間モードのときに着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P442	外部スピーカ１ 着信音鳴動指定（夜間Ａ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＡのときに着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P443	外部スピーカ１ 着信音鳴動指定（夜間Ｂ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＢのときに着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P444	外部スピーカ２ 着信音鳴動指定（昼）	各テナントの外線ボタンごとに、昼間モードのときに着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P445	外部スピーカ２ 着信音鳴動指定（夜間Ａ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＡのときに着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P446	外部スピーカ２ 着信音鳴動指定（夜間Ｂ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＢのときに着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P447	外部スピーカ１ コールバック着信音鳴動指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線転送コールバックおよびＲＥＣお待たせメッセージ応答コールバック、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P448	外部スピーカ2 コールバック着信音鳴動指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線転送コールバックおよびＲＥＣお待たせメッセージ応答コールバック、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P449	通報発信外線テナント指定	セーフティグループごとに、通報時に外線発信を行うテナントを指定する。	1：テナント1 2：テナント2 3：テナント3 4：テナント4
P450	通報発信外線指定	セーフティグループごとに、通報時に発信外線として使用する外線ボタンを指定する。 ※外線自動転送の発信側外線と同一外線も指定可。	外線番号 01 ～ 30 を指定する。 初期： セーフティグループ A：00（指定なし） セーフティグループ B：00（指定なし） ※ P402 テナント外線ボタン割付指定で「1：外線（局線／ ISDN)」もしくは「4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ)」に指定されている外線ボタンのみ指定可。
P451	外線保留音源指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線保留時に使用する保留音源を指定する。	1：保留メロディ1 2：保留メロディ2 3：外部保留音
P452	FAX 転送先指定	テナントごとに、FAX を接続する SLI ポートを指定する。 ※それぞれの SLI ポートは、いずれか一つのテナントからのみ選択可能。	0：接続なし 1：SLI 1 2：SLI 2 初期： テナント1：2（SLI 2） テナント2～4：0（接続なし）

システム対応 2

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P501	キャリアアクセスコード指定	外線発信時の電話番号がキャリア選択識別番号と一致したときに電話番号の前に自動的に付加する各事業者のサービスにアクセスするために必要な番号を指定する。	最大 12 桁で指定。 初期：指定なし
P502	キャリア選択識別番号指定	外線発信時にキャリアを選択するための識別番号をシステムで 120 個まで（識別番号 001 ～識別番号 120）登録可。	最大 8 桁で指定。 初期： 識別番号 001：090 識別番号 002：0801 識別番号 003：0802 識別番号 004：0803 識別番号 005：0804 識別番号 006：0805 識別番号 007：0806 識別番号 008：0807 識別番号 009：0808 識別番号 010：0809 識別番号 011 ～ 120：指定なし
P503	キャリアアクセス表示指定	キャリアを選択したときの電話機に表示する内容を指定する。	最大 16 文字で指定。(全角文字のみ) 初期：携帯 ACR　アクセス
P509	ひかり外線自動選局禁止番号指定	ひかり外線自動選局発信時、ひかり外線を自動選局しない番号を、システムで 80 個まで（禁止番号 01 ～禁止番号 80）登録可。 最大１２桁で指定。 初期： 禁止番号 01：001　禁止番号 15：0170　禁止番号 29：108　禁止番号 43：16 禁止番号 02：003　禁止番号 16：0180　禁止番号 30：111　禁止番号 44：189 禁止番号 03：004　禁止番号 17：0190　禁止番号 31：112　禁止番号 45：05701 禁止番号 04：005　禁止番号 18：020　禁止番号 32：114　禁止番号 46：05702 禁止番号 05：006　禁止番号 19：0450　禁止番号 33：121　禁止番号 47：05703 禁止番号 06：007　禁止番号 20：指定なし　禁止番号 34：122　禁止番号 48：05704 禁止番号 07：008　禁止番号 21：060　禁止番号 35：125　禁止番号 49：05705 禁止番号 08：0091　禁止番号 22：0750　禁止番号 36：134　禁止番号 50：05706 禁止番号 09：010800　禁止番号 23：0804　禁止番号 37：136　禁止番号 51：05707 禁止番号 10：指定なし　禁止番号 24：0990　禁止番号 38：141　禁止番号 52：05708 禁止番号 11：0130　禁止番号 25：100　禁止番号 39：145　禁止番号 53：05709 禁止番号 12：0140　禁止番号 26：102　禁止番号 40：146　禁止番号 54 ～ 80：指定なし 禁止番号 13：0150　禁止番号 27：106　禁止番号 41：149 禁止番号 14：0160　禁止番号 28：107　禁止番号 42：15 ※ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可。	
P510	ひかり外線アクセス表示指定	ひかり外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を指定する。	最大 16 文字で指定。(全角文字のみ) 初期値：ひかり電話　アクセス
P511	リモートコールバック PB 待ち時間指定	リモートコールバック発信し、相手応答後から応答した相手からの PB が検出できないと判断するまでの時間を指定する。 ※リモートコールバック PB 待受け時間経過後の動作は P090-2 リモートコールバックＰＢ未検出時動作指定による。	02 ～ 30 秒の範囲で指定。 初期：20（20 秒）
P512	リモートコールバック未応答時間指定	リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定され、指定内線が着信を開始してからその内線が着信応答しないと判断するまでの時間を指定する。	05 ～ 60 秒の範囲で指定。 初期：20（20 秒）

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P513	システム設定その4	1：省エネルギー指定	夜間モードが夜間モードA時に省エネモードにし、動作する電話機を制限するか否かを指定する。動作可能な電話機は実装番号01,02とCL､WS(アナログ)、停電対応電話機。	数字：省エネ動作しない “－”：省エネ動作する
		2：外線一斉着信ランプ制御指定	プログラム設定において着信音が「鳴動しない」に指定されている外線一斉着信時、着信ランプの点滅を行うか否かを指定する。	数字：無鳴動時点滅 “－”：無鳴動時消灯
		3：ハンズフリー外線発信マイク制御指定	ハンズフリーでの外線発信時、相手応答信号が検出されるまでマイクをOFFにしておくか否かを指定する。	数字：発信直後にマイクON “－”：相手応答までマイクOFF
		4：外線ボタン種別表示指定	外線ボタン押下時に外線ボタンの外線種別表示を行うか否かを指定する。	数字：行う “－”：行わない
		5：未使用		
		～		
		0：未使用		
P514	PHS外線自動選局番号指定		自動選局発信時、PHS外線を自動選局する番号を、システムで10個まで（選局番号01～選局番号10）登録可。	最大12桁で指定。 初期： 選局番号01：070 選局番号02～10：指定なし ※ダイヤル1～9、0のみ登録可。
P515	PHS外線アクセス表示指定		PHS外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を指定する。	最大16文字で指定。(全角文字のみ) 初期値：PHS　アクセス
P516	警備装置エリアセーフティグループ指定		警備装置のエリアごと（エリア01～エリア64）に、セーフティグループを指定する。	0：指定なし 1：セーフティグループA 2：セーフティグループB
P517	警備装置ポート指定		警備装置のポート番号を指定する。	1～65535の範囲で指定。 初期：1012
P518	システム間接続公開テナント指定		システム間接続にて接続システムに対し公開するテナントを指定する。	1：テナント1　3：テナント3 2：テナント2　4：テナント4
P519	地震速報システム設定	1：地震速報夜間A動作指定	夜間モード（夜間A）に地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：動作する “－”：動作しない
		2：地震速報夜間B動作指定	夜間モード（夜間B）に地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：動作する “－”：動作しない
		3：外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）	昼間モードのときに外部スピーカから地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
		4：外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間A）	夜間モード（夜間A）のときに外部スピーカから地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
		5：外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間B）	夜間モード（夜間B）のときに外部スピーカから地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
		6：未使用		
		～		
		9：未使用		
P520	外部スピーカ　地震速報警報鳴動テナント指定		外部スピーカから緊急地震速報音を鳴動させる場合、どのテナントの夜間モード（昼／夜間モードA／夜間モードB）に従うかを指定する。	1：テナント1　3：テナント3 2：テナント2　4：テナント4
P521	外部スピーカゲイン2指定(地震)		緊急地震速報音の外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。	0：－12dB　5：＋3dB 1：－9dB　6：＋6dB 2：－6dB　7：＋9dB 3：－3dB　8：＋12dB 4：0dB

24 -2 プログラムの設定方法

●プログラム設定は、TD・LD・CL（親機）から設定します。
● [D] 印のプログラムはデジタル回線接続時に有効です。
● [A] 印のプログラムはアナログ回線接続時に有効です。

① 受話器をおいたままで、機能→保留→＃→0→＊のボタンを押す
→ 「P001　システム設定 1」表示
※外線通話をしながら、プログラム設定を行う場合は、通話状態のままで 機能→保留→＃→0→＊ のボタンを押してください。

② 項目番号を変更するときは、ダイヤルボタンを押す。
※数字表示がー表示に、ー表示が数字表示に変わります。

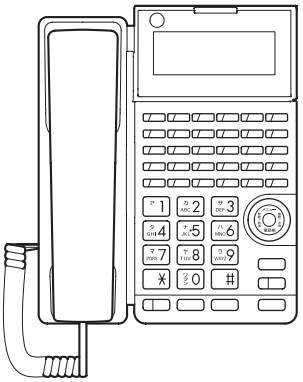
③ 次のプログラム番号に進むときは◎、元に戻すときは◎を押す。
※ 保留を押すごとに、次のプログラム番号に進みます。

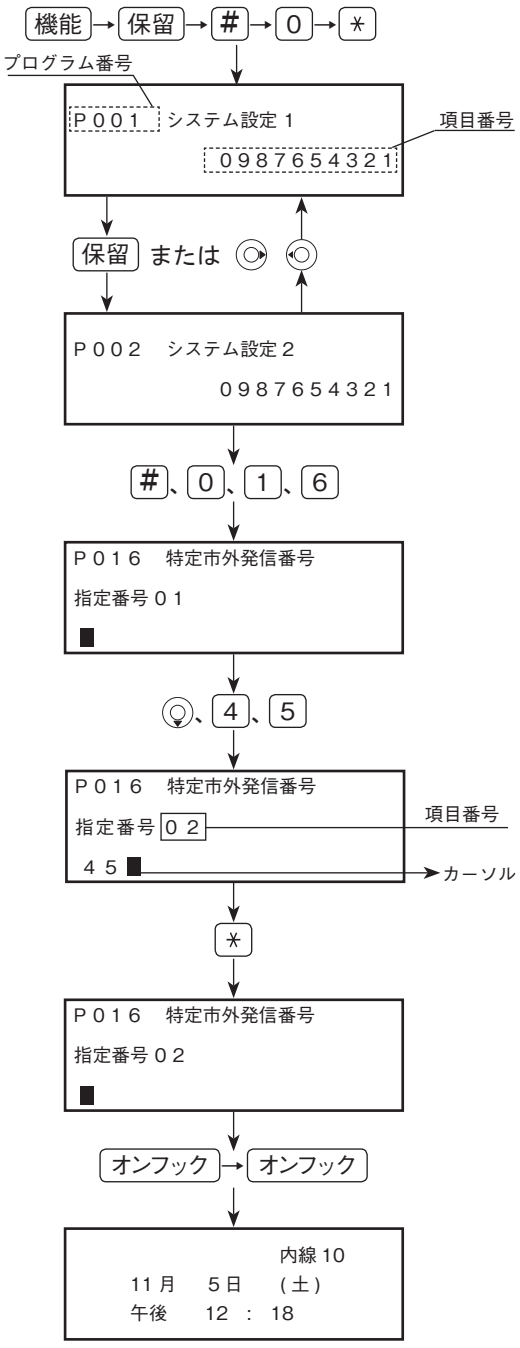
④プログラム番号 P001 ～ P518 の設定を行う。
※特定のプログラムを設定したいときは＃、プログラム番号を押します。

[例]　P016 の場合は＃、0、1、6を押す

⑤◎を押すと２行目の値が増加します。
◎を押すと２行目の値が減少します。
発信を押すと３行目の値が増加します。
短縮を押すと３行目の値が減少します。
※指定内容を消去するときは、＃を押します。

⑥ オフフック 、オンフック を行うと仮登録になり、カレンダ・時計の表示に戻ります。すべての電話機が使用していないときに、自動的に本登録になります。
※仮登録中は、「プログラム設定データ　登録中」の表示が出ます。
※ REC 機能が留守番在宅モード以外でセット中（留守番機能の場合）もしくは、未再生の録音があるときに下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ登録中」が表示され、留守モードを在宅に切り替えるまで本登録は行われません。
P028 REC 使途指定
P029 留守番機能指定
P097 REC 録音時間指定
P210 留守番電話機指定
P428 留守番自動応答指定
※セーフティモード動作中に下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ　登録中」が表示され、セーフティモードを解除するまで本登録は行われません。
P035 リレー制御指定
P036 外部スピーカゲイン指定
P072-1 威嚇警報音の音量指定
P072-2 通報先終話時の威嚇継続指定





次ページへ➔

P072-3 リレー出力タイミング指定
P072-4 外部スピーカ威嚇音鳴動指定
P072-5 通報発信時のＡＣＲ許可指定
P072-6 威嚇時発光指定
P072-7 威嚇警報音鳴動指定
P073 モードセット遅延時間指定
P074 威嚇遅延時間指定
P075 威嚇警報音鳴動時間指定
P076 外部センサタイプ指定
P077 外部センサ対応グループ指定
P078 通報発信外線強制切断指定
P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定
P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定
P081 センサ ON 連続検出回数指定
P082 センサ OFF 確定時間指定
P101 外線収容および外線種別指定
P226 セーフティグループ指定
P228 音声威嚇電話機指定
P229 センサ動作指定
P402 テナント外線ボタン割付指定
P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定
P404 テナント 2 外線発信時の収容外線指定
P405 テナント 3 外線発信時の収容外線指定
P406 テナント 4 外線発信時の収容外線指定
P449 通報外線テナント指定
P450 通報発信外線指定

※いらっしゃいまセンサがセットされている状態で下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ登録中」が表示され、いらっしゃいまセンサを解除するまで本登録は行われません。

P035 リレー制御指定
P076 外部センサタイプ指定
P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定
P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定
P081 センサ ON 連続検出回数指定
P082 センサ OFF 確定時間指定
P229 センサ動作指定
P234 いらっしゃいまセンサ指定
P235 いらっしゃいまセンサ間隔時間指定
P236 いらっしゃいまセンサゲイン指定
P239 いらっしゃいまセンサグループ指定
P240 いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定

⑦ プログラム設定中に◉を押すと、HELP 画面へ移行します。(各設定の簡単な説明が表示されます。)

※ HELP 画面表示中、4 行目に▽が表示されている場合、◯を押すと HELP 画面の続きを表示します。

※ HELP 画面表示中に◉を押すと、設定画面に戻ります。

※ HELP 画面表示中に◯を押すと、次のプログラム番号に進みます。

⑧“数字”と“ー”を変更する設定において、フラッシュを押すと、“数字”と“ー”を一括で反転することが可能です。

【プログラム設定：コピーモード】

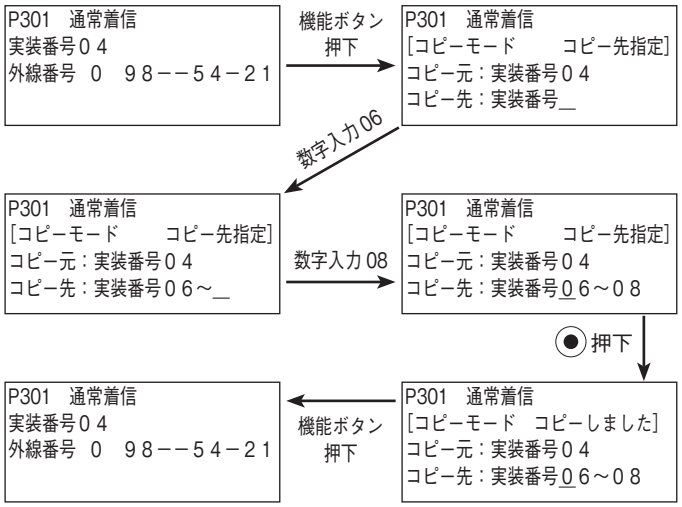
コピーモードは以下の設定データに対して適用します。
※１対１および１対Ｎのコピーを可とします。
※同一項目内（実装番号、外線番号）でのコピーを可とします。

［メニュープログラミング対応］	
P301	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定（昼）
P303	着信音鳴動指定（夜間 A）
P304	着信音鳴動指定（夜間 B）
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）
P309	発信規制指定（昼）
P310	発信規制指定（夜間 A）
P311	発信規制指定（夜間 B）
P312	コールバック着信音鳴動指定
P313	自動選局指定（発信）
P314	自動選局指定（応答）
［テナント対応］	
P429	テナント１　発信許可／規制ダイヤル指定
P430	テナント２　発信許可／規制ダイヤル指定
P431	テナント３　発信許可／規制ダイヤル指定
P432	テナント４　発信許可／規制ダイヤル指定
P433	テナント１　発信許可／規制指定
P434	テナント２　発信許可／規制指定
P435	テナント３　発信許可／規制指定
P436	テナント４　発信許可／規制指定

≪機能概要≫

２行目に表示されている項目番号（実装番号または外線番号）ごとに設定された３行目の設定内容（「数字」もしくは「－」）を、同じ設定内、他の２行目番号に表示されている項目番号にコピーすることが可能です。
例）P301 の場合
実装番号 04 に設定された外線番号の「数字」もしくは「－」と同じ状態を、P301 の実装番号 06 ～ 08 にコピーすることが可能です。

操作手順



入力を消去する場合

```
P301　通常着信
［コピーモード　　コピー先指定］
コピー元：実装番号０４
コピー先：実装番号＿
```

［＊］を押下すると４行目入力済みの数字を消去します。

コピー先の数字が確定する前に、●を押下した場合。

```
P301　通常着信
［コピーモード　　入力途中です］
コピー元：実装番号０４
コピー先：実装番号０＿
```

数字入力中に●を押下した場合、
［コピーモード　　入力途中です］の警告が表示されます。
数字の入力を完了した後、●を押してください。

コピー先に１つの番号のみ入力し、その後●を押下した場合。

```
P301　通常着信
［コピーモード　　コピー先指定］
コピー元：実装番号０４
コピー先：実装番号０２～＿
```

図 1

数値要素が 1 つの場合その値（図 1 の場合、実装番号 02）に対してのみコピーが行われます。

【プログラム設定：自動選択モード】

モード概要：任意の機能に関連した設定項目を自動で選択するモード。

No	操作	説明	画面表示	備考
1			PX50 XXXXX 0987654321	
2	[#]を押す	ダイヤル入力による設定番号入力 待ち状態	P	
3	◇を押す	PXX のように、入力途中の数値は消去される。二行目～四行目に自動選択する機能が表示され、選択状態の機能は三行目に反転表示される。	P いらっしゃいまセンサ 外線着信（グローバル） 外線着信（アナログ）	（※ 1）（※ 2）
4	◇を押す	◇を押すと二行目～四行目の表示がスクロールする。	P 外線着信（アナログ） 外線個別着信 外線着信	（※ 1）（※ 2）
5	◇または●を押す	No.4 にて選択した機能に関連する設定項目の先頭に移行する。 ※◇の場合設定項目の最終に移行する。	P048 GL 個別着信（DIT）（昼） ISDN 回線 1 -	（※ 3）（※ 4）
6	◇を押す	No.4 にて選択した機能に関連する No.5 で選択された次の設定項目に移行する。	P052 DI 個別着信（DIT）（昼） DI 番号 0 1 -	（※ 3）（※ 4）
7	◇を押す	No.4 にて選択した機能に関連する No.6 で選択された前の設定項目に移行する。	P048 GL 個別着信（DIT）（昼） ISDN 回線 1 -	（※ 3）（※ 4）

●操作

（※ 1）[#]を押すと No.2 に移行する。

（※ 2）ダイヤルボタンを押すと No.2 にてダイヤルボタンを押下された状態に移行し自動選択モードは解除される。

（※ 3）自動選択モード中において◇以外の動作は通常のプログラム設定と同様。

（※ 4）[#]を押すと No.2 に移行し自動選択モードは解除される。

●例【通話メモ】

No.4 で【通話メモ】を選択し◇もしくは●を押すと、No.5 にて P027 が表示される。

No.4 で【通話メモ】を選択し◇を押すと、No.5 にて P222 が表示される。

◇を押すごとに P027 → P028 → P222 → P027 と設定項目が変化し、◇を押すごとに P027 → P222 → P028 → P027 と設定項目が変化する。

※選択可能な機能および変化する設定項目群は（自動選択設定番号一覧）による。

[#]を押すと No.2 へ移行し、自動選択モードは解除される。

（自動選択設定番号一覧） ※設定番号の先頭の P は省略

外線着信 (グローバル)	402,411,301,302	迷惑電話拒否	027,028,210
外線着信 (アナログ)	402,407,302	非通知拒否	027,028,210
外線個別着信	048,052,437	FAX 自動切り替え (グローバル)	066,302,452
外線発信	402,403,404,405,406	FAX 自動切り替え (ダイヤルイン)	067,306,452
発信規制	309,310,311,313	FAX 自動切り替え (アナログ)	109,302,452
ダイヤルイン着信 (ISDN)	402,039,415,305,306	外線転送	426,427
ダイヤルイン着信 (i・ナンバー)	402,039,415,305,306	ドアホン	223,215,214,034,033
ダイヤルイン着信 (アナログ)	402,105,039,415,305,306	外部スピーカ (グローバル)	035,036,441,032
VoIP 着信	402,039,415,305,306	外部スピーカ (ダイヤルイン)	035,036,315,032
ひかり電話着信	402,101,102,039,415,305,306	外部スピーカ (アナログ)	035,036,441,032
ACR	103,501,502,503	セーフティ	072,073,074,226,228,229,450,035
着信音	421,422,040,041	内線呼び出し	231
REC(留守番)	027,028,029,210,428	割り込み	206
通話メモ	027,028,222	いらっしゃいまセンサ	035,234,239,240,229

機能 → 保留 → # → 0 → ＊を押す

システム対応

■ P001　システム設定 1

P001 ｼｽﾃﾑ設定 1
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	未使用	□	
2	一斉／グループ呼出指定	音声呼	信号呼
3	共通短縮ダイヤル 発信規制解除指定	解除しない （規制する）	解除する （規制しない）
4	強制転送指定	可	不可
5	自動転送指定	可	不可
6	オンフック転送指定	可	不可
7	ワンタッチ発信機能指定	不可	可
8	通話中の CNG 信号検出 継続指定	継続する	継続しない
9	外線自動選局順位指定	老番から	若番から
0	自動 PB 信号切り替え指定	有	無

■ P001　プログラム番号 P001

[例] 一斉／グループ呼出方法を「音声呼」から「信号呼」へ変更する。

1 機能 → 保留 → # → 0 → ＊を押す

P001 ｼｽﾃﾑ設定 1
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

▼　音声呼

2 2 を押す

P001 ｼｽﾃﾑ設定 1
0 9 8 7 6 5 4 3 －1

信号呼

保留 を押す

■ P002　システム設定 2

P002 ｼｽﾃﾑ設定 2
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ポーズ時間指定	3.0 秒	1.0 秒
2	迷惑電話一覧表示指定	電話番号順	登録順
3	外線発信規制指定 100 番 (準特甲、甲)	規制あり	規制なし
4	外線発信規制指定 110 番、 119 番 (PBX 内準甲)	規制なし	規制あり
5	一般電話機 (保留 / フッキング) 指定	保留	フッキング
6	バッテリパワーセーブ 指定	全電話機動作 する	実装番号 01、02 のみ動作する
7	未使用	□	
8	未使用	□	
9	未使用	□	
0	通話料金表示 フォーマット指定	小数点以下は 表示しない	小数点第 1 位 まで表示する

保留 を押す

■ P003　システム設定 3

P003 ｼｽﾃﾑ設定 3
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	個別着信 (DIT) の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	個別着信 (DIT) 動作指定	一斉着信から 個別着信	個別着信から 一斉着信
3	未使用	□	
4	BGM 指定	未接続	接続
5	ナンバー・ディスプレイ 着信履歴指定	記録する	記録しない
6	着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の 履歴のみ表示
7	システム着信履歴表示指定	すべて表示する	着信応答した 履歴を除く
8	アナログ外線の発信電話番号 切替指定	利用する	利用しない
9	オンフックリモート 転送指定	転送不可	転送可
0	CNG 信号検出中の着信音 鳴動指定	鳴動しない	鳴動する

保留 を押す

■ P004　保留警報タイマ指定

P004 保留警報ﾀｲﾏ
2 ＜初期設定＞
→ 3 分

初期値	設定変更
2	0：1 分 1：2 分 2：3 分 3：4 分 4：無制限

保留 を押す

■ P005　オートリピートタイマ指定

P005 ｵｰﾄﾘﾋﾟｰﾄﾀｲﾏ
0 ＜初期設定＞
→ 120 秒 /3 秒 /15 回

初期値	設定変更
0	呼出時間／待ち時間／回数 0：120 秒／ 3 秒／ 15 回 1：120 秒／ 10 秒／ 15 回 2：120 秒／ 30 秒／ 15 回 3：120 秒／ 60 秒／ 100 回

保留 を押す

■ [A]P006　フックフラッシュ時間指定

P006 ﾌｯｸﾌﾗｯｼｭ時間
6 ＜初期設定＞
→ 800ms

初期値	設定変更	
6	0：（設定不可）	5：600ms
	1：（設定不可）	6：800ms
	2：（設定不可）	7：1.0s
	3：200ms	8：1.5s
	4：400ms	9：2.0s

保留 を押す

■ P007 オートリピート発信指定

P007 ｵｰﾄﾘﾋﾟｰﾄ発信
ｵｰﾄ / ﾌﾟﾘｾｯﾄ / 確 / ﾘﾀﾞｲﾔﾙ　－－２１ ＜初期設定＞
→ ワンタッチリダイヤル：オートリピートする

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	ワンタッチリダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
2	確かめダイヤル		
3	プリセットダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
4	ワンタッチオートダイヤル		

保留 を押す

■ P008 夜間モード CNG 信号検出指定

P008 夜間ﾓｰﾄﾞ CNG 信号検出
昼 / 夜B/ 夜A　－－－ ＜初期設定＞
→ 夜間 A：検出する
→ 夜間 B：検出する
→ 昼：検出する

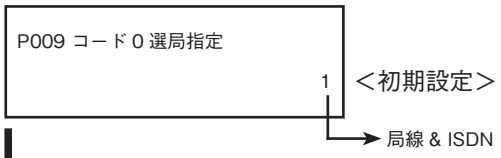
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	夜間 A	検出しない	検出する
2	夜間 B		
3	昼		

※ 以下の設定において、「検出する」に設定されている着信に対して適用する。
P066　グローバル着信 CNG 信号検出
P067　ダイヤルイン着信 CNG 信号検出
P109　アナログ外線着信 CNG 信号検出

保留 を押す

■ P009　コード 0 選局指定

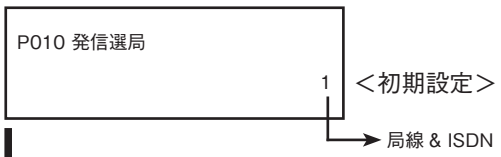


初期値	設定変更
1	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線

※「未使用」に設定するとダイヤル 0 による外線自動捕捉ができなくなります。

保留 を押す

■ P010　発信選局指定

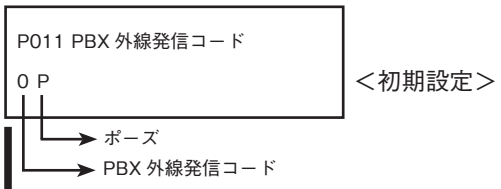


初期値	設定変更
1	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線

※「未使用」に設定すると 発信 、メニュー操作からの短縮発信、 リダイヤル 、 オートダイヤル による外線自動捕捉ができなくなります。
※ リダイヤル はリダイヤルボタンを作成する必要があります。

保留 を押す

■ [A]P011　PBX 外線発信コード指定



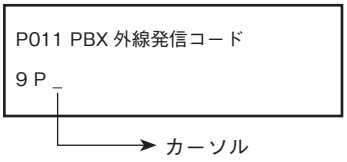
初期値	設定変更
0P	PBX 外線発信コードとポーズを指定

※数字とポーズを 3 桁ずつ、計 6 桁まで指定できます。
※数字は 3 桁まで連続指定できますが、「P」（ポーズ）は連続指定できません。
※ 1 桁目に「P」は、指定できません。

■ [A]P011　プログラム番号 P011

[例] PBX 内線が収容されている場合の外線発信コード（PBX アクセスコード）が「9」の場合。

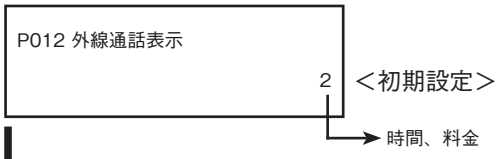
1 9 、 フラッシュ （PBX 発信コードとポーズ）を押す



※ フラッシュ を押すと「P」（ポーズ）が表示されます。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

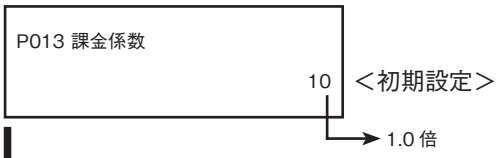
■ P012　外線通話表示指定



初期値	設定変更	備　考
2	0：時間 1：料金 2：時間、料金	「料金」は、デジタル回線の料金情報通知サービスによる。

保留 を押す

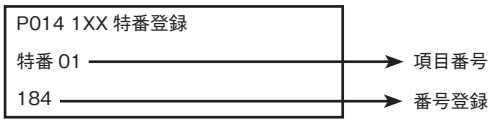
■ P013 課金係数指定



初期値	設定値	備　考
10	01 ～ 99	01：0.1 倍（1 度数当たり 1 円） 10:1.0 倍（1 度数当たり 10 円） 99:9.9 倍（1 度数当たり 99 円） ※料金は、1 度数 10 円の場合

保留 を押す

■ P014　1 ××特番登録指定

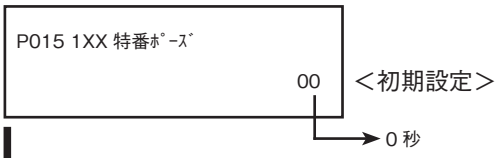


項目	内　　容	初期値	設定値
01	1XX 特番登録指定 01	184	任意の番号を指定 （最大 10 桁）
02	1XX 特番登録指定 02	186	
03	1XX 特番登録指定 03	122	
04	1XX 特番登録指定 04	指定なし	
∫	∫	∫	
10	1XX 特番登録指定 10	指定なし	

※各項目は最大 10 桁まで指定できます。
※◇を押すと特番が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P015 1XX 特番ポーズ指定

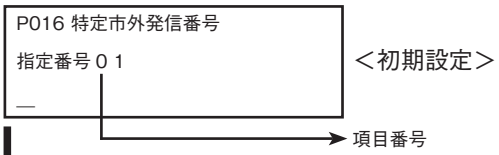


初期値	設定値
00	00 ～ 99

※ 01 ＝ 0.5 秒　[例] 04 ＝ 2.0 秒
※ 00 ～ 99 の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P016 特定市外発信番号指定



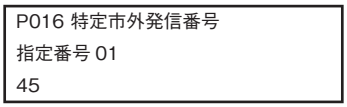
項目	初期値	設定値
01～20	指定なし	市外局番 （最大 4 桁）

※特定市外発信番号の局番は 20 カ所まで指定可能。
※設定は、市外局番の上 1 桁目の「0」を省略し、2 桁目から 5 桁目までを設定可能。
※◇を押すと指定番号が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

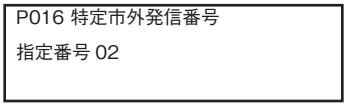
■ P016　プログラム番号 P016

[例] サービスクラス「準特甲」に設定された電話機からの市外局番 045、0471 地区への市外局番を許可する場合。

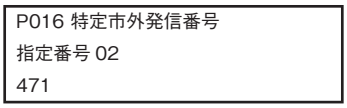
1 4 5 を押す



2 ◇を押す



3 4 7 1 を押す



※＊を押すと表示されている内容が消去されます。
※◇を押すと指定番号が変わります。

保留 を押す

■ P017 外線発信規制番号指定

P017 外線発信規制番号
規制番号０１
＿

＜初期設定＞

→ 規制番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	規制番号 01	指定なし	市外局番を含め指定（最大 4 桁）
∫	∫		
20	規制番号 20		

※ 外線発信規制番号は 20 ヶ所まで指定できます。
※「特甲」以外の電話機に対してのみ適用します。
※◎を押すと規制番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P018 留守番在宅自動応答時間指定

P018 留守番在宅自動応答時間
０４５

＜初期設定＞

→ 45 秒

初期値	設定値
045	000 ～ 180

※ 000 のときは自動応答しません。
※ 001 で 1 秒です。

保留 を押す

■ P019 外線転送自動応答時間指定

P019 外線転送自動応答時間
０４２

＜初期設定＞

→ 42 秒

初期値	設定値
042	000 ～ 180

※ 000 のときは自動応答しません。
※ 001 で 1 秒です。

保留 を押す

■ P020 NTT 強制接続コード指定

P020 NTT 強制接続ｺｰﾄﾞ
００００

＜初期設定＞

初期値	設定値
0000	0000 ～ 9999

※ 4 桁で指定。

保留 を押す

■ P021　外線転送システム設定

P021 外線転送ｼｽﾃﾑ設定
０９８７６５４３２１

＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	外線転送 1 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
2	外線転送 2 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
3	外線転送 3 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
4	外線転送 4 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
5	外線転送発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P023 外線転送転送先不応答切断タイマ指定

P023 外線転送転送先不応答切断ﾀｲﾏ
2 ＜初期設定＞
→ 60 秒

初期値	設定値
2	0 : 20 秒 1 : 40 秒 2 : 60 秒 3 : 80 秒 4 : 100 秒 5 : 120 秒

保留 を押す

■ P024 外線転送終話時コールバック時間指定

P024 外線転送終話時ｺｰﾙﾊﾞｯｸ時間
自動 / 手動 0 2 ＜初期設定＞
→ 外線手動転送：2 秒
→ 外線自動転送：コールバックしない

項目	内　　容	初期値	設定値
1	外線手動転送	2	0：コールバックしない 1：1 秒 2：2 秒 3：3 秒 4：4 秒 5：5 秒 6：6 秒
2	外線自動転送	0	

保留 を押す

■ P025 外線転送最大通話時間指定

P025 外線転送最大通話時間
2 ＜初期設定＞
→ 2 時間

初期値	設定値
2	0 : 30 分 1 : 1 時間 2 : 2 時間 3 : 3 時間

保留 を押す

■ P026 外線自動転送中の着信音鳴動指定

P026 外線自動転送中の着信音鳴動
2 ＜初期設定＞
→ 鳴動する

初期値	設定値
2	0：すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1：自動転送起動対象外外線の着信音のみ鳴動しない 2：鳴動する

保留 を押す

■ P027　REC システム設定

P027 REC ｼｽﾃﾑ設定
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	用件自動消去指定	自動消去あり	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	REC ごとに共通	電話機個別
3	迷惑電話登録指定	満杯時登録禁止	満杯時登録可
4	追っかけ転送発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
5	REC お待たせ動作指定	コールバックする	ガイダンスを繰り返す
6	公衆電話迷惑拒否指定	拒否しない	拒否する
7	表示圏外迷惑拒否指定	拒否しない	拒否する
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P028　REC 使途設定

P028 REC 使途
REC Busy/3/2/1　0 0 0 1　＜初期設定＞
→ REC1：留守／お待たせ／一次応答

項目	内　　容	初期値	設定値
1	REC1	1	0：未使用 1：留守 / お待たせ / 一次応答
2	REC2	0	2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否 5：通話メモ
3	REC3		
4	RECBusy	0	2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否

※ REC Busy には「2：非通知拒否／迷惑電話拒否」「3：非通知拒否」「4：迷惑電話拒否」のみ設定可能であり、設定をした場合、電話をしてきた相手に対し、通話中 Busy 拒否を行います。（P210 の設定が必要です）

保留 を押す

■ P029 留守番機能指定

P029 留守番機能
REC3/2/1　0 0 0　＜初期設定＞
→ REC1：応答録音のみ可

項目	内　　容	初期値	設定値
1	REC1	0	0：応答録音のみ可 1：応答専用のみ可 2：両方可
2	REC2		
3	REC3		

保留 を押す

■ P030 REC お待たせ時間指定

P030 REC お待たせ時間
3　＜初期設定＞
→ 3 分

初期値	設定値
3	0：指定なし 1：1 分 2：2 分 3：3 分 4：4 分

保留 を押す

■ P031 DR・PG システム設定

P031 DR・PG ｼｽﾃﾑ設定
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	外部スピーカ１への BGM 送出指定	送出しない	送出する
2	外部スピーカ２への BGM 送出指定	送出しない	送出する
3	未使用		
4	外部スピーカ呼出時の電話機鳴動指定	必ず鳴動する	外部スピーカの指定（P032 に従う）
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P032 ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定

P032 ﾄﾞｱﾎﾝ＆外部ｽﾋﾟｰｶ呼出音種別
SPー斉 /2/1ﾄﾞｱ3/2/1　4 4 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ ドアホン１：ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン

項目	内　容	初期値	設定値
1	ドアホン１	1	0：送出しない
2	ドアホン２	2	1：ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン
3	ドアホン３	3	2：ピンポーン・パンポーン
4	外部スピーカ１	4	3：ピロリロリロリロ・ピロリロリロリロ
5	外部スピーカ２		4：ピンポンパンポーン
6	外部スピーカー斉		5：ポン

※ドアホンに「0：送出しない」は指定できません。

保留 を押す

■ P033 ドアホン通話ゲイン指定（送話／受話）

P033 ﾄﾞｱﾎﾝ通話ｹﾞｲﾝ（送話 / 受話）
送話音量
ドアホン 3/2/1　4 4 4 ＜初期設定＞

→ ドアホン１：0dB

項目	内　容		初期値	設定値
1	送話音量	ドアホン１	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
		ドアホン２		
		ドアホン３		
2	受話音量	ドアホン１	7	
		ドアホン２		
		ドアホン３		

※◇を押すと「送話音量」「受話音量」設定に移ります。

保留 を押す

■ P034 ドアホン着信音周期指定

P034 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音周期
ドアホン 3/2/1　3 2 1 ＜初期設定＞

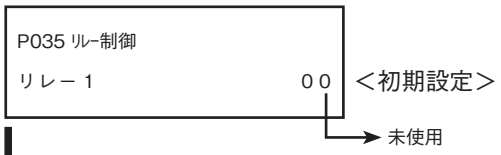
→ ドアホン１：繰り返し

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン１	繰り返し	1 回（約 4 秒）
2	ドアホン２		
3	ドアホン３		

保留 を押す

■ P035 リレー制御指定

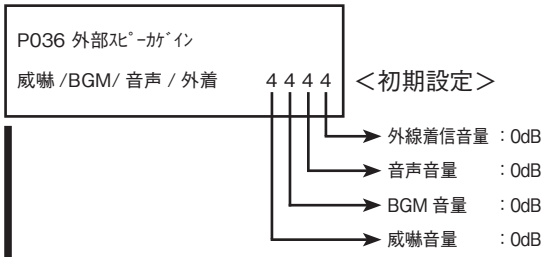


項目	内　　容	初期値	設定値
1	リレー１	00	00：未使用 01：電気錠１（ドアホン１） 02：電気錠２（ドアホン２） 03：電気錠３（ドアホン３） 04：外部スピーカ１ 05：外部スピーカ２ 06：外部保留音源 & BGM 07：Web カメラ （セーフティ A に連動） 08：Web カメラ （セーフティ B に連動） 09：Web カメラ （セーフティ A・B の両方に連動） 10：いらっしゃいまセンサ A に連動 11：いらっしゃいまセンサ B に連動 12：いらっしゃいまセンサ A・B の両方に連動
2	リレー２		
3	リレー３		

※ 同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいまセンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能。
※ ドアホン１と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠１」に設定してください。
※ ドアホン２と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠２」に設定してください。
※ ドアホン３と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠３」に設定してください。

保留 を押す

■ P036 外部スピーカゲイン指定（外線着信、音声、BGM、威嚇）

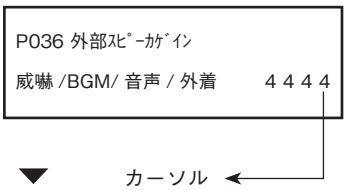


項目	内　　容	初期値	設定値
1	外線着信音量	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	音声音量		
3	BGM 音量		
4	威嚇音量		

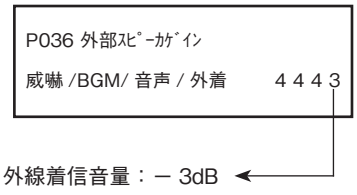
■ P036　外部スピーカゲイン指定（外線着信、音声、BGM、威嚇）

[例] 外線着信音量を「－ 3dB」に変更する場合。

1 [1]（外着）を押す



2 [3]（－ 3dB）を押す



保留 を押す

■ [D]P037　ISDN システム設定

P037 ISDN ｼｽﾃﾑ設定
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

□：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	無効サブアドレス指定	□着信拒否する	ー斉着信にする
2	発サブアドレス通知指定	□通知しない	通知する
3	経過表示指定	□表示しない	表示する
4	理由表示指定	□表示しない	表示する
5	未使用	□	
6	未使用	□	
7	未使用	□	
8	未使用	□	
9	未使用	□	
0	未使用	□	

保留 を押す

■ [D]P038 ISDN 契約者回線番号指定

P038 ISDN 契約者回線番号
ISDN 回線 1　＜初期設定＞
＿
→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	任意の番号を指定（最大 13 桁）
2	ISDN 回線 2		

※◇を押すと ISDN 回線が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P039 ダイヤルイン番号指定

P039 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号
DI 番号 01　＜初期設定＞
＿
→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	任意の番号を指定（最大 13 桁）
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◇を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。
※市内局番から登録します。
※ 050-XXXX-XXXX を登録する場合は、050 を除いた XXXX-XXXX（8 桁）を登録します。

保留 を押す

■ P040 ダイヤルイン着信音周期指定

P040 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音周期
DI 番号 01= 鳴動周期 0 1　＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：着信音 A

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	01	01：着信音 A 02：着信音 B 03：着信音 C 04：着信音 D 05：着信音 E 06：着信音 F 07：着信音 G 08：着信音 H 09：保留メロディ 1 10：保留メロディ 2 11：着信メロディ 1 12：着信メロディ 2
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すと、次のダイヤルイン番号に移動します。
※ 短縮 を押すと、前のダイヤルイン番号に戻ります。

保留 を押す

■ P041 ダイヤルイン着信音種別指定

P041 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音種別
DI 番号　0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：低

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	0	0：低 1：中 2：高
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ P040 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）に設定した場合に限り適用します。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P042 グローバル着信ダイレクト自動転送指定

P042 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄ自動転送
ISDN 回線　　2 1　＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：転送可

□：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	転送可	転送不可
2	ISDN 回線 2		

保留 を押す

■ [D]P043 ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定

P043 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄ自動転送
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：転送可

□：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	転送可	転送不可
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P044 グローバル着信ダイレクトリモコン指定

P044 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄﾘﾓｺﾝ
ISDN 回線　　2 1　＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：指定しない

□：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2		

保留 を押す

■ P045 ダイヤルイン着信 ダイレクトリモコン指定

P045 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄﾘﾓｺﾝ
DI 番号　0　　987654321　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定しない	指定する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P047 ダイヤルイン着信疑似コール ウェイティング指定

P047 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信擬似ｺｰﾙｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ
DI 番号　0　　987654321　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定しない	指定する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P046 グローバル着信疑似コール ウェイティング指定

P046 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信擬似ｺｰﾙｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ
ISDN 回線　21　＜初期設定＞

→ ISDN 回線 1：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2		

保留 を押す

■ [D]P048 グローバル着信個別着信 (DIT) 指定 (昼)

P048 GL 個別着信 (DIT) (昼)
ISDN 回線 1
－　＜初期設定＞

→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
2	ISDN 回線 2		

※◇を押すと ISDN 回線が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P049 グローバル着信個別着信（DIT）指定（夜間 A）

P049 GL 個別着信 (DIT) (夜間 A)
ISDN 回線 1
－

＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 （100 ～ 899）
2	ISDN 回線 2		

※◇を押すと ISDN 回線が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P050 グローバル着信個別着信（DIT）指定（夜間 B）

P050 GL 個別着信 (DIT) (夜間 B)
ISDN 回線 1
－

＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 （100 ～ 899）
2	ISDN 回線 2		

※◇を押すと ISDN 回線が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P051 グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

P051 GL 個別着信 DIT 遅延応答時間
ISDN 回線　　0 0

＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：0 秒

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	0	0：0 秒 1：5 秒 2：10 秒 3：15 秒 4：20 秒 5：30 秒 6：40 秒 7：60 秒
2	ISDN 回線 2		

保留 を押す

■ P052 ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）

P052 DI 個別着信 (DIT) (昼)
DI 番号 01
－

＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 （100 ～ 899）
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◇を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P053 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間 A)

P053 DI 個別着信 (DIT)(夜間 A)
DI 番号 01
－ ＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◇を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

[保留] を押す

■ P054 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間 B)

P054 DI 個別着信 (DIT)(夜間 B)
DI 番号 01
－ ＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◇を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

[保留] を押す

■ P055 ダイヤルイン個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定

P055 DI 個別着信 (DIT) 遅延応答時間
DI 番号 0　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：0 秒

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	0	0：0 秒 1：5 秒 2：10 秒 3：15 秒 4：20 秒 5：30 秒 6：40 秒 7：60 秒
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ [発信] を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

[保留] を押す

■ P056 認識グループ着信時の動作指定

P056 識別ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信時の動作
グループ 0
自動転送 / 留守番応答　2 1 ＜初期設定＞
→ 留守番応答：指定する

□：初期設定

項目	内　　容		設定値	
			数字表示	－表示
01	グループ 0	留守番応答	指定する	指定しない
		自動転送		
∫	∫	∫		
10	グループ 9	留守番応答		
		自動転送		

※◇を押すとグループ番号が変わります。

[保留] を押す

■ P057 内線個別信号呼出音種別指定

P057 内線個別信号呼出音種別
0 ＜初期設定＞
→ 着信音 1

初期値	設定値
0	0：着信音 1 1：着信音 2 2：着信音 3 3：単音

保留 を押す

■ P058 グループ呼出時の外部スピーカ呼出

P058 ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出時の外部ｽﾋﾟｰｶ呼出
ｸﾞﾙｰﾌﾟ A
外部スピーカ 2/1 2 1 ＜初期設定＞
→ 呼び出さない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	グループ A	外部スピーカ 1～2	呼び出さない	呼び出す
∫	∫			
9	グループ I			

※◇を押すとグループ番号が変わります。

保留 を押す

■ P059 VoIP 外線自動選局禁止番号指定

P059 VoIP 外線自動選局禁止番号
禁止番号 01
0 0 1 ＜初期設定＞

項目	内　容	初期値	設定値
01	VoIP 外線自動選局禁止番号 01	001	任意の番号を指定（最大 12 桁）
02	VoIP 外線自動選局禁止番号 02	003	
03	VoIP 外線自動選局禁止番号 03	004	
04	VoIP 外線自動選局禁止番号 04	005	
05	VoIP 外線自動選局禁止番号 05	006	
06	VoIP 外線自動選局禁止番号 06	007	
07	VoIP 外線自動選局禁止番号 07	008	
08	VoIP 外線自動選局禁止番号 08	0091	
09	VoIP 外線自動選局禁止番号 09	010800	
10	VoIP 外線自動選局禁止番号 10	0120	
11	VoIP 外線自動選局禁止番号 11	0170	
12	VoIP 外線自動選局禁止番号 12	0180	
13	VoIP 外線自動選局禁止番号 13	0190	
14	VoIP 外線自動選局禁止番号 14	020	
15	VoIP 外線自動選局禁止番号 15	0570	
16	VoIP 外線自動選局禁止番号 16	060	
17	VoIP 外線自動選局禁止番号 17	0800	
18	VoIP 外線自動選局禁止番号 18	0990	
19	VoIP 外線自動選局禁止番号 19	10	
20	VoIP 外線自動選局禁止番号 20	11	
21	VoIP 外線自動選局禁止番号 21	12	
22	VoIP 外線自動選局禁止番号 22	13	
23	VoIP 外線自動選局禁止番号 23	14	
24	VoIP 外線自動選局禁止番号 24	15	
25	VoIP 外線自動選局禁止番号 25	16	
26	VoIP 外線自動選局禁止番号 26	17	
27	VoIP 外線自動選局禁止番号 27	18	
28	VoIP 外線自動選局禁止番号 28	19	
29	VoIP 外線自動選局禁止番号 29	指定なし	
∫	∫	∫	
80	VoIP 外線自動選局禁止番号 80	指定なし	

※◇を押すと禁止番号が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P060　VoIP 外線アクセス表示指定

P060 VoIP 外線ｱｸｾｽ表示
IP 電話サービス　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定
＜初期設定＞

初期値	設定値
IP 電話サービス　アクセス	最大全角 16 桁

※ 発信 を押下すると、入力を開始します。設定方法は、電話帳登録と同じです。◉を押すと、入力終了です。

保留 を押す

■ P061 内線番号桁数指定

P061 内線番号桁数
2　＜初期設定＞
→ 内線番号：2 桁

初期値	設定値
2	2：2 桁（10 ～ 89）
	3：3 桁（100 ～ 899）

※ 桁数を変更する場合、確認のメッセージが表示され、1 を押すと変更されます。
※ 桁数変更時、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。

保留 を押す

■ P062 PB 信号送出パターン指定（送出／ポーズ）

P062 PB 信号送出ﾊﾟﾀｰﾝ(送出/ﾎﾟｰｽﾞ)
1　＜初期設定＞
→ 100ms / 80ms

初期値	設定値
1	0：80ms / 60ms
	1：100ms / 80ms
	2：400ms / 100ms
	3：600ms / 100ms
	4：900ms / 200ms

保留 を押す

■ P063 話中／不応答転送タイマ指定

P063 話中 / 不応答転送ﾀｲﾏ
0　＜初期設定＞
→ 10 秒

初期値	設定値
0	0：10 秒
	1：15 秒
	2：20 秒
	3：25 秒
	4：30 秒
	5：35 秒
	6：40 秒
	7：45 秒
	8：50 秒
	9：55 秒

保留 を押す

■ P064 IP 電話自動交換グループ指定

P064 IP 電話自動交換ｸﾞﾙｰﾌﾟ
0　＜初期設定＞
→ 指定なし

初期値	設定値
0	0：指定なし
	1：グループ 1
	2：グループ 2
	3：グループ 3
	4：グループ 4
	5：グループ 5
	6：グループ 6
	7：グループ 7
	8：グループ 8
	9：グループ 9

保留 を押す

■ P065 外部スピーカドアホン 着信音鳴動テナント指定

P065 外部 SP ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動ﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1 の夜間モードに従う

初期値	設定値
1	1：テナント 1 の夜間モードに従う 2：テナント 2 の夜間モードに従う 3：テナント 3 の夜間モードに従う 4：テナント 4 の夜間モードに従う

保留 を押す

■ [D]P066 グローバル着信 CNG 信号検出指定

P066 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 CNG 信号検出
ISDN 回線 2 1 ＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：検出しない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	検出しない	検出する
2	ISDN 回線 2		

保留 を押す

■ P067 ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定

P067 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 CNG 信号検出
DI 番号　0　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	検出しない	検出する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P068 CNG 信号検出時間指定

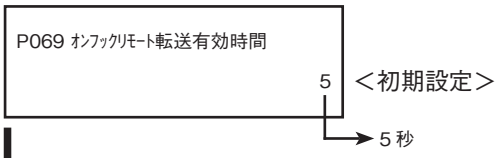
P068 CNG 信号検出時間
09 ＜初期設定＞
→ 9 秒

初期値	設定値
09	04 ～ 30

※ 04 で 4 秒です。

保留 を押す

■ P069 オンフックリモート転送有効時間指定

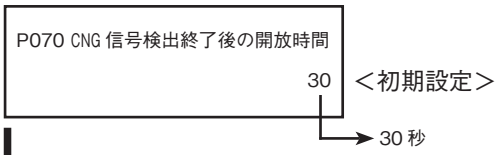


初期値	設定値
5	1 ～ 9

※ 1 で 1 秒です。

保留 を押す

■ [A]P070 CNG 信号検出終了後の開放時間指定

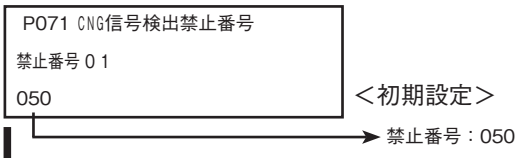


初期値	設定値
30	10 ～ 99

※ 10 で 10 秒です。

保留 を押す

■ P071 CNG 信号検出禁止番号指定

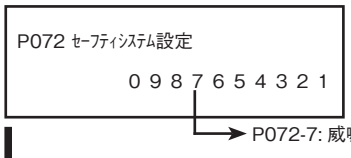


項目	内　　容	初期値	設定値
01	CNG 信号検出禁止番号 01	050	任意の番号を指定（最大 8 桁）
02	CNG 信号検出禁止番号 02	090	
03	CNG 信号検出禁止番号 03	0801	
04	CNG 信号検出禁止番号 04	0802	
05	CNG 信号検出禁止番号 05	0803	
06	CNG 信号検出禁止番号 06	0804	
07	CNG 信号検出禁止番号 07	0805	
08	CNG 信号検出禁止番号 08	0806	
09	CNG 信号検出禁止番号 09	0807	
10	CNG 信号検出禁止番号 10	0808	
11	CNG 信号検出禁止番号 11	0809	
12	CNG 信号検出禁止番号 12	指定なし	
∫	∫	∫	
20	CNG 信号検出禁止番号 20	指定なし	

※ ◎を押すと禁止番号が変わります。
※ 最大 8 桁まで登録可能。
※ ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可能とする。

保留 を押す

■ P072 セーフティシステム設定

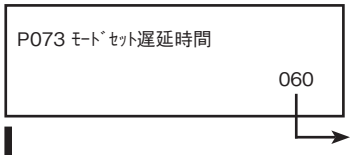


：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	威嚇警報音の音量指定	大	小
2	通報先終話時の威嚇継続指定	威嚇を継続する	威嚇を終了する
3	リレー出力タイミング指定	センサ検知時	威嚇開始時
4	外部スピーカ威嚇音鳴動指定	鳴動あり	鳴動なし
5	通報発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
6	威嚇時発光指定	利用する	利用しない
7	威嚇警報音鳴動指定	鳴動する	鳴動しない
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P073 モードセット遅延時間指定

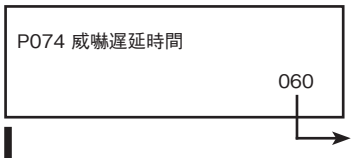


初期値	設定値
060	001 ～ 600

※ 001 ＝ 1 秒　［例］100 ＝ 100 秒
※ 1 秒～ 600 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P074 威嚇遅延時間指定

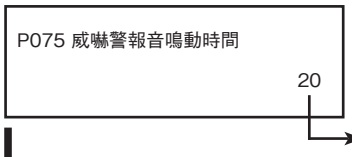


初期値	設定値
060	001 ～ 600

※ 001 ＝ 1 秒　［例］100 ＝ 100 秒
※ 1 秒～ 600 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P075 威嚇警報音鳴動時間指定

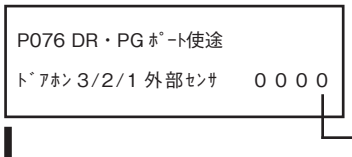


初期値	設定値
20	01 ～ 60

※ 01 ＝ 1 分　［例］10 ＝ 10 分
※ 1 分～ 60 分の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P076 ドア・ページングユニット ポート使途指定

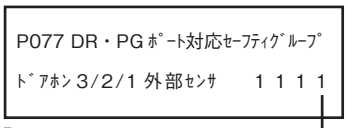


項目	内　　容	初期値	設定値
1	外部センサポート	0	0：接続なし（外部センサポート） ドアホン （ドアホンポート 1/2/3） 1：外部センサ（ブレーク） 2：外部センサ（メーク） 3：外部センサ （ワンショット：メーク） 4：警備入力（警備中 ON） 5：警備入力（警備中 OFF）
2	ドアホンポート 1		
3	ドアホンポート 2		
4	ドアホンポート 3		

※外部センサポートにドアホンを接続することはできません。
※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON もしくは警備中 OFF）を指定できます。

保留 を押す

■ P077 ドア・ページングユニットポート対応 セーフティグループ指定

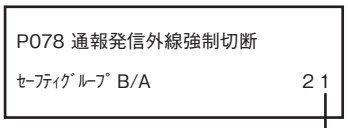


項目	内　容	初期値	設定値
1	外部センサポート	1	1：セーフティグループ A 2：セーフティグループ B
2	ドアホンポート 1		
3	ドアホンポート 2		
4	ドアホンポート 3		

※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（XXX)」もしくは「警備入力（XXX)」に指定されているときのみ有効。
※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「警備入力（XXX)」が複数指定されている場合、同一のセーフティグループに指定を変更すると P076 の指定がクリアされます。

保留 を押す

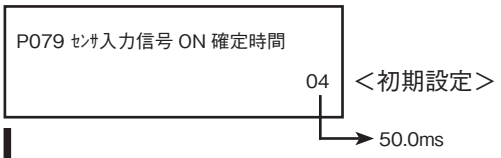
■ P078 通報発信外線強制切断指定



項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	セーフティグループ A	強制切断しない	強制切断する
2	セーフティグループ B		

保留 を押す

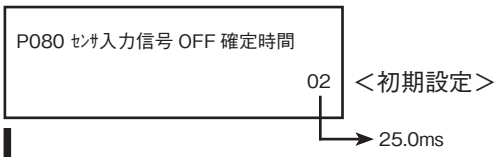
■ P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定



初期値	設定値
04	01：12.5ms 02：25.0ms 03：37.5ms 04：50.0ms 05：62.5ms 06：75.0ms 07：87.5ms 08：100.0ms 09：112.5ms 10：125.0ms 11：137.5ms 12：150.0ms 13：162.5ms 14：175.0ms 15：187.5ms 16：200.0ms

保留 を押す

■ P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定



初期値	設定値
02	01：12.5ms 02：25.0ms 03：37.5ms 04：50.0ms 05：62.5ms 06：75.0ms 07：87.5ms 08：100.0ms 09：112.5ms 10：125.0ms 11：137.5ms 12：150.0ms 13：162.5ms 14：175.0ms 15：187.5ms 16：200.0ms

保留 を押す

■ P081 センサ ON 連続検出回数指定

P081 ｾﾝｻ ON 連続検出回数
1 ＜初期設定＞
→ 1 回

初期値	設定値
1	1 ～ 8

※ 1 回～ 8 回の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P082 センサ OFF 確定時間指定

P082 ｾﾝｻ OFF 確定時間
14 ＜初期設定＞
→ 2000.0ms

初期値	設定値	
14	01：50.0ms	17：2600.0ms
	02：75.5ms	18：2800.0ms
	03：100.0ms	19：3000.0ms
	04：150.0ms	20：3200.0ms
	05：200.0ms	21：3400.0ms
	06：400.0ms	22：3600.0ms
	07：600.0ms	23：3800.0ms
	08：800.0ms	24：4000.0ms
	09：1000.0ms	25：4200.0ms
	10：1200.0ms	26：4400.0ms
	11：1400.0ms	27：4600.0ms
	12：1600.0ms	28：4800.0ms
	13：1800.0ms	29：5000.0ms
	14：2000.0ms	30：5500.0ms
	15：2200.0ms	31：6000.0ms
	16：2400.0ms	32：6500.0ms

保留 を押す

■ P083 一般電話機着信音周期指定

P083 一般電話機着信音周期
外線着信音 1 ＜初期設定＞
→ パターン 1

項目	内　　容	初期値	設定値
1	外線着信音	1	
2	外線個別着信音	1	1：パターン 1
3	内線着信音	2	2：パターン 2
4	ドアホン着信音	3	3：パターン 3
5	着信音転送音	1	4：パターン 4
6	保留警報音	4	

※ ◎を押すと「外線着信音」～「保留警報音」設定に移ります。

保留 を押す

■ P084 オフフック内線自動発信遅延時間指定

P084 ｵﾌﾌｯｸ内線自動発信遅延時間
000 ＜初期設定＞
→ 0 秒

初期値	設定値
000	000 ～ 180

※ 001 ＝ 1 秒　［例］100 ＝ 100 秒
※ 1 秒～ 180 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P085 外線自動転送発信時の動作指定

P085 外線自動転送発信時の動作
外線転送 4/3/2/1　0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 外線転送 1：発信側外線 1 優先

項目	内　容	初期値	設定値
1	外線転送 1	1	0：発信側外線 1 優先 1：発信側外線 1、2 同時 2：発信側外線 1、2 順次
2	外線転送 2		
3	外線転送 3		
4	外線転送 4		

※設定値「1：発信側外線 1、2 同時」「2：発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「P427 外線自動転送（着信側）指定」にて「外線転送 X：一次応答なし」を選択する必要がある。

保留 を押す

■ P086 外線転送通話ゲイン指定

P086 外線転送通話ゲイン
A － A　4　＜初期設定＞
→ A － A：0dB

項目	内　容	初期値	設定値
1	A（アナログ）－ A	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	A（アナログ）－ D		
3	A（アナログ）－ V		
4	D（デジタル）－ A		
5	D（デジタル）－ D		
6	D（デジタル）－ V		
7	V（VoIP）－ A		
8	V（VoIP）－ D		
9	V（VoIP）－ V		

※ ◎を押すと「A － A」～「V － V」設定に移ります。
※ 着信側外線（A）、発信側外線（D）での外線転送が行われた場合、着信回線（A）から発信回線（D）方向への通話ゲインは A － D の指定を利用し、発信回線（D）から着信回線（A）方向への通話ゲインは D － A の指定を利用します。

保留 を押す

■ P087 内線保留音源指定

P087 内線保留音源
1　＜初期設定＞
→ 保留メロディ 1

初期値	設定値
1	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外部保留音

保留 を押す

■ P088 自動 FW 更新定期チェック間隔指定

P088 自動 FW 更新定期ﾁｪｯｸ間隔
03　＜初期設定＞
→ 3 日

初期値	設定値
03	00 ～ 60

※ 01 ＝ 1 日　［例］10 ＝ 10 日
※ 00 は定期チェックを行いません
※ 1 日～ 60 日の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P089 自動 FW 更新時間指定

P089 自動 FW 更新時間
02　＜初期設定＞
→ 2 時

初期値	設定値
02	00 ～ 23

※ 01 ＝ 1 時　［例］10 ＝ 10 時
※ 00 時～ 23 時の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P090 リモートコールバック システム設定

P090 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸｼｽﾃﾑ設定
０９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	リモートコールバック発信回線指定	同一回線	自動選局
2	リモートコールバック PB 未検出時動作指定	切断	一斉着信
3	リモートコールバック 発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
4	リモートコールバック着信 動作指定	切替えない	一斉着信に 切替える
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
10	未使用		

保留 を押す

■ [D]P091 リモートコールバック グローバル着信検出指定

P091 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信検出
ISDN 回線　２１ ＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	検出しない	検出する
2	ISDN 回線 2		

保留 を押す

■ P092 リモートコールバック ダイヤルイン着信検出指定

P092 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信検出
DI 番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	検出しない	検出する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P093 リモートコールバック 検出タイマ指定

P093 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ検出ﾀｲﾏ
００７ ＜初期設定＞
→ 7 秒

初期値	設定値
007	004 ～ 180

※ 004 ＝ 4 秒　［例］010 ＝ 10 秒
※ 4 秒～ 180 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P094 リモートコールバック呼出時間指定

P094 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ呼出時間
1 ＜初期設定＞
→ 20 秒（リトライあり）

初期値	設定値
1	0：60 秒（リトライなし） 1：20 秒（リトライあり） 2：40 秒（リトライあり） 3：60 秒（リトライあり）

保留 を押す

■ P096 リモートコールバックテナント指定

P096 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1

初期値	設定値
1	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4

保留 を押す

■ P097 REC 録音時間指定

P097 REC 録音時間
REC1
060 ＜初期設定＞
→ 60 分

項目	内　容	初期値	設定値
1	REC1	060	000 ～ 180
∫	∫		
3	REC3		

※ ◎を押すと REC 番号が変わります。
※ 録音時間は全 REC を合計して 180 分まで指定可能です。
※ 10 分間隔でのみ指定可能です。

保留 を押す

■ P098 メール通知指定

P098 ﾒｰﾙ通知
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ IP ｱﾄﾞﾚｽ変更時 ＝ OFF ＜初期設定＞

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
1	グローバル IP アドレス変更時	ON：通知する	OFF：通知しない
2	セーフティ動作時		

※ 発信 を押すと「グローバル IP アドレス変更時」「セーフティ動作時」設定に移ります。
※ 1 を押すと“ON”を指定します。
※ 0 を押すと“OFF”を指定します。

保留 を押す

■ P099 パーク保留音源指定

P099 パーク保留音源
パーク 00 1 ＜初期設定＞
→ パーク 00：保留メロディ 1

項目	内　容	初期値	設定値
01	パーク 00	1	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外部保留音
∫	∫		
10	パーク 19		

※ ◎を押すとパーク番号が変わります。

保留 を押す

収容外線対応

■ P101 外線収容および外線種別指定

P101 外線収容および外線種別
収容外線　　１１１１　＜初期設定＞
→ 収容外線 1：局線 &ISDN

項目	内　容	初期値	設定値
1	収容外線 1	1	0：未収容 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話オフィス（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け）
∫	∫		
4	収容外線 4		

※「ひかり電話（外付け）」および「ひかり電話オフィス（外付け）は、ひかり電話対応アダプタを使用する場合に指定してください」。

■ P101　外線種別指定

[例] 収容外線 4 を「PBX 内線」にする場合。

1 [4]（収容外線 4）を押す

P101 外線種別
収容外線　　１１１１
▼ カーソル ←

2 [2]（PBX 内線）を押す

P101 外線種別
収容外線　　２１１１
収容外線 4：PBX 内線 ←

[保留] を押す

■ [A]P102 アナログ外線ダイヤル種別指定

P102 ｱﾅﾛｸﾞ外線ﾀﾞｲﾔﾙ種別
収容外線　　２２２２　＜初期設定＞
→ 収容外線 1：PB

項目	内　容	初期値	設定値
1	収容外線 1	2	0：DP（10PPS） 1：DP（20PPS） 2：PB
∫	∫		
4	収容外線 4		

[保留] を押す

■ P103 NCC 回線指定

P103 NCC 回線
収容外線　0　－－－－－　４３２１　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：NCC 回線

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	収容外線 01	NCC 回線	NTT 回線
∫	∫		
04	収容外線 04		
05	収容外線 05（内蔵 VoIP01）	NCC 回線	NTT 回線
∫	∫		
36	収容外線 36（内蔵 VoIP32）		

※ [発信] を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

[保留] を押す

■ [A]P105 アナログ外線 NTT 付加サービス指定

P105 ｱﾅﾛｸﾞ外線 NTT 付加ｻｰﾋﾞｽ
収容外線　　４３２１　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：利用しない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	収容外線 1	利用しない	利用する
∫	∫		
4	収容外線 4		

保留 を押す

■ [A]P106 アナログ外線ダイレクトリモコン指定

P106 ｱﾅﾛｸﾞ外線ﾀﾞｲﾚｸﾄﾘﾓｺﾝ
収容外線　　４３２１　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：指定しない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	収容外線 1	指定しない	指定する
∫	∫		
4	収容外線 4		

保留 を押す

■ P107 外線通話ゲイン指定

P107 外線通話ｹﾞｲﾝ
送話音量
収容外線　0　４４４４４４４４４　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：0dB

項目	内　容		初期値	設定値
1	送話音量	収容外線 01 ～ 04、収容外線 05 ～ 36（内蔵 VoIP01 ～ 内蔵 VoIP32）	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	受話音量	収容外線 01 ～ 04、収容外線 05 ～ 36（内蔵 VoIP01 ～ 内蔵 VoIP32）		

※ ◎を押すと「送話音量」「受話音量」設定に移ります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [A]P108 アナログ外線発信電話番号の通知状態指定

P108 CO 発信電話番号の通知状態
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：通常通知

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	収容外線 1	通常通知	通常非通知
∫	∫		
4	収容外線 4		

保留 を押す

■ [A]P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出指定

P109 ｱﾅﾛｸﾞ外線着信 CNG 信号検出
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	収容外線 1	検出しない	検出する
∫	∫		
4	収容外線 4		

保留 を押す

■ [A]P110 アナログ外線キャッチホン契約サービス指定

P110 ｱﾅﾛｸﾞ外線ｷｬｯﾁﾎﾝ契約ｻｰﾋﾞｽ
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：契約なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	収容外線 1	契約なし	契約あり
∫	∫		
4	収容外線 4		

保留 を押す

■ [A]P111 リモートコールバック アナログ着信検出指定

P111 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸｱﾅﾛｸﾞ着信検出
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 収容外線 1：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	収容外線 1	検出しない	検出する
∫	∫		
4	収容外線 4		

保留 を押す

電話機対応

■ P201 内線番号指定

P201 内線番号
実装番号 0 1 = 内線番号 10 ＜初期設定＞

項目	内　　容	初期値 内線桁数 2 桁	初期値 内線桁数 3 桁	設定値
01	実装番号 01	10	100	内線番号 10 ～ 89 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
⟆	⟆	⟆	⟆	
08	実装番号 08	17	107	
09	実装番号 09（SLI1）	18	108	
10	実装番号 10（SLI2）	19	109	
11	実装番号 11（IP 電話機）	20	110	
⟆	⟆	⟆	⟆	
26	実装番号 26（IP 電話機）	35	125	

※ [発信] を押すと実装番号が 1 つ進みます。
※ [短縮] を押すと実装番号が 1 つ戻ります。
※ [＊] を押すと入力番号が消去されます。

■ P201　プログラム番号 P201

[例] 実装番号 05 の電話機を内線番号 14 (初期設定) から内線番号 20 に変更する場合。

1 [発信] を 4 回押し実装番号を 05 にする。

P201 内線番号
実装番号 05 = 内線番号 14
▼ カーソル ←

2 [2] [0] (変更後の内線番号) を押す

P201 内線番号
実装番号 05 = 内線番号 20

※既に内線番号 20 に設定されている電話機が存在した場合、内線番号の入れ換えが行われ、その電話機の内線番号が 14 になります。

[保留] を押す

■ P202 内線代表番号指定

P202 内線代表番号
実装番号 0 1 = 内線番号 ＜初期設定＞

項目	内　　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
⟆	⟆		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
⟆	⟆		
26	実装番号 26（IP 電話機）		

※ 実装番号 01 の内線番号が 10 で、本設定にて、実装番号 01 ＝ 11 と設定すると、内線 10 番を呼び出したときに、内線 10 番が話中だと自動的に内線 11 番に着信がスライドします。
※ [発信] を押すと次の実装番号が表示されます。
※ [短縮] を押すと実装番号が 1 つ戻ります。
※ [＊] を押すと表示されている内容が消去されます。

[保留] を押す

■ P203　電話機グループ呼出指定

P203 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
実装番号 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：グループ A

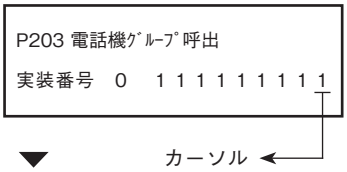
項目	内　　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	1	0：無所属　5：グループ E 1：グループ A　6：グループ F 2：グループ B　7：グループ G 3：グループ C　8：グループ H 4：グループ D　9：グループ I
⟆	⟆		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
⟆	⟆		
26	実装番号 26（IP 電話機）		

※ [発信] を押すごとに表示の実装番号が、01 番台→ 10 番台→ 20 番台に変わります。
※ SLI、IP 電話機は鳴動しない。

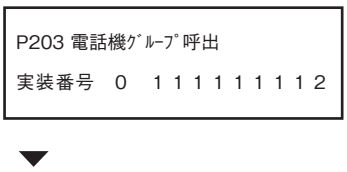
■ P203　プログラム番号 P203

[例] 実装番号 01、10 をグループ B に変更する場合。

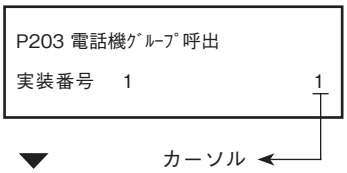
1 [0][1]（実装番号 01）を押す



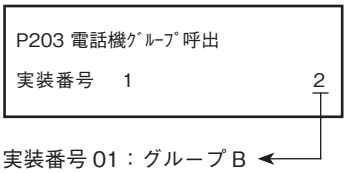
2 [2]（グループ B）を押す



3 [1][0]（実装番号 10）を押す
（または[発信]を押し[1][0]を押す）

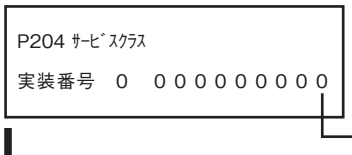


4 [2]（グループ B）を押す



[保留]を押す

■ P204　サービスクラス指定



項目	内　　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：特甲 1：準特甲 2：甲 3：準甲 4：PBX 内準甲
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
∫	∫		
26	実装番号 26（IP 電話機）		

※[発信]を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台に変わります。

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	すべての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外※1 のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
準甲	すべての外線が発信不可 （内線のみ可）
PBX 内準甲	すべての外線が発信不可 （PBX 内線および内線のみ可）

※ 1 P016 特定市外発信番号指定（準特甲）で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。

[保留]を押す

■ P205　話中着信指定



□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号 1	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
8	実装番号 8		

[保留]を押す

■ P206　外線通話割込指定

P206 外線通話割込
実装番号　　８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号１：割り込み不可

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号１	割り込み不可	割り込み可
∫	∫		
8	実装番号８		

保留 を押す

■ P207　通話警告音鳴動指定

P207 通話警告音鳴動
実装番号　　８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号１：鳴動なし

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号１	鳴動なし	鳴動あり
∫	∫		
8	実装番号８		

保留 を押す

■ P208　ハンズフリー通話制御指定

P208 ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話制御
実装番号　　８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号１：指定なし

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号１	指定なし	指定あり
∫	∫		
8	実装番号８		

保留 を押す

■ P209　ヘッドセット接続指定

P209 ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ接続
実装番号　　８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号１：接続なし

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号１	接続なし	接続あり
∫	∫		
8	実装番号８		

保留 を押す

■ P210　留守番電話機指定（REC）

P210 留守番電話機 (REC)
REC1 ＝ 実装番号　１　＜初期設定＞
→ REC1：実装番号１

項目	内　容	初期値	設定値
1	REC1	1	0：指定なし 1～8：実装番号１～８
2	REC2	0	
3	REC3		
4	REC Busy		

※ 発信 を押すと、REC 番号が１つ進みます。
※ 短縮 を押すと、REC 番号が１つ戻ります。

REC Busy には、通話中 Busy（話中）拒否のセット操作を行うための電話機を指定します。

保留 を押す

■ P211 オフフック発信指定

P211 ｵﾌﾌｯｸ発信
実装番号　８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：指定なし

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号 1	指定なし	指定あり
∫	∫		
8	実装番号 8		

保留 を押す

■ P212 発信優先モード指定

P212 発信優先ﾓｰﾄﾞ
実装番号　0　－８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：内線優先モード

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	内線優先モード	外線優先モード
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）	内線優先モード	外線優先モード
10	実装番号 10（SLI2）		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ P213 一般電話機の種別指定

P213 一般電話機の種別
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 09：PB

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定無効	
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）	PB	DP
10	実装番号 10（SLI2）		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。
※ 電話機標準ポートへの指定は無効。

保留 を押す

■ P214　ドアホン着信自動応答指定

P214 ﾄﾞｱﾎﾝ着信自動応答
ドアホン 1
実装番号　８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：有

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	実装番号 01 ～ 08	有	無
∫	∫			
3	ドアホン 3			

※◎を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

■ P215 ドアホン着信音指定（昼）

P215 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動（昼）
ドアホン１
実装番号０　－８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	－表示
1	ドアホン１	実装番号 01 ～ 08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 09、10（SLI1、2）	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）		
∫	∫	∫	∫	∫
3	ドアホン３	実装番号 01 ～ 08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 09、10（SLI1、2）	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）		

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台に変わります。

保留 を押す

■ P216 ドアホン着信音指定（夜間 A）

P216 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動（夜間 A)
ドアホン１
実装番号０　－－－－－－－２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	－表示
1	ドアホン１	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 08 実装番号 09、10（SLI1、2） 実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫	∫	∫	∫
3	ドアホン３	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 08 実装番号 09、10（SLI1、2） 実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台に変わります。

保留 を押す

■ P217 ドアホン着信音指定（夜間 B）

P217 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動（夜間 B)
ドアホン１
実装番号０　－－－－－－－２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	－表示
1	ドアホン１	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 08 実装番号 09、10（SLI1、2） 実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫	∫	∫	∫
3	ドアホン３	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 08 実装番号 09、10（SLI1、2） 実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P218　発信者番号選択指定

P218 発信者番号選択
実装番号 01 ＝ 発信者番号　００　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：捕捉した外線の電話番号

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	00	00：捕捉した外線の電話番号 01 ～ 02：ISDN 回線 1 ～ 2 03 ～ 34：ダイヤルイン番号 01 ～ 32
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
∫	∫		
26	実装番号 26（IP 電話機）		
27	実装番号 27（ユーザー登録）		
28	実装番号 28（システム間）		

※ 発信 を押すと、実装番号が 1 つ進みます。
※ 短縮 を押すと、実装番号が 1 つ戻ります。

保留 を押す

■ P219 発信者番号表示指定

P219 発信者番号表示
実装番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 実装番号 01：表示する（名前と番号）

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	表示する（名前と番号）	表示しない
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
∫	∫		
26	実装番号 26（IP 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、01 番台→10 番台→20 番台に変わります。

保留 を押す

■ P220 着信順次分配グループ内線番号指定

P220 着信順次分配ｸﾞﾙｰﾌﾟ内線番号
テーブル 0 1
グループ__： ＜初期設定＞

→ 内線番号：指定なし
→ グループ番号：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	登録テーブル番号 01	グループ番号：指定なし 内線番号：指定なし	グループ番号：1～4 内線番号：10～89 ※内線 3 桁モードの場合 （100～899）
∫	∫		
16	登録テーブル番号 16		

※ 分配グループはシステムで最大 4 グループまでとします。（1 グループで 16 台でも 4 グループで合計 16 台でも可）
※ 着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分けます。
※ ◇ を押すとテーブル番号が変わります。

保留 を押す

■ P221 着信順次分配グループ

P221 着信順次分配ｸﾞﾙｰﾌﾟ代表番号
グループ 1：内線番号__ ＜初期設定＞

→ 指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	着信順位分配グループ 1	指定なし	内線番号 10～89 ※内線 3 桁モードの場合 （100～899）
2	着信順位分配グループ 2		
3	着信順位分配グループ 3		
4	着信順位分配グループ 4		

※ 代表番号は実装されていない内線番号を指定する。実装されている内線番号と重複した番号を指定した場合は内線番号を優先とし、着信順位分配グループへの着信とはならない。
※ 本データは外線個別（DIT）着信に対して適用する。（内線個別着信および ISDN サブアドレス着信には適用しない）
※ 発信 を押すと、グループ番号が変わります。

保留 を押す

■ P222 通話メモ使用 REC 指定

P222 通話ﾒﾓ使用 REC
実装番号　０００００００００ ＜初期設定＞

→ 実装番号 1：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0：指定なし 1：REC1 2：REC2 3：REC3
∫	∫		
8	実装番号 8		

保留 を押す

■ P223 ドアホン着信指定



：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	－表示
1	ドアホン１	実装番号 01 ～ 08	指定する	指定しない
∫	∫	実装番号 09、10（SLI1、2）		
3	ドアホン３	実装番号 11 ～ 26（IP 電話機）		

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、01 番台→10 番台→20 番台に変わります。

保留 を押す

■ P224 着信履歴指定



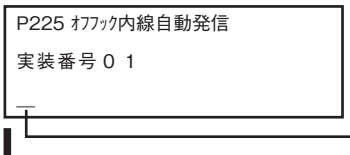
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	残す	残さない
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
∫	∫		
26	実装番号 26（IP 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、01 番台→10 番台→20 番台に変わります。

保留 を押す

■ P225 オフフック内線自動発信指定

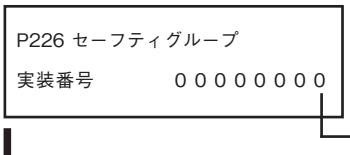


項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89
∫	∫		内線特番
08	実装番号 08		9711 ～ 9719
09	実装番号 09（SLI1）		※内線３桁モードの場合（100 ～ 899）
10	実装番号 10（SLI2）		

※◇を押すと実装番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P226 セーフティグループ指定



項目	内　容	初期値	設定値
1	実装番号１	0	0：指定なし 1：セーフティグループＡ 2：セーフティグループＢ 3：警報鳴動グループＡ 4：警報鳴動グループＢ
∫	∫		
8	実装番号８		

保留 を押す

■ P228 音声威嚇電話機指定

P228 音声威嚇電話機
セーフティグループ A
音声威嚇電話 1 = 実装番号 0 ＜初期設定＞
→ 音声威嚇電話機 1：指定なし

項目	内容		初期値	設定値
1	セーフティグループ A	音声威嚇電話機 1	0	0：指定なし 1～8：実装番号 1～8
		音声威嚇電話機 2		
		音声威嚇電話機 3		
2	セーフティグループ B	音声威嚇電話機 1		
		音声威嚇電話機 2		
		音声威嚇電話機 3		

※ ◎を押すとセーフティグループが変わります。
※ 発信を押すごとに表示の音声威嚇電話機番号が変わります。
※ セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を設定してください。
※ 音声威嚇に指定できる電話機は TD･LD･CL 電話機です。
※ P226 で同じグループに属する電話機のみ指定可。

保留 を押す

■ P229 センサ動作指定

P229 ｾﾝｻ動作
実装番号 －－－－－－－－－ ＜初期設定＞
→ 実装番号 1：許可しない
□：初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	－表示
1	実装番号 1	許可する	□許可しない
∫	∫		
8	実装番号 8		

※ センサ付き電話機に対してのみ有効。

保留 を押す

■ P230 ワンショット留守番機能使用 REC 指定

P230 ﾜﾝｼｮｯﾄ留守番機能使用 REC
実装番号 ０００００００００ ＜初期設定＞
→ 実装番号 1：未使用

項目	内容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0：未使用 1：REC1 2：REC2 3：REC3
∫	∫		
8	実装番号 8		

※ P210 で REC 子機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできません。(RECBusy を除く)

保留 を押す

■ P231 内線呼出優先順位指定

P231 内線呼出優先順位
実装番号 ８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ 実装番号 1：音声呼
□：初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	－表示
1	実装番号 1	□音声呼	信号呼
∫	∫		
8	実装番号 8		

※ DC 子機への指定は無効。

保留 を押す

■ P233 チャイム音鳴動指定

P233 ﾁｬｲﾑ音鳴動
実装番号　８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号１：鳴動あり

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	実装番号１	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
8	実装番号８		

保留 を押す

■ P234 いらっしゃいまセンサ指定

P234 いらっしゃいまｾﾝｻ
センサＡ＝指定番号　００　＜初期設定＞

→ いらっしゃいまセンサＡ：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサＡ	00	00：指定なし 01 ～ 08：実装番号 01 ～ 08 09：外部センサポート 10：ドアホンポート１ 11：ドアホンポート２ 12：ドアホンポート３
2	いらっしゃいまセンサＢ		

※ 発信 を押すとセンサが変わります。

保留 を押す

■ P235 いらっしゃいまセンサ間隔時間指定

P235 いらっしゃいまｾﾝｻ間隔時間
いらっしゃいまセンサＡ
００　＜初期設定＞

→ いらっしゃいまセンサＡ：０秒

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサＡ	00	00 ～ 99
2	いらっしゃいまセンサＢ		

※ 01 で１秒です。

※ ◎を押すといらっしゃいまセンサが変わります。

保留 を押す

■ P236 いらっしゃいまセンサゲイン指定

P236 いらっしゃいまｾﾝｻｹﾞｲﾝ
いらっしゃいまｾﾝｻＢ/Ａ　４４　＜初期設定＞

→ いらっしゃいまセンサＡ：0dB

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサＡ	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	いらっしゃいまセンサＢ		

保留 を押す

■ P237 不応答着信お知らせ表示指定

P237 不応答着信お知らせ表示
実装番号　－－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：行わない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	実装番号 1	行う	行わない
∫	∫		
8	実装番号 8		

※ DIT 個別着信には適用しない。

保留 を押す

■ P238 FAX 着信お知らせ表示指定

P238 FAX 着信お知らせ表示
実装番号　０００００００００　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0：指定なし 1：SLI1 2：SLI2
∫	∫		
8	実装番号 8		

保留 を押す

■ P239 いらっしゃいませセンサグループ指定

P239 いらっしゃいませﾝｻｸﾞﾙｰﾌﾟ
実装番号　０００００００００　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0：指定なし 1：いらっしゃいませセンサグループ A 1：いらっしゃいませセンサグループ B
∫	∫		
8	実装番号 8		

保留 を押す

■ P240 いらっしゃいませセンサ鳴動音種別指定

P240 いらっしゃいませﾝｻ鳴動音種別
いらっしゃいませﾝｻ B/A　００　＜初期設定＞

→ いらっしゃいませセンサ A：いらっしゃいませ

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいませセンサ A	0	0：いらっしゃいませ 1：ピンポーン 2：ピンポーン・パンポーン 3：ピロリロリロリロ・・
2	いらっしゃいませセンサ B		

保留 を押す

■ P241 掲示板更新お知らせ表示指定

P241 掲示板更新お知らせ表示
実装番号　－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：行わない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	実装番号 1	行う	行わない
∫	∫		
8	実装番号 8		

保留 を押す

■ P242 一般電話機ディスプレイ指定

P242 一般電話機ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
実装番号　0　－－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ 実装番号 09：非対応

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	指定無効	
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）	対応	非対応
10	実装番号 10（SLI2）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、01 番台→10 番台に変わります。

保留 を押す

■ P243 地震速報動作指定

P243 地震速報動作指定
実装番号　８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 1：指定あり

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	実装番号 1	指定あり	指定なし
∫	∫		
8	実装番号 8		

保留 を押す

メニュープログラミング対応

■ P301 通常着信指定

P301 通常着信
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定する

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定する	指定しない
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P302　着信音鳴動指定（昼）

P302 着信音鳴動（昼）
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P303　着信音鳴動指定（夜間 A）

P303 着信音鳴動（夜間 A）
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P304　着信音鳴動指定（夜間 B）

P304 着信音鳴動（夜間 B）
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P305 ダイヤルイン着信指定

P305 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定する

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	指定する	指定しない
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◎を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P306 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）

P306 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音鳴動（昼）
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◎を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P307 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）

P307 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音鳴動（夜間 A）
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◎を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P308 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）

P308 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音鳴動（夜間 B）
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◎を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P309 発信規制指定（昼）

P309 発信規制（昼）
実装番号 0 1
外線番号 0　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：発信可

□: 初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	発信可	発信不可
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			
27	実装番号 27（ユーザー登録）			
28	実装番号 28（システム間）			

※ ◇を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作します。

保留 を押す

■ P310 発信規制指定（夜間 A）

P310 発信規制（夜間 A）
実装番号 0 1
外線番号 0　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：発信可

□: 初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	発信可	発信不可
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			
27	実装番号 27（ユーザー登録）			
28	実装番号 28（システム間）			

※ ◇を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対するしていないようで動作します。

保留 を押す

■ P311 発信規制指定（夜間 B）

P311 発信規制（夜間 B）
実装番号 0 1
外線番号 0　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：発信可

□: 初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	発信可	発信不可
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			
27	実装番号 27（ユーザー登録）			
28	実装番号 28（システム間）			

※ ◇を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対するしていないようで動作します。

保留 を押す

■ P312 コールバック着信音鳴動指定

P312 ｺｰﾙﾊﾞｯｸ着信音鳴動
実装番号 0 1
外線番号 0　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：鳴動あり
（実装番号 01 ～ 08 のみ鳴動あり）

□: 初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）		鳴動あり	鳴動なし
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
⟆	⟆			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※ ◇を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P313 自動選局指定（発信）

P313 自動選局（発信）
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：自動選局する

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	自動選局する	自動選局しない
∫	∫			
08	実装番号 08			
09	実装番号 09（SLI1）			
10	実装番号 10（SLI2）			
11	実装番号 11（IP 電話機）			
∫	∫			
26	実装番号 26（IP 電話機）			

※「自動選局しない」に設定した外線番号は、発信、メニュー操作からの短縮発信、リダイヤル、オートダイヤル、ダイヤルアクセス 0 による外線自動捕捉において選択されなくなります。

※ ◎ を押すと実装番号が変わります。

※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P314 自動選局指定（応答）

P314 自動選局（応答）
実装番号 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：応答可

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	実装番号 1	外線番号 01 ～ 30	応答可	応答不可
∫	∫			
8	実装番号 8			

※ ◎ を押すと実装番号が変わります。

※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P315 外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）

P315 外部 SP1　DI 着信音鳴動（昼）
DI 番号　0　　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動なし

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P316 外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）

P316 外部 SP1　DI 着信音鳴動（夜間 A）
DI 番号　0　　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動なし

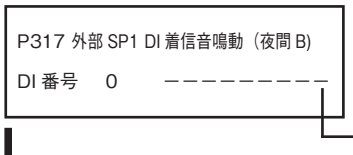
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P317 外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）



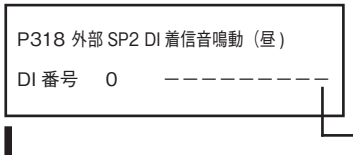
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P318 外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）



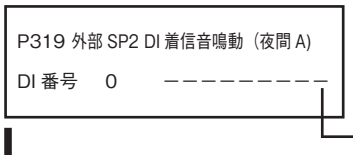
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P319 外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）



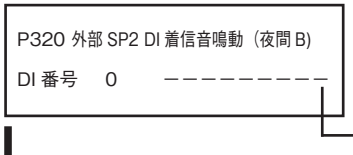
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P320 外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）



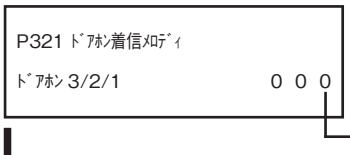
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

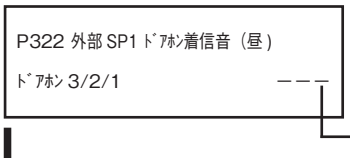
■ P321 ドアホン着信メロディ指定



項目	内　　容	初期値	設定値
1	ドアホン 1	0	0：指定なし（P032 に従う） 1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：着信メロディ 1 4：着信メロディ 2
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P322 外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定（昼）

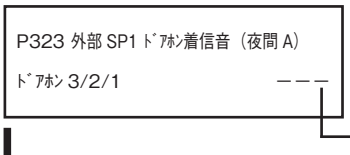


□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	□鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P323 外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定（夜間 A）

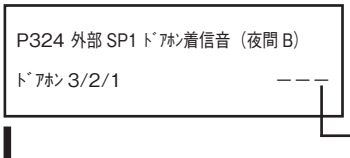


□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	□鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P324 外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定（夜間 B）

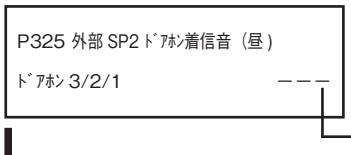


□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	□鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P325 外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定（昼）

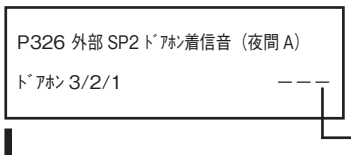


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P326 外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定（夜間 A）

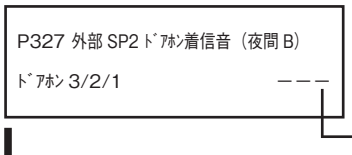


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P327 外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定（夜間 B）

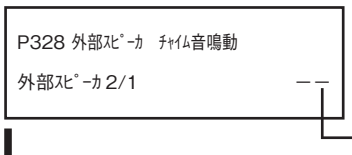


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P328 外部スピーカチャイム音鳴動指定

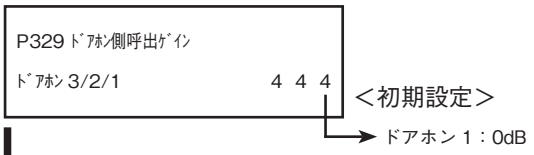


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	外部スピーカ 1	鳴動あり	鳴動なし
2	外部スピーカ 2		

保留 を押す

■ P329 ドアホン側呼出ゲイン指定



項目	内　　容	初期値	設定値
1	ドアホン 1	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

テナント対応

■ P401 電話機の所属テナント指定

P401 電話機の所属ﾃﾅﾝﾄ
実装番号 0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：テナント 1

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	1	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09（SLI1）		
10	実装番号 10（SLI2）		
11	実装番号 11（IP 電話機）		
∫	∫		
26	実装番号 26（IP 電話機）		
27	実装番号 27（ユーザー登録）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台に変わります。

保留 を押す

■ P402 テナント外線ボタン割付指定

P402 ﾃﾅﾝﾄ外線ﾎﾞﾀﾝ割付
テナント 1
外線番号 0　0 0 0 0 0 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：外線（局線／ ISDN）

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 外線番号 04	1	0：オートダイヤル 1：外線（局線／ ISDN） 2：VoIP （内蔵／外付けアダプタ） 3：PBX 内線 4：ひかり （内蔵／外付けアダプタ） 5：PHS（外付けアダプタ） 6：ナースコール（外付けアダプタ）
		外線番号 05 ～ 外線番号 30	0	
2	テナント 2	外線番号 01 ～ 外線番号 30	0	
3	テナント 3			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定

P403 ﾃﾅﾝﾄ 1 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　4 3 2 －　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：許可する

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
02	外線番号 02	収容外線 02	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
03	外線番号 03	収容外線 03	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
04	外線番号 04	収容外線 04	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
05	外線番号 05	収容外線 01 ～ 04、 収容外線 05 ～ 36 （内蔵 VoIP01 ～内蔵 VoIP32）	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04（外付けアダプタ）、収容外線 05 ～ 36（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ P404 テナント 2 外線発信時の収容外線指定

P404 ﾃﾅﾝﾄ 2 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：許可しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01 ～ 04、 収容外線 05 ～ 36 (内蔵 VoIP01 ～内蔵 VoIP32)	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04（外付けアダプタ）、収容外線 05 ～ 36（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ P405 テナント 3 外線発信時の収容外線指定

P405 ﾃﾅﾝﾄ 3 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：許可する

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01 ～ 04、 収容外線 05 ～ 36 (内蔵 VoIP01 ～内蔵 VoIP32)	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04（外付けアダプタ）、収容外線 05 ～ 36（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ P406 テナント 4 外線発信時の収容外線指定

P406 ﾃﾅﾝﾄ 4 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　　4 3 2 1　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：許可しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01 ～ 04、 収容外線 05 ～ 36 (内蔵 VoIP01 ～内蔵 VoIP32)	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに設定されているボタンには収容外線 01 ～ 04（外付けアダプタ）、収容外線 05 ～ 36（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ [A]P407 テナント 1 アナログ着信着信外線指定

P407 ﾃﾅﾝﾄ 1 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線　1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 －　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定する

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
1	収容外線 1	外線番号 01	指定しない	指定する
		外線番号 02 ～ 30	指定しない	指定する
2	収容外線 2	外線番号 02	指定しない	指定する
		外線番号 01、03 ～ 30	指定しない	指定する
3	収容外線 3	外線番号 03	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 02、04 ～ 30	指定しない	指定する
4	収容外線 4	外線番号 04	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 03、05 ～ 30	指定しない	指定する

※ ◎を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P408 テナント 2 アナログ着信 着信外線指定

P408 ﾃﾅﾝﾄ 2 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	収容外線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
4	収容外線 4			

※ ◎を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P409 テナント 3 アナログ着信 着信外線指定

P409 ﾃﾅﾝﾄ 3 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	収容外線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
4	収容外線 4			

※ ◎を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P410 テナント 4 アナログ着信 着信外線指定

P410 ﾃﾅﾝﾄ 4 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	収容外線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
4	収容外線 4			

※ ◎を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P411 テナント 1 グローバル着信 着信外線指定

P411 ﾃﾅﾝﾄ 1 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３－－　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定する

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01、02	指定しない	指定する
		外線番号 03 ～ 30	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2	外線番号 03、04	指定しない	指定する
		外線番号 01、02，05 ～ 30	指定しない	指定する

※ ◎を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P412 テナント 2 グローバル着信 着信外線指定

P412 ﾃﾅﾝﾄ2 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2			

※ ◎を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P413 テナント 3 グローバル着信 着信外線指定

P413 ﾃﾅﾝﾄ3 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2			

※ ◎を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P414 テナント 4 グローバル着信 着信外線指定

P414 ﾃﾅﾝﾄ4 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2			

※ ◎を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P415 テナント 1 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P415 ﾃﾅﾝﾄ1 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 01
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◎を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P416 テナント 2 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P416 ﾃﾅﾝﾄ 2 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 01
外線番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◈ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P417 テナント 3 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P417 ﾃﾅﾝﾄ 3 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 01
外線番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◈ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P418 テナント 4 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P418 ﾃﾅﾝﾄ 4 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 01
外線番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◈ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P419 外線捕捉時／発信者番号指定

P419 外線捕捉時 / 発信者番号
テナント 1
外線番号 ０１ ：　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～外線番号 30	指定なし	任意の番号を指定（最大 13 桁）
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◈ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

■ P419　プログラム番号 P419

[例] 外線 1 の電話番号が 03-1234-5678 の場合。

1 [0][3][フラッシュ][1][2][3][4][フラッシュ]
[5][6][7][8]を押す。

P419 外線捕捉時 / 発信者番号
テナント 1
外線番号 0 1：03-1234-5678_
カーソル ←

※ [フラッシュ]を押すと、「ー」が表示されます。
※ [＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

[保留]を押す

■ [D]P420 発信者番号通知指定

P420 発信者番号通知
テナント 1
外線番号　0　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：通知する

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	通知する	通知しない
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇を押すとテナント番号が変わります。
※ [発信]を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

[保留]を押す

■ P421 外線着信音周期指定

P421 外線着信音周期
テナント 1
外線番号 0 1 ＝ 鳴動周期 0 1　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：着信音 A

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 外線番号 30	01	01：着信音 A 02：着信音 B 03：着信音 C 04：着信音 D 05：着信音 E 06：着信音 F 07：着信音 G 08：着信音 H 09：保留メロディ 1 10：保留メロディ 2 11：着信メロディ 1 12：着信メロディ 2
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇を押すとテナント番号が変わります。
※ [発信]を押すと外線番号が進みます。
※ [短縮]を押すと外線番号が戻ります。

[保留]を押す

■ P422 着信音種別指定

P422 着信音種別指定
テナント 1
外線番号 0　0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：低

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	0	0：低 1：中 2：高
∫	∫			
4	テナント 4			

※ P421 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）に設定した場合に限り適用する。
※ ◇を押すとテナント番号が変わります。
※ [発信]を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

[保留]を押す

■ P423 非通知着信音周期指定

P423 非通知着信音周期
テナント 1
外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 0 ＜初期設定＞
→ 外線番号01:指定なし(P421 もしくは P040 に従う)

項目	内容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 外線番号 30	00	00：指定なし (P421 もしくは P040 に従う) 01：着信音 A 02：着信音 B 03：着信音 C 04：着信音 D 05：着信音 E 06：着信音 F 07：着信音 G 08：着信音 H 09：保留メロディ 1 10：保留メロディ 2 11：着信メロディ 1 12：着信メロディ 2
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すと外線番号進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号戻ります。

保留 を押す

■ P424 非通知着信音種別指定

P424 非通知着信音種別
テナント 1
外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：低

項目	内容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	0	0：低 1：中 2：高
∫	∫			
4	テナント 4			

※ P423 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）に設定した場合に限り適用する。
※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P425 外線転送テナント（自動 / 手動）指定

P425 外線転送ﾃﾅﾝﾄ (自動 / 手動)
外線転送 4/3/2/1 1 1 1 1 ＜初期設定＞
→ 外線転送 1：テナント 1

項目	内容	初期値	設定値
1	外線転送 1	1	1：テナント 1
2	外線転送 2		2：テナント 2
3	外線転送 3		3：テナント 3
4	外線転送 4		4：テナント 4

保留 を押す

■ P426 外線自動転送（発信側）指定

P426 外線自動転送（発信側）
外線転送 1
発信側外線 1 = 外線番号 00 ＜初期設定＞
→ 発信側外線 1：指定なし

項目	内容		初期値	設定値
1	外線転送 1	発信側外線 1	00	00：指定なし 01 ～ 30： 外線番号 01 ～ 30
		発信側外線 2		
∫	∫			
4	外線転送 4	発信側外線 1		
		発信側外線 2		

※ ◎を押すと外線転送番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに発信側外線が、1 → 2 に変わります。
※ 発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。
※ 発信側外線に PBX 内線を指定することはできません。
※ 同一外線転送では同一外線番号を重複して指定することはできません。

保留 を押す

■ P427 外線自動転送（着信側）指定

P427 外線自動転送（着信側）
テナント 1
外線番号 0　0000000000 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 外線番号 30	0	0：指定しない 1：外線転送 1：一次応答なし 2：外線転送 1：一次応答あり 3：外線転送 2：一次応答なし 4：外線転送 2：一次応答あり 5：外線転送 3：一次応答なし 6：外線転送 3：一次応答あり 7：外線転送 4：一次応答なし 8：外線転送 4：一次応答あり
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。
※ PBX 内線を指定することはできません。
※ 発信側外線に指定している外線は、着信側外線に指定することはできません。
※ 外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 使途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。
※「P085 外線自動転送発信時の動作指定」にて「1：発信側外線 1、2 同時」「2：発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「外線転送 X：一次応答なし」を選択する必要がある

保留 を押す

■ P428 留守番自動応答指定

P428 留守番自動応答
テナント 1
外線番号 0　0000000000 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	0：自動応答しない 1：REC1 が自動応答 2：REC2 が自動応答 3：REC3 が自動応答
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P429 テナント 1 発信許可／規制ダイヤル指定

P429 ﾃﾅﾝﾄ 1 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル 0 1： ＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P430 テナント 2 発信許可／規制ダイヤル指定

P430 ﾃﾅﾝﾄ 2 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル 0 1： ＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P431 テナント 3 発信許可／規制ダイヤル指定

P431 ﾃﾅﾝﾄ 3 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル ０１：　＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P432 テナント 4 発信許可／規制ダイヤル指定

P432 ﾃﾅﾝﾄ 4 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル ０１：　＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P433 テナント 1 発信許可／規制指定

P433 ﾃﾅﾝﾄ 1 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　０００００００００　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と変わります。

保留 を押す

■ P434 テナント 2 発信許可／規制指定

P434 ﾃﾅﾝﾄ 2 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　０００００００００　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と変わります。

保留 を押す

■ P435 テナント 3 発信許可／規制指定

P435 ﾃﾅﾝﾄ 3 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と変わります。

保留 を押す

■ P436 テナント 4 発信許可／規制指定

P436 ﾃﾅﾝﾄ 4 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P437 個別着信（DIT）指定（昼）

P437 個別着信 (DIT) (昼)
テナント 1
外線番号　0 1 ：＿　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合（100 ～ 899）
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ [A]P438 個別着信（DIT）指定（夜間 A）

P438 個別着信 (DIT) (夜間 A)
テナント 1
外線番号　0 1 ：＿　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合（100 ～ 899）
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ [A]P439 個別着信 (DIT) 指定 (夜間 B)

P439 個別着信 (DIT) (夜間 B)
テナント 1
外線番号　0 1 ：_

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合（100 ～ 899）
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ [A]P440 個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

P440 個別着信 (DIT) 遅延応答時間
テナント 1
外線番号 0　　2 2 2 2 2 2 2 2 2

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：10 秒

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	2	0：0 秒 1：5 秒 2：10 秒 3：20 秒 4：30 秒 5：40 秒 6：50 秒 7：60 秒
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P441 外部スピーカ 1　着信音鳴動指定（昼）

P441 外部 SP1 着信音鳴動 (昼)
テナント 1
外線番号　0　　－－－－－－－－－－

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P442 外部スピーカ 1　着信音鳴動指定（夜間 A）

P442 外部 SP1 着信音鳴動 (夜間 A)
テナント 1
外線番号　0　　－－－－－－－－－－

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

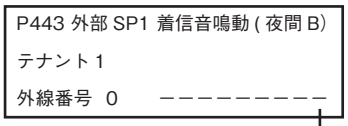
□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P443 外部スピーカ 1　着信音鳴動指定（夜間 B）



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

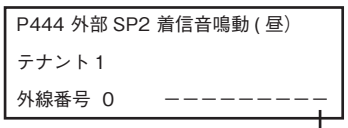
：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P444 外部スピーカ 2　着信音鳴動指定（昼）



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

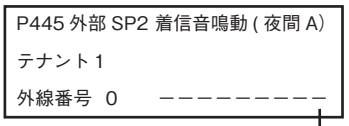
：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P445 外部スピーカ 2　着信音鳴動指定（夜間 A）



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

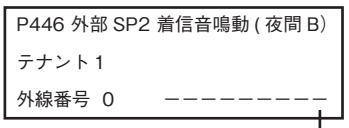
：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P446 外部スピーカ 2　着信音鳴動指定（夜間 B）



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P447 外部スピーカ 1 コールバック着信音鳴動指定

P447 外部 SP1 ｺｰﾙﾊﾞｯｸ着信音鳴動
テナント 1
外線番号 0 ----------

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P448 外部スピーカ 2 コールバック着信音鳴動指定

P448 外部 SP2 ｺｰﾙﾊﾞｯｸ着信音鳴動
テナント 1
外線番号 0 ----------

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P449 通報発信外線テナント指定

P449 通報発信外線ﾃﾅﾝﾄ
ｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ B/A 1 1

＜初期設定＞

→ セーフティグループ A：テナント 1

項目	内　容	初期値	設定値
1	セーフティグループ A	1	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
2	セーフティグループ B		

保留 を押す

■ P450 通報発信外線指定

P450 通報発信外線
ｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ A = 外線番号 0 0

＜初期設定＞

→ セーフティグループ A：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	セーフティグループ A	00	00：指定なし 01 ～ 30：外線番号 01 ～ 30
2	セーフティグループ B		

※ P402 で 1（外線）もしくは 4（ひかり）を指定した場合に限り指定可。
※ 発信 を押すとグループが、変わります。

保留 を押す

■ P451 外線保留音源指定

P451 外線保留音源
テナント1
外線番号 0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：保留メロディ 1

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号 01 ～ 30	1	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外線保留音
∫	∫			
4	テナント4			

※ ◎を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P452 FAX 転送先指定

P452 FAX 転送先
ﾃﾅﾝﾄ 4/3/2/1　0 0 0 2　＜初期設定＞
→ テナント 1：SLI2

項目	内　容	初期値	設定値
1	テナント1	2	0：接続なし 1：SLI1 2：SLI2
2	テナント2	0	
3	テナント3		
4	テナント4		

保留 を押す

システム対応２

■ P501 キャリアアクセスコード指定

P501 ｷｬﾘｱｱｸｾｽｺｰﾄﾞ
—

＜初期設定＞

→ 指定なし

初期値	設定値
指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）

※ ［＊］を押すと表示されている内容が消去されます。

［保留］を押す

■ P502 キャリア選択識別番号指定

P502 ｷｬﾘｱ選択識別番号
識別番号 0 0 1
0 9 0

＜初期設定＞

→ 識別番号 001：090

項目	内　容	初期値	設定値
001	キャリア選択識別番号 001	090	任意の番号を指定（最大 8 桁）
002	キャリア選択識別番号 002	0801	
003	キャリア選択識別番号 003	0802	
004	キャリア選択識別番号 004	0803	
005	キャリア選択識別番号 005	0804	
006	キャリア選択識別番号 006	0805	
007	キャリア選択識別番号 007	0806	
008	キャリア選択識別番号 008	0807	
009	キャリア選択識別番号 009	0808	
010	キャリア選択識別番号 010	0809	
011	キャリア選択識別番号 011	指定なし	
∫	∫	∫	
120	キャリア選択識別番号 120	指定なし	

※ ［◎］を押すと識別番号が変わります。
※ 最大 8 桁まで登録可能。
※ ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可能とする。

［保留］を押す

■ P503 キャリアアクセス表示指定

P503 ｷｬﾘｱｱｸｾｽ表示
携帯 ACR　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定

＜初期設定＞

初期値	設定値
携帯 ACR　アクセス	最大全角 16 桁

※ ［発信］を押下すると、入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
◉を押すと、入力終了です。

［保留］を押す

■ P509 ひかり外線自動選局禁止番号指定

P509 ひかり外線自動選局禁止番号
禁止番号０１
００１

＜初期設定＞

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ひかり外線自動選局禁止番号 01	001	任意の番号を指定（最大 12 桁）
02	ひかり外線自動選局禁止番号 02	003	
03	ひかり外線自動選局禁止番号 03	004	
04	ひかり外線自動選局禁止番号 04	005	
05	ひかり外線自動選局禁止番号 05	006	
06	ひかり外線自動選局禁止番号 06	007	
07	ひかり外線自動選局禁止番号 07	008	
08	ひかり外線自動選局禁止番号 08	0091	
09	ひかり外線自動選局禁止番号 09	010800	
10	ひかり外線自動選局禁止番号 10	指定なし	
11	ひかり外線自動選局禁止番号 11	0130	
12	ひかり外線自動選局禁止番号 12	0140	
13	ひかり外線自動選局禁止番号 13	0150	
14	ひかり外線自動選局禁止番号 14	0160	
15	ひかり外線自動選局禁止番号 15	0170	
16	ひかり外線自動選局禁止番号 16	0180	
17	ひかり外線自動選局禁止番号 17	0190	
18	ひかり外線自動選局禁止番号 18	020	
19	ひかり外線自動選局禁止番号 19	0450	
20	ひかり外線自動選局禁止番号 20	指定なし	
21	ひかり外線自動選局禁止番号 21	060	
22	ひかり外線自動選局禁止番号 22	0750	
23	ひかり外線自動選局禁止番号 23	0840	
24	ひかり外線自動選局禁止番号 24	0990	
25	ひかり外線自動選局禁止番号 25	100	
26	ひかり外線自動選局禁止番号 26	102	
27	ひかり外線自動選局禁止番号 27	106	
28	ひかり外線自動選局禁止番号 28	107	
29	ひかり外線自動選局禁止番号 29	108	
30	ひかり外線自動選局禁止番号 30	111	
31	ひかり外線自動選局禁止番号 31	112	
32	ひかり外線自動選局禁止番号 32	114	
33	ひかり外線自動選局禁止番号 33	121	
34	ひかり外線自動選局禁止番号 34	122	
35	ひかり外線自動選局禁止番号 35	125	
36	ひかり外線自動選局禁止番号 36	134	
37	ひかり外線自動選局禁止番号 37	136	
38	ひかり外線自動選局禁止番号 38	141	
39	ひかり外線自動選局禁止番号 39	145	
40	ひかり外線自動選局禁止番号 40	146	
41	ひかり外線自動選局禁止番号 41	149	
42	ひかり外線自動選局禁止番号 42	15	
43	ひかり外線自動選局禁止番号 43	16	
44	ひかり外線自動選局禁止番号 44	189	
45	ひかり外線自動選局禁止番号 45	05701	任意の番号を指定（最大 12 桁）
46	ひかり外線自動選局禁止番号 46	05702	
47	ひかり外線自動選局禁止番号 47	05703	
48	ひかり外線自動選局禁止番号 48	05704	
49	ひかり外線自動選局禁止番号 49	05705	
50	ひかり外線自動選局禁止番号 50	05706	
51	ひかり外線自動選局禁止番号 51	05707	
52	ひかり外線自動選局禁止番号 52	05708	
53	ひかり外線自動選局禁止番号 53	05709	
54	ひかり外線自動選局禁止番号 54	指定なし	
∫	∫	∫	
80	ひかり外線自動選局禁止番号 80	指定なし	

※ ◎を押すと禁止番号が変わります。
※ ＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P510 ひかり外線アクセス表示指定

P510 ひかり外線ｱｸｾｽ表示
ひかり電話　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定

＜初期設定＞

初期値	設定値
ひかり電話　アクセス	最大全角 16 桁

※ 発信 を押下すると、入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
◉を押すと、入力終了です。

保留 を押す

■ P511 リモートコールバック PB 待ち時間指定

P511 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙ ﾊﾞｯｸ PB 待ち時間
２０

＜初期設定＞

→ 20 秒

初期値	設定値
20	02 ～ 30

※ 02 で 2 秒です。

保留 を押す

■ P512 リモートコールバック未応答時間指定

P512 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ未応答時間
２０ ＜初期設定＞
→ 20 秒

初期値	設定値
20	05 ～ 60

※ 05 で 5 秒です。

保留 を押す

■ P513 システム設定 4

P513 ｼｽﾃﾑ設定４
０９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	一表示
1	省エネルギー指定	省エネ動作しない	省エネ動作する
2	外線一斉着信ランプ制御指定	無鳴動時点滅	無鳴動時消灯
3	ハンズフリー外線発信マイク制御指定	発信直後にマイク ON	相手応答までマイク OFF
4	外線ボタン種別表示指定	行う	行わない
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P514 PHS 外線自動選局番号指定

P514 PHS 外線自動選局番号
選局番号 01
０７０ ＜初期設定＞
→ 選局番号 01：070

項目	内　容	初期値	設定値
01	PHS 外線自動選局番号 01	070	任意の番号を指定（最大 12 桁）
02	PHS 外線自動選局番号 02	指定なし	
∫	∫	∫	
10	PHS 外線自動選局番号 10	指定なし	

※ ◇を押すと選局番号が変わります。
※ 最大 12 桁まで登録可能。
※ ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可能とする。
※ ＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P515 PHS 外線アクセス表示指定

P515 PHS 外線ｱｸｾｽ表示
PHS　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定
＜初期設定＞

初期値	設定値
PHS　アクセス	最大全角 16 桁

※ 発信 を押下すると、入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
◉を押すと、入力終了です。

保留 を押す

■ P516 警備装置エリア セーフティグループ指定

P516 整備装置ｴﾘｱｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ
エリア　0　0000000000 ＜初期設定＞
→ エリア 01：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	エリア 01	0	0：指定なし
∫	∫		1：セーフティグループ A
64	エリア 64		2：セーフティグループ B

※ 発信 を押すごとに表示のエリアが、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 60 番台と変わります。

保留 を押す

■ P517 警備装置ポート指定

P517 警備装置ﾎﾟｰﾄ
1012 ＜初期設定＞
→ ポート番号 1012

初期値	設定値
1012	1 ～ 65535

※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P518 システム間接続公開テナント指定

P518 ｼｽﾃﾑ間接続公開ﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1

初期値	設定値
1	1：テナント 1
	2：テナント 2
	3：テナント 3
	4：テナント 4

保留 を押す

■ P519 地震速報システム設定

P519 地震速報ｼｽﾃﾑ設定
9876−−321 ＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	一表示
1	地震速報夜間 A 動作指定	動作する	動作しない
2	地震速報夜間 B 動作指定		
3	外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）	鳴動あり	鳴動なし
4	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 A）	鳴動あり	鳴動なし
5	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 B）		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		

保留 を押す

■ P520 外部スピーカ地震速報警報鳴動テナント指定

P520 外部 SP 地震速報警報鳴動ﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1 の夜間モードに従う

初期値	設定値
1	1：テナント 1 の夜間モードに従う
	2：テナント 2 の夜間モードに従う
	3：テナント 3 の夜間モードに従う
	4：テナント 4 の夜間モードに従う

保留 を押す

■ P521 外部スピーカゲイン２指定（地震）

P521 外部ｽﾋﾟｰｶｹﾞｲﾝ 2
地震　4 ＜初期設定＞
→ 0dB

初期値	設定値	
4	0：− 12dB	5：＋ 3dB
	1：− 9dB	6：＋ 6dB
	2：− 6dB	7：＋ 9dB
	3：− 3dB	8：＋ 12dB
	4：0dB	

保留 を押す

P001　システム設定 1 に戻る

24 -3 機能別プログラムの設定

※プログラム内容の詳細、プログラム設定については、プログラム設定方法の該当項目をご覧ください。

▶（1）機能編

各機能をご利用になる場合は、下記のプログラム設定を行ってください。
※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

基本編

□: 初期設定

<table>
<tr><th colspan="2">主な機能名および概要</th><th>プログラム設定内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>■外線発信優先モード
受話器を上げるだけで空き外線を自動的に捕捉する。</td><td>【P001-9】
外線自動選局順位指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr><tr><td>－表示</td><td>若番から</td></tr></table>・自動捕捉時の外線の順位を設定。
※ WS（アナログ）のクイック通話機能にも有効。

★【P010】
発信選局指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>0</td><td>未使用</td></tr><tr><td>1</td><td>局線 &ISDN</td></tr><tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr></table>・自動捕捉時の外線の種別を設定。

★【P101】
外線収容および外線種別指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>0</td><td>未収容</td></tr><tr><td>1</td><td>局線 &ISDN</td></tr><tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr><tr><td>3</td><td>VoIP（外付け）</td></tr><tr><td>4</td><td>ひかり電話（外付け）</td></tr><tr><td>5</td><td>ひかり電話オフィス（外付け）</td></tr><tr><td>6</td><td>PHS（外付け）</td></tr><tr><td>7</td><td>ナースコール（外付け）</td></tr></table>・外線の種別を外線ごとに設定。

★【P313】
実装番号 01 ～ 26
自動選局指定（発信）
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr><tr><td>－表示</td><td>自動選局しない</td></tr></table>・「自動選局する」に設定。

★【P212】
発信優先モード指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr><tr><td>－表示</td><td>外線優先モード</td></tr></table>・「外線優先モード」に設定
※初期値は実装番号 01 ～ 08 が内線優先モード、実装番号 09、10（単独）が外線優先モード。
※ IP 電話機は常に内線優先モード。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>■自動選局発信
発信 を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</td><td>【P001-9】
外線自動選局順位指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr><tr><td>－表示</td><td>若番から</td></tr></table>・自動捕捉時の外線の順位を設定。

★【P010】
発信選局指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>0</td><td>未使用</td></tr><tr><td>1</td><td>局線 &ISDN</td></tr><tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr></table>・自動捕捉時の外線の種別を設定。

★【P101】
外線収容および外線種別指定
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>0</td><td>未収容</td></tr><tr><td>1</td><td>局線 &ISDN</td></tr><tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr><tr><td>3</td><td>VoIP（外付け）</td></tr><tr><td>4</td><td>ひかり電話（外付け）</td></tr><tr><td>5</td><td>ひかり電話オフィス（外付け）</td></tr><tr><td>6</td><td>PHS（外付け）</td></tr><tr><td>7</td><td>ナースコール（外付け）</td></tr></table>・外線の種別を外線ごとに設定。

★【P313】
実装番号 01 ～ 26
自動選局指定（発信）
<table><tr><th>表示</th><th>内容</th></tr><tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr><tr><td>－表示</td><td>自動選局しない</td></tr></table>・「自動選局する」に設定。</td></tr>
</table>

□: 初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
3	■ダイヤル 0 選局発信 内線捕捉状態からダイヤル[0]を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。	【P001-9】 外線自動選局順位指定 表示 / 内容 数字表示: 老番から －表示: 若番から ・自動捕捉時の外線の順位を設定。 ★【P313】 実装番号 01 ～ 26 自動選局指定（発信） 表示 / 内容 数字表示: 自動選局する －表示: 自動選局しない ・「自動選局する」に設定。 ★【P009】 コード 0 選局指定 表示 / 内容 0: 未使用 1: 局線 &ISDN 2: PBX 内線 ・自動捕捉時の外線の種別を設定。 ★【P101】 外線収容および外線種別指定 表示 / 内容 0: 未収容 1: 局線 &ISDN 2: PBX 内線 3: VoIP（外付け） 4: ひかり電話（外付け） 5: ひかり電話オフィス（外付け） 6: PHS（外付け） 7: ナースコール（外付け） ・外線の種別を外線ごとに設定。
4	■オートリピート 相手が通話中などのときに受話器を置き、[リダイヤル]を押すと一定時間内ごとに自動発信を繰り返す。	【P001-9】 外線自動選局順位指定 表示 / 内容 数字表示: 老番から －表示: 若番から ・自動捕捉時の外線の順位を設定。 【P005】 オートリピートタイマ設定 表示 / 内容（呼出時間 / 待ち時間 / 呼出回数） 0: 120 秒 / 3 秒 / 15 回 1: 120 秒 / 10 秒 / 15 回 2: 120 秒 / 30 秒 / 15 回 3: 120 秒 / 60 秒 / 100 回 ※オートリピートの呼出時間、待ち時間、呼出回数を変更できる。 ★【P010】 発信選局指定 表示 / 内容 0: 未使用 1: 局線 &ISDN 2: PBX 内線 ・自動捕捉時の外線の種別を設定。 ★【P101】 外線収容および外線種別指定 表示 / 内容 0: 未収容 1: 局線 &ISDN 2: PBX 内線 3: VoIP（外付け） 4: ひかり電話（外付け） 5: ひかり電話オフィス（外付け） 6: PHS（外付け） 7: ナースコール（外付け） ・外線の種別を外線ごとに設定。 【P313】 実装番号 01 ～ 26 自動選局指定（発信） 表示 / 内容 数字表示: 自動選局する －表示: 自動選局しない ・「自動選局する」に設定。
5	■ワンタッチ外線オートダイヤル あらかじめ電話番号や短縮番号を[オートダイヤル]に登録しておくと[オートダイヤル]を押すだけで電話がかけられる。	★【P001-7】 ワンタッチ発信機能指定 表示 / 内容 数字表示: 不可 －表示: 可 ・「可」に設定。 ★【P101】 外線収容および外線種別指定 表示 / 内容 0: 未収容 1: 局線 &ISDN 2: PBX 内線 3: VoIP（外付け） 4: ひかり電話（外付け） 5: ひかり電話オフィス（外付け） 6: PHS（外付け） 7: ナースコール（外付け） ・外線の種別を外線ごとに設定。 【P001-9】 外線自動選局順位指定 表示 / 内容 数字表示: 老番から －表示: 若番から ・自動捕捉時の外線の順位を設定。 ★【P313】 実装番号 01 ～ 26 自動選局指定（発信） 表示 / 内容 数字表示: 自動選局する －表示: 自動選局しない ・「自動選局する」に設定。 ★【P010】 発信選局指定 表示 / 内容 0: 未使用 1: 局線 &ISDN 2: PBX 内線 ・自動捕捉時の外線の種別を設定。

□: 初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
6	■着信自動応答 外線に着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる。	★【P314】 実装番号 01 ～ 08 自動選局指定（応答） 表示：内容 数字表示：応答可 －表示：応答不可 ・「応答可」に設定。
7	■保留 保留操作により外線通話中の相手に待ってもらうときに、保留音を流す。	【P004】 保留警報タイマ指定 0：1分 1：2分 2：3分 3：4分 4：無制限 ※保留操作後に、保留警告音が鳴るまでの時間を変更できる。
8	■自動転送 外線を保留し、内線通話後に外線通話を転送する。	★【P001-5】 自動転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ・「可」に設定。 【P001-6】 オンフック転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ※自動転送および強制転送の転送方法を変更できる。
9	■強制転送 外線を保留し、他の内線に外線通話を直接転送する。	★【P001-4】 強制転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ・「可」に設定。 【P001-6】 オンフック転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ※強制転送および自動転送の転送方法を変更できる。
10	■電話機グループ呼出 電話機をグループ（A、B、C、D、E、F、G、H、I）に分け、グループごとに呼び出しができる。	★【P203】 電話機グループ呼出指定 0：無所属 1：グループA 2：グループB 3：グループC 4：グループD 5：グループE 6：グループF 7：グループG 8：グループH 9：グループI ※実装番号ごとに、所属するグループを設定できる。

応用編

□: 初期設定

1 ■内線代表番号での呼び出し

設定されている電話機を呼び出す。

【P061】
内線番号桁数指定

表示	内容
2	2桁（10～89）
3	3桁（100～899）

【P201】
内線番号指定

表示	内容
実装番号01～26を 内線番号10～35で表示	――
設定変更	実装番号01～26を内線番号10～89 （内線3桁モードは100～899）範囲で指定

※実装番号ごとに、内線番号を変更できる。

★【P202】
内線代表番号指定

表示	内容
実装番号01～26	指定なし
設定変更	実装番号01～26を内線番号10～89 （内線3桁モードは100～899）範囲で指定

※実装番号ごとに話中の場合、次に呼び出す内線番号を設定する。

2 ■通話時間表示

外線通話中にその通話時間を表示する。

【P012】
外線通話表示指定

表示	内容
0	時間
1	料金
2	時間、料金

時　　間：通話時間のみ表示
料　　金：通話料金を表示
時間、料金：通話時間と通話料金を表示

・通話料金は、デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示します。

■通話料金表示

デジタル回線の料金情報通話サービスにより、発信通話終了後に表示される。

【P002-2】
通話料金表示フォーマット指定

表示	内容
数字表示	小数点以下は表示しない
－表示	小数点第1位まで表示する

・通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定。

【P013】
課金係数指定

表示	内容
10	1倍
設定変更	01～99

※通話料金を表示すると、この1度数当たりの通話料金を変更できる。
※01は0.1倍で99は9.9倍になる。

3 ■自動PB切替

ダイヤル回線からの外線発信後、相手の応答により、その後のダイヤルが自動的にPBダイヤルに切り替わる。

★【P001-0】
自動PB信号切替指定

表示	内容
数字表示	有
－表示	無

・「有」に設定。

4 ■外線通話割込

外線通話中の他の電話機に割り込むことができる。

★【P206】
外線通話割込指定

表示	内容
数字表示	割込不可
－表示	割込可

・外線通話中に他の電話機に割り込む電話機を実装番号ごとに「割込可」に設定変更。

▶ (2) オプション編

オプションおよび接続機器を接続する場合は、下記のプログラム設定を行ってください。
※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
1	■電気錠 ※ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	★【P035】 リレー制御指定 表示 / 内容 00 未使用 01 電気錠１（ドアホン１） 02 電気錠２（ドアホン２） 03 電気錠３（ドアホン３） 電気錠1（ドアホン1）～電気錠3（ドアホン3）に設定変更。 ※各ドアホンと通話中にドアロック解錠を行う場合は、同じ番号の電気錠に設定してください。
2	■構内放送設備 ※ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	★【P032】 ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定 表示 / 内容 0 送出しない 1 ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン 2 ピンポーン・パンポーン 3 ピロリロリロリロ・・ピロリロリロリロ・・ 4 ピン・ポン・パン・ポーン 5 ポン ※校内放送時、予告音を出す場合は「0 以外」に設定。 ★【P035】 リレー制御指定 表示 / 内容 00 未使用 04 外部スピーカ１ 05 外部スピーカ２ ※「外部スピーカ 1、2」に設定変更。 【P065】 外部スピーカドアホン着信音鳴動テナント指定 表示 / 内容 1 テナント１の夜間モードに従う 2 テナント２の夜間モードに従う 3 テナント３の夜間モードに従う 4 テナント４の夜間モードに従う 【P441 ～ 446】 テナント 1 ～ 4 外部スピーカ 1、2 着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B） 表示 / 内容 数字表示 鳴動する ー表示 鳴動しない 【P315 ～ 320】 外部スピーカ 1、2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B） 表示 / 内容 数字表示 鳴動する ー表示 鳴動しない 【P322 ～ 327】 外部スピーカ 1、2 ドアホン着信音指定（昼、夜間 A、夜間 B） 表示 / 内容 数字表示 鳴動あり ー表示 鳴動なし 【P328】 外部スピーカ 1、2 外部スピーカチャイム音鳴動指定 表示 / 内容 数字表示 鳴動あり ー表示 鳴動なし

次ページへ➔

□: 初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
3	■外部保留音源装置 ※外部保留音源装置をリレー制御する場合は、ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	★【P035】 リレー制御指定 表示 / 内容 00 / 未使用 06 / 外部保留音源 &BGM ※「外部保留音源 &BGM」に設定変更。 ★【P087】 内線保留音源指定 表示 / 内容 1 / 保留メロディ 1 3 / 外部保留音 ※「外部保留音」に設定変更。 ★【P451】 外線保留音源指定 表示 / 内容 1 / 保留メロディ 1 3 / 外部保留音 ※「外部保留音」に設定変更。 ★【P099】 パーク保留音源指定 表示 / 内容 1 / 保留メロディ 1 3 / 外部保留音 ※「外部保留音」に設定変更。
4	■ BGM 放送 電話機未使用の場合、電話機のスピーカや構内放送設備から BGM を流すことができる。 ※ BGM 音源装置が必要です。 ※ BGM 音源装置をリレー制御する場合は、ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	★【P003-4】 BGM 指定 表示 / 内容 数字表示 / 未接続 一表示 / 接続 ※「接続」に設定。 ★【P035】 リレー制御指定 表示 / 内容 00 / 未使用 06 / 外部保留音源 &BGM ※「外部保留音源 &BGM」に設定変更。 ★【P031-1】 外部スピーカ 1 への BGM 送出指定 表示 / 内容 数字表示 / 送出しない 一表示 / 送出する ★【P031-2】 外部スピーカ 2 への BGM 送出指定 表示 / 内容 数字表示 / 送出しない 一表示 / 送出する ※電話機のスピーカから BGM を流すときは、下記の設定が必要です。 BGM 放送の設定方法 TD·LD·CL（親機）電話機 ➔ 機能 ➔ 9 3 ➔ ➔ 機能 ※本操作を繰り返すと BGM 放送は解除されます。 ※電話機ごとに本操作を行ってください。

次ページへ➔

主な機能名および概要		プログラム設定内容
5	■単独電話機	★【P083】 一般電話機着信音周期指定 表示 / 内容 1 / パターン１ 2 / パターン２ 3 / パターン３ 4 / パターン４ ・外線着信（1）、外線個別着信（1）、内線着信（2）、ドアホン着信（3）、着信音転送（1）、保留音警報時（4）、一般電話機での着信鳴動パターンを指定する。 ※ 括弧内は初期値です。 ◎内線優先モードのとき 【P213】 一般電話機の種別指定 表示 / 内容 数字表示 / PB 一表示 / DP ・一般電話機の種別（DP または PB）に合わせる。 ★【P212】 発信優先モード指定 表示 / 内容 数字表示 / 内線優先モード 一表示 / 外線優先モード ※「内線優先モード」に設定。 ※ 実装番号 01 ～ 08 の初期値は内線優先モード。実装番号 09、10（単独）は外線優先モード。 ※ IP 電話機は常に内線優先モード。 ※内線捕捉状態からの 0 ダイヤルによる捕捉外線は「ダイヤル 0 選局発信」の設定 (286 ページ) による。 ◎外線優先モードのとき ※外線優先モードのときは、一般電話機からの内線呼出はフッキング操作により、内線モードに切り替わります。 【P213】 一般電話機の種別指定 表示 / 内容 数字表示 / PB 一表示 / DP ・一般電話機の種別（DP または PB）に合わせる。 【P212】 発信優先モード指定 表示 / 内容 数字表示 / 内線優先モード 一表示 / 外線優先モード ※「外線優先モード」に設定。 ※ 実装番号 01 ～ 08 の初期値は内線優先モード。実装番号 09、10（単独）は外線優先モード。 ※ IP 電話機は常に内線優先モード。 ※外線発信時の捕捉外線は「自動選局発信」の設定（285 ページ）による。 【P242】 一般電話機ディスプレイ指定 表示 / 内容 数字表示 / 対応 一表示 / 非対応
6	■ FAX	【P213】 一般電話機の種別指定 表示 / 内容 数字表示 / PB 一表示 / DP ・FAX の種別（DP または PB）に合わせる。 【P212】 発信優先モード指定 表示 / 内容 数字表示 / 内線優先モード 一表示 / 外線優先モード ※「外線優先モード」に設定。 ※ 実装番号 01 ～ 08 の初期値は内線優先モード。実装番号 09（SLI1）、実装番号 10（SLI2）は外線優先モード。 ※ IP 電話機は常に内線優先モード。 【P215 ～ P217】 ドアホン 1 ～ 3 着信音指定（昼、夜間 A、夜間 B） 表示 / 内容 数字表示 / 鳴動あり 一表示 / 鳴動なし 【P301】 実装番号 01 ～ 26 通常着信指定 表示 / 内容 数字表示 / 指定する 一表示 / 指定しない 【P302 ～ P304】 実装番号 01 ～ 26 外線番号 01 ～ 30 着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B） 表示 / 内容 数字表示 / 鳴動あり 一表示 / 鳴動なし ※ FAX 収容の実装番号 09（SLI1）または 10（SLI2）のみ「鳴動なし」に設定変更。 ※P303、P304 の初期設定は、実装番号 1、2 のみ鳴動します。

次ページへ➔

□: 初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容
6	■ FAX	

【P001-8】
通話中の CNG 信号検出継続指定

表示	内容
数字表示	継続する
一表示	継続しない

【P003-0】
CNG 信号検出中の着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動しない
一表示	鳴動する

【P003-9】
オンフックリモート転送指定

表示	内容
数字表示	転送不可
一表示	転送可

【P242】
一般電話機ディスプレイ指定

表示	内容
数字表示	対応
一表示	非対応

【P008】
夜間 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

【P066】
グローバル CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

【P067】
ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

【P068】
CNG 信号検出時間指定

表示	内容
09	9 秒
設定変更	04 ～ 30

【P069】
オンフックリモート転送有効時間指定

表示	内容
5	5 秒
設定変更	1 ～ 9

【P070】
CNG 信号検出終了後の解放時間指定

表示	内容
30	30 秒
設定変更	10 ～ 99

【P071】
禁止番号 01 ～ 20
CNG 信号検出禁止番号指定

表示	内容
ダイヤル	禁止番号 12 ～ 20 : 指定なし
設定変更	CNG 信号検出禁止番号を指定

【P109】
収容外線 1 ～ 4
アナログ外線着信 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

【P305】
実装番号 01 ～ 26
ダイヤルイン 01 ～ 32
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

【P306 ～ P308】
実装番号 01 ～ 26
ダイヤルイン 01 ～ 32 着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・FAX 収容の実装番号 9（SLI1）または 10（SLI2）を「鳴動なし」に設定変更。

※ P307、P308 の初期設定は、
実装番号 01、02 のみ鳴動します。

★【P313】
実装番号 01 ～ 26
自動選局指定（発信）

表示	内容
数字表示	自動選局する
一表示	自動選局しない

・FAX で使用する外線は、「自動選局する」、それ以外の外線は「自動選局しない」に設定。

【P452】
テナント 1 ～ 4
FAX 転送先指定

表示	内容
0	指定なし
1	SLI1
2	SLI2

・テナントごとに、FAX を接続する SLI ポートを指定する。
※それぞれ SLI ポートは、いずれか一つのテナントからのみ選択可能。

【P238】
実装番号 1 ～ 8
FAX お知らせ表示指定

表示	内容
0	指定なし
1	SLI1
2	SLI2

ご注意

FAX 収容の実装番号 9（SLI1）または 10 (SLI2) において、CNG 信号検出を行う外線が「鳴動あり」に設定されている場合、FAX の自動受信機能により受信してしまうことがあります。

▶ (3) ダイヤルイン編

1. ISDN 回線

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

★【P039】
ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を 32 個まで市内局番から指定する。
ダイヤルイン契約をした場合に登録しないと着信が受けられません。
その場合、発信側には「おかけになった電話番号には、あなたと通信のできる機器が接続されてません」のトーキーが流れます。

★【P415 ～ 418】
テナント 1 ～ 4
ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

【P305】
実装番号 1 ～ 26
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P306 ～ P308】
実装番号 1 ～ 26
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードで実装番号ごとに着信音の鳴るダイヤルインを指定する。
ただし、前項の P305 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

【P411 ～ P414】
テナント 1 ～ 4
グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・デジタル回線の収容外線に対するグローバル着信の着信する外線を指定する。
2 回線以上の代表ダイヤルインでグローバル着信利用の場合は、必ず収容している回線数分、同じ設定にしてください。

【P301】
実装番号 1 ～ 26
通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・実装番号ごとに通常着信 (グローバル着信も含む) 時に着信する外線を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、その通常着信 (グローバル着信も含む) が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P302 ～ P304】
実装番号 1 ～ 26
着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードで通常着信 (グローバル着信も含む) 時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。ただし、前項の P301 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P303、P304 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

【P040】
ダイヤルイン
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

次ページへ➔

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P041】
ダイヤルイン
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ダイヤルイン番号ごとに着信音の種別を指定する。
※ P040 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です

【P421】
外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・テナントごとに各外線番号の着信音の鳴動周期を指定する。

【P422】
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・外線番号ごとに着信音の種別を指定する。
※ P421 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です

【P101】
外線収容および
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 &ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP（外付け）
4	ひかり電話（外付け）
5	ひかり電話オフィス（外付け）
6	PHS（外付け）
7	ナースコール（外付け）

・外線の種別を外線ごとに設定。

【P402】
テナント外線ボタン
割付指定

表示	内容
0	オートダイヤル
1	外線 (局線 /ISDN)
2	VoIP（内蔵 / 外付けアダプタ）
3	PBX 内線
4	ひかり（内蔵 / 外付けアダプタ）
5	PHS（外付けアダプタ）
6	ナースコール（外付けアダプタ）

・各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。

【P403 ～ P406】
テナント 1 ～ 4 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
ー表示	許可する

・テナント 1 ～ 4 の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

2. アナログ回線

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
※アナログのダイヤルインは、モデムダイヤルインのみ対応です。

■: 初期設定

プログラム設定内容

★【P039】
ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を32個まで市内局番から指定する。

【P102】
アナログ外線ダイヤル種別指定

表示	内容
0	DP（10PPS）
1	DP（20PPS）
2	PB

・収容外線（アナログ回線）ごとにダイヤル種別を指定します。

★【P105】
アナログ外線 NTT 付加サービス指定

表示	内容
数字表示	利用しない
ー表示	利用する

・収容外線（アナログ回線）ごとにナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。

【P101】
外線収容および
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 &ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP（外付け）
4	ひかり電話（外付け）
5	ひかり電話オフィス（外付け）
6	PHS（外付け）
7	ナースコール（外付け）

・外線の種別を外線ごとに設定。

【P402】
テナント外線ボタン
割付指定

表示	内容
0	オートダイヤル
1	外線 (局線 /ISDN)
2	VoIP（内蔵 / 外付けアダプタ）
3	PBX 内線
4	ひかり（内蔵 / 外付けアダプタ）
5	PHS（外付けアダプタ）
6	ナースコール（外付けアダプタ）

・各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。

【P403 ～ P406】
テナント 1 ～ 4 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
ー表示	許可する

・テナント 1 ～ 4 の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

★【P415 ～ P418】
テナント 1 ～ 4
ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線に着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

【P305】
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P306 ～ P308】
実装番号 1 ～ 26
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードでダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。
P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

【P407 ～ P410】
テナント 1 ～ 4
アナログ着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・収容外線（アナログ回線）ごとに、その収容外線に着信したときのテナント 1 ～ 4 での着信外線番号を指定する。

【P302 ～ P304】
実装番号 01 ～ 26
着信音鳴動指定（昼､夜間 A､夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードでの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。
P303、P304 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

【P110】
アナログ外線キャッチホン契約サービス指定

表示	内容
数字表示	契約なし
ー表示	契約あり

・収容外線ごとに、アナログ外線キャッチホンを契約しているか否かを指定する。

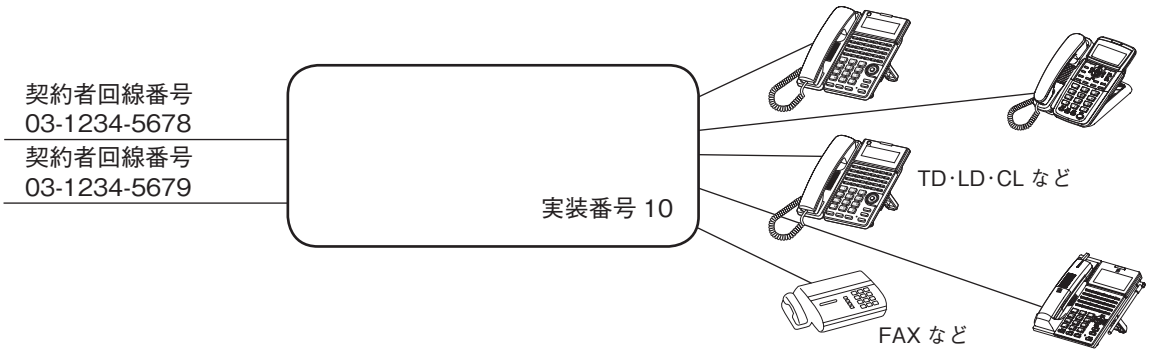
次ページへ➔

設　定　例

設定例　その１

条件

・デジタル２回線で、契約者番号 03-1234-5678、03-1234-5679
・代表ダイヤルイン契約 (追加番号なし)、グローバル着信利用、FAX 番号を 03-1234-5679 とする。
・FAX 発着信共、テナント１の外線４固定、電話は発着信共、テナント１の外線１、２、３のみとする。
・FAX は単独 (実装番号 10) に接続、一般電話関連のプログラムは設定してあるものとする。



【P039】　DI 番号 01：１２３４５６７９　　(ダイヤルイン１の番号を登録)
【P415】　DI 番号 01：０　９８７６５－３２１　　(ダイヤルイン１の着信はテナント１の外線４のみ着信するように設定)
【P411】　ISDN １：　０　９８７６５４－－－　　(収容外線１、２に入ったグローバル着信は外線１、２、３に着信するように設定)
　　ISDN ２：　０　９８７６５４－－－　　(収容外線３、４に入ったグローバル着信は外線１、２、３に着信するように設定)
【P309】　実装番号 10　　(実装番号 10 の FAX は外線１～３の発信規制を設定)
　　外線番号０　９８７６５４－－－

【P309】　実装番号 01 ～ＸＸ　　(外線４は実装番号 10 の FAX 以外、すべて発信規制を設定)
　　外線番号０　９８７６５－３２１
【P305】　実装番号 01 ～ＸＸ　　(ダイヤルイン１の着信は、実装番号 10 の FAX 以外すべて着信しないように設定)
　　DI 番号０　９８７６５４３２－
　　実装番号 10　　(ダイヤルイン１の着信は、実装番号 10 の FAX にのみ着信するように設定)
　　DI 番号０　９８７６５４３２１
【P301】　実装番号 10　　(グローバル着信は、実装番号 10 の FAX に着信しないように設定)
　　外線番号０　９８７６５４－－－

設定例　その２

条件

・デジタル２回線で、契約者番号 03-1234-5678、03-1234-5679
・代表ダイヤルイン契約 (追加番号なし)、グローバル着信利用しない、FAX 番号を 03-1234-5679 とする。
・FAX の着信は外線４固定、電話の着信は外線１、２、３、４とする。
・FAX と電話の発信は共に外線１、２、３、４とする。
・FAX は単独 (実装番号 10) に接続、一般電話関連のプログラムは設定してあるものとする。

【P039】　DI 番号 01　１２３４５６７８　　(ダイヤルイン１の番号を登録)
　　DI 番号 02　１２３４５６７９　　(ダイヤルイン２の番号を登録)
【P415】　DI 番号 01　　(ダイヤルイン１の着信は外線１、２、３、４に着信するように設定)
　　外線番号０　９８７６５－－－－
　　DI 番号 02　　(ダイヤルイン２の着信は外線４に着信するように設定)
　　外線番号０　９８７６５－３２１
【P305】　実装番号 10　　(ダイヤルイン１の着信は、実装番号 10 の FAX 以外は着信するように設定)
　　DI 番号０　９８７６５４３２－
　　実装番号 01 ～ＸＸ　　(ダイヤルイン２の着信は、実装番号 10 の FAX にのみ着信するように設定)
　　DI 番号０　９８７６５４３－１

▶ (4) i・ナンバー編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

ご注意　ISDN 回線だけに有効です

「i・ナンバー」を名称とするプログラムはありません。下記のとおり対応します。
① ISDN 回線 1、2 本目に対する i・ナンバーのポート番号 1 は、グローバル着信 1、2 に対応する。
② ISDN 回線 1、2 本目に対する i・ナンバーのポート番号 2 は、ダイヤルイン 1、2 に対応する。
③ ISDN 回線 1、2 本目に対する i・ナンバーのポート番号 3 は、ダイヤルイン 7、8 に対応する。
※ポート番号 1 は契約者番号、ポート番号 2、3 は追加番号の意味。

★【P415 ～ P418】
テナント 1 ～ 4
ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・ダイヤルイン 1、2 は、ISDN 回線 1、2 本目の i・ナンバーのポート番号 2 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
ダイヤルイン 7、8 は、ISDN 回線 1、2 本目の i・ナンバーのポート番号 3 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複して i・ナンバーのポート番号を指定することも可能。

【P305】
実装番号 1 ～ 26
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・ISDN 回線 1、2 本目の i・ナンバーのポート番号 2 に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 1,2 で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)
ISDN 回線 1、2 本目の i・ナンバーのポート番号 3 に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 7,8 で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)
「指定しない」に設定された電話機は、その i・ナンバーのポート番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P306 ～ P308】
実装番号 1 ～ 26
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・ISDN 回線 1、2 本目の昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 2 に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 1,2 で指定する。
ISDN 回線 1、2 本目の昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 3 に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 7,8 で指定する。
ただし、前項の P305 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

【P411 ～ P414】
テナント 1 ～ 4
グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・i・ナンバーのポート番号 1 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。

【P301】
実装番号 1 ～ 26
通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・実装番号ごとに i・ナンバーのポート番号 1 に着信時に着信する外線を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、その i・ナンバーのポート番号 1 に着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P302 ～ P304】
実装番号 1 ～ 26
着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 1 に着信時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。
ただし、前項の P301 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P303、P304 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

次ページへ➔

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P040】
ダイヤルイン
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・i・ナンバーのポート番号 2 または 3 ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

【P041】
ダイヤルイン
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・i・ナンバーのポート番号 2 または 3 ごとに着信音の種別を指定する。
※ P040 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です。

【P421】
外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・テナントごとに各 i・ナンバーのポート番号 1 の着信音の鳴動周期を指定する。

【P422】
ダイヤルイン
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・テナントごとに i・ナンバーのポート番号 1 ごとに着信音の種別を指定する。
※ P421 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です。

【P101】
外線収容および
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 &ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP（外付け）
4	ひかり電話（外付け）
5	ひかり電話オフィス（外付け）
6	PHS（外付け）
7	ナースコール（外付け）

・収容外線ごとに種別を指定する。

【P402】
テナント外線ボタン
割付指定

表示	内容
0	オートダイヤル
1	外線 (局線 /ISDN)
2	VoIP（内蔵 / 外付けアダプタ）
3	PBX 内線
4	ひかり（内蔵 / 外付けアダプタ）
5	PHS（外付けアダプタ）
6	ナースコール（外付けアダプタ）

・各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。

【P403 ～ P406】
テナント 1 ～ 4 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
ー表示	許可する

・テナント 1 ～ 4 の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

次ページへ➔

▶（5）外線転送編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P085】
外線自動転送発信時の動作指定

表示	内容
0	発信側外線１優先
1	発信側外線１、２同時
2	発信側外線１、２順次

・外線転送ごと（外線転送１～外線転送４）に、発信時の動作を指定する。
【発信側外線１優先の動作】
・発信側外線１からの発信を優先し、発信側外線１が着信中の場合、または発信側外線１の回線が捕捉できない場合に発信側外線２から同じ転送先番号に発信する。
※発信側外線を２外線指定したときのみ有効。
【発信側外線１、２同時の動作】
・発信側外線１、２から同時に別々の転送先番号に発信する。
※発信側外線を２外線指定したときのみ有効。
【発信側外線１、２順次】
・転送先番号の相手が応答しない場合、別の転送先番号に発信する。

【P425】
外線転送テナント（自動 / 手動）指定

表示	内容
1	テナント１
2	テナント２
3	テナント３
4	テナント４

・外線転送を利用するテナントを外線転送ごとに指定する。

★【P426】
外線自動転送（発信側）指定
外線転送１～４
発信側外線１～２

表示	内容
00	指定なし
01	外線番号１
⟆	⟆
30	外線番号 30

・外線自動転送の発信側外線を指定する。
※発信側外線に指定すると、着信側外線 (P427) は自動的に「指定しない」になります。
※ PBX 内線を指定することはできません。

★【P427】
外線自動転送（着信側）指定

表示	内容
0	指定しない
1	一次対応なし（外線転送１）
2	一次対応あり（外線転送１）
3	一次対応なし（外線転送２）
4	一次対応あり（外線転送２）
5	一次対応なし（外線転送３）
6	一次対応あり（外線転送３）
7	一次対応なし（外線転送４）
8	一次対応あり（外線転送４）

・外線自動転送の着信側外線と転送方法を指定する。
※発信側外線 (P426) で指定された外線を着信側に指定することはできません。
※ PBX 内線を指定することはできません。
一次応答 ･･･REC を使用して一次応答メッセージを発信者に送出すること。
※外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 使途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります

【P021-1 ～ 4】
外線転送システム指定

表示	内容
数字表示	鳴動なし
ー表示	鳴動あり

・外線自動転送時、転送先に通知音を送出するか、しないかを指定する。
転送 1「ピピピピピピピピ」(高い音)、転送 2「ピー」(中位の音)、転送 3「ポー」(低い音) 転送 4「ピー」（高い音）が 1.5 秒間鳴動する。

【P019】
外線転送自動応答時間指定

表示	内容
042	42 秒で自動応答する
設定変更	000 ～ 180 の範囲で指定する（000 は自動応答しない）

・外線自動転送の発信側外線に着信が入った場合に外線転送のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。
※１ 外線転送セット / 解除には関わらない。
※２ 暗証番号が未登録のときは応答しない。

【P025】
外線転送最大
通話時間指定

表示	内容
0	30 分
1	1 時間
2	2 時間
3	3 時間

・外線手動 / 自動転送したときの最大通話時間を指定する。
この時間になると、両方の相手に「ピー」音が入り 30 秒後に通話を自動的に終話します。

次ページへ➔

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P024】
外線転送終話時
コールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1秒
2	2秒
3	3秒
4	4秒
5	5秒
6	6秒

・外線転送 (手動／自動) の終話時に発信元が終話し、転送先が受話器を持ったまま待っているとき、コールバックするまでの時間を指定する。
※初期値は、手動転送：2、自動転送：0

【P023】
外線転送転送先不応答切断タイマ指定

表示	内容
0	20秒
1	40秒
2	60秒
3	80秒
4	100秒
5	120秒

・一次応答メッセージ送出後のダイレクト自動転送で、転送先が応答しない場合、外線を切断するまでの時間を指定する。

【P045】
ダイヤルイン着信
ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・ダイヤルイン番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

【P044】
グローバル着信
ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・グローバル番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

【P106】
アナログ外線
ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・アナログ外線に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

【P312】
コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり（実装番号 01 ～ 08）
ー表示	鳴動なし（SLI、IP 電話機）

・外線転送コールバックを行ったときに、実装番号 01 ～ 26 ごとに鳴動する外線を指定する。REC を使用時には、お待たせ応答後のコールバックで、通常着信に切り替わったとき、着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。

次ページへ➔

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P026】
外線自動転送中の着信音鳴動指定

項目	名称
0	すべての着信側外線の着信音を鳴動しない
1	自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない
2	鳴動する

・ダイレクト自動転送（一次応答なし）の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合の着信を鳴動させるか否かを指定する。

【P042】
グローバル着信ダイレクト自動転送指定

表示	内容
数字表示	転送可
ー表示	転送不可

・ISDN 回線ごとに、グローバル着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する。

【P043】
ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定

表示	内容
数字表示	転送可
ー表示	転送不可

・ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する。

【P086】
外線転送通話ゲイン指定

表示	内容
0	− 12dB
1	− 9dB
2	− 6dB
3	− 3dB
4	0dB
5	＋ 3dB
6	＋ 6dB
7	＋ 9dB
8	＋ 12dB

・外線転送時、外線種別の組み合わせごとに通話における音量（ゲイン）を指定する。

【P021-5】
外線転送発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
ー表示	ACR 許可

・外線転送発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。

【P056】
認識グループ着信時の動作指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

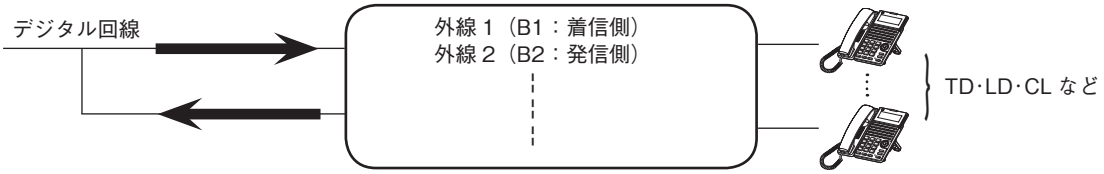
・識別グループ（0 ～ 9）ごとに、識別グループ着信時に外線自動転送の動作を行うか否かを指定する。

次ページへ➔

設　定　例

設定例　その１

条件
・デジタル１回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。
・発信者への一次応答メッセージはなし。



【P426】　外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側を外線２に設定）

【P427】　　0　０００００００１　　(外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定)

設定例　その２

条件
・デジタル１回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。（設定例　その１に同じ）
・発信者への一次応答メッセージは送出する。
・外線転送コールバック時の鳴動子機は、実装番号 01、02、08 の電話機３台とする。（終話時コールバック時間を２秒にする）

【P426】　外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側を外線２に設定）

【P427】　　0　０００００００００２　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージありに設定）
※外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 使途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。

【P312】　　（外線２のコールバック鳴動電話機を実装番号 01、02、08 に設定）
実装番号 01,02,08 以外の実装番号
　　外線番号　0　９８７６５４３－１　　（実装番号 01,02,08 以外の電話機を、外線２のコールバック鳴動しないに設定）
【P024】自動／手動　　２２　　（外線自動転送終話時コールバック時間を２秒に設定）

設定例　その３

条件
・デジタル２回線で、ダイレクト外線自動転送（発信側外線１優先）を行う。
・発信者への一次応答メッセージはなし。
　※発信側外線１が着信中の場合、または発信側外線１の回線が捕捉できない場合に発信側外線２から同じ転送先番号に発信する方法。
　※プログラム設定終了後、メニューで外線転送先を１つ選びます。

【P426】　外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側外線１を外線２に設定）
　　発信側外線２＝外線番号 03　　（外線自動転送１の発信側外線２を外線３に設定）

【P427】　　0　０００００００００１　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定）

【P085】　　００００　　（発信側外線１優先に設定）

設定例　その４

条件
・デジタル２回線で、ダイレクト外線自動転送（発信側外線１、２同時）を行う。
・発信者への一次応答メッセージはなし。
　※発信側外線１、２から同時に別々の転送先番号に発信する方法。
　※プログラム設定終了後、メニューで外線転送先を２つ選びます。

【P426】　外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側外線１を外線２に設定）
　　発信側外線２＝外線番号 03　　（外線自動転送１の発信側外線２を外線３に設定）

【P427】　　0　０００００００００１　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定）

【P085】　　０００１　　（発信側外線１、２同時に設定）

▶（6）REC（留守番機能）編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P027】
REC システム指定

項目	名称	表示	内容
1	用件自動消去指定	数字表示	自動消去あり
		一表示	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	数字表示	REC ごとに共通
		一表示	電話機の個別

・用件自動消去をするか、しないか、通話メモの再生を REC ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。

★【P028】
REC 使途指定

表示	内容
0	未使用
1	留守／お待たせ／一次応答
2	非通知拒否／迷惑電話拒否
3	非通知拒否
4	迷惑電話拒否
5	通話メモ

・REC ごとに使用する機能を指定する。
※初期値　REC1：1
　　REC2、3、Busy：0

【P029】
留守番機能指定

表示	内容
0	応答録音のみ可
1	応答専用のみ可
2	両方可

・REC ごとに留守番機能の応答録音と応答専用の使用可否を指定する。

★【P210】
留守番電話機指定

表示	内容
1	実装番号 1 を指定
2	実装番号（1 ～ 8）で指定

・REC1、2、3、Busy の留守番指定電話機を実装番号で指定する。
※初期値　REC1：実装番号 1
　　REC2、3、Busy：指定なし
※同一電話機に複数の REC を指定することはできない。

RECBusy には、通話中 Busy 拒否のセット操作を行うための電話機を指定します。

★【P428】
留守番自動応答指定

表示	内容
0	自動応答しない
1	REC1 が自動応答
2	REC2 が自動応答
3	REC3 が自動応答

・外線（01 ～ 30）ごとに REC1 が応答するのか、REC2 が応答するのか、REC3 が応答するのかを指定します。

【P018】
留守番在宅自動応答時間指定

表示	内容
045	45 秒で自動応答する
設定変更	000 ～ 180 の範囲で指定する（000 は自動応答しない）

・留守番未セット時に留守番のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。

【P056】
認識グループ着信時の動作指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・認識グループ（0 ～ 9）ごとに、認識グループ着信時に留守番応答の動作を行うか否かを指定する。

【P222】
通話メモ使用 REC 指定

表示	内容
0	指定しない
1	REC1
2	REC2
3	REC3

・電話機ごとに通話メモ機能を使用する REC を指定する。

【P312】
コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり（実装番号 01 ～ 08）
一表示	鳴動なし（SLI、IP 電話機）

・REC お待たせメッセージ応答後のコールバックで通常着信に切り替わったとき、実装番号 01 ～ 26 ごとに着信鳴動する外線を指定する。
※外線転送コールバック時に着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。
※ SLI1、SLI2、IP 電話機を含む。
※初期は実装番号 01 ～ 08 のみ鳴動する。

次ページへ➔

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P030】
REC お待たせ時間指定

表示	内容
0	指定なし
1	1 分
2	2 分
3	3 分
4	4 分

・REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線ボタンに応答しない場合、その外線ボタンを着信状態にするまでの時間、もしくは保留相手にお待たせメッセージを繰り返すまでの時間を指定する。
※お待たせ時間経過後の動作は P027-5REC お待たせ動作指定による。

【P230】
ワンショット留守番機能使用 REC 指定

表示	内容
0	未使用
1	REC1
2	REC2
3	REC3

・電話機ごとにワンショット留守番機能に利用する REC を指定する。
※ P210 で REC 子機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできません。
(REC Busy を除く)

【P097】
REC 録音時間指定

060	内容
設定変更	システムでの最大録音時間は 180 分（REC Busy を除く） ※ 10 分間隔でのみ指定可能です。

【P027-4】
追っかけ転送発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
一表示	ACR 許可

・追っかけ転送発信時、ACR の利用を許可するか、否かを指定する。

【P027-5】
REC お待たせ動作指定

表示	内容
数字表示	コールバックする
一表示	ガイダンスを繰り返す

・REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線に一定時間応答しない場合の動作（外線ボタンを着信状態にする、もしくは時間経過するごとに相手にメッセージを送出する）を指定する。

【P027-3】
迷惑電話登録指定

表示	内容
数字表示	満杯時登録禁止
一表示	満杯時登録可

・迷惑電話番号登録件数が満杯のとき、新たに迷惑電話番号を登録できないようにするか、もしくは、最も古い迷惑電話番号を削除して新規の迷惑電話番号を登録できるようにするかを指定する。

【P027-6】
公衆電話迷惑拒否指定

表示	内容
数字表示	拒否しない
一表示	拒否する

・迷惑電話拒否モードセット時、公衆電話の着信を拒否するか否かを指定する。

【P027-7】
表示圏外迷惑拒否指定

表示	内容
数字表示	拒否しない
一表示	拒否する

・迷惑電話拒否モードセット時、表示圏外の着信を拒否するか否かを指定する。

◎留守番指定電話機に指定された電話機には、次の留守番機能ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	再生	スキップ	消去	留守
TD615 の電話機	オート 14	オート 15	オート 16	オート 17	オート 18
TD625 の電話機	オート 26	オート 27	オート 28	オート 29	オート 30
LD 電話機	オート 6	オート 9	オート 7	オート 8	オート 10

※ CL 電話機（親機）は TD625 電話機と同じです。

◎留守番自動応答時間の指定方法

TD･LD･CL（親機）（留守番指定電話機）で操作



のいずれか

・留守番セット時に自動応答するまでの時間 (1 ～ 180 秒) を指定する。
※初期設定は 009（9 秒）です。

▶（7）セーフティ機能編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
※設置現場にて、センサ感度を調整する必要があります。調整方法の詳細は、14「セーフティ機能」の「■センサ感度等の調整方法（111 ページ)」を参照ください。
※センサ感度は、プログラム設定（P079, P080, P081, P082）にてパラメータを調整することで、変更することができます。

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P072-1】
威嚇警報音の音量指定

表示	内容
数字表示	大
ー表示	小

・威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定します。

【P072-2】
通報先終話時の威嚇継続指定

表示	内容
数字表示	威嚇を継続する
ー表示	威嚇を終了する

・通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰（継続）するか否かを指定します。

【P072-3】
リレー出力タイミング指定

表示	内容
数字表示	センサ検知時
ー表示	威嚇開始時

・Web カメラに設定されたコントロール端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定します。

【P072-4】
外部スピーカ威嚇音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・外部スピーカで威嚇音を鳴動するか否かを指定する。
※外部スピーカ 1、2 両方から鳴動する。
※セーフティ A、B 共通。

【P072-5】
通報発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
ー表示	ACR 許可

・通報発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。

【P072-6】
威嚇時発光指定

表示	内容
数字表示	利用する
ー表示	利用しない

・威嚇動作に、電話機のバックライトおよび各種ランプの発光を利用するか否かを指定する。

【P072-7】
威嚇警報音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動する
ー表示	鳴動しない

・威嚇警報音を鳴動させるか否かを指定する。

【P073】
モードセット遅延時間指定

表示	内容
数字表示	60 秒
ー表示	001 ～ 600 の範囲で指定する

・セーフティモードセット操作をしてから、セーフティモードになるまでの時間を指定する。

【P074】
威嚇遅延時間指定

表示	内容
数字表示	60 秒
ー表示	001 ～ 600 の範囲で指定する

・セーフティモード中にセンサ検知したときに、威嚇を開始するまでの時間を指定する。

次ページへ➔

プログラム設定内容

【P075】
威嚇警報音鳴動時間指定

表示	内容
20	20 分
設定変更	01 ～ 60 の範囲で指定する

・威嚇警報音の鳴動時間を指定する。

【P076】
ドア・ページングユニットポート使途指定

表示	内容
0	接続なし
1	外部センサ（ブレーク）
2	外部センサ（メーク）
3	外部センサ（ワンショット：メーク）
4	警備入力（警備中 ON）
5	警備入力（警備中 OFF）

外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、検知する信号のタイプを指定する。
※外部センサポートにドアホンを接続することはできない。
※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON）もしくは警備入力（警備中 OFF）を指定可能。
※警備中 ON とは、警備中はメーク状態になることを意味し、警備中 OFF とは警備中はブレーク状態になることを意味します。

【P077】
ドア・ページングユニットポート対応セーフティグループ指定

表示	内容
1	グループ A
2	グループ B

外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、接続した外部センサ反応時に威嚇＆通知および通報を行うセーフティグループを指定する。
※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（ＸＸＸ）」もしくは「警備入力（ＸＸＸ）」に指定されているときのみ有効。
※ P076 ドア･ページングユニットポート使途指定で「警備入力（ＸＸＸ）」が複数指定されている場合､同一のセーフティグループに指定を変更すると P076 の指定がクリアされる。

【P078】
通報発信外線強制切断指定

表示	内容
数字表示	強制切断しない
ー表示	強制切断する

・セーフティグループごとに通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中の時に、その通話を強制的に切断するか否かを指定する。

【P079】
センサ入力信号 ON 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	12.5ms	09	112.5ms
02	25.0ms	10	125.0ms
03	37.5ms	11	137.5ms
04	50.0ms	12	150.0ms
05	62.5ms	13	162.5ms
06	75.0ms	14	175.0ms
07	87.5ms	15	187.5ms
08	100.0ms	16	200.0ms

・センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要な ON 時間の長さを設定します。設定時間よりも短い検出信号は無視される。

※設定値を大きくすることによって、ノイズ（温度ドリフトによる光学的なノイズや、強電界による電気的な外来ノイズ）による誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。
※推奨値：12.5ms ～ 100.0ms

【P080】
センサ入力信号 OFF 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	12.5ms	09	112.5ms
02	25.0ms	10	125.0ms
03	37.5ms	11	137.5ms
04	50.0ms	12	150.0ms
05	62.5ms	13	162.5ms
06	75.0ms	14	175.0ms
07	87.5ms	15	187.5ms
08	100.0ms	16	200.0ms

・センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、OFF と認めるまでの時間を設定します。

※設定値を大きくすることによって、センサ間近の誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。
※推奨値：12.5ms ～ 50.0ms

【P081】
センサ ON 連続検出回数指定

表示	内容
1	1 回
設定変更	1 ～ 8 の範囲で指定する

・システムが検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号のカウント数を指定する。

※設定値を大きくすることによって、単発ノイズによる誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。また、単純に検知範囲（距離）が短くなるととらえることもできます。
※推奨値：1 回～ 3 回

次ページへ➔

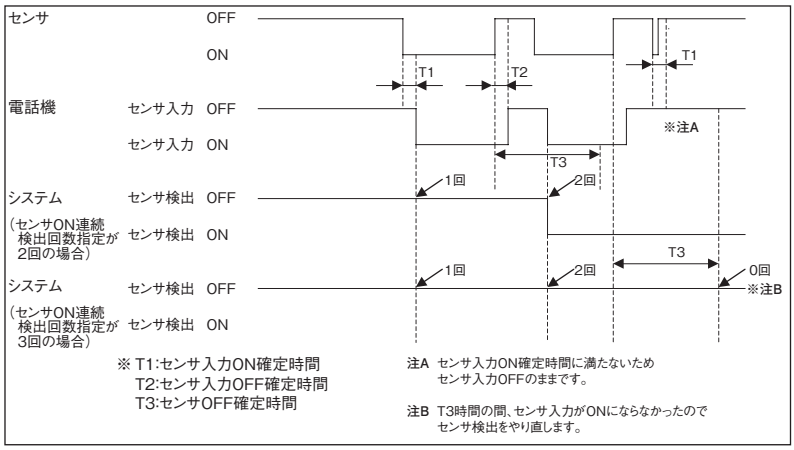
プログラム設定内容

【P082】
センサ OFF 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	50.0ms	17	2600.0ms
02	75.0ms	18	2800.0ms
03	100.0ms	19	3000.0ms
04	150.0ms	20	3200.0ms
05	200.0ms	21	3400.0ms
06	400.0ms	22	3600.0ms
07	600.0ms	23	3800.0ms
08	800.0ms	24	4000.0ms
09	1000.0ms	25	4200.0ms
10	1200.0ms	26	4400.0ms
11	1400.0ms	27	4600.0ms
12	1600.0ms	28	4800.0ms
13	1800.0ms	29	5000.0ms
14	2000.0ms	30	5500.0ms
15	2200.0ms	31	6000.0ms
16	2400.0ms	32	6500.0ms

・センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、センサ入力がなくなったと認めるまでの時間を設定します。

※設定値を大きくすることによって、対象の横切り往復運動などを検知しやすくなります。ただし、大きくしすぎると単発ノイズによる誤検出が起こりやすくなります。
※推奨値：1000.0ms ～ 4000.0ms



★【P226】
実装番号 1 ～ 8
セーフティグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	グループ A
2	グループ B
3	警報鳴動グループ A
4	警報鳴動グループ B

・電話機ごとにセーフティグループを設定します。
※警報鳴動グループはセーフティグループと同じグループに対応する。
※セーフティグループがセーフティセンサ検知状態になると、対応する警報鳴動グループに所属する電話機は警報鳴動状態になる。（電話機を使用していない場合のみ）

★【P228】
音声威嚇電話機指定

表示	内容
0	指定なし
設定変更	0 ～ 8 の範囲で指定する（0 は指定なし）

・通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする電話機を指定します。セーフティグループごとに最大 3 台指定します。（0 は指定なし）

※音声威嚇電話機に指定できるのは、TD･LD･CL 電話機です。
※ P226 で同じグループに属する電話機のみ指定可。

★【P229】
実装番号 1 ～ 8
センサ動作指定

表示	内容
数字表示	許可する
ー表示	許可しない

・電話機ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。
※センサ付き電話機に対してのみ有効。

★【P449】
通報発信外線テナント指定

表示	内容
1	テナント 1
2	テナント 2
3	テナント 3
4	テナント 4

・通報時に外線発信をするテナントをセーフティグループごとに指定します。

★【P450】
通報発信外線指定

表示	内容
00	指定なし
設定変更	00 ～ 30 の範囲で指定する（00 は指定なし）

・通報時に発信外線として使用する外線をセーフティグループごとに指定します。
00 は指定なし
※ P402 で 1（外線）、4（ひかり）を設定した場合に限り指定可。
※外線自動転送の発信側外線と同一外線も設定可。

次ページへ➔

プログラム設定内容

【P035】
リレー制御指定

項目	名称
00	未使用
01	電気錠１
02	電気錠２
03	電気錠３
04	外部スピーカ１
05	外部スピーカ２
06	外部保留音源＆ BGM
07	Web カメラ（セーフティ A に連動）
08	Web カメラ（セーフティ B に連動）
09	Web カメラ（セーフティ A、B 両方に連動）
10	いらっしゃいませンサ A に連動
11	いらっしゃいませンサ A に連動
12	いらっしゃいませンサ A、B の両方に連動

・リレーごとに、どの外部機器（電気錠、外部スピーカ、外部保留音源「BGM」、Web カメラ、いらっしゃいませンサ連動機器）を接続しているかを指定する。
※同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいませンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能。

【P036】
外部スピーカゲイン指定
（外線着信、音声、BGM、威嚇）

表示	内容
0	－ 12dB
1	－ 9dB
2	－ 6dB
3	－ 3dB
4	0dB
5	＋ 3dB
6	＋ 6dB
7	＋ 9dB
8	＋ 12dB

・外線着信、音声、BGM、威嚇の各音ごとに、外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。

【P044】
グローバル着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・グローバル着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、セーフティのリモコンを行うか否かを ISDN 回線ごとに指定する。

【P045】
ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、セーフティのリモコンを行うか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。

【P106】
アナログ外線ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・収容外線（アナログ回線）ごとに発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、セーフティのリモコンを行うか否かを指定する。

【P516】
警報装置エリアセーフティグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	セーフティグループ A
2	セーフティグループ B

【P517】
警報装置ポート指定

表示	内容
1012	ポート番号 1012
設定変更	1 ～ 65535 の範囲で指定する

・他の装置のポート番号と一致するときに変更する。

▶ (8) リモートコールバック機能編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P090-1】
リモートコールバック発信回線指定

表示	内容
数字表示	同一回線
一表示	自動選局

・リモートコールバック発信を行う回線の選択方法を指定する。

【P090-2】
リモートコールバック PB 未検出時動作指定

表示	内容
数字表示	切断
一表示	一斉着信

・リモートコールバック中、相手からの PB が検出できなかった場合、回線を切断するか一斉着信にするかを指定する。

【P090-3】
リモートコールバック発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
一表示	ACR 許可

・リモートコールバック発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。

【P090-4】
リモートコールバック着信動作指定

表示	内容
数字表示	切替えない
一表示	一斉着信に切替える

・リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定されたとき、指定した内線が着信応答しない、もしくは通話中の場合に一斉着信に切替えるか否かを指定する。

★【P091】
リモートコールバックグローバル着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

・グローバル回線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

★【P092】
リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

・ダイヤルイン番号ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

【P093】
リモートコールバック検出タイマ指定

表示	内容
007	7秒
設定変更	004～180 の範囲で指定する

・リモートコールバックの検出時間を指定する。
※外線への着信時間が設定値を超えた場合、リモートコールバック機能は行わない。

【P094】
リモートコールバック呼出時間指定

表示	内容
0	60秒（リトライなし）
1	20秒（リトライあり）
2	40秒（リトライあり）
3	60秒（リトライあり）

・リモートコールバック時、発信先を呼び出す時間を指定する。

★【P096】
リモートコールバックテナント指定

表示	内容
1	テナント1
2	テナント2
3	テナント3
4	テナント4

・リモートコールバックを行うテナントを指定する。

【P111】
リモートコールバックアナログ着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
一表示	検出する

・収容外線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

次ページへ➔

プログラム設定内容

【P309 ～ 311】
発信規制指定

表示	内容
数字表示	発信可
一表示	発信不可

・P090-1 で自動選局に指定した場合、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを指定する。
※ SLI1、SLI2、ユーザー登録、システム間接続を含む。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。

★【P312】
コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり（実装番号 01 ～ 08）
一表示	鳴動なし（実装番号 09 ～ 26、SLI、IP 電話機）

・外線転送コールバックならびに REC お待たせメッセージ応答コールバックおよびリモートコールバック機能時に着信鳴動する電話機を外線ごとに指定する。
※ SLI1、SLI2、IP 電話機を含む

【P511】
リモートコールバック PB 待ち時間指定

表示	内容
20	20 秒
設定変更	02 ～ 30 秒の範囲で指定する

・リモートコールバック発信し、相手応答後から応答した相手からの PB が検出できないと判断するまでの時間を指定する。
※リモートコールバック PB 待受け時間経過後の動作は P090-2 リモートコールバック PB 未検出時動作指定による。

【P512】
リモートコールバック未対応時間指定

表示	内容
20	20 秒
設定変更	05 ～ 60 秒の範囲で指定する

・リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定され、指定内線が着信を開始してからその内線が着信応答しないと判断するまでの時間を指定する。

【P447】
外部スピーカ 1 コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・各テナントの外線ボタンごとに、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かを指定する。

【P448】
外部スピーカ 2 コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・各テナントの外線ボタンごとに、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かを指定する。

◎リモートコールバックを行う電話帳グループの指定方法

TD･LD･CL（親機）で操作



▶ (9) いらっしゃいませンサ機能編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
※設置現場にて、センサ感度を調整する必要があります。調整方法の詳細は、14「セーフティ機能」の「■センサ感度等の調整方法（111 ページ)」を参照ください。
※センサ感度は、プログラム設定（P079, P080, P081, P082）にてパラメータを調整することで、変更することができます。

□: 初期設定

プログラム設定内容

★【P234】
いらっしゃいませンサ指定

表示	内容
00	指定なし
設定変更	電話機を指定

・いらっしゃいませンサごとに、使用するセンサ（電話機もしくはドア・ページングユニットのポート）を指定する。
※電話機の場合、P229 センサ動作指定で「許可する」に指定されている電話機のみ有効。
※ドア・ページングユニットの場合、P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（XXX)」に指定されているときのみ有効。

★【P239】
いらっしゃいませンサグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	いらっしゃいませンサグループ A
2	いらっしゃいませンサグループ B

・電話機ごとに、いらっしゃいませンサグループを指定する。
※いらっしゃいませンサがセンサ検知状態になると、対応するいらっしゃいませンサグループに所属する電話機は鳴動状態になる。（電話機を使用していない場合のみ）

【P240】
いらっしゃいませンサ鳴動音種別指定

表示	内容
0	いらっしゃいませ
1	ピンポーン
2	ピンポーン・パンポーン
3	ピロリロリロリロ・・

・いらっしゃいませンサごとに、センサ検知時に鳴動する音を指定する。

★【P229】
センサ動作指定

表示	内容
数字表示	許可する
一表示	許可しない

・電話機ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。
※センサ付き電話機に対してのみ有効。

【P235】
いらっしゃいませンサ間隔時間指定

表示	内容
00	0 秒
一表示	00 ～ 99 秒の範囲で指定

・いらっしゃいませンサごとに、鳴動音を送出した後、再度センサが有効になるまでの時間を指定する。

次ページへ➔

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P236】
いらっしゃいまセンサゲイン指定

表示	内容
0	− 12dB
1	− 9dB
2	− 6dB
3	− 3dB
4	0dB
5	＋ 3dB
6	＋ 6dB
7	＋ 9dB
8	＋ 12dB

・いらっしゃいまセンサごとに、鳴動音の音量（ゲイン）を指定する。

※以下の設定内容は（7）セーフティ機能編を参照ください。
【P079】センサ入力信号 ON 確定時間指定
【P080】センサ入力信号 OFF 確定時間指定
【P081】センサ ON 連続検出回数指定
【P082】センサ OFF 確定時間指定

【P035】
リレー制御指定

表示	内容
00	未使用
10	いらっしゃいまセンサ A に連動
11	いらっしゃいまセンサ A に連動
12	いらっしゃいまセンサ A、B の両方に連動

・リレーごとに、どの外部機器（電気錠、外部スピーカ、外部保留音源「BGM」、Web カメラ、いらっしゃいまセンサ連動機器）を接続しているかを指定する。
※ P072_3 リレー出力タイミング指定で出力タイミングを指定可。
※同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいまセンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能。

【P076】
ドア・ページングユニットポート使途指定

表示	内容
0	接続なし
1	外部センサ（ブレーク）
2	外部センサ（メーク）
3	外部センサ（ワンショット：メーク）
4	警備入力（警備中 ON）
5	警備入力（警備中 OFF）

・ 外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、検知する信号のタイプを指定する。
※外部センサポートにドアホンを接続することはできない。
※ セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON）もしくは警備入力（警備中 OFF）を指定可能。
※ 警備中 ON とは、警備中はメーク状態になることを意味し、警備中 OFF とは警備中はブレーク状態になることを意味します。

▶（10）IP 電話機接続編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P201】
内線番号指定

表示	内容
実装番号 01 ～ 26 を 内線番号 10 ～ 35 で表示	指定なし
設定変更	実装番号 01 ～ 26 を内線番号 10 ～ 89 （内線 3 桁モードは 100 ～ 899）の範囲で指定

・実装番号ごとに、内線番号を変更できる。

【P061】
内線番号桁数指定

表示	内容
2	2 桁（10 ～ 89）
3	3 桁（100 ～ 899）

・システム間接続は、内線番号桁数が 3 桁のときのみ可能です。

その他の IP 電話機接続に必要な設定は Web から行います。
154 ページの/18/「IP 端末接続ユニット利用時の設定」を参照してください。

▶（11）システム間接続編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

★【P061】
内線番号桁数指定

表示	内容
2	2 桁（10 ～ 89）
3	3 桁（100 ～ 899）

・システム間接続は、内線番号桁数が 3 桁のときのみ可能です。

【P518】
システム間接続公開テナント指定

表示	内容
1	テナント 1
2	テナント 2
3	テナント 3
4	テナント 4

・システム間接続にて接続システムに対し公開するテナントを指定する。

【P218】
発信者番号選択指定

表示	内容
00	捕捉した外線の電話番号
01	ISDN 回線 1
02	ISDN 回線 2
03	ダイヤルイン番号 01
∫	∫
34	ダイヤルイン番号 32

・電話機ごと（初実装 SLI、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、ISDN 回線または VoIP で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を、捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。
※発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。
※システム間接続において､他のシステムから外線を利用される際の動作を実装番号 28（システム間）として指定する。

【P309 ～ P311】
発信規制指定

表示	内容
数字表示	発信可
－表示	発信不可

・P090-1 で自動選局に指定した場合、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを指定する。
※ SLI1、SLI2、ユーザー登録、システム間接続を含む。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。
※他システムから自システムの外線を利用して発信する際の規制を設定します。

その他のシステム間接続に必要な設定は Web から行います。
154 ページの18「IP 端末接続ユニット利用時の設定」を参照してください。

25 HM700Pro 主装置のプログラムの設定

25 -1 プログラムの設定

- プログラムの登録はメモリスイッチが「HOLD」側のときのみ設定できます。
- プログラムの登録、確認、および変更は、実装番号 01 ～ 32 に接続された TD・LD・CL（親機）から設定します。
  また、外線通話中でも設定できます。
- プログラムの登録、更新は、設定方法による操作で仮登録され、すべての電話機が使用されていないときに本登録されます。
  したがって、仮登録では旧データのままで動作します。
- プログラムの登録・確認・変更中でも、他の電話機の機能はすべて使用できます。

ご注意

- **プログラム設定の前にメモリスイッチを「HOLD」側に切り替えてください。**
- **TD・LD・CL（親機）に「プログラム設定データ　エラー」が表示された場合、プログラム設定に異常が発生しています。この場合、プログラム設定を確認してください。**
  ※プログラム設定確認後も「プログラム設定データ　エラー」表示が消えない場合はメモリクリアを行ってください。
  （プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて「初期設定」に戻ります）
- **外来ノイズを受けて電話機が正しく動作しない場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、1 分以上経過後「ON」に戻してください。**
  ※プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容は、保持されます。

▶ 設定項目

●本装置は、出荷時（初期設定）次のように設定されています。

① 全電話機が、すべての外線に対し発着信ができます。
② すべての外線からの着信に対し、全電話機が着信音鳴動します。（PS 電話機を除く）
③ すべての外線からの着信に対し、受話器をあげるだけで着信応答できます。（ダイヤルイン、i ･ナンバー、VoIP 着信を除く）
④ 発信者番号通知は、回線の申し込みによります。
※ 初期設定のままでよい場合は、プログラムを変更する必要はありません。

●プログラムは、次のように区分けされています。

プログラム区分	プログラム番号
システム対応	P001 ～ P099
収容外線対応	P101 ～ P111
電話機対応	P201 ～ P243
メニュープログラミング対応	P301 ～ P329
テナント対応	P401 ～ P452
システム対応 2	P501 ～ P521

●本装置のユニット構成を変更した場合は、下記メッセージが表示されます。

```
ﾕﾆｯﾄ構成が変更されました。
【更新】確定【ｷｬﾝｾﾙ】 電源ＯＦＦ
更新する場合は、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定の見直
しが必要です。
```

※実装番号 1 ～ 8 に接続された TDF・LD・CL（親機）に表示されます。
※実装番号 9 以降に接続された電話機には表示されません。

●プログラム設定一覧

システム対応

プログラム番号			内容
P001	システム設定その1	1	未使用
		2	一斉／グループ呼出指定
		3	共通短縮ダイヤル発信規制解除指定
		4	強制転送指定
		5	自動転送指定
		6	オンフック転送指定
		7	ワンタッチ発信機能指定
		8	通話中の CNG 信号検出継続指定
		9	外線自動選局順位指定
		0	自動ＰＢ信号切り替え指定
P002	システム設定その2	1	ポーズ時間指定
		2	迷惑電話一覧表示指定
		3	外線発信規制指定 100 番（準特甲、甲）
		4	外線発信規制指定 110 番、119 番（PBX 内準甲）
		5	一般電話機（保留／フッキング）指定
		6	バッテリパワーセーブ指定
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	通話料金表示フォーマット指定
P003	システム設定その3	1	個別着信（DIT）の着信拒否指定
		2	個別着信（DIT）動作指定
		3	未使用
		4	BGM 指定
		5	ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定
		6	着信履歴表示指定（着歴ボタン）
		7	システム着信履歴表示指定（メニュー）
		8	アナログ外線の発信電話番号切替指定
		9	オンフックリモート転送指定
		0	CNG 信号検出中の着信音鳴動指定

システム対応

プログラム番号			内容
P004			保留警報タイマ指定
P005			オートリピートタイマ指定（呼出 / 待ち / 回数）
P006 [A]			フックフラッシュ時間指定
P007			オートリピート発信指定
P008			夜間モード CNG 信号検出指定
P009			コード０選局指定
P010			発信選局指定
P011 [A]			PBX 外線発信コード指定
P012			外線通話表示指定
P013			課金係数指定
P014			１××特番登録指定
P015			１××特番ポーズ指定
P016			特定市外発信番号指定 （準特甲の電話機に対してのみ適用する）
P017			外線発信規制番号指定 （特甲以外の電話機に対して適用する）
P018			留守番在宅自動応答時間指定
P019			外線転送自動応答時間指定
P020			NTT 強制接続コード指定
P021	外線転送システム設定	1	外線転送１通知音（転送先）指定
		2	外線転送２通知音（転送先）指定
		3	外線転送３通知音（転送先）指定
		4	外線転送４通知音（転送先）指定
		5	外線転送発信時の ACR 許可指定
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P023			外線転送転送先不応答切断タイマ指定
P024			外線転送終話時コールバック時間指定
P025			外線転送最大通話時間指定
P026			外線自動転送中の着信音鳴動指定
P027	RECシステム設定	1	用件自動消去指定
		2	通話メモ再生指定
		3	迷惑電話登録指定
		4	追っかけ転送発信時の ACR 許可指定
		5	REC お待たせ動作指定
		6	公衆電話迷惑拒否指定
		7	表示圏外迷惑拒否指定
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用

システム対応

プログラム番号			内容
P028			REC 使途指定
P029			留守番機能指定
P030			REC お待たせ時間指定
P031	DR・PGシステム設定	1	外部スピーカ 1 への BGM 送出指定
		2	外部スピーカ 2 への BGM 送出指定
		3	未使用
		4	外部スピーカ呼出時の電話機鳴動指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P032			ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定
P033			ドアホン通話ゲイン指定（送話／受話）
P034			ドアホン着信音周期指定
P035			リレー制御指定
P036			外部スピーカゲイン指定 （外線着信、音声、BGM、威嚇）
P037 [D]	ISDNシステム設定	1	無効サブアドレス指定
		2	発サブアドレス通知指定
		3	経過表示指定
		4	理由表示指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P038 [D]			ISDN 契約者回線番号指定
P039			ダイヤルイン番号指定
P040			ダイヤルイン着信音周期指定
P041			ダイヤルイン着信音種別指定
P042 [D]			グローバル着信ダイレクト自動転送指定
P043			ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定
P044 [D]			グローバル着信ダイレクトリモコン指定
P045			ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定
P046 [D]			グローバル着信擬似コールウェイティング指定
P047			ダイヤルイン着信擬似コールウェイティング指定
P048 [D]			グローバル個別着信（DIT）指定（昼）
P049 [D]			グローバル個別着信（DIT）指定（夜間Ａ）
P050 [D]			グローバル個別着信（DIT）指定（夜間Ｂ）
P051 [D]			グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定
P052			ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）

システム対応

プログラム番号			内容
P053			ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間Ａ）
P054			ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間Ｂ）
P055			ダイヤルイン個別着信（DIT）の遅延応答時間指定
P056			識別グループ着信時の動作指定
P057			内線個別信号呼出音種別指定
P058			グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定
P059			VoIP 外線自動選局禁止番号指定
P060			VoIP 外線アクセス表示指定
P061			内線番号桁数指定
P062			PB 信号送出パターン指定（送出／ポーズ）
P063			話中／不応答転送タイマ指定
P064			IP 電話自動交換グループ指定
P065			外部スピーカ ドアホン着信音鳴動テナント指定
P066 [D]			グローバル着信 CNG 信号検出指定
P067			ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定
P068			CNG 信号検出時間指定
P069			オンフックリモート転送有効時間指定
P070 [D]			CNG 信号検出終了後の開放時間指定
P071			CNG 信号検出禁止番号指定
P072	セーフティシステム設定	1	威嚇警報音の音量指定
		2	通報先終話時の威嚇継続指定
		3	リレー出力タイミング指定
		4	外部スピーカ威嚇音鳴動指定
		5	通報発信時の ACR 許可指定
		6	威嚇時発光指定
		7	威嚇警報音鳴動指定
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P073			モードセット遅延時間指定
P074			威嚇遅延時間指定
P075			威嚇警報音鳴動時間指定
P076			ドア・ページングユニットポート使途指定
P077			ドア・ページングユニットポート対応セーフティグループ指定
P078			通報発信外線強制切断指定
P079			センサ入力信号 ON 確定時間指定
P080			センサ入力信号 OFF 確定時間指定
P081			センサ ON 連続検出回数指定
P082			センサ OFF 確定時間指定
P083			一般電話機着信音周期指定
P084			オンフック内線自動発信遅延時間指定
P085			外線自動転送発信時の動作指定
P086			外線転送通話ゲイン指定
P087			内線保留音源指定
P088			自動 FW 更新定期チェック間隔指定
P089			自動 FW 更新時間指定

システム対応

プログラム番号			内容
P090	リモートコールバックシステム設定	1	リモートコールバック発信回線指定
		2	リモートコールバック PB 未検出時動作指定
		3	リモートコールバック発信時の ACR 許可指定
		4	リモートコールバック着信動作指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P091 [D]			リモートコールバックグローバル着信検出指定
P092			リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定
P093			リモートコールバック検出タイマ指定
P094			リモートコールバック呼出時間指定
P096			リモートコールバックテナント指定
P097			REC 録音時間指定
P098			メール通知指定
P099			パーク保留音源指定

収容外線対応

プログラム番号	内容
P101	外線収容および外線種別指定
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定
P103	NCC 回線指定
P105 [A]	アナログ外線 NTT 付加サービス指定
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定
P107	外線通話ゲイン指定
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定
P109 [A]	アナログ外線着信 CNG 信号検出指定
P110 [A]	アナログ外線キャッチホン契約サービス指定
P111 [A]	リモートコールバックアナログ着信検出指定

電話機対応

プログラム番号	内容
P201	内線番号指定
P202	内線代表番号指定
P203	電話機グループ呼出指定
P204	サービスクラス指定
P205	話中着信指定
P206	外線通話割込指定
P207	通話警告音鳴動指定
P208	ハンズフリー通話制御指定
P209	ヘッドセット接続指定
P210	留守番電話機指定（REC）
P211	オフフック発信指定
P212	発信優先モード指定
P213	一般電話機の種別指定
P214	ドアホン着信自動応答指定
P215	ドアホン着信音鳴動指定（昼）
P216	ドアホン着信音鳴動指定（夜間A）
P217	ドアホン着信音鳴動指定（夜間B）
P218 [D]	発信者番号選択指定
P219	発信者番号表示指定
P220	着信順次分配グループ内線番号指定
P221	着信順次分配グループ代表番号指定
P222	通話メモ使用 REC 指定
P223	ドアホン着信指定
P224	着信履歴指定
P225	オフフック内線自動発信指定
P226	セーフティグループ指定
P228	音声威嚇電話機指定
P229	センサ動作指定
P230	ワンショット留守番機能使用 REC 指定
P231	内線呼出優先順位指定
P232	PS 一斉呼出指定
P233	チャイム音鳴動指定
P234	いらっしゃいまセンサ指定
P235	いらっしゃいまセンサ間隔時間指定
P236	いらっしゃいまセンサゲイン指定
P237	不応答着信お知らせ表示指定
P238	FAX 着信お知らせ表示指定
P239	いらっしゃいまセンサグループ指定
P240	いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定
P241	掲示板更新お知らせ表示指定
P242	一般電話機ディスプレイ指定
P243	地震速報動作指定

メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容
P301	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定（昼）
P303	着信音鳴動指定（夜間A）
P304	着信音鳴動指定（夜間B）
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P309	発信規制指定（昼）
P310	発信規制指定（夜間A）
P311	発信規制指定（夜間B）
P312	コールバック着信音鳴動指定
P313	自動選局指定（発信）
P314	自動選局指定（応答）
P315	外部スピーカ１　ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P316	外部スピーカ１　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P317	外部スピーカ１　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P318	外部スピーカ２　ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P319	外部スピーカ２　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P320	外部スピーカ２　ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P321	ドアホン着信メロディ指定
P322	外部スピーカ１ ドアホン着信音指定（昼）
P323	外部スピーカ１ ドアホン着信音指定（夜間 A）
P324	外部スピーカ１ ドアホン着信音指定（夜間 B）
P325	外部スピーカ２ ドアホン着信音指定（昼）
P326	外部スピーカ２ ドアホン着信音指定（夜間 A）
P327	外部スピーカ２ ドアホン着信音指定（夜間 B）
P328	外部スピーカ チャイム音鳴動指定
P329	ドアホン側呼出ゲイン指定

テナント対応

プログラム番号	内容
P401	電話機の所属テナント指定
P402	テナント外線ボタン割付指定
P403	テナント１外線発信時の収容外線指定
P404	テナント２外線発信時の収容外線指定
P405	テナント３外線発信時の収容外線指定
P406	テナント４外線発信時の収容外線指定
P407 [A]	テナント１アナログ着信　着信外線指定
P408 [A]	テナント２アナログ着信　着信外線指定
P409 [A]	テナント３アナログ着信　着信外線指定
P410 [A]	テナント４アナログ着信　着信外線指定
P411 [D]	テナント１グローバル着信　着信外線指定
P412 [D]	テナント２グローバル着信　着信外線指定
P413 [D]	テナント３グローバル着信　着信外線指定
P414 [D]	テナント４グローバル着信　着信外線指定
P415	テナント１ダイヤルイン着信　着信外線指定
P416	テナント２ダイヤルイン着信　着信外線指定
P417	テナント３ダイヤルイン着信　着信外線指定
P418	テナント４ダイヤルイン着信　着信外線指定
P419	外線捕捉時／発信者番号指定
P420 [D]	発信者番号通知指定
P421	外線着信音周期指定
P422	着信音種別指定
P423	非通知着信音周期指定
P424	非通知着信音種別指定
P425	外線転送テナント (自動／手動) 指定
P426	外線自動転送（発信側）指定
P427	外線自動転送（着信側）指定
P428	留守番自動応答指定
P429	テナント１発信許可／規制ダイヤル指定
P430	テナント２発信許可／規制ダイヤル指定
P431	テナント３発信許可／規制ダイヤル指定
P432	テナント４発信許可／規制ダイヤル指定
P433	テナント１発信許可／規制指定
P434	テナント２発信許可／規制指定
P435	テナント３発信許可／規制指定
P436	テナント４発信許可／規制指定
P437 [A]	個別着信（DIT）指定（昼）
P438 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間A）
P439 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間B）
P440 [A]	個別着信（DIT）の遅延応答時間指定
P441	外部スピーカ１　着信音鳴動指定（昼）
P442	外部スピーカ１　着信音鳴動指定（夜間A）
P443	外部スピーカ１　着信音鳴動指定（夜間B）
P444	外部スピーカ２　着信音鳴動指定（昼）
P445	外部スピーカ２　着信音鳴動指定（夜間A）
P446	外部スピーカ２　着信音鳴動指定（夜間B）
P447	外部スピーカ１　コールバック着信音鳴動指
P448	外部スピーカ２　コールバック着信音鳴動指
P449	通報発信外線テナント指定
P450	通報発信外線指定

テナント対応

プログラム番号	内容
P451	外線保留音源指定
P452	FAX 転送先指定

システム対応 2

プログラム番号			内容
P501			キャリアアクセスコード指定
P502			キャリア選択識別番号指定
P503			キャリアアクセス表示指定
P504			PS 無線書き込み CS 指定
P505			システム呼出符号
P506			PS-ID
P507			CS ポート状態表示
P508			PS 端末種別指定
P509			ひかり外線自動選局禁止番号指定
P510			ひかり外線アクセス表示指定
P511			リモートコールバック PB 待ち時間指定
P512			リモートコールバック未応答時間指定
P513	システム設定 その4	1	省エネルギー指定
		2	外線一斉着信ランプ制御指定
		3	ハンズフリー外線発信マイク制御指定
		4	外線ボタン種別表示指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P514			PHS 外線自動選局番号指定
P515			PHS 外線アクセス表示指定
P516			警備装置エリアセーフティグループ指定
P517			警備装置ポート指定
P518			システム間接続公開テナント指定
P519	地震速報システム設定	1	地震速報夜間 A 動作指定
		2	地震速報夜間 B 動作指定
		3	外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）
		4	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 A）
		5	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 B）
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
P520			外部スピーカ　地震速報警報鳴動テナント指定
P521			外部スピーカゲイン２指定（地震）

名称ごとの設定範囲一覧

名称	設定項目数
テナント	1 ～ 4
外線番号（外線ボタン）	01 ～ 30
収容外線	01 ～ 12
収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）	01 ～ 44
ISDN 回線	1 ～ 6
ダイヤルイン番号	01 ～ 32
内線グループ	A ～ I
識別グループ	0 ～ 9（10 個）
REC	1 ～ 4
REC（RECBusy を含む）	1 ～ 5
ドアホン	1 ～ 3
外部スピーカ	1 ～ 2
電話機	01 ～ 32
電話機（初実装 SLI を含む）	01 ～ 34
電話機（初実装 SLI、PS 電話機を含む）	01 ～ 50
電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）	01 ～ 82
電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）	01 ～ 84
セーフティグループ	A ～ B
警報鳴動グループ（セーフティグループ A、B に対応）	A ～ B
リレー	1 ～ 3
初実装 SLI	1 ～ 2
夜間モード	A ～ B
外線自動転送	1 ～ 4
いらっしゃいまセンサ	A ～ B

※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可

※ プログラム設定データー覧において設定番号の後ろに記述されている [A] および [D] はそれぞれアナログ専用の設定、デジタル専用の設定を意味する。

システム対応

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P001	システム設定　その1	1：未使用		
		2：一斉／グループ呼出指定	一斉呼出またはグループ呼出を行うときに「音声」で呼び出すか「信号音」で呼び出すかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機の場合は信号音での呼び出しになる。 ※自営標準、SLI、IP 電話機は鳴動しない。	数字：音声呼 “ー”：信号呼
		3：共通短縮ダイヤル発信規制解除指定	P204 サービスクラス指定で「準特甲」、「甲」に指定された電話機が共通短縮ダイヤル発信を行った場合、サービスクラスに従った規制をする（解除しない）か、否（解除する）かを指定する。	数字：解除しない（規制する） “ー”：解除する（規制しない）
		4：強制転送指定	強制転送機能（外線保留中の通話を内線呼出操作後に直接転送する機能）の可否を指定する。 ※指定に関係なく自営標準、SLI への転送は可。	数字：可 “ー”：不可
		5：自動転送指定	外線保留自動転送機能（外線保留中の通話を内線通話後に自動的に転送する機能）の可否を指定する。 ※指定に関係なく自営標準、SLI への転送は可。	数字：可 “ー”：不可
		6：オンフック転送指定	強制転送機能、外線保留自動転送または内線自動転送機能を行う場合、オンフックによる転送の可否を指定する。 ※不可に指定した場合、フラッシュボタンを押すことで転送可	数字：可（受話器を置き転送する） “ー”：不可（フラッシュを押し転送する）
		7：ワンタッチ発信機能指定	オートダイヤルに外線の電話番号が登録されているとき、オンフック状態でオートダイヤルボタンを押した場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。	数字：不可 “ー”：可
		8：通話中の CNG 信号検出継続指定	CNG 信号検出中の着信音鳴動ありの場合、CNG 信号検出中に電話機が着信応答したときに CNG 信号の検出を継続するか否かを指定する。	数字：継続する “ー”：継続しない
		9：外線自動選局順位指定	外線自動選局を行う場合、空き外線の若番から選局するか、空き外線の老い番から選局するかを指定する。	数字：老番から “ー”：若番から
		0：自動ＰＢ信号切り替え指定	DP 外線で発信した場合、相手応答（転極検出）により、その後のダイヤルを自動的に PB 信号送出モードに切り替えるか否かを指定する。 ※主装置と電話回線の間に FAX、電話／ FAX 自動切換装置などの機器を接続するときは、「無」に変更すること。（外線発信や通話中の FAX 転送ができないことがあるため） ※「有」指定時に、ダイヤル回線で通話中に DP ダイヤルの送出が必要なときは、リダイヤルまたは「発歴」ボタンを押すと、その通話に限り DP ダイヤルが送出される。	数字：有 “ー”：無

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P002	システム設定その2	1：ポーズ時間指定	短縮ダイヤル、オートダイヤル登録時のダイヤル桁間のポーズおよびPBX発信コード等のポーズコードや任意ポーズ挿入によるポーズの時間を指定する。	数字：3.0秒 “ー”：1.0秒
		2：迷惑電話一覧表示指定	迷惑電話一覧表示時、電話番号順に表示を行うか登録順に表示を行うかを指定する。	数字：電話番号順 “ー”：登録順
		3：外線発信規制指定100（準特甲、甲）	P204サービスクラス指定で「準特甲」と「甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号、100番へ発信することを規制するか否かを指定する。	数字：規制あり “ー”：規制なし
		4：外線発信規制指定110番、119番（PBX内準甲）	P204サービスクラス指定で「PBX内準甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号110番、119番へ発信することを規制するか否かを指定する。	数字：規制なし “ー”：規制あり
		5：一般電話機（保留／フッキング）指定	一般電話機が外線通話中にフッキングした場合、外線を保留するか、外線にフックフラッシュ信号を送出するかを指定する。	数字：保留 “ー”：フッキング
		6：バッテリーパワーセーブ指定	バッテリ動作時に、動作させる電話機を制限するか否かを指定する。	数字：全電話機動作する “ー”：実装番号01、02のみ動作する
		7：未使用		
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：通話料金表示フォーマット指定	通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定する。	数字：小数点以下は表示しない “ー”：小数点第1位まで表示する
P003	システム設定その3	1：個別着信（DIT）の着信拒否指定	電話機に個別着信（DIT）が入るように指定していて、電話機が待機状態でないときに個別着信もしくはグループ着信が入った場合、着信を拒否するか一斉着信にするかを指定する。 ※アナログ回線には適用しない。	数字：着信拒否する “ー”：一斉着信にする
		2：個別着信（DIT）動作指定	個別着信（DIT）の動作を一斉着信から個別着信とするか、個別着信から一斉着信とするかを指定する。	数字：一斉着信→個別着信 “ー”：個別着信→一斉着信
		3：未使用		
		4：BGM指定	BGM音源を接続しているか否かを指定する。	数字：未接続 “ー”：接続
		5：ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定	非通知理由情報を含む着信を着信履歴に記録するか否かを指定する。	数字：記録する “ー”：記録しない
		6：着信履歴表示指定（着歴ボタン）	「着歴」ボタンを押したとき、システム全体の着信履歴を表示するか、自子機の着信履歴を表示するかを指定する。	数字：すべて表示する “ー”：自子機の履歴のみ表示
		7：システム着信履歴表示指定	メニュー操作から「システム着信履歴」を選択したときに、システム全体の着信履歴を表示するか、着信応答した履歴を除いて着信履歴を表示するかを指定する。	数字：すべて表示する “ー”：着信応答した履歴を除く
		8：アナログ外線の発信電話番号切替指定	アナログ外線捕捉時の発信電話番号切り替え機能を利用するか否かを指定する。	数字：利用する “ー”：利用しない
		9：オンフックリモート転送指定	外線の着信に応答した後、指定された時間以内に受話器を置くだけでＦＡＸに対する着信音転送を行うか否かを指定する。	数字：転送不可 “ー”：転送可
		0：CNG信号検出中の着信音鳴動指定	CNG信号の検出中に電話機の着信音を鳴動させるか否かを指定する。	数字：鳴動しない “ー”：鳴動する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P004	保留警報タイマ指定	外線を保留している場合に、保留状態を知らせるための警告音が送出されるまでの時間を指定する。 ※「無制限」を指定した場合は、保留警報音は鳴らない。	0：1 分　　3：4 分 1：2 分　　4：無制限 2：3 分
P005	オートリピートタイマ指定 (呼出／待ち／回数)	オートリピート（自動再発信）での呼出時間、待ち時間、回数を指定する。	呼出時間／待ち時間／回数 0：120 秒／ 3 秒／ 15 回 1：120 秒／ 10 秒／ 15 回 2：120 秒／ 30 秒／ 15 回 3：120 秒／ 60 秒／ 100 回
P006 [A]	フックフラッシュ時間指定	電話機のフラッシュボタンを押したとき、または一般電話機でフッキングしたときに捕捉中のアナログ外線に送出するフックフラッシュ信号（外線直流ループを瞬断し、PBX で通話を保留する）の瞬断時間を指定する。	0：(設定不可)　　5：600 m s 1：(設定不可)　　6：800 m s 2：(設定不可)　　7：1．0 s 3：200 m s　　8：1．5 s 4：400 m s　　9：2．0 s
P007	オートリピート発信指定	ワンタッチリダイヤル発信、確かめダイヤル発信、プリセット発信、および、ワンタッチオートダイヤルの各操作ごとに、発信時にオートリピート動作を許可するか規制するかを指定する。 ※プリセットおよびワンタッチの指定は外線にのみ適用される。	数字：オートリピートする “－”：オートリピートしない 初期値： ワンタッチリダイヤル：オートリピートする 確かめダイヤル：オートリピートする プリセットダイヤル：オートリピートしない ワンタッチオートダイヤル：オートリピートしない
P008	夜間モード CNG 信号検出指定	夜間モードごと（夜間A、夜間B、昼）に、着信に対して CNG 信号の検出を行うか否かを指定する。 ※以下の設定において、「検出する」に指定されている着信に対して適用する P066 グローバル着信 CNG 信号検出 P067 ダイヤルイン着信 CNG 信号検出 P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出	数字：検出しない “－”：検出する
P009	コード 0 選局指定	内線捕捉状態でダイヤル「0」を押したときに、自動捕捉する外線の種別を指定する。 ※「未使用」指定時は、自動捕捉しない。	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線
P010	発信選局指定	発信ボタン、メニュー操作からの短縮発信、リダイヤルボタン、オートダイヤルボタンを押したときに、自動捕捉する外線の種別を指定する。 ※「未使用」指定時は、自動捕捉しない。	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線
P011 [A]	PBX 外線発信コード指定	外線として PBX 内線が収容されている場合、局線発信をするために、PBX での外線発信コードをポーズと共に指定する。ポーズが指定されている場合、発信時に PBX 外線発信コードをダイヤルした後に自動的に設けられる。 ※ポーズ時間は、P002-1 ポーズ時間指定で変更可。 ※構内交換機（PBX）の外線発信コードと設定値が異なる場合、「PBX 内線」に指定した外線からの外線発信の際に、サービスクラスなどの機能が正常に働かなくなる。	アクセスコード 3 桁まで登録可。 ポーズ（P）は 3 桁まで登録可。 ポーズ（P）は連続指定不可。 ポーズ（P）はフラッシュボタンで入力。 初期：OP ※ダイヤル 1 ～ 9、0、(P）のみ登録可。

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P012</td><td>外線通話表示指定</td><td>外線通話中の表示を、通話「時間」、「料金」、「時間と料金」のいずれか一つから指定する。
※通話料金は発信通話終了後に表示される。
※通話料金の表示は ISDN 回線のみ可。</td><td>0：時間（通話時間を表示）
1：料金（通話料金を表示）
2:時間、料金（通話時間と通話料金を表示）</td></tr>
<tr><td>P013</td><td>課金係数指定</td><td>単位通話料金に対する課金の割合を指定する。
<table><tr><th>指定</th><th>通話料金表示</th></tr><tr><td>10(1 倍)</td><td>10 円</td></tr><tr><td>15(1.5 倍)</td><td>15 円</td></tr></table>※ 1 度数当たりの通話料金を 10 円とした場合</td><td>01 ～ 99 の範囲で指定。
01 は 0.1 倍、99 は 9.9 倍
初期：10（1 倍）</td></tr>
<tr><td>P014</td><td>1××特番登録指定</td><td>発信時に発信規制判定、及び ACR 判定の対象外となる番号をシステムで 10 個まで（特番 01 ～特番 10) 登録可。特番以降の番号から判定の対象となる。</td><td>発信規制判定及び ACR 判定の対象外となる番号を最大 10 桁で指定。
初期：
特番 01：184
特番 02：186
特番 03：122
特番 04 ～ 10：指定なし</td></tr>
<tr><td>P015</td><td>1××特番ポーズ指定</td><td>1××特番ダイヤル送出後の 2DT(第 2 ダイヤルトーン）までの待ち時間を 0.5 秒単位で指定する。</td><td>00 ～ 99 の範囲で指定。
01 は 0.5 秒
99 は 49.5 秒
初期：00（0 秒）</td></tr>
<tr><td>P016</td><td>特定市外発信番号指定（準特甲の電話機に対してのみ適用する）</td><td>P204 サービスクラス指定で「準特甲」に指定された電話機から発信できる市外局番をシステムで 20 個まで（指定番号 01 ～指定番号 20）登録可。</td><td>市外局番の上 1 桁目の「0」を除いた最大 4 桁で指定。
初期：指定番号 01 ～ 20：指定なし
例）
東京 03　→　3　を指定
横浜 045　→　45 を指定</td></tr>
<tr><td>P017</td><td>外線発信規制番号指定（特甲以外の電話機に対して適用する）</td><td>P204 サービスクラス指定で「特甲」以外に指定された電話機で発信規制する番号をシステムで 20 個まで（規制番号 01 ～規制番号 20）登録可。</td><td>市外局番を含め最大 4 桁で指定。
初期：規制番号 01 ～ 20：指定なし</td></tr>
<tr><td>P018</td><td>留守番在宅自動応答時間指定</td><td>REC 在宅モード時(留守番セットされていないとき）にリモコンが応答するまでの秒数を指定する。
※ P428 留守番自動応答で「自動応答」に指定された外線に適用。</td><td>000 ～ 180 秒の範囲で指定。
000 は自動応答しない。
初期：045（45 秒）</td></tr>
<tr><td>P019</td><td>外線転送自動応答時間指定</td><td>外線自動転送の自動着信リモコンを行う場合に、外線自動転送指定（発信側）した外線に着信が入ったときにリモコンが応答するまでの秒数を指定する。
※ P426 外線自動転送（発信側）指定で指定された外線ボタンに適用される。</td><td>000 ～ 180 秒の範囲で指定。
000 は自動応答しない。
初期：042（42 秒）</td></tr>
<tr><td>P020</td><td>NTT 強制接続コード指定</td><td>ACR 稼動中に強制的に NTT を選択させる為のコードを指定する。</td><td>4 桁で指定
0000 ～ 9999 の範囲で指定。
初期：0000</td></tr>
</table>

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P021	外線転送システム設定	1:外線転送1通知音(転送先)指定	外線転送1の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピピピピピピピ」(高い音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
		2:外線転送2通知音(転送先)指定	外線転送2の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(中位の音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
		3:外線転送3通知音(転送先)指定	外線転送3の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ポー」(低い音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
		4:外線転送4通知音(転送先)指定	外線転送4の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(高い音)を鳴動するか否かを指定する。	数字:鳴動なし “ー”:鳴動あり
		5:外線転送発信時のACR許可指定	外線転送発信時、ACRの利用を許可するか否かを指定する。	数字:ACR禁止 “ー”:ACR許可
		6:未使用		
		7:未使用		
		8:未使用		
		9:未使用		
		0:未使用		
P023	外線転送転送先不応答切断タイマ指定		外線転送の一次応答で、転送先が応答しない場合、外線切断するまでの時間を指定する。	0:20秒 1:40秒 2:60秒 3:80秒 4:100秒 5:120秒
P024	外線転送終話時コールバック時間指定		転送種別ごと(手動/自動)に、外線転送(手動/自動)の終話時に発信元が終話し、転送先が待機状態のとき、発信外線が着信状態になるまでの時間を指定する。	0:コールバックしない 1:1秒 2:2秒 3:3秒 4:4秒 5:5秒 6:6秒 初期値 外線手動転送:2秒 外線自動転送:コールバックしない
P025	外線転送最大通話時間指定		外線手動/自動転送をしたときの最大通話時間を指定する。 ※指定時間を過ぎると、「ピー」音を出し、30秒後に自動的に外線を終話する。	0:30分 1:1時間 2:2時間 3:3時間
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定		ダイレクト自動転送(一次応答なし)の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合、着信音を鳴動させるか否かを指定する。	0:すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1:自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2:鳴動する

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P027	REC システム設定	1：用件自動消去指定	留守応答モードセット時に再生済みの用件を自動的に消去するか否かを指定する。	数字：自動消去あり “ー”：自動消去なし
		2：通話メモ再生指定	通話メモの再生を REC ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。	数字：REC ごとに共通 “ー”：電話機個別
		3：迷惑電話登録指定	迷惑電話番号登録件数が満杯のとき、新たに迷惑電話番号を登録できないようにするか、もしくは、最も古い迷惑電話番号を削除して新規の迷惑電話番号を登録できるようにするかを指定する。	数字：満杯時登録禁止 “ー”：満杯時登録可
		4：追っかけ転送発信時の ACR 許可指定	追っかけ転送発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。	数字：ACR 禁止 “ー”：ACR 許可
		5：REC お待たせ動作指定	REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線に一定時間応答しない場合の動作（外線ボタンを着信状態にする、もしくは時間経過するごとに相手にメッセージを送出する）を指定する。	数字：コールバックする “ー”：ガイダンスを繰り返す
		6：公衆電話迷惑拒否指定	迷惑電話拒否モードセット時、公衆電話の着信を拒否するか否かを指定する。	数字：拒否しない “ー”：拒否する
		7：表示圏外迷惑拒否指定	迷惑電話拒否モードセット時、表示圏外の着信を拒否するか否かを指定する。	数字：拒否しない “ー”：拒否する
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：未使用		
P028	REC 使途指定		REC ごと（RECBusy を含む）に、使用する機能（使途）を指定する。 ※ RECBusy にて拒否を行う場合、電話をしてきた相手に対し、通話中 Busy（話中）拒否を行う。	0：未使用 1：留守／お待たせ／一次応答 2：非通知拒否／迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否 5：通話メモ 初期： REC1：1（留守／お待たせ／一次応答） REC2：0（未使用） REC3：0（未使用） REC4：0（未使用） RECBusy：0（未使用） ※ Busy 拒否（RECBusy）には「2：非通知拒否／迷惑電話拒否」「3:非通知拒否」「4:迷惑電話拒否」のみ指定可。 ※ 非通知拒否を指定できる電話機はシステムで 1 台のみ。 ※ 迷惑電話拒否を指定できる電話機はシステムで 1 台のみ。 ※非通知拒否／迷惑電話拒否が指定されている場合、他の電話機に非通知拒否もしくは迷惑電話拒否を指定することはできない。
P029	留守番機能指定		REC ごとに、留守番機能のうち応答録音と応答専用の使用可否を指定する。	0：応答録音のみ可 1：応答専用のみ可 2：両方可

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P030	REC お待たせ時間指定	REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線に応答しない場合、その外線ボタンを着信状態にするまでの時間、もしくは保留相手にお待たせメッセージを繰り返すまでの時間を指定する。 ※お待たせ時間経過後の動作は P027-5REC お待たせ動作指定による。	0：指定なし 1：1 分 2：2 分 <u>3：3 分</u> 4：4 分
P031	DR.PGシステム設定 1：外部スピーカ 1 への BGM 送出指定	外部スピーカ 1 から BGM を送出するか否かを指定する。	<u>数字：送出しない</u> “–”：送出する
	DR.PGシステム設定 2：外部スピーカ 2 への BGM 送出指定	外部スピーカ 2 から BGM を送出するか否かを指定する。	<u>数字：送出しない</u> “–”：送出する
	DR.PGシステム設定 3：未使用		
	DR.PGシステム設定 4：外部スピーカ呼出時の電話機鳴動指定	外部スピーカ呼出もしくは一斉／グループ呼出で外部スピーカを含む「音声」呼び出しを行ったとき、電話機から呼出音を必ず鳴動させるか外部スピーカ呼出時の予告音種別の指定に従い電話機から呼出音を鳴動させるか否かの動作を判断するかを指定する。	<u>数字：必ず鳴動する</u> “–”:外部スピーカの指定（P032 に従う）
	DR.PGシステム設定 5：未使用		
	DR.PGシステム設定 6：未使用		
	DR.PGシステム設定 7：未使用		
	DR.PGシステム設定 8：未使用		
	DR.PGシステム設定 9：未使用		
	DR.PGシステム設定 0：未使用		
P032	ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定	ドアホンごとに、ドアホン着信時に鳴動させる着信音を指定する。 外部スピーカごとに、外部スピーカ呼出を行ったとき、外部スピーカから送出する予告音の種別を指定する。 外部スピーカを一斉に呼出したときに外部スピーカから送出する予告音の種別を指定する。 ※ WS(アナログ)、DC 子機、PS 電話機、IP 電話機には適用されない。 ※ SLI の場合は P083 一般電話機着信音周期指定による。	0：送出しない 1：ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン 2：ピンポーン・パンポーン 3：ピロリロリロリロ・・ピロリロリロリロ・・ 4：ピンポンパンポーン 5：ポン 初期： ドアホン 1（1） ドアホン 2（2） ドアホン 3（3） 外部スピーカ 1（4） 外部スピーカ 2（4） 外部スピーカー斉（4） ※ドアホンに「0：送出しない」は指定できない。
P033	ドアホン通話ゲイン指定 （送話／受話）	送話の音量（ゲイン）と、受話の音量ごとに、ドアホン通話における音量をドアホンごとに、指定する。	0：－ 12 dB　　5：＋ 3 dB 1：－ 9 dB　　6：＋ 6 dB 2：－ 6 dB　　7：＋ 9 dB 3：－ 3 dB　　8：＋ 12 dB 4：0 dB 初期： 送話：4（0dB） 受話：7（+9dB）

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P034	ドアホン着信音周期指定		ドアホンごとに、ドアホン着信時に鳴動する着信音の周期を１回（約４秒）とするか、繰り返し鳴動させるかを指定する。 ※「繰り返し」を指定した場合、ドアホン着信が停止するまで繰り返し鳴動する。 ※指定に関わらず、WS（アナログ）への着信音周期は１回のみ。	数字：繰り返し “ー”：１回（約４秒）
P035	リレー制御指定		リレーごとに、どの外部機器（電気錠、外部スピーカ、外部保留音源「BGM」、Web カメラ、いらっしゃいませンサ連動機器）を接続しているかを指定する。 ※ P072-3 リレー出力タイミング指定で出力タイミングを指定可。 ※同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいませンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能。	00：未使用 01：電気錠１（ドアホン１） 02：電気錠２（ドアホン２） 03：電気錠３（ドアホン３） 04：外部スピーカ１ 05：外部スピーカ２ 06：外部保留音源＆ BGM 07：Web カメラ（セーフティ A に連動） 08：Web カメラ（セーフティ B に連動） 09:Web カメラ（セーフティ A・B の両方に連動） 10：いらっしゃいませンサ A に連動 11：いらっしゃいませンサ B に連動 12：いらっしゃいませンサ A・B の両方に連動
P036	外部スピーカゲイン指定 （外線着信、音声、BGM、威嚇）		外線着信、音声、BGM、威嚇の各音ごとに、外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。	０：－ 12 ｄＢ １：－９ｄＢ ２：－６ｄＢ ３：－３ｄＢ ４：０ｄＢ（外線着信／音声／ BGM ／威嚇） ５：＋３ｄＢ ６：＋６ｄＢ ７：＋９ｄＢ ８：＋ 12 ｄＢ
P037	ISDNシステム設定	１：無効サブアドレス指定	着サブアドレスが無効番号のとき、「着信拒否する」か「一斉着信にする」かを指定する。	数字：着信拒否する “ー”：一斉着信にする
		２：発サブアドレス通知指定	ISDN 回線で発信する場合、呼設定メッセージに発サブアドレス情報要素を含めるか否かを指定する。	数字：通知しない “ー”：通知する
		３：経過表示指定	ISDN 回線からアナログ網へ発信またはアナログ網を経由した発信を行った場合、LCD 表示を行うか否かを指定する。	数字：表示しない “ー”：表示する
		４：理由表示指定	網から理由表示情報要素を含むメッセージを受信した場合（発信先ビジーや回線異常等により電話がかけられない場合）にその内容を LCD に表示するか否かを指定する。	数字：表示しない “ー”：表示する
		５：未使用		
		６：未使用		
		７：未使用		
		８：未使用		
		９：未使用		
		０：未使用		
P038	ISDN 契約者回線番号指定		ISDN 回線ごとに、契約者回線番号を登録する。	最大 13 桁で指定。 初期：指定なし
P039	ダイヤルイン番号指定		ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルインの追加番号を登録する。	最大 13 桁で指定。 初期：指定なし

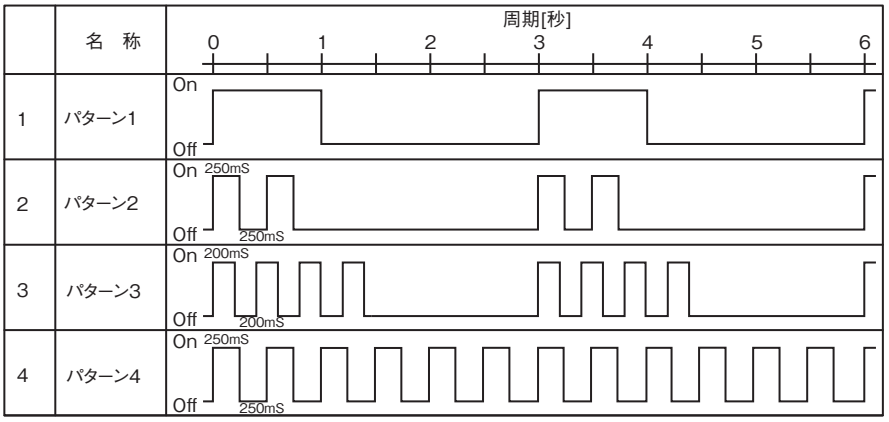
No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	ダイヤルイン番号ごとに、着信音の鳴動周期を指定する。 ※ P041 ダイヤルイン着信音種別指定は「01:着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限り適用する。 ※ DC 子機の着信音は電話機側で指定する。 ※ DC 子機には、着信メロディは出力されない。 ※ WS（アナログ）には着信メロディは出力されず、パターン C で鳴動する。 ※ ダイヤルイン以外のアナログ回線への着信またはグローバル着信は、P 421 外線着信音周期指定を参照。	01：着信音 A　07：着信音 G 02：着信音 B　08：着信音 H 03：着信音 C　09：保留メロディ 1 04：着信音 D　10：保留メロディ 2 05：着信音 E　11：着信メロディ 1 06：着信音 F　12：着信メロディ 2
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	ダイヤルイン番号ごとに、鳴動する着信音の種類を指定する。 ※ P040 ダイヤルイン着信音周期指定で「01：着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限る。 ※ダイヤルイン以外のアナログ回線への着信またはグローバル着信は、P422 着信音周期指定を参照。	0：低 1：中 2：高
P042 [D]	グローバル着信ダイレクト自動転送指定	ISDN 回線ごとに、グローバル着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する 。	数字：転送可 “－”：転送不可
P043	ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する 。	数字：転送可 “－”：転送不可
P044 [D]	グローバル着信ダイレクトリモコン指定	ISDN 回線ごとに、グローバル着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P046 [D]	グローバル着信擬似コールウェイティング指定	ISDN 回線ごとに、グローバル着信時に擬似コールウェイティング機能を使用するか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P047	ダイヤルイン着信擬似コールウェイティング指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時に擬似コールウェイティング機能を使用するか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P048 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（昼）	ISDN 回線ごとに、昼間モードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P049 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（夜間 A）	ISDN 回線ごとに、夜間モード A のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P050 [D]	グローバル個別着信（DIT）指定（夜間 B）	ISDN 回線ごとに、夜間モード B のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P051 [D]	グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	ISDN 回線ごとに、グローバル個別着信（DIT）指定のある外線ボタンに着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0：0 秒　4：30 秒 1：5 秒　5：40 秒 2：10 秒　6：50 秒 3：20 秒　7：60 秒

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P052	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）	ダイヤルイン番号ごとに、昼間モードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P053	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間 A）	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード A のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P054	ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（夜間 B）	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モード B のとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大 4 桁（内線番号または内線特番）で指定。 10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。（内線 3 桁モード時）もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P055	ダイヤルイン個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン個別着信（DIT）指定のあるダイヤルインに着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0：0 秒　　4：30 秒 1：5 秒　　5：40 秒 2：10 秒　　6：50 秒 3：20 秒　　7：60 秒
P056	識別グループ着信時の動作指定	識別グループごとに、識別グループ着信時に動作を行うか否かを、留守番応答、外線自動転送の各動作ごとに指定する。 ※留守番リモコンの自動応答には適用しない。	数字：指定する “ー”：指定しない 初期：留守番応答　：指定する 外線自動転送　：指定する
P057	内線個別信号呼出音種別指定	内線個別信号呼出時の着信音の種類を指定する。	0：着信音 1 1：着信音 2 2：着信音 3 3：単音
P058	グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定	内線グループごとに、内線グループ呼出時に、外部スピーカを呼び出すか否かを外部スピーカごとに指定する。	数字：呼び出さない “ー”：呼び出す
P059	VoIP 外線自動選局禁止番号指定	VoIP 外線自動選局発信時、VoIP 外線を自動選局しない番号を、システムで 80 個まで（禁止番号 01 ～禁止番号 80）登録可。ただし、#ABCD 特番は VoIP 外線を自動選局しないため登録する必要は無い。	最大 12 桁で指定。 初期： 禁止番号 01：001　禁止番号 15：0570 禁止番号 02：003　禁止番号 16：060 禁止番号 03：004　禁止番号 17：0800 禁止番号 04：005　禁止番号 18：0990 禁止番号 05：006　禁止番号 19：10 禁止番号 06：007　禁止番号 20：11 禁止番号 07：008　禁止番号 21：12 禁止番号 08：0091　禁止番号 22：13 禁止番号 09：010800　禁止番号 23：14 禁止番号 10：0120　禁止番号 24：15 禁止番号 11：0170　禁止番号 25：16 禁止番号 12：0180　禁止番号 26：17 禁止番号 13：0190　禁止番号 27：18 禁止番号 14：020　禁止番号 28：19 禁止番号 29 ～ 80：指定なし ※ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可。
P060	VoIP 外線アクセス表示指定	VoIP 外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を指定する。	最大 16 文字で指定。（全角文字のみ） 初期値：IP 電話サービス　アクセス

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P061	内線番号桁数指定	内線番号の桁数を2桁もしくは3桁から指定する。 ※桁数変更時、内線番号および、内線番号で指定されている設定（DIT関連、内線代表番号、着信順次分配関連、オフフック内線自動発信）および電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化される。	2：2桁（10～89） 3：3桁（100～899）
P062	PB信号送出パターン指定 （送出／ポーズ）	収容外線の種別をPBに指定した場合、またはDP外線でPB信号切り替え時、PB信号の送出時間と次の信号を送出するまでの時間を指定する。	0：80ms／60ms 1：100ms／80ms 2：400ms／100ms 3：600ms／100ms 4：900ms／200ms
P063	話中／不応答転送タイマ指定	話中／不応答転送を設定している場合、個別着信時（内線着信、外線個別（DIT）着信、サブアドレス着信）、不応答のときに転送先へ転送する時間を指定する。	0：10秒　5：35秒 1：15秒　6：40秒 2：20秒　7：45秒 3：25秒　8：50秒 4：30秒　9：55秒
P064	IP電話自動交換グループ指定	IP電話自動交換機能のシステム電話番号を登録する電話帳グループを指定する。	0：指定なし　5：グループ5 1：グループ1　6：グループ6 2：グループ2　7：グループ7 3：グループ3　8：グループ8 4：グループ4　9：グループ9
P065	外部スピーカドアホン着信音鳴動テナント指定	外部スピーカからドアホン着信音を鳴動させる場合、どのテナントの夜間モード（昼／夜間モードA／夜間モードB）に従うかを指定する。	1：テナント1の夜間モードに従う 2：テナント2の夜間モードに従う 3：テナント3の夜間モードに従う 4：テナント4の夜間モードに従う
P066 [D]	グローバル着信 CNG信号検出指定	ISDN回線ごとに、グローバル着信時にCNG信号の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P067	ダイヤルイン着信 CNG信号検出指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時にCNG信号の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P068	CNG信号検出時間指定	CNG信号の検出を行う着信にシステムが一次応答後、CNG信号の検出を行う時間を指定する。	04～30秒の範囲で指定。 初期：09（9秒）
P069	オンフックリモート転送有効時間指定	P003-9 オンフックリモート転送指定を「転送可」に指定している場合、電話機が応答してからオンフックリモート転送を有効とする時間を指定する。	1～9秒の範囲で指定。 初期：5（5秒）
P070 [A]	CNG信号検出終了後の開放時間指定	アナログ外線のCNG信号検出終了により電話の着信と判断した場合、電話機が応答しないときに一次応答中の外線を強制的に開放する時間を指定する。	10～99秒の範囲で指定。 初期：30（30秒）
P071	CNG信号検出禁止番号指定	CNG信号検出を禁止する番号を、システムで20個まで（禁止番号01～禁止番号20）登録可。	最大8桁で指定。 初期： 禁止番号01：050　禁止番号07：0805 禁止番号02：090　禁止番号08：0806 禁止番号03：0801　禁止番号09：0807 禁止番号04：0802　禁止番号10：0808 禁止番号05：0803　禁止番号11：0809 禁止番号06：0804 禁止番号12～20：指定なし ※ダイヤル1～9、0のみ登録可。

No.	設定項目		内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P072	セーフティシステム設定	1：威嚇警報音の音量指定	威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定する。	数字：大 “ー”：小
		2：通報先終話時の威嚇継続指定	通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰（継続）するか否かを指定する。	数字：威嚇を継続する “ー”：威嚇を終了する
		3：リレー出力タイミング指定	P035 リレー制御指定で「Web カメラ」に指定されたリレー端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定する。	数字：センサ検知時 “ー”：威嚇開始時
		4：外部スピーカ威嚇音鳴動指定	外部スピーカで威嚇音を鳴動するか否かを指定する。 ※外部スピーカ 1、2 両方から鳴動する。 ※セーフティ A、B 共通。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
		5：通報発信時の ACR 許可指定	通報発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。	数字：ACR 禁止 “ー”：ACR 許可
		6：威嚇時発光指定	威嚇動作に、電話機のバックライトおよび各種ランプの発光を利用するか否かを指定する。	数字：利用する “ー”：利用しない
		7：威嚇警報音鳴動指定	威嚇警報音を鳴動させるか否かを指定する。 ※警報鳴動グループには適用しない。	数字：鳴動する “ー”：鳴動しない
		8：未使用		
		9：未使用		
		0：未使用		
P073	モードセット遅延時間指定		セーフティモードセット操作をしてからセーフティモードになるまでの時間を指定する。	001 ～ 600 秒の範囲で指定。 初期：060（60 秒）
P074	威嚇遅延時間指定		セーフティモード中にセンサ検知したときに威嚇を開始するまでの時間を指定する。	001 ～ 600 秒の範囲で指定。 初期：060（60 秒）
P075	威嚇警報音鳴動時間指定		威嚇警報音の鳴動時間を指定する。	01 ～ 60 分の範囲で指定。 初期：20（20 分）
P076	ドア・ページングユニットポート使途指定		外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、検知する信号のタイプを指定する。 ※外部センサポートにドアホンを接続することはできない。 ※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON）もしくは警備入力（警備中 OFF）を指定可能。 ※警備中 ON とは、警備中はメーク状態になることを意味し、警備中 OFF とは警備中はブレーク状態になることを意味します。	0：接続なし（外部センサポート） ドアホン（ドアホンポート 1/2/3） 1：外部センサ（ブレーク） 2：外部センサ（メーク） 3：外部センサ（ワンショット：メーク） 4：警備入力（警備中 ON） 5：警備入力（警備中 OFF）
P077	ドア・ページングユニットポート対応セーフティグループ指定		外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、接続した外部センサ反応時に威嚇＆通知および通報を行うセーフティグループを指定する。 ※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（ＸＸＸ）」もしくは「警備入力（ＸＸＸ）」に指定されているときのみ有効。 ※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「警備入力（ＸＸＸ）」が複数指定されている場合、同一のセーフティグループに指定を変更すると P076 の指定がクリアされる。	1：セーフティグループ A 2：セーフティグループ B
P078	通報発信外線強制切断指定		セーフティグループごとに、通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中のときに、その通話を強制的に切断するか否かを指定する。	数字：強制切断しない “ー”：強制切断する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P079	センサ入力信号 ON 確定時間指定	センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要な ON 時間の長さを指定する。 ※ 指定した時間よりも短い検出信号は無視される。	01： 12.5ms　09：112.5ms 02： 25.0ms　10：125.0ms 03： 37.5ms　11：137.5ms <u>04： 50.0ms</u>　12：150.0ms 05： 62.5ms　13：162.5ms 06： 75.0ms　14：175.0ms 07： 87.5ms　15：187.5ms 08：100.0ms　16：200.0ms
P080	センサ入力信号 OFF 確定時間指定	センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、OFF と認めるまでの時間を設定する。	01： 12.5ms　09：112.5ms <u>02： 25.0ms</u>　10：125.0ms 03： 37.5ms　11：137.5ms 04： 50.0ms　12：150.0ms 05： 62.5ms　13：162.5ms 06： 75.0ms　14：175.0ms 07： 87.5ms　15：187.5ms 08：100.0ms　16：200.0ms
P081	センサ ON 連続検出回数指定	システムがセンサ検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号の ON 確定のカウント数を指定する。	1 ～ 8 回の範囲で指定。 初期：1 回
P082	センサ OFF 確定時間指定	センサからの入力信号が ON から OFF に変化してからセンサ入力がなくなったと認めるまでの時間を設定する。	01：　50.0ms　17：2600.0ms 02：　75.0ms　18：2800.0ms 03： 100.0ms　19：3000.0ms 04： 150.0ms　20：3200.0ms 05： 200.0ms　21：3400.0ms 06： 400.0ms　22：3600.0ms 07： 600.0ms　23：3800.0ms 08： 800.0ms　24：4000.0ms 09：1000.0ms　25：4200.0ms 10：1200.0ms　26：4400.0ms 11：1400.0ms　27：4600.0ms 12：1600.0ms　28：4800.0ms 13：1800.0ms　29：5000.0ms <u>14：2000.0ms</u>　30：5500.0ms 15：2200.0ms　31：6000.0ms 16：2400.0ms　32：6500.0ms

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P083</td><td>一般電話機着信音周期指定</td><td>外線着信、外線個別着信、内線着信、ドアホン着信、着信音転送、保留警報の各動作ごとに、一般電話機で着信鳴動させる鳴動パターンを指定する。</td><td>1：パターン 1
2：パターン 2
3：パターン 3
4：パターン 4
初期：
外線着信音：1（パターン 1）
外線個別着信音：1（パターン 1）
内線着信音：2（パターン 2）
ドアホン着信音：3（パターン 3）
着信音転送音：1（パターン 1）
保留警報音：4（パターン 4）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">●一般電話機鳴動パターン
 
</td></tr>
<tr><td>P084</td><td>オフフック内線自動発信遅延時間指定</td><td>オフフック内線自動発信動作を遅延させる時間を指定する。</td><td>000 ～ 180 秒の範囲で指定。
初期：000（0 秒）</td></tr>
<tr><td>P085</td><td>外線自動転送発信時の動作指定</td><td>外線転送ごと（外線転送 1 ～外線転送 4）に、発信時の動作を指定する。
※設定値「1：発信側外線 1、2 同時」「2: 発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「P427 外線自動転送 (着信側) 指定」にて「外線転送 X：一次応答なし」を選択する必要がある。

【発信側外線 1 優先の動作】
発信側外線 1 からの発信を優先し、発信側外線 1 が着信中の場合、または発信側外線 1 の回線が捕捉できない場合に発信側外線 2 から同じ転送先番号に発信する。
※発信側外線を 2 外線指定したときのみ有効。

【発信側外線 1、2 同時の動作】
発信側外線 1、2 から同時に別々の転送先番号に発信する。
※発信側外線を 2 外線指定したときのみ有効。

【発信側外線 1、2 順次】
転送先番号の相手が応答しない場合、別の転送先番号に発信する。</td><td><u>0：発信側外線 1 優先</u>
1：発信側外線 1、2 同時
2：発信側外線 1、2 順次</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P086	外線転送通話ゲイン指定	外線転送時の外線種別の組み合わせごと（A—A ～ V—V）に、通話における音量（ゲイン）を指定する。 ※着信側外線（A)、発信側外線（V）での外線転送が行われた場合、着信回線（A）から発信回線（V）方向への通話ゲインは A-V の指定を利用し、発信回線（V）から着信回線（A）方向への通話ゲインは V-A の指定を利用します。	0：－ 12 ｄＢ　　5：＋３ｄＢ 1：－９ｄＢ　　6：＋６ｄＢ 2：－６ｄＢ　　7：＋９ｄＢ 3：－３ｄＢ　　8：＋ 12 ｄＢ 4：0 ｄＢ 初期： Ａ－Ａ：4（0 ｄＢ） Ａ－Ｄ：4（0 ｄＢ） Ａ－Ｖ：4（0 ｄＢ） Ｄ－Ａ：4（0 ｄＢ） Ｄ－Ｄ：4（0 ｄＢ） Ｄ－Ｖ：4（0 ｄＢ） Ｖ－Ａ：4（0 ｄＢ） Ｖ－Ｄ：4（0 ｄＢ） Ｖ－Ｖ：4（0 ｄＢ） ※Ａ、Ｄ、Ｖ、はそれぞれアナログ、デジタル、VoIP を意味する。
P087	内線保留音源指定	内線保留時に使用する保留音源を指定する。	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外部保留音
P088	自動 FW 更新定期チェック間隔指定	自動 FW（ファームウェア）更新を定期的にチェックする間隔を指定する。	00 ～ 60 日の間で指定。 00 は定期チェックしない 初期値：03（3 日）
P089	自動 FW 更新時間指定	自動 FW（ファームウェア）更新を行う時間を指定する。	00 ～ 23 時の間で指定。 初期値：02（2 時）
P090	リモートコールバックシステム設定 1：リモートコールバック発信回線指定	リモートコールバック発信を、行う回線の選択方法を指定する。 ※自動選局にした場合、発信規制の動作は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：同一回線 “－”：自動選局
	2：リモートコールバック PB 未検出時動作指定	リモートコールバック中、相手からの PB が検出できなかった場合、回線を切断するか一斉着信にするかを指定する。	数字：切断 “－”：一斉着信
	3：リモートコールバック発信時の ACR 許可指定	リモートコールバック発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。	数字：ACR 禁止 “－”：ACR 許可
	4：リモートコールバック着信動作指定	リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定されたとき、指定した内線が着信応答しない、もしくは通話中の場合に一斉着信に切り替えるか否かを指定する。	数字：切替えない “－”：一斉着信に切替える
	5：未使用		
	6：未使用		
	7：未使用		
	8：未使用		
	9：未使用		
	0：未使用		
P091 [D]	リモートコールバックグローバル着信検出指定	ISDN 回線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P092	リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定	ダイヤルイン番号ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P093	リモートコールバック検出タイマ指定	リモートコールバックの検出時間を指定する。 ※外線ボタンへの着信時間が指定した時間を超えた場合、リモートコールバック機能は動作しない。	004 ～ 180 秒の間で指定。 初期値：007（7 秒）
P094	リモートコールバック呼出時間指定	リモートコールバック時、発信先を呼び出す時間を指定する。 ※リトライは 3 回まで。	0：60 秒（リトライなし） 1：20 秒（リトライあり） 2：40 秒（リトライあり） 3：60 秒（リトライあり）
P096	リモートコールバックテナント指定	リモートコールバックを行うテナントを指定する。	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
P097	REC 録音時間指定	REC ごとに、割り当てる録音時間を指定する。	000 ～ 240 分の間で指定。 初期値： 全 REC：060（60 分） ※ 1 つの REC のみに最大時間を割り当てる場合は、他の REC の割り当て時間を 000 にする必要がある。 ※ 1 の位は自動的に 0 が選択される。 ※録音時間は全 REC を合計して 240 分まで指定可。
P098	メール通知指定	WAN 側グローバル IP アドレスが変更になった場合と、セーフティ機能によるセンサ検知もしくは威嚇動作を行った場合の各動作ごとに、予め登録してある E-Mail アドレスへ通知するか否かを指定する。	ON：通知する OFF：通知しない ※ 1 を押すと“ON”を指定。 ※ 0 を押すと“OFF”を指定。 初期： グローバル IP アドレス変更時：OFF セーフティ動作時：OFF
P099	パーク保留音源指定	パーク番号ごと（パーク 00 ～ 19）に、パーク保留時に使用する保留音源を指定する。	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外部保留音

収容外線対応

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P101	外線収容および外線種別指定	収容外線ごとに、「未収容」、または接続されている回線の種別を指定する。 ※自動選局発信機能などの外線自動捕捉時に、未収容外線も捕捉してしまうため、未収容外線は必ず「未収容」に指定すること。 ※「ひかり電話（外付け)」および「ひかり電話オフィス（外付け)」は、ひかり電話対応の外付けアダプタを使用する場合に指定する。 ※「PHS（外付け)」は、PHS の外付けアダプタを使用する場合に指定する。	0：未収容 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話オフィス（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け）
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定	収容外線ごとに、ダイヤル種別として、「DP（10PPS)」、「DP（20PPS)」、「PB」のいずれかを指定する。	0：DP（10PPS） 1：DP（20PPS） 2：PB
P103	NCC 回線指定	収容外線ごと（内蔵 VoIP 回線を含む）に、NTT 回線／ NCC 回線の種別を指定する。	数字：NCC 回線 “－”：NTT 回線 初期： 収容外線 01 ～ 12（NCC 回線） 収容外線 13 ～ 44（NTT 回線）
P105 [A]	アナログ外線 NTT 付加サービス指定	収容外線ごとに、ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。	数字：利用しない “－”：利用する
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定	収容外線ごとに、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行なうか否かを指定する。	数字：指定しない “－”：指定する
P107	外線通話ゲイン指定	送話の音量（ゲイン）と、受話の音量ごとに、外線通話における音量を収容外線ごと（内蔵 VoIP 回線を含む）に、指定する。	0：－ 12 ｄＢ 1：－ 9 ｄＢ 2：－ 6 ｄＢ 3：－ 3 ｄＢ 4：0 ｄＢ 5：＋ 3 ｄＢ 6：＋ 6 ｄＢ 7：＋ 9 ｄＢ 8：＋ 12 ｄＢ 初期： 送話：4（0 ｄＢ） 受話：4（0 ｄＢ）
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定	収容外線ごとに、発信電話番号の通知状態（通常通知／通常非通知）を指定する。	数字：通常通知 “－”：通常非通知
P109 [A]	アナログ外線着信 CNG 信号検出指定	収容外線ごとに、着信時に CNG 信号の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する
P110 [A]	アナログ外線キャッチホン契約サービス指定	収容外線ごとに、アナログ外線キャッチホンを契約しているか否かを指定する。	数字：契約なし “－”：契約あり
P111 [A]	リモートコールバックアナログ着信検出指定	収容外線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する

電話機対応

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P201</td><td>内線番号指定</td><td>電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、各電話機を内線呼出するための内線番号を指定する。</td><td>10 ～ 89 の範囲で指定。
100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時)
初期：
実装番号 01 ～ 80 が内線番号 10 ～ 89 に対応
(内線 3 桁モードの場合実装番号 01 ～ 82 が内線番号 100 ～ 181 に対応)
※内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。
※重複した内線番号を指定すると内線番号の入れ替えが行われる。</td></tr>
<tr><td>P202</td><td>内線代表番号指定</td><td>電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、内線呼出されたときに話中の場合、次に呼び出す電話機を内線番号で指定する。</td><td>10 ～ 89 の範囲で指定。
100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時)
初期：指定なし</td></tr>
<tr><td>P203</td><td>電話機グループ呼出指定</td><td>電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、電話機グループ呼出を行うときのグループを指定する。
※自営標準、SLI、IP 電話機は鳴動しない。</td><td>0：無所属　5：グループ E
1：グループ A　6：グループ F
2：グループ B　7：グループ G
3：グループ C　8：グループ H
4：グループ D　9：グループ I
初期：
電話機標準ポート（グループ A)
初実装 SLI(グループ A)PS 電話機(無所属)
IP 電話機（グループ A)
※同一グループに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">P204</td><td rowspan="2">サービスクラス指定</td><td>電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、クラスを指定する。</td><td><u>0：特甲</u>
1：準特甲
2：甲
3：準甲
4：ＰＢＸ内準甲</td></tr>
<tr><td colspan="2">●サービスクラスと外線発信規制
<table><tr><th>サービスクラス</th><th>外線発信規制の内容</th></tr><tr><td>特甲</td><td>全ての対地へ発信可</td></tr><tr><td>準特甲</td><td>市内、特定市外★1 のみ発信可</td></tr><tr><td>甲</td><td>市内のみ発信可</td></tr><tr><td>準甲</td><td>全ての収容外線が発信不可（内線のみ可）</td></tr><tr><td>PBX 内準甲</td><td>全ての収容外線が発信不可（PBX 内線および内線のみ可）</td></tr></table>※★1：P016 特定市外発信番号指定で指定された市外局番のみ市外発信可。</td></tr>
<tr><td>P205</td><td>話中着信指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、電話機使用中（話中）に、外線が着信した場合、着信音を鳴らすか鳴らさないかを指定する。
※着信の鳴動指定が「鳴動あり」に指定されている場合に適用。
※ P215 ～ P217 で「鳴動あり」に指定された電話機で内線･外線通話中にドアホンからの呼び出しがあった場合も適用。
※自営標準、SLI への指定は無効。
※DC 電話機は鳴動しない。</td><td><u>数字：鳴動あり</u>
“ー”：鳴動なし</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P206	外線通話割込指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、外線と通話中の電話機に割り込むことの可否を指定する。 ※割り込みできるのは､外線 1 本に対して電話機 1 台のみ。 ※自営標準、SLI への指定は無効。	数字：割り込み不可 “ー”：割り込み可
P207	通話警告音鳴動指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、外線発信通話中に通話警告音（3 分ごと）を鳴動するか否かを指定する。 ※自営標準、SLI への指定は無効。 ※DC 電話機は鳴動しない。	数字：鳴動なし “ー”：鳴動あり
P208	ハンズフリー通話制御指定	電話機ごとに、内蔵ハンズフリーを動作させるか否かを設定する。 ※ハンズフリー通話制御を指定すると、通話中もハンズフリー通話可。 ※コードレスはハンズフリー通話不可。	数字：指定なし “ー”：指定あり
P209	ヘッドセット接続指定	電話機ごとに、ヘッドセットを電話機に接続しているか否かを指定する。	数字：接続なし “ー”：接続あり
P210	留守番電話機指定（REC）	REC ごと（RECBusy を含む）に、留守番電話として動作させる電話機を指定する。 ※ RECBusy には、通話中 Busy（話中）拒否のセット操作を行うための電話機を指定。	01 ～ 32 の範囲で指定。 00 は指定なし。 初期： REC1：01（実装番号 1） REC2：00（指定なし） REC3：00（指定なし） REC4：00（指定なし） RECBusy：00（指定なし） ※他の REC に指定済みの実装番号を指定することはできない。
P211	オフフック発信指定	電話機ごとに、プリセットダイヤルのダイヤル入力後、およびダイヤル確認表示中にオフフックした場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。	数字：指定なし “ー”：指定あり
P212	発信優先モード指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、電話機でオフフックしたときに「内線」を優先するか「外線」を優先するかを指定する。 ※PS 電話機への指定は自営標準を運用している場合に限り有効。 ※指定に関係なく多回線 PS（PS601 など）の場合は「外線優先モード」で動作する。 ※多回線 PS（PS601 など）への指定は無効。 ※IP 電話機は常に内線優先モード。	数字：内線優先モード “ー”：外線優先モード 初期： 電話機標準ポート（内線優先モード） 初実装 SLI（外線優先モード） PS 電話機（外線優先モード）
P213	一般電話機の種別指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、使用する一般電話機の種別が DP か PB かを指定する。 ※ 初実装の電話機標準ポートへの指定は無効。	数字：PB “ー”：DP
P214	ドアホン着信自動応答指定	ドアホンごとに、ドアホンから着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる電話機（初実装 SLI、PS 電話機を含む）を指定する。 ※指定に関係なく自営標準、SLI の場合は「有」で動作する。 ※多回線 PS（PS601 など）の場合は、通話ボタンを押すだけで応答できるか否かを指定する。 ※自営標準、SLI への指定は無効。	数字：有 “ー”：無

<table>
<tr><th>No.</th><th>設定項目</th><th>内　　容</th><th>データの意味
(下線は初期値を表す)</th></tr>
<tr><td>P215</td><td>ドアホン着信音鳴動指定（昼）</td><td>ドアホンごとに、昼間モードのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）を指定する。
※多回線PS（PS601 など）の場合、指定を「鳴動なし」にすると、着信時にオートボタン（内線特番ドアホンモニタが設定されているオートボタン）のみ点滅する。</td><td>数字：鳴動あり
“ー”：鳴動なし
初期：
電話機標準ポート（鳴動あり）
初実装 SLI（鳴動なし）
PS 電話機（鳴動なし）
IP 電話機（鳴動なし）
※同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
※フラッシュボタンによる指定の一括反転操作は無効。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">●ドアホン着信音パターン
<table>
<tr><th></th><th>ドアホン 1</th><th>ドアホン 2</th><th>ドアホン 3</th></tr>
<tr><td>電話機</td><td colspan="3">P032 ドアホン着信音および外部スピーカー呼出時の予告音種別指定</td></tr>
<tr><td>WS（アナログ）</td><td>ピーポー</td><td colspan="2">ピーポー 2 回</td></tr>
<tr><td>DC 子機</td><td>ピーンピーン</td><td colspan="2">ピーンピーン・ピーンピーン</td></tr>
<tr><td>多回線 PS</td><td colspan="3">ピーポーピーポー</td></tr>
<tr><td>SLI</td><td colspan="3">P083 一般電話機着信音周期指定</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>P216</td><td>ドアホン着信音鳴動指定（夜間 A）</td><td>ドアホンごとに、夜間モード A のときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）を指定する。
※多回線PS（PS601 など）の場合、指定を「鳴動なし」にすると、着信時にオートボタン（内線特番ドアホンモニタが設定されているオートボタン）のみ点滅する。</td><td>数字：鳴動あり
“ー”：鳴動なし
初期：
実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
初実装 SLI（鳴動なし）
PS 電話機（鳴動なし）
IP 電話機（鳴動なし）
※同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
※フラッシュボタンによる指定の一括反転操作は無効。</td></tr>
<tr><td>P217</td><td>ドアホン着信音鳴動指定（夜間 B）</td><td>ドアホンごとに、夜間モード B のときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）を指定する。
※多回線PS（PS601 など）の場合、指定を「鳴動なし」にすると、着信時にオートボタン（内線特番ドアホンモニタが設定されているオートボタン）のみ点滅する。</td><td>数字：鳴動あり
“ー”：鳴動なし
初期：
実装番号 01、02 のみ（鳴動あり）
初実装 SLI（鳴動なし）
PS 電話機（鳴動なし）
IP 電話機（鳴動なし）
※同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
※フラッシュボタンによる指定の一括反転操作は無効。</td></tr>
<tr><td>P218
[D]</td><td>発信者番号選択指定</td><td>電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、ISDN 回線または VoIP で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を、捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。
※発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。</td><td><u>00：捕捉した外線の電話番号</u>
01 ～ 06：ISDN 回線 1 ～ 6
07 ～ 38：ダイヤルイン番号 01 ～ 32</td></tr>
</table>

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P219	発信者番号表示指定	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、外線着信時、発信者番号、ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイを表示するか否かを指定する。 ※自営標準への指定は無効。	数字：表示する（名前と番号） “－”：表示しない
P220	着信順次分配グループ内線番号指定	登録テーブル番号ごと（登録テーブル番号 01 ～登録テーブル番号 16）に、分配グループ（グループ 1 ～グループ 4）と内線番号を指定する。 ※着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分ける。	分配グループ： 1 ～ 4 の範囲で指定。 内線番号： 10 ～ 89 の範囲で指定。 100～899の範囲で指定。(内線3桁モード時) 初期：登録テーブル番号 01 ～ 16：指定なし ※他のグループで既に指定されている内線番号を指定した場合、先に指定されていたグループ番号と内線番号は消去される。
P221	着信順次分配グループ代表番号指定	着信順次分配グループごと（着信順次分配グループ 1 ～着信順次分配グループ 4）に、代表の内線番号を指定する。 ※代表番号は P201 内線番号指定で割り当てられていない内線番号を指定する。 ※内線番号と重複した番号を指定した場合、内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。 ※本指定は外線個別着信（DIT）に対して適用され、内線個別着信および ISDN サブアドレス着信には適用しない。	10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。(内線 3 桁モード時) 初期：着信順次分配グループ 1 ～ 4：指定なし ※他のグループに既に指定されている内線番号を指定した場合、先に指定されていた内線番号は消去される。
P222	通話メモ使用 REC 指定	電話機ごとに、通話メモ機能を使用する REC 番号を指定する。	0：指定なし　　3：REC3 1：REC1　　4：REC4 2：REC2
P223	ドアホン着信指定	ドアホンごとに、ドアホン着信に対し、着信および表示を行う電話機（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む）を指定する。	数字：指定する “－”：指定しない
P224	着信履歴指定	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、着信応答した履歴を残すか残さないかを指定する。	数字：残す “－”：残さない
P225	オフフック内線自動発信指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、受話器を上げたときに呼び出す内線番号もしくは内線グループを､最大 4 桁 (内線番号または内線特番) で指定する。 ※オフフック内線自動発信機能と、スピーカを押して内線発信をすること以外の操作を受け付けなくなる。	10 ～ 89 の範囲で指定。 100 ～ 899 の範囲で指定。 (内線 3 桁モード時) もしくは内線特番（4 桁）で指定。 初期：指定なし
P226	セーフティグループ指定	電話機ごとに、セーフティグループもしくは警報鳴動グループを指定する。 ※警報鳴動グループはセーフティグループと同じグループに対応する。 ※セーフティグループがセーフティセンサ検知状態になると、対応する警報鳴動グループに所属する電話機は警報鳴動状態になる。(電話機を使用していない場合のみ)	0：指定なし 1：セーフティグループ A 2：セーフティグループ B 3：警報鳴動グループ A 4：警報鳴動グループ B

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P228	音声威嚇電話機指定	通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする音声威嚇電話機（音声威嚇電話 1 ～音声威嚇電話 3）を指定する。 ※セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を指定する。 ※音声威嚇電話機に指定できる電話機は標準電話機のみ。	実装番号 01 ～ 32 の範囲で指定。 00 は指定なし。 初期： 音声威嚇電話 1 ～ 3：00（指定なし） ※ P226 セーフティグループ指定で同じセーフティグループに属する実装番号のみ指定可。 ※実装番号重複登録不可。
P229	センサ動作指定	電話機ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。 ※センサ付き電話機に対してのみ有効。	数字：許可する “ー”：許可しない
P230	ワンショット留守番機能使用 REC 指定	電話機ごとに、ワンショット留守番機能に利用する REC を指定する。	0：指定なし　　3：REC3 1：REC1　　4：REC4 2：REC2 ※ P210 で留守番電話機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできない。(RECBusy を除く)
P231	内線呼出優先順位指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、内線で呼び出されるとき､「音声」で呼び出されるか「信号音」で呼び出されるかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機、自営標準、SLI の場合は信号音での呼び出しになる。 ※DC 子機、自営標準、SLI への指定は無効。 ※IP 電話機は常に信号呼。	数字：音声呼 “ー”：信号呼 初期： 電話機標準ポート（音声呼） PS 電話機（信号呼）
P232	PS 一斉呼出指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、内線一斉呼出 (全電話機) 着信時、着信動作させる PS 電話機を指定する。 ※自営標準は鳴動しない。 ※電話機標準ポートおよび SLI への指定は無効。	数字：指定する “ー”：指定しない ※ PS 電話機を 8 台まで指定することができる。 ※フラッシュボタンによる指定の一括反転操作は無効。
P233	チャイム音鳴動指定	電話機ごとに、チャイムを鳴動させるか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P234	いらっしゃいまセンサ指定	いらっしゃいまセンサごとに、使用するセンサ（電話機もしくはドア・ページングユニットのポート）を指定する。 ※電話機の場合､P229 センサ動作指定で「許可する」に指定されている電話機のみ有効。 ※ドア・ページングユニットのポートの場合、P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（XXX)」に指定されているときのみ有効。	00：指定なし 01 ～ 32：実装番号 01 ～ 32 33：外部センサポート 34：ドアホンポート 1 35：ドアホンポート 2 36：ドアホンポート 3 初期： いらっしゃいまセンサ A ～ B：00（指定なし）
P235	いらっしゃいまセンサ間隔時間指定	いらっしゃいまセンサごとに、鳴動音を送出した後、再度センサが有効になるまでの時間を指定する。	00 ～ 99 秒の範囲で指定。 初期：00（0 秒）

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P236	いらっしゃいまセンサゲイン指定	いらっしゃいまセンサごとに、鳴動音の音量（ゲイン）を指定する。	0：－12ｄB 1：－9ｄB 2：－6ｄB 3：－3ｄB 4：0ｄB 5：＋3ｄB 6：＋6ｄB 7：＋9ｄB 8：＋12ｄB
P237	不応答着信お知らせ表示指定	電話機ごとに、不応答のサブアドレス個別着信があったことを知らせる表示およびランプの点滅を行うか否かを指定する。 ※IP 電話自動交換にも適用する。 ※DIT 個別着信には適用しない。	数字：行う “－”：行わない
P238	FAX 着信お知らせ表示指定	電話機ごとに、どの初実装 SLI ポートに接続された FAX に着信があった場合に、着信があったことを知らせる表示およびランプの点滅を行うかを指定する。	0：指定なし 1：SLI1 2：SLI2
P239	いらっしゃいまセンサグループ指定	電話機ごとに、いらっしゃいまセンサグループを指定する。 ※いらっしゃいまセンサがセンサ検知状態になると、対応するいらっしゃいまセンサグループに所属する電話機は鳴動状態になる。（電話機を使用していない場合のみ）	0：指定なし 1：いらっしゃいまセンサグループＡ 2：いらっしゃいまセンサグループＢ
P240	いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定	いらっしゃいまセンサごとに、センサ検知時に鳴動する音を指定する。	0：いらっしゃいませ 1：ピンポーン 2：ピンポーン・パーン 3：ピロリロリロリロ・・
P241	掲示板更新お知らせ表示指定	電話機ごとに、掲示板の内容が更新されたことを知らせるランプの点滅を行うか否かを指定する。	数字：行う “－”：行わない
P242	一般電話機ディスプレイ指定	電話機ごと（初実装ＳＬＩを含む）に、一般電話機がナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイに対応しているか否かを指定する。 ※「対応」に指定した電話機は、P083 一般電話機着信音周期指定の指定が無効になる。 ※電話機標準ポートへの指定は無効。	数字：対応 “－”：非対応
P243	地震速報動作指定	電話機ごとに、地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：指定あり “－”：指定なし

メニュープログラミング対応

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P301	通常着信指定	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、収容外線に通常着信（グローバル着信含む）があった時、着信および表示を行う外線ボタンを指定する。	数字：指定する “ー”：指定しない
P302	着信音鳴動指定（昼）	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、昼間モードのときに収容外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線ボタンを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動あり） PS 電話機（鳴動なし） IP 電話機（鳴動なし） ※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
P303	着信音鳴動指定（夜間Ａ）	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、夜間モードＡのときに収容外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線ボタンを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり） ※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
P304	着信音鳴動指定（夜間Ｂ）	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、夜間モードＢのときに収容外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線ボタンを電話機ごとに指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり） ※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
P305	ダイヤルイン着信指定	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、ダイヤルイン番号に着信があった場合、着信および表示を行うダイヤルイン番号を指定する。	数字：指定する “ー”：指定しない
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼)	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動あり） PS 電話機（鳴動なし） IP 電話機（鳴動なし） ※同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間Ａ)	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、夜間モードＡのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり） ※同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間Ｂ)	電話機ごと(初実装 SLI､PS 電話機､IP 電話機を含む)に、夜間モードＢのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 実装番号 01、02 のみ（鳴動あり） ※同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P309	発信規制指定（昼）	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、昼間モードのときに外線発信を規制する外線ボタンを指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “ー”：発信不可
P310	発信規制指定（夜間A）	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、夜間モードAのときに外線発信を規制する外線ボタンを指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “ー”：発信不可
P311	発信規制指定（夜間B）	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、夜間モードBのときに外線発信を規制する外線ボタンを指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “ー”：発信不可
P312	コールバック着信音鳴動指定	電話機ごと(初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む)に、外線転送コールバックおよび REC お待たせメッセージ応答コールバック、リモートコールバック時に鳴動する外線ボタンを指定する 。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動なし） PS 電話機（鳴動なし） IP 電話機（鳴動なし） ※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができる。
P313	自動選局指定（発信）	電話機ごと(初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機を含む)に、外線発信時、発信、リダイヤル、オートダイヤル、ダイヤルアクセス「0」ボタンを押すことにより、自動的に捕捉する外線ボタンを指定する。 ※内線捕捉状態でダイヤルアクセス「0」を押したときに自動捕捉する外線ボタンは、P009 および P001-9 で指定した外線ボタンである。また、それ以外の自動選局時は P010 および P001-9 で指定した外線ボタンである。 ※WS（アナログ）の「クイック通話」および SLI での外線発信時の自動捕捉に対しても適用される。 ※P309 ～ P311 発信規制指定で「発信不可」に指定した外線ボタンは、本指定に関係なく、外線自動捕捉時に捕捉しない。	数字：自動選局する “ー”：自動選局しない
P314	自動選局指定（応答）	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機）に、外線着信時、オフフックによる着信応答（応答プリセット）を可とする外線ボタンを指定する。 ※SLI は、本指定に関係なく着信音が鳴動している電話機で受話器を上げると着信応答できる。 ※自営標準は、本指定に関係なく着信音が鳴動している電話機で通話ボタンを押すと着信応答できる。 ※自営標準、SLI への指定は無効。	数字：応答可 “ー”：応答不可
P315	外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼)	ダイヤルイン番号ごとに、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P316	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間A)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モードAのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P317	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間B)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モードBのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P318	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼)	ダイヤルイン番号ごとに、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P319	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間A)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モードAのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P320	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間B)	ダイヤルイン番号ごとに、夜間モードBのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P321	ドアホン着信メロディ指定	ドアホンごとに、ドアホン着信時、電話機から鳴動させるメロディを指定する。 「0：指定なし（P032に従う)」を指定した場合、P032ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定に従う。	0：指定なし（P032に従う） 1：保留メロディ1 2：保留メロディ2 3：着信メロディ1 4：着信メロディ2
P322	外部スピーカ1 ドアホン着信音指定（昼）	ドアホンごとに、昼間モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P323	外部スピーカ1 ドアホン着信音指定（夜間A）	ドアホンごとに、夜間モードAのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P324	外部スピーカ1 ドアホン着信音指定（夜間B）	ドアホンごとに、夜間モードBのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P325	外部スピーカ2 ドアホン着信音指定（昼）	ドアホンごとに、昼間モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P326	外部スピーカ2 ドアホン着信音指定（夜間A）	ドアホンごとに、夜間モードAのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P327	外部スピーカ2 ドアホン着信音指定（夜間B）	ドアホンごとに、夜間モードBのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P328	外部スピーカ チャイム音鳴動指定	外部スピーカごとに、チャイムを鳴動させるか否かを指定する。	数字：鳴動あり "ー"：鳴動なし
P329	ドアホン側呼出ゲイン指定	ドアホンごとに、ドアホン側の呼出音量（ゲイン）を指定する。	0：－12ｄB 1：－9ｄB 2：－6ｄB 3：－3ｄB 4：0ｄB 5：＋3ｄB 6：＋6ｄB 7：＋9ｄB 8：＋12ｄB

テナント対応

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P401	電話機の所属テナント指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録を含む）に、所属するテナントを指定する。	1：テナント 1　　3：テナント 3 2：テナント 2　　4：テナント 4
P402	テナント外線ボタン割付指定	各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。	0：オートダイヤル 1：外線（局線／ ISDN） 2：VoIP（内蔵／外付けアダプタ） 3：PBX 内線 4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ） 5：PHS（外付けアダプタ） 6：ナースコール（外付けアダプタ） 初期： テナント 1 外線番号 01 ～ 12：1（外線） 外線番号 13 ～ 30:0（オートダイヤル） テナント 2 ～ 4：全て：0（オートダイヤル）
P403	テナント 1 外線発信時の収容外線指定	テナント 1 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する 初期： 外線番号 01：収容外線 01 のみ許可する 外線番号 02：収容外線 02 のみ許可する 外線番号 03：収容外線 03 のみ許可する 外線番号 04：収容外線 04 のみ許可する 外線番号 05：収容外線 05 のみ許可する 外線番号 06：収容外線 06 のみ許可する 外線番号 07：収容外線 07 のみ許可する 外線番号 08：収容外線 08 のみ許可する 外線番号 09：収容外線 09 のみ許可する 外線番号 10：収容外線 10 のみ許可する 外線番号 11：収容外線 11 のみ許可する 外線番号 12：収容外線 12 のみ許可する 外線番号 13 ～ 30：全収容外線：許可しない ※P402 テナント外線ボタン割付指定で「1：外線（局線／ ISDN)」もしくは「3：PBX 内線」、「5：PHS」に指定されている外線ボタンには収容外線 01 ～ 12 のみ指定可。 ※P402 テナント外線ボタン割付指定で「2：VoIP（内蔵／外付けアダプタ)」もしくは「4：ひかり（内蔵／外付けアダプタ)」に指定されている外線ボタンには収容外線 01 ～ 12（外付けアダプタ)、収容外線 13 ～ 44（内蔵）が指定可。
P404	テナント 2 外線発信時の収容外線指定	テナント 2 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する ※指定方法の注意事項は P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定と同様。
P405	テナント 3 外線発信時の収容外線指定	テナント 3 の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）を指定する。 ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する ※指定方法の注意事項は P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定と同様。

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P406	テナント4外線発信時の収容外線指定	テナント4の外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線（内蔵VoIP 回線を含む）を指定する。 ※1つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。	数字：許可しない “ー”：許可する ※指定方法の注意事項は P403 テナント1外線発信時の収容外線指定と同様。
P407 [A]	テナント1アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント1での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する 初期： 収容外線 01：外線番号 01 のみ指定する 収容外線 02：外線番号 02 のみ指定する 収容外線 03：外線番号 03 のみ指定する 収容外線 04：外線番号 04 のみ指定する 収容外線 05：外線番号 05 のみ指定する 収容外線 06：外線番号 06 のみ指定する 収容外線 07：外線番号 07 のみ指定する 収容外線 08：外線番号 08 のみ指定する 収容外線 09：外線番号 09 のみ指定する 収容外線 10：外線番号 10 のみ指定する 収容外線 11：外線番号 11 のみ指定する 収容外線 12：外線番号 12 のみ指定する
P408 [A]	テナント2アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント2での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P409 [A]	テナント3アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント3での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P410 [A]	テナント4アナログ着信　着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときのテナント4での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P411 [D]	テナント1グローバル着信　着信外線指定	ISDN 回線ごとに、ISDN 回線に対応したグローバル着信のテナント1での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する 初期： ISDN 回線 1：外線番号 01,02 のみ指定する ISDN 回線 2：外線番号 03,04 のみ指定する ISDN 回線 3：外線番号 05,06 のみ指定する ISDN 回線 4：外線番号 07,08 のみ指定する ISDN 回線 5：外線番号 09,10 のみ指定する ISDN 回線 6：外線番号 11,12 のみ指定する
P412 [D]	テナント2グローバル着信　着信外線指定	ISDN 回線ごとに、ISDN 回線に対応したグローバル着信のテナント2での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P413 [D]	テナント3グローバル着信　着信外線指定	ISDN 回線ごとに、ISDN 回線に対応したグローバル着信のテナント3での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P414 [D]	テナント4グローバル着信　着信外線指定	ISDN 回線ごとに、ISDN 回線に対応したグローバル着信のテナント4での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P415	テナント1ダイヤルイン着信　着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント1での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P416	テナント2ダイヤルイン着信　着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント2での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P417	テナント3ダイヤルイン着信　着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント3での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する
P418	テナント4ダイヤルイン着信　着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信のテナント4での着信外線ボタンを指定する。	数字：指定しない “ー”：指定する

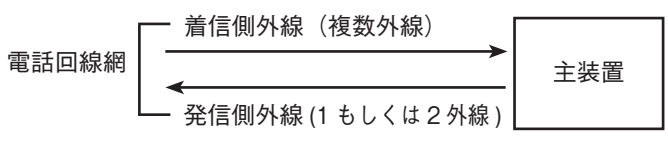
No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P419	外線捕捉時／発信者番号指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線発信時、表示器に表示する外線ボタンの電話番号を指定する。また、ISDN 回線で発信したときの発信者番号としても使用する。	最大 13 桁で指定。 ハイフン（−）はフラッシュボタンで入力。 初期：指定なし ※ダイヤル 1 ～ 9、1、（−）のみ登録可。
P420 [D]	発信者番号通知指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線発信時に発信者番号を通知するか否かの初期値を指定する。外線捕捉後のボタン操作により切り替え可。	数字：通知する “−”：通知しない
P421	外線着信音周期指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線着信音の鳴動周期を指定する。 ※P422 着信音種別指定は「01:着信音 A」～「04:着信音 D」を指定した場合に限り適用する。 ※DC 子機の着信音は電話機側で指定する。 ※DC 子機には、着信メロディは出力されない。 ※ＷＳ（アナログ）には着信メロディは出力されず、パターンＣで鳴動する。 ※ダイヤルインの場合は P040 ダイヤルイン着信音周期指定による。	01：着信音 A　07：着信音 G 02：着信音 B　08：着信音 H 03：着信音 C　09：保留メロディ 1 04：着信音 D　10：保留メロディ 2 05：着信音 E　11：着信メロディ 1 06：着信音 F　12：着信メロディ 2

●着信音周期

	名　称	周期[秒] 0 1 2 3 4 5 6
01	外線着信音(高、中、低) (パターンA)	On / Off
02	外線着信音(高、中、低) (パターンB)	On 250mS / Off 125mS
03	外線着信音(高、中、低) (パターンC)	On 250mS / Off 250mS
04	外線着信音(高、中、低) (パターンD)	On / Off
05	外線着信音 (パターンE)	トゥ ル ル　トゥ ル ル トゥ ル ル　トゥ ル ル ッ
06	外線着信音 (パターンF)	ピ ロ ロ　ピ ッ ロ ロ ロ
07	外線着信音 (パターンG)	ロ ロ ロ ロ ロ ロ ッ ピ ピ ピ ピ
08	外線着信音 (パターンH)	ロ ロ ロ ロ ロ ロ ッ ポ ポ ポ ポ

●WS（アナログ）の着信音周期

	周期[秒] 0 1 2 3 4 5 6
05	On 375mS / Off 250mS
06	On 500mS / Off 500mS
07	On / Off
08	On / Off
09～12	On 250mS / Off 250mS

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P422	着信音種別指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線着信時に鳴動する着信音の種類を指定する。 ※P421 外線着信音周期指定で「01：着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限る。 ※ダイヤルインの場合は P041 ダイヤルイン着信音種別指定による。	0：低 1：中 2：高
P423	非通知着信音周期指定	各テナントの外線ボタンごとに、非通知着信時の着信音周期を指定する。 ※「指定なし」に指定した場合、アナログまたはグローバル着信は P421 に従い、ダイヤルイン着信は P040 に従う。 ※P424 非通知着信音種別指定は「01：着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限り適用する。	00：指定なし （P421 もしくは P040 に従う） 01：着信音 A　07：着信音 G 02：着信音 B　08：着信音 H 03：着信音 C　09：保留メロディ 1 04：着信音 D　10：保留メロディ 2 05：着信音 E　11：着信メロディ 1 06：着信音 F　12：着信メロディ 2
P424	非通知着信音種別指定	各テナントの外線ボタンごとに、非通知外線着信のとき、鳴動する着信音の種類を指定する。 ※P423 非通知着信音周期指定で「01：着信音 A」～「04：着信音 D」を指定した場合に限る。 ※P423 で「指定なし」に指定した場合、アナログまたはグローバル着信は P422 に従い、ダイヤルイン着信は P041 に従う。	0：低 1：中 2：高
P425	外線転送テナント（自動／手動）指定	外線転送ごと（外線転送 1 ～外線転送 4）に、外線転送を利用するテナントを指定する。	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
P426	外線自動転送（発信側）指定	外線転送ごと（外線転送 1 ～外線転送 4）に、外線自動転送を使用する場合の発信側外線ボタンを指定する。 ※指定外線は、外線着信に対し P019 外線転送自動応答時間指定で指定された着信時間で自動応答し、外線転送のリモコン操作ができる状態になる。 ※P085 外線自動転送発信時の動作指定で発信時の動作を指定することができる。	外線番号 01 ～ 30 を指定する。 初期： 外線転送 1 －発信側外線 1：00（指定なし） 外線転送 1 －発信側外線 2：00（指定なし） 外線転送 2 －発信側外線 1：00（指定なし） 外線転送 2 －発信側外線 2：00（指定なし） 外線転送 3 －発信側外線 1：00（指定なし） 外線転送 3 －発信側外線 2：00（指定なし） 外線転送 4 －発信側外線 1：00（指定なし） 外線転送 4 －発信側外線 2：00（指定なし） ※PBX 内線を指定することはできない。 ※同一外線転送では発信側外線に外線ボタンを重複して指定することはできない。 ※発信側外線に指定した外線ボタンは、P427 着信側指定において「指定しない」に変更される。
			

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P427	外線自動転送（着信側）指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線自動転送を使用する場合の着信側外線を指定する。 ※外線転送一次応答メッセージを利用するには P028REC 使途指定で留守／お待たせ／一次応答に指定する必要がある。 ※「P085 外線自動転送発信時の動作指定」にて「1:発信側外線 1、2 同時」「2：発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「外線転送 X:一次応答なし」を選択する必要がある。	0：指定しない 1：外線転送 1：一次応答なし 2：外線転送 1：一次応答あり 3：外線転送 2：一次応答なし 4：外線転送 2：一次応答あり 5：外線転送 3：一次応答なし 6：外線転送 3：一次応答あり 7：外線転送 4：一次応答なし 8：外線転送 4：一次応答あり ※PBX 内線を指定することはできない。 ※発信側外線に指定している外線ボタンは、着信側外線に指定することはできない。
P428	留守番自動応答指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線着信時の留守番自動応答機能を指定する。	0：自動応答しない 1：REC1 が自動応答 2：REC2 が自動応答 3：REC3 が自動応答 4：REC4 が自動応答
P429	テナント 1 発信許可／規制ダイヤル指定	テナント 1 の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで 40 個まで（ダイヤルテーブル 01 ～ダイヤルテーブル 40）登録可。 ※発信を許可するか規制するかは P433 テナント 1 発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P430	テナント 2 発信許可／規制ダイヤル指定	テナント 2 の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで 40 個まで（ダイヤルテーブル 01 ～ダイヤルテーブル 40）登録可。 ※発信を許可するか規制するかは P434 テナント 2 発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P431	テナント 3 発信許可／規制ダイヤル指定	テナント 3 の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで 40 個まで（ダイヤルテーブル 01 ～ダイヤルテーブル 40）登録可。 ※発信を許可するか規制するかは P435 テナント 3 発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P432	テナント 4 発信許可／規制ダイヤル指定	テナント 4 の外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで 40 個まで（ダイヤルテーブル 01 ～ダイヤルテーブル 40）登録可。 ※発信を許可するか規制するかは P436 テナント 4 発信許可／規制指定による。	最大 12 桁で指定。 初期：ダイヤルテーブル 01 ～ 40：指定なし
P433	テナント 1 発信許可／規制指定	テナント 1 の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する
P434	テナント 2 発信許可／規制指定	テナント 2 の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P435	テナント３発信許可／規制指定	テナント３の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する
P436	テナント４発信許可／規制指定	テナント４の外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 ※「未使用」にすると、ダイヤルテーブルにダイヤルを登録していないときと同様の動作になります。	0：未使用 1：許可する 2：規制する
P437 [A]	個別着信（DIT）指定（昼）	各テナントの外線ボタンごとに、昼間モードのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大４桁（内線番号または内線特番）で指定。 10～89の範囲で指定。 100～899の範囲で指定。(内線３桁モード時) もしくは内線特番（4桁）で指定。 初期：指定なし
P438 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間Ａ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＡのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大４桁（内線番号または内線特番）で指定。 10～89の範囲で指定。 100～899の範囲で指定。(内線３桁モード時) もしくは内線特番（4桁）で指定。 初期：指定なし
P439 [A]	個別着信（DIT）指定（夜間Ｂ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＢのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大４桁（内線番号または内線特番）で指定。 10～89の範囲で指定。 100～899の範囲で指定。(内線３桁モード時) もしくは内線特番（4桁）で指定。 初期：指定なし
P440 [A]	個別着信（DIT）の遅延応答時間指定	各テナントの外線ボタンごとに、個別着信（DIT）指定のある外線ボタンにアナログ着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0：0秒 1：5秒 2：10秒 3：20秒 4：30秒 5：40秒 6：50秒 7：60秒
P441	外部スピーカ１ 着信音鳴動指定（昼）	各テナントの外線ボタンごとに、昼間モードのときに着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P442	外部スピーカ１ 着信音鳴動指定（夜間Ａ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＡのときに着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P443	外部スピーカ１ 着信音鳴動指定（夜間Ｂ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＢのときに着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P444	外部スピーカ２ 着信音鳴動指定（昼）	各テナントの外線ボタンごとに、昼間モードのときに着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P445	外部スピーカ２ 着信音鳴動指定（夜間Ａ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＡのときに着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P446	外部スピーカ２ 着信音鳴動指定（夜間Ｂ）	各テナントの外線ボタンごとに、夜間モードＢのときに着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P447	外部スピーカ１ コールバック着信音鳴動指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線転送コールバックおよびREC お待たせメッセージ応答コールバック、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ１から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P448	外部スピーカ２ コールバック着信音鳴動指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線転送コールバックおよびREC お待たせメッセージ応答コールバック、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ２から着信音を送出するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
P449	通報発信外線テナント指定	セーフティグループごとに、通報時に外線発信を行うテナントを指定する。	１：テナント１　　３：テナント３ ２：テナント２　　４：テナント４
P450	通報発信外線指定	セーフティグループごとに、通報時に発信外線として使用する外線ボタンを指定する。 ※外線自動転送の発信側外線と同一外線も指定可。	外線番号０１～３０を指定する。 初期： セーフティグループＡ：００（指定なし） セーフティグループＢ：００（指定なし） ※P402 テナント外線ボタン割付指定で「1:外線（局線／ISDN)」もしくは「4:ひかり（内蔵／外付けアダプタ)」に指定されている外線ボタンのみ指定可。
P451	外線保留音源指定	各テナントの外線ボタンごとに、外線保留時に使用する保留音源を指定する。	１：保留メロディ１ ２：保留メロディ２ ３：外部保留音
P452	FAX 転送先指定	テナントごとに、FAX を接続する SLI ポートを指定する。 ※それぞれの SLI ポートは、いずれか一つのテナントからのみ選択可能。	０：接続なし １：SLI1 ２：SLI2 初期： テナント１：２（SLI2） テナント２～４：０（接続なし）

システム対応 2

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P501	キャリアアクセスコード指定	外線発信時の電話番号がキャリア選択識別番号と一致したときに電話番号の前に自動的に付加する各事業者のサービスにアクセスするために必要な番号を指定する。	最大 12 桁で指定。 初期：指定なし
P502	キャリア選択識別番号指定	外線発信時にキャリアを選択するための識別番号をシステムで 120 個まで（識別番号 001 ～識別番号 120）登録可。	最大 8 桁で指定。 初期： 識別番号 001：090 識別番号 002：0801 識別番号 003：0802 識別番号 004：0803 識別番号 005：0804 識別番号 006：0805 識別番号 007：0806 識別番号 008：0807 識別番号 009：0808 識別番号 010：0809 識別番号 011 ～ 120：指定なし
P503	キャリアアクセス表示指定	キャリアを選択したときの電話機に表示する内容を指定する。	最大 16 文字で指定。(全角文字のみ) 初期：携帯ＡＣＲ　アクセス
P504	ＰＳ無線書き込みＣＳ指定	PS 電話機を子機登録する際、利用する CS を論理番号で指定する。(CS 番号は CS の Dip-SW による設定)	0：指定なし 1：ＣＳ番号 1 2：ＣＳ番号 2 3：ＣＳ番号 3 4：ＣＳ番号 4 ※ 主装置電源立ち上げ時「0」にクリアされる。 ※ 子機登録モードから抜けると、指定は自動的に「0：指定なし」になる。
P505	システム呼出符号	CS から読み出したシステム呼出符号（SYS-ID）が自動的に登録される。 ※消去した場合、システムコードレスの運用を停止する。	初期：空白（未登録） ※消去のみ可。
P506	PS-ID	PS 電話機ごとに、子機登録を行うと PS-ID が自動的に登録される。 ※消去した場合、該当する実装番号の電話機の運用を停止する。	初期：空白（未登録） ※消去のみ可。
P507	CS ポート状態表示	CS ごとに、CDLC ユニットに接続している CS ポートの状態（活性、非活性、未実装）及び CS のタイプ（ID もしくは ND）と論理番号（1 ～ 4、範囲外）を表示する。	※表示によるデータ確認のみの設定。
P508	PS 端末種別指定	電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機を含む）に、PS 電話機の実装番号に多回線 PS（PS601 など）を子機登録するのか自営標準を子機登録するのかを指定する。 ※電話機標準ポートおよび SLI への指定は無効。	数字：多回線ＰＳ “－”：自営標準

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P509	ひかり外線自動選局禁止番号指定	ひかり外線自動選局発信時、ひかり外線を自動選局しない番号を、システムで80個まで（禁止番号01～禁止番号80）登録可。 最大１２桁で指定。 初期： 禁止番号01：001　禁止番号15：0170　禁止番号29：108　禁止番号43：16 禁止番号02：003　禁止番号16：0180　禁止番号30：111　禁止番号44：189 禁止番号03：004　禁止番号17：0190　禁止番号31：112　禁止番号45：05701 禁止番号04：005　禁止番号18：020　禁止番号32：114　禁止番号46：05702 禁止番号05：006　禁止番号19：0450　禁止番号33：121　禁止番号47：05703 禁止番号06：007　禁止番号20：指定なし　禁止番号34：122　禁止番号48：05704 禁止番号07：008　禁止番号21：060　禁止番号35：125　禁止番号49：05705 禁止番号08：0091　禁止番号22：0750　禁止番号36：134　禁止番号50：05706 禁止番号09：010800　禁止番号23：0804　禁止番号37：136　禁止番号51：05707 禁止番号10：指定なし　禁止番号24：0990　禁止番号38：141　禁止番号52：05708 禁止番号11：0130　禁止番号25：100　禁止番号39：145　禁止番号53：05709 禁止番号12：0140　禁止番号26：102　禁止番号40：146　禁止番号54～80：指定なし 禁止番号13：0150　禁止番号27：106　禁止番号41：149 禁止番号14：0160　禁止番号28：107　禁止番号42：15 ※ダイヤル１～９、０のみ登録可。	
P510	ひかり外線アクセス表示指定	ひかり外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を指定する。	最大16文字で指定。（全角文字のみ） 初期値：ひかり電話　アクセス
P511	リモートコールバックPB待ち時間指定	リモートコールバック発信し、相手応答後から応答した相手からのＰＢが検出できないと判断するまでの時間を指定する。 ※リモートコールバックPB待受け時間経過後の動作はP090-2リモートコールバックPB未検出時動作指定による。	02～30秒の範囲で指定。 初期：20（20秒）
P512	リモートコールバック未応答時間指定	リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定され、指定内線が着信を開始してからその内線が着信応答しないと判断するまでの時間を指定する。	05～60秒の範囲で指定。 初期：20（20秒）
P513	システム設定その4　1：省エネルギー指定	夜間モードが夜間モードA時に省エネモードにし、動作する電話機を制限するか否かを指定する。動作可能な電話機は実装番号01，02とCL、WS（アナログ）、停電対応電話機。	数字：省エネ動作しない “ー”：省エネ動作する
	2：外線一斉着信ランプ制御指定	プログラム設定において着信音が「鳴動しない」に指定されている外線一斉着信時、着信ランプの点滅を行うか否かを指定する。	数字：無鳴動時点滅 “ー”：無鳴動時消灯
	3：ハンズフリー外線発信マイク制御指定	ハンズフリーでの外線発信時、相手応答信号が検出されるまでマイクをOFFにしておくか否かを指定する。	数字：発信直後にマイクON “ー”：相手応答までマイクOFF
	4：外線ボタン種別表示指定	外線ボタン押下時に外線ボタンの外線種別表示を行うか否かを指定する。	数字：行う “ー”：行わない
	5：未使用		
	6：未使用		
	7：未使用		
	8：未使用		
	9：未使用		
	0：未使用		

No.	設定項目	内　　容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P514	PHS 外線自動選局番号指定	自動選局発信時、PHS 外線を自動選局する番号を、システムで 10 個まで（選局番号 01 ～選局番号 10）登録可。	最大 12 桁で指定。 初期： 選局番号 01：070 選局番号 02 ～ 10：指定なし ※ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可。
P515	PHS 外線アクセス表示指定	PHS 外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を指定する。	最大 16 文字で指定。（全角文字のみ） 初期値：PHS　アクセス
P516	警備装置エリアセーフティグループ指定	警備装置のエリアごと（エリア 01 ～エリア 64）に、セーフティグループを指定する。	0：指定なし 1：セーフティグループ A 2：セーフティグループ B
P517	警備装置ポート指定	警備装置のポート番号を指定する。	1 ～ 65535 の範囲で指定。 初期：1012
P518	システム間接続公開テナント指定	システム間接続にて接続システムに対し公開するテナントを指定する。	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
P519	地震速報システム設定 1：地震速報夜間 A 動作指定	夜間モード（夜間 A）に地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：動作する “ー”：動作しない
	地震速報システム設定 2：地震速報夜間 B 動作指定	夜間モード（夜間 B）に地震速報動作を行うか否かを指定する。	数字：動作する “ー”：動作しない
	地震速報システム設定 3：外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）	昼間モードのときに外部スピーカから地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
	地震速報システム設定 4：外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 A）	夜間モード（夜間 A）のときに外部スピーカから地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
	地震速報システム設定 5：外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 B）	夜間モード（夜間 B）のときに外部スピーカから地震速報の警報音を鳴動するか否かを指定する。	数字：鳴動あり “ー”：鳴動なし
	地震速報システム設定 6：未使用		
	地震速報システム設定 7：未使用		
	地震速報システム設定 8：未使用		
	地震速報システム設定 9：未使用		
P520	外部スピーカ　地震速報警報鳴動テナント指定	外部スピーカから緊急地震速報音を鳴動させる場合、どのテナントの夜間モード（昼／夜間モード A ／夜間モード B）に従うかを指定する。	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
P521	外部スピーカゲイン 2 指定（地震）	緊急地震速報音の外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB

25 -2 プログラムの設定方法

●プログラム設定は、TD・LD・CL（親機）から設定します。
● [D] 印のプログラムはデジタル回線接続時に有効です。
● [A] 印のプログラムはアナログ回線接続時に有効です。

① 受話器をおいたままで、機能→保留→＃→0→＊のボタンを押す
→ 「P001　システム設定 1」表示
※外線通話をしながら、プログラム設定を行う場合は、通話状態のままで 機能→保留→＃→0→＊ のボタンを押してください。

② 項目番号を変更するときは、ダイヤルボタンを押す。
※数字表示がー表示に、ー表示が数字表示に変わります。

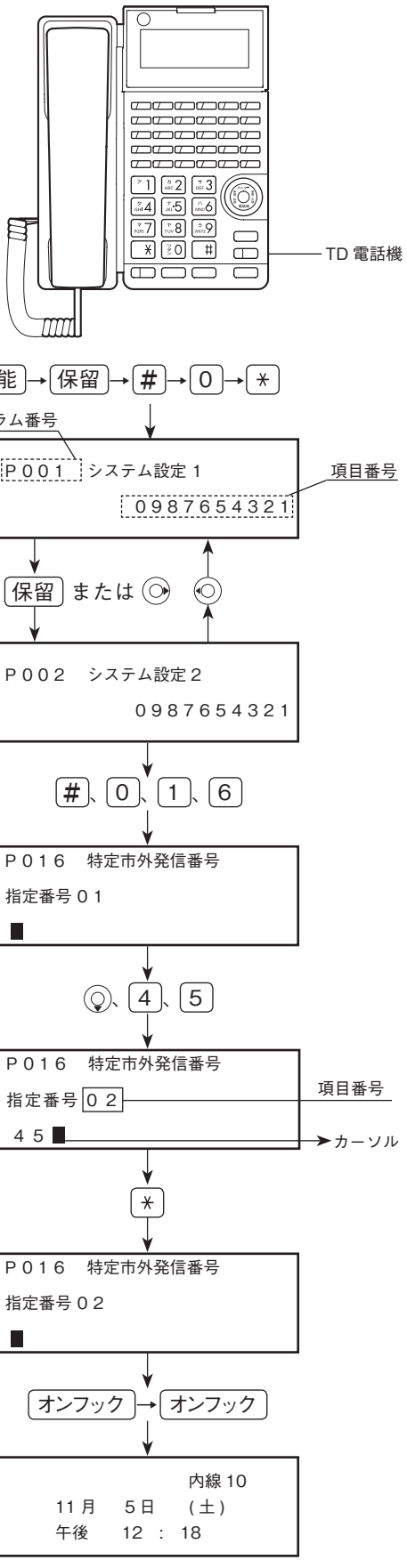
③ 次のプログラム番号に進むときは◎、元に戻すときは◎を押す。
※ 保留を押すごとに、次のプログラム番号に進みます。

④プログラム番号 P001 ～ P518 の設定を行う。
※特定のプログラムを設定したいときは＃、プログラム番号を押します。

[例]　P016 の場合は＃、0、1、6を押す

⑤ ◎を押すと２行目の値が増加します。
◎を押すと２行目の値が減少します。
発信を押すと３行目の値が増加します。
短縮を押すと３行目の値が減少します。
※指定内容を消去するときは、＊を押します。

⑥ オフフック 、オンフック を行うと仮登録になり、カレンダ・時計の表示に戻ります。すべての電話機が使用していないときに、自動的に本登録になります。
※仮登録中は、「プログラム設定データ　登録中」の表示が出ます。
※ REC 機能が留守番在宅モード以外でセット中（留守番機能の場合）もしくは、未再生の録音があるときに下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ登録中」が表示され、留守モードを在宅に切り替えるまで本登録は行われません。
P028 REC 使途指定
P029 留守番機能指定
P097 REC 録音時間指定
P210 留守番電話機指定
P428 留守番自動応答指定
※セーフティモード動作中に下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ　登録中」が表示され、セーフティモードを解除するまで本登録は行われません。
P035 リレー制御指定
P036 外部スピーカゲイン指定
P072-1 威嚇警報音の音量指定
P072-2 通報先終話時の威嚇継続指定



次ページへ➔

P072-3 リレー出力タイミング指定
P072-4 外部スピーカ威嚇音鳴動指定
P072-5 通報発信時のＡＣＲ許可指定
P072-6 威嚇時発光指定
P072-7 威嚇警報音鳴動指定
P073 モードセット遅延時間指定
P074 威嚇遅延時間指定
P075 威嚇警報音鳴動時間指定
P076 外部センサタイプ指定
P077 外部センサ対応グループ指定
P078 通報発信外線強制切断指定
P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定
P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定
P081 センサ ON 連続検出回数指定
P082 センサ OFF 確定時間指定
P101 外線収容および外線種別指定
P226 セーフティグループ指定
P228 音声威嚇電話機指定
P229 センサ動作指定
P402 テナント外線ボタン割付指定
P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定
P404 テナント 2 外線発信時の収容外線指定
P405 テナント 3 外線発信時の収容外線指定
P406 テナント 4 外線発信時の収容外線指定
P449 通報外線テナント指定
P450 通報発信外線指定

※いらっしゃいまセンサがセットされている状態で下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ登録中」が表示され、いらっしゃいまセンサを解除するまで本登録は行われません。

P035 リレー制御指定
P076 外部センサタイプ指定
P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定
P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定
P081 センサ ON 連続検出回数指定
P082 センサ OFF 確定時間指定
P229 センサ動作指定
P234 いらっしゃいまセンサ指定
P235 いらっしゃいまセンサ間隔時間指定
P236 いらっしゃいまセンサゲイン指定
P239 いらっしゃいまセンサグループ指定
P240 いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定

⑦ プログラム設定中に●を押すと、HELP 画面へ移行します。(各設定の簡単な説明が表示されます。)

※ HELP 画面表示中、4 行目に▽が表示されている場合、◎を押すと HELP 画面の続きを表示します。

※ HELP 画面表示中に●を押すと、設定画面に戻ります。

※ HELP 画面表示中に○を押すと、次のプログラム番号に進みます。

⑧“数字”と“ー”を変更する設定において、フラッシュを押すと、“数字”と“ー”を一括で反転することが可能です。

※ PS の指定台数に制限がある設定（P302 等）の場合、制限以上に PS が指定される場合のフラッシュ動作は無効になります。

【プログラム設定：コピーモード】

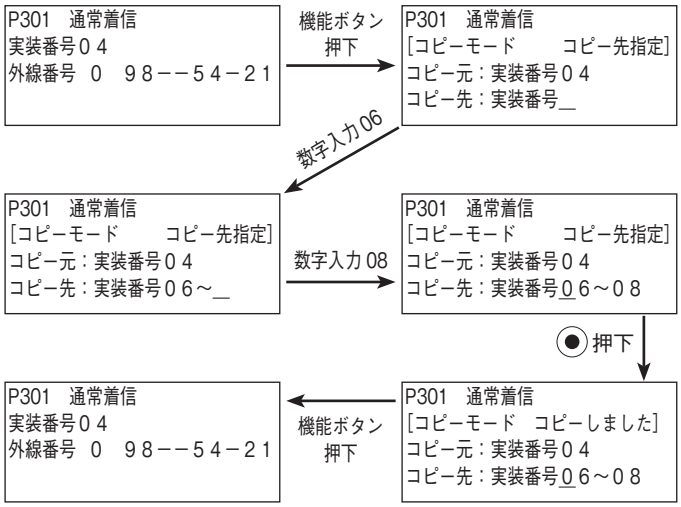
コピーモードは以下の設定データに対して適用します。
※１対１および１対Ｎのコピーを可とします。
※同一項目内（実装番号、外線番号）でのコピーを可とします。

［メニュープログラミング対応］	
P301	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定（昼）
P303	着信音鳴動指定（夜間Ａ）
P304	着信音鳴動指定（夜間Ｂ）
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間Ａ）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間Ｂ）
P309	発信規制指定（昼）
P310	発信規制指定（夜間Ａ）
P311	発信規制指定（夜間Ｂ）
P312	コールバック着信音鳴動指定
P313	自動選局指定（発信）
P314	自動選局指定（応答）
［テナント対応］	
P429	テナント１　発信許可／規制ダイヤル指定
P430	テナント２　発信許可／規制ダイヤル指定
P431	テナント３　発信許可／規制ダイヤル指定
P432	テナント４　発信許可／規制ダイヤル指定
P433	テナント１　発信許可／規制指定
P434	テナント２　発信許可／規制指定
P435	テナント３　発信許可／規制指定
P436	テナント４　発信許可／規制指定

≪機能概要≫

２行目に表示されている項目番号(実装番号または外線番号)ごとに設定された３行目の設定内容（「数字」もしくは「－」）を、同じ設定内、他の２行目番号に表示されている項目番号にコピーすることが可能です。
※ PS の実装番号へのコピーはできません。
※ P301、P305、P309、P310、P311、P313、P314 は PS の実装番号へのコピーができます。
例）P301 の場合
実装番号 04 に設定された外線番号の「数字」もしくは「－」と同じ状態を、P301 の実装番号 06 ～ 08 にコピーすることが可能です。

操作手順



入力を消去する場合

```
P301　通常着信
[コピーモード　　コピー先指定]
コピー元：実装番号０４
コピー先：実装番号＿
```

［＊］を押下すると４行目入力済みの数字を消去します。

コピー先の数字が確定する前に、◉を押下した場合。

```
P301　通常着信
[コピーモード　　入力途中です]
コピー元：実装番号０４
コピー先：実装番号０＿
```

数字入力中に◉を押下した場合、
［コピーモード　　入力途中です］の警告が表示されます。
数字の入力を完了した後、◉を押してください。

コピー先に１つの番号のみ入力し、その後◉を押下した場合。

```
P301　通常着信
[コピーモード　　コピー先指定]
コピー元：実装番号０４
コピー先：実装番号０２～＿
```

図１

数値要素が１つの場合その値（図１の場合、実装番号 02）に対してのみコピーが行われます。

【プログラム設定：自動選択モード】

モード概要：任意の機能に関連した設定項目を自動で選択するモード。

No	操作	説明	画面表示	備考
1			PX50 XXXXX 0987654321	
2	[#]を押す	ダイヤル入力による設定番号入力 待ち状態	P	
3	◇を押す	PXX のように、入力途中の数値は消去される。二行目～四行目に自動選択する機能が表示され、選択状態の機能は三行目に反転表示される。	P いらっしゃいまセンサ 外線着信（グローバル） 外線着信（アナログ）	（※ 1）（※ 2）
4	◇を押す	◇を押すと二行目～四行目の表示がスクロールする。	P 外線着信（アナログ） 外線個別着信 外線着信	（※ 1）（※ 2）
5	◇または●を 押す	No.4 にて選択した機能に関連する設定項目の先頭に移行する。 ※◇の場合設定項目の最終に移行する。	P048 GL 個別着信（DIT）（昼） ISDN 回線 1 -	（※ 3）（※ 4）
6	◇を押す	No.4 にて選択した機能に関連する No.5 で選択された次の設定項目に移行する。	P052 DI 個別着信（DIT）（昼） DI 番号０１ -	（※ 3）（※ 4）
7	◇を押す	No.4 にて選択した機能に関連する No.6 で選択された前の設定項目に移行する。	P048 GL 個別着信（DIT）（昼） ISDN 回線 1 -	（※ 3）（※ 4）

●操作

（※１）[#]を押すと No.2 に移行する。

（※２）ダイヤルボタンを押すと No.2 にてダイヤルボタンを押下された状態に移行し自動選択モードは解除される。

（※３）自動選択モード中において◇以外の動作は通常のプログラム設定と同様。

（※４）[#]を押すと No.2 に移行し自動選択モードは解除される。

●例【通話メモ】

No.4 で【通話メモ】を選択し◇もしくは●を押すと、No.5 にて P027 が表示される。

No.4 で【通話メモ】を選択し◇を押すと、No.5 にて P222 が表示される。

◇を押すごとに P027 → P028 → P222 → P027 と設定項目が変化し、◇を押すごとに P027 → P222 → P028 → P027 と設定項目が変化する。

※選択可能な機能および変化する設定項目群は（自動選択設定番号一覧）による。

[#]を押すと No.2 へ移行し、自動選択モードは解除される。

（自動選択設定番号一覧） ※設定番号の先頭の P は省略

外線着信 (グローバル)	402,411,301,302	非通知拒否	027,028,210
外線着信 (アナログ)	402,407,302	FAX 自動切り替え (グローバル)	066,302,452
外線個別着信	048,052,437	FAX 自動切り替え (ダイヤルイン)	067,306,452
外線発信	402,403,404,405,406	FAX 自動切り替え (アナログ)	109,302,452
発信規制	309,310,311,313	外線転送	426,427
ダイヤルイン着信 (ISDN)	402,039,415,305,306	ドアホン	223,215,214,034,033
ダイヤルイン着信 (i・ナンバー)	402,039,415,305,306	外部スピーカ (グローバル)	035,036,441,032
ダイヤルイン着信 (アナログ)	402,105,039,415,305,306	外部スピーカ (ダイヤルイン)	035,036,315,032
VoIP 着信	402,039,415,305,306	外部スピーカ (アナログ)	035,036,441,032
ひかり電話着信	402,101,105,039,415,305,306	セーフティ	072,073,074,226,228,229,450,035
ACR	103,501,502,503	システムコードレス	504
着信音	421,422,040,041	内線呼び出し	231
REC(留守番)	027,028,029,210,428	割り込み	206
通話メモ	027,028,222	いらっしゃいまセンサ	035,234,239,240,229
迷惑電話拒否	027,028,210		

機能 → 保留 → # → 0 → ＊を押す

システム対応

■ P001　システム設定 1

P001 ｼｽﾃﾑ設定 1
0987654321　＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	未使用	□	
2	一斉／グループ呼出指定	音声呼	信号呼
3	共通短縮ダイヤル 発信規制解除指定	解除しない （規制する）	解除する （規制しない）
4	強制転送指定	可	不可
5	自動転送指定	可	不可
6	オンフック転送指定	可	不可
7	ワンタッチ発信機能指定	不可	可
8	通話中の CNG 信号検出 継続指定	継続する	継続しない
9	外線自動選局順位指定	老番から	若番から
0	自動 PB 信号切り替え指定	有	無

■ P001　プログラム番号 P001

[例] 一斉／グループ呼出方法を「音声呼」から「信号呼」へ変更する。

1 機能 → 保留 → # → 0 → ＊を押す

P001 ｼｽﾃﾑ設定 1
0987654321

▼ 音声呼

2 2 を押す

P001 ｼｽﾃﾑ設定 1
09876543－1

信号呼

保留 を押す

■ P002　システム設定 2

P002 ｼｽﾃﾑ設定 2
0987654321　＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ポーズ時間指定	3.0 秒	1.0 秒
2	迷惑電話一覧表示指定	電話番号順	登録順
3	外線発信規制指定 100 番 (準特甲、甲)	規制あり	規制なし
4	外線発信規制指定 110 番、 119 番 (PBX 内準甲)	規制なし	規制あり
5	一般電話機 (保留 / フッキング) 指定	保留	フッキング
6	バッテリパワーセーブ 指定	全電話機動作する	実装番号 01､02 のみ動作する
7	未使用	□	
8	未使用	□	
9	未使用	□	
0	通話料金表示 フォーマット指定	小数点以下は表示しない	小数点第 1 位まで表示する

保留 を押す

■ P003　システム設定 3

P003 ｼｽﾃﾑ設定 3
0987654321　＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	個別着信 (DIT) の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	個別着信 (DIT) 動作指定	一斉着信から 個別着信	個別着信から 一斉着信
3	未使用	□	
4	BGM 指定	未接続	接続
5	ナンバー・ディスプレイ 着信履歴指定	記録する	記録しない
6	着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の 履歴のみ表示
7	システム着信履歴表示指定	すべて表示する	着信応答した 履歴を除く
8	アナログ外線の発信電話番号 切替指定	利用する	利用しない
9	オンフックリモート 転送指定	転送不可	転送可
0	CNG 信号検出中の着信音 鳴動指定	鳴動しない	鳴動する

保留 を押す

■ P004　保留警報タイマ指定

P004 保留警報ﾀｲﾏ
2 ＜初期設定＞
→ 3 分

初期値	設定変更
2	0：1 分 1：2 分 2：3 分 3：4 分 4：無制限

保留 を押す

■ P005　オートリピートタイマ指定

P005 ｵｰﾄﾘﾋﾟｰﾄﾀｲﾏ
0 ＜初期設定＞
→ 120 秒 /3 秒 /15 回

初期値	設定変更
0	呼出時間／待ち時間／回数 0：120 秒／ 3 秒／ 15 回 1：120 秒／ 10 秒／ 15 回 2：120 秒／ 30 秒／ 15 回 3：120 秒／ 60 秒／ 100 回

保留 を押す

■ [A]P006　フックフラッシュ時間指定

P006 ﾌｯｸﾌﾗｯｼｭ時間
6 ＜初期設定＞
→ 800ms

初期値	設定変更	
6	0：（設定不可）	5：600ms
	1：（設定不可）	6：800ms
	2：（設定不可）	7：1.0s
	3：200ms	8：1.5s
	4：400ms	9：2.0s

保留 を押す

■ P007 オートリピート発信指定

P007 ｵｰﾄﾘﾋﾟｰﾄ発信
ｵｰﾄ / ﾌﾟﾘｾｯﾄ / 確 / ﾘﾀﾞｲﾔﾙ　－－２１ ＜初期設定＞
→ ワンタッチリダイヤル：オートリピートする

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	ワンタッチリダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
2	確かめダイヤル		
3	プリセットダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
4	ワンタッチオートダイヤル		

保留 を押す

■ P008 夜間モード CNG 信号検出指定

P008 夜間ﾓｰﾄﾞ CNG 信号検出
昼 / 夜B/ 夜A　－－－ ＜初期設定＞
→ 夜間 A：検出する
→ 夜間 B：検出する
→ 昼：検出する

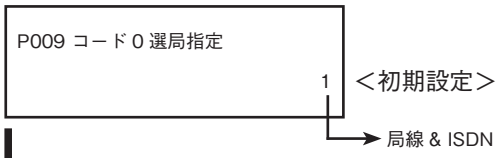
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	夜間 A	検出しない	検出する
2	夜間 B		
3	昼		

※ 以下の設定において、「検出する」に設定されている着信に対して適用する。
P066　グローバル着信 CNG 信号検出
P067　ダイヤルイン着信 CNG 信号検出
P109　アナログ外線着信 CNG 信号検出

保留 を押す

■ P009　コード 0 選局指定

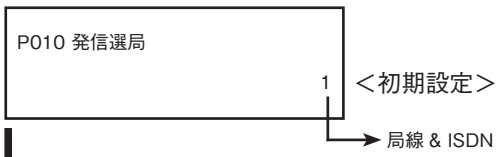


初期値	設定変更
1	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線

※「未使用」に設定するとダイヤル 0 による外線自動捕捉ができなくなります。

保留 を押す

■ P010　発信選局指定

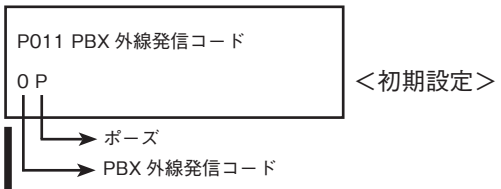


初期値	設定変更
1	0：未使用 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線

※「未使用」に設定すると 発信、メニュー操作からの短縮発信、 リダイヤル、 オートダイヤル による外線自動捕捉ができなくなります。
※ リダイヤル はリダイヤルボタンを作成する必要があります。

保留 を押す

■ [A]P011　PBX 外線発信コード指定



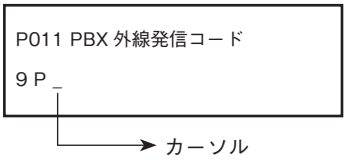
初期値	設定変更
0P	PBX 外線発信コードとポーズを指定

※数字とポーズを 3 桁ずつ、計 6 桁まで指定できます。
※数字は 3 桁まで連続指定できますが、「P」（ポーズ）は連続指定できません。
※ 1 桁目に「P」は、指定できません。

■ [A]P011　プログラム番号 P011

[例] PBX 内線が収容されている場合の外線発信コード（PBX アクセスコード）が「9」の場合。

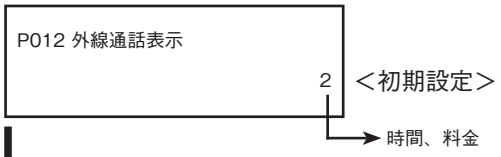
1 9 、 フラッシュ （PBX 発信コードとポーズ）を押す



※ フラッシュ を押すと「P」（ポーズ）が表示されます。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P012　外線通話表示指定



初期値	設定変更	備　考
2	0：時間 1：料金 2：時間、料金	「料金」は、デジタル回線の料金情報通知サービスによる。

保留 を押す

■ P013 課金係数指定

P013 課金係数
10 ＜初期設定＞
→ 1.0 倍

初期値	設定値	備　　考
10	01 ～ 99	0.1 : 0.1 倍（1 度数当たり 1 円） 10 : 1.0 倍（1 度数当たり 10 円） 99 : 9.9 倍（1 度数当たり 99 円） ※料金は、1 度数 10 円の場合

保留 を押す

■ P014　1 ××特番登録指定

P014 1XX 特番登録
特番 01 → 項目番号
184 → 番号登録

項目	内　　容	初期値	設定値
01	1XX 特番登録指定 01	184	任意の番号を指定 （最大 10 桁）
02	1XX 特番登録指定 02	186	
03	1XX 特番登録指定 03	122	
04	1XX 特番登録指定 04	指定なし	
∫	∫	∫	
10	1XX 特番登録指定 10	指定なし	

※各項目は最大 10 桁まで指定できます。
※◇を押すと特番が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P015　1 ××特番ポーズ指定

P015 1XX 特番ﾎﾟｰｽﾞ
00 ＜初期設定＞
→ 0 秒

初期値	設定値
00	00 ～ 99

※ 01 ＝ 0.5 秒　[例] 04 ＝ 2.0 秒
※ 00 ～ 99 の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P016 特定市外発信番号指定 (準特甲)

P016 特定市外発信番号（準特甲）
指定番号 0 1
＿ ＜初期設定＞
→ 項目番号

項目	初期値	設定値
01～20	指定なし	市外局番 （最大 4 桁）

※特定市外発信番号の局番は 20 カ所まで指定可能。
※設定は、市外局番の上 1 桁目の「0」を省略し、2 桁目から 5 桁目までを設定可能。
※◇を押すと指定番号が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

■ P016　プログラム番号 P016

[例] サービスクラス「準特甲」に設定された電話機からの市外局番 045、0471 地区への市外局番を許可する場合。

1 4 5 を押す
P016 特定市外発信番号
指定番号 01
45

2 ◇を押す
P016 特定市外発信番号
指定番号 02

3 4 7 1 を押す
P016 特定市外発信番号
指定番号 02
471

※＊を押すと表示されている内容が消去されます。
※◇を押すと指定番号が変わります。

保留 を押す

■ P017 外線発信規制番号指定

P017 外線発信規制番号
規制番号０１
＿

＜初期設定＞

→ 項目番号

項目	内　　容	初期値	設定値
01	規制番号 01	指定なし	市外局番を含め指定（最大 4 桁）
≀	≀		
20	規制番号 20		

※ 外線発信規制番号は 20 ヶ所まで指定できます。
※「特甲」以外の電話機に対してのみ適用します。
※(◎)を押すと規制番号が変わります。
※(＊)を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P018 留守番在宅自動応答時間指定

P018 留守番在宅自動応答時間
０４５

＜初期設定＞

→ 45 秒

初期値	設定値
045	000 ～ 180

※ 000 のときは自動応答しません。
※ 001 で 1 秒です。

保留 を押す

■ P019 外線転送自動応答時間指定

P019 外線転送自動応答時間
０４２

＜初期設定＞

→ 42 秒

初期値	設定値
042	000 ～ 180

※ 000 のときは自動応答しません。
※ 001 で 1 秒です。

保留 を押す

■ P020 NTT 強制接続コード指定

P020 NTT 強制接続ｺｰﾄﾞ
００００

＜初期設定＞

初期値	設定値
0000	0000 ～ 9999

※ 4 桁で指定。

保留 を押す

■ P021　外線転送システム設定

P021 外線転送ｼｽﾃﾑ設定
０９８７６５４３２１

＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	外線転送 1 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
2	外線転送 2 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
3	外線転送 3 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
4	外線転送 4 通知音 (転送先) 指定	鳴動なし	鳴動あり
5	外線転送発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P023 外線転送転送先不応答切断タイマ指定

P023 外線転送転送先不応答切断ﾀｲﾏ
2 ＜初期設定＞
→ 60 秒

初期値	設定値
2	0 : 20 秒 1 : 40 秒 2 : 60 秒 3 : 80 秒 4 : 100 秒 5 : 120 秒

保留 を押す

■ P024 外線転送終話時コールバック時間指定

P024 外線転送終話時ｺｰﾙﾊﾞｯｸ時間
自動 / 手動 0 2 ＜初期設定＞
→ 外線手動転送：2 秒
→ 外線自動転送：コールバックしない

項目	内　　容	初期値	設定値
1	外線手動転送	2	0：コールバックしない 1：1 秒 2：2 秒 3：3 秒 4：4 秒 5：5 秒 6：6 秒
2	外線自動転送	0	

保留 を押す

■ P025 外線転送最大通話時間指定

P025 外線転送最大通話時間
2 ＜初期設定＞
→ 2 時間

初期値	設定値
2	0 : 30 分 1 : 1 時間 2 : 2 時間 3 : 3 時間

保留 を押す

■ P026 外線自動転送中の着信音鳴動指定

P026 外線自動転送中の着信音鳴動
2 ＜初期設定＞
→ 鳴動する

初期値	設定値
2	0：すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1：自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2：鳴動する

保留 を押す

■ P027　REC システム設定

P027 REC ｼｽﾃﾑ設定
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	用件自動消去指定	自動消去あり	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	REC ごとに共通	電話機個別
3	迷惑電話登録指定	満杯時登録禁止	満杯時登録可
4	追っかけ転送発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
5	REC お待たせ動作指定	コールバックする	ガイダンスを繰り返す
6	公衆電話迷惑拒否指定	拒否しない	拒否する
7	表示圏外迷惑拒否指定	拒否しない	拒否する
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P028　REC 使途設定

P028 REC 使途
REC Busy/4/3/2/1　0 0 0 0 1　＜初期設定＞
→ REC1：留守／お待たせ／一次応答

項目	内　容	初期値	設定値
1	REC1	1	0：未使用 1：留守 / お待たせ / 一次応答 2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否 5：通話メモ
2	REC2	0	
3	REC3		
4	REC4		
5	RECBusy	0	2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否

※ REC Busy には「2：非通知拒否／迷惑電話拒否」「3：非通知拒否」「4：迷惑電話拒否」のみ設定可能であり、設定をした場合、電話をしてきた相手に対し、通話中 Busy 拒否を行います。（P210 の設定が必要です）

保留 を押す

■ P029 留守番機能指定

P029 留守番機能
REC4/3/2/1　0 0 0 0　＜初期設定＞
→ REC1：応答録音のみ可

項目	内　容	初期値	設定値
1	REC1	0	0：応答録音のみ可 1：応答専用のみ可 2：両方可
2	REC2		
3	REC3		
4	REC4		

保留 を押す

■ P030 REC お待たせ時間指定

P030 REC お待たせ時間
3　＜初期設定＞
→ 3 分

初期値	設定値
3	0：指定なし 1：1 分 2：2 分 3：3 分 4：4 分

保留 を押す

■ P031 DR・PG システム設定

P031 DR・PG ｼｽﾃﾑ設定
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	外部スピーカ１への BGM 送出指定	送出しない	送出する
2	外部スピーカ２への BGM 送出指定	送出しない	送出する
3	未使用		
4	外部スピーカ呼出時の電話機鳴動指定	必ず鳴動する	外部スピーカの指定（P032 に従う）
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P032 ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定

P032 ﾄﾞｱﾎﾝ＆外部ｽﾋﾟｰｶ呼出音種別
SP 一斉 /2/1/ﾄﾞｱ3/2/1　4 4 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ ドアホン１：ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン

項目	内　容	初期値	設定値
1	ドアホン１	1	0：送出しない
2	ドアホン２	2	1：ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン
3	ドアホン３	3	2：ピンポーン・パンポーン
4	外部スピーカ１	4	3：ピロリロリロリロ・ピロリロリロリロ
5	外部スピーカ２		4：ピンポンパンポーン
6	外部スピーカー斉		5：ポン

※ドアホンに「0：送出しない」は指定できません。

保留 を押す

■ P033 ドアホン通話ゲイン指定（送話／受話）

P033 ﾄﾞｱﾎﾝ通話ｹﾞｲﾝ（送話 / 受話）
送話音量
ドアホン 3/2/1　4 4 4 ＜初期設定＞

→ ドアホン１：0dB

項目	内　容		初期値	設定値
1	送話音量	ドアホン１	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
		ドアホン２		
		ドアホン３		
2	受話音量	ドアホン１	7	
		ドアホン２		
		ドアホン３		

※◎を押すと「送話音量」「受話音量」設定に移ります。

保留 を押す

■ P034 ドアホン着信音周期指定

P034 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音周期
ドアホン 3/2/1　3 2 1 ＜初期設定＞

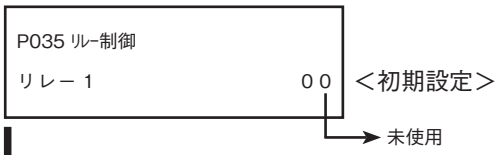
→ ドアホン１：繰り返し

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン１	繰り返し	1 回（約 4 秒）
2	ドアホン２		
3	ドアホン３		

保留 を押す

■ P035 リレー制御指定

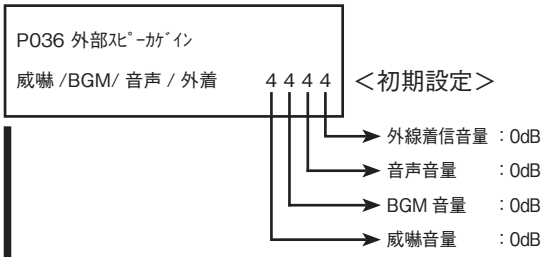


項目	内　　容	初期値	設定値
1	リレー 1	00	00： 未使用 01： 電気錠 1（ドアホン 1） 02： 電気錠 2（ドアホン 2） 03： 電気錠 3（ドアホン 3） 04： 外部スピーカ 1 05： 外部スピーカ 2 06： 外部保留音源 & BGM 07： Web カメラ （セーフティ A に連動） 08： Web カメラ （セーフティ B に連動） 09： Web カメラ （セーフティ A・B の両方に連動） 10： いらっしゃいませンサ A に連動 11： いらっしゃいませンサ B に連動 12： いらっしゃいませンサ A・B の両方に連動
2	リレー 2		
3	リレー 3		

※ 同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいませンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能。
※ ドアホン 1 と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠 1」に設定してください。
※ ドアホン 2 と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠 2」に設定してください。
※ ドアホン 3 と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠 3」に設定してください。

保留 を押す

■ P036 外部スピーカゲイン指定（外線着信、音声、BGM、威嚇）

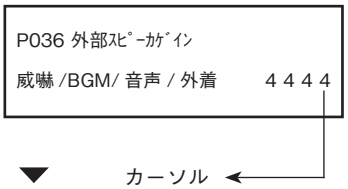


項目	内　　容	初期値	設定値
1	外線着信音量	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	音声音量		
3	BGM 音量		
4	威嚇音量		

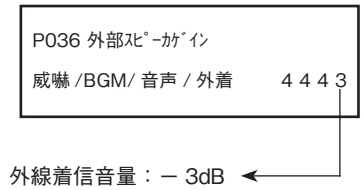
■ P036　外部スピーカゲイン指定（外線着信、音声、BGM、威嚇）

[例] 外線着信音量を「－ 3dB」に変更する場合。

1 [1]（外着）を押す



2 [3]（－ 3dB）を押す



保留 を押す

■ [D]P037　ISDN システム設定

P037 ISDN ｼｽﾃﾑ設定
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

□：初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	無効サブアドレス指定	□着信拒否する	ー斉着信にする
2	発サブアドレス通知指定	□通知しない	□通知する
3	経過表示指定	□表示しない	□表示する
4	理由表示指定	□表示しない	□表示する
5	未使用	□	□
6	未使用	□	□
7	未使用	□	□
8	未使用	□	□
9	未使用	□	□
0	未使用	□	□

保留 を押す

■ [D]P038 ISDN 契約者回線番号指定

P038 ISDN 契約者回線番号
ISDN 回線 1　＜初期設定＞
—
→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	任意の番号を指定(最大 13 桁)
⟆	⟆		
6	ISDN 回線 6		

※◇を押すと ISDN 回線が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P039 ダイヤルイン番号指定

P039 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号
DI 番号 01　＜初期設定＞
—
→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	任意の番号を指定（最大 13 桁）
⟆	⟆		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◇を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。
※市内局番から登録します。
※ 050-XXXX-XXXX を登録する場合は、050 を除いた XXXX-XXXX（8 桁）を登録します。

保留 を押す

■ P040 ダイヤルイン着信音周期指定

P040 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音周期
DI 番号 01= 鳴動周期 0 1　＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：着信音 A

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	01	01：着信音 A 02：着信音 B 03：着信音 C 04：着信音 D 05：着信音 E 06：着信音 F 07：着信音 G 08：着信音 H 09：保留メロディ 1 10：保留メロディ 2 11：着信メロディ 1 12：着信メロディ 2
⟆	⟆		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すと、次のダイヤルイン番号に移動します。
※ 短縮 を押すと、前のダイヤルイン番号に戻ります。

保留 を押す

■ P041 ダイヤルイン着信音種別指定

P041 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音種別
DI 番号　0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：低

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	0	0：低 1：中 2：高
〃	〃		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ P040 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）に設定した場合に限り適用します。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P042 グローバル着信ダイレクト自動転送指定

P042 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄ自動転送
ISDN 回線　　6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：転送可

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	転送可	転送不可
〃	〃		
6	ISDN 回線 6		

保留 を押す

■ P043 ダイヤルイン着信 ダイレクト自動転送指定

P043 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄ自動転送
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：転送可

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	転送可	転送不可
〃	〃		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P044 グローバル着信ダイレクト リモコン指定

P044 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄﾘﾓｺﾝ
ISDN 回線　　6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：指定しない

□: 初期設定

項目	内　　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	指定しない	指定する
〃	〃		
6	ISDN 回線 6		

保留 を押す

■ P045 ダイヤルイン着信 ダイレクトリモコン指定

P045 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信ﾀﾞｲﾚｸﾄﾘﾓｺﾝ
DI 番号　0　　987654321　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定しない	指定する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P047 ダイヤルイン着信疑似コール ウェイティング指定

P047 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信擬似ｺｰﾙｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ
DI 番号　0　　987654321　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定しない	指定する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ [D]P046 グローバル着信疑似コール ウェイティング指定

P046 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信擬似ｺｰﾙｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ
ISDN 回線　　654321　＜初期設定＞

→ ISDN 回線 1：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	指定しない	指定する
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

保留 を押す

■ [D]P048 グローバル着信個別着信 (DIT) 指定 (昼)

P048 GL 個別着信 (DIT) (昼)
ISDN 回線 1
ー　＜初期設定＞

→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

※◇を押すと ISDN 回線が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P049 グローバル着信個別着信（DIT）指定（夜間 A）

P049 GL 個別着信 (DIT) (夜間 A)
ISDN 回線 1
–

＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 （100 ～ 899）
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

※◎を押すと ISDN 回線が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P050 グローバル着信個別着信（DIT）指定（夜間 B）

P050 GL 個別着信 (DIT) (夜間 B)
ISDN 回線 1
–

＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 （100 ～ 899）
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

※◎を押すと ISDN 回線が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P051 グローバル個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

P051 GL 個別着信 DIT 遅延応答時間
ISDN 回線　　0 0 0 0 0 0

＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：0 秒

項目	内　　容	初期値	設定値
1	ISDN 回線 1	0	0：0 秒 1：5 秒 2：10 秒 3：15 秒 4：20 秒 5：30 秒 6：40 秒 7：60 秒
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

保留 を押す

■ P052 ダイヤルイン個別着信（DIT）指定（昼）

P052 DI 個別着信 (DIT) (昼)
DI 番号 01
–

＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 （100 ～ 899）
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◎を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P053 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間 A)

P053 DI 個別着信 (DIT)(夜間 A)
DI 番号 01
－ ＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◎を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P054 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間 B)

P054 DI 個別着信 (DIT)(夜間 B)
DI 番号 01
－ ＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定なし

項目	内　　容	数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※◎を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※[＊]を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P055 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 遅延応答時間指定

P055 DI 個別着信 (DIT) 遅延応答時間
DI 番号　0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：0 秒

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン番号 01	0	0：0 秒 1：5 秒 2：10 秒 3：20 秒 4：30 秒 5：40 秒 6：50 秒 7：60 秒
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ [発信] を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P056 認識グループ着信時の動作指定

P056 識別ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信時の動作
グループ 0
自動転送 / 留守番応答　　2 1 ＜初期設定＞

→ 留守番応答：指定する

□: 初期設定

項目	内　　容		設定値	
			数字表示	－表示
01	グループ 0	留守番応答	指定する	指定しない
		自動転送		
∫	∫	∫		
10	グループ 9	留守番応答		
		自動転送		

※◎を押すとグループ番号が変わります。

保留 を押す

■ P057 内線個別信号呼出音種別指定

P057 内線個別信号呼出音種別
0 ＜初期設定＞
→ 着信音 1

初期値	設定値
0	0：着信音 1 1：着信音 2 2：着信音 3 3：単音

保留 を押す

■ P058 グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定

P058 ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出時の外部ｽﾋﾟｰｶ呼出
ｸﾞﾙｰﾌﾟA
外部スピーカ 2/1 2 1 ＜初期設定＞
→ 呼び出さない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	グループ A	外部スピーカ 1～2	呼び出さない	呼び出す
∫	∫			
9	グループ I			

※◇を押すとグループ番号が変わります。

保留 を押す

■ P059 VoIP 外線自動選局禁止番号指定

P059 VoIP 外線自動選局禁止番号
禁止番号 01
0 0 1 ＜初期設定＞

項目	内　容	初期値	設定値
01	VoIP 外線自動選局禁止番号 01	001	任意の番号を指定（最大 12 桁）
02	VoIP 外線自動選局禁止番号 02	003	
03	VoIP 外線自動選局禁止番号 03	004	
04	VoIP 外線自動選局禁止番号 04	005	
05	VoIP 外線自動選局禁止番号 05	006	
06	VoIP 外線自動選局禁止番号 06	007	
07	VoIP 外線自動選局禁止番号 07	008	
08	VoIP 外線自動選局禁止番号 08	0091	
09	VoIP 外線自動選局禁止番号 09	010800	
10	VoIP 外線自動選局禁止番号 10	0120	
11	VoIP 外線自動選局禁止番号 11	0170	
12	VoIP 外線自動選局禁止番号 12	0180	
13	VoIP 外線自動選局禁止番号 13	0190	
14	VoIP 外線自動選局禁止番号 14	020	
15	VoIP 外線自動選局禁止番号 15	0570	
16	VoIP 外線自動選局禁止番号 16	060	
17	VoIP 外線自動選局禁止番号 17	0800	
18	VoIP 外線自動選局禁止番号 18	0990	
19	VoIP 外線自動選局禁止番号 19	10	
20	VoIP 外線自動選局禁止番号 20	11	
21	VoIP 外線自動選局禁止番号 21	12	
22	VoIP 外線自動選局禁止番号 22	13	
23	VoIP 外線自動選局禁止番号 23	14	
24	VoIP 外線自動選局禁止番号 24	15	
25	VoIP 外線自動選局禁止番号 25	16	
26	VoIP 外線自動選局禁止番号 26	17	
27	VoIP 外線自動選局禁止番号 27	18	
28	VoIP 外線自動選局禁止番号 28	19	
29	VoIP 外線自動選局禁止番号 29	指定なし	
∫	∫	∫	
80	VoIP 外線自動選局禁止番号 80	指定なし	

※◇を押すと禁止番号が変わります。
※＊を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P060　VoIP 外線アクセス表示指定

P060 VoIP 外線ｱｸｾｽ表示
IP 電話サービス　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定
＜初期設定＞

初期値	設定値
IP 電話サービス　アクセス	最大全角 16 桁

※ 発信 を押下すると、入力を開始します。設定方法は、電話帳登録と同じです。◉を押すと、入力終了です。

保留 を押す

■ P061 内線番号桁数指定

P061 内線番号桁数
2　＜初期設定＞
→ 内線番号：2 桁

初期値	設定値
2	2：2 桁（10 ～ 89）
	3：3 桁（100 ～ 899）

※ 桁数を変更する場合、確認のメッセージが表示され、1 を押すと変更されます。
※ 桁数変更時、内線で指定されているプログラム設定および、電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。

保留 を押す

■ P062 PB 信号送出パターン指定（送出／ポーズ）

P062 PB信号送出ﾊﾟﾀｰﾝ(送出/ﾎﾟｰｽﾞ)
1　＜初期設定＞
→ 100ms / 80ms

初期値	設定値
1	0：80ms / 60ms
	1：100ms / 80ms
	2：400ms / 100ms
	3：600ms / 100ms
	4：900ms / 200ms

保留 を押す

■ P063 話中／不応答転送タイマ指定

P063 話中 / 不応答転送ﾀｲﾏ
0　＜初期設定＞
→ 10 秒

初期値	設定値
0	0：10 秒
	1：15 秒
	2：20 秒
	3：25 秒
	4：30 秒
	5：35 秒
	6：40 秒
	7：45 秒
	8：50 秒
	9：55 秒

保留 を押す

■ P064 IP 電話自動交換グループ指定

P064 IP 電話自動交換ｸﾞﾙｰﾌﾟ
0　＜初期設定＞
→ 指定なし

初期値	設定値
0	0：指定なし
	1：グループ 1
	2：グループ 2
	3：グループ 3
	4：グループ 4
	5：グループ 5
	6：グループ 6
	7：グループ 7
	8：グループ 8
	9：グループ 9

保留 を押す

■ P065 外部スピーカドアホン 着信音鳴動テナント指定

P065 外部 SP ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動ﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1 の夜間モードに従う

初期値	設定値
1	1：テナント 1 の夜間モードに従う 2：テナント 2 の夜間モードに従う 3：テナント 3 の夜間モードに従う 4：テナント 4 の夜間モードに従う

保留 を押す

■ [D]P066 グローバル着信 CNG 信号検出指定

P066 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 CNG 信号検出
ISDN 回線 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ ISDN 回線 1：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	検出しない	検出する
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

保留 を押す

■ P067 ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定

P067 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 CNG 信号検出
DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ ダイヤルイン番号 01：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	検出しない	検出する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P068 CNG 信号検出時間指定

P068 CNG 信号検出時間
09 ＜初期設定＞
→ 9 秒

初期値	設定値
09	04 ～ 30

※ 04 で 4 秒です。

保留 を押す

■ P069 オンフックリモート転送有効時間指定

P069 ｵﾝﾌｯｸﾘﾓｰﾄ転送有効時間
5 ＜初期設定＞
→ 5 秒

初期値	設定値
5	1 ～ 9

※ 1 で 1 秒です。

保留 を押す

■ [A]P070 CNG 信号検出終了後の開放時間指定

P070 CNG 信号検出終了後の開放時間
30 ＜初期設定＞
→ 30 秒

初期値	設定値
30	10 ～ 99

※ 10 で 10 秒です。

保留 を押す

■ P071 CNG 信号検出禁止番号指定

P071 CNG 信号検出禁止番号
禁止番号 0 1
050 ＜初期設定＞
→ 禁止番号：050

項目	内　容	初期値	設定値
01	CNG 信号検出禁止番号 01	050	任意の番号を指定（最大 8 桁）
02	CNG 信号検出禁止番号 02	090	
03	CNG 信号検出禁止番号 03	0801	
04	CNG 信号検出禁止番号 04	0802	
05	CNG 信号検出禁止番号 05	0803	
06	CNG 信号検出禁止番号 06	0804	
07	CNG 信号検出禁止番号 07	0805	
08	CNG 信号検出禁止番号 08	0806	
09	CNG 信号検出禁止番号 09	0807	
10	CNG 信号検出禁止番号 10	0808	
11	CNG 信号検出禁止番号 11	0809	
12	CNG 信号検出禁止番号 12	指定なし	
∫	∫	∫	
20	CNG 信号検出禁止番号 20	指定なし	

※ ◎ を押すと禁止番号が変わります。
※ 最大 8 桁まで登録可能。
※ ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可能とする。

保留 を押す

■ P072 セーフティシステム設定

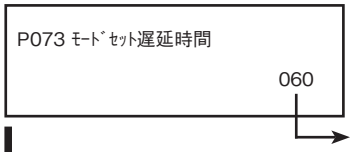


□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	威嚇警報音の音量指定	大	小
2	通報先終話時の威嚇継続指定	威嚇を継続する	威嚇を終了する
3	リレー出力タイミング指定	センサ検知時	威嚇開始時
4	外部スピーカ威嚇音鳴動指定	鳴動あり	鳴動なし
5	通報発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
6	威嚇時発光指定	利用する	利用しない
7	威嚇警報音鳴動指定	鳴動する	鳴動しない
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P073 モードセット遅延時間指定

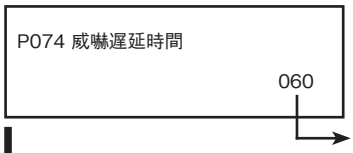


初期値	設定値
060	001 ～ 600

※ 001 ＝ 1 秒　［例］100 ＝ 100 秒
※ 1 秒～ 600 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P074 威嚇遅延時間指定

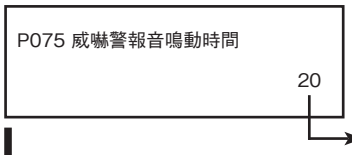


初期値	設定値
060	001 ～ 600

※ 001 ＝ 1 秒　［例］100 ＝ 100 秒
※ 1 秒～ 600 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P075 威嚇警報音鳴動時間指定

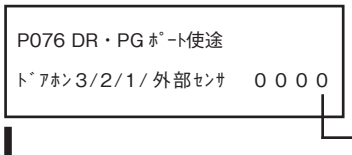


初期値	設定値
20	01 ～ 60

※ 01 ＝ 1 分　［例］10 ＝ 10 分
※ 1 分～ 60 分の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P076 ドア・ページングユニット ポート使途指定



項目	内　容	初期値	設定値
1	外部センサポート	0	0:接続なし（外部センサポート） ドアホン （ドアホンポート 1/2/3） 1：外部センサ（ブレーク） 2：外部センサ（メーク） 3：外部センサ （ワンショット：メーク） 4：警備入力（警備中 ON） 5：警備入力（警備中 OFF）
2	ドアホンポート 1		
3	ドアホンポート 2		
4	ドアホンポート 3		

※外部センサポートにドアホンを接続することはできません。
※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON もしくは警備中 OFF）を指定できます。

保留 を押す

■ P077 ドア・ページングユニットポート対応 セーフティグループ指定

P077 DR・PGﾎﾟｰﾄ対応ｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ
ﾄﾞｱﾎﾝ3/2/1/外部ｾﾝｻ　1 1 1 1　＜初期設定＞

→ 外部センサ：セーフティグループA

項目	内　容	初期値	設定値
1	外部センサポート	1	1：セーフティグループA 2：セーフティグループB
2	ドアホンポート1		
3	ドアホンポート2		
4	ドアホンポート3		

※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（XXX)」もしくは「警備入力（XXX)」に指定されているときのみ有効。
※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「警備入力（XXX)」が複数指定されている場合、同一のセーフティグループに指定を変更するとP076の指定がクリアされます。

保留 を押す

■ P078 通報発信外線強制切断指定

P078 通報発信外線強制切断
ｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟB/A　2 1　＜初期設定＞

→ セーフティグループA：強制切断しない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	セーフティグループA	強制切断しない	強制切断する
2	セーフティグループB		

保留 を押す

■ P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定

P079 ｾﾝｻ入力信号 ON 確定時間
04　＜初期設定＞

→ 50.0ms

初期値	設定値
04	01：12.5ms 02：25.0ms 03：37.5ms 04：50.0ms 05：62.5ms 06：75.0ms 07：87.5ms 08：100.0ms 09：112.5ms 10：125.0ms 11：137.5ms 12：150.0ms 13：162.5ms 14：175.0ms 15：187.5ms 16：200.0ms

保留 を押す

■ P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定

P080 ｾﾝｻ入力信号 OFF 確定時間
02　＜初期設定＞

→ 25.0ms

初期値	設定値
02	01：12.5ms 02：25.0ms 03：37.5ms 04：50.0ms 05：62.5ms 06：75.0ms 07：87.5ms 08：100.0ms 09：112.5ms 10：125.0ms 11：137.5ms 12：150.0ms 13：162.5ms 14：175.0ms 15：187.5ms 16：200.0ms

保留 を押す

■ P081 センサ ON 連続検出回数指定

P081 ｾﾝｻ ON 連続検出回数
1 ＜初期設定＞
→ 1 回

初期値	設定値
1	1 ～ 8

※ 1 回～ 8 回の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P082 センサ OFF 確定時間指定

P082 ｾﾝｻ OFF 確定時間
14 ＜初期設定＞
→ 2000.0ms

初期値	設定値	
14	01：50.0ms	17：2600.0ms
	02：75.5ms	18：2800.0ms
	03：100.0ms	19：3000.0ms
	04：150.0ms	20：3200.0ms
	05：200.0ms	21：3400.0ms
	06：400.0ms	22：3600.0ms
	07：600.0ms	23：3800.0ms
	08：800.0ms	24：4000.0ms
	09：1000.0ms	25：4200.0ms
	10：1200.0ms	26：4400.0ms
	11：1400.0ms	27：4600.0ms
	12：1600.0ms	28：4800.0ms
	13：1800.0ms	29：5000.0ms
	14：2000.0ms	30：5500.0ms
	15：2200.0ms	31：6000.0ms
	16：2400.0ms	32：6500.0ms

保留 を押す

■ P083 一般電話機着信音周期指定

P083 一般電話機着信音周期
外線着信音 1 ＜初期設定＞
→ パターン 1

項目	内　　容	初期値	設定値
1	外線着信音	1	
2	外線個別着信音	1	1：パターン 1
3	内線着信音	2	2：パターン 2
4	ドアホン着信音	3	3：パターン 3
5	着信音転送音	1	4：パターン 4
6	保留警報音	4	

※ ◎ を押すと「外線着信音」～「保留警報音」設定に移ります。

保留 を押す

■ P084 オフフック内線自動発信遅延時間指定

P084 ｵﾌﾌｯｸ内線自動発信遅延時間
000 ＜初期設定＞
→ 0 秒

初期値	設定値
000	000 ～ 180

※ 001 ＝ 1 秒　［例］100 ＝ 100 秒
※ 1 秒～ 180 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P085 外線自動転送発信時の動作指定

P085 外線自動転送発信時の動作
外線転送4/3/2/1　0000　＜初期設定＞
→ 外線転送１：発信側外線１優先

項目	内　容	初期値	設定値
1	外線転送１	1	0：発信側外線１優先 1：発信側外線１、２同時 2：発信側外線１、２順次
2	外線転送２		
3	外線転送３		
4	外線転送４		

※設定値「1：発信側外線１、２同時」「2：発信側外線１、２順次」を利用する場合、「P427 外線自動転送（着信側）指定」にて「外線転送 X：一次応答なし」を選択する必要がある。

保留 を押す

■ P086 外線転送通話ゲイン指定

P086 外線転送通話ゲイン
A－A　4　＜初期設定＞
→ 0db

項目	内　容	初期値	設定値
1	A（アナログ）－A	4	0：－12dB 1：－9dB 2：－6dB 3：－3dB 4：0dB 5：＋3dB 6：＋6dB 7：＋9dB 8：＋12dB
2	A（アナログ）－D		
3	A（アナログ）－V		
4	D（デジタル）－A		
5	D（デジタル）－D		
6	D（デジタル）－V		
7	V（VoIP）－A		
8	V（VoIP）－D		
9	V（VoIP）－V		

※ ◎ を押すと「A－A」～「V－V」設定に移ります。

※ 着信側外線（A）、発信側外線（D）での外線転送が行われた場合、着信回線（A）から発信回線（D）方向への通話ゲインは A－D の指定を利用し、発信回線（D）から着信回線（A）方向への通話ゲインは D－A の指定を利用します。

保留 を押す

■ P087 内線保留音源指定

P087 内線保留音源
1　＜初期設定＞
→ 保留メロディ１

初期値	設定値
1	1：保留メロディ１ 2：保留メロディ２ 3：外部保留音

保留 を押す

■ P088 自動 FW 更新定期チェック間隔指定

P088 自動 FW 更新定期ﾁｪｯｸ間隔
03　＜初期設定＞
→ 3日

初期値	設定値
03	00～60

※ 01 ＝ 1 日　［例］10 ＝ 10 日
※ 00 は定期チェックを行いません
※ 1 日～ 60 日の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P089 自動 FW 更新時間指定

P089 自動 FW 更新時間
02　＜初期設定＞
→ 2時

初期値	設定値
02	00～23

※ 01 ＝ 1 時　［例］10 ＝ 10 時
※ 00 時～ 23 時の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P090 リモートコールバック システム設定

P090 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸｼｽﾃﾑ設定
０９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	リモートコールバック発信回線指定	同一回線	自動選局
2	リモートコールバック PB 未検出時動作指定	切断	一斉着信
3	リモートコールバック 発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
4	リモートコールバック着信 動作指定	切替えない	一斉着信に 切替える
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
10	未使用		

保留 を押す

■ [D]P091 リモートコールバック グローバル着信検出指定

P091 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信検出
ISDN 回線　６５４３２１ ＜初期設定＞

→ ISDN 回線 1：検出しない

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	検出しない	検出する
∫	∫		
6	ISDN 回線 6		

保留 を押す

■ P092 リモートコールバック ダイヤルイン着信検出指定

P092 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信検出
DI 番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：検出しない

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	検出しない	検出する
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P093 リモートコールバック 検出タイマ指定

P093 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ検出ﾀｲﾏ
００７ ＜初期設定＞

→ 7 秒

初期値	設定値
007	004 ～ 180

※ 004 ＝ 4 秒　［例］010 ＝ 10 秒
※ 4 秒～ 180 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

■ P094 リモートコールバック呼出時間指定

P094 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ呼出時間
1 ＜初期設定＞
→ 20 秒（リトライあり）

初期値	設定値
1	0：60 秒（リトライなし） 1：20 秒（リトライあり） 2：40 秒（リトライあり） 3：60 秒（リトライあり）

保留 を押す

■ P096 リモートコールバックテナント指定

P096 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1

初期値	設定値
1	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4

保留 を押す

■ P097 REC 録音時間指定

P097 REC 録音時間
REC1
060 ＜初期設定＞
→ 60 分

項目	内　容	初期値	設定値
1	REC1	060	000 ～ 240
∫	∫		
4	REC4		

※ ◇ を押すと REC 番号が変わります。
※ 録音時間は全 REC を合計して 240 分まで指定可能です。
※ 10 分間隔でのみ指定可能です。

保留 を押す

■ P098 メール通知指定

P098 ﾒｰﾙ通知
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ IP ｱﾄﾞﾚｽ変更時 ＝ OFF ＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
1	グローバル IP アドレス変更時	ON：通知する	OFF：通知しない
2	セーフティ動作時		

※ 発信 を押すと「グローバル IP アドレス変更時」「セーフティ動作時」設定に移ります。
※ 1 を押すと“ON”を指定します。
※ 0 を押すと“OFF”を指定します。

保留 を押す

■ P099 パーク保留音源指定

P099 パーク保留音源
パーク 00 1 ＜初期設定＞
→ パーク 00：保留メロディ 1

項目	内　容	初期値	設定値
01	パーク 00	1	1：保留メロディ 1
∫	∫		2：保留メロディ 2
20	パーク 19		3：外部保留音

※ ◇ を押すとパーク番号が変わります。

保留 を押す

収容外線対応

■ P101 外線収容および外線種別指定

P101 外線収容および外線種別
収容外線　0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：局線 &ISDN

項目	内　容	初期値	設定値
01	収容外線 01	1	0：未収容 1：局線 & ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話オフィス（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け）
∫	∫		
12	収容外線 12		

※「ひかり電話（外付け）」および「ひかり電話オフィス（外付け）は、ひかり電話対応アダプタを使用する場合に指定してください」。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、01 番台→ 10 番台に変わります。

■ P101　外線種別指定

[例] 収容外線 05 を「PBX 内線」にする場合。

1 0 5（収容外線 05）を押す

P101 外線種別
収容外線　0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
▼ カーソル ←

2 2（PBX 内線）を押す

P101 外線種別
収容外線　0　1 1 1 1 2 1 1 1 1 1
収容外線 05：PBX 内線 ←

保留 を押す

■ [A]P102 アナログ外線ダイヤル種別指定

P102 ｱﾅﾛｸﾞ外線ﾀﾞｲﾔﾙ種別
収容外線　0　2 2 2 2 2 2 2 2 2 2　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：PB

項目	内　容	初期値	設定値
01	収容外線 01	2	0：DP（10PPS） 1：DP（20PPS） 2：PB
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ P103 NCC 回線指定

P103 NCC 回線
収容外線　0　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：NCC 回線

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	収容外線 01	NCC 回線	NTT 回線
∫	∫		
12	収容外線 12		
13	収容外線 13（内蔵 VoIP01）	NCC 回線	NTT 回線
∫	∫		
44	収容外線 44（内蔵 VoIP32）		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台に変わります。

保留 を押す

■ [A]P105 アナログ外線 NTT 付加サービス指定

P105 ｱﾅﾛｸﾞ外線 NTT 付加ｻｰﾋﾞｽ
収容外線　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 収容外線 01：利用しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	収容外線 01	利用しない	利用する
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ [A]P106 アナログ外線ダイレクトリモコン指定

P106 ｱﾅﾛｸﾞ外線ﾀﾞｲﾚｸﾄﾘﾓｺﾝ
収容外線　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 収容外線 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	収容外線 01	指定しない	指定する
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ P107 外線通話ゲイン指定

P107 外線通話ｹﾞｲﾝ
送話音量
収容外線　0　４４４４４４４４４ ＜初期設定＞

→ 収容外線 01：0dB

項目	内　容		初期値	設定値
1	送話音量	収容外線 01 ～ 12、収容外線 13 ～ 44（内蔵 VoIP01 ～ 内蔵 VoIP32）	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	受話音量	収容外線 01 ～ 12、収容外線 13 ～ 44（内蔵 VoIP01 ～ 内蔵 VoIP32）		

※ ◎ を押すと「送話音量」「受話音量」設定に移ります。

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台に
変わります。

保留 を押す

■ [A]P108 アナログ外線発信電話番号の通知状態指定

P108 CO 発信電話番号の通知状態
収容外線　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 収容外線 01：通常通知

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	収容外線 01	通常通知	通常非通知
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ [A]P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出指定

P109 ｱﾅﾛｸﾞ外線着信 CNG 信号検出
収容外線　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 収容外線 01：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	収容外線 01	検出しない	検出する
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ [A]P110 アナログ外線キャッチホン契約サービス指定

P110 ｱﾅﾛｸﾞ外線ｷｬｯﾁﾎﾝ契約ｻｰﾋﾞｽ
収容外線　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 収容外線 01：契約なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	収容外線 01	契約なし	契約あり
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

■ [A]P111 リモートコールバック アナログ着信検出指定

P111 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸｱﾅﾛｸﾞ着信検出
収容外線　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 収容外線 01：検出しない

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	収容外線 01	検出しない	検出する
∫	∫		
12	収容外線 12		

※ 発信 を押すごとに表示の収容外線番号が、
01 番台→ 10 番台に変わります。

保留 を押す

電話機対応

■ P201 内線番号指定

P201 内線番号
実装番号 0 1 = 内線番号 10 ＜初期設定＞

項目	内　　容	初期値 内線桁数 2 桁	初期値 内線桁数 3 桁	設定値
01	実装番号 01	10	100	内線番号 10 ～ 89 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫	∫	∫	
32	実装番号 32	41	131	
33	実装番号 33（SLI1）	42	132	
34	実装番号 34（SLI2）	43	133	
35	実装番号 35（PS 電話機）	44	134	
∫	∫	∫	∫	
50	実装番号 50（PS 電話機）	59	149	
51	実装番号 51（IP 電話機）	60	150	
∫	∫	∫	∫	
80	実装番号 80（IP 電話機）	89	179	
81	実装番号 81（IP 電話機）	00	180	
82	実装番号 82（IP 電話機）	00	181	

※ 発信 を押すと実装番号が 1 つ進みます。
※ 短縮 を押すと実装番号が 1 つ戻ります。
※ ＊ を押すと入力番号が消去されます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

■ P201　プログラム番号 P201

[例] 実装番号 05 の電話機を内線番号 14 (初期設定) から内線番号 20 に変更する場合。

1 発信 を 4 回押し実装番号を 05 にする。

P201 内線番号
実装番号 05 = 内線番号 14
▼ カーソル ←

2 2 0 (変更後の内線番号) を押す

P201 内線番号
実装番号 05 = 内線番号 20

※既に内線番号 20 に設定されている電話機が存在した場合、内線番号の入れ換えが行われ、その電話機の内線番号が 14 になります。

保留 を押す

■ P202 内線代表番号指定

P202 内線代表番号
実装番号 0 1 = 内線番号 _ ＜初期設定＞

項目	内　　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）		
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		

※ 実装番号 01 の内線番号が 10 で、本設定にて、実装番号 01 ＝ 11 と設定すると、内線 10 番を呼び出したときに、内線 10 番が話中だと自動的に内線 11 番に着信がスライドします。
※ 発信 を押すと次の実装番号が表示されます。
※ 短縮 を押すと実装番号が 1 つ戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P203　電話機グループ呼出指定

P203 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
実装番号　0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：グループ A

項目	内　　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	1	0：無所属　5：グループ E 1：グループ A　6：グループ F 2：グループ B　7：グループ G 3：グループ C　8：グループ H 4：グループ D　9：グループ I
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	0	
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）	1	
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 同一グループに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 自営標準、SLI、IP 電話機は鳴動しない。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

■ P203　プログラム番号 P203

[例] 実装番号 01、12 をグループ B に変更する場合。

1 0 1（実装番号 01）を押す

P203 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
実装番号　0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
▼　カーソル ←

2 2（グループ B）を押す

P203 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
実装番号　0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 2
▼

3 1 2（実装番号 12）を押す
（または 発信 を押し 1 2 を押す）

P203 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
実装番号　1　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
▼　カーソル ←

4 2（グループ B）を押す

P203 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
実装番号　1　1 1 1 1 1 1 2 1 1
実装番号 12：グループ B ←

保留 を押す

■ P204　サービスクラス指定

P204 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ
実装番号　0　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：特甲

項目	内　　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：特甲 1：準特甲 2：甲 3：準甲 4：PBX 内準甲
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）		
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	すべての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外※1 のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
準甲	すべての外線が発信不可能 （内線のみ可）
PBX 内準甲	すべての外線が発信不可能 （PBX 内線および内線のみ可）

※ 1 P016 特定市外発信番号指定（準特甲）で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P205　話中着信指定

P205 話中着信
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：鳴動あり

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）	指定無効	
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台
に変わります。
※ 自営標準、SLI への指定は無効です。

保留 を押す

■ P206　外線通話割込指定

P206 外線通話割込
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：割り込み不可

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	割り込み不可	割り込み可
⟆	⟆		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）	指定無効	
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	割り込み不可	割り込み可
⟆	⟆		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台
に変わります。
※ 自営標準、SLI への指定は無効です。

保留 を押す

■ P207　通話警告音鳴動指定

P207 通話警告音鳴動
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：鳴動あり

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	鳴動なし	鳴動あり
⟆	⟆		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）	指定無効	
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	鳴動なし	鳴動あり
⟆	⟆		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台
に変わります。
※ 自営標準、SLI への指定は無効です。

保留 を押す

■ P208　ハンズフリー通話制御指定

P208 ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話制御
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：指定なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定なし	指定あり
⟆	⟆		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P209　ヘッドセット接続指定

P209 ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ接続
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：接続なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	接続なし	接続あり
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P210　留守番電話機指定（REC）

P210 留守番電話機 (REC)
REC1 = 実装番号　０１　＜初期設定＞
→ REC1：実装番号 01

項目	内　容	初期値	設定値
1	REC1	01	00：指定なし 01 ～ 32：実装番号 01 ～ 32
2	REC2	00	
3	REC3		
4	REC4		
5	REC Busy		

※ 発信 を押すと、REC 番号が 1 つ進みます。
※ 短縮 を押すと、REC 番号が 1 つ戻ります。

REC Busy には、通話中 Busy（話中）拒否のセット操作を行うための電話機を指定します。

保留 を押す

■ P211 オフフック発信指定

P211 ｵﾌﾌｯｸ発信
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定なし	指定あり
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P212 発信優先モード指定

P212 発信優先ﾓｰﾄﾞ
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：内線優先モード

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	内線優先モード	外線優先モード
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）	内線優先モード	外線優先モード
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台に変わります。
※ PS 電話機への指定は自営標準を運用している場合に限り有効。
※ 指定に関係なく多回線 PS（PS601 など）の場合は「外線優先モード」で動作する。
※ 多回線 PS（PS601 など）への指定は無効。

保留 を押す

■ P213 一般電話機の種別指定

P213 一般電話機の種別
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 09：PB

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定無効	
⟆	⟆		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09	PB	DP
⟆	⟆		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります
※ 初実装の電話機標準ポートへの指定は無効。

保留 を押す

■ P214　ドアホン着信自動応答指定

P214 ﾄﾞｱﾎﾝ着信自動応答
ドアホン 1
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：有

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	実装番号 01 ～ 32	有	無
		実装番号 33、34（SLI1、2）	指定無効	
		実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）	有	無
⟆	⟆	⟆	⟆	
3	ドアホン 3	実装番号 01 ～ 32	有	無
		実装番号 33、34（SLI1、2）	指定無効	
		実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）	有	無

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台に変わります。
※ 自営標準、SLI への指定は無効です。
※ 指定に関係なく自営標準、SLI の場合は「有」で動作する。
※ 多回線 PS（PS601 など）の場合は、通話ボタンを押すだけで応答できるか否かを指定する。
※ 自営標準、SLI への指定は無効。

保留 を押す

■ P215 ドアホン着信音鳴動指定（昼）

P215 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動（昼）
ドアホン 1
実装番号 0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	実装番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 33、34（SLI1、2）	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）		
		実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）		
⟆	⟆	⟆	⟆	⟆
3	ドアホン 3	実装番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 33、34（SLI1、2）	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）		
		実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）		

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P216 ドアホン着信音鳴動指定（夜間 A）

P216 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動（夜間 A)
ドアホン 1
実装番号 0　　－－－－－－－－ 2 1　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	－表示
1	ドアホン 1	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 32 実装番号 33、34（SLI1、2） 実装番号 35 ～ 50（PS 電話機） 実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫	∫	∫	∫
3	ドアホン 3	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 32 実装番号 33、34（SLI1、2） 実装番号 35 ～ 50（PS 電話機） 実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P217 ドアホン着信音鳴動指定（夜間 B）

P217 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音鳴動（夜間 B)
ドアホン 1
実装番号 0　　－－－－－－－－ 2 1　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	－表示
1	ドアホン 1	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 32 実装番号 33、34（SLI1、2） 実装番号 35 ～ 50（PS 電話機） 実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫	∫	∫	∫
3	ドアホン 3	実装番号 01、02	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 03 ～ 32 実装番号 33、34（SLI1、2） 実装番号 35 ～ 50（PS 電話機） 実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）	鳴動あり	鳴動なし

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 同一ドアホンに対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P218　発信者番号選択指定

P218 発信者番号選択
実装番号　0 1 = 発信者番号　0 0　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：捕捉した外線の電話番号

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	00	00：捕捉した外線の電話番号 01 ～ 06： ISDN 回線 1 ～ 6 07 ～ 38： ダイヤルイン番号 01 ～ 32
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）		
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		
83	実装番号 83（ユーザー登録）		
84	実装番号 84（システム間）		

※ 発信 を押すと、実装番号が 1 つ進みます。
※ 短縮 を押すと、実装番号が 1 つ戻ります。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P219 発信者番号表示指定

P219 発信者番号表示
実装番号　0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：表示する（名前と番号）

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	表示する（名前と番号）	表示しない
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）		
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		

※ 発信を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 自営標準への指定は無効です。
※ 内線番号桁数が２桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留を押す

■ P220 着信順次分配グループ 内線番号指定

P220 着信順次分配ｸﾞﾙｰﾌﾟ内線番号
テーブル０１
グループ__：　＜初期設定＞
→ 内線番号：指定なし
→ グループ番号：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	登録テーブル番号 01	グループ番号：指定なし 内線番号：指定なし	グループ番号：1 ～ 4 内線番号：10 ～ 89 ※内線３桁モードの場合 （100 ～ 899）
∫	∫		
16	登録テーブル番号 16		

※ 分配グループはシステムで最大 4 グループまでとします。
（1 グループで 16 台でも 4 グループで合計 16 台でも可）
※ 着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分けます。
※ ◎を押すとテーブル番号が変わります。

保留を押す

■ P221 着信順次分配グループ 代表番号指定

P221 着信順次分配ｸﾞﾙｰﾌﾟ代表番号
グループ１：内線番号__　＜初期設定＞
→ 指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	着信順次分配グループ 1	指定なし	内線番号 10 ～ 89 ※内線３桁モードの場合 （100 ～ 899）
2	着信順次分配グループ 2		
3	着信順次分配グループ 3		
4	着信順次分配グループ 4		

※ 代表番号は実装されていない内線番号を指定する。実装されている内線番号と重複した番号を指定した場合は内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。
※ 本データは外線個別（DIT）着信に対して適用する。（内線個別着信および ISDN サブアドレス着信には適用しない）
※ 発信を押すと、グループ番号が変わります。

保留を押す

■ P222 通話メモ使用 REC 指定

P222 通話ﾒﾓ使用 REC
実装番号　0　０００００００００　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：指定なし 1：REC1 2：REC2 3：REC3 4：REC4
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留を押す

■ P223 ドアホン着信指定

P223 ﾄﾞｱﾎﾝ着信
ドアホン１
実装番号 0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定する

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ドアホン１	実装番号 01 ～ 32	指定する	指定しない
∫	∫	実装番号 33、34（SLI1、2）		
3	ドアホン３	実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）		
		実装番号 51 ～ 82（IP 電話機）		

※◇を押すとドアホン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 内線番号桁数が２桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P224 着信履歴指定

P224 着信履歴
実装番号 0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：残す

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	残す	残さない
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）		
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。

保留 を押す

■ P225 オフフック内線自動発信指定

P225 ｵﾌﾌｯｸ内線自動発信
実装番号 0 1
＿ ＜初期設定＞
→ 指定なし

項目	内　容	数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線３桁モードの場合（100 ～ 899）
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		

※◇を押すと実装番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P226 セーフティグループ指定

P226 セーフティグループ
実装番号　0　０００００００００ ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：指定なし 1：セーフティグループ A 2：セーフティグループ B 3：警報鳴動グループ A 4：警報鳴動グループ B
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P228 音声威嚇電話機指定

P228 音声威嚇電話機
セーフティグループ A
音声威嚇電話 1 = 実装番号 0 0 ＜初期設定＞
→ 音声威嚇電話機 1：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	セーフティグループ A	音声威嚇電話機 1	0	00：指定なし 01 ～ 32： 実装番号 01 ～ 32
		音声威嚇電話機 2		
		音声威嚇電話機 3		
2	セーフティグループ B	音声威嚇電話機 1		
		音声威嚇電話機 2		
		音声威嚇電話機 3		

※ ◎ を押すとセーフティグループが変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の音声威嚇電話機番号が変わります。
※ セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を設定してください。
※ 音声威嚇に指定できる電話機は TD・LD・CL 電話機です。
※ P226 で同じグループに属する電話機のみ指定可。

保留 を押す

■ P229 センサ動作指定

P229 ｾﾝｻ動作
実装番号 0 ―――――――― ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：許可しない
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	許可する	許可しない
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ センサ付き電話機に対してのみ有効。

保留 を押す

■ P230 ワンショット留守番機能使用 REC 指定

P230 ﾜﾝｼｮｯﾄ留守番機能使用 REC
実装番号 0 0000000000 ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：未使用

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：未使用 1：REC1 2：REC2 3：REC3 4：REC4
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ P210 で REC 子機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできません。（REC Busy を除く）

保留 を押す

■ P231 内線呼出優先順位指定

P231 内線呼出優先順位
実装番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：音声呼
□：初期設定

項目	内　容	数字表示	ー表示
01	実装番号 01	音声呼	信号呼
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）	指定無効	
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	音声呼	信号呼
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台に変わります。
※ DC 子機、自営標準、SLI への指定は無効です。

保留 を押す

■ P232 PS 一斉呼出指定

P232 PS 一斉呼出
実装番号　0　－－－－－－－－－－ ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定無効

：初期設定

項目	内　容	数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定無効	
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	指定する	指定しない
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台に変わります。
※ PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 電話機標準ポートおよび SLI への指定は無効です
※ 自営標準は鳴動しない。

保留 を押す

■ P233 チャイム音鳴動指定

P233 ﾁｬｲﾑ音鳴動
実装番号 0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ 実装番号 01：鳴動あり

：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P234 いらっしゃいまセンサ指定

P234 いらっしゃいまｾﾝｻ
センサ A = 指定番号　００ ＜初期設定＞
→ いらっしゃいまセンサ A：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサ A	00	00：指定なし 01 ～ 32：実装番号 01 ～ 32 33：外部センサポート 34：ドアホンポート 1 35：ドアホンポート 2 36：ドアホンポート 3
2	いらっしゃいまセンサ B		

※ 発信 を押すとセンサが変わります。

保留 を押す

■ P235 いらっしゃいまセンサ間隔時間指定

P235 いらっしゃいまｾﾝｻ間隔時間
いらっしゃいまセンサ A
００ ＜初期設定＞
→ いらっしゃいまセンサ A：0 秒

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサ A	00	00 ～ 99
2	いらっしゃいまセンサ B		

※ 01 で 1 秒です。
※ ◇ を押すといらっしゃいまセンサが変わります。

保留 を押す

■ P236 いらっしゃいまセンサゲイン指定

P236 いらっしゃいまｾﾝｻｹﾞｲﾝ
いらっしゃいまｾﾝｻ B/A　　4 4　＜初期設定＞
→ いらっしゃいまセンサ A：0dB

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサ A	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	いらっしゃいまセンサ B		

保留 を押す

■ P237 不応答着信お知らせ表示指定

P237 不応答着信お知らせ表示
実装番号　0　　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：行わない
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	行う	行わない
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ DIT 個別着信には適用しない。

保留 を押す

■ P238 FAX 着信お知らせ表示指定

P238 FAX 着信お知らせ表示
実装番号　0　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：指定なし 1：SLI1 2：SLI2
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P239 いらっしゃいまセンサグループ指定

P239 いらっしゃいまｾﾝｻｸﾞﾙｰﾌﾟ
実装番号　0　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 01	0	0：指定なし 1：いらっしゃいまセンサグループ A 2：いらっしゃいまセンサグループ B
∫	∫		
32	実装番号 32		

保留 を押す

■ P240 いらっしゃいまセンサ鳴動音種別指定

P240 いらっしゃいまｾﾝｻ鳴動音種別
いらっしゃいまｾﾝｻ B/A　　0 0　＜初期設定＞

→ いらっしゃいまセンサ A：いらっしゃいませ

項目	内　容	初期値	設定値
1	いらっしゃいまセンサ A	0	0：いらっしゃいませ 1：ピンポーン 2：ピンポーン・パンポーン 3：ピロリロリロリロ・・
2	いらっしゃいまセンサ B		

保留 を押す

■ P241 掲示板更新お知らせ表示指定

P241 掲示板更新お知らせ表示
実装番号 0　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：行わない

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	行う	行わない
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P242 一般電話機ディスプレイ指定

P242 一般電話機ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
実装番号 0　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞

→ 実装番号 09：非対応

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	指定無効	
∫	∫		
08	実装番号 08		
09	実装番号 09	対応	非対応
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P243 地震速報動作指定

P243 地震速報動作指定
実装番号 0　９８７６５４３２１　＜初期設定＞

→ 実装番号 01：指定あり

□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	実装番号 01	指定あり	指定なし
∫	∫		
32	実装番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

メニュープログラミング対応

■ P301 通常着信指定

P301 通常着信
実装番号 01
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定する

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定する	指定しない
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35(PS 電話機)			
⟆	⟆			
50	実装番号 50(PS 電話機)			
51	実装番号 51(IP 電話機)			
⟆	⟆			
82	実装番号 82(IP 電話機)			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P302　着信音鳴動指定（昼）

P302 着信音鳴動（昼）
実装番号 01
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35(PS 電話機)		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
50	実装番号 50(PS 電話機)			
51	実装番号 51(IP 電話機)			
⟆	⟆			
82	実装番号 82(IP 電話機)			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P303　着信音鳴動指定（夜間 A）

P303 着信音鳴動（夜間 A）
実装番号 01
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

外線番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35(PS 電話機)			
⟆	⟆			
50	実装番号 50(PS 電話機)			
51	実装番号 51(IP 電話機)			
⟆	⟆			
82	実装番号 82(IP 電話機)			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P304　着信音鳴動指定（夜間 B）

P304 着信音鳴動（夜間 B）
実装番号 01
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

外線番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35(PS 電話機)			
⟆	⟆			
50	実装番号 50(PS 電話機)			
51	実装番号 51(IP 電話機)			
⟆	⟆			
82	実装番号 82(IP 電話機)			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P305 ダイヤルイン着信指定

P305 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：指定する

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	指定する	指定しない
∫	∫			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
∫	∫			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
∫	∫			
82	実装番号 82（IP 電話機）			

※ ◎ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P306 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）

P306 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音鳴動（昼）
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動あり

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）		鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
∫	∫			
82	実装番号 82（IP 電話機）			

※ ◎ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P307 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）

P307 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音鳴動（夜間 A）
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01,02	実装番号 01、02	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
∫	∫			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
∫	∫			
82	実装番号 82（IP 電話機）			

※ ◎ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P308 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）

P308 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信音鳴動（夜間 B）
実装番号 0 1
DI 番号　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動あり
（実装番号 01、02 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01,02	実装番号 01、02	ダイヤルイン番号 01 ～ 32	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号 03		鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
∫	∫			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
∫	∫			
82	実装番号 82（IP 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一ダイヤルイン番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P309 発信規制指定（昼）

P309 発信規制（昼）
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：発信可

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	発信可	発信不可
∫	∫			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
∫	∫			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
∫	∫			
82	実装番号 82（IP 電話機）			
83	実装番号 83（ユーザー登録）			
84	実装番号 84（システム間）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作します。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P310 発信規制指定（夜間 A）

P310 発信規制（夜間 A）
実装番号 0 1
外線番号 0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：発信可

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	発信可	発信不可
∫	∫			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
∫	∫			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
∫	∫			
82	実装番号 82（IP 電話機）			
83	実装番号 83（ユーザー登録）			
84	実装番号 84（システム間）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作します。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P311 発信規制指定（夜間 B）

P311 発信規制（夜間 B）
実装番号 0 1
外線番号 0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：発信可

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	発信可	発信不可
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
⟆	⟆			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
⟆	⟆			
82	実装番号 82（IP 電話機）			
83	実装番号 83（ユーザー登録）			
84	実装番号 84（システム間）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作します。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P312 コールバック着信音鳴動指定

P312 ｺｰﾙﾊﾞｯｸ着信音鳴動
実装番号 0 1
外線番号 0　９ ８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動あり
（実装番号 01 ～ 32 のみ鳴動あり）

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
⟆	⟆			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
⟆	⟆			
82	実装番号 82（IP 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することができます。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P313 自動選局指定（発信）

P313 自動選局（発信）
実装番号 0 1
外線番号 0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：自動選局する

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	自動選局する	自動選局しない
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）			
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）			
⟆	⟆			
50	実装番号 50（PS 電話機）			
51	実装番号 51（IP 電話機）			
⟆	⟆			
82	実装番号 82（IP 電話機）			

※「自動選局しない」に設定した外線番号は、発信、メニュー操作からの短縮発信、リダイヤル、オートダイヤル、ダイヤルアクセス 0 による外線自動捕捉において選択されなくなります。
※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P314 自動選局指定（応答）

P314 自動選局（応答）
実装番号 01
外線番号 0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：応答可

□：初期設定

項目	内　容		設定値 数字表示	設定値 一表示
01	実装番号 01	外線番号 01 ～ 30	応答可	応答不可
⟆	⟆			
32	実装番号 32			
33	実装番号 33（SLI1）		指定無効	
34	実装番号 34（SLI2）			
35	実装番号 35（PS 電話機）		応答可	応答不可
⟆	⟆			
50	実装番号 50（PS 電話機）			

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。
※ 自営標準、SLI への指定は無効です。

保留 を押す

■ P315 外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）



＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動なし

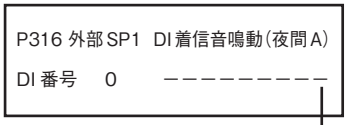
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P316 外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）



＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動なし

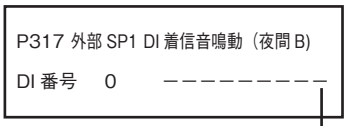
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P317 外部スピーカ 1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）



＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動なし

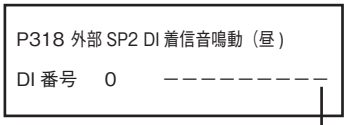
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P318 外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）



＜初期設定＞

→ ダイヤルイン番号 01：鳴動なし

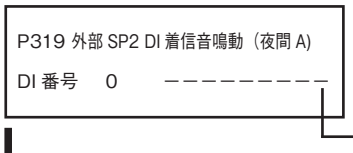
□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P319 外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）



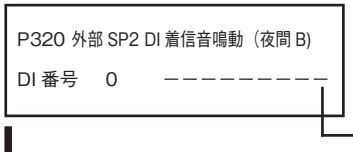
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P320 外部スピーカ 2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）



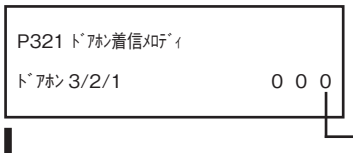
：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

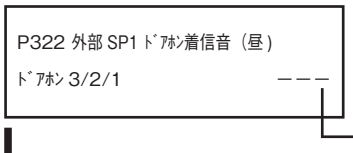
■ P321 ドアホン着信メロディ指定



項目	内　容	初期値	設定値
1	ドアホン 1	0	0：指定なし（P032 に従う） 1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：着信メロディ 1 4：着信メロディ 2
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P322 外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定（昼）

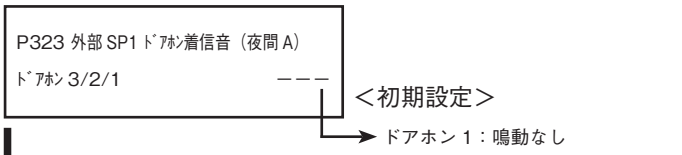


：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	－表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P323 外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定（夜間 A）

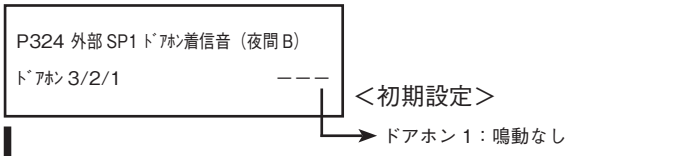


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P324 外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定（夜間 B）

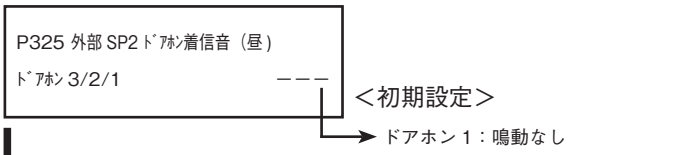


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P325 外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定（昼）

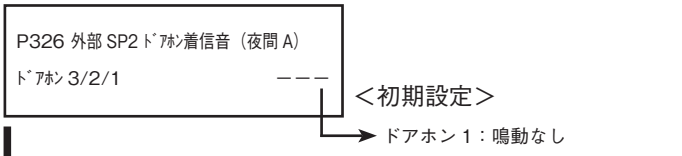


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P326 外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定（夜間 A）

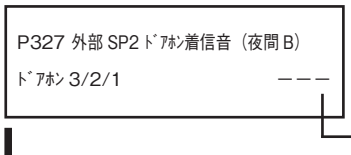


: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P327 外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定（夜間 B）



＜初期設定＞

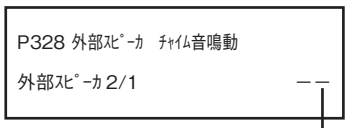
→ ドアホン 1：鳴動なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	ドアホン 1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

■ P328 外部スピーカチャイム音 鳴動指定



＜初期設定＞

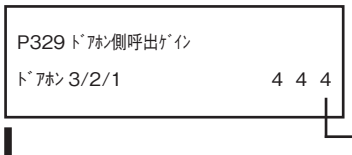
→ 外部スピーカ 1：鳴動なし

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
1	外部スピーカ 1	鳴動あり	鳴動なし
2	外部スピーカ 2		

保留 を押す

■ P329 ドアホン側呼出ゲイン指定



＜初期設定＞

→ ドアホン 1：0dB

項目	内　容	初期値	設定値
1	ドアホン 1	4	0：－ 12dB 1：－ 9dB 2：－ 6dB 3：－ 3dB 4：0dB 5：＋ 3dB 6：＋ 6dB 7：＋ 9dB 8：＋ 12dB
2	ドアホン 2		
3	ドアホン 3		

保留 を押す

テナント対応

■ P401 電話機の所属テナント指定

P401 電話機の所属ﾃﾅﾝﾄ
実装番号 0　　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 実装番号 01：テナント 1

項目	内　容		設定値
01	実装番号 01	1	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）		
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		
51	実装番号 51（IP 電話機）		
∫	∫		
82	実装番号 82（IP 電話機）		
83	実装番号 83（ユーザー登録）		

※ 発信 を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 80 番台に変わります。
※ 内線番号桁数が 2 桁の場合、実装番号 81、82 は利用不可。

保留 を押す

■ P402 テナント外線ボタン割付指定

P402 ﾃﾅﾝﾄ外線ﾎﾞﾀﾝ割付
テナント 1
外線番号 0　　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：外線（局線／ ISDN）

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 外線番号 12	1	0：オートダイヤル 1：外線（局線／ ISDN） 2：VoIP （内蔵／外付けアダプタ） 3：PBX 内線 4：ひかり （内蔵／外付けアダプタ） 5：PHS（外付けアダプタ） 6：ナースコール（外付けアダプタ）
		外線番号 13 ～ 外線番号 30	0	
2	テナント 2	外線番号 01 ～ 外線番号 30		
3	テナント 3			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台に変わります。

保留 を押す

■ P403 テナント 1 外線発信時の収容外線指定

P403 ﾃﾅﾝﾄ 1 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 －　＜初期設定＞
→ 収容外線 01：許可する

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
02	外線番号 02	収容外線 02	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
03	外線番号 03	収容外線 03	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
04	外線番号 04	収容外線 04	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
05	外線番号 05	収容外線 05	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
06	外線番号 06	収容外線 06	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
07	外線番号 07	収容外線 07	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
08	外線番号 08	収容外線 08	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
09	外線番号 09	収容外線 09	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
10	外線番号 10	収容外線 10	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
11	外線番号 11	収容外線 11	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
12	外線番号 12	収容外線 12	許可しない	許可する
		その他の収容外線	許可しない	許可する
13	外線番号 13	収容外線 01 ～ 12、 収容外線 13 ～ 44 （内蔵 VoIP01 ～ 32）	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容外線が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に設定されているボタンには収容外線 01 ～ 12 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに設定されているボタンには収容外線 01 ～ 12（外付けアダプタ）、収容外線 13 ～ 44（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ P404 テナント 2 外線発信時の収容外線指定

P404 ﾃﾅﾝﾄ 2 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 収容外線 01：許可しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01 ～ 12、 収容外線 13 ～ 44 （内蔵 VoIP01 ～ 32）	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◇ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に指定されているボタンには収容外線 01 ～ 12 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに指定されているボタンには収容外線 01 ～ 12（外付けアダプタ）、収容外線 13 ～ 44（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ P405 テナント 3 外線発信時の収容外線指定

P405 ﾃﾅﾝﾄ 3 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 収容外線 01：許可しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01 ～ 12、 収容外線 13 ～ 44 （内蔵 VoIP01 ～ 32）	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◇ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に指定されているボタンには収容外線 01 ～ 12 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに指定されているボタンには収容外線 01 ～ 12（外付けアダプタ）、収容外線 13 ～ 44（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ P406 テナント 4 外線発信時の収容外線指定

P406 ﾃﾅﾝﾄ 4 外線発信時の収容外線
外線番号 0 1
収容外線　0　　9 8 7 6 5 4 3 2 1 ＜初期設定＞

→ 収容外線 01：許可しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号 01	収容外線 01 ～ 12、 収容外線 13 ～ 44 （内蔵 VoIP01 ～ 32）	許可しない	許可する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◇ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の収容番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。
※ P402 で外線もしくは PBX 内線、PHS に指定されているボタンには収容外線 01 ～ 12 のみ指定可。
※ P402 で VoIP もしくはひかりに指定されているボタンには収容外線 01 ～ 12（外付けアダプタ）、収容外線 13 ～ 44（内蔵）が指定可。

保留 を押す

■ [A]P407 テナント 1 アナログ着信 着信外線指定

P407 ﾃﾅﾝﾄ 1 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 0 1
外線番号 0　９８７６５４３２－ ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定する

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	収容外線 01	外線番号 01	指定しない	指定する
		外線番号 02 ～ 30	指定しない	指定する
02	収容外線 02	外線番号 02	指定しない	指定する
		外線番号 01、03 ～ 30	指定しない	指定する
03	収容外線 03	外線番号 03	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 02、04 ～ 30	指定しない	指定する
04	収容外線 04	外線番号 04	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 03、05 ～ 30	指定しない	指定する
05	収容外線 05	外線番号 05	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 04、06 ～ 30	指定しない	指定する
06	収容外線 06	外線番号 06	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 05、07 ～ 30	指定しない	指定する
07	収容外線 07	外線番号 07	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 06、08 ～ 30	指定しない	指定する
08	収容外線 08	外線番号 08	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 07、09 ～ 30	指定しない	指定する
09	収容外線 09	外線番号 09	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 08、10 ～ 30	指定しない	指定する
10	収容外線 10	外線番号 10	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 09、11 ～ 30	指定しない	指定する
11	収容外線 11	外線番号 11	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 10、12 ～ 30	指定しない	指定する
12	収容外線 12	外線番号 12	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 11、13 ～ 30	指定しない	指定する

※ ◇ を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P408 テナント 2 アナログ着信 着信外線指定

P408 ﾃﾅﾝﾄ 2 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	収容外線 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
12	収容外線 12			

※ ◇ を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P409 テナント 3 アナログ着信 着信外線指定

P409 ﾃﾅﾝﾄ 3 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	一表示
01	収容外線 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
12	収容外線 12			

※ ◇ を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [A]P410 テナント 4 アナログ着信 着信外線指定

P410 ﾃﾅﾝﾄ 4 ｱﾅﾛｸﾞ着信 着信外線
収容外線 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	収容外線 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
12	収容外線 12			

※ ◇ を押すと収容外線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P411 テナント 1 グローバル着信 着信外線指定

P411 ﾃﾅﾝﾄ 1 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３－－ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定する

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01、02	指定しない	指定する
		外線番号 03 ～ 30	指定しない	指定する
2	ISDN 回線 2	外線番号 03、04	指定しない	指定する
		外線番号 01、02、05 ～ 30	指定しない	指定する
3	ISDN 回線 3	外線番号 05、06	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 04、07 ～ 30	指定しない	指定する
4	ISDN 回線 4	外線番号 07、08	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 06、09 ～ 30	指定しない	指定する
5	ISDN 回線 5	外線番号 09、10	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 08、11 ～ 30	指定しない	指定する
6	ISDN 回線 6	外線番号 11、12	指定しない	指定する
		外線番号 01 ～ 10、13 ～ 30	指定しない	指定する

※ ◇ を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P412 テナント 2 グローバル着信 着信外線指定

P412 ﾃﾅﾝﾄ 2 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
6	ISDN 回線 6			

※ ◇ を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P413 テナント 3 グローバル着信 着信外線指定

P413 ﾃﾅﾝﾄ 3 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□: 初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
6	ISDN 回線 6			

※ ◇ を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ [D]P414 テナント 4 グローバル着信 着信外線指定

P414 ﾃﾅﾝﾄ 4 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信 着信外線
ISDN 回線 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	ISDN 回線 1	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
6	ISDN 回線 6			

※ ◎ を押すと ISDN 回線が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P415 テナント 1 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P415 ﾃﾅﾝﾄ 1 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◎ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P416 テナント 2 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P416 ﾃﾅﾝﾄ 2 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◎ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P417 テナント 3 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P417 ﾃﾅﾝﾄ 3 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◎ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P418 テナント 4 ダイヤルイン着信着信外線指定

P418 ﾃﾅﾝﾄ 4 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信 着信外線
DI 番号 0 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
01	ダイヤルイン番号 01	外線番号 01 ～ 30	指定しない	指定する
∫	∫			
32	ダイヤルイン番号 32			

※ ◇ を押すとダイヤルイン番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P419 外線捕捉時／発信者番号指定

P419 外線捕捉時 / 発信者番号
テナント 1
外線番号 ０１ ： ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	任意の番号を指定（最大 13 桁）
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

■ P419　プログラム番号 P419

[例] 外線 1 の電話番号が 03-1234-5678 の場合。

1 0 3 フラッシュ 1 2 3 4 フラッシュ 5 6 7 8 を押す。

P419 外線捕捉時 / 発信者番号
テナント 1
外線番号 01 : 03-1234-5678_

カーソル ←

※ フラッシュ を押すと、「－」が表示されます。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ [D]P420 発信者番号通知指定

P420 発信者番号通知
テナント 1
外線番号　0　９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

→ 外線番号 01：通知する

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	通知する	通知しない
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P421 外線着信音周期指定

P421 外線着信音周期
テナント 1
外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 1 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：着信音 A

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	01	01：着信音 A 02：着信音 B 03：着信音 C 04：着信音 D 05：着信音 E 06：着信音 F 07：着信音 G 08：着信音 H 09：保留メロディ 1 10：保留メロディ 2 11：着信メロディ 1 12：着信メロディ 2
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ P422 着信音種別指定

P422 着信音種別指定
テナント 1
外線番号 0　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：低

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	0	0：低 1：中 2：高
∫	∫			
4	テナント 4			

※ P421 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）に設定した場合に限り適用する。
※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P423 非通知着信音周期指定

P423 非通知着信音周期
テナント 1
外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 0 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定なし
（P421 もしくは P040 に従う）

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	00	00：指定なし （P421 もしくは P040 に従う） 01：着信音 A 02：着信音 B 03：着信音 C 04：着信音 D 05：着信音 E 06：着信音 F 07：着信音 G 08：着信音 H 09：保留メロディ 1 10：保留メロディ 2 11：着信メロディ 1 12：着信メロディ 2
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ P424 非通知着信音種別指定

P424 非通知着信音種別
テナント 1
外線番号 0　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ＜初期設定＞
→ 外線番号 01：低

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	0	0：低 1：中 2：高
∫	∫			
4	テナント 4			

※ P423 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）に設定した場合に限り適用する。
※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P425 外線転送テナント（自動 / 手動）指定

P425 外線転送ﾃﾅﾝﾄ (自動 / 手動)
外線転送 4/3/2/1　　1 1 1 1　＜初期設定＞
→ 外線転送 1：テナント 1

項目	内　容	初期値	設定値
1	外線転送 1	1	1：テナント 1
2	外線転送 2		2：テナント 2
3	外線転送 3		3：テナント 3
4	外線転送 4		4：テナント 4

保留 を押す

■ P426 外線自動転送（発信側）指定

P426 外線自動転送（発信側）
外線転送 1
発信側外線 1 = 外線番号 00　＜初期設定＞
→ 発信側外線 1：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	外線転送 1	発信側外線 1	00	00：指定なし 01 ～ 30： 外線番号 01 ～ 30
		発信側外線 2		
⟆	⟆			
4	外線転送 4	発信側外線 1		
		発信側外線 2		

※ ◇ を押すと外線転送番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに発信側外線が、1 → 2 に変わります。
※ 発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。
※ 発信側外線に PBX 内線を指定することはできません。
※ 同一外線転送では同一外線番号を重複して指定することはできません。

保留 を押す

■ P427 外線自動転送（着信側）指定

P427 外線自動転送（着信側）
テナント 1
外線番号 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：指定しない

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	0	0：指定しない 1：外線転送 1：一次応答なし 2：外線転送 1：一次応答あり 3：外線転送 2：一次応答なし 4：外線転送 2：一次応答あり 5：外線転送 3：一次応答なし 6：外線転送 3：一次応答あり 7：外線転送 4：一次応答なし 8：外線転送 4：一次応答あり
⟆	⟆			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。
※ PBX 内線を指定することはできません。
※ 発信側外線に指定している外線は、着信側外線に指定することはできません。
※ 外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 使途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。
※「P085 外線自動転送発信時の動作指定」にて「1：発信側外線 1、2 同時」「2：発信側外線 1、2 順次」を利用する場合、「外線転送 X：一次応答なし」を選択する必要がある。

保留 を押す

■ P428 留守番自動応答指定

P428 留守番自動応答
テナント 1
外線番号 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：自動応答しない

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	0	0：自動応答しない 1：REC1 が自動応答 2：REC2 が自動応答 3：REC3 が自動応答 4：REC4 が自動応答
⟆	⟆			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P429 テナント 1 発信許可／規制ダイヤル指定

P429 ﾃﾅﾝﾄ 1 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル　０１：

＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P430 テナント 2 発信許可／規制ダイヤル指定

P430 ﾃﾅﾝﾄ 2 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル　０１：

＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P431 テナント 3 発信許可／規制ダイヤル指定

P431 ﾃﾅﾝﾄ 3 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル　０１：

＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P432 テナント 4 発信許可／規制ダイヤル指定

P432 ﾃﾅﾝﾄ 4 発信許可 / 規制ﾀﾞｲﾔﾙ
外線番号 01
テーブル　０１：

＜初期設定＞
→ テーブル 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すとテーブル番号が進みます。
※ 短縮 を押すとテーブル番号が戻ります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P433 テナント 1 発信許可／規制指定

P433 ﾃﾅﾝﾄ 1 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。

保留 を押す

■ P434 テナント 2 発信許可／規制指定

P434 ﾃﾅﾝﾄ 2 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。

保留 を押す

■ P435 テナント 3 発信許可／規制指定

P435 ﾃﾅﾝﾄ 3 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。

保留 を押す

■ P436 テナント 4 発信許可／規制指定

P436 ﾃﾅﾝﾄ 4 発信許可 / 規制
外線番号 01
テーブル 0　　0 0 0 0 0 0 0 0 0 0　＜初期設定＞
→ テーブル 01：未使用

項目	内　容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ～ 40	0	0：未使用 1：許可する 2：規制する
∫	∫			
30	外線番号 30			

※ ◎ を押すと外線番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示のテーブル番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台と
変わります。

保留 を押す

■ [A]P437 個別着信（DIT）指定（昼）

P437 個別着信 (DIT) (昼)
テナント 1
外線番号　0 1 ：_

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ [A]P438 個別着信（DIT）指定（夜間 A）

P438 個別着信 (DIT) (夜間 A)
テナント 1
外線番号　0 1：_

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ [A]P439 個別着信（DIT）指定（夜間 B）

P439 個別着信 (DIT) (夜間 B)
テナント 1
外線番号　0 1 ：_

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：指定なし

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	指定なし	内線番号 10 ～ 89 内線特番 9711 ～ 9719 ※内線 3 桁モードの場合 (100 ～ 899)
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。
※ 発信 を押すと外線番号が進みます。
※ 短縮 を押すと外線番号が戻ります。

保留 を押す

■ [A]P440 個別着信（DIT）の遅延応答時間指定

P440 個別着信 (DIT) 遅延応答時間
テナント 1
外線番号 0　　2 2 2 2 2 2 2 2 2

＜初期設定＞

→ 外線番号 01：10 秒

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	2	0：0 秒 1：5 秒 2：10 秒 3：20 秒 4：30 秒 5：40 秒 6：50 秒 7：60 秒
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P441 外部スピーカ 1　着信音鳴動指定（昼）

P441 外部 SP1 着信音鳴動（昼）
テナント 1
外線番号 0　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：鳴動なし

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P442 外部スピーカ 1　着信音鳴動指定（夜間 A）

P442 外部 SP1 着信音鳴動（夜間 A）
テナント 1
外線番号 0　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：鳴動なし

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P443 外部スピーカ 1　着信音鳴動指定（夜間 B）

P443 外部 SP1 着信音鳴動（夜間 B）
テナント 1
外線番号 0　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：鳴動なし

：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P444 外部スピーカ 2　着信音鳴動指定（昼）

P444 外部 SP2 着信音鳴動（昼）
テナント 1
外線番号 0　－－－－－－－－－－　＜初期設定＞
→ 外線番号 01：鳴動なし

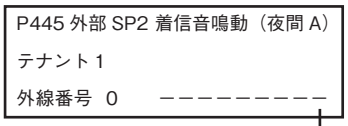
：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◇ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P445 外部スピーカ 2　着信音鳴動指定（夜間 A）



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□：初期設定

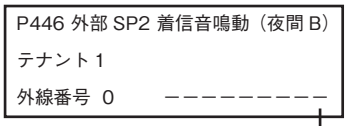
項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。

※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P446 外部スピーカ 2　着信音鳴動指定（夜間 B）



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□：初期設定

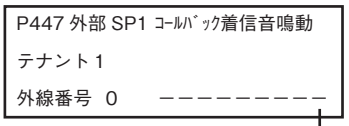
項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。

※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P447 外部スピーカ 1 コールバック着信音鳴動指定



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□：初期設定

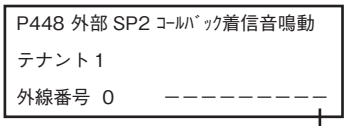
項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。

※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P448 外部スピーカ 2 コールバック着信音鳴動指定



＜初期設定＞

→ 外線番号 01：鳴動なし

□：初期設定

項目	内　容		設定値	
			数字表示	ー表示
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	鳴動あり	鳴動なし
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◎ を押すとテナント番号が変わります。

※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P449 通報発信外線テナント指定

P449 通報発信外線ﾃﾅﾝﾄ
ｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ B/A　　1 1　＜初期設定＞

→ セーフティグループ A：テナント 1

項目	内　容	初期値	設定値
1	セーフティグループ A	1	1：テナント 1 2：テナント 2 3：テナント 3 4：テナント 4
2	セーフティグループ B		

保留 を押す

■ P450 通報発信外線指定

P450 通報発信外線
ｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ A ＝ 外線番号 0 0　＜初期設定＞

→ セーフティグループ A：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
1	セーフティグループ A	00	00：指定なし 01 ～ 30：外線番号 01 ～ 30
2	セーフティグループ B		

※ P402 で 1（外線）もしくは 4（ひかり）を指定した場合に限り指定可。
※ 発信 を押すとグループが変わります。

保留 を押す

■ P451 外線保留音源指定

P451 外線保留音源
テナント 1
外線番号 0　1 1 1 1 1 1 1 1 1 1　＜初期設定＞

→ 外線番号 01：保留メロディ 1

項目	内　容		初期値	設定値
1	テナント 1	外線番号 01 ～ 30	1	1：保留メロディ 1 2：保留メロディ 2 3：外線保留音
∫	∫			
4	テナント 4			

※ ◈ を押すとテナント番号が変わります。
※ 発信 を押すごとに表示の外線番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台と変わります。

保留 を押す

■ P452 FAX 転送先指定

P452 FAX 転送先
ﾃﾅﾝﾄ 4/3/2/1　　0 0 0 2　＜初期設定＞

→ テナント 1：SLI2

項目	内　容	初期値	設定値
1	テナント 1	2	0：接続なし 1：SLI1 2：SLI2
2	テナント 2	0	
3	テナント 3		
4	テナント 4		

保留 を押す

システム対応２

■ P501 キャリアアクセスコード指定

P501 ｷｬﾘｱｱｸｾｽｺｰﾄﾞ
—　＜初期設定＞
→ 指定なし

初期値	設定値
指定なし	任意の番号を指定（最大 12 桁）

※ [＊] を押すと表示されている内容が消去されます。

[保留] を押す

■ P502 キャリア選択識別番号指定

P502 ｷｬﾘｱ選択識別番号
識別番号 0 0 1
0 9 0　＜初期設定＞
→ 識別番号 001：090

項目	内　容	初期値	設定値
001	キャリア選択識別番号 001	090	任意の番号を指定（最大 8 桁）
002	キャリア選択識別番号 002	0801	
003	キャリア選択識別番号 003	0802	
004	キャリア選択識別番号 004	0803	
005	キャリア選択識別番号 005	0804	
006	キャリア選択識別番号 006	0805	
007	キャリア選択識別番号 007	0806	
008	キャリア選択識別番号 008	0807	
009	キャリア選択識別番号 009	0808	
010	キャリア選択識別番号 010	0809	
011	キャリア選択識別番号 011	指定なし	
∫	∫	∫	
120	キャリア選択識別番号 120	指定なし	

※ ◎ を押すと識別番号が変わります。
※ 最大 8 桁まで登録可能。
※ ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可能とする。

[保留] を押す

■ P503 キャリアアクセス表示指定

P503 ｷｬﾘｱｱｸｾｽ表示
携帯 ACR　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定　＜初期設定＞

初期設定	設定値
携帯 ACR　アクセス	最大全角 16 桁

※ [発信] を押下すると、入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
◉ を押すと、入力終了です。

[保留] を押す

■ P504 PS 無線書き込み CS 指定

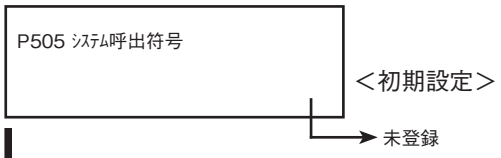
P504 PS 無線書き込み CS
0　＜初期設定＞
→ 指定なし

初期設定	設定値
0	0：指定なし 1：CS 番号 1 2：CS 番号 2 3：CS 番号 3 4：CS 番号 4

※ CS 論理番号は CS のディップ SW による設定。
※ 主装置電源立ち上げ時「0」にクリアされる。
※ 子機登録モードから抜けると、指定は自動的に「0：指定なし」になる。

[保留] を押す

■ P505 システム呼出符号

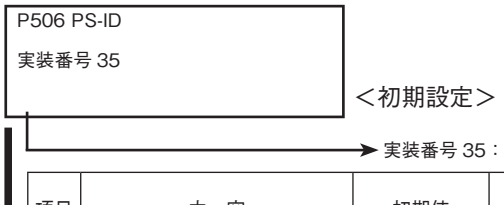


初期設定	設定値
空白 （未登録）	9 桁の数字 （自動登録）

※ データ確認および［⊀］ボタンによる消去のみ可能です。
※ システムに CS (ID) が接続されている必要があります。
※ 消去した場合、システムコードレスの運用を停止します。

［保留］を押す

■ P506 PS-ID

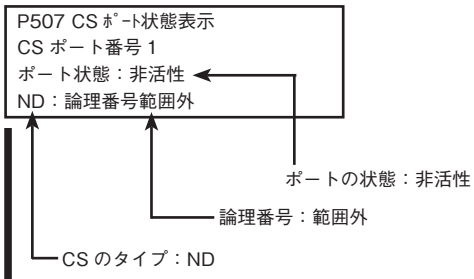


項目	内　容	初期値	設定値
01	実装番号 35（PS 電話機）	空白 （未登録）	9 桁の数字 （自動登録）
∫	∫		
16	実装番号 50（PS 電話機）		

※ ◇ を押すと実装番号が変わります。
※ データ確認および［⊀］ボタンによる消去のみ可能です。
※ PS 電話機の子機登録を行うと PS-ID が自動的に登録されます。
※ 消去した場合、該当する実装番号の電話機の運用を停止する。

［保留］を押す

■ P507 CS ポート状態表示

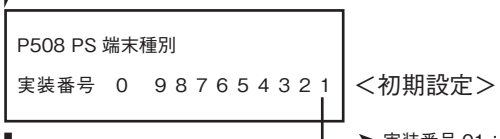


項目	内　容	ポートの状態	CS のタイプ	論理番号
1	CDLC ポート番号 1	活性 非活性 未実装	ID：管理用 CS ND：一般用 CS	1 2 3 4 範囲外
∫	∫			
4	CDLC ポート番号 4			

※ ◇ を押すごとに CS ポート番号が変わります。
※ 状態の確認のみ可能です。
※ 設定値を変更することはできません。
※ CS 論理番号は CS のディップ SW による設定。

［保留］を押す

■ P508 PS 端末種別指定



□：初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	ー表示
01	実装番号 01	指定無効	
∫	∫		
32	実装番号 32		
33	実装番号 33（SLI1）		
34	実装番号 34（SLI2）		
35	実装番号 35（PS 電話機）	多回線 PS	自営標準
∫	∫		
50	実装番号 50（PS 電話機）		

※［発信］を押すごとに表示の実装番号が、
01 番台→ 10 番台→ 20 番台→ 30 番台→ 40 番台→ 50 番台
に変わります。
※ 電話機標準ポートおよび SLI への指定は無効です。

［保留］を押す

■ P509 ひかり外線自動選局禁止番号指定

P509 ひかり外線自動選局禁止番号
禁止番号０１
００１

＜初期設定＞

項目	内　　容	初期値	設定値
01	ひかり外線自動選局禁止番号 01	001	任意の番号を指定（最大 12 桁）
02	ひかり外線自動選局禁止番号 02	003	
03	ひかり外線自動選局禁止番号 03	004	
04	ひかり外線自動選局禁止番号 04	005	
05	ひかり外線自動選局禁止番号 05	006	
06	ひかり外線自動選局禁止番号 06	007	
07	ひかり外線自動選局禁止番号 07	008	
08	ひかり外線自動選局禁止番号 08	0091	
09	ひかり外線自動選局禁止番号 09	010800	
10	ひかり外線自動選局禁止番号 10	指定なし	
11	ひかり外線自動選局禁止番号 11	0130	
12	ひかり外線自動選局禁止番号 12	0140	
13	ひかり外線自動選局禁止番号 13	0150	
14	ひかり外線自動選局禁止番号 14	0160	
15	ひかり外線自動選局禁止番号 15	0170	
16	ひかり外線自動選局禁止番号 16	0180	
17	ひかり外線自動選局禁止番号 17	0190	
18	ひかり外線自動選局禁止番号 18	020	
19	ひかり外線自動選局禁止番号 19	0450	
20	ひかり外線自動選局禁止番号 20	指定なし	
21	ひかり外線自動選局禁止番号 21	060	
22	ひかり外線自動選局禁止番号 22	0750	
23	ひかり外線自動選局禁止番号 23	0840	
24	ひかり外線自動選局禁止番号 24	0990	
25	ひかり外線自動選局禁止番号 25	100	
26	ひかり外線自動選局禁止番号 26	102	
27	ひかり外線自動選局禁止番号 27	106	
28	ひかり外線自動選局禁止番号 28	107	
29	ひかり外線自動選局禁止番号 29	108	
30	ひかり外線自動選局禁止番号 30	111	
31	ひかり外線自動選局禁止番号 31	112	
32	ひかり外線自動選局禁止番号 32	114	
33	ひかり外線自動選局禁止番号 33	121	
34	ひかり外線自動選局禁止番号 34	122	
35	ひかり外線自動選局禁止番号 35	125	
36	ひかり外線自動選局禁止番号 36	134	
37	ひかり外線自動選局禁止番号 37	136	
38	ひかり外線自動選局禁止番号 38	141	
39	ひかり外線自動選局禁止番号 39	145	
40	ひかり外線自動選局禁止番号 40	146	
41	ひかり外線自動選局禁止番号 41	149	
42	ひかり外線自動選局禁止番号 42	15	
43	ひかり外線自動選局禁止番号 43	16	
44	ひかり外線自動選局禁止番号 44	189	
45	ひかり外線自動選局禁止番号 45	05701	
46	ひかり外線自動選局禁止番号 46	05702	
47	ひかり外線自動選局禁止番号 47	05703	
48	ひかり外線自動選局禁止番号 48	05704	
49	ひかり外線自動選局禁止番号 49	05705	
50	ひかり外線自動選局禁止番号 50	05706	
51	ひかり外線自動選局禁止番号 51	05707	
52	ひかり外線自動選局禁止番号 52	05708	
53	ひかり外線自動選局禁止番号 53	05709	
54	ひかり外線自動選局禁止番号 54	指定なし	
∫	∫	∫	
80	ひかり外線自動選局禁止番号 80	指定なし	

※ ◎ を押すと禁止番号が変わります。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P510 ひかり外線アクセス表示指定

P510 ひかり外線ｱｸｾｽ表示
ひかり電話　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定

＜初期設定＞

初期値	設定値
ひかり電話　アクセス	最大全角 16 桁

※ 発信 を押下すると、入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
◉ を押すと、入力終了です。

保留 を押す

■ P511 リモートコールバック PB 待ち時間指定

P511 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ PB 待ち時間
２０

＜初期設定＞

→ 20 秒

初期値	設定値
20	02 ～ 30

※ 02 で 2 秒です。

保留 を押す

■ P512 リモートコールバック未応答時間指定

P512 ﾘﾓｰﾄｺｰﾙﾊﾞｯｸ未応答時間
２０ ＜初期設定＞
→ 20 秒

初期値	設定値
20	05 ～ 60

※ 05 で 5 秒です。

保留 を押す

■ P513 システム設定 4

P513 ｼｽﾃﾑ設定４
０９８７６５４３２１ ＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	一表示
1	省エネルギー指定	省エネ 動作しない	省エネ 動作する
2	外線一斉着信ランプ制御指定	無鳴動時 点滅	無鳴動時 消灯
3	ハンズフリー外線発信マイク制御指定	発信直後に マイク ON	相手応答まで マイク OFF
4	外線ボタン種別表示指定	行う	行わない
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P514 PHS 外線自動選局番号指定

P514 PHS 外線自動選局番号
選局番号 01
０７０ ＜初期設定＞
→ 選局番号 01：070

項目	内　　容	初期値	設定値
01	PHS 外線自動選局番号 01	070	任意の番号を指定（最大 12 桁）
02	PHS 外線自動選局番号 02	指定なし	
∫	∫	∫	
10	PHS 外線自動選局番号 10	指定なし	

※ ◎ を押すと選局番号が変わります。
※ 最大 12 桁まで登録可能。
※ ダイヤル 1 ～ 9、0 のみ登録可能とする。
※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P515 PHS 外線アクセス表示指定

P515 PHS 外線ｱｸｾｽ表示
PHS　アクセス
入力開始＝発信　入力終了＝確定
＜初期設定＞

初期値	設定値
PHS　アクセス	最大全角 16 桁

※ 発信 を押下すると、入力を開始します。
設定方法は、電話帳登録と同じです。
● を押すと、入力終了です。

保留 を押す

■ P516 警備装置エリア セーフティグループ指定

P516 整備装置ｴﾘｱｾｰﾌﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ
エリア　0　0000000000 ＜初期設定＞
→ エリア 01：指定なし

項目	内　容	初期値	設定値
01	エリア 01	0	0：指定なし
∫	∫		1：セーフティグループ A
64	エリア 64		2：セーフティグループ B

※ 発信 を押すごとに表示のエリアが、
01 番台→ 10 番台→・・・・→ 60 番台と変わります。

保留 を押す

■ P517 警備装置ポート指定

P517 警備装置ﾎﾟｰﾄ
1012 ＜初期設定＞
→ ポート番号 1012

初期値	設定値
1012	1 ～ 65535

※ ＊ を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

■ P518 システム間接続公開テナント指定

P518 ｼｽﾃﾑ間接続公開ﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1

初期値	設定値
1	1：テナント 1
	2：テナント 2
	3：テナント 3
	4：テナント 4

保留 を押す

■ P519 地震速報システム設定

P519 地震速報ｼｽﾃﾑ設定
9876−−321 ＜初期設定＞

□: 初期設定

項目	内　容	設定値	
		数字表示	一表示
1	地震速報夜間 A 動作指定	動作する	動作しない
2	地震速報夜間 B 動作指定		
3	外部スピーカ警報音鳴動指定（昼）	鳴動あり	鳴動なし
4	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 A）	鳴動あり	鳴動なし
5	外部スピーカ警報音鳴動指定（夜間 B）		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

保留 を押す

■ P520 外部スピーカ地震速報警報鳴動テナント指定

P520 外部 SP 地震速報警報鳴動ﾃﾅﾝﾄ
1 ＜初期設定＞
→ テナント 1 の夜間モードに従う

初期値	設定値
1	1：テナント 1 の夜間モードに従う
	2：テナント 2 の夜間モードに従う
	3：テナント 3 の夜間モードに従う
	4：テナント 4 の夜間モードに従う

保留 を押す

■ P521 外部スピーカゲイン２指定（地震）

P521 外部ｽﾋﾟｰｶｹﾞｲﾝ 2
地震　4 ＜初期設定＞
→ 0dB

初期値	設定値	
4	0：− 12dB	5：＋ 3dB
	1：− 9dB	6：＋ 6dB
	2：− 6dB	7：＋ 9dB
	3：− 3dB	8：＋ 12dB
	4：0dB	

保留 を押す

P001　システム設定 1 に戻る

25 -3 機能別プログラムの設定

※プログラム内容の詳細、プログラム設定については、プログラム設定方法の該当項目をご覧ください。

▶(1) 機能編

各機能をご利用になる場合は、下記のプログラム設定を行ってください。
※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

基本編

：初期設定

<table>
<tr><th colspan="2">主な機能名および概要</th><th>プログラム設定内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>■外線発信優先モード
受話器を上げるだけで空き外線を自動的に捕捉する。</td><td>【P001-9】
外線自動選局順位指定
表示 / 内容
数字表示 / 老番から
－表示 / 若番から
・自動捕捉時の外線の順位を設定
※ WS（アナログ）のクイック通話機能にも有効。

★【P010】
発信選局指定
表示 / 内容
0 / 未使用
1 / 局線 &ISDN
2 / PBX 内線
・自動捕捉時の外線の種別を設定。

★【P101】
外線収容および外線種別指定
表示 / 内容
0 / 未収容
1 / 局線 &ISDN
2 / PBX 内線
3 / VoIP（外付け）
4 / ひかり電話（外付け）
5 / ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け）
6 / PHS（外付け）
7 / ナースコール（外付け）
・外線の種別を外線ごとに設定。

★【P313】
実装番号 01 ～ 82
自動選局指定（発信）
表示 / 内容
数字表示 / 自動選局する
－表示 / 自動選局しない
・「自動選局する」に設定。

★【P212】
発信優先モード指定
表示 / 内容
数字表示 / 内線優先モード
－表示 / 外線優先モード
・「外線優先モード」に設定
※初期値は実装番号 01 ～ 32 が内線優先モード、実装番号 33,34（単独）が外線優先モード、実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）が外線優先モード。
※IP 電話機は常に内線優先モード。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>■自動選局発信
発信 を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</td><td>【P001-9】
外線自動選局順位指定
表示 / 内容
数字表示 / 老番から
－表示 / 若番から
・自動捕捉時の外線の順位を設定。

★【P010】
発信選局指定
表示 / 内容
0 / 未使用
1 / 局線 &ISDN
2 / PBX 内線
・自動捕捉時の外線の種別を設定。

★【P101】
外線収容および外線種別指定
表示 / 内容
0 / 未収容
1 / 局線 &ISDN
2 / PBX 内線
3 / VoIP（外付け）
4 / ひかり電話（外付け）
5 / ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け）
6 / PHS（外付け）
7 / ナースコール（外付け）
・外線の種別を外線ごとに設定。

★【P313】
実装番号 01 ～ 82
自動選局指定（発信）
表示 / 内容
数字表示 / 自動選局する
－表示 / 自動選局しない
・「自動選局する」に設定。</td></tr>
</table>

：初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
3	■ダイヤル 0 選局発信 内線捕捉状態からダイヤル 0 を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。	【P001-9】 外線自動選局順位指定 表示 / 内容 数字表示：老番から －表示：若番から ・自動捕捉時の外線の順位を設定。 ★【P009】 コード 0 選局指定 0：未使用 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 ・自動捕捉時の外線の種別を設定。 ★【P101】 外線収容および外線種別指定 0：未収容 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け） ・外線の種別を外線ごとに設定。 ★【P313】 実装番号 01 ～ 82 自動選局指定（発信） 表示 / 内容 数字表示：自動選局する －表示：自動選局しない ・「自動選局する」に設定。
4	■オートリピート 相手が通話中などのときに受話器を置き、リダイヤルを押すと一定時間内ごとに自動発信を繰り返す。	【P001-9】 外線自動選局順位指定 表示 / 内容 数字表示：老番から －表示：若番から ・自動捕捉時の外線の順位を設定。 ★【P010】 発信選局指定 0：未使用 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 ・自動捕捉時の外線の種別を設定。 ★【P101】 外線収容および外線種別指定 0：未収容 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け） ・外線の種別を外線ごとに設定。 【P005】 オートリピートタイマ指定 表示 / 内容呼出回数（呼出時間 / 待ち時間 / 呼出回数） 0：120 秒 / 3 秒 / 15 秒 1：120 秒 / 10 秒 / 15 秒 2：120 秒 / 30 秒 / 15 秒 3：120 秒 / 60 秒 / 100 秒 ※オートリピートの呼出時間、待ち時間、呼出回数を変更できる。 【P313】 実装番号 01 ～ 82 自動選局指定（発信） 表示 / 内容 数字表示：自動選局する －表示：自動選局しない ・「自動選局する」に設定。
5	■ワンタッチ外線オートダイヤル あらかじめ電話番号や短縮番号をオートダイヤルに登録しておくとオートダイヤルを押すだけで電話がかけられる。	★【P001-7】 ワンタッチ発信機能指定 表示 / 内容 数字表示：不可 －表示：可 ・「可」に設定。 ★【P101】 外線収容および外線種別指定 0：未収容 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） 4：ひかり電話（外付け） 5：ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け） 6：PHS（外付け） 7：ナースコール（外付け） ・外線の種別を外線ごとに設定。 【P001-9】 外線自動選局順位指定 表示 / 内容 数字表示：老番から －表示：若番から ・自動捕捉時の外線の順位を設定。 ★【P313】 実装番号 01 ～ 82 自動選局指定（発信） 表示 / 内容 数字表示：自動選局する －表示：自動選局しない ・「自動選局する」に設定。 ★【P010】 発信選局指定 0：未収容 1：局線 &ISDN 2：PBX 内線 3：VoIP（外付け） ・自動捕捉時の外線の種別を設定。

：初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
6	■着信自動応答 外線に着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる。 ※ PS 電話機の場合、外線に着信があったとき、通話ボタンを押すだけで応答できる。	★【P314】 実装番号 01 ～ 50 自動選局指定（応答） 表示：内容 数字表示：応答可 －表示：応答不可 ・「応答可」に設定。
7	■保留 保留操作により外線通話中の相手に待ってもらうときに、保留音を流す。	【P004】 保留警報タイマ指定 0：1 分 1：2 分 2：3 分 3：4 分 4：無制限 ※保留操作後に、保留警告音が鳴るまでの時間を変更できる。
8	■自動転送 外線を保留し、内線通話後に外線通話を転送する。	★【P001-5】 自動転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ・「可」に設定。 【P001-6】 オンフック転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ※自動転送および強制転送の転送方法を変更できる。
9	■強制転送 外線を保留し、他の内線に外線通話を直接転送する。	★【P001-4】 強制転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ・「可」に設定。 【P001-6】 オンフック転送指定 数字表示：可 －表示：不可 ※自動転送および強制転送の転送方法を変更できる。
10	■電話機グループ呼出 電話機をグループ（A、B、C、D、E、F、G、H、I）に分け、グループごとに呼び出しができる。	★【P203】 電話機グループ呼出指定 0：無所属 1：グループ A 2：グループ B 3：グループ C 4：グループ D 5：グループ E 6：グループ F 7：グループ G 8：グループ H 9：グループ I ※実装番号ごとに、所属するグループを設定できる。 ※ PS 電話機の初期値は「無所属」。

応用編

□：初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
1	■内線代表番号での呼び出し 設定されている電話機を呼び出す。	【P061】 内線番号桁数指定 表示：2 / 内容：2 桁（10 ～ 89） 表示：3 / 内容：3 桁（100 ～ 899） 【P201】 内線番号指定 表示：実装番号 01 ～ 80 を内線番号 10 ～ 89 で表示 / 内容：― 表示：設定変更 / 内容：実装番号 01 ～ 80 を内線番号 10 ～ 89（内線 3 桁モードは 100 ～ 899）の範囲で指定 ・実装番号ごとに、内線番号を変更できる。 ※内線番号桁数が 2 桁の場合、実装番号 81、82 は利用不可。 ★【P202】 内線代表番号指定 表示：実装番号 01 ～ 82 / 内容：指定なし 表示：設定変更 / 内容：実装番号 01 ～ 82 を内線番号 10 ～ 89（内線 3 桁モードは 100 ～ 899）の範囲で指定 ・実装番号ごとに、話中の場合、次に呼び出す内線番号を設定する。 ※内線番号桁数が 2 桁の場合、実装番号 81、82 は利用不可。
2	■通話時間表示 外線通話中にその通話時間を表示する。	【P012】 外線通話表示指定 表示：0 / 内容：時間 表示：1 / 内容：料金 表示：2 / 内容：時間、料金 時　　間：通話時間のみ表示 料　　金：通話料金を表示 時間、料金：通話時間と通話料金を表示 ・通話料金は、デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示します。
	■通話料金表示 デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示される。	【P002-0】 通話料金表示フォーマット指定 表示：数字表示 / 内容：小数点以下は表示しない 表示：－表示 / 内容：小数点第 1 位まで表示する ・通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第 1 位まで表示するか否かを指定。 【P013】 課金係数指定 表示：10 / 内容：1 倍 表示：設定変更 / 内容：01 ～ 99 ※通話料金を表示すると、この 1 度数当たりの通話料金を変更できる。 ※ 01 は 0.1 倍で 99 は 9.9 倍になる。
3	■自動 PB 切替 ダイヤル回線からの外線発信後、相手の応答により、その後のダイヤルが自動的に PB ダイヤルに切り替わる。	★【P001-0】 自動 PB 信号切替指定 表示：数字表示 / 内容：有 表示：－表示 / 内容：無 ・「有」に設定。
4	■外線通話割込 外線通話中の他の電話機に割り込むことができる。	★【P206】 外線通話割込指定 表示：数字表示 / 内容：割込不可 表示：－表示 / 内容：割込可 ・外線通話中に他の電話機に割り込む電話機を実装番号ごとに「割込可」に設定変更。

▶(2) オプション編

オプションおよび接続機器を接続する場合は、下記のプログラム設定を行ってください。
※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□：初期設定

<table>
<tr><th colspan="2">主な機能名および概要</th><th>プログラム設定内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>■電気錠
※ドア・ページングユニット
【DRPG700】が必要です。</td><td>★【P035】
リレー制御指定
<table>
<tr><th>表示</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>00</td><td>未使用</td></tr>
<tr><td>01</td><td>電気錠 1（ドアホン 1）</td></tr>
<tr><td>02</td><td>電気錠 2（ドアホン 2）</td></tr>
<tr><td>03</td><td>電気錠 3（ドアホン 3）</td></tr>
</table>
電気錠 1(ドアホン 1) ～電気錠 3(ドアホン 3) に設定変更。
※各ドアホンと通話中にドアロック解錠を行う場合は、同じ番号の電気錠に設定してください。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>■構内放送設備
※ドア・ページングユニット
【DRPG700】が必要です。</td><td>★【P032】
ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定
<table>
<tr><th>表示</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>0</td><td>送出しない</td></tr>
<tr><td>1</td><td>ピンポーン･ピンポーン･ピンポーン</td></tr>
<tr><td>2</td><td>ピンポーン･パンポーン</td></tr>
<tr><td>3</td><td>ピロリロリロリロ・・ピロリロリロリロ・・</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ピン･ポン･パン･ポーン</td></tr>
<tr><td>5</td><td>ポン</td></tr>
</table>
※構内放送時、予告音を出す場合は「0 以外」に設定。

★【P035】
リレー制御指定
<table>
<tr><th>表示</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>00</td><td>未使用</td></tr>
<tr><td>04</td><td>外部スピーカ 1</td></tr>
<tr><td>05</td><td>外部スピーカ 2</td></tr>
</table>
※「外部スピーカ 1、2」に設定変更。

【P065】
外部スピーカドアホン
着信音鳴動テナント指定
<table>
<tr><th>表示</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>テナント 1 の夜間モードに従う</td></tr>
<tr><td>2</td><td>テナント 2 の夜間モードに従う</td></tr>
<tr><td>3</td><td>テナント 3 の夜間モードに従う</td></tr>
<tr><td>4</td><td>テナント 4 の夜間モードに従う</td></tr>
</table>
【P441 ～ 446】
テナント 1 ～ 4
外部スピーカ 1,2 着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）
<table>
<tr><th>表示</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>数字表示</td><td>鳴動する</td></tr>
<tr><td>－表示</td><td>鳴動しない</td></tr>
</table>
【P315 ～ 320】
外部スピーカ 1、2
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）
<table>
<tr><th>表示</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>数字表示</td><td>鳴動する</td></tr>
<tr><td>－表示</td><td>鳴動しない</td></tr>
</table>
次ページへ➔</td></tr>
</table>

□：初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容
2	■構内放送設備 ※ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	【P322 ～ 327】 外部スピーカ 1、2 ドアホン着信指定（昼、夜間 A、夜間 B） 表示：内容 数字表示：鳴動あり －表示：鳴動なし 【P328】 外部スピーカ 1、2 外部スピーカチャイム音鳴動指定 表示：内容 数字表示：鳴動あり －表示：鳴動なし
3	■外部保留音源装置 ※外部保留音源装置をリレー制御する場合は、ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	★【P035】 リレー制御指定 表示：内容 00：未使用 06：外部保留音源 &BGM ※「外部保留音源 &BGM」に設定変更。 ★【P087】 内線保留音源指定 表示：内容 1：保留メロディ 1 3：外部保留音 ※「外部保留音」に設定変更。 ★【P451】 外線保留音源指定 表示：内容 1：保留メロディ 1 3：外部保留音 ※「外部保留音」に設定変更。 ★【P099】 パーク保留音源指定 表示：内容 1：保留メロディ 1 3：外部保留音 ※「外部保留音」に設定変更。
4	■ BGM 放送 電話機未使用の場合、電話機のスピーカや構内放送設備から BGM を流すことができる。 ※ BGM 音源装置が必要です。 ※ BGM 音源装置をリレー制御する場合は、ドア・ページングユニット【DRPG700】が必要です。	★【P003-4】 BGM 指定 表示：内容 数字表示：未接続 －表示：接続 ※「接続」に設定。 ★【P035】 リレー制御指定 表示：内容 00：未使用 06：外部保留音源 &BGM ※「外部保留音源 &BGM」に設定変更。 ★【P031-1】 外部スピーカ 1 への BGM 送出指定 表示：内容 数字表示：送出しない －表示：送出する ★【P031-2】 外部スピーカ 2 への BGM 送出指定 表示：内容 数字表示：送出しない －表示：送出する ※電話機のスピーカから BGM を流すときは、下記の設定が必要です。 BGM 放送の設定方法 TD・LD・CL（親機）電話機 → 機能 → 9 3 → → 機能 ※ 本操作を繰り返すと BGM 放送は解除されます。 ※ 電話機ごとに本操作を行ってください。

次ページへ→

□：初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容
5	■単独電話機	★【P083】 一般電話機着信音周期指定 ・外線着信（1）、外線個別着信（1）、内線着信（2）、ドアホン着信（3）、着信音転送（1）、保留音警報時（4）、一般電話機での着信鳴動パターンを指定する。 ※括弧内は初期値です。

表示	内容
1	パターン１
2	パターン２
3	パターン３
4	パターン４

◎内線優先モードのとき

【P213】
一般電話機の種別指定

表示	内容
数字表示	PB
－表示	DP

・一般電話機の種別(DP または PB) に合わせる。

★【P212】
発信優先モード指定

表示	内容
数字表示	内線優先モード
－表示	外線優先モード

・「内線優先モード」に設定。

※実装番号 01 ～ 32 の初期値は内線優先モード。実装番号 33、34（単独）は外線優先モード、実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）は外線優先モード。
※ IP 電話機は常に内線優先モード。

※内線捕捉状態からの 0 ダイヤルによる捕捉外線は「ダイヤル 0 選局発信」の設定 (428 ページ) による。

◎外線優先モードのとき
※外線優先モードのときは、一般電話機からの内線呼出はフッキング操作により、内線モードに切り替わります。

【P213】
一般電話機の種別指定

表示	内容
数字表示	PB
－表示	DP

・一般電話機の種別(DP または PB) に合わせる。

【P212】
発信優先モード指定

表示	内容
数字表示	内線優先モード
－表示	外線優先モード

・「外線優先モード」に設定。

※実装番号 01 ～ 32 の初期値は内線優先モード。実装番号 33、34（単独）は外線優先モード、実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）は外線優先モード。
※ IP 電話機は常に内線優先モード。

※外線発信時の捕捉外線は「自動選局発信」の設定 (427 ページ) による。

【P242】
一般電話機ディスプレイ指定

表示	内容
数字表示	対応
－表示	非対応

6	■ FAX	【P213】 一般電話機の種別指定

表示	内容
数字表示	PB
－表示	DP

・FAX の種別 (DP・PB) に合わせる。

【P212】
発信優先モード指定

表示	内容
数字表示	内線優先モード
－表示	外線優先モード

・「外線優先モード」に設定。

※実装番号 01 ～ 32 の初期値は内線優先モード。実装番号 33（SLI1）、実装番号 34（SLI2）は外線優先モード、実装番号 35 ～ 50（PS 電話機）は外線優先モード。
※ IP 電話機は常に内線優先モード。

【P215 ～ P217】
ドアホン 1 ～ 3
着信音指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

【P301】
実装番号 01 ～ 82
通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

★【P302 ～ P304】
実装番号 01 ～ 82
外線番号 01 ～ 30
着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・FAX 収容の実装番号 33(SLI1) または 34（SLI2）のみ「鳴動なし」に設定変更。

※ P303、P304 の初期設定は、実装番号 01、02 のみ鳴動します。

次ページへ➔

：初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容
6	■ FAX	

【P001-8】
通話中の CNG 信号検出継続指定

表示	内容
数字表示	継続する
－表示	継続しない

【P003-0】
CNG 信号検出中の着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動しない
－表示	鳴動する

【P003-9】
オンフックリモート転送指定

表示	内容
数字表示	転送不可
－表示	転送可

【P242】
一般電話機ディスプレイ指定

表示	内容
数字表示	対応
－表示	非対応

【P008】
夜間 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

【P066】
グローバル着信 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

【P067】
ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

【P068】
CNG 信号検出時間指定

表示	内容
09	9 秒
設定変更	04 ～ 30

【P069】
オンフックリモート転送有効時間指定

表示	内容
5	5 秒
設定変更	1 ～ 9

【P070】
CNG 信号検出終了後の開放時間指定

表示	内容
30	30 秒
設定変更	10 ～ 99

【P071】
禁止番号 01 ～ 20
CNG 信号検出禁止番号指定

表示	内容
ダイヤル	禁止番号 12～20：指定なし
設定変更	CNG 信号検出禁止番号を指定

【P109】
収容外線 01 ～ 12
アナログ外線着信 CNG 信号検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

【P305】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン 01 ～ 32
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

【P306 ～ P308】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン 01 ～ 32 着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・FAX 収容の実装番号 33（SLI1）または 34（SLI2）を「鳴動なし」に設定変更。

※ P307、P308 の初期設定は、
実装番号 01、02 のみ鳴動します。

★【P313】
実装番号 01 ～ 82
自動選局指定（発信）

表示	内容
数字表示	自動選局する
－表示	自動選局しない

・FAX で使用する外線は、「自動選局する」、それ以外の外線は「自動選局しない」に設定。

【P452】
テナント 1 ～テナント 4
FAX 転送先指定

表示	内容
0	接続なし
1	SLI1
2	SLI2

・テナントごとに、FAX を接続する SLI ポートを指定する。
※それぞれ SLI ポートは、いずれか一つのテナントからのみ選択可能。

【P238】
実装番号 01 ～ 32
FAX 着信お知らせ表示指定

表示	内容
0	指定なし
1	SLI1
2	SLI2

ご注意

FAX 収容の実装番号 33（SLI1）または 34 (SLI2) において、CNG 信号検出を行う外線が「鳴動あり」に設定されている場合、FAX の自動受信機能により受信してしまうことがあります。

▶ (3) ダイヤルイン編

1.ISDN 回線

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□：初期設定

プログラム設定内容

★【P039】
ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
ー表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を 32 個まで市内局番から指定する。
ダイヤルイン契約をした場合に登録しないと着信が受けられません。
その場合、発信側には「おかけになった電話番号には、あなたと通信のできる機器が接続されてません」のトーキーが流れます。

★【P415 ～ P418】
テナント 1 ～ 4
ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

【P305】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P306 ～ P308】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードで実装番号ごとに着信音の鳴るダイヤルインを指定する。
ただし、前項の P305 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

【P411 ～ P414】
テナント 1 ～ 4
グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・デジタル回線の収容外線に対するグローバル着信の着信する外線を実装番号ごとに指定する。
2 回線以上の代表ダイヤルインでグローバル着信利用の場合は、必ず収容している回線数分、同じ設定にしてください。

【P301】
実装番号 01 ～ 82
通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
ー表示	指定しない

・実装番号ごとに通常着信（グローバル着信も含む）時に着信する外線を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、その通常着信 (グローバル着信も含む) が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P302 ～ P304】
実装番号 01 ～ 82
着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
ー表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードで通常着信（グローバル着信も含む）時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。ただし、前 6 項の P301 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P303、P304 の初期は実装番号 01、02 のみ鳴動です。

【P040】
ダイヤルイン
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

次ページへ➔

：初期設定

プログラム設定内容

【P041】
ダイヤルイン
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ダイヤルイン番号ごとに着信音の種別を指定する。
※ P040 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です。

【P421】
外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・テナントごとに各外線番号の着信音の鳴動周期を指定する。

【P422】
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・外線番号ごとに着信音の種別を指定する。
※ P421 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です。

【P101】
外線収容および外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 & ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP（外付け）
4	ひかり電話（外付け）
5	ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け）
6	PHS（外付け）
7	ナースコール（外付け）

・外線の種別を外線ごとに設定する。

【P402】
テナント外線ボタン割付指定

表示	内容
0	オートダイヤル
1	外線 (局線 /ISDN)
2	VoIP（内蔵 / 外付けアダプタ）
3	PBX 内線
4	ひかり（内蔵 / 外付けアダプタ）
5	PHS（外付けアダプタ）
6	ナースコール（外付けアダプタ）

・各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。

【P403 ～ P406】
テナント 1 ～ 4 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
－表示	許可する

・テナント 1 ～ 4 の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

2. アナログ回線

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
※アナログのダイヤルインは、モデムダイヤルインのみ対応です。

□：初期設定

プログラム設定内容

★【P039】
ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
ー表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を 32 個まで市内局番から指定する。

【P102】
アナログ外線ダイヤル種別指定

表示	内容
0	DP（10PPS）
1	DP（20PPS）
2	PB

・収容外線（アナログ回線）ごとにダイヤル種別を指定します。

★【P105】
アナログ外線 NTT 付加サービス指定

表示	内容
数字表示	利用しない
ー表示	利用する

・収容外線（アナログ回線）ごとにナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。

【P101】
外線収容および外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 & ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP（外付け）
4	ひかり電話（外付け）
5	ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け）
6	PHS（外付け）
7	ナースコール（外付け）

・外線の種別を外線ごとに設定する。

【P402】
テナント外線ボタン割付指定

表示	内容
0	オートダイヤル
1	外線 (局線 /ISDN)
2	VoIP（内蔵 / 外付けアダプタ）
3	PBX 内線
4	ひかり（内蔵 / 外付けアダプタ）
5	PHS（外付けアダプタ）
6	ナースコール（外付けアダプタ）

・各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。

【P403 ～ P406】
テナント 1 ～ 4 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
ー表示	許可する

・テナント 1 ～ 4 の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

次ページへ➔

□：初期設定

プログラム設定内容

★【P415 ～ P418】
テナント 1 ～ 4
ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

【P305】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P306 ～ P308】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードでダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。
※ P307、P308 の初期は実装番号 01、02 のみ鳴動です。

【P407 ～ P410】
テナント 1 ～ 4 アナログ着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示※	指定する

・収容外線（アナログ回線）ごとに、その収容外線に着信したときのテナント 1 ～ 4 での着信外線番号を指定する。

【P302 ～ P304】
実装番号 01 ～ 82 着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードでの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。
※ P307、P308 の初期は実装番号 01、02 のみ鳴動です。

【P110】
アナログ外線キャッチホン契約サービス指定

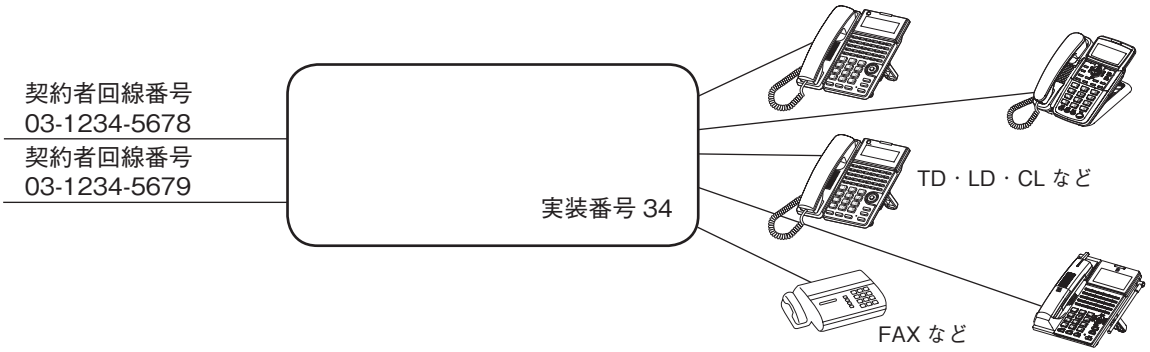
表示	内容
数字表示	契約なし
－表示	契約あり

・収容外線ごとにアナログ外線キャッチホンを契約しているか否かを指定する。

設　定　例

設定例　その１

条件
・デジタル２回線で、契約者番号 03-1234-5678、03-1234-5679
・代表ダイヤルイン契約 (追加番号なし)、グローバル着信利用、FAX 番号を 03-1234-5679 とする。
・FAX 発着信共、テナント１の外線４固定、電話は発着信共、テナント１の外線１、２、３のみとする。
・FAX は単独 (実装番号 34) に接続、一般電話関連のプログラムは設定してあるものとする。



【P039】 DI 番号 01：１２３４５６７９　（ダイヤルイン１の番号を登録）
【P415】 DI 番号 01：０　９８７６５－３２１（ダイヤルイン１の着信はテナント１の外線４のみ着信するように設定）
【P411】 ISDN １：　０　９８７６５４－－－（収容外線１、２に入ったグローバル着信は外線１、２、３に着信するように設定）
ISDN ２：　０　９８７６５４－－－（収容外線３、４に入ったグローバル着信は外線１、２、３に着信するように設定）
【P309】 実装番号 34　（実装番号 34 の FAX は外線１～３の発信規制を設定）
外線番号０　９８７６５４－－－

【P309】 実装番号 01 ～ＸＸ　（外線４は実装番号 34 の FAX 以外、すべて発信規制を設定）
外線番号０　９８７６５－３２１
【P305】 実装番号 01 ～ＸＸ　（ダイヤルイン１の着信は、実装番号 34 の FAX 以外すべて着信しないように設定）
DI 番号０　９８７６５４３２－
実装番号 34　(ダイヤルイン１の着信は、実装番号 34 の FAX にのみ着信するように設定）
DI 番号０　９８７６５４３２１
【P301】 実装番号 34　（グローバル着信は、実装番号 34 の FAX に着信しないように設定）
外線番号０　９８７６５４－－－

設定例　その２

条件
・デジタル２回線で、契約者番号 03-1234-5678、03-1234-5679
・代表ダイヤルイン契約 (追加番号なし)、グローバル着信利用しない、FAX 番号を 03-1234-5679 とする。
・FAX の着信は外線４固定、電話の着信は外線１、２、３、４とする。
・FAX と電話の発信は共に外線１、２、３、４とする。
・FAX は単独 (実装番号 34) に接続、一般電話関連のプログラムは設定してあるものとする。

【P039】 DI 番号 01　１２３４５６７８　（ダイヤルイン１の番号を登録）
DI 番号 02　１２３４５６７９　（ダイヤルイン２の番号を登録）
【P415】 DI 番号 01　（ダイヤルイン１の着信は外線１、２、３、４に着信するように設定）
外線番号０　９８７６５－－－－
DI 番号 02　（ダイヤルイン２の着信は外線４に着信するように設定）
外線番号０　９８７６５－３２１
【P305】 実装番号 34　（ダイヤルイン１の着信は、実装番号 34 の FAX 以外は着信するように設定）
DI 番号０　９８７６５４３２－
実装番号 01 ～ＸＸ　（ダイヤルイン２の着信は、実装番号 34 の FAX にのみ着信するように設定）
DI 番号０　９８７６５４３－１

▶(4) i・ナンバー編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□：初期設定

プログラム設定内容

ご注意 ISDN 回線だけに有効です。

「i・ナンバー」を名称とするプログラムはありません。下記のとおり対応します。
① ISDN 回線 1 ～ 6 本目に対する i・ナンバーのポート番号 1 は、グローバル着信 1 ～ 6 に対応する。
② ISDN 回線 1 ～ 6 本目に対する i・ナンバーのポート番号 2 は、ダイヤルイン 1 ～ 6 に対応する。
③ ISDN 回線 1 ～ 6 本目に対する i・ナンバーのポート番号 3 は、ダイヤルイン 7 ～ 12 に対応する。
※ ポート番号 1 は契約者番号、ポート番号 2、3 は追加番号の意味。

★【P415 ～ P418】
テナント 1 ～ 4
ダイヤル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・ダイヤルイン 1 ～ 6 は、ISDN 回線 1 ～ 6 本目の i・ナンバーのポート番号 2 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
ダイヤルイン 7 ～ 12 は、ISDN 回線 1 ～ 6 本目の i・ナンバーのポート番号 3 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
同じ外線ボタンに対し、重複して i・ナンバーのポート番号を指定することも可能。

【P305】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

・ISDN 回線 1 ～ 6 本目の i・ナンバーのポート番号 2 に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 1 ～ 6 で指定する。（どの電話機に着信させるかを指定）
ISDN 回線 1 ～ 6 本目の i・ナンバーのポート番号 3 に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 7 ～ 12 で指定する。（どの電話機に着信させるかを指定）
「指定しない」に設定された電話機は、その i・ナンバーのポート番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P306 ～ P308】
実装番号 01 ～ 82
ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・ISDN 回線 1 ～ 6 本目の昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 2 に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 1 ～ 6 で指定する。
ISDN 回線 1 ～ 6 本目の昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 3 に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 7 ～ 12 で指定する。
ただし、前項の P305 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P307、P308 の初期は実装番号 01、02 のみ鳴動です。

【P411 ～ P414】
テナント 1 ～ 4
グローバル番号着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・i・ナンバーのポート番号 1 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。

【P301】
実装番号 01 ～ 82
通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

・実装番号ごとに i・ナンバーのポート番号 1 に着信時に着信する外線を指定する。
「指定しない」に設定された電話機は、その i・ナンバーのポート番号 1 に着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

【P302 ～ P304】
実装番号 01 ～ 82
着信音の鳴動指定（昼、夜間 A、夜間 B）

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 1 に着信時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。
ただし、前項の P301 で指定された電話機に対してのみ有効です。
※ P303、P304 の初期は実装番号 01、02 のみ鳴動です。

次ページへ➔

：初期設定

プログラム設定内容

【P040】
ダイヤルイン
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・i・ナンバーのポート番号 2 または 3 ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

【P041】
ダイヤルイン
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・i・ナンバーのポート番号 2 または 3 ごとに着信音の種別を指定する。
※ P040 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です。

【P421】
外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ 1
10	保留メロディ 2
11	着信メロディ 1
12	着信メロディ 2

・テナントごとに各 i・ナンバーのポート番号 1 の着信音の鳴動周期を指定する。

【P422】
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・テナントごとに i・ナンバーのポート番号 1 ごとに着信音の種別を指定する。
※ P421 で 01 ～ 04（着信音 A ～ D）を設定した場合にのみ有効です。

【P101】
外線収容および
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 & ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP（外付け）
4	ひかり電話（外付け）
5	ひかり電話ｵﾌｨｽ（外付け）
6	PHS（外付け）
7	ナースコール（外付け）

・収容外線ごとに種別を指定する。

【P402】
テナント外線ボタン割付指定

表示	内容
0	オートダイヤル
1	外線 (局線 /ISDN)
2	VoIP（内蔵 / 外付けアダプタ）
3	PBX 内線
4	ひかり（内蔵 / 外付けアダプタ）
5	PHS（外付けアダプタ）
6	ナースコール（外付けアダプタ）

・各テナントの外線ボタンごとに、割り付ける機能を指定する。

【P403 ～ P406】
テナント 1 ～ 4 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
ー表示	許可する

・テナント 1 ～ 4 の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

▶（5）外線転送編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□：初期設定

プログラム設定内容

【P085】
外線自動転送発信時の動作指定

表示	内容
0	発信側外線１優先
1	発信側外線 1、２同時
2	発信側外線 1、２順次

・外線転送ごと（外線転送１～外線転送４）に、発信時の動作を指定する。
【発信側外線１優先の動作】
・発信側外線１からの発信を優先し、発信側外線１が着信中の場合、または発信側外線１の回線が捕捉できない場合に発信側外線２から同じ転送先番号に発信する。
※発信側外線を２外線指定したときのみ有効。
【発信側外線１、２同時の動作】
・発信側外線１、２から同時に別々の転送先番号に発信する。
※発信側外線を２外線指定したときのみ有効。
【発信側外線１、２順次】
・転送先番号の相手が応答しない場合、別の転送先番号に発信する。

【P425】
外線転送テナント（自動 / 手動）指定

表示	内容
1	テナント１
2	テナント２
3	テナント３
4	テナント４

・外線転送を利用するテナントを外線転送ごとに指定する。

★【P426】
外線自動転送 (発信側) 指定
外線転送１～４
発信側外線１～２

表示	内容
00	指定なし
01	外線番号１
∫	∫
30	外線番号 30

・外線自動転送の発信側外線を指定する。
※発信側外線に指定すると、着信側外線（P427）は自動的に「指定しない」になります。
※ PBX 内線を指定することはできません。

★【P427】
外線自動転送（着信側）指定

表示	内容
0	指定しない
1	一次応答なし（外線転送１）
2	一次応答あり（外線転送１）
3	一次応答なし（外線転送２）
4	一次応答あり（外線転送２）
5	一次応答なし（外線転送３）
6	一次応答あり（外線転送３）
7	一次応答なし（外線転送４）
8	一次応答あり（外線転送４）

・外線自動転送の着信側外線と転送方法を指定する。
※発信側外線（P426）で指定された外線を着信側に指定することはできません。
※PBX 内線を指定することはできません。
一次応答･･･ REC を使用して一次応答メッセージを発信者に送出すること。
※外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 使途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。

【P021-1 ～ 4】
外線転送システム設定

表示	内容
数字表示	鳴動なし
－表示	鳴動有り

・外線自動転送時、転送先に通知音を送出するか、しないかを指定する。
転送１「ピピピピピピピピ」（高い音）、転送２「ピー」（中位の音）、転送３「ポー」（低い音）
転送４「ピー」（高い音）が 1.5 秒間鳴動する。

【P019】
外線転送自動応答時間指定

表示	内容
042	42 秒で自動応答する
設定変更	000 ～ 180 の範囲で指定する (000 は自動応答しない)

・外線自動転送の発信側外線に着信が入った場合に外線転送のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。
※１ 外線転送セット / 解除には関わらない。
※２ 暗証番号が未登録のときは応答しない。

次ページへ➔

プログラム設定内容

【P025】
外線転送最大
通話時間指定

表示	内容
0	30 分
1	1 時間
2	2 時間
3	3 時間

・外線手動 / 自動転送したときの最大通話時間を指定する。
この時間になると、両方の相手に「ピー」音が入り 30 秒後に通話を自動的に終話します。

【P024】外線転送終話時
コールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1 秒
2	2 秒
3	3 秒
4	4 秒
5	5 秒
6	6 秒

・外線転送 (手動／自動) の終話時に発信元が終話し、転送先が受話器を持ったまま待っているとき、コールバックするまでの時間を指定する。
※初期値は、手動転送：2、自動転送：0

【P023】
外線転送転送先不応答切断タイマ指定

表示	内容
0	20 秒
1	40 秒
2	60 秒
3	80 秒
4	100 秒
5	120 秒

・一次応答メッセージ送出後のダイレクト自動転送で、転送先が応答しない場合、外線を切断するまでの時間を指定する。

【P045】
ダイヤルイン着信
ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・ダイヤルイン番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

【P044】
グローバル着信
ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・グローバル番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

【P106】
アナログ外線
ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
ー表示	指定する

・アナログ外線に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

【P312】
コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり（実装番号 01 ～ 32）
ー表示	鳴動なし（SLI、PS、IP 電話機 ）

・外線転送コールバックを行ったときに、実装番号 01 ～ 82 ごとに鳴動する外線を指定する。
REC を使用時には、お待たせ応答後のコールバックで、通常着信に切り替わったとき、着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。

次ページへ➔

：初期設定

プログラム設定内容

【P026】

外線自動転送中の着信音鳴動指定

表示	内容
0	すべての着信側外線の着信音を鳴動しない
1	自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない
2	鳴動する

・ダイレクト自動転送（一次応答なし）の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合の着信を鳴動させるか否かを指定する。

【P042】

グローバル着信ダイレクト自動転送指定

表示	内容
数字表示	転送可
－表示	転送不可

・ISDN 回線ごとに、グローバル着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する。

【P043】

ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定

表示	内容
数字表示	転送可
－表示	転送不可

・ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する。

【P086】

外線転送通話ゲイン指定

表示	内容
0	－ 12dB
1	－ 9dB
2	－ 6dB
3	－ 3dB
4	0dB
5	＋ 3dB
6	＋ 6dB
7	＋ 9dB
8	＋ 12dB

・外線転送時、外線種別の組み合わせごとに通話における音量（ゲイン）を指定する。

【P021-5】

外線転送発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
－表示	ACR 許可

・外線転送発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。

【P056】

識別グループ着信時の動作指定

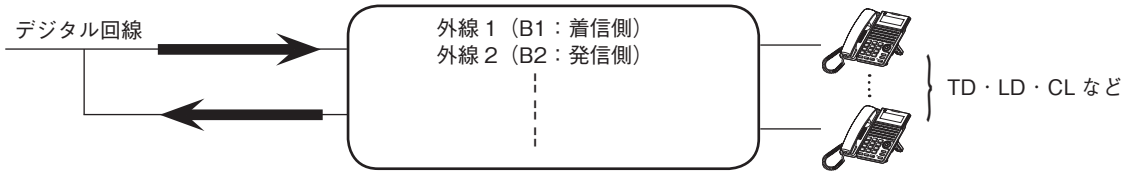
表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

・識別グループ（0 ～ 9）ごとに、識別グループ着信時に外線自動転送の動作を行うか否かを指定する。

設　定　例

設定例　その１

条件
・デジタル１回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。
・発信者への一次応答メッセージはなし。



【P426】 外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側を外線２に設定）

【P427】　　0　０００００００００１　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定）

設定例　その２

条件
・デジタル１回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。（設定例　その１に同じ）
・発信者への一次応答メッセージは送出する。
・外線転送コールバック時の鳴動子機は、実装番号 01、02、08 の電話機３台とする。（終話時コールバック時間を２秒にする）

【P426】 外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側を外線２に設定）

【P427】　　0　０００００００００２　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージありに設定）
※外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 使途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。

【P312】　　（外線２のコールバック鳴動電話機を実装番号 01、02、08 に設定）
実装番号 01,02,08 以外の実装番号
　　外線番号　　0　９８７６５４３－１　　（実装番号 01,02,08 以外の電話機を、外線２のコールバック鳴動しないに設定）
【P024】自動／手動　　２２　　（外線自動転送終話時コールバック時間を２秒に設定）

設定例　その３

条件
・デジタル２回線で、ダイレクト外線自動転送（発信側外線１優先）を行う。
・発信者への一次応答メッセージはなし。
　※発信側外線１が着信中の場合、または発信側外線１の回線が捕捉できない場合に発信側外線２から同じ転送先番号に発信する方法。
　※プログラム設定終了後、メニューで外線転送先を１つ選びます。

【P426】 外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側外線１を外線２に設定）
　　発信側外線２＝外線番号 03　　（外線自動転送１の発信側外線２を外線３に設定）

【P427】　　0　０００００００００１　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定）

【P085】　　００００　　（発信側外線１優先に設定）

設定例　その４

条件
・デジタル２回線で、ダイレクト外線自動転送（発信側外線１、２同時）を行う。
・発信者への一次応答メッセージはなし。
　※発信側外線１、２から同時に別々の転送先番号に発信する方法。
　※プログラム設定終了後、メニューで外線転送先を２つ選びます。

【P426】 外線転送１
　　発信側外線１＝外線番号 02　　（外線自動転送１の発信側外線１を外線２に設定）
　　発信側外線２＝外線番号 03　　（外線自動転送１の発信側外線２を外線３に設定）

【P427】　　0　０００００００００１　　（外線自動転送１の着信側を外線１とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定）

【P085】　　０００１　　（発信側外線１、２同時に設定）

▶（6）REC(留守番機能) 編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□：初期設定

プログラム設定内容

【P027】
REC システム指定

項目	名称	表示	内容
1	用件自動消去指定	数字表示	自動消去あり
		－表示	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	数字表示	REC ごとに共通
		－表示	電話機個別

・用件自動消去をするか、しないか、通話メモの再生を REC ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。

★【P028】
REC 使途指定

表示	内容
0	未使用
1	留守／お待たせ／一次応答
2	非通知拒否／迷惑電話拒否
3	非通知拒否
4	迷惑電話拒否
5	通話メモ

・REC ごとに使用する機能を指定する。
※初期値　REC1：1
　　REC2,3,4,Busy：0

【P029】
留守番機能指定

表示	内容
0	応答録音のみ可
1	応答専用のみ可
2	両方可

・REC ごとに留守番機能の応答録音と応答専用の使用可否を指定する。

★【P210】
留守番電話機指定

表示	内容
01	実装番号 1 を指定
設定変更	実装番号 (01 ～ 32) で指定

・REC1 ～ 4,Busy の留守番指定電話機を実装番号で指定する。
※初期値　REC1：実装番号 01
　　REC2,3,4,Busy：指定なし
※同一電話機に複数の REC を指定することはできない。

REC Busy には、通話中 Busy 拒否のセット操作を行うための電話機を指定します。

★【P428】
留守番自動応答指定

表示	内容
0	自動応答しない
1	REC1 が自動応答
2	REC2 が自動応答
3	REC3 が自動応答
4	REC4 が自動応答

・外線 (01 ～ 30) ごとに REC1 ～ 4 のうち、どの REC が応答するのかを指定する。

★【P018】
留守番在宅自動応答時間指定

表示	内容
045	45 秒で自動応答する
設定変更	000 ～ 180 の範囲で指定する (000 は自動応答しない)

・留守番未セット時に留守番のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。

【P056】
識別グループ着信時の動作指定

表示	内容
数字表示	指定する
－表示	指定しない

・識別グループ (0 ～ 9) ごとに、識別グループ着信時に留守番応答の動作を行うか否かを指定する。

次ページへ➔

□：初期設定

プログラム設定内容

【P222】
通話メモ使用 REC 指定

表示	内容
0	指定ない
1	REC1
2	REC2
3	REC3
4	REC4

・電話機ごとに通話メモ機能を使用する REC を指定する。

【P312】
コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり (実装番号 01 ～ 32 のみ)
－表示	鳴動なし (SLI、PS、IP 電話機)

・REC お待たせメッセージ応答後のコールバックで通常着信に切り替わったとき、実装番号 01 ～ 82 ごとに着信鳴動する外線を指定する。
※外線転送コールバック時に着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。
※ SLI1、SLI2、PS 電話機、IP 電話機を含む。
※初期は実装番号 01 ～ 32 のみ鳴動する。

【P030】
REC お待たせ時間指定

表示	内容
0	指定なし
1	1 分
2	2 分
3	3 分
4	4 分

・REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線ボタンに応答しない場合、その外線ボタンを着信状態にするまでの時間、もしくは保留相手にお待たせメッセージを繰り返すまでの時間を指定する。
※お待たせ時間経過後の動作は P027-5REC お待たせ動作指定による。

【P230】
ワンショット留守番機能使用 REC 指定

表示	内容
0	未使用
1	REC1
2	REC2
3	REC3
4	REC4

・電話機ごとにワンショット留守番機能に利用する REC を指定する。
※ P210 で REC 子機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできません。（REC Busy を除く）

【P097】
REC 録音時間指定

060	60 分
設定変更	システムでの最大録音時間は 240 分 （REC Busy を除く） ※ 10 分間隔でのみ指定可能です。

【P027-4】
追っかけ転送発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
－表示	ACR 許可

・追っかけ転送発信時、ACR の利用を許可するか、否かを指定する。

【P027-5】
REC お待たせ動作指定

表示	内容
数字表示	コールバックする
－表示	ガイダンスを繰り返す

・REC お待たせメッセージ応答し、メッセージ送出完了後の外線に一定時間応答しない場合の動作（外線ボタンを着信状態にする、もしくは時間経過するごとに相手にメッセージを送出する）を指定する。

【P027-3】
迷惑電話登録指定

表示	内容
数字表示	満杯時登録禁止
－表示	満杯時登録可

・迷惑電話番号登録件数が満杯のとき、新たに迷惑電話番号を登録できないようにするか、もしくは、最も古い迷惑電話番号を削除して新規の迷惑電話番号を登録できるようにするかを指定する。

次ページへ➔

：初期設定

プログラム設定内容

【P027-6】
公衆電話迷惑拒否指定

表示	内容
数字表示	拒否しない
－表示	拒否する

・迷惑電話拒否モードセット時、公衆電話の着信を拒否するか否かを指定する。

【P027-7】
表示圏外迷惑拒否指定

表示	内容
数字表示	拒否しない
－表示	拒否する

・迷惑電話拒否モードセット時、表示圏外の着信を拒否するか否かを指定する。

◎留守番指定電話機に指定された電話機には、次の留守番機能ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	再生	スキップ	消去	留守
TD615 電話機	オート 14	オート 15	オート 16	オート 17	オート 18
TD625 電話機	オート 26	オート 27	オート 28	オート 29	オート 30
LD 電話機	オート 6	オート 9	オート 7	オート 8	オート 10

※ CL 電話機（親機）は TD625 電話機と同じです。

◎留守番自動応答時間の指定方法

TD・LD・CL（親機）（留守番指定電話機）で操作



のいずれか

・留守番セット時に自動応答するまでの時間（1 ～ 180 秒) を指定する。
※初期設定は 009（9 秒）です。

▶(7) セーフティ機能編

※ ★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
※ 設置現場にて、センサ感度を調整する必要があります。調整方法の詳細は、14 「セーフティ機能」の「■センサ感度等の調整方法（111 ページ）」を参照ください。
※ センサ感度は、プログラム設定（P079, P080, P081, P082）にてパラメータを調整することで、変更することができます。

□：初期設定

プログラム設定内容

【P072-1】
威嚇警報音の音量指定

表示	内容
数字表示	大
－表示	小

・威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定します。

【P072-2】
通報先終話時の威嚇継続指定

表示	内容
数字表示	威嚇を継続する
－表示	威嚇を終了する

・通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰（継続）するか否かを指定します。

【P072-3】
リレー出力タイミング指定

表示	内容
数字表示	センサ検知時
－表示	威嚇開始時

・Web カメラに設定されたコントロール端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定します。

【P072-4】
外部スピーカ威嚇音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・外部スピーカで威嚇音を鳴動するか否かを指定する。
※外部スピーカ 1、2 両方から鳴動する。
※セーフティ A、B 共通。

【P072-5】
通報発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
－表示	ACR 許可

・通報発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。

【P072-6】
威嚇時発光指定

表示	内容
数字表示	利用する
－表示	利用しない

・威嚇動作に、電話機のバックライトおよび各種ランプの発光を利用するか否かを指定する。

【P072-7】
威嚇警報音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動する
－表示	鳴動しない

・威嚇警報音を鳴動させるか否かを指定する。

【P073】
モードセット遅延時間指定

表示	内容
060	60 秒
設定変更	001 ～ 600 の範囲で指定する

・セーフティモードセット操作をしてからセーフティモードになるまでの時間を指定します。

【P074】
威嚇遅延時間指定

表示	内容
060	60 秒
設定変更	001 ～ 600 の範囲で指定する

・セーフティモード中にセンサ検知したときに威嚇を開始するまでの時間を指定します。

次ページへ➔

プログラム設定内容

【P075】
威嚇警報音鳴動時間指定

表示	内容
20	20 分
設定変更	01 ～ 60 の範囲で指定する

・威嚇警報音の鳴動時間を指定します。

【P076】
ドア・ページングユニットポート使途指定

表示	内容
0	接続なし
1	外部センサ（ブレーク）
2	外部センサ（メーク）
3	外部センサ（ワンショット：メーク）
4	警備入力（警備中 ON）
5	警備入力（警備中 OFF）

外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、検知する信号のタイプを指定する。
※外部センサポートにドアホンを接続することはできない。
※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON）もしくは警備入力（警備中 OFF）を指定可能。
※警備中 ON とは、警備中はメーク状態になることを意味し、警備中 OFF とは警備中はブレーク状態になることを意味します。

【P077】
ドア・ページングユニットポート対応セーフティグループ指定

表示	内容
1	グループ A
2	グループ B

外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、接続した外部センサ反応時に威嚇＆通知および通報を行うセーフティグループを指定する。
※ P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（ＸＸＸ）」もしくは「警備入力（ＸＸＸ）」に指定されているときのみ有効。
※ P076 ドア･ページングユニットポート使途指定で「警備入力（ＸＸＸ）」が複数指定されている場合､同一のセー

【P078】
通報発信外線強制切断指定

表示	内容
数字表示	強制切断しない
－表示	強制切断する

・セーフティグループごとに通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中のときに、その通話を強制的に切断するか否かを指定します。

【P079】
センサ入力信号 ON 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	12.5ms	09	112.5ms
02	25.0ms	10	125.0ms
03	37.5ms	11	137.5ms
04	50.0ms	12	150.0ms
05	62.5ms	13	162.5ms
06	75.0ms	14	175.0ms
07	87.5ms	15	187.5ms
08	100.0ms	16	200.0ms

・センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要な ON 時間の長さを設定します。設定時間よりも短い検出信号は無視される。
※設定値を大きくすることによって、ノイズ（温度ドリフトによる光学的なノイズや、強電界による電気的な外来ノイズ）による誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。
※推奨値：12.5ms ～ 100.0ms

【P080】
センサ入力信号 OFF 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	12.5ms	09	112.5ms
02	25.0ms	10	125.0ms
03	37.5ms	11	137.5ms
04	50.0ms	12	150.0ms
05	62.5ms	13	162.5ms
06	75.0ms	14	175.0ms
07	87.5ms	15	187.5ms
08	100.0ms	16	200.0ms

・センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、OFF と認めるまでの時間を設定します。
※設定値を大きくすることによって、センサ間近の誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。
※推奨値：12.5ms ～ 50.0ms

【P081】
センサ ON 連続検出回数指定

表示	内容
1	1 回
設定変更	1 ～ 8 の範囲で指定する

・システムが検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号のカウント数を指定する。
※設定値を大きくすることによって、単発ノイズによる誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。また、単純に検知範囲（距離）が短くなるととらえることもできます。
※推奨値：1 回～ 3 回

次ページへ➔

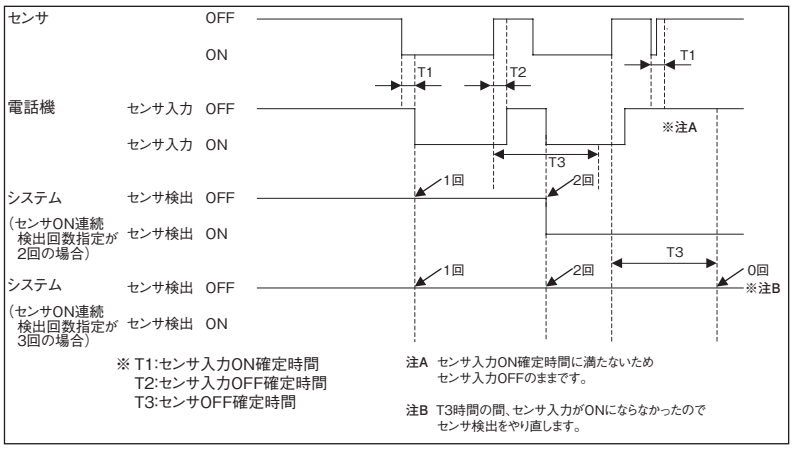
プログラム設定内容

【P082】
センサ OFF 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	50.0ms	17	2600.0ms
02	75.0ms	18	2800.0ms
03	100.0ms	19	3000.0ms
04	150.0ms	20	3200.0ms
05	200.0ms	21	3400.0ms
06	400.0ms	22	3600.0ms
07	600.0ms	23	3800.0ms
08	800.0ms	24	4000.0ms
09	1000.0ms	25	4200.0ms
10	1200.0ms	26	4400.0ms
11	1400.0ms	27	4600.0ms
12	1600.0ms	28	4800.0ms
13	1800.0ms	29	5000.0ms
14	2000.0ms	30	5500.0ms
15	2200.0ms	31	6000.0ms
16	2400.0ms	32	6500.0ms

・ センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、センサ入力がなくなったと認めるまでの時間を設定します。

※設定値を大きくすることによって、対象の横切り往復運動などを検知しやすくなります。ただし、大きくしすぎると単発ノイズによる誤検出が起こりやすくなります。
※推奨値：1000.0ms ～ 4000.0ms



★【P226】
実装番号 1 ～ 32
セーフティグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	グループ A
2	グループ B
3	警報鳴動グループ A
4	警報鳴動グループ B

・電話機ごとにセーフティグループを設定します。
※警報鳴動グループはセーフティグループと同じグループに対応する。
※セーフティグループがセーフティセンサ検知状態になると、対応する警報鳴動グループに所属する電話機は警報鳴動状態になる。(電話機を使用していない場合のみ)

★【P228】
音声威嚇電話機指定

表示	内容
00	指定なし
設定変更	00 ～ 32 の範囲で指定する (00 は指定なし)

・通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする電話機を指定します。
セーフティグループごとに最大 3 台指定します。(00 は指定なし)
※音声威嚇電話機に指定できるのは、TD・LD・CL 電話機です。
※P226 で同じグループに属する電話機のみ指定可。

★【P229】
実装番号 01 ～ 32 センサ動作指定

表示	内容
数字表示	許可する
ー表示	許可しない

・電話機ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。
※センサ付き電話機に対してのみ有効。

★【P449】
通報発信外線テナント指定

表示	内容
1	テナント 1
2	テナント 2
3	テナント 3
4	テナント 4

・通報時に外線発信をするテナントをセーフティグループごとに指定します。

★【P450】
通報発信外線指定

表示	内容
00	指定なし
設定変更	00 ～ 32 の範囲で指定する (00 は指定なし)

・通報時に発信外線として使用する外線をセーフティグループごとに指定します。00 は指定なし。
※ P402 で 1（外線)、4（ひかり）を設定した場合に限り指定可。
※外線自動転送の発信側外線と同一外線も設定可。

次ページへ➔

：初期設定

プログラム設定内容

【P035】
リレー制御指定

表示	内容
00	未使用
01	電気錠１
02	電気錠２
03	電気錠３
04	外部スピーカ１
05	外部スピーカ２
06	外部保留音源＆ BGM
07	Web カメラ（セーフティ A に連動）
08	Web カメラ（セーフティ B に連動）
09	Web カメラ（セーフティ A・B の両方に連動）
10	いらっしゃいませンサ A に連動
11	いらっしゃいませンサ B に連動
12	いらっしゃいませンサ A、B の両方に連動

・リレーごとに、どの外部機器（電気錠、外部スピーカ、外部保留音源「BGM」、Web カメラ、いらっしゃいませンサ連動機器）を接続しているかを指定する。
※同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいませンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可

【P036】
外部スピーカゲイン指定
（外線着信、音声、BGM、威嚇）

表示	内容
0	－12dB
1	－9dB
2	－6dB
3	－3dB
4	0dB
5	＋3dB
6	＋6dB
7	＋9dB
8	＋12dB

・外線着信、音声、BGM、威嚇の各音ごとに、外部スピーカから送出する音量（ゲイン）を指定する。

【P044】
グローバル着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・グローバル着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、セーフティのリモコンを行うか否かを ISDN 回線ごとに指定する。

【P045】
ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・ダイヤルイン着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、セーフティのリモコンを行うか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。

【P106】
アナログ外線ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・収容外線（アナログ回線）ごとに発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、セーフティのリモコンを行うか否かを指定する。

【P516】
警報装置エリアセーフティグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	セーフティグループ A
2	セーフティグループ B

【P517】
警報装置ポート指定

表示	内容
1012	ポート番号 1012
設定変更	1 ～ 65535 の範囲で指定する

・他の装置のポート番号と一致するときに変更する。

▶(8) リモートコールバック機能編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□：初期設定

プログラム設定内容

【P090-1】
リモートコールバック発信回線指定

表示	内容
数字表示	同一回線
－表示	自動選局

・リモートコールバック発信を行う回線の選択方法を指定する。

【P090-2】
リモートコールバック PB 未検出時動作指定

表示	内容
数字表示	切断
－表示	一斉着信

・リモートコールバック中、相手からの PB が検出できなかった場合、回線を切断するか一斉着信にするかを指定する。

【P090-3】
リモートコールバック発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
－表示	ACR 許可

・リモートコールバック発信時、ACR の利用を許可するか、否かを指定する。

【P090-4】
リモートコールバック着信動作指定

表示	内容
数字表示	切替えない
－表示	一斉着信に切替える

・リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定されたとき、指定した内線が着信応答しない、もしくは通話中の場合に一斉着信に切替えるか否かを指定する。

★【P091】
リモートコールバックグローバル着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

・グローバル回線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

★【P092】
リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

・ダイヤルイン番号ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

【P093】
リモートコールバック検出タイマ指定

表示	内容
007	7 秒
設定変更	004 ～ 180 の範囲で指定する

・リモートコールバックの検出時間を指定する。
※外線への着信時間が設定値を超えた場合、リモートコールバック機能は行わない。

【P094】
リモートコールバック呼出時間指定

表示	内容
0	60 秒（リトライなし）
1	20 秒（リトライあり）
2	40 秒（リトライあり）
3	60 秒（リトライあり）

・リモートコールバック時、発信先を呼び出す時間を指定する。

★【P096】
リモートコールバックテナント指定

表示	内容
1	テナント 1
2	テナント 2
3	テナント 3
4	テナント 4

・リモートコールバックを行うテナントを指定する。

【P111】
リモートコールバックアナログ着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
－表示	検出する

・収容外線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

次ページへ➔

：初期設定

プログラム設定内容

【P309 ～ P311】
発信規制指定

表示	内容
数字表示	発信可
－表示	発信不可

・P090-1 で自動選局に指定した場合、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを指定する。
※ SLI1、SLI2、ユーザー登録、システム間接続を含む。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。

★【P312】
コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり（実装番号 01 ～ 32）
－表示	鳴動なし（実装番号 33 ～ 82：SLI、PS、IP 電話機）

・外線転送コールバックならびに REC お待たせメッセージ応答コールバックおよびリモートコールバック機能時に着信鳴動する電話機を外線ごとに指定する 。
※SLI1、SLI2、PS 電話機、IP 電話機を含む
※同一外線番号に対して PS 電話機を 8 台まで指定することがでる。

【P511】
リモートコールバック PB 待ち時間指定

表示	内容
20	20 秒
設定変更	02 ～ 30 秒の範囲で指定

・リモートコールバック発信し、相手応答後から応答した相手からの PB が検出できないと判断するまでの時間を指定する。
※リモートコールバックＰＢ待受け時間経過後の動作は P090-2 リモートコールバック PB 未検出時動作指定による。

【P512】
リモートコールバック未対応時間指定

表示	内容
20	20 秒
設定変更	05 ～ 60 秒の範囲で指定

・リモートコールバックにてコールバック先の電話機から内線指定され、指定内線が着信を開始してからその内線が着信応答しないと判断するまでの時間を指定する。

【P447】
外部スピーカ 1 コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・各テナントの外線ボタンごとに、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かを指定する 。

【P448】
外部スピーカ 2 コールバック着信音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
－表示	鳴動なし

・各テナントの外線ボタンごとに、リモートコールバック着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かを指定する 。

◎リモートコールバックを行う電話帳グループの指定方法

TD・LD・CL（親機）で操作

オフフック ➔ ● ➔ 9 1 4 ➔ グループを選択して ● ➔ 5 ➔ 1（解除する場合は 2）

▶ (9) いらっしゃいませンサ機能編

※ ★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。
※ 設置現場にて、センサ感度を調整する必要があります。調整方法の詳細は、14「セーフティ機能」の「■センサ感度等の調整方法（111 ページ）」を参照ください。
※ センサ感度は、プログラム設定（P079, P080, P081, P082）にてパラメータを調整することで、変更することができます。

□：初期設定

プログラム設定内容

★【P234】
いらっしゃいませンサ指定

表示	内容
00	指定なし
設定変更	電話機を指定

・いらっしゃいませンサごとに、使用するセンサ（電話機もしくはドア・ページングユニットのポート）を指定する。
※電話機の場合、P229 センサ動作指定で「許可する」に指定されている電話機のみ有効。
※ドア・ページングユニットのポートの場合、P076 ドア・ページングユニットポート使途指定で「外部センサ（XXX）」に指定されているときのみ有効。

★【P239】
いらっしゃいませンサグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	いらっしゃいませンサグループ A
2	いらっしゃいませンサグループ B

・電話機ごとに、いらっしゃいませンサグループを指定する。
※いらっしゃいませンサがセンサ検知状態になると、対応するいらっしゃいませンサグループに所属する電話機は鳴動状態になる。（電話機を使用していない場合のみ）

【P240】
いらっしゃいませンサ鳴動音種別指定

表示	内容
0	いらっしゃいませ
1	ピンポーン
2	ピンポーン・パンポーン
3	ピロリロリロリロ・・

・いらっしゃいませンサごとに、センサ検知時に鳴動する音を指定する。

★【P229】
センサ動作指定

表示	内容
数字表示	許可する
－表示	許可しない

・電話機ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。
※センサ付き電話機に対してのみ有効。

【P235】
いらっしゃいませンサ間隔時間指定

表示	内容
00	0 秒
設定変更	00 ～ 99 秒の範囲で指定

・いらっしゃいませンサごとに、鳴動音を送出した後、再度センサが有効になるまでの時間を指定する。

【P236】
いらっしゃいませンサゲイン指定

表示	内容
0	－ 12dB
1	－ 9dB
2	－ 6dB
3	－ 3dB
4	0dB
5	＋ 3dB
6	＋ 6dB
7	＋ 9dB
8	＋ 12dB

・いらっしゃいませンサごとに、鳴動音の音量（ゲイン）を指定する。

※以下の設定内容は（7）セーフティ機能編を参照ください。
【P079】センサ入力信号 ON 確定時間指定
【P080】センサ入力信号 OFF 確定時間指定
【P081】センサ ON 連続検出回数指定
【P082】センサ OFF 確定時間指定

【P035】
リレー制御指定

表示	内容
00	未使用
10	いらっしゃいませンサ A に連動
11	いらっしゃいませンサ B に連動
12	いらっしゃいませンサ A、B の両方に連動

・リレーごとに、どの外部機器（電気錠、外部スピーカ、外部保留音源「BGM」、Web カメラ、いらっしゃいませンサ連動機器）を接続しているかを指定する。
※ P072-3 リレー出力タイミング指定で出力タイミングを指定可。
※同一の値に指定した場合、若番のリレーが優先される。ただし、Web カメラといらっしゃいませンサに関しては同一の値に指定したリレー全てが動作可能

【P076】
ドア・ページングユニットポート使途指定

表示	内容
0	接続なし
1	外部センサ（ブレーク）
2	外部センサ（メーク）
3	外部センサ（ワンショット：メーク）
4	警備入力（警備中 ON）
5	警備入力（警備中 OFF）

外部センサおよびドアホンの各ポートごとに、検知する信号のタイプを指定する。
※外部センサポートにドアホンを接続することはできない。
※セーフティグループごとに 1 つのポートにのみ警備入力（警備中 ON）もしくは警備入力（警備中 OFF）を指定可能。
※警備中 ON とは、警備中はメーク状態になることを意味し、警備中 OFF とは警備中はブレーク状態になることを意味します。

▶（10）IP 電話機接続編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

【P201】
内線番号指定

表示	内容
実装番号 01 ～ 80 を 内線番号 10 ～ 89 で表示	指定なし
設定変更	実装番号 01 ～ 80 を内線番号 10 ～ 89 （内線 3 桁モードは 100 ～ 899）の範囲で指定

・実装番号ごとに、内線番号を変更できる。

【P061】
内線番号桁数指定

表示	内容
2	2桁（10 ～ 89）
3	3桁（100 ～ 899）

・システム間接続は、内線番号桁数が 3 桁のときのみ可能です。

その他の IP 電話機接続に必要な設定は Web から行います。
154 ページの18「IP 端末接続ユニット利用時の設定」を参照してください。

▶（11）システム間接続編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。
　その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□: 初期設定

プログラム設定内容

★【P061】
内線番号桁数指定

表示	内容
2	2桁（10～89）
3	3桁（100～899）

・システム間接続は、内線番号桁数が 3 桁のときのみ可能です。

【P518】
システム間接続公開テナント指定

表示	内容
1	テナント1
2	テナント2
3	テナント3
4	テナント4

・システム間接続にて接続システムに対し公開するテナントを指定する。

【P218】
発信者番号選択指定

表示	内容
00	捕捉した外線の電話番号
01	ISDN 回線 1
⟆	⟆
06	ISDN 回線 1
07	ダイヤルイン番号 01
⟆	⟆
38	ダイヤルイン番号 32

・電話機ごと（初実装 SLI、PS 電話機、IP 電話機、ユーザー登録、システム間を含む）に、ISDN 回線または VoIP で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を、捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。
※発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。
※システム間接続において､他のシステムから外線を利用される際の動作を実装番号 84（システム間）として指定する。

【P309～P311】
発信規制指定

表示	内容
数字表示	発信可
ー表示	発信不可

・P090-1 で自動選局に指定した場合、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを指定する。
※ SLI1、SLI2、ユーザー登録、システム間接続を含む。
※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。
※他システムから自システムの外線を利用して発信する際の規制を設定します。

その他のシステム間接続に必要な設定は Web から行います。
154 ページの18「IP 端末接続ユニット利用時の設定」を参照してください。

26 工事終了後の試験

Agrea HM700 取扱説明書の主な機能の操作を行ってください。また、オプション機器を接続したときは、そのオプションの主な機能も併せて操作確認してください。

27 保守メニュー

Agrea HM700 取扱説明書に記載されているメニュー設定以外に、保守対応用として下記の保守メニューが利用可能。（オートダイヤルの共通登録や詳細な情報を閲覧することが可能）

保守メニューは TD・LD・CL（親機）電話機からアクセスすることが可能。

① 受話器をおいたままで、機能 → # → ＊ → ＊ のボタンを押します。

② ◈を操作、またはメニュー番号を押して、該当機能を選択してください。

③ 保守メニュー（一覧）及び詳細について、以下を参照ください。

保守メニュー（一覧）

- 保守メニュー
  - 1 オートダイヤル ※1
  - 2 主装置
    - 1 ユニット構成
      - 1 一覧表示
      - 2 ユニット管理情報の初期化
        - 1 VoIP ユニット
        - 2 IPST ユニット
        - 3 全ユニット
    - 2 電話機構成 ※1
    - 3 データ保存／復旧
      - 1 書き込み（主装置→ CF）
      - 2 読み込み（CF →主装置）
    - 4 再起動
    - 5 初期化
      - 1 パスワード
        - 1 ユーザー
        - 2 管理者
        - 3 工事者
      - 2 プログラム設定
      - 3 電話帳
      - 4 オートダイヤル
      - 5 内線発着信履歴
      - 6 一括
    - 6 プログラム設定更新日時
  - 3 ルータ
    - 1 データ保存／復旧
      - 1 書き込み（ﾙｰﾀ→ CF）
      - 2 読み込み（CF →ﾙｰﾀ）
    - 2 再起動
    - 3 初期化
  - 4 VoIP1 ※2
    - 1 ユニット情報
    - 2 データ保存／復旧
      - 1 書き込み（VoIP1 → CF）※2
      - 2 読み込み（CF → VoIP1）※2
    - 3 再起動
    - 4 初期化
  - 5 VoIP2 ※2
    - 1 ユニット情報
    - 2 データ保存／復旧
      - 1 書き込み（VoIP2 → CF）※2
      - 2 読み込み（CF → VoIP2）※2
    - 3 再起動
    - 4 初期化
  - 6 IPST1
    - 1 データ保存／復旧
      - 1 書き込み（IPST1 → CF）
      - 2 読み込み（CF → IPST1）
    - 2 再起動
    - 3 初期化
  - 7 IPST2 ※3
    - 1 データ保存／復旧
      - 1 書き込み（IPST2 → CF）
      - 2 読み込み（CF → IPST2）
    - 2 再起動
    - 3 初期化
  - 8 メンテナンス
    - 1 販売店名
    - 2 販売店電話番号
    - 3 工事店（担当）名
    - 4 工事区分1新規設置工事～7その他
    - 5 会社名
    - 6 郵便番号
    - 7 住所
    - 8 電話番号
    - 9 FAX 番号
    - # データ送信
  - 9 その他
    - 1 バージョン情報
    - 2 ネットワーク
      - 1 ネットワーク情報の確認
        - 1 主装置
        - 2 ルータ
        - 3 VoIP1 ※2
        - 4 VoIP2 ※2
        - 5 IPST1
        - 6 IPST2 ※3
      - 2 IP アドレスの変更
        - 1 主装置
        - 2 ルータ
        - 3 VoIP1 ※2
        - 4 VoIP2 ※2
        - 5 IPST1
        - 6 IPST2 ※3

- 保守メニュー
  - 9 その他
    - 3 ログ強制保存
    - 4 CF 取外し
    - 5 センサ関係
      - 1 センサ検出テスト
      - 2 センサ感度設定
    - 6 IP 電話機ライセンス関係
      - 1 IP 電話機ライセンス情報
      - 2 ライセンス情報更新
    - 7 緊急地震速報関係
      - 1 テスト受信設定
      - 2 地震速報デモ
      - 3 ガイダンス設定

※ 1： 一覧を表示中に短縮ボタンを押すことで詳細表示に切り替わる。

※ 2： VoIP 基板が実装され、ルータ機能が有効な場合､保守メニューの「VoIP」は「VoIP ＋ルータ」の表示になる。

※ 3： Std 主装置の場合項目が表示されません。

保守メニュー詳細説明

メニュー番号	機　　能	内　　容
1	オートダイヤル	オートダイヤルの共通編集をする。 編集内容は全電話機に登録される。 ※オートダイヤルが既に登録されている場合には、最新情報に上書きされる。 ※登録方法は取扱説明書のオートダイヤル登録を参照。
2 + 1 + 1	主装置 └→ユニット構成 　└→一覧表示	各スロットに実装しているユニット名称を表示する。 ※外線系ユニットは、収容外線番号も表示する。 ※内線系ユニットは、実装番号も表示する。
2 + 1 + 2 + 1	主装置 └→ユニット構成 　└→ユニット管理情報の初期化 　　└→ VoIP ユニット	VoIP ユニットのみの管理情報を初期化し、主装置を再起動する。 再起動後、VoIP ユニットの管理情報を再認識する。
2 + 1 + 2 + 2	主装置 └→ユニット構成 　└→ユニット管理情報の初期化 　　└→ IPST ユニット	IPST ユニットのみの管理情報を初期化し、主装置を再起動する。 再起動後、IPST ユニットの管理情報を再認識する。
2 + 1 + 2 + 3	主装置 └→ユニット構成 　└→ユニット管理情報の初期化 　　└→全ユニット	全ユニットの管理情報を初期化し、主装置を再起動する。 再起動後、全ユニットの管理情報を再認識する。
2 + 2	主装置 └→電話機構成	実装番号毎に電話機情報及び接続状態を表示する。 ※ 短縮 ボタンを押下すると、一覧表示と詳細表示が切り替わる。 ※以下の情報を表示する。 ・実装番号 ・内線番号（詳細表示中のみ） ・電話機種別 ・電話機バージョン（詳細表示中のみ） ・ＴＥＮ番号（CL 子機 /DC/WS 電話機のみ）（詳細表示中のみ） ※一覧表示時、電話機が使用中の場合、画面右端に✶が表示される。 ※電話機が接続されていない場合は、「実装なし」と表示される。

メニュー番号	機　　能	内　　容
2 + 3 + 1	主装置 └→データ保存／復旧 　└→書き込み (主装置→ CF)	設定情報（プログラム設定、電話帳、オートダイヤル、その他設定）を CF カードに書き込むことが可能。設定情報はチェックボックスを ON ／ OFF することで選択する。 ≪ディレクトリ・ファイル構造≫ DATA/AUTO.LEG（オートダイヤル） DATA/CONFIG.LEG（プログラム設定） DATA/IPR.LEG（ﾙｰﾀ設定） DATA/IPW1.LEG（VoIP1 設定） DATA/IPW2.LEG（VoIP2 設定） DATA/IPT1.LEG（IPST1 設定） DATA/IPT2.LEG（IPST2 設定） DATA/OTHER.LEG（その他） DATA/SPEED.LEG（電話帳） DATA/MEL01.MID（ユーザーメロディ１） DATA/MEL02.MID（ユーザーメロディ２） DATA/MEL03.MID（ユーザーメロディ３） DATA/MEL04.MID（ユーザーメロディ４） ※その他設定とプログラム設定は対で処理される。（チェックボックスが連動する） ※プログラム設定とその他設定は、セットで選択する。 ※REC の録音内容は保存されない。 ※ライセンス情報は主装置から読み込まれないため、別途 IP 電話ライセンス情報更新を行ってください。
2 + 3 + 2	主装置 └→データ保存／復旧 　└→読み込み (CF →主装置)	CF カードにバックアップした設定情報（プログラム設定、電話帳、オートダイヤル、その他設定）を読み込みます。設定情報はチェックボックスを ON ／ OFF することで、選択可能。 ※ CF 内に保存されている設定を読み込む前にプログラム設定にてシステムの内線番号桁数を一致させた後、CF のデータ読み込みを行ってください。 ※その他設定選択時、プログラム設定も選択される。（プログラム設定のみの選択は可能） ※その他設定を読み込んだ場合、電話機での確認操作後、システムの待機状態を待ち､18秒経過後に主装置再立上げ処理が行われる。 ※CF 内に保存されているプログラム設定の内線桁数と、現在の内線番号が一致しない場合、エラーになり、一度目の読み込みでは全ての設定が反映されません。読み込み操作をもう一度行ってください。
2 + 4	主装置 └→再起動	主装置を再起動する。 ※PPPoE は自動的に停止してから再起動される。
2 + 5 + 1 + 1	主装置 └→初期化 　└→パスワード 　　└→ユーザー	Web 設定で登録したユーザ毎のパスワードを全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 1 + 2	主装置 └→初期化 　└→パスワード 　　└→管理者	Web 設定で変更したユーザ管理者のパスワードを全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 1 + 3	主装置 └→初期化 　└→パスワード 　　└→工事者	Web 設定もしくは、電話機から機能特番（機能 + # + * + 1）で変更した工事者のパスワードを全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 2	主装置 └→初期化 　└→プログラム設定	プログラム設定の内容を全て工場出荷状態に戻す。

メニュー番号	機　　能	内　　容
2 + 5 + 3	主装置 └→初期化 　└→電話帳	全ての電話帳のデータを削除する。
2 + 5 + 4	主装置 └→初期化 　└→オートダイヤル	全てのオートダイヤルを初期化する。
2 + 5 + 5	主装置 └→初期化 　└→内線発着信履歴	全ての内線発着信履歴を消去する。
2 + 5 + 6	主装置 └→初期化 　└→一括	パスワード、プログラム設定、電話帳、オートダイヤルのデータを一括で初期化する。 ※カレンダ・時計は初期化されない。
2 + 6	主装置 └→プログラム設定更新日時	プログラム設定データの最終更新日時を確認する。
3 + 1 + 1	ルータ └→データ保存／復旧 　└→書き込み（ﾙｰﾀ→ CF）	ルータの設定データを CF カードに書き出す。
3 + 1 + 2	ルータ └→データ保存／復旧 　└→読み込み（CF →ﾙｰﾀ）	CF にバックアップしたカード内の設定データをルータに読み込む。
3 + 2	ルータ └→再起動	ルータを再起動する。
3 + 3	ルータ └→初期化	ルータの設定を初期化する。
4 + 1	VoIP1 └→ユニット情報	VoIP1 のキャリア名を表示する。
4 + 2 + 1	VoIP1 └→データ保存／復旧 　└→書き込み（VoIP1 → CF）	VoIP1 の設定データを CF カードに書き出す。
4 + 2 + 2	VoIP1 └→データ保存／復旧 　└→読み込み（CF → VoIP1）	CF にバックアップしたカード内の設定データを VoIP1 に読み込む。
4 + 3	VoIP1 └→再起動	VoIP1 を再起動する。
4 + 4	VoIP1 └→初期化	VoIP1 の設定を初期化する。
5 + 1	VoIP2 └→ユニット情報	VoIP2 のキャリア名を表示する。
5 + 2 + 1	VoIP2 └→データ保存／復旧 　└→書き込み（VoIP2 → CF）	VoIP2 の設定データを CF カードに書き出す。
5 + 2 + 2	VoIP2 └→データ保存／復旧 　└→読み込み（CF → VoIP2）	CF にバックアップしたカード内の設定データを VoIP2 に読み込む
5 + 3	VoIP2 └→再起動	VoIP2 を再起動する。

メニュー番号	機　　能	内　　容
5 + 4	VoIP2 └→初期化	VoIP2 の設定を初期化する。
6 + 1 + 1	IPST1 └→データ保存／復旧 　└→書き込み（IPST1 → CF）	IPST1 の設定データを CF カードに書き出す。
6 + 1 + 2	IPST1 └→データ保存／復旧 　└→読み込み（CF → IPST1）	CF にバックアップしたカード内の設定データを IPST1 に読み込む。
6 + 2	IPST1 └→再起動	IPST1 を再起動する。
6 + 3	IPST1 └→初期化	IPST1 の設定を初期化する。
7 + 1 + 1	IPST2 └→データ保存／復旧 　└→書き込み（IPST2 → CF）	IPST2 の設定データを CF カードに書き出す。
7 + 1 + 2	IPST2 └→データ保存／復旧 　└→読み込み（CF → IPST2）	CF にバックアップしたカード内の設定データを IPST2 に読み込む。
7 + 2	IPST2 └→再起動	IPST2 を再起動する。
7 + 3	IPST2 └→初期化	IPST2 の設定を初期化する。
8 + 1	メンテナンス └→販売店名	販売店名（最大 16 桁）を登録する。
8 + 2	メンテナンス └→販売店電話番号	販売店電話番号（最大 24 桁）を登録する。
8 + 3	メンテナンス └→工事店（担当）名	工事店（担当者）名（最大 16 桁）を登録する。
8 + 4	メンテナンス └→工事区分	工事区分を選択する。 1 新規設置工事 （設置工事時に選択する） 2 増設工事 （ユニットや電話機、回線数を増やしたときに選択する） 3 移設工事 （移設工事時に選択する） 4 場変工事 （場変工事時に選択する） 5 設定変更 （各種設定を変更したときに選択する） 6 障害対応 （障害で対応したときに選択する） 7 その他 （上記以外の内容で対応したときに選択する）
8 + 5	メンテナンス └→会社名	設置先の会社名（最大 16 桁）を登録する。
8 + 6	メンテナンス └→郵便番号	設置先の郵便番号を登録する。
8 + 7	メンテナンス └→住所	設置先の住所（最大 32 桁）を登録する。

メニュー番号	機　　能	内　　容
8 + 8	メンテナンス └→電話番号	設置先の電話番号（最大 24 桁）を登録する。 ※「電話番号」は、着信メロディーダウンロードサービスを利用する際に必要となるので、必ず登録する。
8 + 9	メンテナンス └→ FAX 番号	設置先の FAX 番号（最大 24 桁）を登録する。
8 + #	メンテナンス └→データ送信	編集した顧客管理情報（販売店名、販売店電話番号、工事店（担当）名、工事区分、会社名、郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号）を登録し、サーバーに送信する。 ※ Internet 接続または、ISDN 接続で送信される。
9 + 1	その他 └→バージョン情報	主装置や、搭載されているユニットの各種ソフトウェアバージョンを確認する。
9 + 2 + 1 + 1	その他 └→ネットワーク └→ネットワーク情報の確認 └→主装置	主装置の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。
9 + 2 + 1 + 2	その他 └→ネットワーク └→ネットワーク情報の確認 └→ルータ	ルータの IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。 ※LAN ／ WAN ／ DMZ 毎に確認することが可能。 ※ポートの切替は上下キーで行なう。
9 + 2 + 1 + 3	その他 └→ネットワーク └→ネットワーク情報の確認 └→ VoIP1	VoIP1 の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。 ※LAN ／ WAN 毎に確認することが可能。 ※ポートの切替は上下キーで行なう。
9 + 2 + 1 + 4	その他 └→ネットワーク └→ネットワーク情報の確認 └→ VoIP2	VoIP2 の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。 ※LAN ／ WAN 毎に確認することが可能。 ※ポートの切替は上下キーで行なう。
9 + 2 + 1 + 5	その他 └→ネットワーク └→ネットワーク情報の確認 └→ IPST1	IPST1 の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。 ※LAN を確認することが可能。
9 + 2 + 1 + 6	その他 └→ネットワーク └→ネットワーク情報の確認 └→ IPST2	IPST2 の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。 ※LAN を確認することが可能。
9 + 2 + 2 + 1	その他 └→ネットワーク └→ IP アドレスの変更 └→主装置	主装置の IP アドレスを変更する。 ※主装置の IP アドレスを変更した場合、主装置をリセットするまで IP アドレスの変更が反映されませんのでご注意ください。主装置の IP アドレスを変更した場合､主装置は自動ではリセットしません。必ず手動で主装置のリセットを行ってください。 ※本機能にて、サブネットマスクを変更することはできないので注意が必要。 ※工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.253）
9 + 2 + 2 + 2	その他 └→ネットワーク └→ IP アドレスの変更 └→ルータ	ルータの IP アドレスを変更することができます。 ※変更を行ったあとに、ルータが再起動される。 ※本機能にて、サブネットマスクを変更することはできないので注意が必要。 ※工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.254）

メニュー番号	機　　能	内　　容
9 + 2 + 2 + 3	その他 └→ネットワーク └→ IP アドレスの変更 └→ VoIP1	VoIP1 の IP アドレスを変更することができます。 ※変更を行ったあとに、VoIP1 が再起動される。 ※本機能にて、サブネットマスクを変更することはできないので注意が必要。 ※工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.252）
9 + 2 + 2 + 4	その他 └→ネットワーク └→ IP アドレスの変更 └→ VoIP2	VoIP2 の IP アドレスを変更することができます。 ※変更を行ったあとに、VoIP2 が再起動される。 ※本機能にて、サブネットマスクを変更することはできないので注意が必要。 ※工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.252）
9 + 2 + 2 + 5	その他 └→ネットワーク └→ IP アドレスの変更 └→ IPST1	IPST1 の IP アドレスを変更することができます。 ※変更を行ったあとに、IPST1 が再起動される。 ※工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.246） ※IPST ユニットの IP アドレスは、主装置の設定情報（その他設定）内に保存され、IPST ユニット内には保存されません。 ※IPST ユニットのサブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバ設定には、主装置と同じ値が適用されます。
9 + 2 + 2 + 6	その他 └→ネットワーク └→ IP アドレスの変更 └→ IPST2	IPST2 の IP アドレスを変更することができます。 ※変更を行ったあとに、IPST2 が再起動される。 ※工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.245） ※IPST ユニットの IP アドレスは、主装置の設定情報（その他設定）内に保存され、IPST ユニット内には保存されません。 ※IPST ユニットのサブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバ設定には、主装置と同じ値が適用されます。
9 + 3	その他 └→ログ強制保存	主装置、VoIP にため込んでいるログで、まだ CF カードへ書き出されていないログを、強制的に CF カードへ書き出す。 ≪ディレクトリ・ファイル構造≫ log_main/mainNNN.log（MAIN 動作ログ） log_safe/safeNNN.log（セーフティ動作ログ） log_ipr/iprNNN.log（ルータ通話ログ） log_ipw1/ipw1cNNN.log（VoIP1 通話ログ） log_ipw1/ipw1fNNN.log（VoIP1 障害ログ） log_ipw1/ipw1tNNN.log（VoIP1 トラフィックログ） log_ipw2/ipw2cNNN.log（VoIP2 通話ログ） log_ipw2/ipw2fNNN.log（VoIP2 障害ログ） log_ipw2/ipw2tNNN.log（VoIP2 トラフィックログ） log_ipt1/ipt1cNNN.log（IPST1 通話ログ） log_ipt1/ipt1fNNN.log（IPST1 障害ログ） log_ipt2/ipt2cNNN.log（IPST2 通話ログ） log_ipt2/ipt2fNNN.log（IPST2 障害ログ） ※ NNN：連番（000 ～ 999）
9 + 4	その他 └→ CF 取外し	CF カードへの書き込みを停止し、主装置から CF カードを外せる状態にする。 ※この操作をしないで CF カードを主装置から外した場合、CF カードの中にあるデータが壊れる可能性があるので注意が必要。
9 + 5 + 1	その他 └→センサ関係 └→センサ検出テスト	人感センサ ON を検出した場合は、着信ランプが赤点灯する。人感センサ OFF 時には、着信ランプは消灯する。 ※本テストは、センサ電話機がセンサグループに登録されていないと確認できないので注意が必要。

メニュー番号	機　　能	内　　容
9 + 5 + 2	その他 └→センサ関係 　└→センサ感度設定	人感センサの感度を「強」、「弱」の2段階から選択することができます。 ※初期設定は「強」です。 ※この設定は TD615、TD625 電話機で利用可能です。
9 + 6 + 1	その他 └→ IP 電話ライセンス関係 　└→ IP 電話ライセンス情報	IP 電話機のライセンス情報を表示します。
9 + 6 + 2	その他 └→ IP 電話ライセンス関係 　└→ IP 電話ライセンス情報更新	CF 内に保存したライセンスファイルによりライセンス情報を更新することができます。 ※ライセンスの初期値を超える台数の IP 端末を接続するためにはライセンスファイルが必要になります。 ※ライセンスファイルの取得に関しては弊社営業担当にお問い合せ下さい。
9 + 7 + 1	その他 └→緊急地震速報関係 　└→テスト受信設定	緊急地震速報の動作確認のため、サーバへテスト電文の送信を要求し、緊急地震速報のテスト動作を行う。 ※テスト受信設定を ON にすると、緊急地震速報のテスト電文の受信を許可状態にします。テスト電文受信動作後は禁止状態（設定は OFF）に戻ります。 ※テスト電文受信待ち中にシステムリセットした場合､禁止状態（設定は OFF）に戻ります。 ※緊急地震速報のテスト動作は通常時と同じ設定条件で動作します。
9 + 7 + 2	その他 └→緊急地震速報関係 　└→地震速報デモ	緊急地震速報のデモを行う。 ※緊急地震速報のデモ動作は以下の条件を除き、通常時と同じ設定条件で動作する。 ・ 地震速報受信設定（Web 設定）およびユーザー登録は必要ありません。 ・ 地震速報夜間 A ／ B 動作指定(プログラム設定)には従いません。
9 + 7 + 3	その他 └→緊急地震速報関係 　└→ガイダンス設定	緊急地震速報動作時に流れるガイダンスを選択する。 1 地震が発生しました。 (『ポロンポロン･･･緊急地震速報です。地震が発生しました。』を選択する) 2 地震が発生しました。強い揺･･･ (『ポロンポロン･･･緊急地震速報です。地震が発生しました。強い揺れに注意してください。』を選択する)

● 電話機からの工事者パスワード変更

機能特番により工事者のパスワードを変更することが可能です。

特　　番	機　　能	内　　容
機能+#+＊+1	工事者パスワード変更	0 ～ 9 の数字および#と＊の組み合わせで、4 桁～ 10 桁のパスワードに変更することが可能です。 ※決定する場合は◉を押します。

28 緊急地震速報のエリアコード一覧

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
北海道	石狩支庁北部	石狩市、石狩郡［当別町、新篠津村］	100	
	石狩支庁中部	札幌市、江別市	101	
	石狩支庁南部	千歳市、恵庭市、北広島市	102	
	渡島支庁北部	二海郡［八雲町］、山越郡［長万部町］	105	
	渡島支庁東部	函館市、北斗市、亀田郡［七飯町］、茅部郡［鹿部町、森町］	106	
	渡島支庁西部	松前郡［松前町、福島町］、上磯郡［知内町、木古内町］	107	
	檜山支庁	檜山郡［江差町、上ノ国町、厚沢部町］、爾志郡［乙部町］、瀬棚郡［今金町］、久遠郡［せたな町］	110	
	後志支庁北部	小樽市、積丹郡［積丹町］、古平郡［古平町］、余市郡［仁木町、余市町、赤井川村］	115	
	後志支庁東部	虻田郡の一部（ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町）	116	
	後志支庁西部	島牧郡［島牧村］、寿都郡［寿都町、黒松内町］、磯谷郡［蘭越町］、岩内郡［共和町、岩内町］、古宇郡［泊村、神恵内村］	117	
	空知支庁北部	深川市、雨竜郡の一部（妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町、幌加内町）	120	
	空知支庁中部	芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、空知郡の一部（奈井江町、上砂川町）、樺戸郡の一部（浦臼町、新十津川町）、雨竜郡の一部（雨竜町）	121	
	空知支庁南部	夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、空知郡の一部（南幌町）、夕張郡［由仁町、長沼町、栗山町］、樺戸郡の一部（月形町）	122	
	上川支庁北部	士別市、名寄市、上川郡の一部（和寒町、剣淵町、下川町）、中川郡の一部（美深町、音威子府村、中川町）	125	
	上川支庁中部	旭川市、上川郡の一部（鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町）	126	
	上川支庁南部	富良野市、空知郡の一部（上富良野町、中富良野町、南富良野町）、勇払郡の一部（占冠村）	127	
	留萌支庁中北部	苫前郡［苫前町、羽幌町、初山別村］、天塩郡の一部（遠別町、天塩町、幌延町）	130	
	留萌支庁南部	留萌市、増毛郡［増毛町］、留萌郡［小平町］	131	
	宗谷支庁北部	稚内市、宗谷郡［猿払村］、天塩郡の一部（豊富町）	135	
	宗谷支庁南部	枝幸郡［浜頓別町、中頓別町、枝幸町］	136	
	網走支庁網走	網走市、網走郡［美幌町、津別町、大空町］、斜里郡［斜里町、清里町、小清水町］	140	
	網走支庁北見	北見市、常呂郡［訓子府町、置戸町、佐呂間町］	141	
	網走支庁紋別	紋別市、紋別郡［遠軽町、上湧別町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町］	142	
	胆振支庁西部	伊達市、虻田郡の一部（豊浦町、洞爺湖町）、有珠郡［壮瞥町］	145	
	胆振支庁中東部	室蘭市、苫小牧市、登別市、白老郡［白老町］、勇払郡の一部（安平町、厚真町、むかわ町）	146	
	日高支庁西部	沙流郡［日高町、平取町］	150	
	日高支庁中部	新冠郡［新冠町］、日高郡［新ひだか町］	151	
	日高支庁東部	浦河郡［浦河町］、様似郡［様似町］、幌泉郡［えりも町］	152	
	十勝支庁北部	河東郡の一部（上士幌町、鹿追町）、上川郡の一部（新得町）、足寄郡［足寄町、陸別町］	155	
	十勝支庁中部	帯広市、河東郡の一部（音更町、士幌町）、上川郡の一部（清水町）、河西郡の一部（芽室町）、中川郡の一部（幕別町、池田町、豊頃町、本別町）、十勝郡［浦幌町］	156	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
北海道	十勝支庁南部	河西郡の一部（中札内村、更別村）、広尾郡［大樹町、広尾町］	157	
	釧路支庁北部	川上郡の一部（弟子屈町）	160	
	釧路支庁中南部	釧路市、釧路郡［釧路町］、厚岸郡［厚岸町、浜中町］、川上郡の一部（標茶町）、阿寒郡［鶴居村］、白糠郡［白糠町］	161	
	根室支庁北部	標津郡［中標津町、標津町］、目梨郡［羅臼町］	165	
	根室支庁中部	野付郡［別海町］	166	
	根室支庁南部	根室市	167	
	北海道奥尻島	奥尻郡［奥尻町］	119	
	北海道利尻礼文	礼文郡［礼文町］、利尻郡［利尻町、利尻富士町］	139	
青森県	青森県津軽北部	青森市、五所川原市、つがる市、東津軽郡［平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町］、北津軽郡［板柳町、鶴田町、中泊町］	200	
	青森県津軽南部	弘前市、黒石市、平川市、西津軽郡［鰺ヶ沢町、深浦町］、中津軽郡［西目屋村］、南津軽郡［藤崎町、大鰐町、田舎館村］	201	
	青森県三八上北	八戸市、十和田市、三沢市、上北郡［野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町］、三戸郡［三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村］	202	
	青森県下北	むつ市、下北郡［大間町、東通村、風間浦村、佐井村］	203	
岩手県	岩手県沿岸北部	宮古市、久慈市、下閉伊郡［山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、川井村］、九戸郡の一部（洋野町、野田村）	210	
	岩手県沿岸南部	大船渡市、陸前高田市、釜石市、気仙郡［住田町］、上閉伊郡［大槌町］	211	
	岩手県内陸北部	盛岡市、二戸市、八幡平市、岩手郡［雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村］、紫波郡［紫波町、矢巾町］、九戸郡の一部（軽米町、九戸村）、二戸郡［一戸町］	212	
	岩手県内陸南部	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、和賀郡［西和賀町］、胆沢郡［金ヶ崎町］、西磐井郡［平泉町］、東磐井郡［藤沢町］	213	
宮城県	宮城県北部	気仙沼市、登米市、栗原市、大崎市、加美郡［色麻町、加美町］、遠田郡［涌谷町、美里町］、本吉郡［本吉町、南三陸町］	220	
	宮城県中部	仙台市、石巻市、塩竈市、多賀城市、東松島市、宮城郡［松島町、七ヶ浜町、利府町］、黒川郡［大和町、大郷町、富谷町、大衡村］、牡鹿郡［女川町］	222	
	宮城県南部	白石市、名取市、角田市、岩沼市、刈田郡［蔵王町、七ヶ宿町］、柴田郡［大河原町、村田町、柴田町、川崎町］、伊具郡［丸森町］、亘理郡［亘理町、山元町］	221	
秋田県	秋田県沿岸北部	能代市、男鹿市、潟上市、山本郡［藤里町、三種町、八峰町］、南秋田郡［五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村］	230	
	秋田県沿岸南部	秋田市、由利本荘市、にかほ市	231	
	秋田県内陸北部	大館市、鹿角市、北秋田市、鹿角郡［小坂町］、北秋田郡［上小阿仁村］	232	
	秋田県内陸南部	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、仙北郡［美郷町］、雄勝郡［羽後町、東成瀬村］	233	
山形県	山形県庄内	鶴岡市、酒田市、東田川郡［三川町、庄内町］、飽海郡［遊佐町］	240	
	山形県最上	新庄市、最上郡［金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村］	241	
	山形県村山	山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、東村山郡［山辺町、中山町］、西村山郡［河北町、西川町、朝日町、大江町］、北村山郡［大石田町］	242	
	山形県置賜	米沢市、長井市、南陽市、東置賜郡［高畠町、川西町］、西置賜郡［小国町、白鷹町、飯豊町］	243	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
福島県	福島県中通り	福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、伊達郡［桑折町、国見町、川俣町］、安達郡［大玉村］、岩瀬郡［鏡石町、天栄村］、西白河郡［西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町］、東白川郡［棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村］、石川郡［石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町］、田村郡［三春町、小野町］	250	
	福島県浜通り	いわき市、相馬市、南相馬市、双葉郡［広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村］、相馬郡［新地町、飯舘村］	251	
	福島県会津	会津若松市、喜多方市、南会津郡［下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町］、耶麻郡［北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町］、河沼郡［会津坂下町、湯川村、柳津町］、大沼郡［三島町、金山町、昭和村、会津美里町］	252	
茨城県	茨城県北部	水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、東茨城郡［茨城町、大洗町、城里町］、那珂郡［東海村］、久慈郡［大子町］	300	
	茨城県南部	土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、稲敷郡［美浦村、阿見町、河内町］、結城郡［八千代町］、猿島郡［五霞町、境町］、北相馬郡［利根町］	301	
栃木県	栃木県北部	日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、塩谷郡の一部（塩谷町）、那須郡の一部（那須町）	310	
	栃木県南部	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、さくら市、那須烏山市、下野市、河内郡［上三川町］、上都賀郡［西方町］、芳賀郡［二宮町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町］、下都賀郡［壬生町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町］、塩谷郡の一部（高根沢町）、那須郡の一部（那珂川町）	311	
群馬県	群馬県北部	沼田市、吾妻郡［中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、六合村、高山村、東吾妻町］、利根郡［片品村、川場村、昭和村、みなかみ町］	320	
	群馬県南部	前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、勢多郡［富士見村］、北群馬郡［榛東村、吉岡町］、多野郡［吉井町、上野村、神流町］、甘楽郡［下仁田町、南牧村、甘楽町］、佐波郡［玉村町］、邑楽郡［板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町］	321	
埼玉県	埼玉県北部	熊谷市、行田市、加須市、本庄市、東松山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、久喜市、比企郡の一部（滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、吉見町、鳩山町）、秩父郡の一部（東秩父村）、児玉郡［美里町、神川町、上里町］、大里郡［寄居町］、北埼玉郡［騎西町、北川辺町、大利根町］、南埼玉郡の一部（菖蒲町）、北葛飾郡の一部（栗橋町、鷲宮町）	330	
	埼玉県南部	さいたま市、川越市、川口市、所沢市、飯能市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ケ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、北足立郡［伊奈町］、入間郡［三芳町、毛呂山町、越生町］、比企郡の一部（川島町）、南埼玉郡の一部（宮代町、白岡町）、北葛飾郡の一部（杉戸町、松伏町）	331	
	埼玉県秩父	秩父市、秩父郡の一部（横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町）	332	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
千葉県	千葉県北東部	銚子市、茂原市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、香取郡［神崎町、多古町、東庄町］、山武郡［大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町］、長生郡［一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町］	340	
	千葉県北西部	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、成田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡［酒々井町、印旛村、本埜村、栄町］	341	
	千葉県南部	館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、いすみ市、夷隅郡［大多喜町、御宿町］、安房郡［鋸南町］	342	
東京都	東京都２３区	千代田区	350	1
		中央区	350	2
		港区	350	3
		新宿区	350	4
		文京区	350	5
		台東区	350	6
		墨田区	350	7
		江東区	350	8
		品川区	350	9
		目黒区	350	10
		大田区	350	11
		世田谷区	350	12
		渋谷区	350	13
		中野区	350	14
		杉並区	350	15
		豊島区	350	16
		北区	350	17
		荒川区	350	18
		板橋区	350	19
		練馬区	350	20
		足立区	350	21
		葛飾区	350	22
		江戸川区	350	23
	東京都多摩東部	八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、西多摩郡の一部（瑞穂町）	351	
	東京都多摩西部	青梅市、あきる野市、西多摩郡の一部（日の出町、檜原村、奥多摩町）	352	
	伊豆大島	大島町	355	
	新島	利島村、新島村	356	
	神津島	神津島村	354	
	三宅島	三宅村、御蔵島村	357	
	八丈島	八丈町、青ヶ島村	358	
	小笠原	小笠原村	359	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
神奈川県	神奈川県東部	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡［葉山町］、高座郡［寒川町］、中郡［大磯町、二宮町］	360	
	神奈川県西部	小田原市、相模原市、秦野市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、足柄上郡［中井町、大井町、松田町、山北町、開成町］、足柄下郡［箱根町、真鶴町、湯河原町］、愛甲郡［愛川町、清川村］	361	
新潟県	新潟県上越	糸魚川市、妙高市、上越市	370	
	新潟県中越	長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、魚沼市、南魚沼市、南蒲原郡［田上町］、三島郡［出雲崎町］、北魚沼郡［川口町］、南魚沼郡［湯沢町］、中魚沼郡［津南町］、刈羽郡［刈羽村］	371	
	新潟県下越	新潟市、新発田市、村上市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、北蒲原郡［聖籠町］、西蒲原郡［弥彦村］、東蒲原郡［阿賀町］、岩船郡［関川村、粟島浦村］	372	
	新潟県佐渡	佐渡市	375	
富山県	富山県東部	富山市、魚津市、滑川市、黒部市、中新川郡［舟橋村、上市町、立山町］、下新川郡［入善町、朝日町］	380	
	富山県西部	高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市	381	
石川県	石川県能登	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、羽咋郡［志賀町、宝達志水町］、鹿島郡［中能登町］、鳳珠郡［穴水町、能登町］	390	
	石川県加賀	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、能美郡［川北町］、石川郡［野々市町］、河北郡［津幡町、内灘町］	391	
福井県	福井県嶺北	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、吉田郡［永平寺町］、今立郡［池田町］、南条郡［南越前町］、丹生郡［越前町］	400	
	福井県嶺南	敦賀市、小浜市、三方郡［美浜町］、大飯郡［高浜町、おおい町］、三方上中郡［若狭町］	401	
山梨県	山梨県東部・富士五湖	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、南都留郡［道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町］、北都留郡［小菅村、丹波山村］	410	
	山梨県中・西部	甲府市、山梨市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、甲州市、中央市、西八代郡［市川三郷町］、南巨摩郡［増穂町、鰍沢町、早川町、身延町、南部町］、中巨摩郡［昭和町］	411	
長野県	長野県北部	長野市、須坂市、中野市、大町市、飯山市、千曲市、北安曇郡［池田町、松川村、白馬村、小谷村］、埴科郡［坂城町］、上高井郡［小布施町、高山村］、下高井郡［山ノ内町、木島平村、野沢温泉村］、上水内郡［信州新町、信濃町、小川村、中条村、飯綱町］、下水内郡［栄村］	420	
	長野県中部	松本市、上田市、岡谷市、諏訪市、小諸市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、南佐久郡［小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町］、北佐久郡［軽井沢町、御代田町、立科町］、小県郡［青木村、長和町］、諏訪郡［下諏訪町、富士見町、原村］、東筑摩郡［麻績村、生坂村、波田町、山形村、朝日村、筑北村］	421	
	長野県南部	飯田市、伊那市、駒ケ根市、上伊那郡［辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村］、下伊那郡［松川町、高森町、阿南町、清内路村、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村］、木曽郡［上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村、木曽町］	422	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
岐阜県	岐阜県飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、大野郡［白川村］	430	
	岐阜県美濃東部	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、加茂郡［坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村］、可児郡［御嵩町］	431	
	岐阜県美濃中西部	岐阜市、大垣市、関市、美濃市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、郡上市、海津市、羽島郡［岐南町、笠松町］、養老郡［養老町］、不破郡［垂井町、関ヶ原町］、安八郡［神戸町、輪之内町、安八町］、揖斐郡［揖斐川町、大野町、池田町］、本巣郡［北方町］	432	
静岡県	静岡県伊豆	熱海市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、賀茂郡［東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町］、田方郡［函南町］	440	
	静岡県東部	沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、駿東郡［清水町、長泉町、小山町］、富士郡［芝川町］	441	
	静岡県中部	静岡市、島田市、焼津市、藤枝市［岡部町］、牧之原市、榛原郡［吉田町、川根本町］	442	
	静岡県西部	浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、周智郡［森町］、浜名郡［新居町］	443	
愛知県	愛知県東部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡［設楽町、東栄町、豊根村］、宝飯郡［小坂井町］	450	
	愛知県西部	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、愛知郡［東郷町、長久手町］、西春日井郡［豊山町、春日町］、丹羽郡［大口町、扶桑町］、海部郡［七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村］、知多郡［阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町］、幡豆郡［一色町、吉良町、幡豆町］、額田郡［幸田町］、西加茂郡［三好町］	451	
三重県	三重県北部	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡［木曽岬町］、員弁郡［東員町］、三重郡［菰野町、朝日町、川越町］	460	
	三重県中部	津市、松阪市、名張市、伊賀市、多気郡の一部（多気町、明和町）	461	
	三重県南部	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、多気郡の一部（大台町）、度会郡［玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町］、北牟婁郡［紀北町］、南牟婁郡［御浜町、紀宝町］	462	
滋賀県	滋賀県北部	彦根市、長浜市、高島市、米原市、愛知郡［愛荘町］、犬上郡［豊郷町、甲良町、多賀町］、東浅井郡［虎姫町、湖北町］、伊香郡［高月町、木之本町、余呉町、西浅井町］	500	
	滋賀県南部	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、蒲生郡［安土町、日野町、竜王町］	501	
京都府	京都府北部	福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝郡［伊根町、与謝野町］	510	
	京都府南部	京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、乙訓郡［大山崎町］、久世郡［久御山町］、綴喜郡［井手町、宇治田原町］、相楽郡［笠置町、和束町、精華町、南山城村］、船井郡［京丹波町］	511	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
大阪府	大阪府北部	大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、寝屋川市、大東市、箕面市、柏原市、門真市、摂津市、東大阪市、四条畷市、交野市、三島郡［島本町］、豊能郡［豊能町、能勢町］	520	
	大阪府南部	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、泉北郡［忠岡町］、泉南郡［熊取町、田尻町、岬町］、南河内郡［太子町、河南町、千早赤阪村］	521	
兵庫県	兵庫県北部	豊岡市、養父市、朝来市、美方郡［香美町、新温泉町］	530	
	兵庫県南東部	神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、丹波市、加東市、川辺郡［猪名川町］、多可郡［多可町］、加古郡［稲美町、播磨町］	531	
	兵庫県南西部	姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、神崎郡［市川町、福崎町、神河町］、揖保郡［太子町］、赤穂郡［上郡町］、佐用郡［佐用町］	532	
	兵庫県淡路島	洲本市、南あわじ市、淡路市	535	
奈良県	奈良県	奈良県全域	540	
和歌山県	和歌山県北部	和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、紀の川市、岩出市、海草郡［紀美野町］、伊都郡［かつらぎ町、九度山町、高野町］、有田郡［湯浅町、広川町、有田川町］、日高郡［美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町］	550	
	和歌山県南部	田辺市、新宮市、西牟婁郡［白浜町、上富田町、すさみ町］、東牟婁郡［那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町］	551	
鳥取県	鳥取県東部	鳥取市、岩美郡［岩美町］、八頭郡［若桜町、智頭町、八頭町］	560	
	鳥取県中部	倉吉市、東伯郡［三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町］	562	
	鳥取県西部	米子市、境港市、西伯郡［日吉津村、大山町、南部町、伯耆町］、日野郡［日南町、日野町、江府町］	563	
島根県	島根県東部	松江市、出雲市、安来市、雲南市、八束郡［東出雲町］、仁多郡［奥出雲町］、飯石郡［飯南町］、簸川郡［斐川町］	570	
	島根県西部	浜田市、益田市、大田市、江津市、邑智郡［川本町、美郷町、邑南町］、鹿足郡［津和野町、吉賀町］	571	
	島根県隠岐	隠岐郡［海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町］	575	
岡山県	岡山県北部	津山市、新見市、真庭市、美作市、真庭郡［新庄村］、苫田郡［鏡野町］、勝田郡［勝央町、奈義町］、英田郡［西粟倉村］、久米郡［久米南町、美咲町］	580	
	岡山県南部	岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、和気郡［和気町］、都窪郡［早島町］、浅口郡［里庄町］、小田郡［矢掛町］、加賀郡［吉備中央町］	581	
広島県	広島県北部	三次市、庄原市、安芸高田市、山県郡［安芸太田町、北広島町］	590	
	広島県南東部	三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅郡［世羅町］、神石郡［神石高原町］	591	
	広島県南西部	広島市、呉市、竹原市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、安芸郡［府中町、海田町、熊野町、坂町］、豊田郡［大崎上島町］	592	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
山口県	山口県北部	萩市、長門市、美祢市、阿武郡［阿武町、阿東町］	700	
	山口県東部	山口市、防府市、下松市、岩国市、光市、柳井市、周南市、大島郡［周防大島町］、玖珂郡［和木町］、熊毛郡［上関町、田布施町、平生町］	701	
	山口県西部	下関市、宇部市、山陽小野田市	702	
徳島県	徳島県北部	徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、名東郡［佐那河内村］、名西郡［石井町、神山町］、板野郡［松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町］、美馬郡［つるぎ町］、三好郡［東みよし町］	600	
	徳島県南部	阿南市、勝浦郡［勝浦町、上勝町］、那賀郡［那賀町］、海部郡［牟岐町、美波町、海陽町］	601	
香川県	香川県東部	高松市、さぬき市、東かがわ市、小豆郡［土庄町、小豆島町］、木田郡［三木町］、香川郡［直島町］	610	
	香川県西部	丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、三豊市、綾歌郡［宇多津町、綾川町］、仲多度郡［琴平町、多度津町、まんのう町］	611	
愛媛県	愛媛県東予	今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、越智郡［上島町］	620	
	愛媛県中予	松山市、伊予市、東温市、上浮穴郡［久万高原町］、伊予郡［松前町、砥部町］	621	
	愛媛県南予	宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、喜多郡［内子町］、西宇和郡［伊方町］、北宇和郡［松野町、鬼北町］、南宇和郡［愛南町］	622	
高知県	高知県東部	室戸市、安芸市、安芸郡［東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村］	630	
	高知県中部	高知市、南国市、土佐市、須崎市、香南市、香美市、長岡郡［本山町、大豊町］、土佐郡［土佐町、大川村］、吾川郡［いの町、仁淀川町］、高岡郡の一部（佐川町、越知町、日高村、津野町）	631	
	高知県西部	宿毛市、土佐清水市、四万十市、高岡郡の一部（中土佐町、四万十町、檮原町）、幡多郡［大月町、三原村、黒潮町］	632	
福岡県	福岡県福岡	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、前原市、古賀市、福津市、筑紫郡［那珂川町］、糟屋郡［宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町］、糸島郡［二丈町、志摩町］	710	
	福岡県北九州	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、遠賀郡［芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町］、京都郡［苅田町、みやこ町］、築上郡［吉富町、上毛町、築上町］	711	
	福岡県筑豊	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、鞍手郡［小竹町、鞍手町］、嘉穂郡［桂川町］、田川郡［香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町］	712	
	福岡県筑後	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、朝倉市、みやま市、朝倉郡［筑前町、東峰村］、三井郡［大刀洗町］、三潴郡［大木町］、八女郡［黒木町、立花町、広川町、矢部村、星野村］	713	
佐賀県	佐賀県北部	唐津市、伊万里市、東松浦郡［玄海町］、西松浦郡［有田町］	720	
	佐賀県南部	佐賀市、鳥栖市、多久市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、神埼郡［吉野ヶ里町］、三養基郡［基山町、上峰町、みやき町］、杵島郡［大町町、江北町、白石町］、藤津郡［太良町］	721	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
長崎県	長崎県北部	佐世保市の一部（宇久町を除く）、平戸市、松浦市、東彼杵郡［東彼杵町、川棚町、波佐見町］、北松浦郡の一部（江迎町、鹿町町、佐々町）	730	
	長崎県南西部	長崎市、諫早市、大村市、西海市、西彼杵郡［長与町、時津町］	731	
	長崎県島原半島	島原市、雲仙市、南島原市	732	
	長崎県対馬	対馬市	735	
	長崎県壱岐	壱岐市	736	
	長崎県五島	五島市、佐世保市の一部（宇久町に限る）、北松浦郡の一部（小値賀町）、南松浦郡［新上五島町］	737	
熊本県	熊本県阿蘇	阿蘇市、阿蘇郡の一部（南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村）	740	
	熊本県熊本	熊本市、八代市、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、下益城郡［城南町、美里町］、玉名郡［玉東町、南関町、長洲町、和水町］、鹿本郡［植木町］、菊池郡［大津町、菊陽町］、阿蘇郡の一部（西原村）、上益城郡［御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町］、八代郡［氷川町］	741	
	熊本県球磨	人吉市、球磨郡［錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町］	742	
	熊本県天草・芦北	水俣市、上天草市、天草市、葦北郡［芦北町、津奈木町］、天草郡［苓北町］	743	
大分県	大分県北部	中津市、豊後高田市、宇佐市、国東市、東国東郡［姫島村］	750	
	大分県中部	大分市、別府市、臼杵市、津久見市、杵築市、由布市、速見郡［日出町］	751	
	大分県南部	佐伯市、豊後大野市	752	
	大分県西部	日田市、竹田市、玖珠郡［九重町、玖珠町］	753	
宮崎県	宮崎県北部平野部	延岡市、日向市、西都市、児湯郡の一部（高鍋町、新富町、川南町、都農町、木城町）、東臼杵郡の一部（門川町）	760	
	宮崎県北部山沿い	児湯郡の一部（西米良村）、東臼杵郡の一部（美郷町、諸塚村、椎葉村）、西臼杵郡［高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町］	761	
	宮崎県南部平野部	宮崎市、日南市、串間市、宮崎郡［清武町］、南那珂郡［北郷町、南郷町］、東諸県郡［国富町、綾町］	762	
	宮崎県南部山沿い	都城市、小林市、えびの市、北諸県郡［三股町］、西諸県郡［高原町、野尻町］	763	
鹿児島県	鹿児島県薩摩	鹿児島市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、薩摩川内市の一部（鹿島町、上甑町、里町及び下甑町を除く。）、日置市、いちき串木野市、南さつま市、霧島市、南九州市、伊佐市、薩摩郡［さつま町］、出水郡［長島町］、姶良郡［加治木町、姶良町、蒲生町、湧水町］	770	
	鹿児島県大隅	鹿屋市、垂水市、曽於市、志布志市、曽於郡［大崎町］、肝属郡［東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町］	771	
	鹿児島県十島村	鹿児島郡の一部（十島村）	774	
	鹿児島県甑島	薩摩川内市の一部（鹿島町、上甑町、里町及び下甑町に限る。）	775	
	鹿児島県種子島	西之表市、鹿児島郡の一部（三島村）、熊毛郡の一部（中種子町、南種子町）	776	
	鹿児島県屋久島	熊毛郡の一部（屋久島町）	777	
	鹿児島県奄美北部	奄美市、大島郡の一部（大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町）	778	
	鹿児島県奄美南部	大島郡の一部（徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町）	779	

都道府県名	地域名称	郡市町村名	エリアコード	
			エリア番号	区番号
沖縄県	沖縄県本島北部	名護市、国頭郡［国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村］、島尻郡の一部（粟国村、伊平屋村、伊是名村）	800	
	沖縄県本島中南部	那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、南城市、中頭郡［読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町］、島尻郡の一部（八重瀬町、与那原町、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、渡名喜村）	801	
	沖縄県久米島	島尻郡の一部（久米島町）	802	
	沖縄県大東島	島尻郡の一部（南大東村、北大東村）	803	
	沖縄県宮古島	宮古島市、宮古郡［多良間村］	804	
	沖縄県石垣島	石垣市	805	
	沖縄県与那国島	八重山郡の一部（与那国町）	806	
	沖縄県西表島	八重山郡の一部（竹富町）	807	

— MEMO —